千葉県気象災害史

（第２集）

昭和44年～昭和60年

千葉県気象災害史（第２集）

正　　誤　　表

頁	誤	正	備考
86　資料末尾	印刷天気図	印刷天気図，県警本部，県農林部	追加
110　資料末尾	雑誌「気象」	雑誌「気象」，県農林部	追加
118　資料末２行	県農村部農政課調べ	県農林部農政課調べ	１字訂正
120　資料末尾	異常気象報告	異常気象報告，県警本部	追加
134　4.概況 本文２行	大きな地震があった（?）	大きな地震があった。	?トル
292　6.資料末	台風経路図	台風経路図，千葉県他	追加
299　6.資料末	異常気象報告	異常気象報告，千葉県農林部	追加
314　6.資料末尾	気象年鑑	気象年鑑，警察庁	追加
331　被害表		千葉県農林部	表肩に追加
403　解説中段	銚子市南町31明治20年(1887年)～	銚子市南町31（昭和24年9月1日～昭和61年8月23日	訂正



ひ ま わ り 1 号　　可視画像

昭和52年 9 月 8 日11時29分

序

我が国は，ユーラシア大陸の東端に位置するとともに，環太平洋地震帯の一角を占めているため，世界的にも有数の自然災害国である。また，その国内でも更に本州の東南端に位置する千葉県は自然災害を受け易いという宿命を負っているといっても過言ではない。

近年，治山・治水事業が飛躍的な発展を遂げた反面，宅地・道路・ゴルフ場などの開発が進み，災害の質も微妙に変化しつつあると思われる。近年の災害は自然災害に人災が加味されて大災害になる場合もあるであろうし，その反対に昔ならば即災害につながったと思われる自然現象でも，近代技術の進歩によって最小限に食い止められている場合も多くなっていることと思われる。

こうしたことから，過去の災害を顧みることは災害を未然に防いだり，被害を最小限度に食い止めるための対策を立てる上で極めて重要な意義を持っている。

これまで，県当局の深い御理解を得て，昭和31年に「千葉県気象災害史」が発刊され，さらに昭和44年にはその後の分を追加して，改訂増補版が発行されている。従って，これまでに収録されている災害は昭和43年までのものであり，その後20年近く経過しているが，たまたま昨年は銚子地方気象台創立百周年に当っており，これを機に昭和44年以降昭和60年までの気象災害（地震・津波による災害を含む）を収録し，アメダス・ひまわりなどの近代的な気象資料も取り入れ，スタイルを新たにして「千葉県気象災害史第２集」として刊行することになったものである。本誌が千葉県における自然災害防止の一助として，県民の生命・財産の安全確保に役立つならば，気象業務に携わる者として望外の喜びとするところである。

なお，本誌の資料作成には「銚子地方気象台百年誌」編さんと並行して，主として当台防災業務課員が当たったが，中でも数年間にわたり資料収集，原稿作成を担当した同課中沢初三調査官の献身的な努力に負うところが大きい。また，業務多忙中，本誌の編集，校正について協力いただいた日本気象協会職員 森田 進氏に厚く御礼申し上げる。

昭和62年８月

銚子地方気象台長　竹　内　允　志

目　　次

災害番号	発生年月日	災害の種類	災害原因	頁
	昭和44年（1969年）			
1	1月27日	異常高温	低気圧	1
2	2月1日	波浪（海難）	低気圧	3
3	2月5日	強風（たつ巻）	低気圧	5
4	2月5日	波浪（海難）	低気圧	7
5	3月5日	波浪（海難）	低気圧	9
6	3月12日	大雪	低気圧	11
7	3月13日	波浪（海難）	低気圧	13
8	3月29日～30日	大雨（がけ崩れ）	低気圧	15
9	4月4日～5日	強風・波浪（海難・火災）	低気圧	17
10	4月～5月上旬	干害	少雨	19
11	5月24日～25日	大雨	低気圧	21
12	6月14日	ひょう	上層寒気	23
13	6月22日	大雨	低気圧	25
14	6月26日	暴風雨（海難）	低気圧	26
15	7月4日～5日	大雨	低気圧	28
16	7月上旬～中旬	冷害（暖候期の異常低温）	オホーツク海高気圧	30
17	8月23日	暴風雨（大雨・竜巻）	台風9号	34
18	9月2日	雷雨	前線・熱界雷	36
19	10月8日～9日	暴風雨	台風12号	38
20	12月	干害	少雨	40
	昭和45年（1970年）			
21	1月13日	波浪（海難）	前線	43
22	1月16日	大雪	低気圧	44
23	1月30日～31日	暴風雨	低気圧	46
24	2月1日	火災	異常乾燥・強風	48
25	3月16日	波浪（海難）	低気圧	49
26	5月6日～11日	大雨	低気圧	50
27	6月10日～27日	大雨	前線	52
28	7月1日	大雨（南関東の大雨）	低気圧・前線	54
29	7月8日～9月14日	干害	少雨	56
30	7月20日～26日	海水温異常	冷水塊	59
31	8月12日～13日	冷害	異常低温	61
32	9月15日	雷雨	前線	62
33	9月29日	大雨・雷雨	前線	63
34	10月31日	低温	寒冷高気圧	64

災害番号	発生年月日	災害の種類	災害原因	頁
35	11月6日	ひょう	前線	65
36	11月19日～20日	大雨	低気圧	66
37	12月2日	波浪（海難）	低気圧	68
	昭和46年（1971年）			
38	1月17日	強風	季節風	70
39	3月23日	波浪（海難）	低気圧	71
40	4月29日	大雨	低気圧	72
41	5月27日	視程不良（海難）	濃霧	73
42	7月16日～26日	雷雨・大雨	前線・低気圧	74
43	8月29日～31日	暴風雨	台風23号	78
44	8月31日	たつ巻	低気圧	81
45	9月6日～7日	暴風雨	台風25号・前線	84
46	9月6日，11日	異常潮	異常潮位	87
	昭和47年（1972年）			
47	1月21日～22日	火災	前線・異常乾燥	89
48	2月10日～11日	波浪（海難）	低気圧	90
49	3月31日	強風・波浪（海難）	低気圧	91
50	4月2日～3日	凍霜害	寒冷高気圧	92
51	7月14日～16日	暴風雨	台風6号	94
52	7月28日～29日	異常潮位	台風7号	97
53	8月7日	暴風雨	台風13号	98
54	9月12日	ひょう	上層寒気（雷雨）	100
55	9月16日～17日	暴風雨	台風20号	102
56	9月23日～24日	高潮	台風21号	105
57	11月21日	ひょう	前線	107
58	12月1日	波浪・強風（海難）	前線	108
59	12月23日～24日	大雨	低気圧	109
	昭和48年（1973年）			
60	1月25日	視程不良（海難）	濃霧	111
61	2月2日	火災・波浪（火災・海難）	季節風・異常乾燥	112
62	3月7日	火災	少雨・異常乾燥	113
63	5月30日	ひょう	上層寒気	115
64	7月～8月	干害	少雨	117
65	9月30日～10月1日	地震	震度4	119
66	10月13日～14日	大雨	前線	120
67	10月27日～28日	大雨	低気圧・前線	121
68	11月9日～10日	大雨・雷雨	前線	123
69	11月11日～12月31日	火災・干害	異常乾燥	125
70	48年11月11日～ 49年1月20日	干害	異常乾燥	127

災害番号	発生年月日	災害の種類	災害原因	頁
	昭和49年（1974年）			
71	2月27日	大雪	低気圧（寒気）	129
72	3月3日	地震	震度4	131
73	3月22日	火災・強風	低気圧	132
74	3月26日～27日	強風（海難）	低気圧	133
75	5月9日	地震	震度4	134
76	5月27日	ひょう	上層寒気	135
77	6月9日	ひょう	上層寒気	138
78	7月8日	大雨	台風8号・梅雨前線	140
79	6月27日～7月16日	冷害	長雨・低温	142
80	8月1日	雷・ひょう	前線（熱界雷）	144
81	11月16日	地震	震度4	145
82	11月17日～18日	強風	低気圧	146
	昭和50年（1975年）			
83	1月22日	強風	低気圧	147
84	2月8日	地震	震度3	149
85	2月21日	大雪	低気圧	150
86	3月21日	大雨	低気圧	151
87	4月21日～26日	冷害	寒気流入	152
88	4月24日～25日	大雨	低気圧	154
89	5月27日	ひょう	上層寒気	156
90	6月3日	ひょう・雷雨	上層寒気	159
91	7月4日	大雨	梅雨前線	162
92	7月27日	大雨・雷雨	不安定線	164
93	8月	少雨・低温	寒冷高気圧	166
94	8月23日	暴風雨	台風6号	168
95	7月15日～9月21日	干害	少雨	170
96	10月5日	暴風雨	台風13号	173
97	10月8日	大雨	低気圧	175
98	11月5日～7日	暴風雨	低気圧	177
99	11月12日	高潮	台風19号	179
100	11月15日	たつ巻	低気圧	182
101	11月	長雨・強風	台風・低気圧	184
102	12月5日～9日	長雨	低気圧	187
	昭和51年（1976年）			
103	1月	干害	少雨・多照	188
104	3月26日～27日	大雨	低気圧	190
105	4月7日	たつ巻・強風	前線・低気圧	192
106	5月7日～9日	ひょう	上層寒気	194

災害番号	発生年月日	災害の種類	災害原因	頁
107	6月15日～16日	大雨・ひょう	上層寒気	197
108	7月11日～12日	大雨	前線	200
109	6月～9月	冷害	北高型気圧配置	202
110	10月11日	強風	季節風	206
111	11月24日～12月6日	無降水	冬型気圧配置	207
	昭和52年（1977年）			
112	1月23日～24日	大雪	低気圧	209
113	3月30日～31日	大雨	低気圧	211
114	4月18日	強風	低気圧	212
115	4月28日	強風（海難）	低気圧	213
116	6月20～28日	地震	震度3	214
117	7月17日～19日	落雷・大雨	前線・上層寒気	215
118	7月21日～8月6日	無降水	夏型気圧配置持続	216
119	8月7日～27日	長雨・低温	前線・低気圧	218
120	9月19日	大雨	台風11号	222
121	11月17日	強風・大雨（旋風）	前線・低気圧	224
	昭和53年（1978年）			
122	2月28日	ひょう・たつ巻	前線・低気圧	226
123	3月7日	地震	震度4	229
124	4月7日～8日	地震	震度4	230
125	4月25日	ひょう	前線	231
126	6月12日	地震	1978年宮城県沖地震	233
127	7月8日	大雨・雷	前線	234
128	7月上旬～9月下旬	干害	高温・少雨・多照	236
	昭和54年（1979年）			
129	53年11月～54年2月	暖冬	－	238
130	3月30日～31日	強風	低気圧	241
131	4月8日	暴風雨（海難）	低気圧・前線	242
132	5月14日～15日	暴風雨	低気圧	244
133	5月27日	ひょう	上層寒気	246
134	7月20日	大雨	低気圧	248
135	7月27日	大雨・雷	上層寒気（熱界雷）	250
136	9月4日	たつ巻	台風12号	252
137	9月28日～10月1日	暴風雨	台風16号・前線	255
138	10月5日～7日	暴風雨	台風18号・前線	257
139	10月18日～19日	強風	台風20号	259
140	11月10日～11日	大雨	低気圧	263
141	11月28日～29日	大雨	低気圧	264

災害番号	発生年月日	災害の種類	災害原因	頁
	昭和55年（1980年）			
142	4月28日	波浪（海難）	低気圧	265
143	5月6日	強風（旋風）	低気圧	266
144	6月25日	視程不良（海難）	濃霧	267
145	8月2日～3日	大雨	前線	268
146	8月19日	たつ巻	低気圧	270
147	8月	冷害	冷夏	272
148	10月14日	暴風雨	台風19号	274
149	10月25日	波浪（海難）	低気圧	276
150	11月29日	強風（釣舟転覆）	低気圧	277
151	12月12日～13日	強風（海難）	低気圧	278
	昭和56年（1981年）			
152	3月15日	たつ巻	低気圧	279
153	3月15日	波浪（海難）	低気圧	280
154	7月11日	波浪（海難）	前線	281
155	6月～7月	濃霧	親潮異常南下	282
156	8月23日	暴風雨	台風15号	285
157	9月25日～26日	大雨	低気圧	287
158	10月22日～23日	暴風雨	台風24号	288
	昭和57年（1982年）			
159	5月11日	視程不良（海難）	濃霧	293
160	6月3日	波浪・強風（波難）	低気圧	294
161	6月26日～27日	暴風雨	台風5号	295
162	7月23日	地震	震度4	297
163	6月21日～7月31日	冷害	夏季異常低温	298
164	8月1日～2日	暴風雨	台風10号	300
165	8月12日	地震	震度4	302
166	9月10日～13日	暴風雨	前線・台風18号	303
167	9月24日～25日	大雨	前線・台風19号	305
168	10月8日～9日	暴風雨	台風21号	307
169	10月17日	波浪（海難）	北高型	309
170	11月30日	大雨・波浪（海難）	低気圧	310
	昭和58年（1983年）			
171	2月27日	地震	震度4	312
172	5月26日	地震（津波）	日本海中部地震	313
173	6月9日	ひょう・落雷	上層寒気	315
174	6月10日	たつ巻	上層寒気	318
175	6月10日	ひょう・落雷	上層寒気	320
176	6月20日～21日	大雨	前線・低気圧	325

災害番号	発生年月日	災害の種類	災害原因	頁
177	6月26日	大雨	上層寒気	326
178	6月下旬～7月中旬	冷害	異常低温	327
179	7月27日	ひょう・落雷・たつ巻・大雨	上層寒気	329
180	8月15，16日～18日	暴風雨	台風6・5・7号	333
181	9月1日	雷・強雨	上層寒気	338
182	9月28日～29日	暴風雨	台風10号・前線	340
183	10月11日	暴風雨	台風13号	342
	昭和59年（1984年）			
184	1月1日	地震	震度4	344
185	1月17日，18日	地震	震度4	345
186	1月19日	大雪	低気圧	346
187	1月21日	大雪	低気圧	348
188	1月31日～2月1日	大雪	低気圧	349
189	2月6日～7日	大雪	上層寒気	351
190	2月17日～18日	大雪	低気圧	353
191	3月6日	地震	震度4	356
192	1月～6月	寒候期冷害	異常寒気（低温）	357
193	6月23日	大雨	低気圧	370
194	6月26日～27日	がけ崩れ	梅雨前線・低気圧	372
195	7月下旬～9月上旬	干害	少雨・異常乾燥	374
196	9月19日	地震・津波	震度4	380
	昭和60年（1985年）			
197	2月9日	大雨	低気圧	382
198	2月19日～20日	大雨	低気圧	384
199	4月22日～23日	大雨	低気圧	386
200	5月20日～21日	大雨・がけ崩れ	低気圧	387
201	6月18日～20日	大雨	低気圧・前線	388
202	6月30日～7月1日	大雨・大風	台風6号	390
203	8月30日～31日	大雨・大風	台風14号	393
204	9月6日	落雷	上層寒気	397
205	10月4日	地震	震度4	398
206	11月6日～7日	大雨	低気圧	399
207	12月8日	波浪	低気圧	401
208	12月27日	強風・波浪	季節風	402

解説 403

台風 404

気象情報，台風等基準の変遷 411

編集後記 420

災害番号　1

1. 災害の種類(名称)　異常高温
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）1月27日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

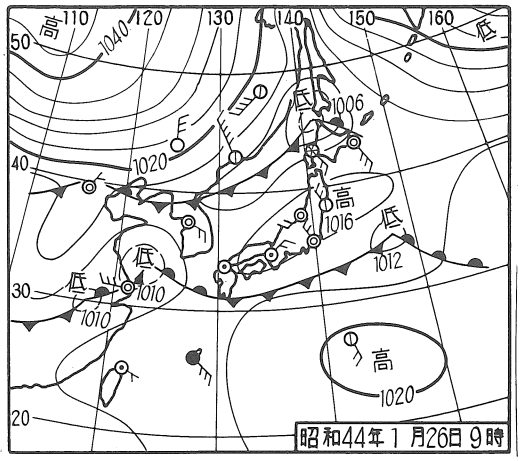
真冬にはめずらしく日本付近は小笠原の高気圧におおわれた。また，26日から27日にかけて低気圧が日本海北部を発達しながら通り，27日は三陸沖で更に発達した。西日本方面から上空に暖気が流れ込み，27日は全国的にバカ陽気となり，静岡では最高気温25.7℃を記録した。県内でも全般に20℃を越え，大多喜では25.1℃と真冬に夏日の気温となった。銚子でも日最高気温は23.6℃を記録，気象台開設（1914年）以来の第1位となった。

昭和44年1月（1969年）　気象表　銚子地方気象台

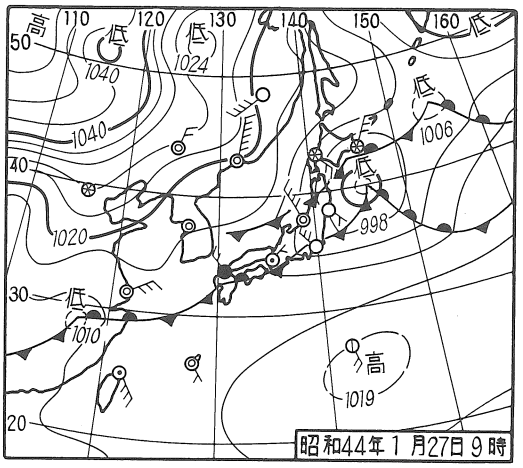
区分＼日	気温			湿度		風			降水量	平均雲量	日照時間	天気概況	
	平均気温 ℃	最高気温 ℃	最低気温 ℃	平均湿度 %	最小湿度 %	平均風速 m/s	最大 風速 m/s	最大 風向 16方位	mm		h	6時～18時	18時～翌日6時
21	9.0	11.8	6.3	83	58	8.2	13.2	NNE	14.0	10.0	−	雨	雨後晴
22	6.3	11.3	4.6	62	55	5.3	9.8	NNE	0.5	9.0	2.5	曇	曇時々雨
23	9.6	16.3	3.5	71	54	4.6	9.2	SW	0.0	4.5	7.7	晴一時曇	快晴
24	8.7	11.1	7.3	64	55	3.4	6.5	NNE ENE	−	3.3	4.9	晴後曇	晴後曇
25	9.6	10.7	7.8	86	69	5.9	8.5	NE	7.5	10.0	−	雨	雨後曇
26	10.6	13.4	8.7	83	75	3.7	7.8	NNE	0.0	10.0	−	曇	曇
27	14.2	23.6	7.6	77	48	3.8	8.7	ENE	−	6.3	8.7	晴	曇
28	11.6	13.7	8.7	78	69	6.0	8.7	NNE	1.0	9.5	−	曇	雨
29	6.5	9.2	5.1	91	80	11.1	14.7	NNE	23.0	10.0	−	雨	雨
30	7.4	8.4	6.0	88	80	8.7	11.5	N	22.0	10.0	−	雨	雨
31	10.5	14.1	7.9	94	82	4.5	8.2	E	40.5	10.0	−	雨	雨
旬平均	9.5	13.1	6.7	80		5.9			108.5	8.4	23.8		
月平均	6.7	11.2	2.7	64		4.7			121.0	5.2	160.1	日照率　52%	
平年	5.7	9.7	1.7	64		5.8			83.8	4:5	175.6		

県内各地の観測表　日最高気温（℃）　27日

館山　23.2	千葉　20.7	勝浦　22.0
八日市場　24.3	成東　23.4	片貝　23.7
大多喜　25.1	鴨川　24.9	千倉　23.5
富山　23.5	木更津　22.5	牛久　22.5
野田　22.2	佐倉　21.0	佐原　22.0
松戸　22.5	茂原　22.8	



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害　——

6. 資　料　千葉県気象年報，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　2

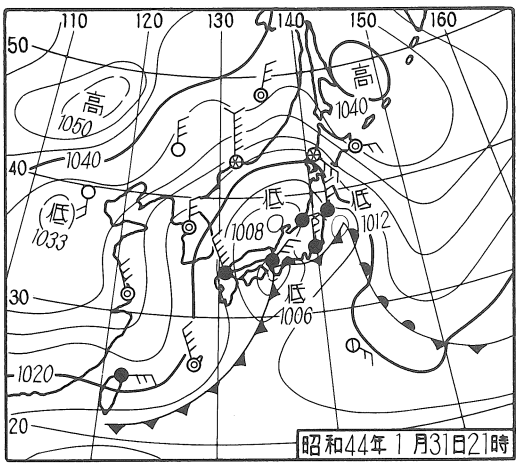
1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）2月1日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

1月31日夜，紀伊半島付近と能登半島付近にあった低気圧が，1日は北海道の南に進んでや、発達した。これらの低気圧に伴う寒冷前線が1日午前5時30分頃銚子付近を通過した。

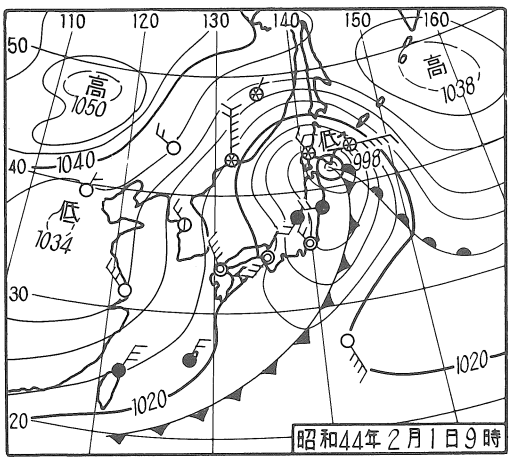
遭難当時の気象表(銚子地方気象台)　昭和44年2月1日01～08時

日時	気圧 (mb)	気温 (℃)	風 風向 (16方位)	風 風速 (m/s)	降水量 (mm)	雲量 (10分比)	天気	視程 (km)	記事
1．01	1006.9	15.0	S	5.8	1	10	●	3	－＝●－
1．02	1006.1	15.4	SSW	9.0	2	10	●	4	－＝●－
1．03	1004.0	16.9	SSW	15.2	2	10	●	4	－＝●－
1．04	1004.8	11.1	WNW	7.5	2	10	●	4	－＝●－
1．05	1005.3	9.5	WNW	3.2	2	10	●	6	－＝●0545－
1．06	1005.4	10.2	SW	6.3	0	10	◎	3	－＝－
1．07	1006.1	9.6	WNW	2.7	－	10	◎	3	－＝－
1．08	1007.1	9.1	WNW	4.1	－	10	⊗	8	－＝－

最大風速　S　15.2 m/s　1日02時50分
　　SSW　15.2 m/s　1日03時00分
最大瞬間風速　SSW　22.5 m/s　1日02時55分



地上天気図

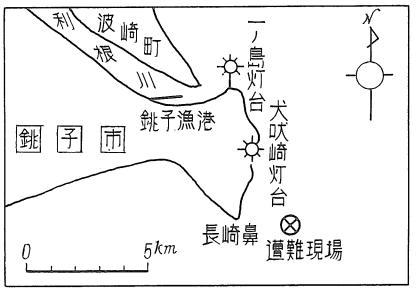


地上天気図

5. 被　害

前線の通過直後，銚子港を出港して勝浦沖に向う途中の突きん棒漁船「清福丸」(10トン)は，銚子市長崎海岸東方沖2㎞付近の海上で転覆大破し，乗組員6名中2名が行方不明となった。

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図



清福丸の遭難位置図（2月1日）

災害番号　3

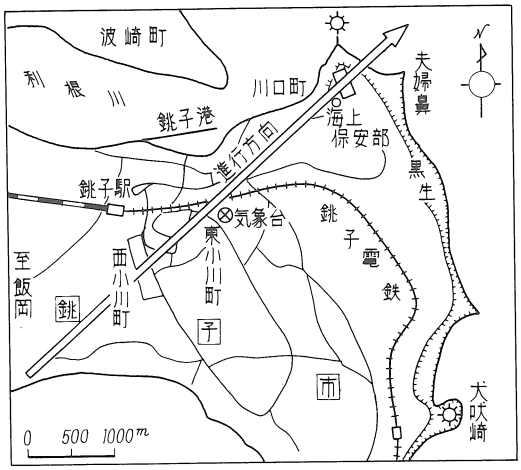
1. 災害の種類(名称)　強風（たつ巻）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）2月5日
3. 発生原因　低気圧
4. 気象概況

3日夜，台湾付近に発生した低気圧が発達しながら南沿岸沿いを東北東に進み，5日午前6時40分頃，銚子付近を通り，東海上で更に発達した。この低気圧が通過する際，経路にあたった銚子市内3ヶ所で小規模ながらたつ巻が発生した。

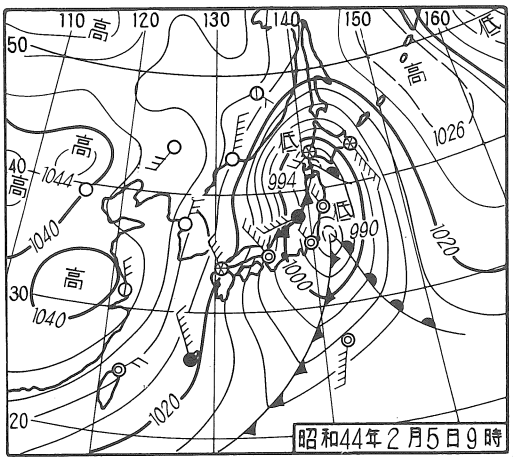
当時の気象状況表(銚子地方気象台)　昭和44年2月4日23時～5日09時

日時	気圧 (mb)	気温 (℃)	湿度 (%)	風 風向 (16方位)	風 風速 (m/s)	雲量 (10分比)	天気	降水量 (mm)	記事
4．23	1010.6	8.1	96	SSW	3.2	10	●	2.5	
24	1009.0	11.1	88	SSE	10.5	10	●	0.5	
5．01	1006.0	12.0	87	SSE	10.7	10	▽	2.0	－＝●－0047－0057＝▽－0115＝－
02	1002.7	12.1	87	S	11.2	10	▽	1.0	－＝0119＝▽－320＝●－
03	1001.6	13.3	78	SSE	12.0	10	▽	0.0	－＝●－
04	998.6	13.7	84	SSE	13.8	10	●	0.0	
05	995.6	14.1	93	SSE	13.0	10	●	1.0	
06	993.0	15.2	93	SSE	17.5	10	●	1.0	－＝●－(●²0643－0646)－0955＝－
07	993.0	9.5	96	NW	5.2	10	●	9.5	－＝－
08	992.9	7.9	96	NW	3.8	10	●	4.0	－＝－
09	992.0	8.7	95	WNW	3.7	10	●	1.5	

最大風速　SSE　17.5m/s　06時00分
最大瞬間風速　SSW　32.3m/s　06時43分
日最大10分間降水量　5.5mm　06時46分



たつ巻経路図



地上天気図

5. 被　害

家屋一部破損34戸，テレビアンテナ折損数10本等

被　害　表　　銚子消防署調べ

西小川町	気象台付近	川口町	備考
一部破損　34戸	トタン板塀飛散　数ヶ所	納屋一部破損　3戸	直径80m位
非住家破損　1戸	TVアンテナ折損　数10本	—	—
物置倒壊　3戸	—	—	—
TVアンテナ折損　数10本	—	—	—

6. 資　料

千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　4

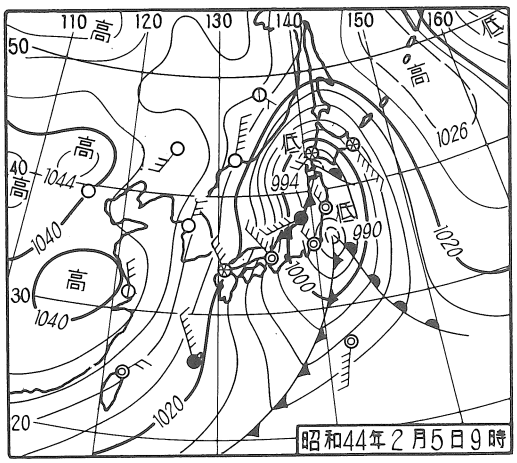
1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）2月5日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

5日早朝，銚子付近を通った低気圧は，三陸沖で更に発達し，翌6日はオホーツク海で台風並の低気圧となった。この影響で千葉市付近では，5日午前11時50分頃から，北西の季節風が強まり，10m/sを越え，瞬間風速は20m/sに達した。

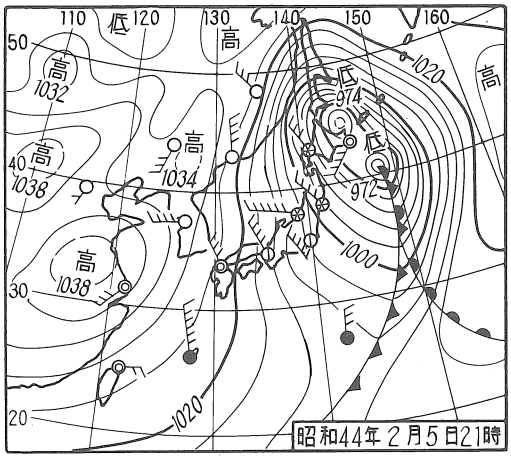
遭難当時の気象表(千葉測候所)　2月5日

日時	気圧(mb)	気温(℃)	風 向(16方位)	風 速(m/s)	降水量(mm)	雲量(10分比)	天気	視程(km)	備考
5 09	993.7	5.2	NW	3.2	16.0	10⁻	◎	7	降水量は3～9時
10			NW	6.2					
11			NW	7.5					
12		11.3	NW	13.3					
13			NW	11.7					
14			NW	11.5					
15	993.5	7.9	NW	11.8	−	10⁻	⊗	12	
16			NW	11.5					
17			NW	10.5					
18		4.7	NW	12.2					
19			NNW	10.2					
20			NW	9.5					
21	1003.4	1.6	NW	8.8	−	10⁻	◎	20	

最大風速　NW　13.8 m/s 5日16時40分
最大瞬間風速 NNW　23.4 m/s 5日15時41分
最低気圧　990.5mb　5日12時05分



地上天気図



地上天気図

5．被　害

5日午後5時35分頃，千葉県館山港所属の第5昭和丸（191.8トン）は，市原航路付近で強風のため横波を受けて転覆し，乗組員4名中1名死亡，2名が行方不明となった。

6．資　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，千葉海上保安部，印刷天気図

災害番号　5

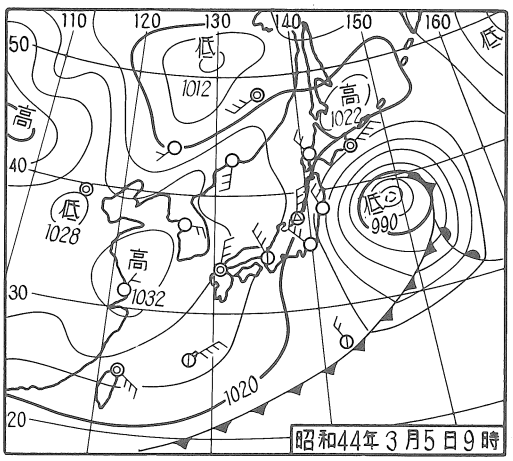
1. 災害の種類(名称)　波　浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）3月5日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

4日，日本海と本州南岸を進んだ低気圧が三陸沖で1つにまとまって発達し，5日午後3時には中心気圧948mbと小型台風並になった。このため全般に北西の風が強まり，千葉市付近では，5日午前5時頃から西～北西の風が10m/s以上となった。また，銚子でも昼間はやは

遭難当時の気象状況表(銚子地方気象台)　昭和44年3月5日

日時	気圧 (mb)	気温 (℃)	風 風向 (16方位)	風 風速 (m/s)	視程 (km)	雲量 (10分比)	雲形	天気	記事
5. 08	1014.4	4.6	NW	6.2	40	1	Cu	○	
09	1015.5	6.7	NW	9.2	50	1	Cu･Ac	○	
10	1016.1	8.3	NNW	9.7	50	1	Cu	○	10時波高4m
11	1017.4	8.9	NNW	12.2	50	3	Cu	◐	
12	1018.3	9.7	NNW	10.5	50	4	Cu･Ac	◐	
13	1018.4	9.9	NNW	10.3	50	2	Cu	○	
14	1019.1	9.7	NNW	8.7	50	2	Cu	○	
15	1019.9	9.3	NW	8.0	50	2	Cu	○	
16	1920.7	7.5	NNW	7.7	40	1	Cu	○	
17	1021.3	8.1	NNW	5.8	30	4	Cu	◐	
18	1022.2	7.3	NNE	5.8	30	2	Cu	○	

最大風速　NNW　12.8m/s　5日10時10分
最大瞬間風速　NNW　19.2m/s　5日09時59分



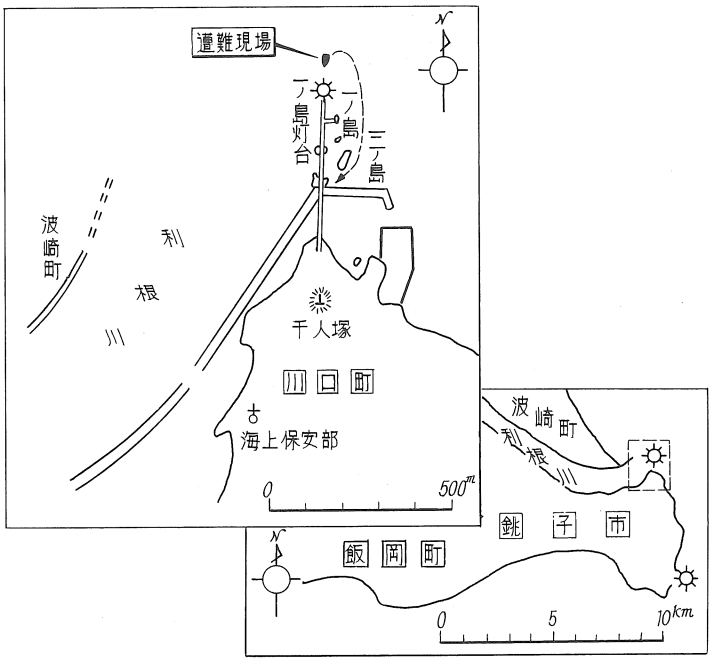
地上天気図

り10m/sを越え，瞬間風速は20m/s近くに達した。この影響で，銚子一ノ島川口付近では，午後5時の満潮時には5～6 mの波浪に高まった。

5. 被　害

1) 5日午後4時50分頃，漁船第28山仙丸（48トン）が転覆し，乗組員14名中1名が死亡9名が行方不明となった。

2) また，5日午前5時頃千葉市付近では，魚釣船が遭難し，1名が死亡，2名が行方不明となった。



山仙丸遭難位置図　昭和44年3月5日

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図，京葉地帯の気候と気象災害(昭57.10. p 30)

災害番号　6

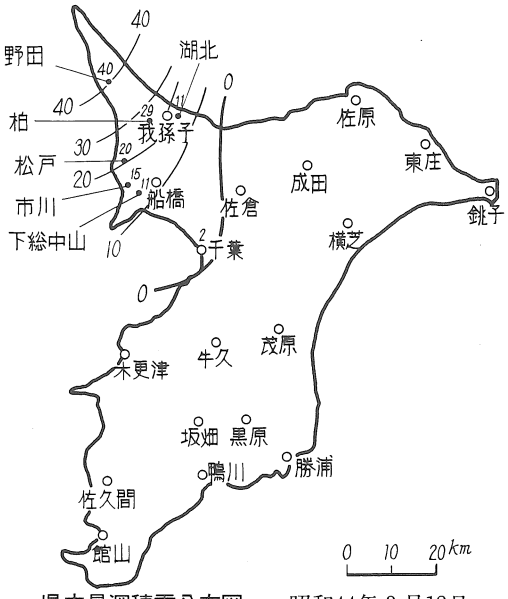
1. 災害の種類(名称)　大雪
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）3月12日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

3月11日，台湾付近に発生した低気圧が北東に進み，12日には急速に発達して，早い速度で房総沖を通過した。このため，県下全般に北よりの風雨が強まった。特に県北西部では，12日午前3時頃から雪に変わり，低気圧が房総沖に抜ける午後7時頃まで続いた。最深積雪

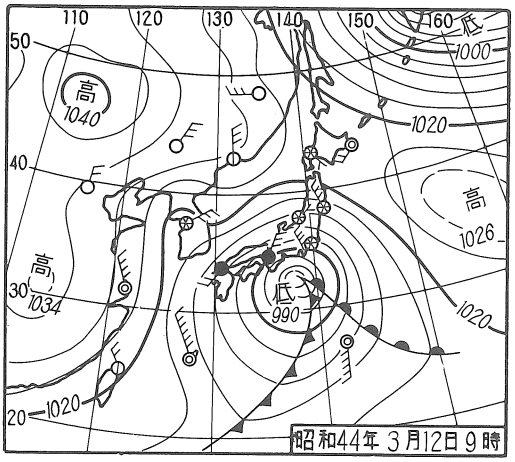
気象状況表(千葉測候所)　昭和44年3月12日

日時	気圧 (mb)	気温 (℃)	風 風向 (16方位)	風 風速 (m/s)	降水量 (mm)	天気	積雪深 (cm)	記事
12. 03	1019.5	1.9	N	5.2	0			0240＝＊－0430，Vis＝＊（0545Vmin1.5km）－0635＝＊0645＝⁂－0715＝●－1435＝⁂－1445＝＊－1550＝⁂－1945，2205●－2250＝●－，
06		0.3	N	5.2				
09	1006.2	1.4	N	9.0	14	●	0	
12		5.7	NNE	10.7				
15	989.4	0.6	NNW	13.2	36	＊		
18		0.6	NW	8.2				
21	999.4	1.1	N	2.3	2	◎		
24		1.0	ESE	0.3	1			

最大風速　NNW　13.2m/s　15時00分
最大瞬間風速　NNW　23.9m/s　14時33分



県内最深積雪分布図　昭和44年3月12日



地上天気図

は，野田40cm，柏29cm，松戸20cm，市川15cm，下総中山11cm，湖北11cm，千葉２cmを観測した。これは何れも３月としては観測開始以来の大雪の記録となった。

5．被　害

積雪地域では一時交通がまひし，また，農作物にも大きな被害を与えた。

6．資　料　千葉県気象月報，千葉県気象年報，異常気象原簿，気象日原簿，印刷天気図

災害番号　7

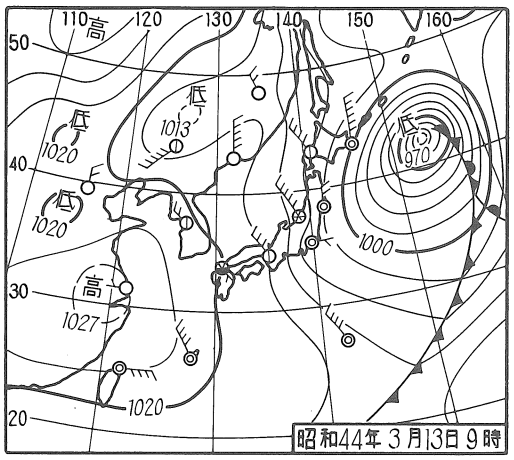
1. 災害の種類(名称)　波　浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）3月13日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

前日，県北西部に3月としては記録的な大雪をもたらした低気圧は，北海道のはるか東方海上に遠ざかったが，銚子付近では明け方まで強風が吹き，なお5～6mの高波が残っていた。

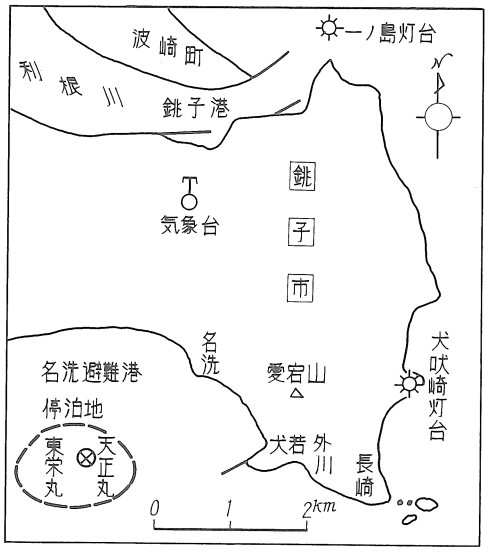
事故当日の気象状況表(銚子地方気象台)　昭和44年3月13日

日時	気圧 (mb)	気温 (℃)	風 風向 (16方位)	風 風速 (m/s)	視程 (km)	天気	記事
10.01	994.6	26	NW	5.5	20	●	
02	995.4	27	NW	6.2	25	●	
03	996.4	24	WNW	7.0	25	⊗	
04	998.1	24	NW	7.3	40	⊗	
05	991.6	25	NW	7.8	40	⊕	
06	1001.7	25	NW	5.5	40	◎	

最大風速　NW　8.2m/s　13日05時40分
最大瞬間風速　NW　11.2m/s　13日05時06分



地上天気図



事故貨物船位置図

5. 被　害

1）川崎港から室蘭港に向う途中の鋼材（450トン）を積んだ広島県の貨物船天正丸（399トン）は，大シケのため11日夕刻から銚子市名洗港沖に避難していたが，13日午前4時頃，錨巻き上げ中，突然襲ってきた大波にさらわれて3名が行方不明となった。

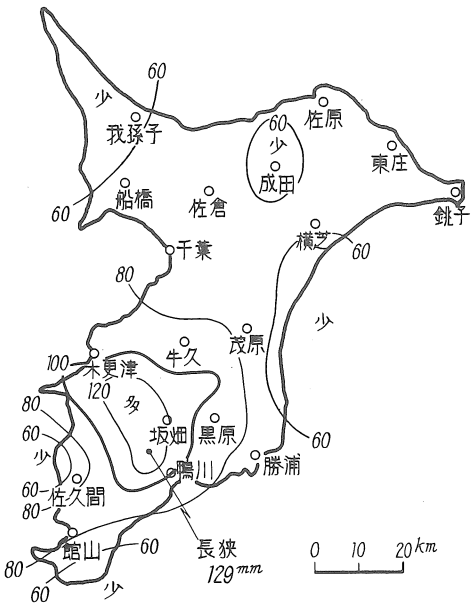
2）また，同避難港付近で，香川県の貨物船東栄丸（495トン）は避難中の13日午前0時頃，錨が切れて漂流したが，乗組員は無事であった。

6. 資　料　異常気象原簿，印刷天気図

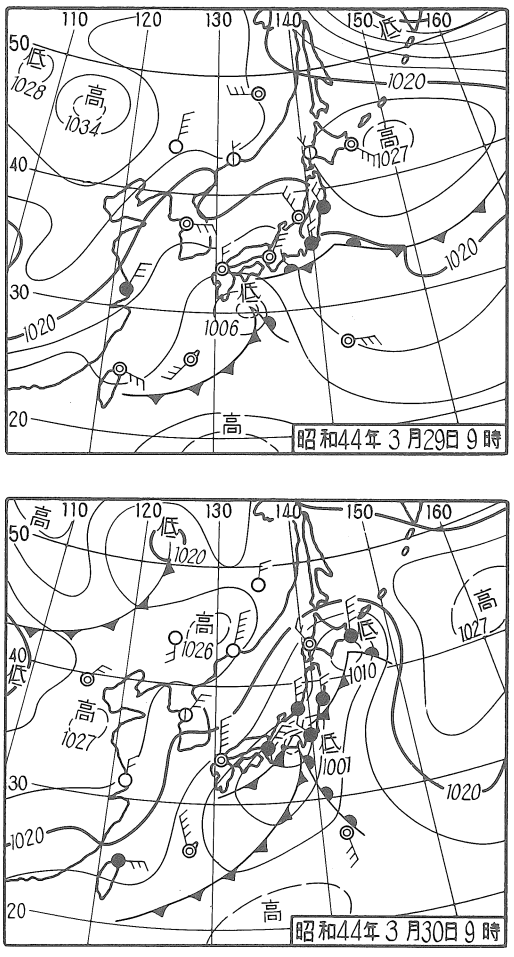
災害番号　8

1. 災害の種類(名称)　大雨（がけ崩れ）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）3月29日～30日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

29日，四国沖にあった低気圧が，発生しながら東北東に進んだ。また，関東の南海上に停滞していた前線上には同日午後3前頃1,014mbの副低気圧が発生して北東進し，あとから接近した低気圧は1,000mbと発達して房総沖をかすめた。この影響で県下は大雨となり，29日の雨量は，房総南部で100㎜を越え，特に県南の山間部では総降水量140㎜に近い大雨となった。



県内降水量分布図（㎜）
（昭和44年3月29日）



地上天気図

5. 被　害

この大雨の影響で，銚子市と千倉町で土砂崩れが発生し，銚子市では負傷者１名が出た。

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図

被　害　表　　県警本部調

種別＼警察署別	銚　子	千　倉
負傷者	１人	
建物一部破損	１棟	
道路損壊		１ヶ所
崖くずれ	１ヶ所	１ヶ所
備考	銚子区春日台町 崖崩れ６ｍ×16m 30日15時00分頃	丸山町 30日15時30分頃

災害番号　9

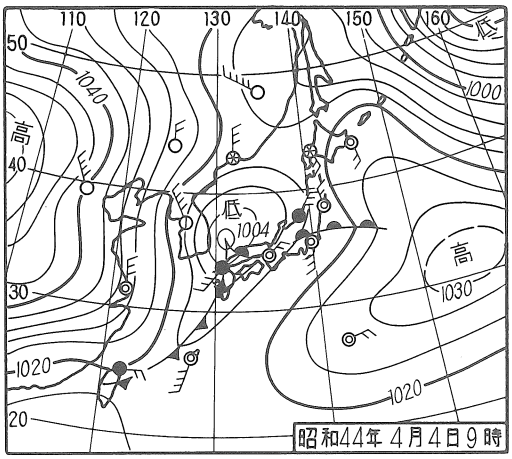
1. 災害の種類(名称)　強風・波浪（海難・火災）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）4月4日～5日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

4日,対馬海峡から日本海に入った低気圧が発達しながら北東に進み，同日午後9時には秋田沖で992mbに，5日午前9時には三陸沖へ抜けて980mbにまで発達した。

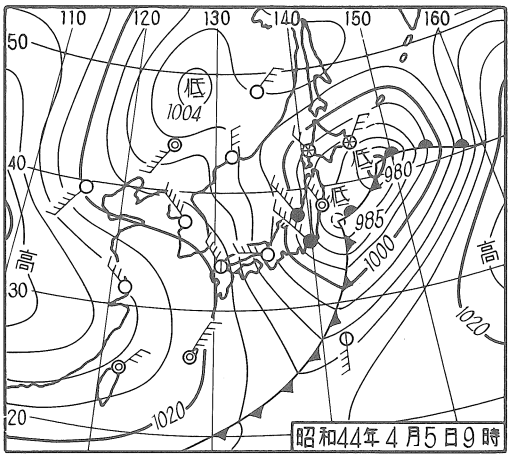
これらの低気圧の通過に伴う南西の風が，4日夜には県下全般に強まり,最大風速は15～21 m/sに達した。

気象官署の極値表

官署名	最大風速（m／s）			最大瞬間風速（m／s）		
	風向	風速	日時分	風向	風速	日時分
銚子	SSW	19.7	4 22.50 23.40	SSW	29.1	4 22.36
館山	S	15.3	4 21.40	S	27.2	4 20.49
千葉	SSW	20.3	4 23.50	SSW	30.8	4 23.41 5 00.08
勝浦	SSW	21.3	4 22.30	SSW	31.2	4 22.16



地上天気図



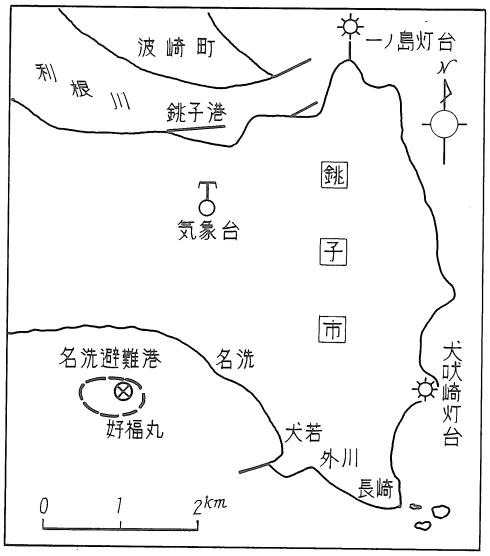
地上天気図

5. 被害

5日午前2時頃，銚子名洗港の南約300m沖合で仮泊中の貨物船好福丸（435トン）が強風による走錨のため，浅瀬に乗り上げ，船底から浸水，5日午前7時に沈没したが，乗組員6名は全員救助された。

また，大網白里町と長生村では火災が発生したが，大事には至らなかった。

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，異常気象原簿，印刷天気図



事故貨物船位置図　（昭和44年４月５日）

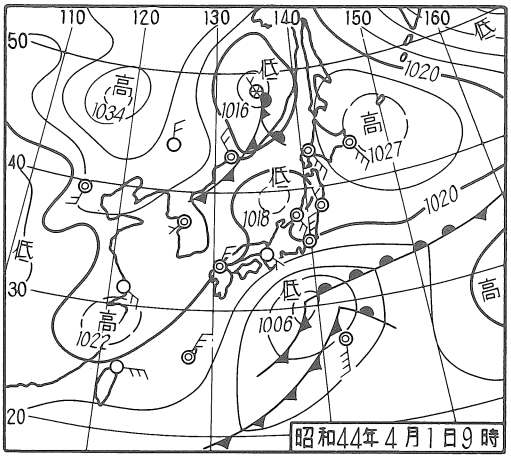
災害番号　10

1. 災害の種類(名称)　　干害
2. 災害発生年月日(期間)　　昭和44年（1969年）４月～５月上旬
3. 災害原因　　少雨
4. 気象概況

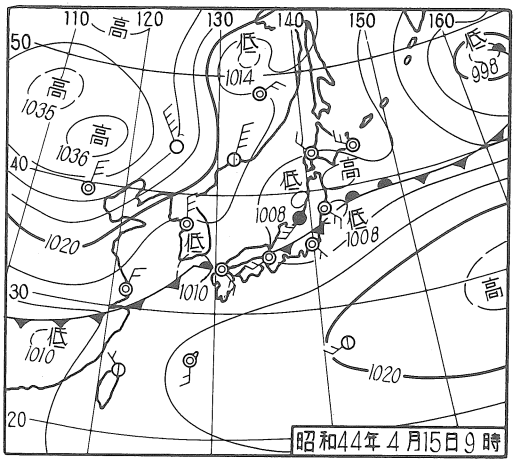
この年の３月から５月にかけて，日本の上空には，強い寒気と暖気が交互に流入したため，地上気温の変化が著しく，また，日本付近でしばしば低気圧が発達したが，雨量は少なく，殊に房州では異常渇水となった。４月の降水量は県下全般に平年の半分位であったところへ，５月の上旬は干天が続いたため，田植最盛期に入って，水不足や異常干害が発生し始めた。５月10日～11日は恵みの雨となったが，４月16日の雨は焼け石に水の感があった。夷隅郡，安房郡においては，４月の降水量は平年の約1/3しか降らず，特に水不足が深刻であった。

県内降水量表　　昭和44年４月

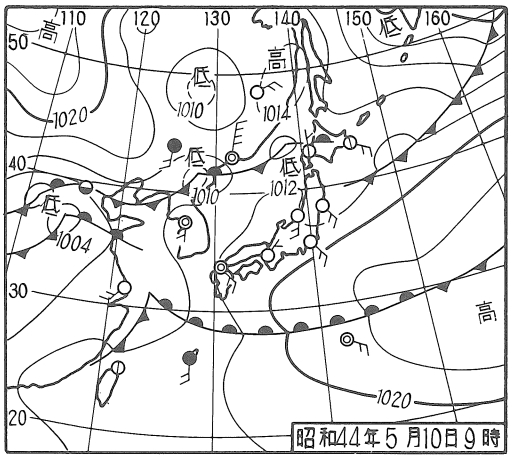
地名／日	銚子	八日市場	成東	片貝	一宮	勝浦	大多喜	上総	清和	長狭	鴨川	千倉	富山	天羽	木更津	牛久	千葉	市川	野田	佐倉	下総	佐原	笹川	松戸	本納	茂原
1	－	－	－	－	－	1	－	－	0	－	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3	0	－	－	－	－	0	－	－	－	－	0	0	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
4	11	9	7	8	10	12	25	0	3	2	11	23	11	18	9	13	4	10	4	5	8	6	17	12	8	10
5	2	3	3	4	－	0	－	－	－	－	0	0	－	0	－	－	0	－	－	0	2	1	0	1	－	－
6	12	0	1	3	－	0	－	－	0	－	0	0	－	0	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－
7	2	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
8	5	3	2	10	3	0	4	8	7	0	8	10	4	11	8	4	7	4	－	－	3	8	13	3	3	6
9	6	10	5	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	5	8	12	8	7	8	7	3	2
10	－	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	－	1	－	－	－	－	－	－
旬	38	25	18	29	13	13	29	8	10	2	20	35	15	29	17	17	13	19	12	18	21	22	38	23	14	18
11	－	－	－	0	1	1	－	1	0	1	1	－	0	0	0	－	0	0	－	0	－	－	－	－	0	－
12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
13	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
14	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	0	0
15	1	1	1	0	0	1	1	1	－	2	0	－	0	0	－	0	0	0	1	2	4	2	2	4	0	0
16	31	32	33	28	32	41	50	47	54	40	31	26	40	40	28	30	34	43	25	37	41	34	28	50	43	49
17	4	6	5	3	1	2	3	5	3	2	0	1	2	1	2	5	5	0	2	2	6	5	6	1	3	4
18	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	0	－	－	0	－	－
19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
旬	36	39	39	31	34	45	54	54	57	46	32	28	42	41	30	35	39	43	28	42	51	41	36	55	46	53
21	1	1	1	1	1	0	0	－	－	0	0	4	0	0	0	1	0	1	2	1	1	－	1	2	－	－
22	26	3	1	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	5	2	1	2	2	1	7	1	－
23	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－
24	0	0	－	0	－	0	0	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	0	－	－	－	0	－	－
25	5	4	3	3	3	3	4	6	2	3	3	－	0	2	3	4	0	1	3	2	4	3	5	2	4	5
26	0	0	－	－	－	0	0	－	－	1	－	－	－	－	－	0	－	0	－	0	－	－	－	－	－	－
27	0	0	－	0	－	0	0	1	－	－	－	－	－	0	0	0	0	－	－	0	－	－	－	－	0	－
28	－	0	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－
29	7	6	6	4	3	3	2	4	3	8	6	1	9	8	8	8	0	0	0	4	－	2	2	4	4	5
30	0	0	－	－	－	0	0	0	1	0	－	－	－	0	－	0	－	－	2	0	2	3	1	2	－	0
31																										
旬	39	14	11	9	8	6	6	11	6	13	9	5	9	10	11	13	0	8	10	8	9	10	10	17	9	10
月合計	113	78	68	69	55	64	89	73	73	61	61	68	66	80	58	65	52	70	50	68	81	73	84	95	69	81



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　　害　　——

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

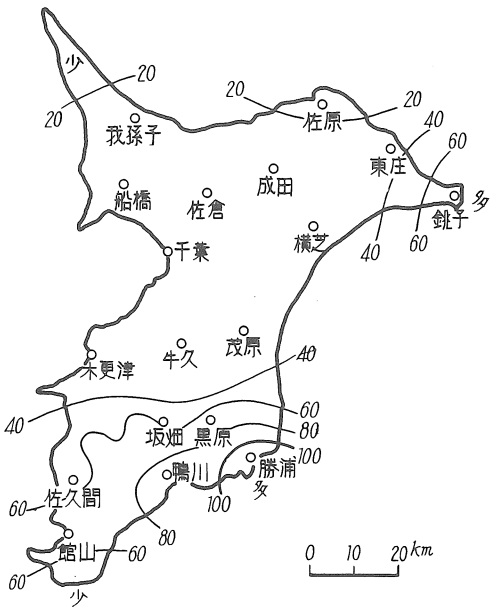
災害番号　11

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）5月24日～25日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

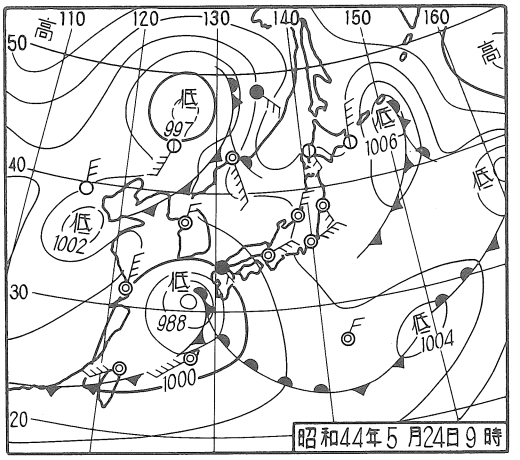
24日，東シナ海で低気圧が発達し，九州付近で2ツ玉低気圧となって東へ進んだ。この影響で，太平洋側の各地では一時激しい雨がふり，勝浦では降水量は100㎜を越えた。また，銚子では25日12時15分から13時15分までの1時間降水量は42.0㎜で5月における最大順位第1位を記録した。

銚子・勝浦の降水量，風向・風速表　　5月24～25日

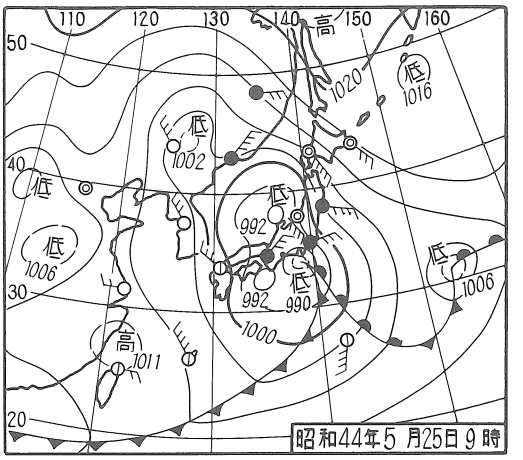
要素＼官署名	銚子		勝浦	
	㎜	起日・時・分	㎜	起日・時・分
10分間最大降水量	9.5	25. 13. 10	11.5	25. 10. 25
1時間最大降水量	42.0	25. 13. 15	39.5	25. 10. 55
日最大降水量	72.0	25. 24. 00	109.5	25. 24. 00
総降水量（24日～25日）	72.0	24. 23. 50～25. 19. 40	109.5	24. 23. 25～24. 15. 14
要素	風向風速m/s	起日・時・分	風向風速m/s	起日・時・分
最大風速(10分間平均)	NNW 13.0	25. 17. 50	NW 9.3	25. 15. 40
最大瞬間風速	NW 18.2	25. 18. 44	ESE 15.4	25. 06. 14



降水量布分図(㎜)
(5月24日9時～26日9時)



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　　害

24日夜半から25日午後にかけ，勝浦市を走る国道128号線で，約500mにわたって30cm冠水した。また，銚子市内の国道126号線も冠水し一時通行止めとなった同市内幸町，飯沼町では側溝の汚水が民家の床下に浸水した。

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図

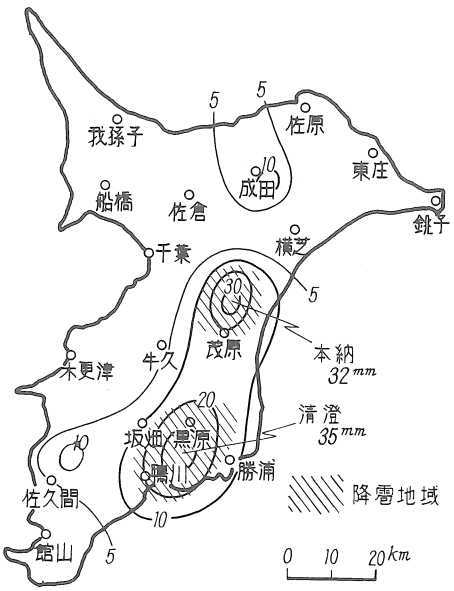
災害番号　12

1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年(1969年) 6 月14日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

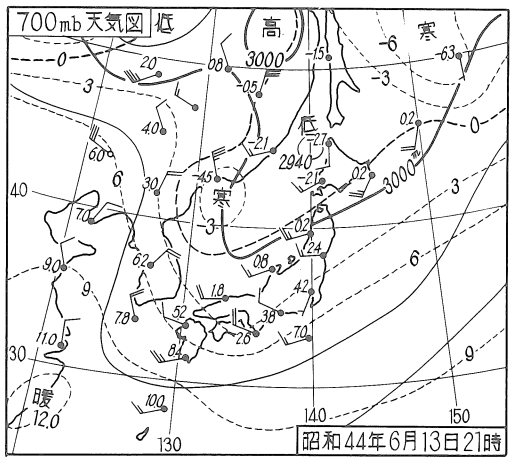
低気圧が銚子沖に去ったあと，日本の上空には寒冷な空気が入って大気の状態は不安定となった。700mb 天気図(上空約3,000m)に示す通り，13日午後 9 時日本海上空は氷点下となっている。翌日同時刻には，その中心は東海上に移っている。この寒気と強い日射で昼前から東海・関東周辺で発雷した。当県でも午後 2 時から 3 時にかけ，茂原市を含む長生郡一帯と鴨川町周辺で大豆位のひょうが降った。

気象官署の観測表　　6月14日

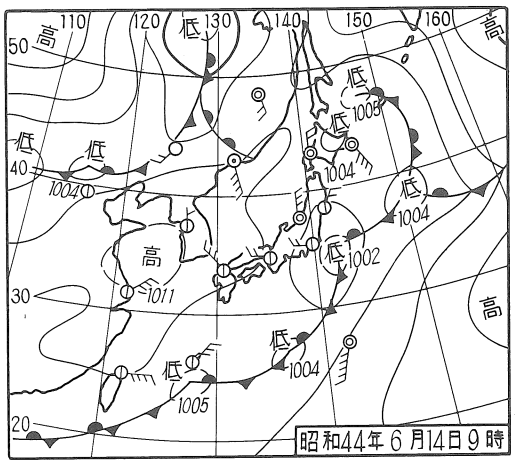
官署名	最大風速 m/s		最大瞬間風速m/s	記事
銚子	風向風速	NNW 13.2	NNW 18.6	1519T°(SW10～20)－1532
	起時	14. 40	14. 29	
館山	風向風速	NNW 6.3	NNW 11.5	1509R⁰(N 10～20)－1538
	起時	14. 40	14. 31	1640R⁰(NW10～20)－1705
千葉	風向風速	NNW 12.8	NNW 17.4	1339T°(NW 5～10)－R⁰(NW 5)－
	起時	13. 50	13. 48	R⁰(NW～SE)－1450
勝浦	風向風速	N 7.0	N 12.7	1428 T°(W10～20)－R²－1618
	起時	15. 10	15. 02	



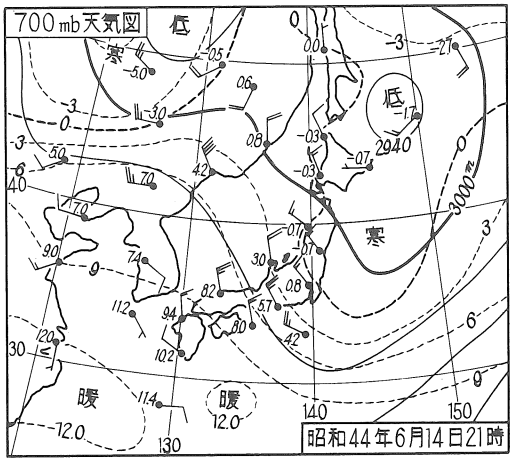
県内日降水量分布図(mm)
(昭和44年 6 月14日)



高層天気図



地上天気図



高層天気図

5. 被　　害　　降ひょうによる農作物の被害は，2,400余万円となった。

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，県農産課，印刷天気図

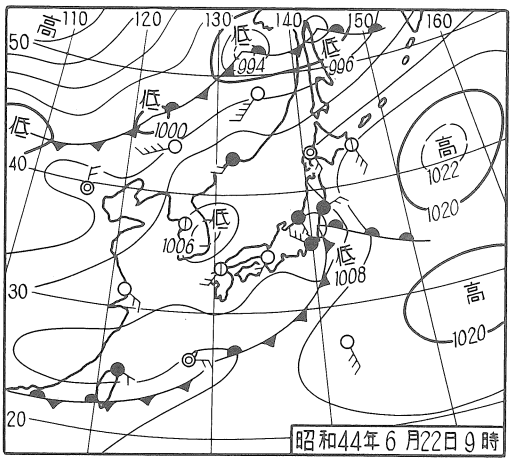
災害番号　13

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）6月22日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

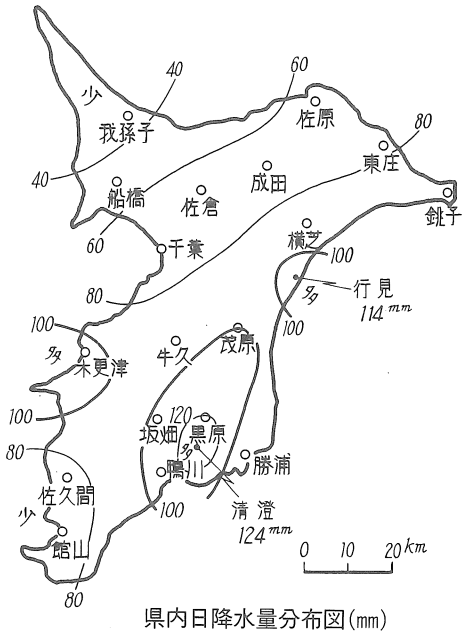
21日，屋久島付近に発生した低気圧が梅雨前線上を北東進した。この低気圧は22日午前3時に伊豆半島に達し，東京湾を通って正午頃三陸沖に去った。この影響で，県内では21日から降り続いていた雨が，22日夜に入って南よりの強風を伴う大雨となり，県南部の降水量は120mmに達した。

気象官署の観測値　6月22日

官署名	風向風速m/s 平均最大	風向風速m/s 最大瞬間	降水量mm 10分内最大	降水量mm 1時内最大	降水量mm 日最大	降水量mm 総降水量
銚子	SSE 12.8 04.20	SSE 17.3 03.36	12.0 04.38	39.0 04.53	88.0	94.5
館山	E 9.2 02.50	E 15.4 02.44	11.0 03.05	18.0 03.07	40.0	74.5
千葉	SSW 11.7 20.40	SSW 15.6 21.34	7.0 02.38	20.5 03.15	56.5	69.0
勝浦	S 14.7 03.30	S 20.0 03.17	16.0 04.00	26.5 04.36	65.5	91.0



地上天気図



県内日降水量分布図(mm)
(昭和44年6月22日)

5. 被害

長生，夷隅，安房の3郡で特に被害が目立ち，負傷者1名，家屋半壊4戸，がけ崩れ6件

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，県警本部調，印刷天気図

災害番号　14

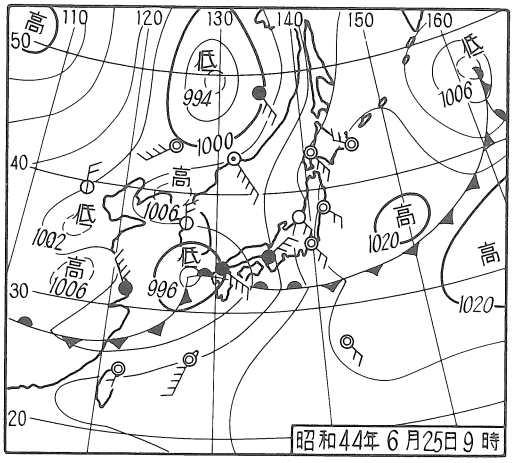
1. 災害の種類(名称)　暴風雨（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）6月26日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

25日，東シナ海にあった996mbの発達した低気圧は，対馬海峡を通り，25日夜から26日早朝にかけて非常に早い速度で日本海を北上し，中心気圧990mbと台風並になって樺太方面に去った。県下では南の強風を伴う大雨となり，降水量は県南部を中心に多くなった。

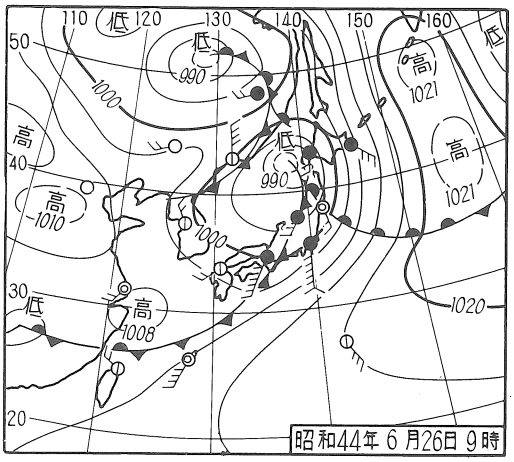
気象官署の観測値　6月26日

要素 / 官署	最低気圧(海面) 気圧 mb	起時 日時分	最大風速(10分間平均) 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	999.7	26.16.17	S	19.3	26.10.20	S	27.2	26.10.11
千葉	999.6	26.10.28 26.12 35	SSW	19.8	26.12.35	SSW	28.0	26.12.35
館山	1006.8	26.00.00	SSW	13.3	26.11.40	SSW	24.3	26.11.25
勝浦	1000.8	26.12.42	SSW	18.3	26.13.00	SSW	27.2	26.12.41

要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水 mm	起時 日時分	総降水量 降水 mm	起時 日時～日時
銚子	1.5	～03.38	6.5	～04.33	17.5	26.24.00	20.0	25.1705～ 26.1613
千葉	2.0	～02.30	7.5	～03.00	25.0	26.24.00	27.5	25.1725～ 26.1240
館山	5.0	～02.43	14.5	～02.43	63.0	26.24.00	90.5	25.1515～ 26.1805
勝浦	3.5	～03.55	11.0	～04.00	41.0	26.24.00	44.0	25.1505～ 26.1426



地上天気図



地上天気図

5. 被　害

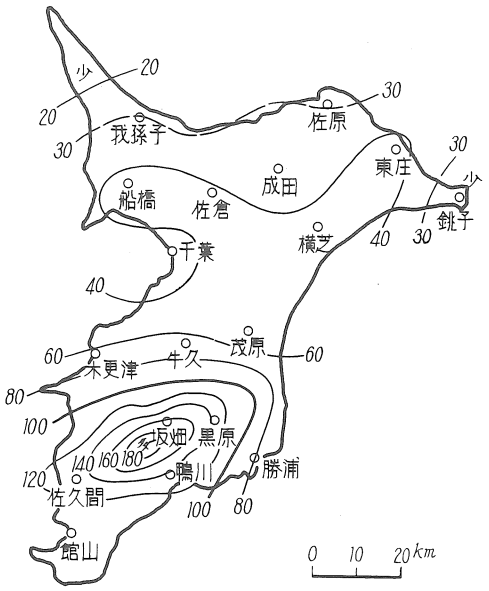
農作物被害１億2,000万円，家屋道路の損壊やがけ崩れ等の被害が生じた。

家屋半壊２戸（船橋・市川），家屋一部破損２戸（千葉中央・船橋），非住家被害４戸（船橋・習志野）

障害回線数…松戸200，市川150，船橋130，千葉180，習志野140

船舶流出…１隻（市原市姉ヶ崎海岸で杭打船）

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図　京葉地帯の気候と気象災害（昭57．10．p30）



県内降水量分布図(mm)
昭年44年６月25日９時～27日９時

災害番号　15

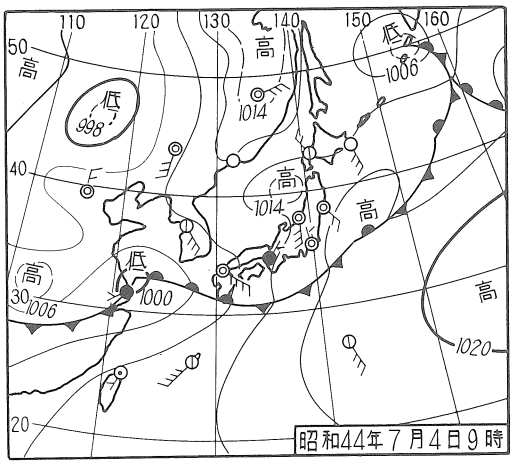
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）7月4日～5日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

梅雨前線が南岸に停滞し，この前線上の上海付近に発生した低気圧は，発達しながら東北東に進み，山陰沖から関東北部を通り，6日朝には東方海上に去った。このため県下では南西風が強まり，強い雨を伴った。県南部の山岳地帯では4日～5日の2日間で100㎜前後の大雨となり，長狭では116㎜を観測した。

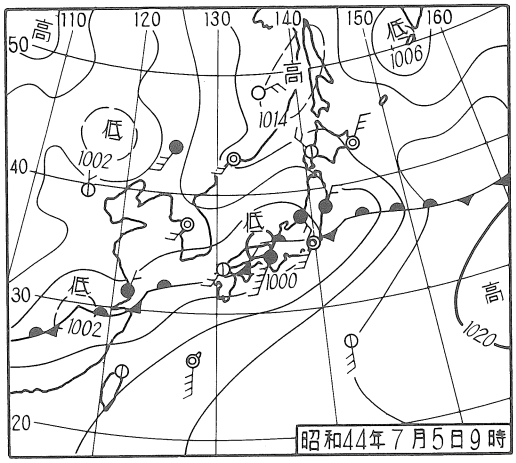
気象官署の観測値　7月4日～5日

要素 / 官署	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	SSE	15.7	5. 15. 40	SSW	25.0	5. 15. 35
千葉	SW	19.2	5. 14. 20	SSW	26.6	5. 14. 23
館山	SSW	13.2	5. 01. 10	SSW	21.2	5. 01. 05
勝浦	SW	13.3	5. 16. 30	SSW	20.0	5. 01. 51

要素 / 官署	最大10分間降水量 降水㎜	起時 日時分	最大1時間降水量 降水㎜	起時 日時分	最大日降水量 降水㎜	起時 日時分	総降水量 降水㎜	起時 日時～日時
銚子	3.5	5～00.21 5～06.22	10.0	5～07.10	50.5	5. 24. 00	66.5	4.9～5.9
千葉	2.5	5～05.50	8.0	5～06.40	38.0	5. 24. 00	51.5	4.9～5.9
館山	5.0	4～22.10	18.0	4～22.15	25.5	5. 24. 00	61.5	4.9～5.9
勝浦	6.5	4～23.30	26.5	4～23.37	43.5	5. 24. 00	73.0	4.9～5.9



地上天気図

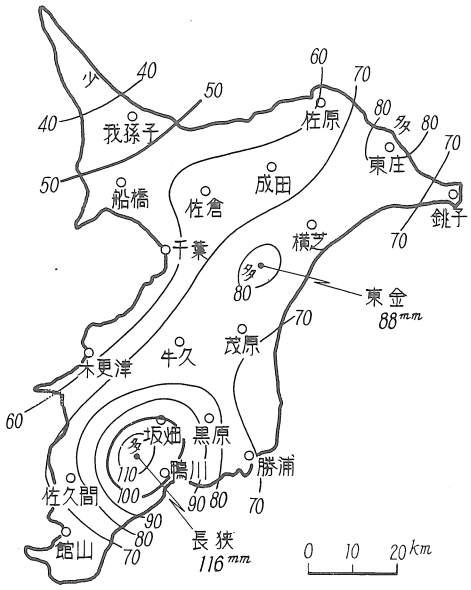


地上天気図

5. 被　害

県の南部で多く，非住家被害１戸，道路損壊5ヵ所，ガケ崩れ５ヶ所

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和44年７月４日～５日

災害番号　16

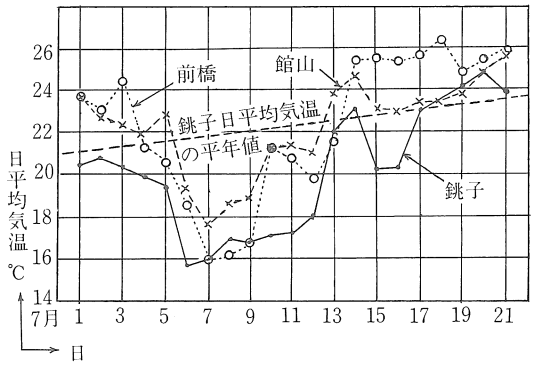
1. 災害の種類(名称)　冷害（暖候期の異常低温）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）７月上旬～中旬
3. 災害原因　オホーツク海高気圧
4. 気象概況

７月上旬から中旬にかけて異常に低温となり，農林省発表８月15日現在，全国水稲の作柄は北海道・千葉・茨城・山梨を除き，作況指数101～103で昨年及び１昨年に続き，史上第３位の豊作となったが，千葉県のみが作況指数92となった。すなわち，７月５日頃から13日に至る９日間は，北海道から三陸沖にかけて寒冷な高気圧が停滞して，北または北東の風を吹きつけ，平年より４～６℃低い気温が続き，稲の不稔現象を起して，昭和28年の冷害に匹敵する凶作となった。

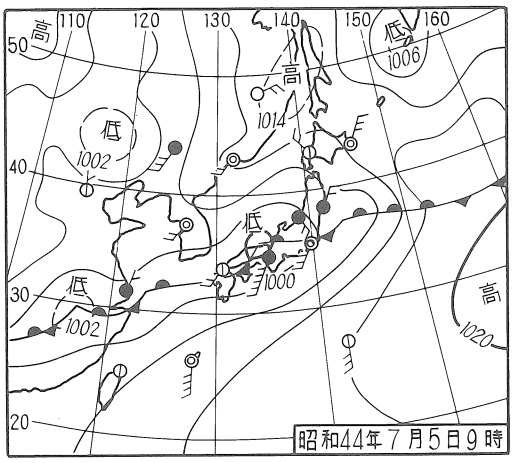
この低温は，その後の天候回復により，本県以外は稲作への影響は免れた。尚この年の平均収量は反収（10アール）当り434kgである。

この期間の日平均気温は，平年に比べ，４～６℃低く，恰も開花及び授粉の時期を迎えていた稲の結実を阻害した。

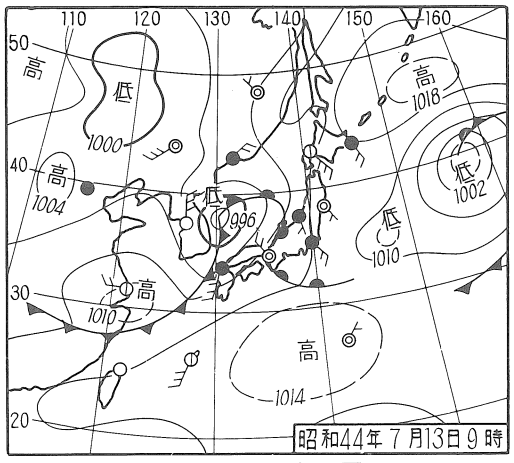
銚子，館山及び前橋における日平均気温の経過を示したのが，右の図である。



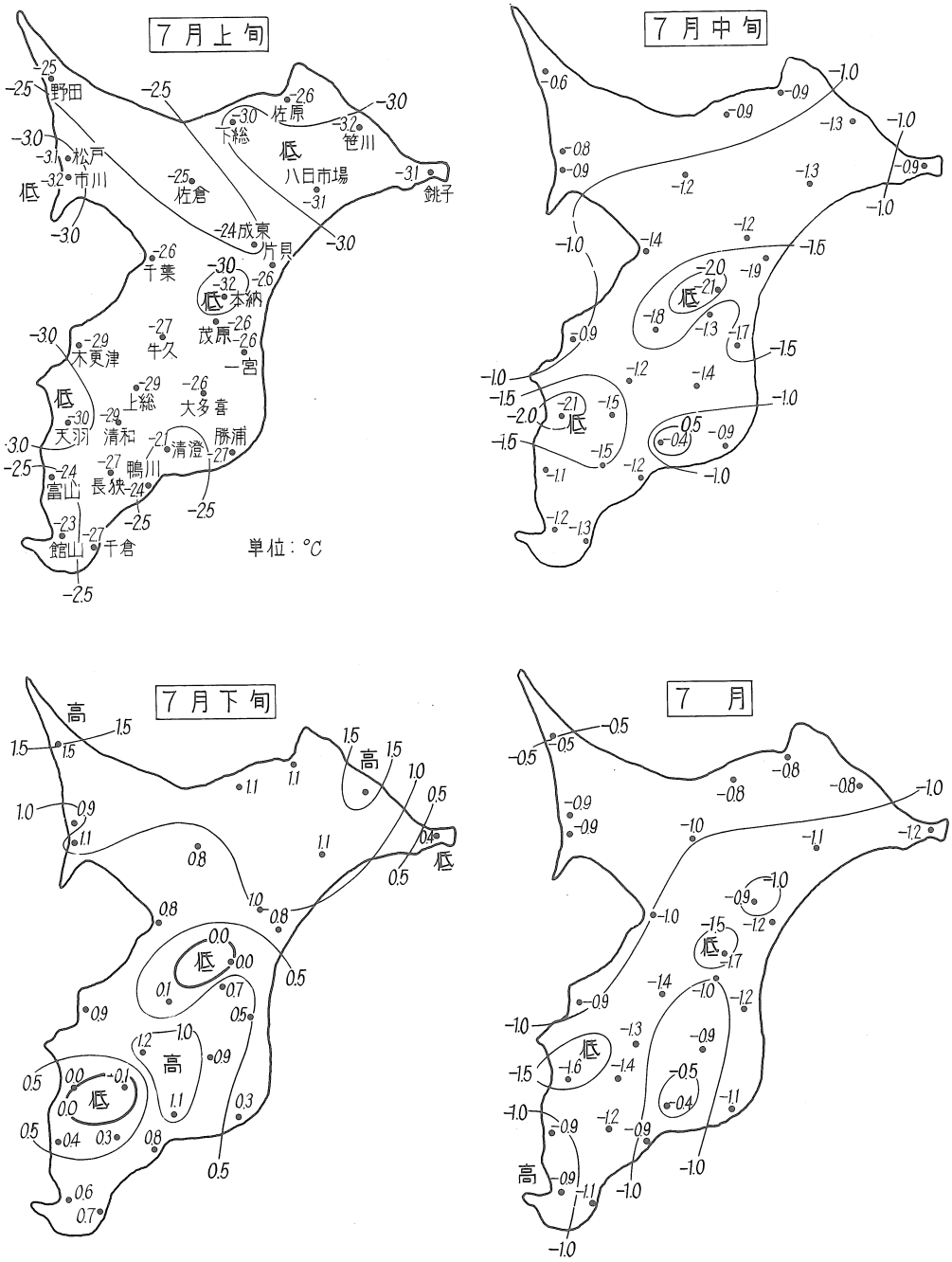
日平均気温の経過図　７月１日～21日



地上天気図



地上天気図


7月上旬
7月中旬
7月下旬
7月
野田
松戸
市川
佐倉
成東
千葉
本納
茂原
一宮
木更津
牛久
上総
大多喜
天羽
清和
清澄
勝浦
鴨川
富山
長狭
館山
千倉
佐原
下総
笹川
八日市場
銚子
高
低
単位：℃

平均気温の平年差図

5. 被　害　県下の農作物被害は表に示す通り，総額約78億円に達した。

稲　の　被　害　表　（8月28日現在）千葉県農林水産部調

項目 / 支庁名	作付面積（ha）	被害程度別面積（ha） 10%以下	11～20%	21～30%	31～40%	41～50%	51%以上	合計	減収量（t）	被害金額（100万円）
千　葉	10,358	1,558	1,115	1,130	790	130	90	4,813	3,983	548
君　津	12,200	423	－	514	－	405	－	1,342	1,457	200
安　房	8,350	872	185	60	2	－	－	1,119	409	56
夷　隅	7,230	960	1,309	986	635	343	82	4,315	4,063	559
長　生	8,860	2,800	2,594	715	209	－	－	6,318	3,650	502
山　武	11,842	1,115	959	1,262	1,310	1,056	624	6,326	8,183	1,126
海　匝	8,870	343	934	1,963	1,569	1,997	1,612	8,418	13,482	1,855
香　取	15,600	3,159	1,647	2,449	1,239	1,346	2,303	12,143	15,712	2,162
印　旛	11,100	928	903	1,115	995	982	351	5,274	6,113	841
東葛飾	8,690	311	51	14	1	－	－	377	129	18
合　計	103,000	12,469	9,697	10,208	6,750	6,259	5,062	50,445	57,181	7,867

6. 過去の冷害の概要

(1) 昭和9年 7月 ～ 10月冷旱害

九州・四国方面は旱魃，東北・北海道方面は冷害のため全国的に凶作となる。千葉県では7月末まで梅雨が長引いたため，7月中旬及び下旬の平均気温は平年より2℃内外低く，8月にはほぼ平年並に回復したが，9～10月は再び1～2℃の過冷となった。また，8月の降水量は少く，平年の5分の1ないし3分の1に止まり，水田6,103ヘクタールが被害を受けた。

(2) 昭和16年　7月～8月　冷害

この年は，7月の大雨に加えて，7～8月の気温は0.6～1.6℃低く，県下の水稲は8月15日現在13%の減収となった。この冷害は全国に及び，特に東北・北海道は大凶作となった。

(3) 昭和28年　8月　冷湿害

この年の8月は陰曇で平均気温は平年より1.2～1.6℃低く，日照時間は平年の半ば以下，降水量は平年の2倍に近い多雨となり，冷湿害を生じた。千葉県の水稲は22%減収となり，特に夷隅郡の中生稲は，1,167ヘクタールにわたって青立ちとなった。

過去の冷害と今回の冷害における旬平均気温の比較

平年：1954～1968(15年間の平均値)

	7月上旬					7月中旬					7月下旬				
	昭・9	昭・16	昭・28	昭・44	平年	昭・9	昭・16	昭・28	昭・44	平年	昭・9	昭・16	昭・28	昭・44	平年
銚子	23.8	22.5	22.3	18.8	21.9	20.8	19.8	22.4	22.2	23.1	21.7	22.1	23.6	25.1	24.7
八日市場	26.2	26.3	23.7	20.2	23.3	21.9	20.7	22.7	22.9	24.2	23.7	23.7	24.6	26.8	25.7
成東	26.1	25.7	22.8	20.9	23.3	21.7	20.3	22.7	22.6	23.8	23.4	23.9	24.5	26.4	25.4
片貝	26.3	26.7	23.2	20.5	23.1	22.1	20.4	22.5	21.9	23.8	23.7	24.2	26.7	26.0	25.2
一宮	27.3	26.9	23.3	20.9	23.5	21.6	20.4	22.7	22.6	24.3	25.1	24.5	25.7	26.3	25.8
勝浦	24.9	24.0	22.7	19.8	22.5	21.5	20.6	22.3	22.9	23.8	23.9	23.0	24.4	25.3	25.0
大多喜	27.2	26.3	欠	21.1	23.7	21.5	20.3	22.0	23.0	24.4	24.7	25.8	24.9	26.7	25.8
上総	27.8	27.0	24.2	20.9	23.8	22.1	22.0	22.8	23.6	24.8	24.9	24.1	26.1	27.4	26.2
清和	28.0	欠	欠	20.9	23.8	22.3	欠	欠	23.5	25.0	25.3	欠	欠	26.3	26.4
長狭	27.8	27.7	23.9	21.3	24.0	22.9	22.0	22.6	23.4	24.9	25.5	25.0	26.0	26.6	26.3
鴨川	欠	26.0	23.2	21.4	23.8	欠	21.5	23.1	23.6	24.8	欠	24.7	25.6	27.0	26.2
千倉	26.4	25.8	23.1	21.2	23.9	22.6	21.7	22.9	23.6	24.9	25.5	25.0	25.1	26.9	26.2
館山	26.4	26.2	23.3	21.5	23.8	22.4	22.0	22.8	23.6	24.8	24.5	24.9	25.4	26.8	26.2
富山	26.3	26.4	23.2	21.4	23.8	22.8	22.4	22.3	23.7	24.8	25.2	24.7	25.5	26.6	26.2
天羽	26.7	欠	22.8	20.9	23.9	22.5	欠	22.8	22.8	24.9	25.1	欠	25.0	26.4	26.4
木更津	27.8	27.8	23.7	21.0	23.9	22.5	21.1	21.5	24.4	25.3	25.1	24.9	25.2	27.6	26.7
牛久	欠	欠	欠	21.1	23.8	21.2	欠	欠	23.1	24.9	25.2	欠	欠	26.5	26.4
千葉	26.6	26.2	23.2	20.9	23.5	21.2	19.6	22.7	23.3	24.7	23.2	23.7	26.8	27.2	26.4
市川	＼	＼	24.3	20.2	23.4	＼	＼	欠	23.8	24.7	＼	＼	欠	27.7	26.6
野田	27.2	27.0	22.9	20.8	23.3	22.2	22.3	22.4	23.8	24.4	24.0	24.2	27.1	27.8	26.3
佐倉	欠	26.1	欠	20.9	23.4	欠	20.4	22.7	23.3	24.5	欠	24.1	27.2	27.2	26.4
下総	27.4	25.9	22.9	20.2	23.2	21.2	19.8	22.6	23.3	24.2	24.2	25.2	27.4	27.2	26.1
佐原	25.5	25.7	22.4	20.6	23.2	21.4	19.6	22.5	23.4	24.3	23.9	23.6	27.0	27.5	26.4
笹川	＼	＼	22.8	20.1	23.3	＼	＼	22.1	23.1	24.4	＼	＼	26.8	27.8	26.2
松戸	26.8	26.4	23.0	20.2	23.3	19.2	20.0	22.6	23.8	24.6	23.6	24.2	26.9	27.3	26.4
本納	＼	＼	23.3	20.5	23.7	＼	＼	22.6	22.2	24.6	＼	＼	26.2	26.1	26.1
茂原	27.0	26.5	23.1	21.3	23.9	22.1	20.7	22.4	23.6	24.9	25.1	24.6	27.0	27.1	26.4
清澄	24.2	24.2	21.4	19.8	21.9	20.2	18.9	20.9	22.4	22.8	22.4	22.1	欠	25.2	24.1
木下	26.4	26.4	23.2	20.7	＼	21.1	19.5	22.6	23.8	＼	23.5	欠	27.2	27.8	＼
大金沢	＼	＼	＼	21.0	＼	＼	＼	＼	23.6	＼	＼	＼	＼	27.2	＼
東金	27.3	＼	＼	20.7	＼	22.0	＼	＼	22.7	＼	24.2	＼	＼	26.9	＼

7. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，
防災業務実施状況報告第１号，印刷天気図

災害番号　17

1. 災害の種類(名称)　暴風雨（大雨・たつ巻）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）8月23日
3. 災害原因　台風9号
4. 気象概況

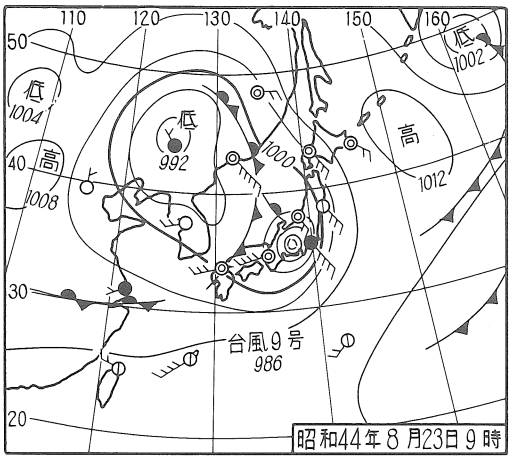
中型で強い台風9号は，22日午前10時まえ九州南部吹上浜に上陸し，枕崎では55m/sの瞬間風速を記録した。台風は中心気圧960mbでその後東北東に進路を変え，次第に加速して23日朝には中国地方に，正午には関東地方西部に達した。さらに進路を北に変えて東北地方を縦断した後温帯低気圧となってオホーツク海方面に去った。

このため，県下では，22日午後10時頃から次第に南風が強まり20m/s以上の暴風となった。この間，台風の前面の強い雨雲により，一時的に強い雨が降り，銚子では1時間降水量39㎜の大雨となった。また，23日午前10時15分頃，安房郡鴨川町では「たつ巻」が発生した。なお23日午前9時30分頃，茨城県では径300m，高さ3,000mの大たつ巻が発生し，死者1名，家屋の全半壊210戸が出た。

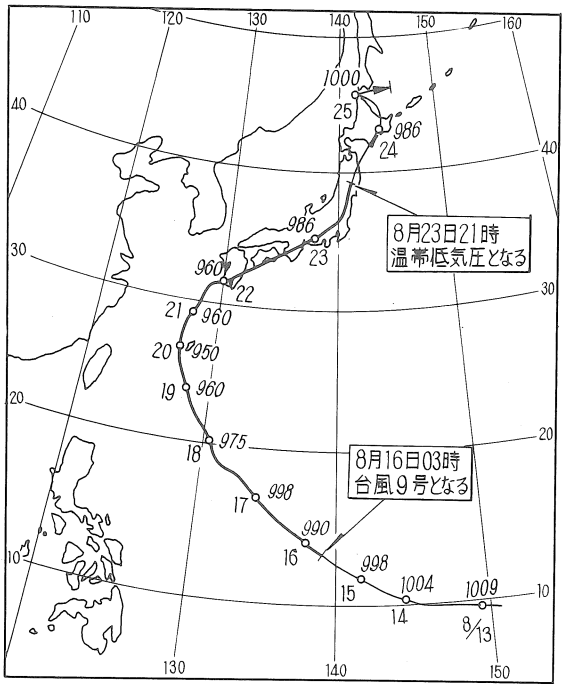
気象官署の観測表　8月23日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	990.9	23.14.39	SSE	19.8	23.12..50	SSE	28.0	23.12.46
千葉	988.5	23.13.32	SSW	23.7	23.14.10	SSW	36.8	23.13.30
館山	993.3	23.12.48	SSW	13.5	23.16.40 23.16.50	SSW	22.2	23.12.58
勝浦	992.9	23.13.34	SSW	17.5	23.12.40	S	25.4	23.10.38

要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		総降水量	
	降水 ㎜	起時 日時分	降水 ㎜	起時 日時分	降水 ㎜	起時 日時～日時
銚子	14.5	～12.25	39.0	～12.23	43.0	23.0000～23.2400
千葉	4.0	～10.25	8.5	～11.00	14.0	23.0000～23.2400
館山	6.5	～09.50	18.0	～10.00	22.5	23.0000～23.2400
勝浦	7.5	～10.30	13.5	～10.40	17.5	23.0000～23.2400



地　上　天　気　図



台風９号の経路図
昭和44年８月13日～25日

5．被　　害

鴨川を主として負傷者４名，家屋半壊20戸，家屋一部損壊22戸，非住家被害97戸，床下浸水57戸，道路損壊４件，通信施設被害50件，船舶破損１隻

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，台風経路図，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　18

1. 災害の種類(名称)　雷雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年（1969年）9月2日
3. 災害原因　前線・熱界雷
4. 気象概況

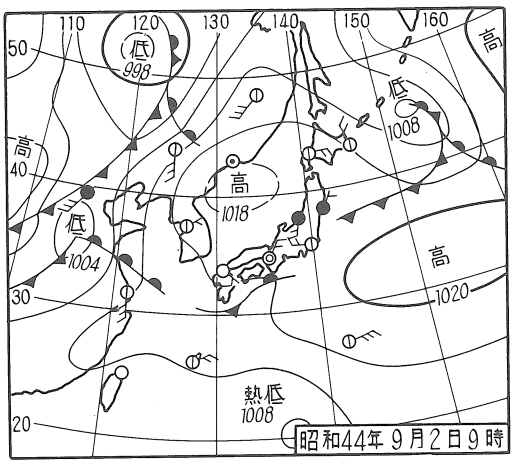
日本付近は夏の太平洋高気圧におおわれていたが，北海道東方海上から西にのびる前線が関東地方を通り東シナ海方面にのびていた。朝から前線に伴う前線雷が名古屋方面で発生していたが，午後には熱界雷となった。2日午後，この前線の南下に伴い，県下では午後5時頃から夜半にかけ強い雷雨となった。このため，銚子では10分間降水量22.0㎜を記録し，9月中の最大順位第2位となった。

県内各地の降水量表

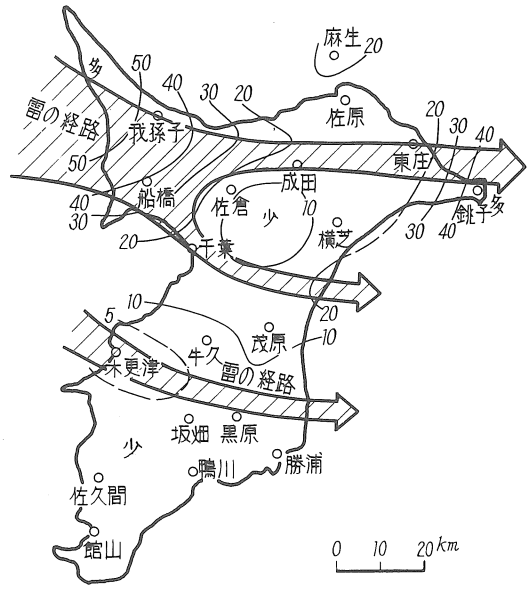
観測所	降水量㎜	観測所	降水量㎜
銚子	48	下総	16
八日市場	15	佐原	14
成東	4	笹川	15
片貝	21	松戸	56
一宮	3	本納	17
勝浦	−	茂原	14
大多喜	4	清澄	−
上総	5	木下	33
清和	4	大金沢	13
千倉	−	東金	5
館山	0	千葉	18
富山	−	野田	54
木更津	5	佐倉	2
牛久	−		

銚子における極値　9月2日

要素	値	起時
最大風速	NNW16.2m/s	18. 40
最大瞬間風速	NW21.6m/s	18. 30
10分間最大降水量	22.0 ㎜	～08. 40
1時間最大降水量	31.5 ㎜	～19. 00
総降水量	48.0 ㎜	2. 07.10～3. 01.40



地上天気図



雷雨経路図，県内降水量分布図（㎜）
昭和44年9月2日

5. 被　害

落雷による死者2名（東葛郡沼南町の農道，印播郡白井町農作業中）その他停電事故，列車遅延等の被害を出した。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　19

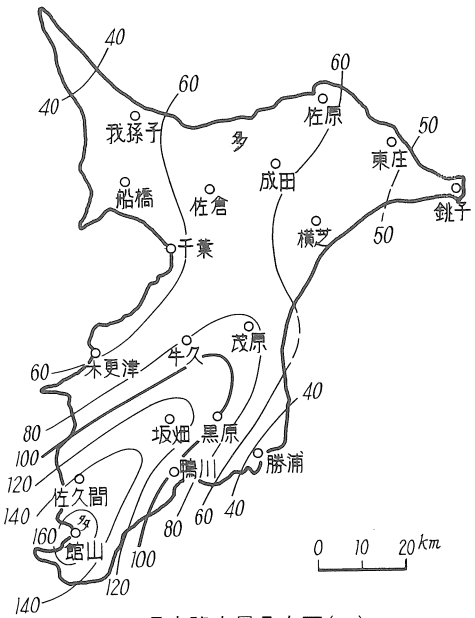
1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和44年(1969年)10月8日～9日
3. 災害原因　台風12号
4. 気象概況

9月27日，カロリン群島の北で発生した弱い熱帯低気圧は，30日午前9時にルソン島東方海上で台風12号になって台湾の東に進み，10月5日午後6時弱い熱帯低気圧に衰えた。その後東北東に進み，10月8日午後9時四国のはるか南方で再び台風12号になって速度を上げ9日正午頃八丈島付近を通って日本の東海上に去った。一方，8日午後3時頃，紀伊半島付近に低気圧が発生し，また台風の前面にあった温暖前線の北上に伴い，県下は風雨が強まった。殊に県南部では激しい雨となり，8日午後6時20分から午後8時頃まで，館山地方から長狭町山間部を中心として帯状に集中的な豪雨となり，館山市で166.0mmの降雨があった。

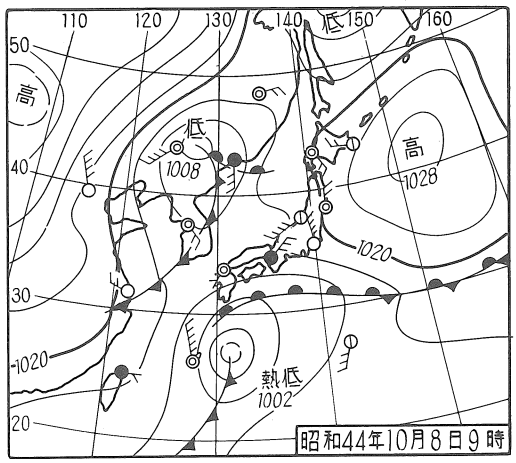
気象官署極値表

10月8日

官署＼要素	最大風速(10分間平均) 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大10分間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水 mm	起時 日時分
銚子	SE	12.7	8. 19.20	SE	19.6	8. 18.44	19.0	8. 23.40	31.5	8. 24.00	44.5	8. 24.00
館山	WNW	9.5	8. 19.50	WSW	15.5	8. 19.46	18.0	8. 19.20	74.0	8. 19.38	165.0	8. 24.00
千葉	W	8.3	8. 22.00	NNE	12.4	8. 21.15	12.5	8. 21.15	20.5	8. 21.25	57.5	8. 24.00
勝浦	NNW	9.8	8. 04.40	NNW	13.7	8. 04.00	3.5	8. 21.59	8.5	8. 14.29	35.5	8. 24.00



県内降水量分布図(mm)
昭和44年10月8日9時～9日9時

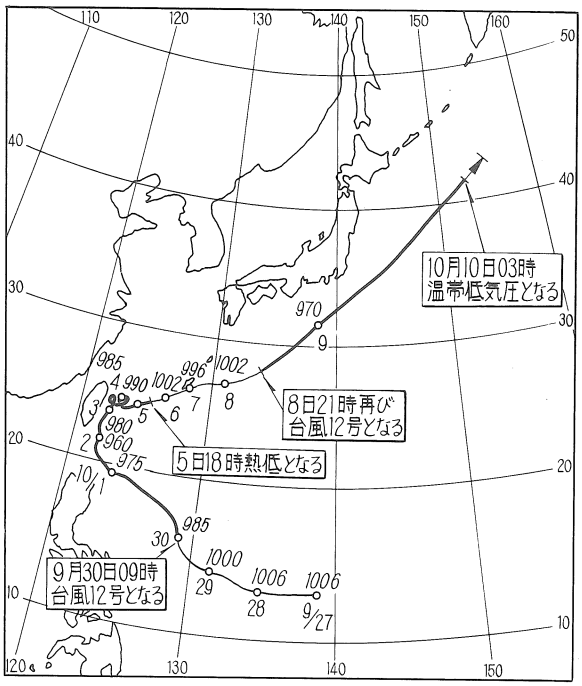


地上天気図

5. 被　害

千倉町で死者１名，負傷者１名，床上浸水144戸，床下浸水547戸，橋梁流失８ヶ所，堤防決壊22ヶ所，がけ崩れ20ヶ所

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，台風経路図，異常気象原簿，印刷天気図



台　風　経　路　図

災害番号　20

1. 災害の種類(名称)　　干害
2. 災害発生年月日(期間)　　昭年44年（1969年）12月
3. 災害原因　　少雨
4. 気象概況

12月8日，発達した低気圧が日本海を通り，東海上に去った。一方，大陸奥地のバイカル湖西部には今冬一番の1,060mbの優勢な高気圧が現われ，日本付近に張り出して西高東低の冬型の気圧配置が続いた。大陸の高気圧は17日にも再び1,060mbと強まり，この冬型の気圧配置は24日まで続いた。このため，8日～22日迄，県内では雨らしい雨は降らず，無降水継続日数は15日間となった。殊に県北部の野田，佐倉，それに木更津では12月8日以降1月29日までの53日間に及ぶ無降水を記録した。また，異常乾燥注意報は13日～26日迄の14日間続き，銚子における月降水量は22㎜で最少順位第1位を記録するに至った。

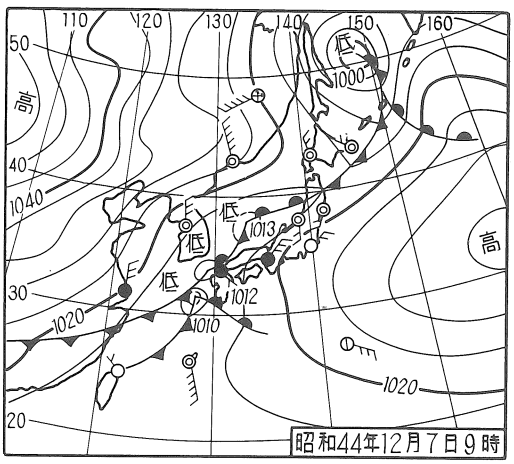
県内降水量表

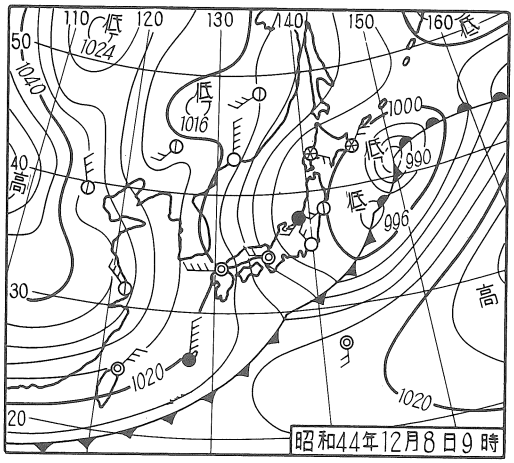
昭和44年12月

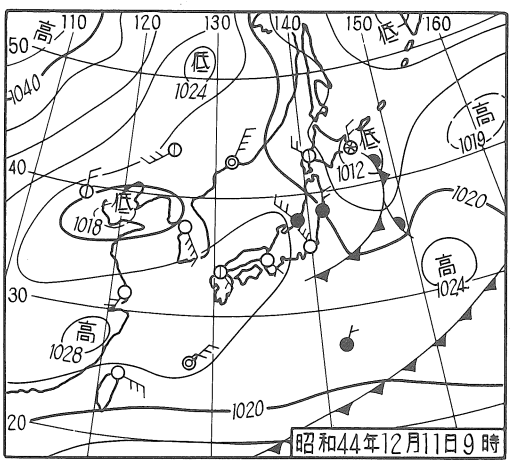
地名／日	銚子	八日市場	成東	片貝	一宮	勝浦	大多喜	上総	清和	長狭	鴨川	千倉	館山	天羽	木更津	牛久	千葉	市川	野田	佐倉	下総	佐原	笹川	松戸	本納	茂原
1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
2	3	0	1	1	3	3	4	1	0	5	2	2	6	1	3	1	3	−	−	1	0	0	−	−	1	1
3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
5	8	2	2	6	5	12	8	8	32	5	6	2	6	7	3	5	1	0	−	2	2	2	2	1	5	6
6	−	−	0	−	−	−	−	0	0	1	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
7	5	5	8	8	8	23	14	13	17	24	20	27	17	18	6	12	3	1	19	3	4	4	6	3	9	10
8	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
9	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
10	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
旬	16	7	11	15	16	38	26	22	49	35	28	31	29	26	12	18	7	1	19	6	6	6	8	4	15	17
11	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
12	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
13	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
14	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
15	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
16	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
17	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
18	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
19	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
20	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
旬	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
21	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
22	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
23	1	0	−	0	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
24	0	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	−	−	−
25	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	−	−	−	−	−	−	−	0	1
26	0	0	0	0	1	8	1	0	4	3	3	8	3	1	0	0	0	−	−	−	−	−	−	0	0	−
27	1	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−
28	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
29	−	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
30	3	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0	0	−	−	−	−	3	−	−	−
31	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
旬	6	1	0	1	1	9	1	2	4	5	3	8	4	1	0	0	0	0	−	−	−	−	3	0	0	1
月合計	22	8	11	16	17	47	27	24	53	40	31	39	33	27	12	18	7	1	19	6	6	6	11	4	15	18

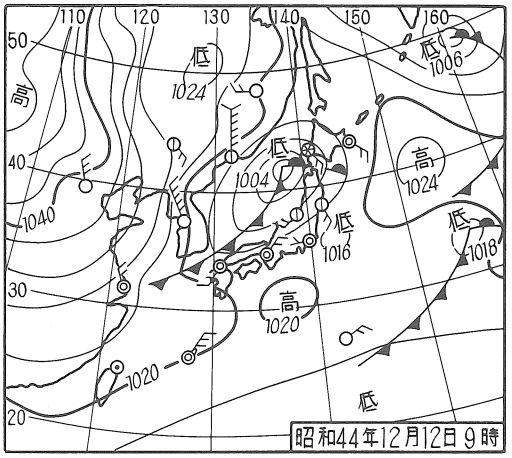
銚子気象台における12月の降水量最少順位　　統計1946～

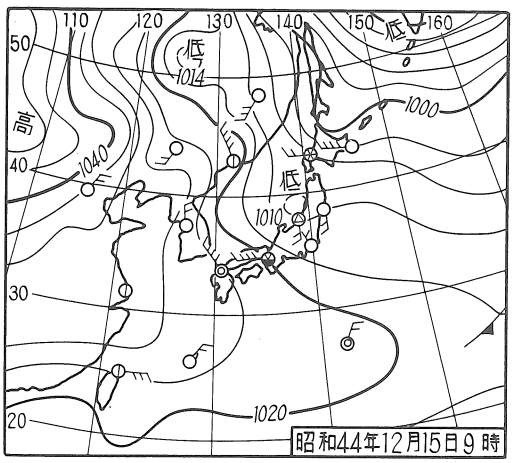
官　署	第１位	第２位	第３位
銚　子	22.0㎜　1969年	33.5㎜　1952年	37.9㎜　1956年



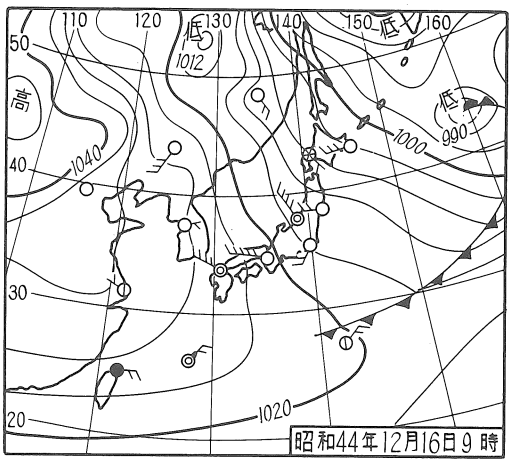




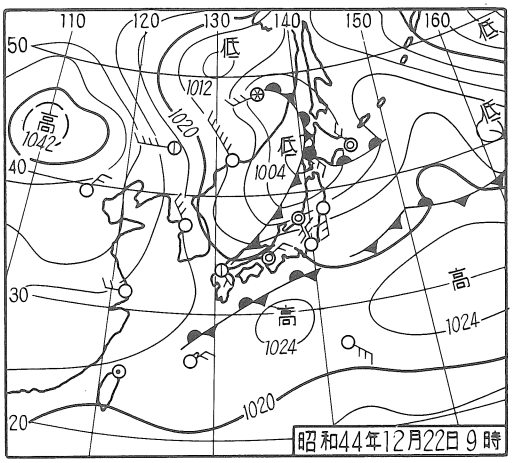




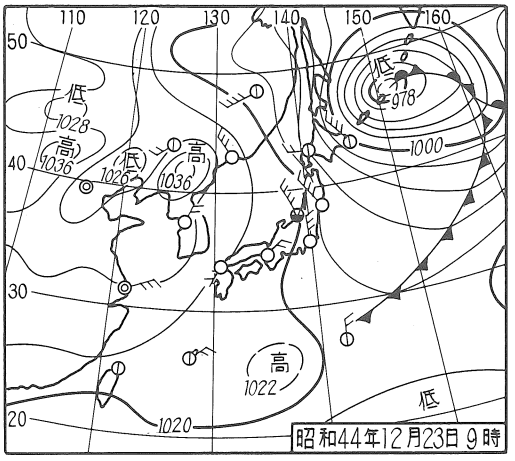
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

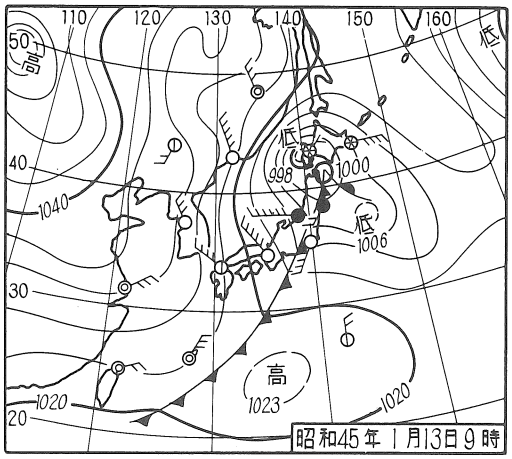
5. 被　　害　　——

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　21

1. 災害の種類(名称)　波　浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）１月13日
3. 災害原因　前　線
4. 気象概況

13日，日本海を発達した低気圧が通り，この低気圧の中心から関西にのびる寒冷前線が正午頃，本県を通過した。



地上天気図

千葉県測候所の観測値　１月13日

要素	風向	風速 m/s	起時
最大風速	ＳＳＷ	15.2	09時30分
最大瞬間風速	ＳＳＷ	18.4	07時55分
日平均風速	—	6.2	—

5. 被　害

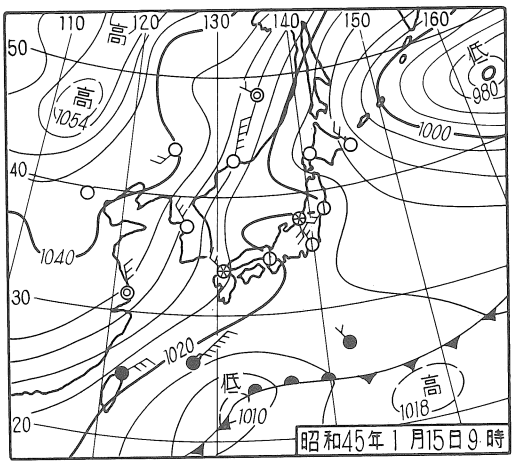
13日午前９時20分頃，千葉市検見川沖１km付近で，貨物船第２カナメ丸（90トン）が浅瀬に乗りあげ沈没したが，乗組員２名は，海上保安庁のヘリコプターで無事救助された。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図

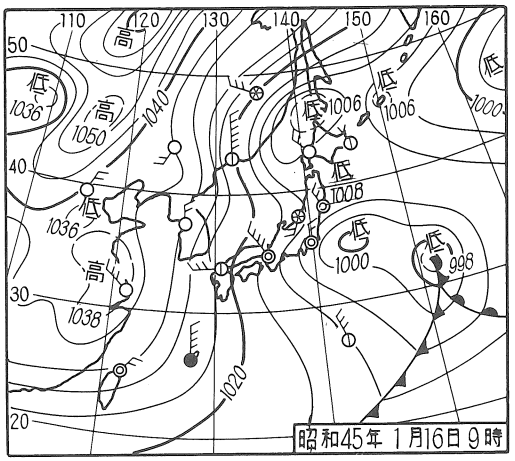
災害番号　22

1. 災害の種類(名称)　大雪
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）1月16日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

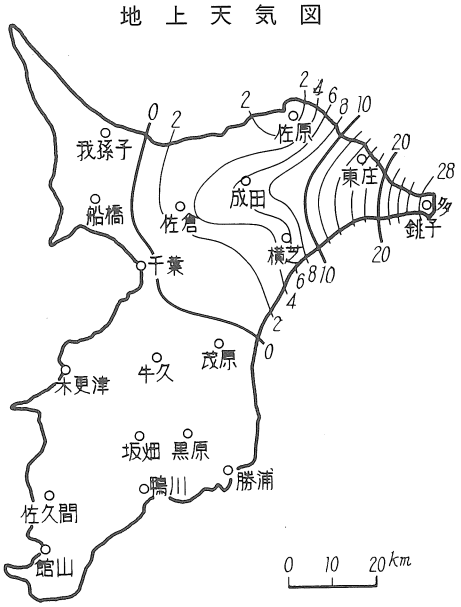
15日午後，山陰沖から中部地方南部を経て房総沖へ進んだ1,014mbの低気圧は，東方海上で998mbまで発達した。この低気圧の影響で県北部では15日夕刻から雨となり，16日早朝からは雪に変って正午過ぎまで続いた。積雪量は銚子5cm，笹川8cmとなり銚子では，1月と



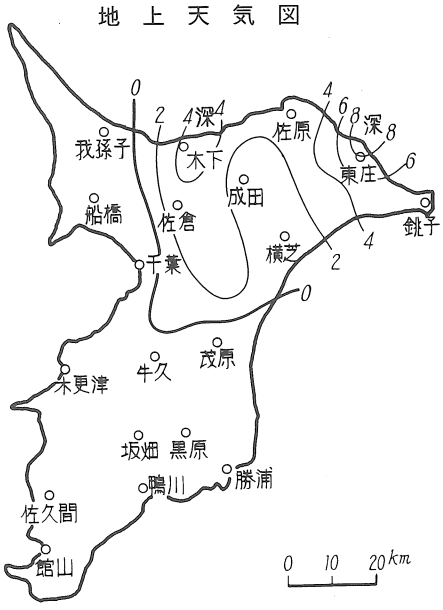
地上天気図



地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和45年1月15日9時～17日9時



県内最深積雪分布図(cm)
昭和45年1月16日

しては大正11年（1922年）１月15日の10cmに次ぐ記録となった。

また，このあと寒波の来襲により，１月17日銚子の最低気温は－6.2℃まで下り低極を更新した(1915～1970)。

5. 被　害　銚子市内では，積雪のため車輌のスリップにより一時交通が停滞した。

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　23

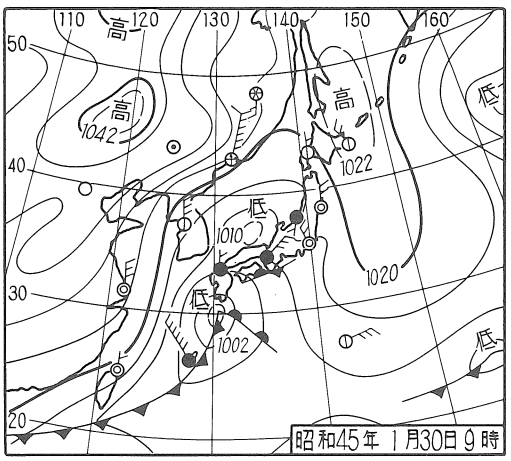
1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）1月30日～31日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

30日，台湾付近に発生した低気圧が急速に発達をしながら北東に進み，御前崎付近から群馬県を通り，31日午後，三陸沖に去った。このため，銚子では最大風速SE 20.5 m/s (31日3時40分)，最大瞬間風速SE 31.8 m/s (31日3時01分)を記録し，千葉県北部には暴風雨警報が発表された。降水量は，県南部山間部で100㎜，その他は50㎜前後であった。

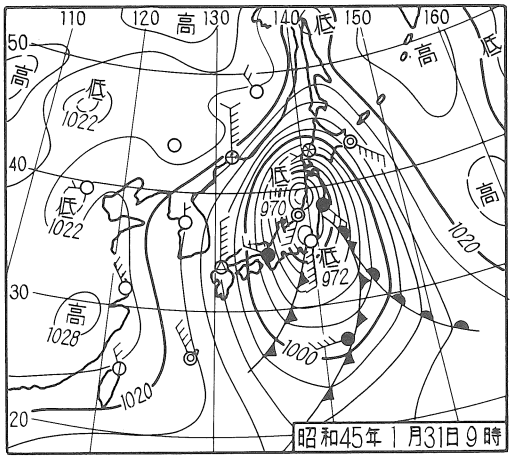
県内官署の極値表　1月30日～31日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	971.7	31. 11.38	SE	20.5	31. 03. 40	SE	31.8	31. 03. 01
館山	973.4	31. 11.30	SSE	16.8	31. 02. 40	SE	31.4	31. 02. 25
千葉	972.3	31. 10.37	SSW	16.7	31. 10. 10	SE	26.2	31. 03. 00
勝浦	973.0	31. 11.54	S	16.0	31. 06. 00	SW	27.4	31. 06. 04

要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 ㎜	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 ㎜	起時 日時分	最大日降水量 降水 ㎜	起時 日時分	総降水量 降水 ㎜	起時 日時～日時
銚子	6.0	31.04.35	12.0	31.05.01	31.0	31	35.5	30. 07.40～31.08.55
館山	5.5	31.05.28	11.0	31.02.50	41.5	31	59.5	30.05.03～31.06.50
千葉	4.5	31.03.30	8.5	31.04.00	34.0	31	41.0	30.06.30～31.12.01
勝浦	12.0	31.03.30	20.5	31.03.35	47.0	31	59.0	30.06.05～31.07.43



地上天気図

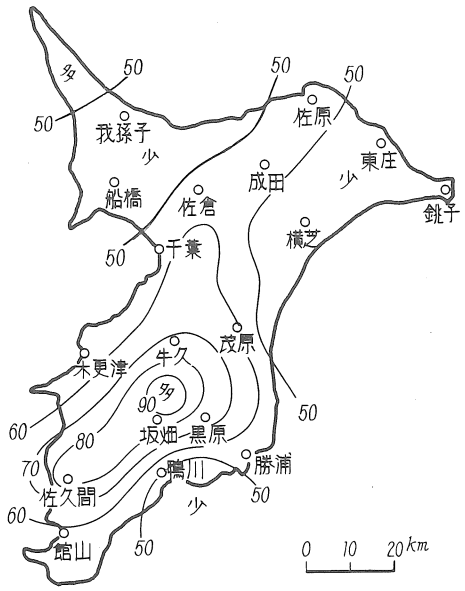


地上天気図

5. 被　害

床上浸水20戸（船橋），床下浸水540戸（船橋370，一宮160，市原10），非住家被害１戸（館山），その他印旛郡でビニールハウス1,000m²や農作物に多少の被害を生じた。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象速報１号，印刷天気図

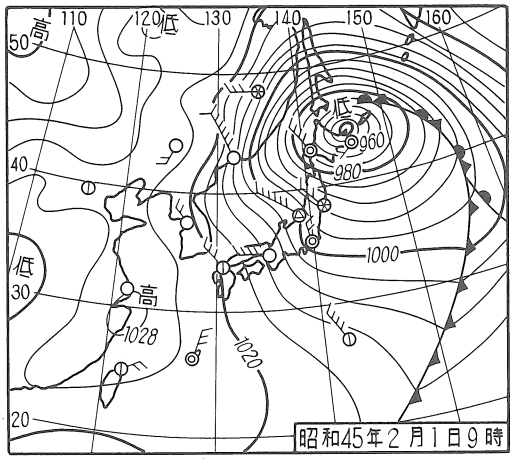


県内降水量分布図(mm)
昭和45年１月30日～31日

災害番号　24

1. 災害の種類(名称)　火災
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年 (1970年) 2月1日
3. 災害原因　異常乾燥・強風
4. 気象概況

1月31日，台湾低気圧が発達しながら関東北部から東北地方を通り，2月1日は北海道付近に去って960mbと更に発達した。気圧配置は強い冬型となり，県内でも北西の季節風が強まり空気が乾燥した。千葉の湿度は30%前後まで下り，また木材などの乾燥状態を表わす実効湿度は60%以下となった。



地上天気図

千葉測候所気象表　1月31日～2月1日

月・日・時	気温℃	湿度%	風向(16)	風速m/s
1. 31. 21	6.1	31	NW	11.3
22	5.3	32	NNW	10.8
23	4.9	30	NW	9.7
24	4.7	30	NW	8.8
2. 1. 1	4.3	29	NW	9.7
2	4.0	30	NW	11.2
3	3.6	31	NW	6.3
4	3.2	32	NNW	5.8
5	3.9	30	NW	7.7
6	3.7	29	NNW	3.7

5. 被害

2月1日，午前3時30分頃，千葉県亀井町6の10，共同連業の事務所付近から出火，付近の住宅，商店など13棟を全焼し，2棟が半焼した。類焼面積は1,605m²,出火当時はNW5～6m/sと一時弱まっていたが，強風波浪注意報は継続中であった。出火場所周辺は，人家の密集地帯で，出火の発見もやや遅れ，しかも道路の両側に燃え広がったため消防活動も困難であった。被災家屋26世帯74名，負傷者1名

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　25

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）3月16日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

台湾付近に発生した低気圧が発達しながら北東に進み，16日には2ッ玉低気圧となって本州を挟むようなかっこうで通過した。このため，全般に風雨が強まり，銚子の最大瞬間風速はＥＮＥ31.6m/sを記録した。また，海上では風波が高まった。

気象官署の極値表　　3月15日～16日

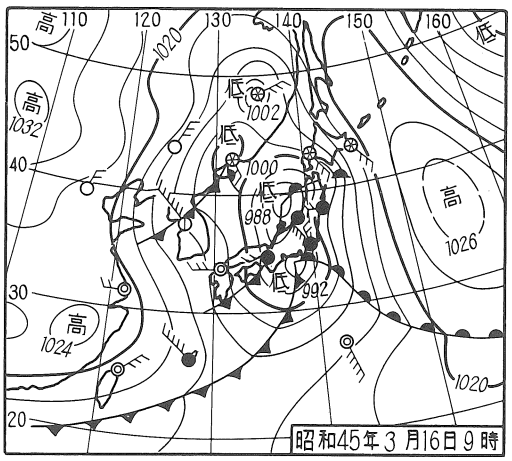
要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	983.8	16. 14.30	ENE	21.5	16.11.30	ENE	31.6	16.11.27
館山	986.2	16. 14.00	SE	13.5	16.09.30	WSW	23.3	16.23.10
千葉	985.6	16. 14.14	SE	6.7	16.14.50	SE	13.6	16.07.56
勝浦	985.4	16. 14.03	S	16.2	16.10.30	SSE	27.3	16.09.55

要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起日 日時分	降水 mm	起時 日時～日時
銚子	3.0	16.09.38	9.5	16.10.01	20.0	16.10	21.5	15.21～16.14
館山	2.0	16.08.20	8.0	16.08.30	35.0	16.09	38.0	15.21～16.14
千葉	2.0	16.10.00	8.0	16.10.00	27.0	16.14	27.0	15.21～16.14
勝浦	2.0	16.08.36	8.0	16.08.40	25.0	16.12	26.0	15.21～16.13

5. 被害

16日午前4時30分頃，しゅんせつ船泰生丸（2,000ｔ，23名乗組）は，しらかみ丸（172ｔ）に曳航されているうち大原町沖でロープが切れたため，強風に流され，海岸から約50m位の所で座礁した。しかし，乗組員全員はゴムボートにより海岸にたどり着いた。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図



地上天気図

災害番号　26

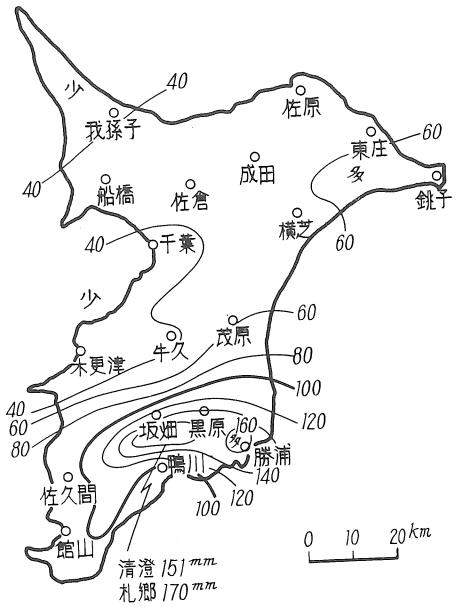
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）5月6日～11日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

5月6日，九州まで進んで来た低気圧は千島東方にあるブロッキング高気圧にはばまれ，足ぶみ状態となり，8日から10日にかけて東海道沖に停滞した。また，10日東シナ海にあった低気圧が発達し，11日にかけて本州南岸を通り，12日になって深い気圧の谷は東海上に遠ざかった。このため，県内では6日夜半から11日まで，連日降雨が続き，県南部で降水量が多くなり，札郷では170㎜に達した。

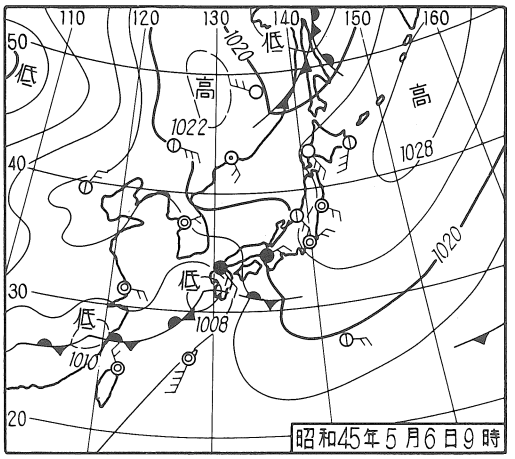
気象官署の極値表

5月6日～11日

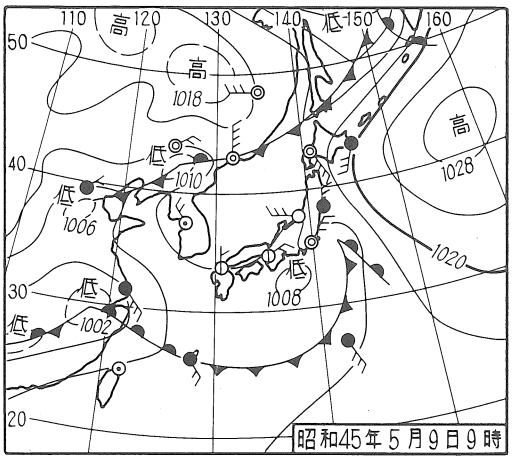
要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 ㎜	最大10分間降水量 起時 日時分	最大1時間降水量 降水 ㎜	最大1時間降水量 起時 日時分	最大日降水量 降水 ㎜	最大日降水量 起時 日時分	総降水量 降水 ㎜	総降水量 起時 日時～日時
銚子	5.0	8.08.17	7.5	8.08.55	33.5	8	60.0	6日～11日
館山	4.0	9.08.21	9.0	11.15.00	32.0	7	92.5	〃
千葉	1.0	7.02.15 8.04.50 10.04.55	3.6	7.02.15	15.5	7	29.0	〃
勝浦	9.5	8.09.25	36.5	8.10.00	96.0	8	168.5	〃



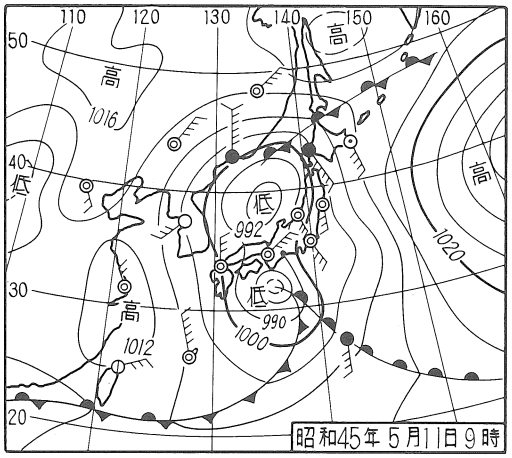
県内総降水量分布図(㎜)
昭和45年5月6日～11日



地上天気図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　　害

勝浦地区で建物半壊１戸，畑冠水76ha，がけ崩れ２ヶ所（勝浦，大原）

6. 資　　料　　千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図

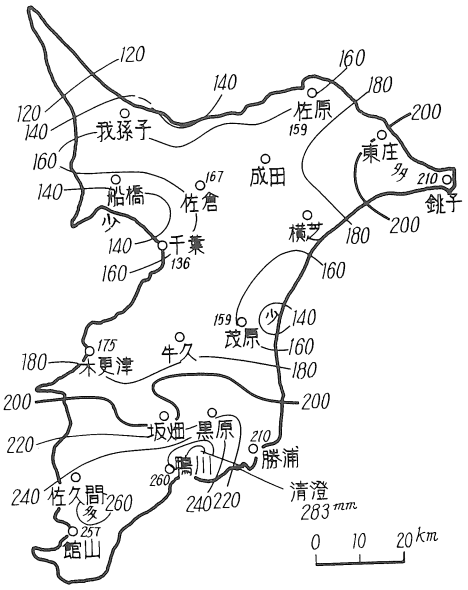
災害番号　27

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）6月10日～27日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

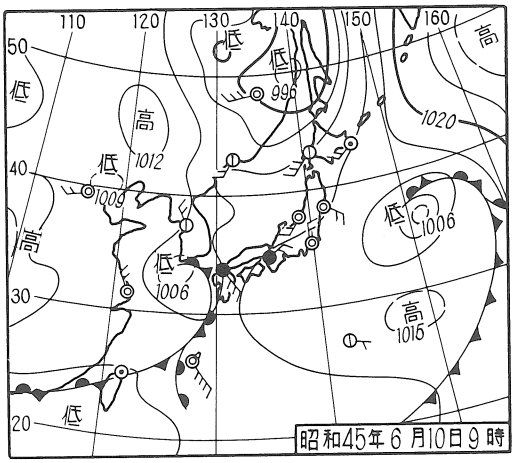
6月11日に関東では「つゆ入り」したが，10日から27日にかけて，本県でもつゆ空となり，連日のように降雨が続いた。この間降水量は県の南部や東部で200㎜以上となった。殊に南部の清澄283㎜，館山257㎜を観測した。

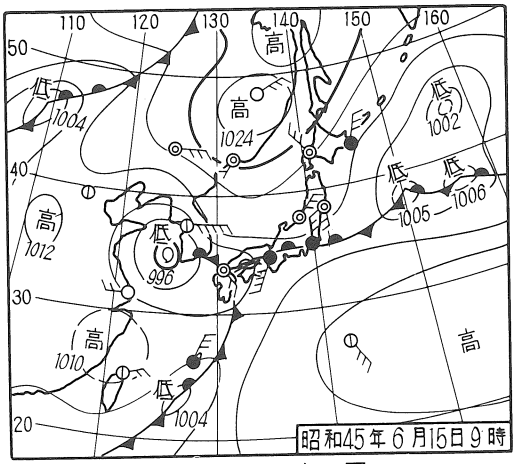
気象官署の極値表
（6月10日～27日）

官署＼要素	最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 ㎜	起日時分	降水 ㎜	起日時分	降水 ㎜	起時 日時～日時
銚子	17.9	19.10.30	62.5	19	210.0	10日～27日
館山	19.0	26.05.00	63.0	19	256.5	10日～27日
千葉	8.5	14.22.55	33.0	15	135.5	10日～27日
勝浦	13.5	19.08.34	54.0	19	209.5	10日～27日



県内総降水量分布図(㎜)
昭和45年6月10～27日



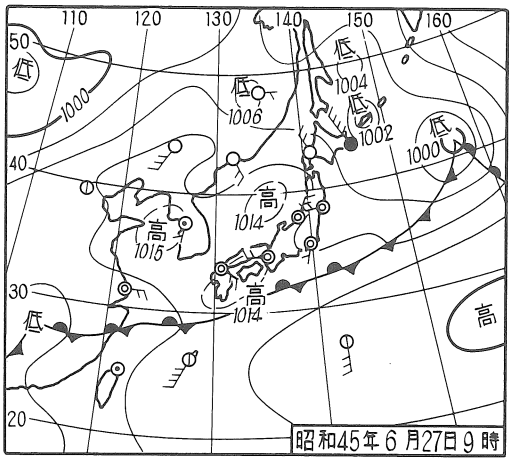


地上天気図

5. 被　害

16日　床下浸水44戸（船橋32，市川12），16日～19日がけ崩れ３件（千倉２，鴨川１），26日　がけ崩れ２件（鋸南１，勝浦１），建物半壊１戸（勝浦），その他農業関係にも多数の被害を生じた。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図



地　上　天　気　図

災害番号　28

1. 災害の種類(名称)　大雨（南関東の大雨）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）7月1日
3. 災害原因　低気圧・前線
4. 気象概況

6月30日夜，四国沖に低気圧が発生し，7月1日はゆっくり東北東に進み，2日やっと房総沖に遠ざかった。これら低気圧や前線の影響で湘南，房総で集中豪雨となった。この大雨は神奈川県から東に進み，1日午前8時から午後4時頃にかけて房総南部の山岳部に局地的な集中豪雨をもたらし，殊に午前10時から11時にかけての1時間最大降水量は大多喜116.0mm，中野113.5mm，札郷105.0mmを記録した。

気象官署極値表　7月1日～2日

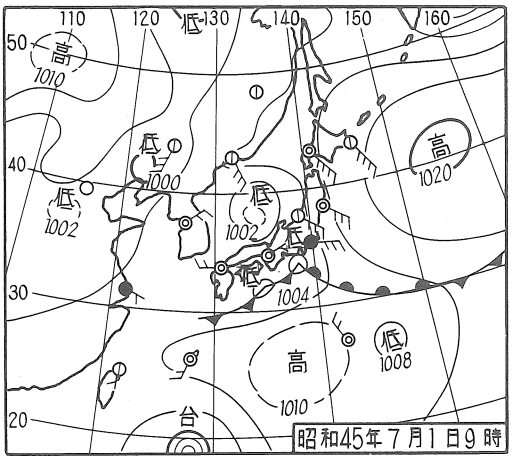
要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1004.4	2. 02. 00 2. 03. 00	ESE	10.2	1. 14. 10	ESE	17.2	1. 13. 38
館山	1002.9	1. 15. 14	SE	8.7	1. 07. 10	SE	14.6	1. 06. 54
千葉	1004.6	2. 01. 46	ENE	10.7	1. 15. 00 1. 15. 20	ENE	17.2	1. 14. 47
勝浦	1003.1	1. 18. 15	ESE	8.7	1. 10. 10	ESE	14.2	1. 09. 19

要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分
銚子	4.5	1. 15. 37	14.0	1. 15. 37	69.5	1	74.0	7. 1. 0000 7. 2. 0000
館山	6.0	1. 07. 57	15.0	1. 08. 13	32.5	1	32.5	7. 1. 0000 7. 2 2400
千葉	3.0	1. 06. 40	12.0	1. 13. 30	68.5	1	78.5	7. 1. 0000 7. 2. 2400
勝浦	18.5	1. 13. 50	75.5	1. 14. 40	162.0	1	166.0	7. 1. 0000 7 2. 2400

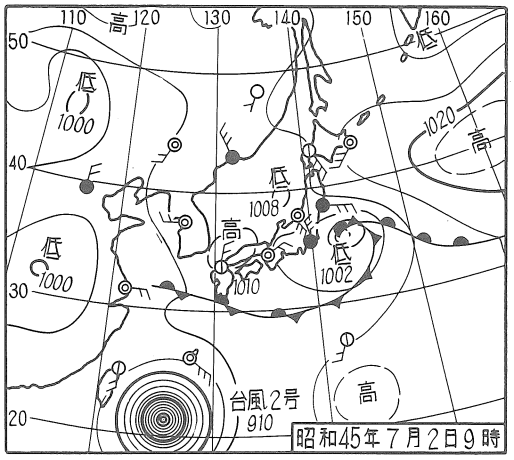
県内降水量観測表（mm）　9時～9時

観測所	30日	1日	合計	観測所	30日	1日	合計	観測所	30日	1日	合計
銚子	9	65	74	富山	20	75	95	清澄	24	131	155
八日市場	18	76	94	天羽	176	124	300	木下	12	81	93
成東	22	91	113	木更津	60	83	143	大金沢	40	86	126
片貝	17	86	103	牛久	23	158	181	本納	30	123	153
一宮	24	268	292	千葉	27	51	78	札郷	53	385	438
勝浦	10	152	162	市川	16	41	57	峰上	70	96	166
大多喜	23	349	372	野田	6	50	56	香木原	67	237	304
上総	(70)	(200)	(270)	佐倉	18	81	99	東金	23	127	150
清和	73	209	282	下総	18	70	88	多古	15	94	109
長狭	80	99	179	佐原	13	68	81	中野	34	363	397
鴨川	16	40	56	笹川	14	68	82	大久保	49	284	321
千倉	7	8	15	松戸	24	58	82	坂畑	66	300	366
館山	23	10	33	茂原	38	184	222	奥山	50	69	119

総降水量は，札郷438.0㎜，中野396.5㎜，大多喜372.0㎜と記録的な大雨となったが，気象官署のある館山33.0㎜，銚子74.0㎜であった。



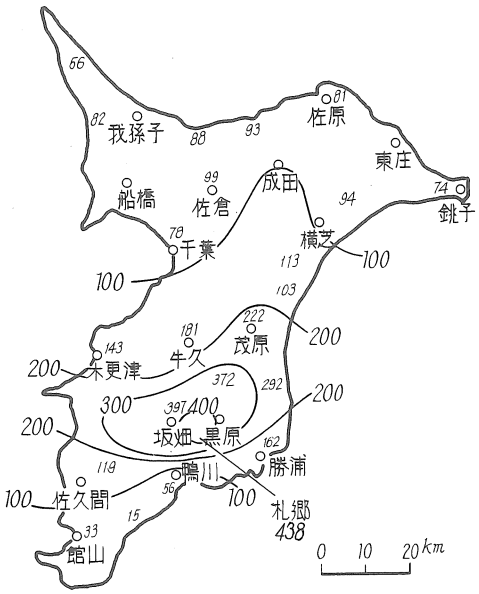
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　害

県南部丘陵地帯に大災害が発生したため，県では災害対策本部が設置され，また多くの市町村に災害救助法が適用された。県災害対策本部の調査によると，7月10日9時現在における災害の概要は，死者17名，行方不明2名，負傷者31名，家屋全壊123戸，家屋半壊252戸，一部破損1,355戸，床上浸水2,375戸，床下浸水5,150戸，非住家屋被害1,748戸，田流失2,002ha，田冠水14,841ha，畑流失，埋没239ha，畑冠水9,688ha，道路損壊3,585件，橋流失158ヵ所，がけ崩れ10,213ヵ所，鉄道不通107件，罹災世帯9,212戸，罹災者37,213名，その他農作物，鉄道，電力，通信関係にも大被害があった。



県内降水量分布図（㎜）
昭和45年6月30日9時～7月2日9時

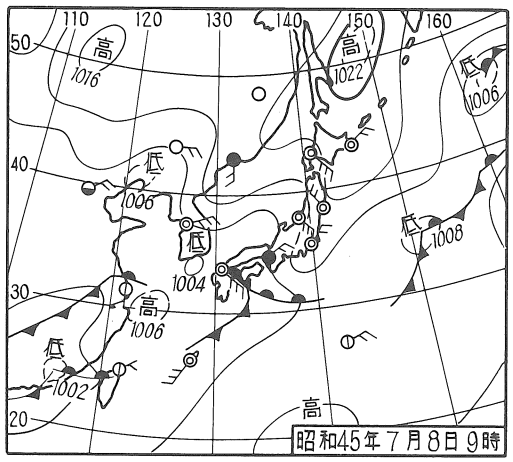
6．資　料

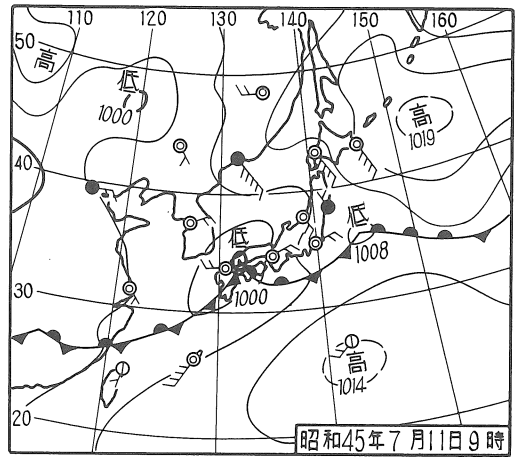
千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象速報45－3号，印刷天気図

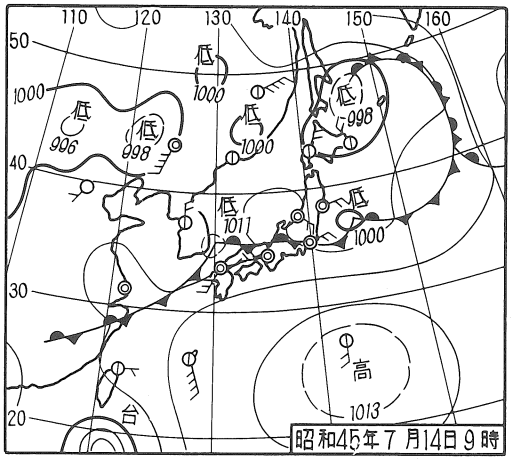
災害番号　29

1. 災害の種類(名称)　干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）７月８日～９月14日
3. 災害原因　少雨
4. 気象概況

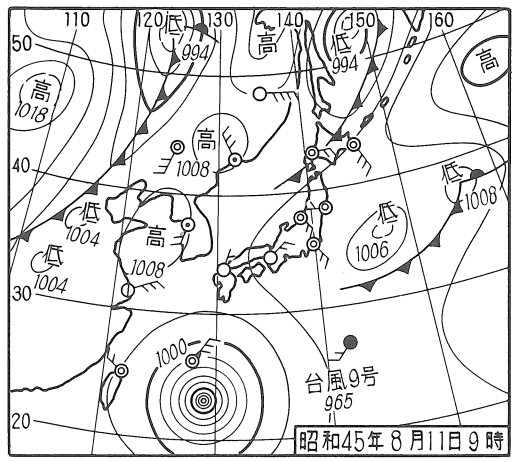
本年の「梅雨明け」は，例年より遅れて20日となったが，その後，本州付近は夏の太平洋高気圧におおわれ，暑い夏が続いた。この間，８月14日台風９号が長崎に上陸，また，８月21日に台風10号が高知を直撃した。当県では８月29日台風12号が房総沖に近づいたが，小型であり，日本上空の強い高気圧に覆われ，翌30日には本州のはるか東海上に遠ざかった。９月は台風もほとんど日本に近づかなかった。また，雷雨の発生も少なかったため，県中部を除き全般的に降水量が少なく，1951年～1970年の20年間の区内観測所における７月中旬から９月上旬の降水量を比較して見ると，大部分が最少値を記録している。







地上天気図



地上天気図

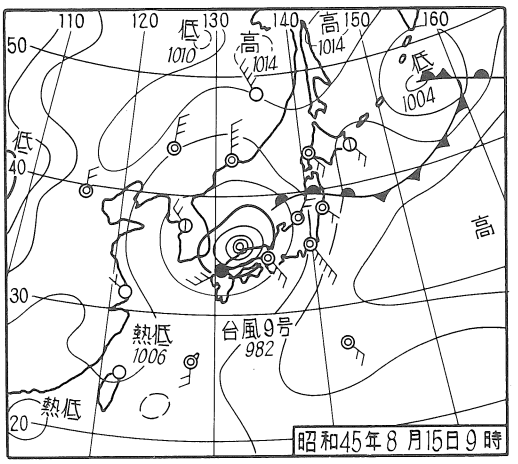
県内観測所降水量一覧表(mm)

地名 / 年	銚子	八日市場	成東	片貝	一宮	勝浦	大多喜	上総	清和	長狭	鴨川	千倉	館山	富山
1951	239	153	182	183	189	219	309	241	262	276	242	282	259	280
1952	249	213	212	201	218	301	392	257	279	329	379	322	248	254
1953	501	422	464	404	308	416	471	550	705	640	471	491	486	569
1954	197	231	225	224	222	355	333	234	234	307	285	342	297	232
1955	209	210	290	249	416	389	558	468	466	454	407	498	605	384
1956	122	80	69	77	**66**	91	105	100	114	135	108	97	82	89
1957	308	346	361	347	315	410	457	402	361	468	432	436	404	382
1958	217	228	234	219	233	350	362	363	449	392	425	325	346	349
1959	174	119	119	123	132	188	199	194	275	347	240	374	316	372
1960	427	424	455	529	451	606	539	538	646	446	650	484	482	414
1961	238	194	265	162	182	157	164	114	127	146	174	91	75	131
1962	127	100	104	112	172	297	172	229	186	121	168	136	131	173
1963	355	354	296	355	276	436	332	318	434	408	465	336	283	329
1964	58	145	114	69	69	119	94	161	127	95	176	108	93	112
1965	292	154	187	167	212	188	297	363	427	305	275	233	261	135
1966	82	97	229	112	101	**82**	111	195	207	189	126	132	141	237
1967	124	**56**	**63**	**59**	75	124	153	**93**	131	197	133	109	×	104
1968	347	383	441	336	346	399	438	470	526	662	472	429	486	473
1969	175	115	139	162	155	125	206	213	242	312	193	264	254	200
1970	**50**	58	80	72	67	108	**78**	158	**92**	**74**	**58**	**30**	**48**	**36**
合　計	4491	4082	4529	4162	4205	5360	5770	5661	6290	6303	5879	5519	5297	5255
平　均	225	204	226	208	210	268	289	283	315	315	294	276	279	263
＊	1	2	3	3	2	3	1	4	1	1	1	1	1	1

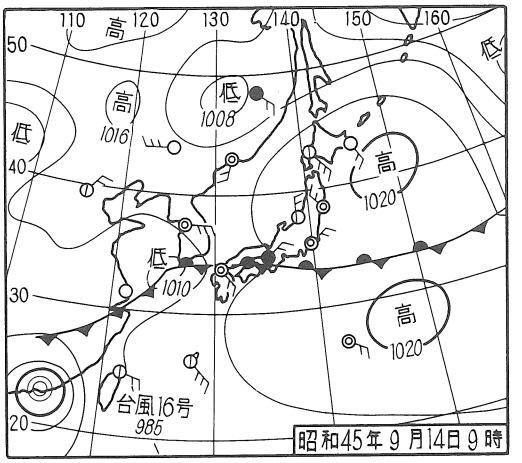
地名 / 年	天羽	木更津	牛久	千葉	市川	野田	佐倉	下総	佐原	笹川	松戸	本納	茂原	清澄
1951	244	291	181	199	187	208	211	204	181	153	230	182	195	282
1952	277	281	287	237	275	184	216	240	233	232	262	270	266	427
1953	718	514	570	541	422	370	530	397	345	364	382	436	446	441
1954	239	224	240	207	171	144	228	162	122	164	241	215	229	348
1955	408	396	486	300	319	351	329	236	215	244	324	330	299	502
1956	101	79	**93**	115	87	97	94	120	110	103	97	81	94	103
1957	363	275	389	349	218	282	400	383	366	306	225	409	444	439
1958	384	281	283	229	281	250	239	161	162	185	276	288	280	407
1959	302	243	170	118	216	263	134	157	112	136	220	135	147	277
1960	439	374	634	365	344	233	346	376	341	364	278	491	546	715
1961	97	**40**	294	159	105	154	179	370	325	288	135	303	213	168
1962	178	110	154	200	206	179	216	167	164	167	193	200	150	195
1963	372	230	326	386	269	232	266	287	274	236	316	338	283	332
1964	114	62	157	170	130	128	140	112	131	90	214	145	111	156
1965	289	210	164	188	288	325	174	216	195	197	394	204	217	266
1966	176	190	143	94	158	101	190	215	121	85	201	154	154	156
1967	141	94	138	80	77	88	88	94	**50**	114	87	65	93	133
1968	305	350	399	349	**97**	286	276	279	243	294	308	445	412	533
1969	195	157	259	107	190	207	119	171	96	128	221	172	202	198
1970	**80**	65	123	**68**	**35**	**53**	**80**	**76**	65	**44**	**49**	**60**	**69**	**51**
合　計	5422	4466	5490	4461	4075	4135	4455	4423	3851	3894	4653	4923	4850	6129
平　均	271	223	275	223	204	207	223	221	193	195	233	246	243	306
＊	1	3	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1

注）＊印は1970年までの少ない値の順位を示す。

（註）　統計は，1951年から1970年まで，各年について7月11日から9月10日（7月中・下旬，8月上・中・下旬，9月上旬）までの合計値。日界は9時とした。



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　　害

県南部各地で水道の断水や時間給水が行われ，学校によっては生徒が水筒持参の通学となった。

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　30

1. 災害の種類(名称)　海水温異常
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）7月20～26日
3. 災害原因　冷水塊
4. 気象概況

7月20，梅雨が明け，太平洋の夏の高気圧におおわれて内陸部では30℃を越す夏日が続いたが，冷水塊の影響で外房の海水温が異常に低くなった。千葉県水産指導船第2千葉丸，くさかべ丸の海洋観測の報告によると，房総沖合に冷水塊があり，暖流はその外側を北上しているということで，勝浦測候所で沿岸水温を観測した結果，19日22.6℃あった水温が20日には17.9℃と約5℃も低く，21日21.1℃，22日22.1℃，23日から26日まで23℃と低温が続き，27日には25.8℃に戻った。昨年に比べ20日は7℃近くも低かった。

館山・勝浦の水温表(℃)

日付	館山	勝浦	勝浦 44年同期	勝浦 43年同期
7月15日	23.5	20.1	21.1	22.2
16	25.5	21.7	22.7	20.9
17	24.2	22.7	23.8	20.9
18	24.6	22.7	24.5	22.1
19	…	22.6	24.3	23.2
20	24.8	17.9	25.8	24.1
21	24.6	21.1	25.5	24.2
22		22.1		
23		23.3		
24		23.3		
25		23.3		
26		23.2	26.2	23.3
27		25.8	25.2	22.5
28		24.8	24.5	22.0
29		23.7	23.1	20.4

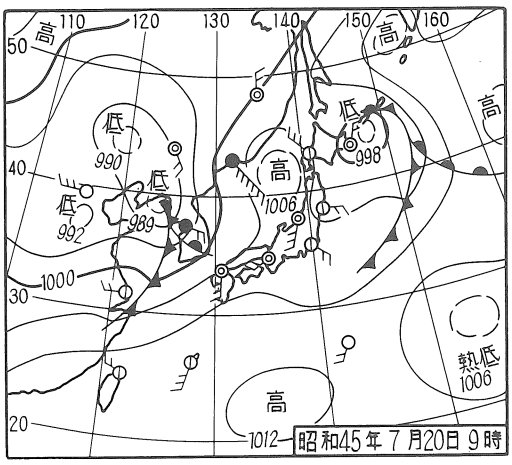
註）館山観測点 … 館山桟橋
勝浦観測点 … 勝浦港西側防波堤，海岸から約150ｍの地点

◎20日11時前後に出漁漁船からの資料(水温)

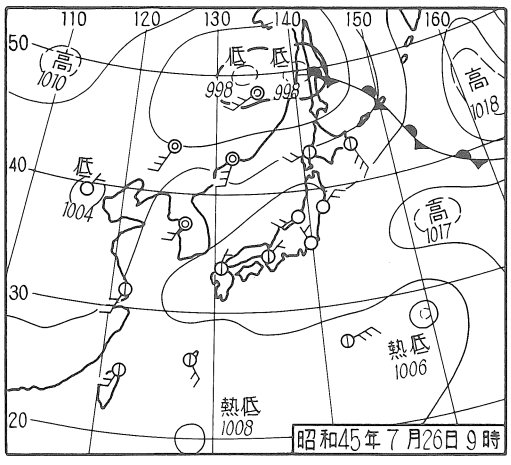
勝浦港の	SE	15km	22.5℃
〃	ESE	35～40km	21.0℃
〃	E	35km	20.3℃
〃	ESE	27～30km	19.0℃
〃	ENE	27～30km	19.0℃
勝浦灯台の	S	2 km	14.5℃

◎勝浦測候所職員による観測(20日13時頃)

勝浦港入口赤灯台付近	17.8℃
勝浦無線局付近	19.1℃



地上天気図



地上天気図

5．被　害　—

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，　印刷天気図

災害番号　31

1. 災害の種類(名称)　冷害　暖候期の異常低温
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）8月12日～13日
3. 災害原因　寒気
4. 気象概況

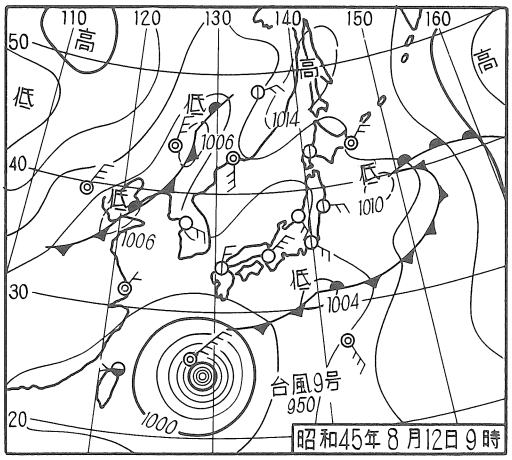
12日から13日にかけて，銚子沖を低気圧が通り三陸沖で発達した。この低気圧が北からの冷たい気流を呼びこみ，気温が急に下った。12日夜から13日朝までの最低気温は銚子17.0℃（平年より約6℃低い），勝浦では16.0℃（平年より約7℃低い）で共に8月としては低温の第1位を記録した。

8月の最低気温順位表(℃)

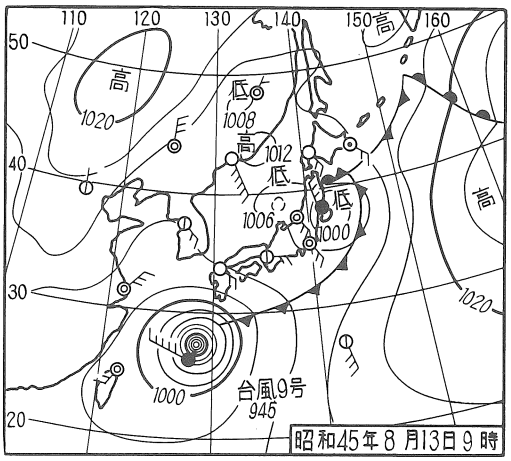
順位 / 官署	第1位		第2位		第3位		統計年
	気温	起日	気温	起日	気温	起日	
銚子	17.0	1970年8月13日	17.2	1970年8月12日	17.3	1939年8月16日	1914～
勝浦	16.0	1970年8月12日	16.0	1917年8月27日	16.5	1970年8月13日	1916～

県内官署の気温表(℃)　昭和45年8月

官署	銚子			千葉			館山			勝浦		
気温	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
9日	23.4	26.4	21.4	24.6	29.3	21.3	24.8	30.1	20.5	23.7	26.8	21.5
10日	22.9	25.4	20.7	23.5	29.0	20.2	22.7	28.1	17.9	22.9	27.1	20.1
11日	23.0	26.4	19.7	23.9	28.7	18.5	23.3	29.5	17.9	23.3	27.4	19.2
12日	23.3	28.7	17.2	22.7	28.4	18.1	23.0	28.1	18.0	22.3	27.6	16.0
13日	22.2	25.4	17.0	23.6	27.3	17.4	24.0	27.4	18.0	22.6	25.5	16.5
14日	25.0	27.6	22.0	26.1	28.4	23.9	26.0	30.0	23.4	25.0	27.3	22.0
15日	25.7	28.2	23.6	28.3	31.0	26.0	27.7	30.9	24.3	26.5	28.5	24.0



地上天気図



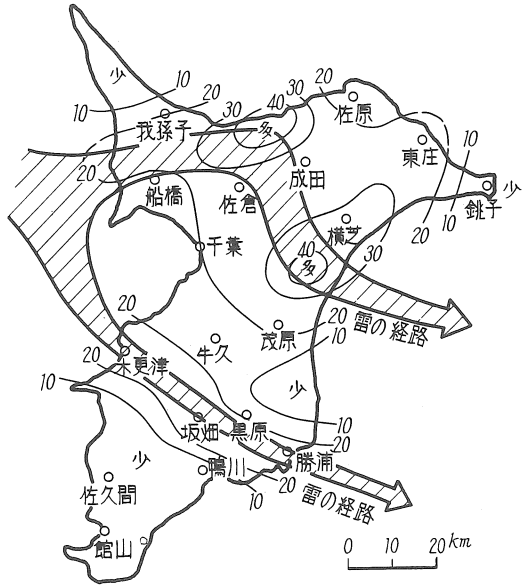
地上天気図

5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

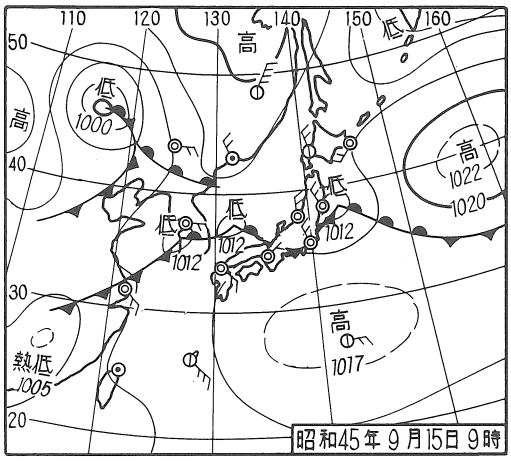
災害番号　32

1. 災害の種類(名称)　雷雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）9月15日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

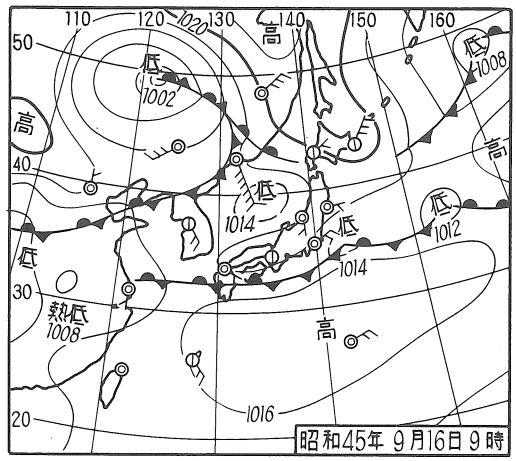
15日，山陰沖の低気圧から東にのびる前線が関東南部を通って三陸沖の低気圧につらなっており，この前線に沿って京浜，彦根，阪神などに界雷が発生した。また，夕刻東京郊外に発生した強雷が東に移動して県内に進入した。この強雷は午後8時頃から午後9時30分にかけて，松戸から木下，八街，東金を経て九十九里に抜けたものと，木更津，勝浦を結ぶ線を通った。



県内降水量分布図(mm)
昭和45年9月15日9時～16日9時



地上天気図



地上天気図

5. 被害

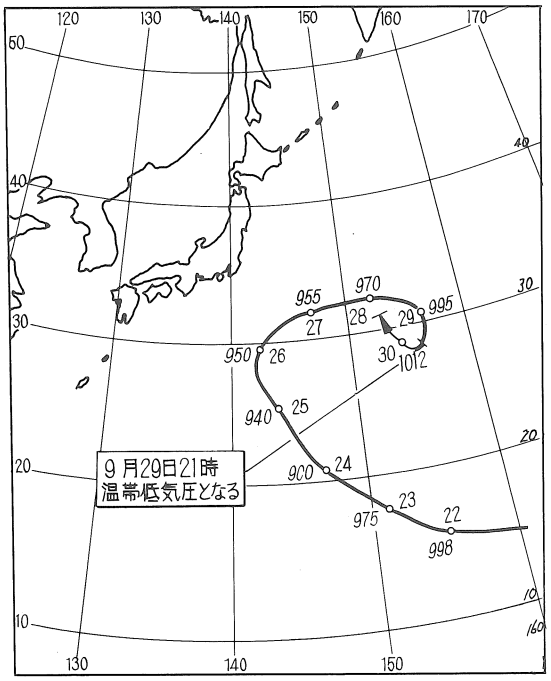
落雷により船橋管内で非住家の火災1件があったほか，木更津～館山，茂原～鴨川間で一時的な停電があった。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，雑誌「気象」，印刷天気図

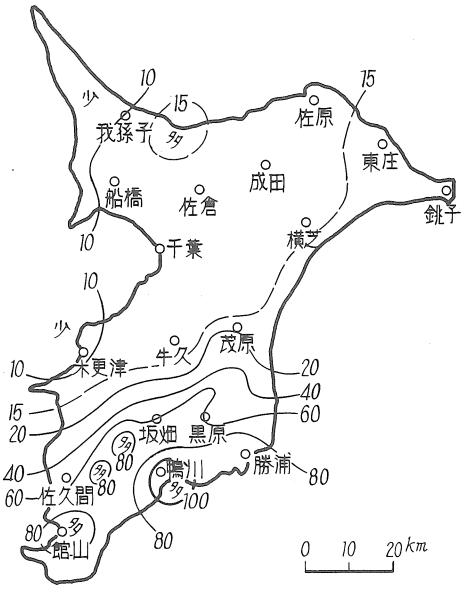
災害番号　33

1. 災害の種類(名称)　大雨・雷雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）9月29日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

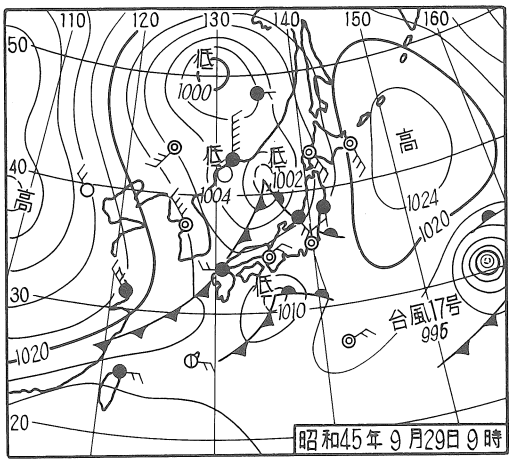
29日，台風17号が太平洋上を東方に去って温帯低気圧となった。一方，日本海の低気圧から南西にのびる寒冷前線が29日夕刻関東地方を南下した。このため，県南部で激しい雷雨となり，鴨川では降水量が119mmに達した。



台風経路図（台風17号）



県内降水量分布図(mm)
昭和45年9月29日～30日9時



地上天気図

5. 被　害

県南部の大雨のため，安房鴨川駅～安房天津駅間で約50m³の土砂崩れが発生し，上下線各4本が運休した。

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，印刷天気図，台風経路図

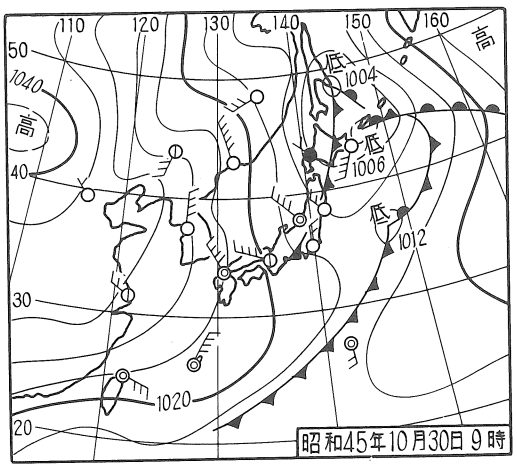
災害番号　34

1. 災害の種類(名称)　低温
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）10月31日
3. 災害原因　寒冷高気圧
4. 被害

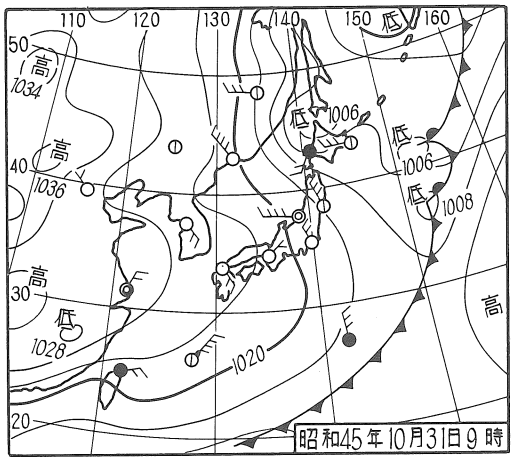
29日，日本海にあった低気圧が，30日北海道の東にさり，一方大陸から，かなり冷たい高気圧が日本付近に張り出して来た。このため，31日朝は西日本から東日本にかけて冷え込み，銚子の最低気温は7.0℃(平年13.4℃)まで下り，10月としては第1位の低温を記録した。

10月の銚子における極値表

要素	第1位		第2位		第3位		統計年
日最低気温	7.0℃	1970年10月31日	7.0℃	1931年10月29日	7.3℃	1957年10月19日	1914～
日最小湿度	27%	1969年10月28日	30%	1965年10月5日	32%	1970年10月31日	1950～



地上天気図



地上天気図

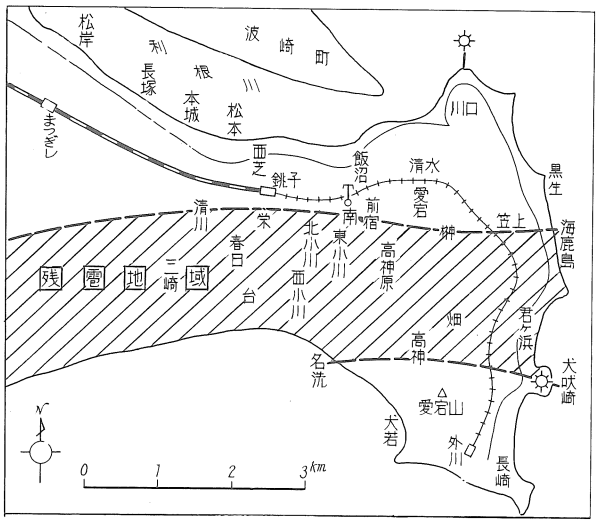
5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

災害番号　35

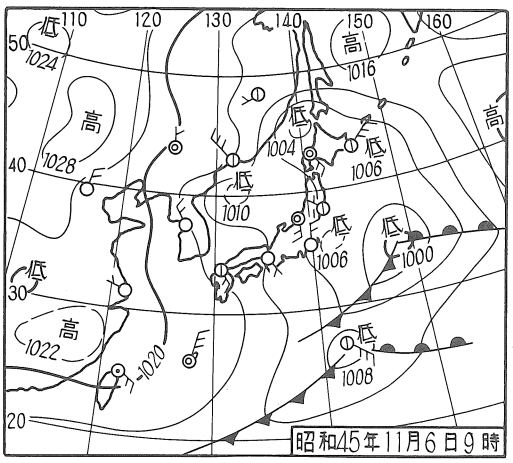
1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）11月6日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

6日，日本付近は大陸から張り出した高気圧におおわれ，よく晴れた。一方，上層には，朝鮮半島北東部に寒気の中心があり，この前面で上昇気流が発生した。日中関東地方の内陸部に熱的な地形性低気圧が発生し，東京都では午後3時頃から激しい雷雨となった。

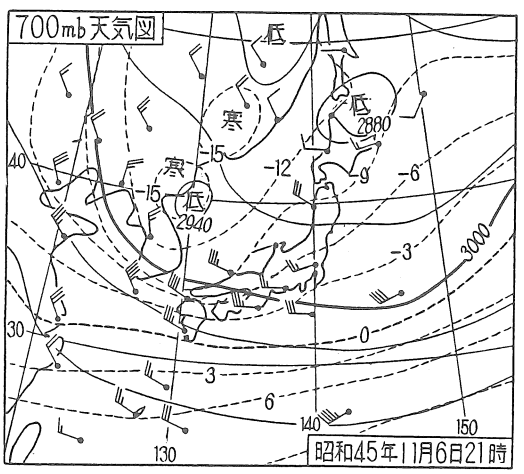
この雷雨が本県にも移動し，午後7時20分頃，成東方面で，午後11時頃茂原周辺で共に小豆大の降ひょうがあった。また，銚子付近では午後11時25分寒冷前線が通過し，最大瞬間風速WSW20.6m/s，気温は6℃も降下し，さらに午後11時35分頃から強雷と共に直径0.8～1.4 cm の激しいひょうが降って所によって深さ10cmも積った。



銚子市の降ひょう状況図　昭和45年11月6日



地上天気図



高層天気図

5. 被害

銚子及び飯岡町に集中し，キャベツ等に約4億円もの被害を与えた。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，風雨特別報告，異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　36

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）11月19日～20日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

19日，土佐沖に発生した低気圧が，本州南方の低気圧と１つになり，急速に発達(990mb)して，南岸をかけ抜けた。本県では19日夜から強い雨が降り始め，大雨は20日午後まで続き，総降水量は多古293㎜，清澄267㎜となり，11月としては記録的な豪雨となった。また，今回の豪雨は平常雨量の少ない多古方面に集中し，多古では20日午後２時から３時の１時間に59㎜，４時間降水量は162㎜に達した。

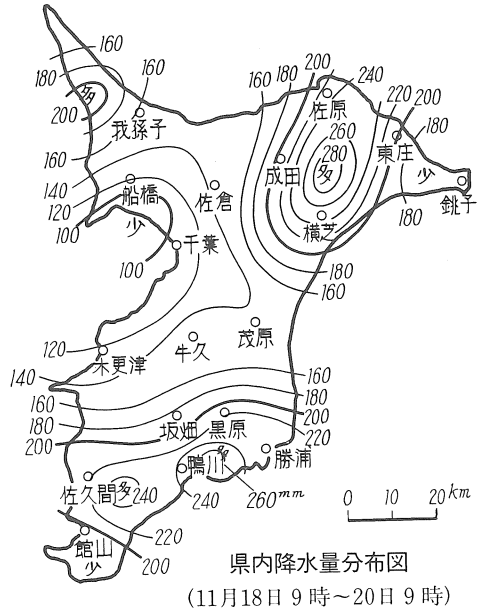
気象官署における極値表　(11月19日～21日)

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	994.5	20.16.30	N	22.0	21.09.40	N	31.8	21.10.51
館山	997.0	20.14.40	NNW	14.5	20.16.40	NNW	25.9	20.16.16
千葉	997.8	20.14.15	NNW	13.0	20.15.30	NNW	22.2	20.16.12
勝浦	995.3	20.16.12	NNW	14.5	20.19.40	NNW	27.8	20.12.20

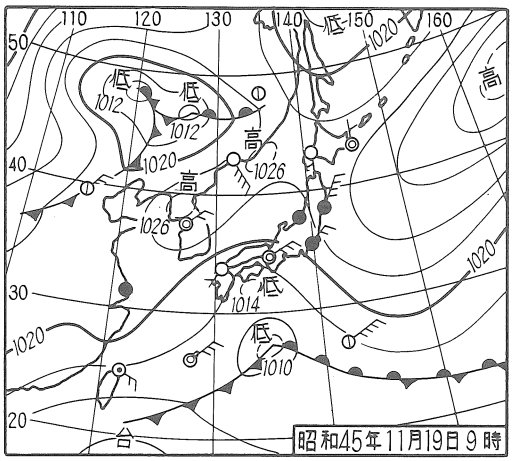
要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 ㎜	起時 日時分	最大１時間降水量 降水 ㎜	起時 日時分	最大日降水量 降水 ㎜	起時 日時分	総降水量 降水 ㎜	起時 日時～日時
銚子	7.0	20.17.25	23.0	20.17.50	106.0	20.18	129.5	19.03～20.20
館山	5.0	20.10.40	20.5	20.10.50	124.0	20.09	195.0	18.19～20.15
千葉	6.0	20.01.15	14.5	20.02.00	78.0	20.09	102.5	19.04～20.15
勝浦	10.5	20.12.20	40.5	20.12.40	205.0	20.15	238.0	17.12～20.16

県内降水量観測表（９時～９時）(㎜)

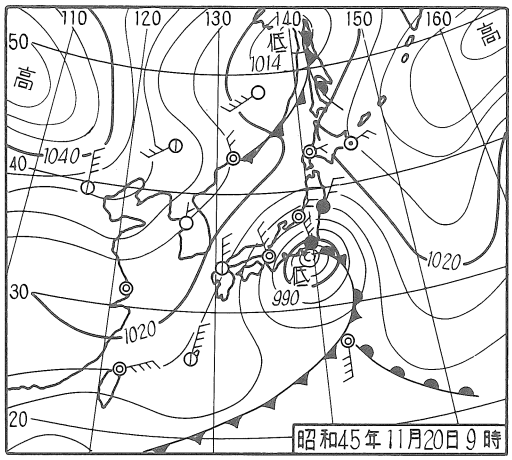
観測所名	18日	19日	20日	合計	観測所名	18日	19日	20日	合計
銚子	13	68	83	164	市川	6	68	10	84
八日市場	2	86	133	221	野田	13	125	62	200
成東	1	67	150	218	佐倉	4	65	76	145
片貝	2	52	110	164	下総	9	53	102	164
一宮	3	55	90	148	佐原	2	73	151	226
勝浦	7	128	103	238	笹川	2	70	105	177
大多喜	2	95	91	188	松戸	6	117	19	142
久留里	4	104	51	159	茂原	2	89	59	150
正木	3	137	44	184	清澄	10	171	86	267
長狭	6	164	62	232	木下	7	88	52	147
鴨川	3	166	70	239	大金沢	4	83	41	128
千倉	10	120	66	196	本納	1	74	53	128
館山	19	124	52	195	東金	2	70	71	143
富山	1	176	30	207	多古	2	80	211	293
天羽	16	159	31	206	中野	6	133	92	231
木更津	7	86	10	103	大久保	5	(95)	54	(154)
牛久	4	107	40	151	坂畑	4	117	60	181
千葉	3	78	22	103	奥山	13	179	58	250



県内降水量分布図
(11月18日９時～20日９時)



地 上 天 気 図

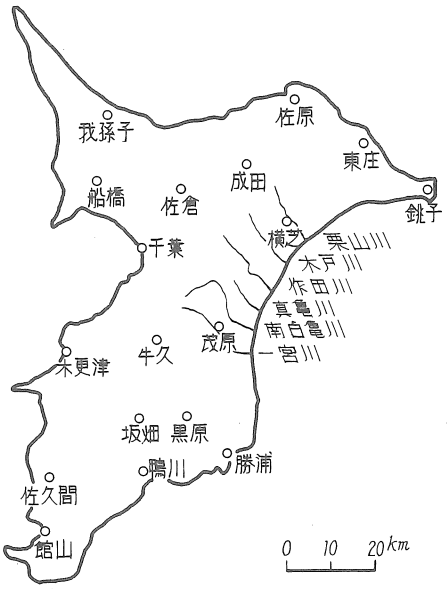


地 上 天 気 図

5. 被　害

九十九里に流出している栗山川，木戸川及び作田川がはん濫し，この方面でがけ崩れや，家屋の浸水等大きな被害となった。

死者３名，負傷者11名，家屋全壊14戸，家屋半壊11戸，床上浸水230戸，床下浸水2,164戸，一部破損１戸，非住家被害８戸，田冠水73ha，畑冠水５ha，道路破損44ヶ所，橋流失６ヶ所，がけ崩れ64ヶ所，鉄軌道被害７件，罹災世帯254戸，罹災者989名，その他農作物，鉄道，通信，電力関係にも大きな被害があった。殊に秘害の目立ったのは香取郡であった。被害総額は農作物等約２億3,100万円，農地農業用施設約５億8,680万円，林業用施設約3,730万円となり，総額約８億5,493万円に達した。



はん濫した河川の位置図

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象速報，風雨特別報告，異常気象原簿，千葉県農林部調，印刷天気図

災害番号　37

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和45年（1970年）12月2日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

2日，日本海西部にあった低気圧が急速に発達し北東に進んだ。この低気圧に向って全般に南西の風が強まり，午後2時50分，東京では最大瞬間風速21.9m/sの突風を記録した。本県でも正午頃から南部を中心に南西の風が強まり，館山，銚子では20m/sに近い突風を観測した。海上でも平均10m/sを越える強風が吹き，波も高かった模様であった。このため海難事故が相ついだ。

館山における遭難前後の気象観測値　12月2日

要素／時刻	気圧 mb	気温 ℃	風向16方位	風速 m/s	天気	視程 km
12時	1,008.2	12.0	SW	8.2	⊗	50
13			SW	8.5		
14			SW	6.7		
15	1,003.9	12.8	WSW	7.0	◎	50
16			SW	6.5		
17			SW	8.0		
18	997.9	13.9	SW	7.8	▽	4

銚子の気象表　12月2日

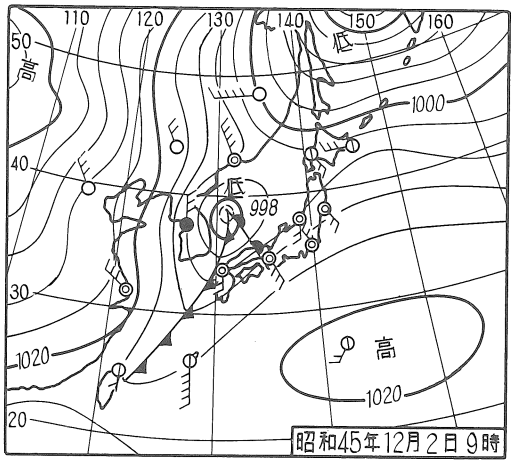
要素／時刻	気圧 mb	風向16方位	風速 m/s	天気	降水量mm	視程 km
18時	997.2	WSW	9.2	⊗	−	15
19	994.6	WSW	7.0	▽	0.0	15
20	994.2	WSW	5.5	▽	0.5	10
21	992.5	SW	7.0	▽	2.0	10
22	990.5	SW	3.7	▽	0.5	15
23	991.4	NW	4.7	⊗	0.0	5
24	991.2	NW	5.2	⊗	−	6

官署の極値表　12月2日

要素／官署	最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
館山	SW	11.5	20. 10	SW	19.7	19. 12
銚子	WSW	12.0	16. 20	SW	19.9	15. 02

5. 被　害

1) 館山市房総海運所属の小湊丸（20ｔ）は，ダルマ船第16大東丸と第12丸三丸（それぞれ鉄板300ｔ積載）をえい航し，君津港から船橋へ向う途中，２日午後３時頃千葉沖西方海上で強風と高波のため，第16大東丸と第12丸三丸の２隻が相次いで沈没し，大東丸の船長は，行方不明となったが，丸三丸の船長は小湊丸に救助された。



地　上　天　気　図

2) 小型のり採集船１隻が木更津沖１kmの海上で２日午後２時30分頃突風のため転覆し１名は救助されたが，１名は行方不明となった。

3) 東京都渋谷区松涛1-5-3，若築建設㈱所有のタグボート第３昭陽丸（92ｔ，７名乗組）がサンドポンプ船，遠賀（おんが）丸（150排水ｔ，青野善四郎船長等４名乗組）他１隻の作業船を引いて，午前９時飯岡漁港を出航，千葉へ向ったが，荒天のため太東崎沖で反転引き返したところ，午後９時頃銚子市長崎鼻から南々西（196°）約８km（4.5マイル）の沖合で時化のため遠賀丸は高波をかぶって浸水し，間もなく沈没した。乗組員４名は一時他の作業船に乗り移り，のち昭陽丸に救助された。

6. 資　料　　異常気象原簿，印刷天気図

災害番号　38

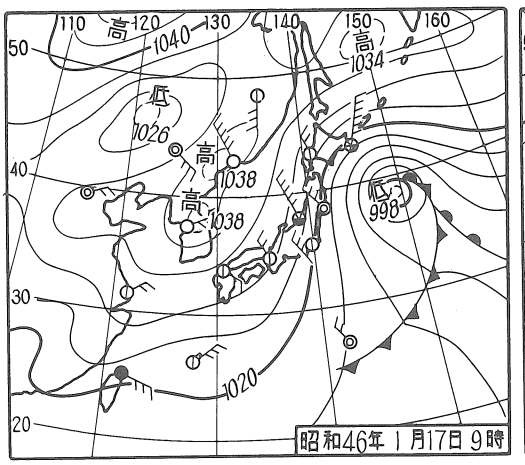
1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭年46年（1971年）1月17日
3. 災害原因　季節風
4. 気象概況

17日，三陸沖で低気圧が発達し，停滞した。一方，大陸の高気圧が日本付近に張り出し，東日本を中心に季節風が強まり突風を伴った。千葉では最大瞬間風速22.5m/sを観測し，また，10m/sを越える風は午前10時から午後3時50分まで持続した。

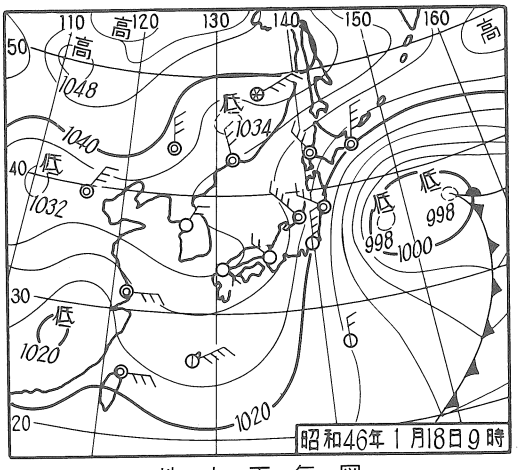
千葉測候所極値表　1月17日

要素	風向	風速 m/s	起時
最大風速	NW	13.3	14：30
最大瞬間風速	NW	22.5	11：10

（註）風速の10m/s以上の持続した時間　10時00分～15時50分



地上天気図



地上天気図

5. 被害

17日午後1時45分頃，野田市番昌で物置の屋根及びトタン塀（高さ1.6m，長さ15m）が10m/sを越える強風にあおられて県道に倒れ，主婦5名が全治5～7日間のけがをした。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　39

1. 災害の種類(名称)　波　浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和46年（1971年）3月23日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

カムチャッカ方面から本州の南海上を通って沖縄方面にのびる前線上を,低気圧が相次いで通過した。この低気圧に吹き込む北東の風が強まり海上では荒れ模様となった。

勝浦測候所極値表

種別	極値	起時	
最大風速	NNE 9.3 m/s	06.10	
最大瞬間風速	N 17.2 m/s	12.00	風向逆転
10分間最大降水量	1.0 mm	14.30	
1時間最大降水量	3.0 mm	15.00	
最大日降水量	17.5 mm	07.55～22.20	
総降水量	17.5 mm	07.55～22.20	
視程	8 km	09.00	

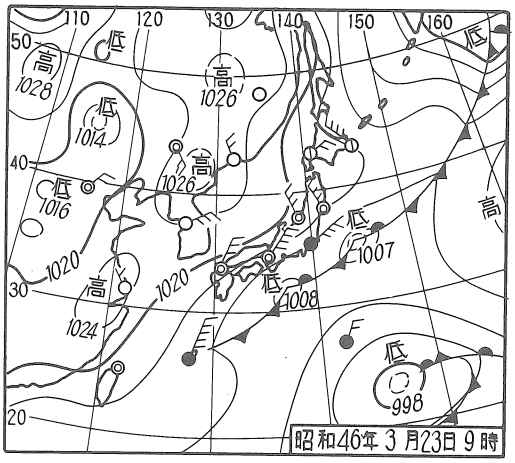
銚子地方気象台極値表　3月23日

種別	極値	起時	
最大風速	NNE 13.2 m/s	08.40	
最大瞬間風速	NNE 20.9 m/s	04.30	風向一定
10分間最大降水量	1.0 mm	10.30	
1時間最大降水量	2.5 mm	11.05	
最大日降水量	9.0 mm	08.20～20.20	
総降水量	9.0 mm	08.20～20.20	
視程	20 km	03.00	

5. 被害

23日午前4時10分頃，沼津港を出航し鹿島港に向っていた，大阪市港区市岡2-19　山戸組所有の石材運搬船第28住栄丸が，勝浦灯台沖の海上で荒天のため転覆した。死者3名，行方不明1名

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図



地上天気図

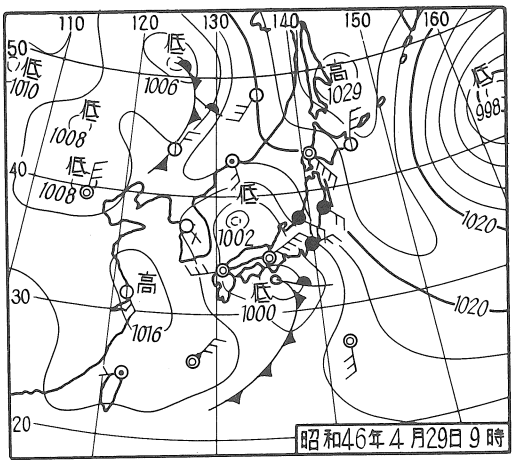
災害番号　40

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和46年（1971年）4月29日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

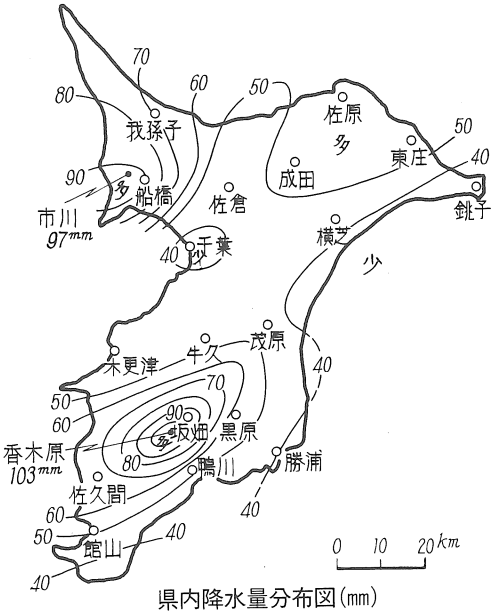
28日，東シナ海と黄海にあった2ッ玉低気圧が発達をしながら29日から30日にかけ，本州を挟む形で通過した。雨量は東北地方南部で多くなり，いわき市では総降水量151㎜に達した。本県でも28日夜半前から29日午後9時頃まで雨が降り続き，県南部の丘陵地帯と県北西部で雨量が多くなり，総降水量は市川98㎜，香木原103㎜に達した。

千葉測候所の極値表　4月28日～29日

要素	極値	起時
最大10分間降水量	2.0 ㎜	29. 13. 30
最大1時間降水量	6.5 ㎜	29. 14. 00
最大日降水量	30.5 ㎜	29. 00.00～21.30
総降水量	30.5 ㎜	28. 21.40 ～ 29. 21. 30



地上天気図



県内降水量分布図(㎜)
昭和46年4月28日～29日

5. 被害

市川，船橋，松戸方面の低い土地に浸水家屋が出た。

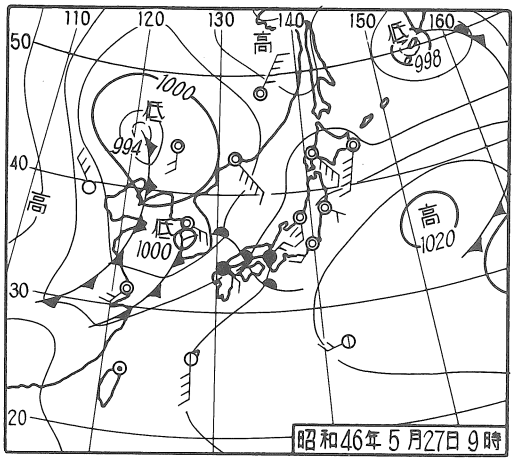
床上浸水10戸（市川10），床下浸水487戸（市川350，船橋29，松戸108）。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　41

1. 災害の種類(名称)　視程不良（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和46年（1971年）5月27日
3. 災害原因　濃霧
4. 気象概況

26日夜，黄海に発生した低気圧から南東にのびる温暖前線が近ずき，また，これに沿って東日本上空の下層に暖かい空気が流れ込んだ。この影響で27日午前0時40分から6時55分にかけ濃霧が発生し，銚子の最短視程は，午前6時200mとなった。



地上天気図

銚子気象台観測記事　5月27日

－Vis≡－ 0400 $Vis_{0.5}$≡－0410 Vis_1≡－

－0450Vis_2＝－0505Vis_1≡－0510$Vis_{0.5}$≡－

－0640Vis_1≡－

注：≡…天空の見える霧(視程1km未満)

＝…もや（視程1km以上）

$Vis_{0.5}$…水平視程500m未満

5. 被害

1) 27日午前5時00分頃，銚子市犬吠埼灯台から南東（129°）8マイル付近で底引き漁船第8寿々丸（39t，8名乗組)と，まぐろ延縄漁船第11清勇丸（47t，15名乗組）が衝突し，小破したが人命に異常はなかった。

2) 27日午前5時15分頃，銚子犬吠崎灯台から東北東（71°）4マイル付近で，タンカー旭洋丸（994t，13名乗組）とタンカー隆栄丸（826t，12名乗組）が衝突し，船体を大破したが，人命には異常はなかった。なお，漁船及びタンカーの衝突当時の視程は共に100m位であったという。

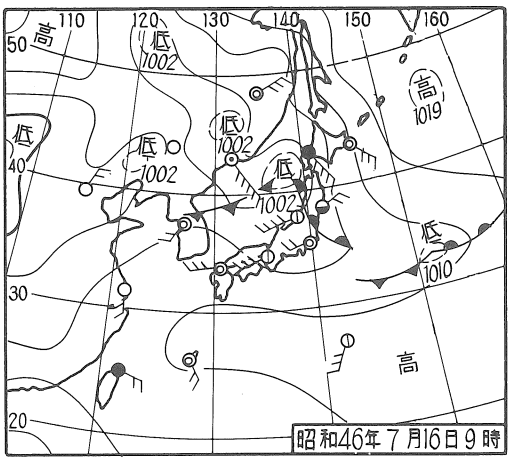
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　42

1. 災害の種類(名称)　雷雨・大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和46年（1971年）7月16日～19日，26日
3. 災害原因　前線・低気圧
4. 気象概況

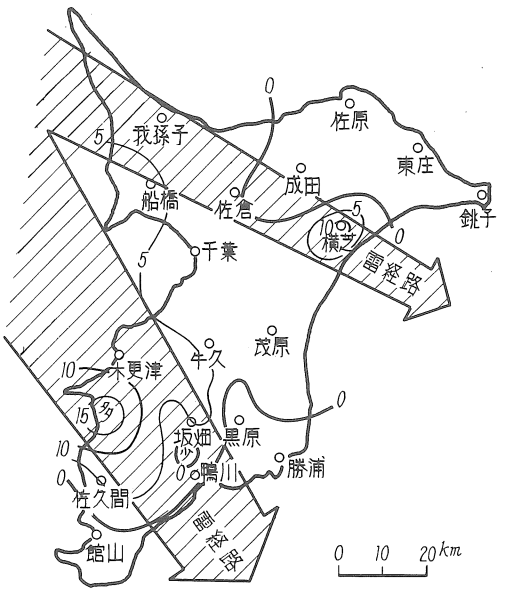
7月16日から19日にかけ，上空に寒冷な空気が流れ込んだため，本州のあちこちで「雷三日」ならぬ4日間も熱雷や前線雷が続いた。また26日は前線の南下により県北部を中心に雷雨となった。

16日，秋田沖の低気圧から南東にのびる温暖前線の影響で山形県下では雷を伴う前線豪雨があり，山崩れによる生埋3名や羽越線が不通となった。前線の南側にあった関東地方では，日中の気温の上昇により大気は不安定となり，午後，秩父・丹沢方面に熱雷が発生し，更に発達しながら南東に移動し，浦和，横浜ではひょうを伴った。夕刻この雷雨は本県の北部と南部に分れて通過した。



地上天気図

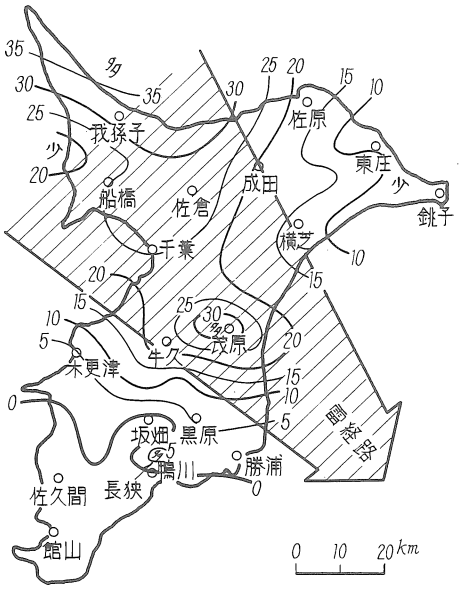
17日，ゆっくりとした秋田沖の低気圧に伴う寒冷前線が南下し，上空に寒気が流入して来た。前日は熱雷であったが，17日は前線による界雷で，県北西部から南東方向でかなり広範囲にわたって雷雨となり，千葉，習志野，市川，柏，野田，東金，茂原の8地区で29ヶ所に落雷した。



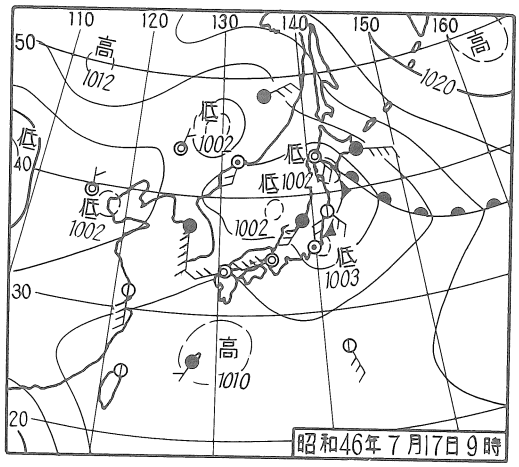
雷の経路，県内降水量分布図(mm)
昭和46年7月16日

千葉測候所極値表　7月17日

要素	mm	起時
最大10分間降水量	4.5	17. 21. 20
最大1時間降水量	9.5	17. 21. 50
最大日降水量	13.5	17. 24. 00
総降水量	22.5	17. 20. 40 18. 04. 00

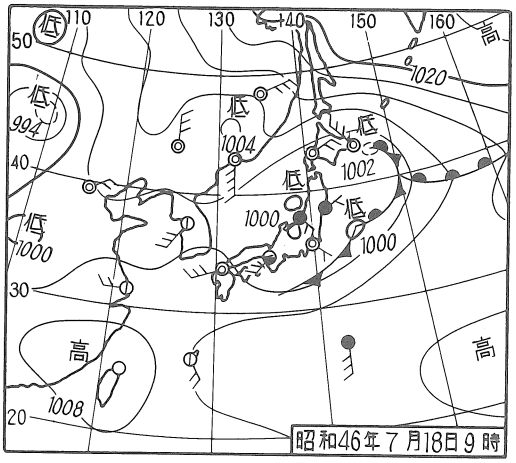


雷の経路・県内降水量分布図(mm)
昭和46年７月17日

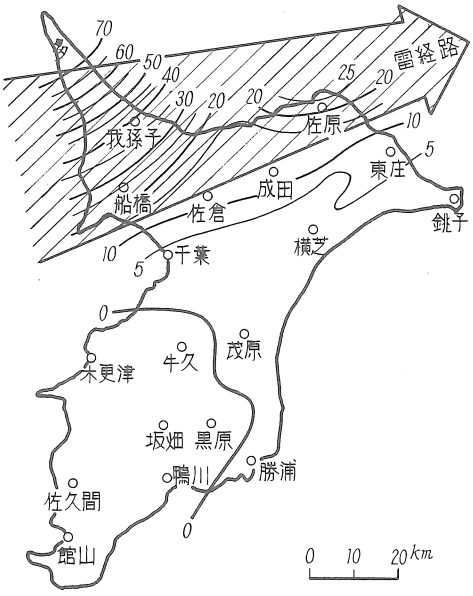


地　上　天　気　図

18日，寒冷前線は南海上に遠ざかったが，日本海にあった小さな低気圧が中部地方に進み，本州中部で集中豪雨や雷雨となった。殊に兵庫県新舞子では集中豪雨による山崩れで旅館がつぶされ犠牲者10名，相生の国道でバスが流され犠牲者４名，伊勢や愛知では落雷による犠牲者３名を出した。本県では夕刻すぎ，県北部を雷雨が通過し，習志野，船橋，市川，松戸，柏，野田，成田，佐原の８地区で31ケ所に落雷した。また，降水量は県北西部で多くなったが，南部ではほとんど雨は降らなかった。

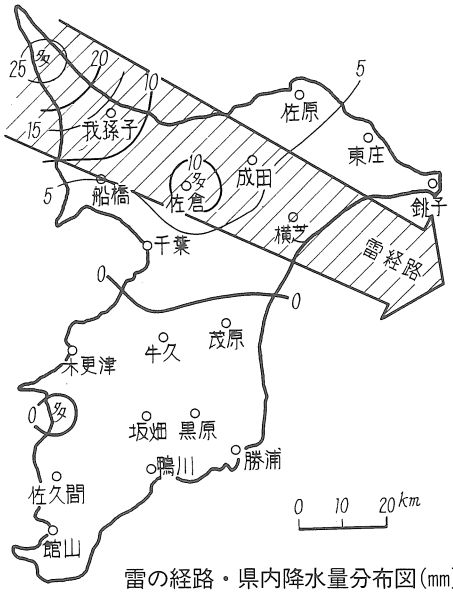


地　上　天　気　図

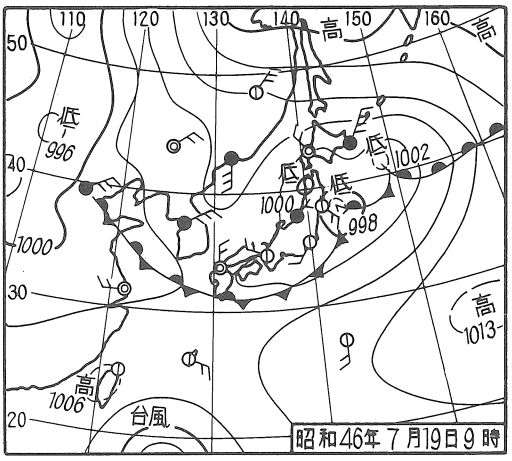


雷の経路・県内降水量分布図(mm)
昭和46年７月18日

19日，東日本から西日本にかけて良く晴れたが，上空の寒気による不安定な天気がつづき，雷４日となった。関東南部では夕方前から雷雨となり，落雷により国電ダイヤが混乱した。本県では野田地区で４ヶ所落雷があり，その後佐倉，横芝方面を通過した。なお，午後５時５分，茨城県上空で日航機の機首に落雷があり，レーダを破損し危く羽田に引き返した。

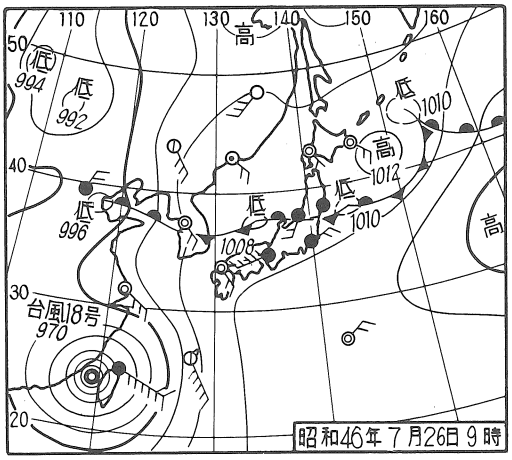


雷の経路・県内降水量分布図(mm)
昭和46年７月19日

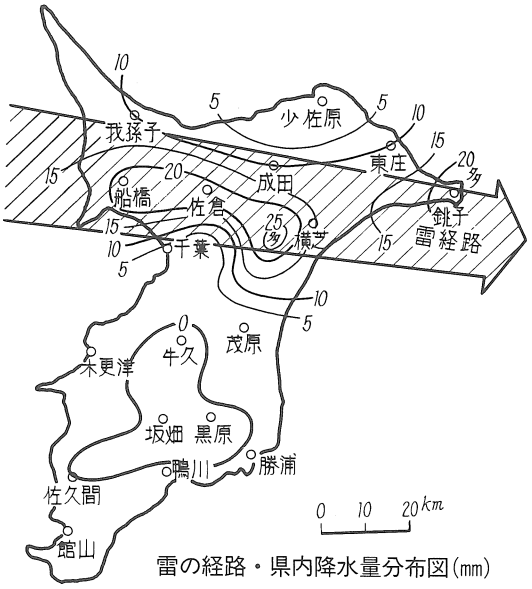


地　上　天　気　図

26日，気圧配置は，戻り梅雨の型になり東北地方南部から日本海西部に横たわっていた前線が徐々に南下し，西日本方面を中心に所々豪雨となり，対馬で１時間に140mmという強雨が降った。本県でも北部を中心に雷雨となり東金で１ヶ所落雷があった。



地　上　天　気　図



雷の経路・県内降水量分布図(mm)
昭和47年７月26日

5. 被　害　この間の落雷や浸水の被害は表に示す通りである。

被　害　状　況　表　　4月16日～26日

日	千葉県警察本部調	東京電力千葉支店調	千葉鉄道管理局調	千葉電気通信部調
16			両国駅の落雷により総武，房総東西の各上下線60本が16時48分から3～32分遅れ	
17		千葉，習志野，市川，柏，野田，成田，茂原の8地区で29ヶ所に落雷し，停電となる		
18	床上浸水72（松戸68，市川4） 床下浸水357（松戸350，市川7） 道路冠水3（松戸）	習志野，船橋，市川，松戸，柏，野田，成田，佐原の8地区で31か所に落雷し，停電となる	成田線で落雷のため17時55分から8分遅れる	東葛飾郡鎌ヶ谷町でマンホール浸水のため，300回線が一時障害となった
19	松戸で床上浸水113，床下浸水400，道路冠水2	野田地区で4か所に落雷し，停電となる		
26		東金地区で1か所に落雷停電となる		

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　43

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和46年（1971年）8月29日～31日
3. 災害原因　台風23号
4. 気象概況

南鳥島付近に発生した台風23号は，本州はるか南方海上を西進し奄美大島付近に達し，中心の気圧は920mbの猛烈な台風となった。その後北上をつづけ，29日午後11時30分頃，九州佐多岬に上陸し，鹿児島では最大瞬間風速44m/sを記録した。台風はやや衰えたが，30日午後4時頃足摺岬をかすめ，午後8時頃土佐に再上陸し，進路を東北東にとって紀伊半島から本州南岸を進み，31日午後6時頃館山付近を通って午後9時頃，銚子付近から鹿島灘に抜けた。本県でも台風の通過前から大雨となり，県中央部を除いて総降水量は100㎜から200㎜に達し，八日市場では232㎜を記録した。但し，台風が県内通過中雨はほとんどなかった。なお，鴨川市では31日午前7時15分頃，千葉市では午前9時頃，飯岡町では午前10時50分頃竜巻が発生した。

気象官署極値表　（8月29日～9月1日）

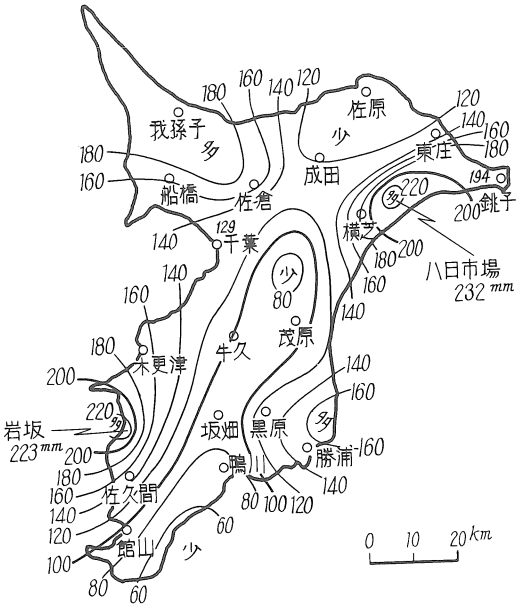
要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	985.1	1.01.50	N	23.2	1.04.10	N	34.4	1.04.05
館山	985.8	31.17.50	NNW	11.8	1.02.10	SE	22.3	31.05.20
千葉	986.0	31.18.40	E	10.2	31.07.40	NNW	20.7	1.02.50
勝浦	985.8	31.18.30	S	13.2	31.10.50	NNW	22.6	1.06.40

要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 ㎜	起時 日時分	降水 ㎜	起時 日時分	降水 ㎜	起時 日時分	降水 ㎜	起時 日時～日時
銚子	13.5	31.12.50	37.5	31.13.05	183.0	31	198.5	8.30 18.40 9.1 09.10
館山	14.5	31.05.40	31.0	31.06.00	84.5	31	87.0	8.30 14.40 9.1. 04.20
千葉	8.5	31.10.00	26.5	31.10.00	116.0	31	129.0	8.30. 18.00 9.1. 03.40
勝浦	16.5	31.06.50	35.5	31.07.00	106.0	31	115.0	8.30. 17.10 9.1. 06.55

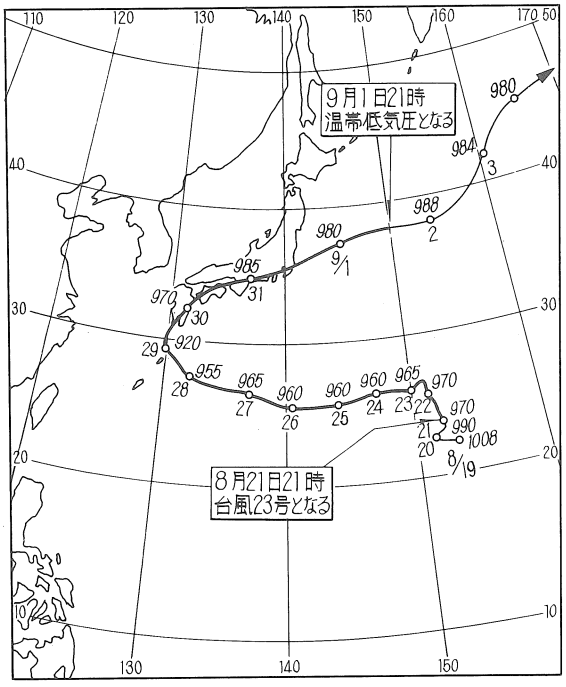
区内観測所降水量表

（8月30日～31日）

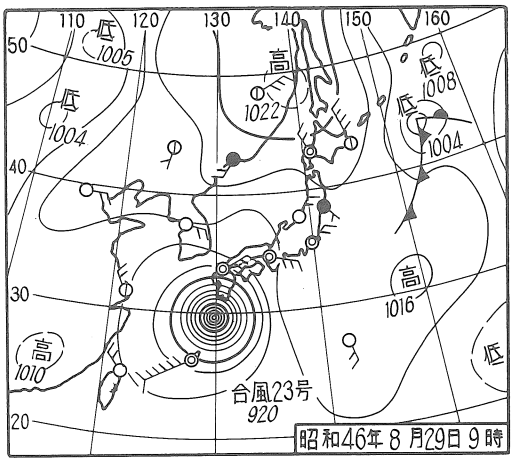
観測所名	30日	31日	合計	観測所名	30日	31日	合計
銚子	75	124	199	市川	75	72	147
八日市場	180	52	232	野田	84	109	193
成東	73	40	113	佐倉	103	78	181
片貝	73	48	121	下総	62	43	105
一宮	77	24	101	佐原	75	44	119
勝浦	67	48	115	笹川	78	37	115
大多喜	91	32	123	松戸	125	71	196
久留里	60	36	96	本納	62	22	84
正木	58	38	96	茂原	81	16	97
松尾寺	52	32	84	清澄	42	41	83
鴨川	44	32	76	木下	84	99	183
千倉	33	23	56	大金沢	81	36	117
館山	56	32	88	東金	32	33	65
富山	97	50	147	多古	99	36	135
岩坂	161	62	223	中野	90	39	129
木更津	106	60	166	大久保	83	15	98
牛久	70	27	97	奥山	69	73	142
千葉	67	62	129	坂畑	×	×	×



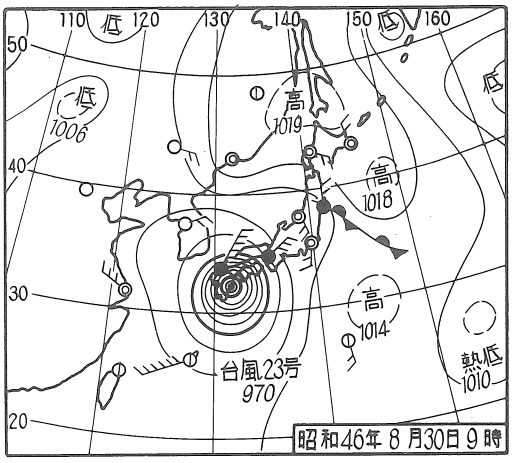
県内降水量分布(mm)
昭和46年8月30日～8月31日



台風経路図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　　害

死者１名，負傷者17名，家屋全壊８戸，家屋半壊42戸，一部損壊34戸，床上浸水159戸，床下浸水2,375戸，田畑冠水140ha，道路損壊１ヶ所，堤防決壊１ヶ所，山くずれ15ヶ所，鉄軌道被害６件，船舶破損13隻，罹災世帯数209戸，罹災者概数856人，その他農作物被害261万円

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象速報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」，台風経路図

災害番号　44

1. 災害の種類(名称)　たつ巻
2. 災害発生年月日(期間)　昭和46年（1971年）8月31日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

台風23号の県内通過に伴い，3ケ所でたつ巻が発生した。

① 千葉市のたつ巻

31日の午前9時00分頃，千葉市中央区北西部にたつ巻が発生し，幸町，稲毛を経て，9時05分頃国鉄稲毛駅付近で消滅した。なお，たつ巻のつめあとは巾50～100m，長さ約2.5kmであった。

〔被害〕死者1名，負傷者16名，家屋全壊38戸，自動車被害40台

② 飯岡町のたつ巻

31日午前10時50分頃，九十九里浜の海上に発生したたつ巻が，海上郡飯岡町の浜辺に上陸後北上し，11時05分頃，海上町蛇園付近で消滅した。なお，たつ巻のつめあとは巾30～40m，長さ約2kmであった。

〔被害〕浜地区・負傷者1名，家屋全壊1戸，家屋半壊1戸，一部破損8戸，
ビニールハウス鉄骨全壊2件（600坪）
三川下宿地区・家屋半壊7戸，一部破損3戸，その他，ビニールハウス破損
トウモロコシ畑に被害
海上町蛇園地区・豚小屋（12坪）屋根とも西方に100m飛ばされた。
午前11時過ぎ，この付近で消滅した。

③ 鴨川市のたつ巻

31日午前7時15分頃，鴨川市太海浜地の浜波太（ハマナブト）漁港の沖合，約1500mのところにたつ巻が発生した。なお，たつ巻の巾は約25m，長さは2.3kmに及んだ。

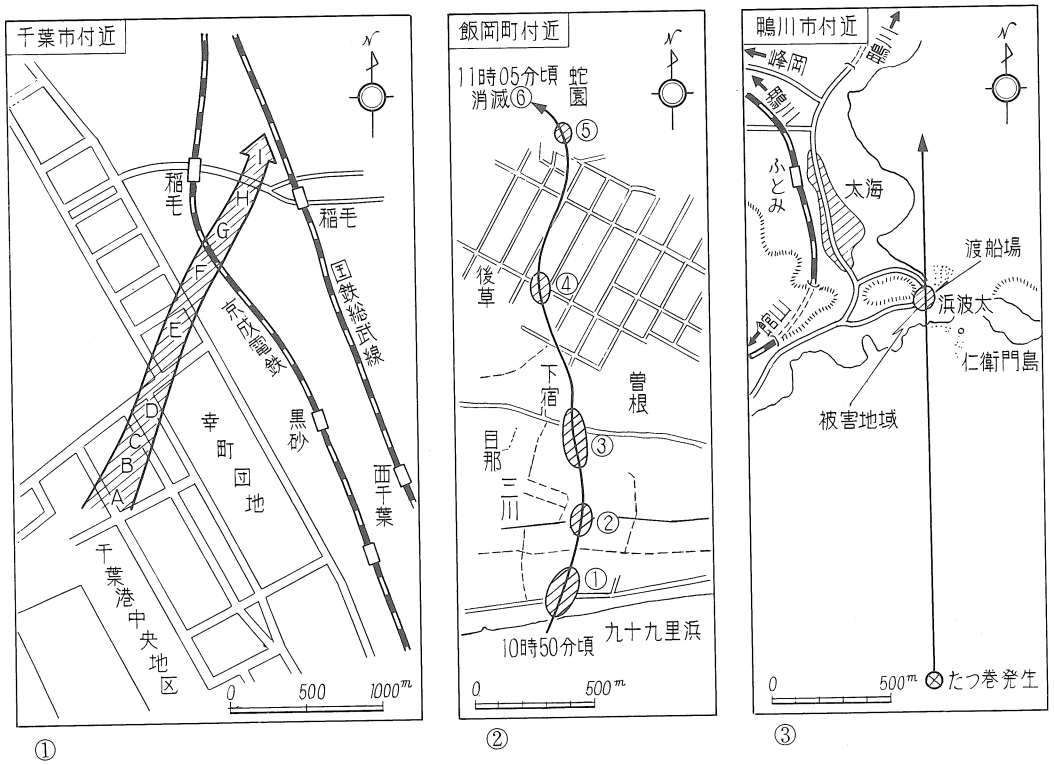
〔被害〕浜波太漁港の木造小型動力船（2.5屯前後）7隻が道路側に将棋倒しとなった。更に船外機船（0.3屯）6隻は船尾を軸に左回転し，道路側に横倒しとなったが，これらはすべて小破の部類であった。
30人乗の渡船も転覆した。港の付近の家屋3戸に多少の被害があった。

気　象　官　署　極　値　表

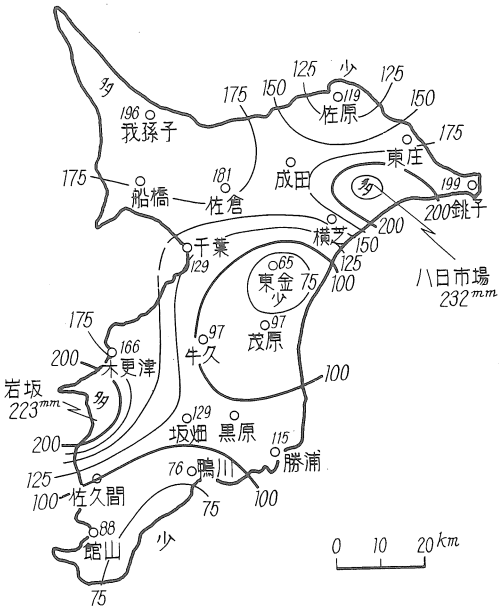
8月31日～9日1日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	985.1	1.01.50	N	23.2	1.04.10	N	34.4	1.04.05
館山	985.8	31.17.50	NNW	11.8	1.02.10	SE	22.3	31.05.20
千葉	986.0	31.18.40	E	10.2	31.07.40	NNW	20.7	1.02.50
勝浦	985.8	31.18.30	S	13.2	31.10.50	NNW	22.6	1.06.40

要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 月日～月日
銚子	13.5	31.12.50	37.5	31.13.05	183.9	31	198.5	8.30～9. 1
館山	14.5	31.05.40	31.0	31.06.00	84.5	31	87.0	8.30～9. 1
千葉	8.5	31.10.00	26.5	31.10.00	116.0	31	129.0	8.30～9. 1
勝浦	16.5	31.06.50	35.5	31.07.00	106.0	31	115.0	8.30～9. 1

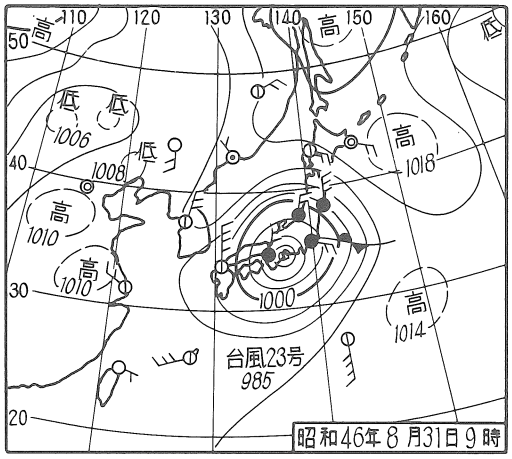


各　地　た　つ　巻　経　路　図



県内降水量分布図(mm)

昭和46年８月30日９時～９月１日９時



地　上　天　気　図

5. 資　　料　　異常気象原簿，異常気象速報，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　45

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭年46年（1971年）9月6日～7日
3. 災害原因　台風25号・前線
4. 気象概況

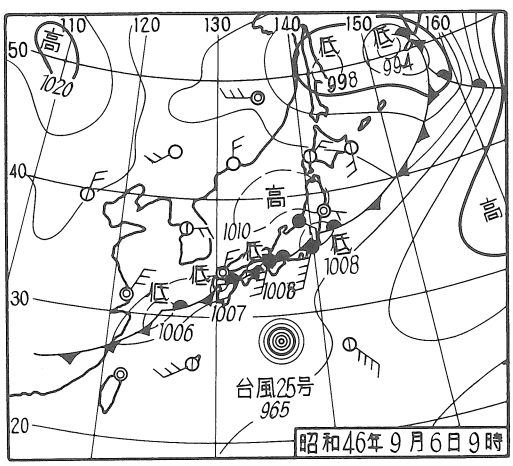
2日午前9時，沖ノ鳥島の南で発生した台風25号が北上し，本州の南方洋上で北々東に進路を変えて房総沖から8日午前3時には銚子の東40kmの海上を通過して北海道のはるか東で温帯低気圧に変った。この台風の北上と共に南海上に停滞していた秋雨前線が活発となった。県内でも6日から大雨となり大雨警報が出され，翌7日には暴風雨警報に切替えられた。また，台風の通過時には風が強まり，銚子では最大風速34.7m/sの北風，最大瞬間風速は49.0m/sの北風を記録した。また，総雨量は勝浦559.0mm，一宮414.0mm，銚子371.0mmと記録的な豪雨となり，人的被害のほとんどは，がけ崩れによる家屋の倒壊により発生した。

県内気象官署極値表

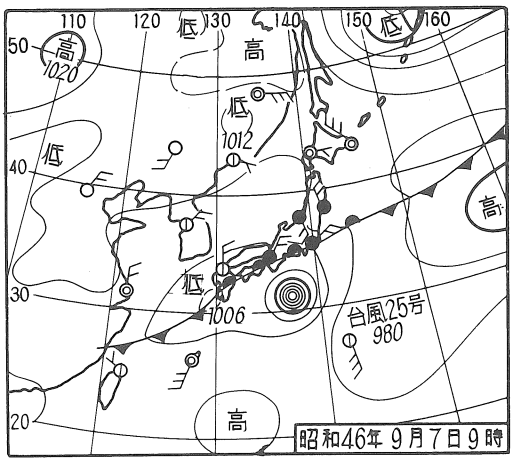
9月6日～8日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	984.9	8. 03. 00	N	34.7	8. 03. 10	N	49.0	8. 03. 10
館山	992.9	8. 00. 40	NW	17.7	8. 01. 10	N	29.0	8. 00. 40
千葉	997.9	8. 01. 55	N	15.2	8. 01. 00	N	27.7	8. 01. 00
勝浦	984.5	8. 00. 47	NW	21.0	8. 01. 30	NW	39.9	8. 01. 30

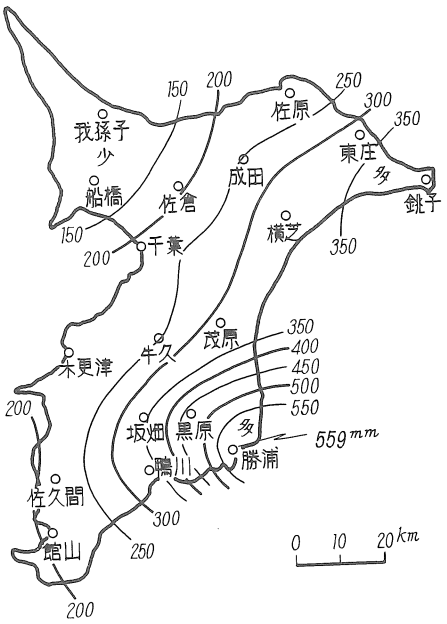
要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 mm	起始 日時分	最大日降水量 降水 mm	起時 日時分	総降水量 降水 mm	起時 日時分
銚子	21.0	7. 23. 00	61.0	8. 02. 10	161.5	8	369.5	6～8日
館山	7.0	7. 18. 50	26.0	7. 19. 10	130.5	7	215.0	〃
千葉	9.5	6. 21. 10	27.5	7. 03. 35	150.0	7	220.5	〃
勝浦	23.5	8. 00. 40	122.0	8. 01. 00	277.5	7	558.0	〃



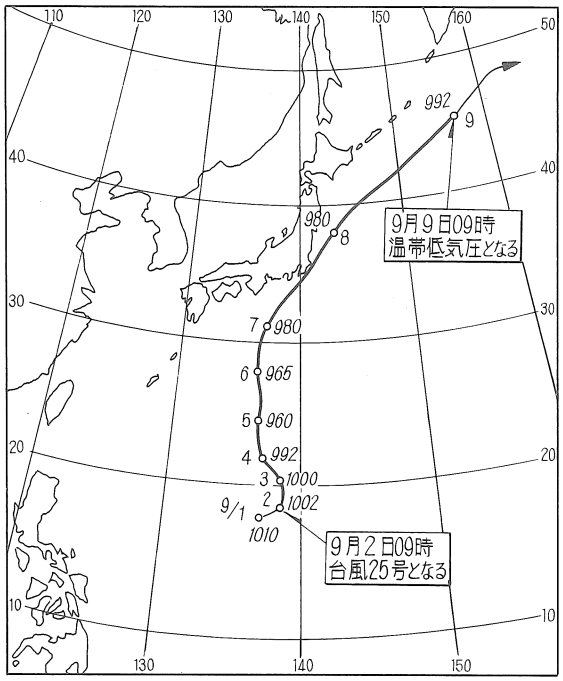
地上天気図



地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和46年9月6日9時～9日9時



台風経路図

県内降水量観測表（mm）

9時～9時

観測所名	6日	7日	8日	合計	観測所名	6日	7日	8日	合計
銚子	101	269	1	371	市川	34	79	－	113
八日市場	88	(200)	DX	(288)	野田	30	77	1	108
成東	78	231	1	310	佐倉	3	147	0	150
片貝	89	233	1	323	下総	58	145	2	205
一宮	165	249	0	414	佐原	80	144	－	224
勝浦	206	352	1	559	笹川	75	210	－	285
大多喜	149	341	0	490	松戸	44	83	－	127
久留里	98	189	0	287	本納	75	191	－	266
正木	92	151	1	244	茂原	101	193	0	294
松尾寺	114	150	6	270	清澄	164	209	2	375
鴨川	139	162	1	302	木下	38	103	0	141
千倉	98	86	9	193	大金沢	105	121	0	226
館山	83	131	2	216	東金	93	174	0	267
富山	82	116	1	199	多古	119	196	－	315
岩坂	66	178	1	245	中野	142	240	1	383
木更津	96	127	－	223	大久保	114	165	1	280
牛久	96	131	2	229	坂畑	×	194	1	×
千葉	96	125	0	221	奥山	96	160	2	258

5. 被　害

死者55名，負傷者19名，船舶沈没３隻，船舶破損29隻，その他甚大な被害を受けた。

被　害　状　況　警察署別　　千葉県警察本部長　９月９日14時現在

警察署別 / 被害種別	単位	千葉中央	千葉南	船橋	市川	松戸	佐倉	成田	佐原	小見川	銚子	旭	八日市場	成東	東金	茂原	大原
死者	人								3	23	9	1	6				11
負傷者	人								7	2		2		2	2		4
家屋全壊	棟							4	13	15	1	11	4	7	1	1	2
〃　半壊	〃							1			2	53		2	1	1	1
床上浸水	〃	11	1				2		100			1	152	30	80	267	
床下浸水	〃	270	69	5	556	199		140	100			49	1066	258	2022	1017	6
家屋一部破損	〃						1					1		1			5
非住家被害	〃	1								1				12			1
水田冠水	ha							5				3					
畑冠水	〃													4			
道路損壊	個所	7	1		2	1		2	8	7	3	2	10	13	3	6	3
橋梁流失	〃													1		1	1
堤防決壊	〃														3	1	
崖くずれ	〃	3					1	3	7	17	4	2	7	10	2	2	5
鉄軌道被害	〃							3									
罹災世帯数	戸	11	1				3	5	102	11	2	4	153	63	80	268	3
罹災者概数	人	50	4				10	23	507	48	12	14	460	269	350	1104	14

警察署別 / 被害種別	単位	勝浦	市原	木更津	館山	千倉	鴨川	合計
死者	人	2						55
負傷者	人							19
家屋全壊	棟	3						62
〃　半壊	〃		1					62
床上浸水	〃	45		5			16	710
床下浸水	〃	76	8				43	5882
家屋一部破損	〃		1					9
非住家被害	〃							15
水田冠水	ha							8
畑冠水	〃							4
道路損壊	個所	15	7	8	15	1	2	116
橋梁流失	〃							3
堤防決壊	〃					1		5
崖くずれ	〃	15	8	5	1	3	1	96
鉄軌道被害	〃	2						5
罹災世帯数	戸	48	1	5			16	776
罹災者概数	人	232	4	20			52	3173

注：９月13日12時までに判明したものは次のとおりであり，特にがけ崩れ等は更に増える模様である。銚子，死者９，負傷26，　非住家を含む，　全壊23，半壊342，床上浸439，床下浸274，道路損15，がけ崩れ 18，小見川死者23，負傷25，全壊71，半壊47，一部破22，非住家182，床上浸211，床下浸4,329。

農作物関係被害　県農林部農政課調　９月９日17時現在

種別	被害面積（ha）	被害金額（千円）	備考
水稲	22,349	2,712,097	
野菜	2,639	794,394	
果樹	1,008	186,210	
花木	90	180,000	
その他の作物	1,703	165,800	落花生・甘藷など
畜産	155	102,790	畜舎を含む
養蚕	266	113,640	桑園
ビニールハウス	118	297,978	
計	28,328	4,552,909	

農地農業施設（埋没・流失他）3,500個所	3,000,000千円
林業施設・治山	598,900千円
合計	8,151,809千円

6. 資　料

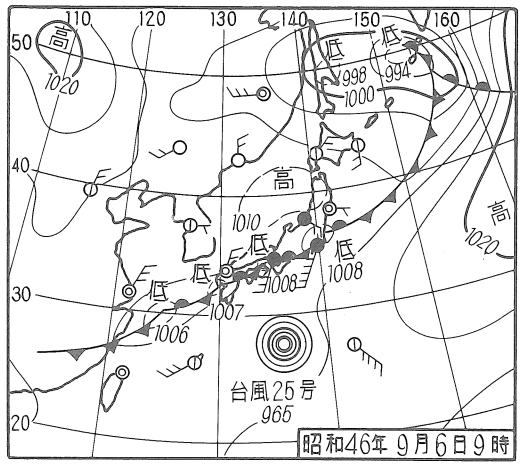
千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象速報46－２号，異常気象原簿

異常気象速報，台風経路図，印刷天気図

災害番号　46

1. 災害の種類(名称)　異常潮
2. 災害発生年月日(期間)　昭年46年（1971年）9月6日，11日
3. 災害原因　異常潮位（原因不明）
4. 気象概況

(1) 9月3日，紀伊半島から駿河湾にかけて浸水被害を出した太平洋沿岸の異常潮位は，4日は東京湾にも波及し，夕方の満潮時に推算より23cmも高まった。5日は関東から九州まで前例のないほど広域に及び，千葉港内では平常より102cmも高い306cmの潮位を記録した。



地　上　天　気　図

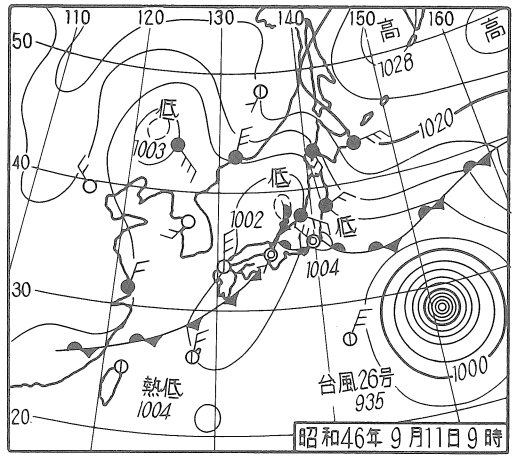
最高潮位(cm)　9月6日

港	D.L.上	T.P.上	偏差	起時
千葉	350	150	不明	6日05時00分
布良	210	80	15	6日04時50分
銚子	179	68	7	6日04時05分

D. L. 潮位観測基準面
T. P. 東京湾平均海面

〔被害〕6日，千葉県の東京湾沿いで床上浸水2戸（千葉中央1，千葉1），床下浸水192戸（千葉中央70，千葉南1，船橋96，市原25），道路冠水7ヶ所（千葉中央2，千葉南1，船橋4）の被害が出た。

(2) 太平洋沿岸の異常潮位は，11日にも発生した。



地　上　天　気　図

最高潮位(cm)　9月11日

港	D.L.上	T.P.上	偏差	起時
銚子	211	100	43	11日18時45分

〔被害〕11日午後8時から9時にかけて，九十九里沿岸で床下浸水20戸（東金），被住家5戸，（成東4，東金1），道路冠水4ヶ所（旭2，八日市場1，茂原1）に被害が出た。

5．資　　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，千葉海上保安部，千葉県察本部，印刷天気図

災害番号　47

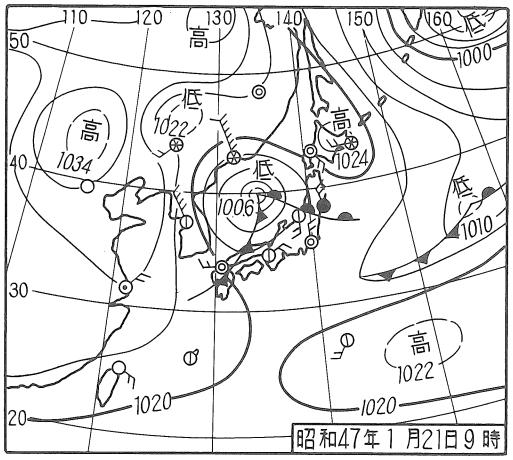
1. 災害の種類(名称)　火災
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）1月21日～22日
3. 災害原因　前線通過による強風・異常乾燥
4. 気象概況

21日，日本海を低気圧が発達しながら通り，22日は北海道東方に去って更に発達した。この低気圧に伴う寒冷前線が21日夜半すぎ関東地方を通過した。この前線通過後，県内でも西よりの風が強まり，次第に空気が乾燥し，山火事が発生した。

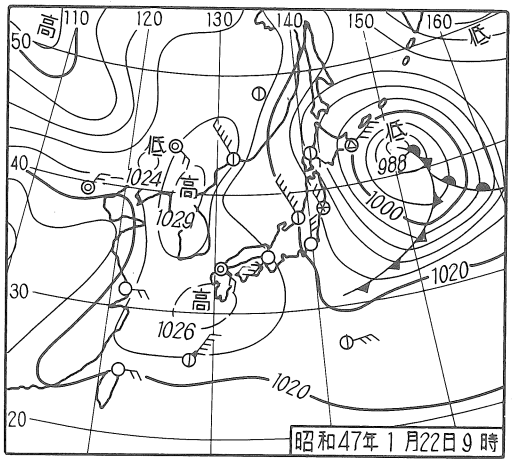
館山測候所気象観測極値表　1月21日～22日

種別	極値	起時
最大風速	W 13.3 m/s	22日00時40分
最大瞬間風速	W 24.8 m/s	22日00時40分
最小湿度	29 %	22日
実効湿度	51 %	22日

注：風速10m/s以上持続時間　21日24時～22日3時



地上天気図



地上天気図

5. 被害　21日午後10時50分頃，安房郡鋸南町中佐久間のミカン畑から出火し，山林に燃え広がった。22日午前11時頃，山林50haを焼失し鎮火した。
6. 資料　千葉県気象年報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

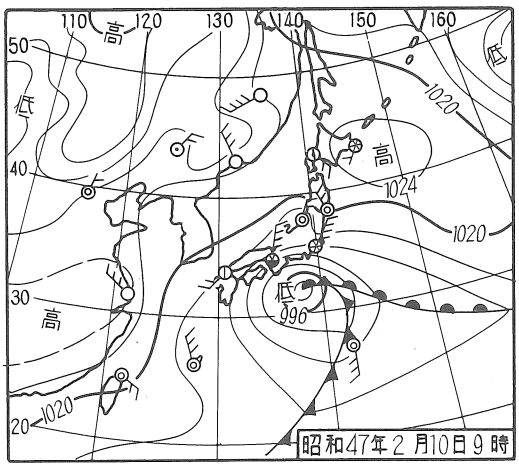
災害番号　48

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）2月10日～11日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

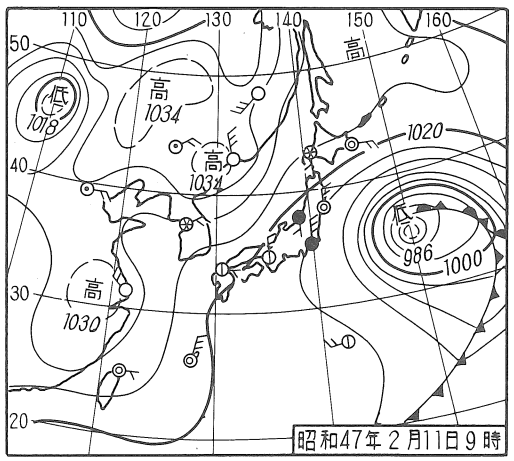
9日，東シナ海に発生した台湾低気圧が，発達しながら本州南岸を通り，四国や関東に大雪（東京で5cm，清和6cm，久留里6cm，牛久2cm）を降らせて，11日には東方海上に去った。海上は荒れ模様となり，外房沿岸では著しく波高が高まり，11日午前5時頃から7時にかけて千倉港外では最大波高6m前後に達した。

館山測候所気象観測極値表　2月10日

種別	極値	起時
最大風速	N 10.7 m/s	10日14時30分
最大瞬間風速	N 19.9 m/s	10日18時40分
最低気圧	1004.6 mb	10日14時30分



地上天気図



地上天気図

5. 被害

外房，千倉港の防波堤が巾6m，長さ約70mにわたって決壊した。また，千倉港内に避難中の漁船が高波のため互に激しく触れ合い3隻が破損した。船の損害額は約700万円に達した。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　49

1. 災害の種類(名称)　強風・波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）3月31日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

30日，山陰沖にあった低気圧が，31日にはいくつかに分別して発達した。関東から西では，前日から春三番の南風が吹き荒れ，日本の近海では50件もの海難事故が発生した。県内にも30日正午頃から南よりの強風が卓越し，31日夜半過ぎまで続いた。

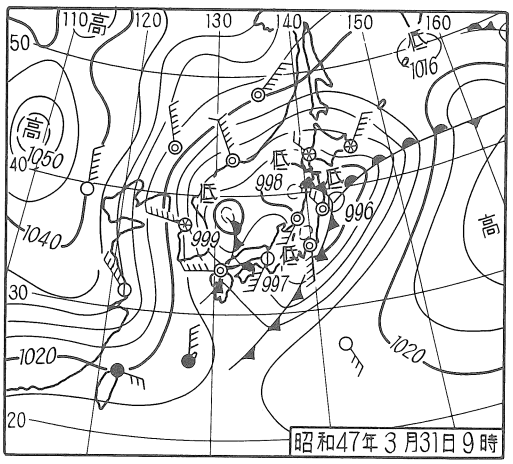
勝浦測候所気象観測極値表　3月30日～31日

種別	極値	起時
最低気圧	998.7 mb	31日12時00分
最大風速	SSW 17.3 m/s	31日06時50分
最大瞬間風速	SSW 26.1 m/s	31日06時50分
総降水量	7.0 mm	30日17時10分～31日09時20分
視程	10 km	30日21時
	5 km	31日09時

5. 被害

31日午前6時40分頃，夷隅郡太東岬の東北東15km沖合で，木材運搬船「武光丸」(2,298 t)は，大シケのため荷くずれを起して転覆し，死者4名，行方不明17名，なお生存者1名はゴムボートで漂流中付近航行中の漁船「利早丸」（銚子港所属）に救助された。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

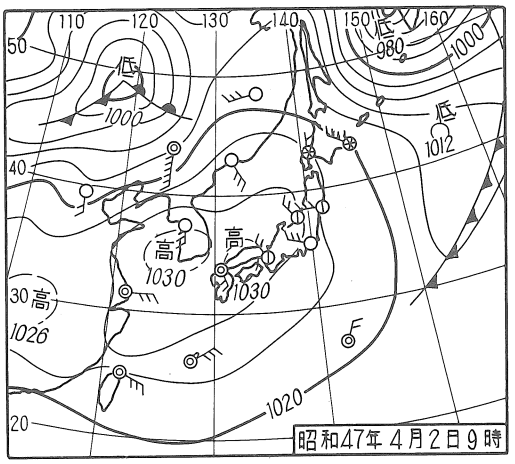


地上天気図

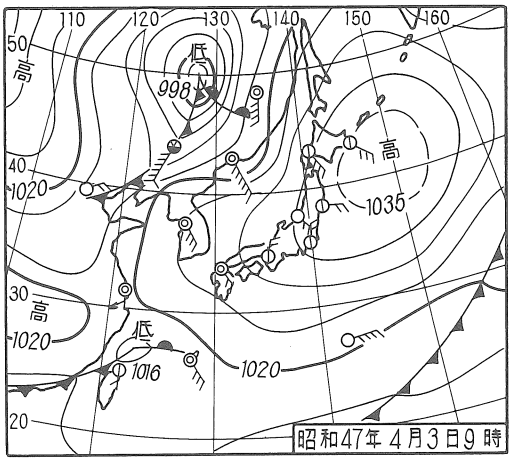
災害番号　50

1. 災害の種類(名称)　凍霜害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）４月２日～３日
3. 災害原因　寒冷高気圧
4. 気象概況

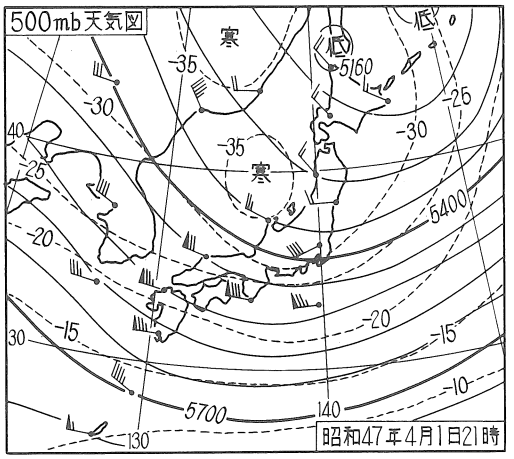
４月１日，発達した低気圧が北海道東方に去って一時的に冬型となった。それと共に日本の上空には優勢な寒気が南下して来た。500mb 天気図が示す通り，日本海上空約5400m には－36℃の寒気があり，また，700mb (上空約3000m) の天気図でも寒気の流入がうかがえる。翌２日，３日は冬型がくずれ，大きな移動性高気圧に覆われたため，全国的に冷え込んだ。県内でも北部と中部内陸では，最低気温が０～－２℃前後となり晩霜害が発生した。



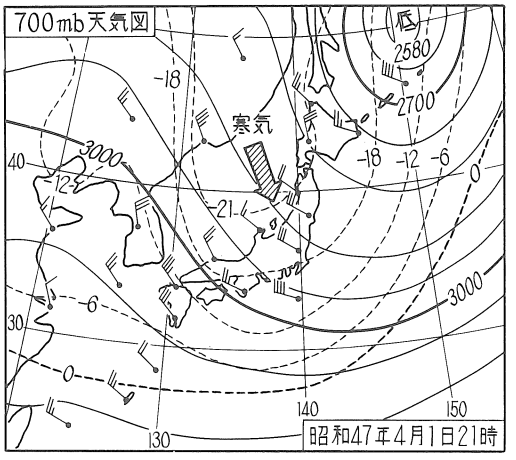
地上天気図



地上天気図



高層天気図



高層天気図

県内各地の気温（℃）　　4月2日～3日

地名 / 要素 / 日	銚子		館山		千葉		勝浦		久留里		野田		茂原		大金沢	
	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3
平均気温	6.6	10.1	6.3	8.3	6.8	8.7	6.7	10.4	—	—	—	—	—	—	—	—
最高気温	10.3	12.9	13.0	15.2	12.1	13.3	12.3	15.0	13.3	13.1	16.5	16.2	12.7	14.5	13.0	15.7
最低気温	0.8	5.4	−0.3	0.5	1.7	1.5	3.4	4.4	1.7	−2.2	−1.8	−2.0	−0.8	−1.2	−1.6	−2.3

5. 被　害

東葛飾郡，印旛郡，八千代市で梨に霜害が発生した。

6. 資　料　　千葉県気象年報，印刷天気図

災害番号　51

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）7月14日～16日
3. 災害原因　台風6号
4. 気象概況

7月7日，マリアナ諸島の東方で発生した台風6号が，北西進し，14日未明から暴風圏に巻き込み，加速し本州に接近した。15日午後7時すぎ，伊良湖岬をかすめ，知多半島北部に上陸し，急速に衰えた。この台風の接近に伴って県内でも風や雨が強まり、降水量は県南部で多くなった。

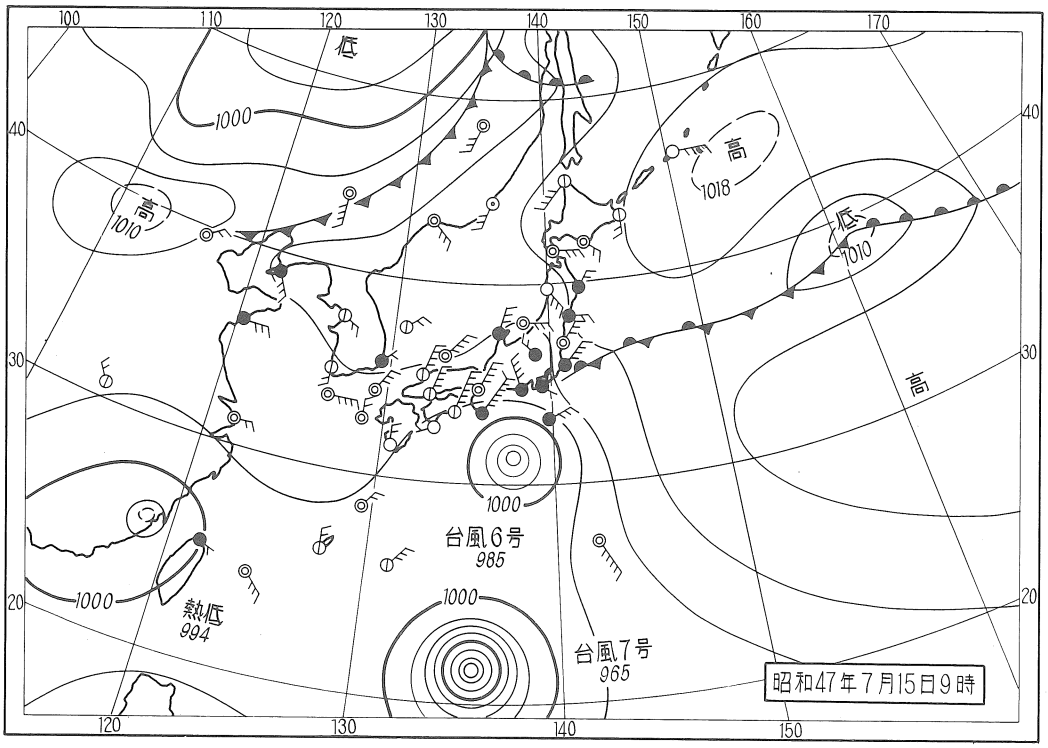
県内官署の極値表　7月14～16日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1004.9	16.01.25	SSE	10.0	16.00.10	SSE	15.1	16.00.05
館山	1003.0	15.18.30	ESE	10.5	15.18.30	ESE	18.9	15.18.30
千葉	1004.3	15.22.40	S	10.8	15.23.10	ESE	14.7	15.21.10
勝浦	1004.6	16.02.30	NNE	8.0	15.05.50	NNE	15.1	15.05.20

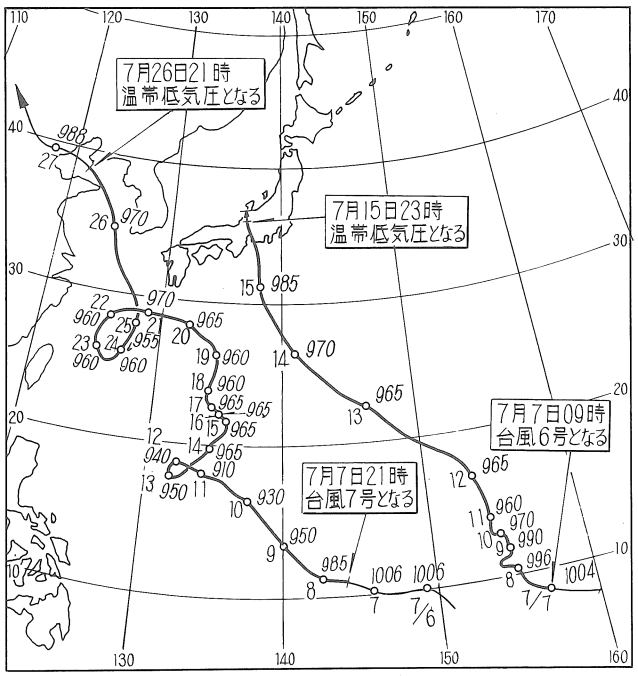
要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時～日時
銚子	5.5	14.19.10	15.5	14.20.00	50.5	16.24.00	87.0	14.17.10～16.11.40
館山	8.0	15.06.00	38.0	15.07.30	150.5	15.24.00	186.0	14.16.10～16.16.20
千葉	8.0	14.20.30	11.0	14.21.10	33.5	15.24.00	58.5	14.17.10～15.23.50
勝浦	13.0	15.23.30	28.5	15.23.40	60.0	15.24.00	107.0	15.00.00～16.03.00

県内各地の降水量表(mm)　7月14日～16日

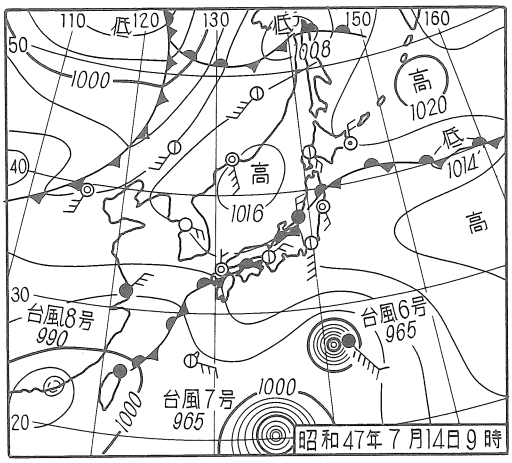
観測所名	14日	15日	16日	計	観測所名	14日	15日	16日	計	観測所名	14日	15日	16日	計
銚子	36	43	9	88	岩坂	128	46	16	190	木下	32	31	2	65
八日市場	49	23	6	78	木更津	58	52	0	110	大金沢	42	23	3	68
成東	37	31	6	74	牛久	28	28	13	69	東金	33	25	5	63
片貝	36	28	8	72	千葉	39	18	2	59	多古	30	33	4	67
一宮	43	41	9	93	市川	57	30	0	87	黒原	55	64	12	131
勝浦	31	62	15	108	野田	49	32	0	81	大久保	55	58	6	119
大多喜	52	52	0	104	佐倉	85	34	2	121	坂畑	58	97	6	161
久留里	36	55	6	97	下総	53	21	2	76	奥山	59	59	14	132
正木	63	65	8	136	佐原	34	18	2	54	我孫子	32	26	1	59
松尾寺	91	58	8	157	笹川	55	24	6	85	東庄	52	23	4	79
鴨川	76	52	17	145	松戸	45	24	1	70	札郷	61	72	10	143
千倉	122	33	18	173	本納	35	27	42	104	峰上	106	62	13	181
館山	127	48	12	187	茂原	40	28	7	75	香木原	70	68	9	147
富山	120	46	34	200	清澄	67	69	18	154					


低
1000
高
1010
高
1018
低
1010
高
1000
台風6号
985
1000
熱低
994
台風7号
965
昭和47年7月15日9時

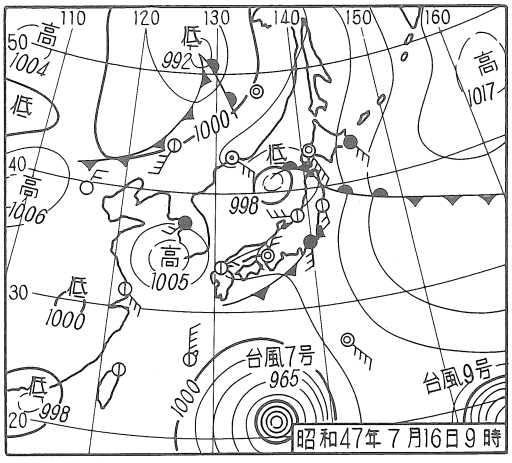
地 上 天 気 図


7月26日21時
温帯低気圧となる
7月15日23時
温帯低気圧となる
7月7日09時
台風6号となる
7月7日21時
台風7号となる

台 風 経 路 図



地 上 天 気 図

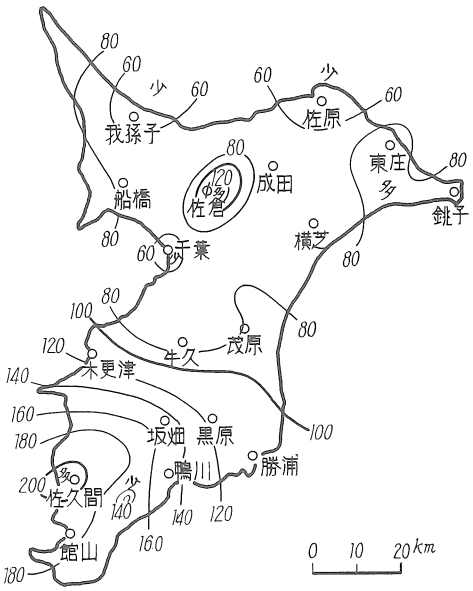


地 上 天 気 図

5. 被　害

建物の破壊２戸，浸水家屋28戸，田畑の冠水11ha，道路損壊10ヶ所，がけ崩れ８ヶ所

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図，台風経路図



県内降水量分布図（mm）
昭和47年７月14日～16日

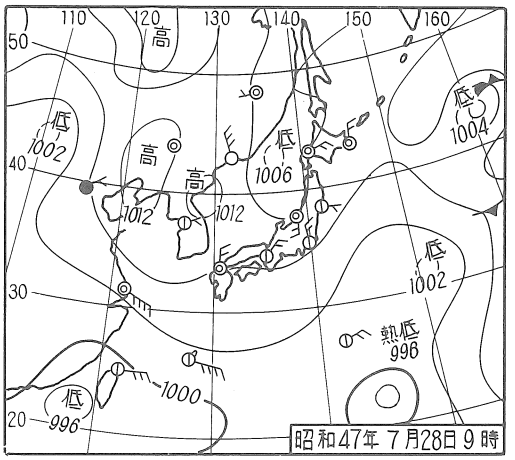
災害番号　52

1. 災害の種類(名称)　異常潮位
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）７月28日～29日
3. 災害原因　台風７号
4. 気象概況

７月７日，午後９時マリアナ諸島付近で発生した台風７号は，フィリピン東方，及び東シナ海で２回のループを描き，黄海方面に北上して26日消滅したが，台風期間としては19日間に及ぶ長命を記録した。この台風の影響かどうかは不明だが７号台風の通過後の26日，西日本では前年９月と似た異常潮位が発生し，28日には横浜駅前で出水騒ぎとなった。本県では28日から29日にかけ異常潮位が現われ，木更津港東側岩壁や船橋市では平常より30～40cm高い潮位を観測した。

各地の潮位表(cm)　７月28日～29日

観測点	起	時	偏差	潮
布良	28日	04時58分	＋27	満潮
		11時52分	＋28	干潮
		18時39分	＋27	満潮
	29日	00時06分	＋22	干潮
		05時42分	＋26	満潮
		12時24分	＋22	干潮
千葉	28日	18時55分	＋24	満潮
	29日	00時30分	＋29	干潮
		06時25分	＋20	満潮
東京	28日	19時00分	＋15	満潮
	29日	01時00分	＋19	干潮
		06時15分	＋16	満潮
東京(芝浦)	29日	06時30分	＋22	満潮
横浜	28日	19時05分	＋25	満潮
	29日	00時40分	＋26	干潮
		06時25分	＋25	満潮
横須賀	28日	19時05分	＋22	満潮
	29日	00時40分	＋29	干潮
		06時20分	＋23	満潮



地上天気図

5. 被害

木更津港では岩壁が５ｍにわたり決壊，船橋市では道路が数ヶ所にわたり冠水した。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，異常気象原簿，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　53

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）８月７日
3. 災害原因　台風13号
4. 気象概況

８月１日正午，マリアナ諸島の東方で発生した台風13号が北西に進み，７日八丈島から北々東に進路をとり，午後１時ごろ房総沖をかすめ，７日夕刻犬吠埼の南東約40kmの海上を通過して三陸沖に去った。この台風の接近に伴って，７日は暴風雨となり，特に夷隅郡から海匝地区での降水量は60～80mmとなった。

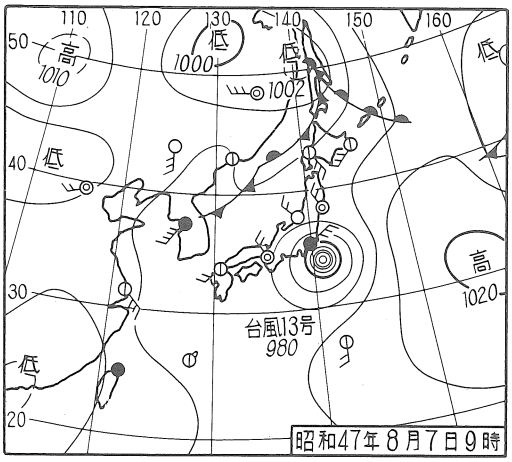
気象官署極値表　８月７日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	988.7	7. 15. 20	WNW	17.5	7. 19. 50	NE	28.0	7. 12. 10
館山	995.4	7. 12. 20	NW	14.7	7. 13. 50	NNW	23.2	7. 13. 00
千葉	996.0	7. 14. 00	N	15.7	7. 13. 00	N	25.4	7. 13. 00
勝浦	990.7	7. 12. 30	NNW	14.5	7. 12. 20	NNW	27.2	7. 12. 20

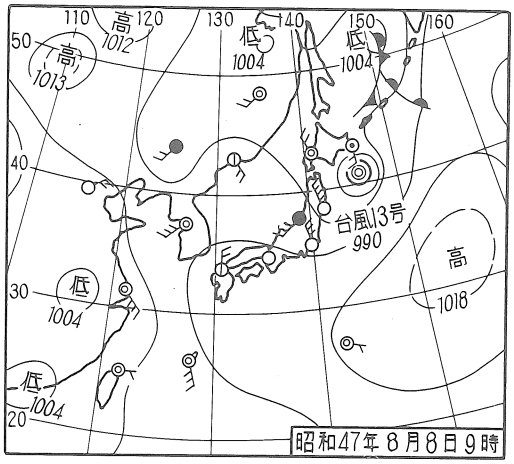
要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時～日時
銚子	7.0	7. 12. 00	23.5	7. 12. 40	57.5	7. 22. 20	57.5	7.01.40～7.22.20
館山	3.0	7. 06. 10	7.0	7. 10. 50	31.5	7. 15. 10	31.5	7.02.10～7.15.10
千葉	3.0	7. 11. 40	12.0	7. 14. 20	56.5	7. 19. 40	56.5	7.02.40～7.19.40
勝浦	5.5	7. 10. 00	23.0	7. 10. 30	102.0	7. 18. 05	102.0	7.01.50～7.18.05

県内各地の降水量表　８月６日～７日

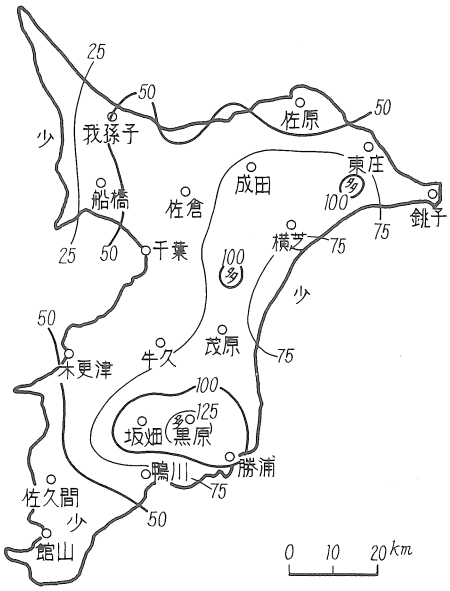
観測所	６日	７日	計	観測所	６日	７日	計	観測所	６日	７日	計
銚子	5	53	58	富山	18	30	48	茂原	17	59	76
八日市場	11	80	91	岩坂	40	19	59	清澄	41	88	129
成東	12	68	80	木更津	20	31	51	木下	9	41	50
片貝	14	59	73	牛久	21	31	52	大金沢	20	58	78
一宮	16	60	76	千葉	13	44	57	東金	15	74	89
勝浦	24	79	103	市川	×	14	×	成田	8	63	71
大多喜	33	70	103	野田	3	17	20	多古	10	73	83
久留里	34	61	95	佐倉	10	62	72	黒原	38	83	121
正木	35	45	80	下総	2	58	60	大久保	37	56	93
松尾寺	36	40	76	佐原	6	42	48	坂畑	32	82	114
鴨川	22	40	62	笹川	3	30	33	奥山	37	36	73
千倉	11	19	30	松戸	11	15	26	我孫子	12	47	59
館山	15	17	32	本納	17	87	104	東庄	×	×	×



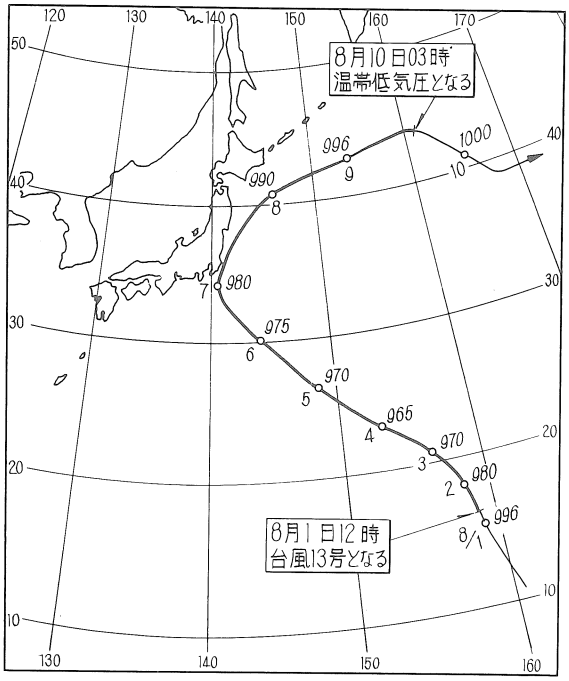
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



県内降水量分布図
昭和47年8月6日～7日



台　風　経　路　図

5．被　　害

家屋半壊１戸，床下浸水17戸，非住家損壊９戸，水稲倒伏19ａ，道路損壊２ヶ所，山がけ崩れ２ヶ所，被害は茂原，千葉，佐倉，市原の各市で目立った。

6．資　　料　　千葉県気象年報，異常気象報告，異常気象原簿，台風経路図，印刷天気図

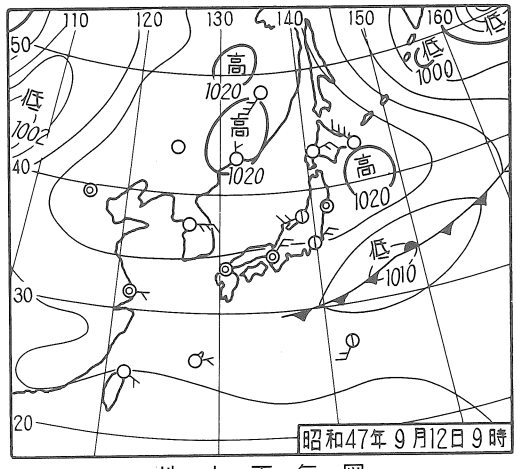
災害番号　54

1. 災害発生年月日(期間)　ひょう
2. 災害の種類(名称)　昭和47年（1972年）9月12日
3. 災害原因　上層寒気（雷雨）
4. 気象概況

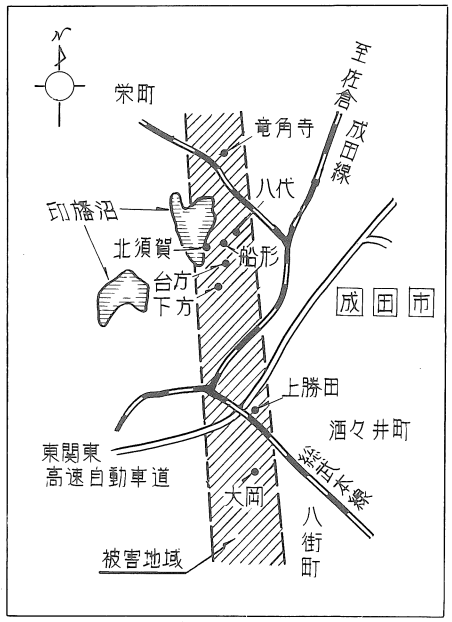
12日，日本付近は高気圧におおわれて良く晴れたが，上空に寒気が流入したため，午後になって北関東や，秩父方面に熱雷が発生した。本県では午後3時ごろ，福島県南東部，及び茨城県北東部にかけて発生した雷雲が次第に南下し，午後6時頃，千葉県北部，一部は東京都の東部にも拡がった。午後6時30分から7時10分頃にかけて成田市街と印旛沼の中間部更に八街町を主として，巾1～1.5km，長さ15kmにわたって北から南へ，10円硬貨大，または卵大（直径3～4cm）のひょうが降り農作物に被害を与えた。

各地の降水量(mm)　9月12日

区分	観測所	降水量
乙	佐原	44
	片貝	40
	東金	36
	佐倉	17
	下総	14
	木下	6
	多古	47
国鉄	南酒々井	46
	成田	36
甲	成東	36
	八日市場	25
	成田消防署	29
	落下生生育室	39
空	成田空港	15



地上天気図



電経路図　9月12日

5. 被　害

野菜は八街町，佐倉市を中心に6,337ha，被害額２億９千余万円，水稲は成田市を中心に284ha，被害額１億２千余万円，その他陸稲，果実，落花生，花等の被害を加算すると４億７千余万円にのぼった。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　55

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）9月16日～17日
3. 災害原因　台風20号
4. 気象概況

マリアナ諸島の西に発生した台風20号は北西進し，北緯20度を越えてから北に進路を取り北上した。台風は中型の規模のまま，16日午後6時30分頃潮岬に上陸し，北アルプスを通り，翌17日には能登半島の東から日本海を進み，北海道の西でループし，温帯低気圧に弱まった。一方，16日，日本海にあった低気圧からの前線が台風の前面にのびており，この前線が台風によって刺激され，各地で，雨，風共に強まった。殊に県南部では総降水量が300㎜を越える大雨となった。ことに富山では432㎜の大雨を記録した。

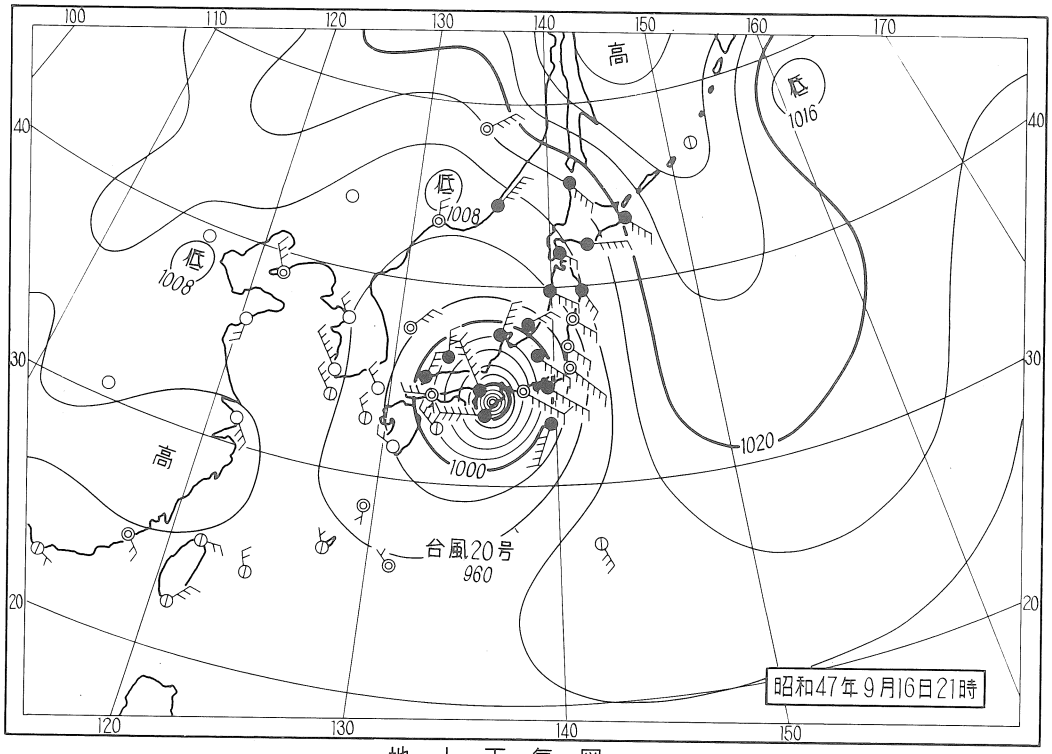
気象官署の極値表　9月16日～17日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	996.1	17.15.02	SSE	18.7	17.01.30	SSE	28.4	17.00.50
館山	997.5	17.00.30	SSW	15.0	17.00.40	SSW	23.2	17.00.30
千葉	994.5	17.05.50	SSW	20.2	17.05.00	SSW	30.2	17.05.00
勝浦	998.5	17.04.10	S	16.5	17.00.50	SSE	25.8	16.23.20

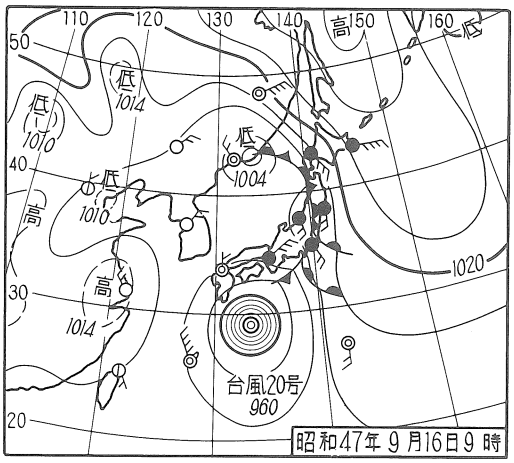
要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 ㎜	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 ㎜	起時 日時分	最大日降水量 降水 ㎜	起時 日時分	総降水量 降水 ㎜	起時 日時～日時
銚子	3.0	16.18.40	6.0	16.19.10	11.5	16	14.0	16.09.50～17.03.10
館山	20.0	15.23.20	74.5	15.23.40	235.5	15	336.0	14.14.50～17.02.40
千葉	8.5	16.04.10	25.5	16.04.10	82.0	16	145.0	14.09.30～17.01.40
勝浦	2.5	16.17.10	6.5	16.17.30	22.5	16	18.0	16.16.10～17.02.40

県内の降水量表(㎜)　9月14日～16日

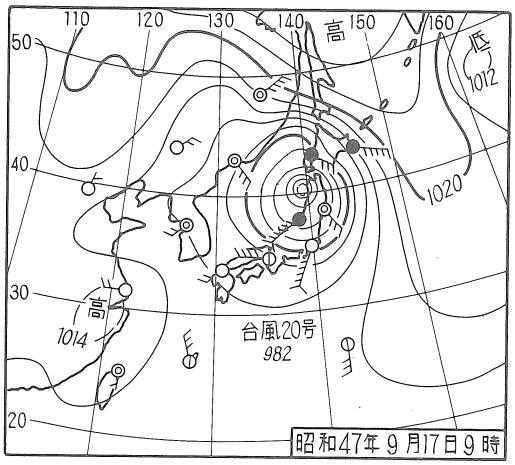
観測所	14日	15日	16日	計	観測所	14日	15日	16日	計	観測所	14日	15日	16日	計
銚子	5	18	14	37	札郷	30	102	32	164	千葉	10	126	10	146
勝浦	25	35	18	78	館山	8	298	31	337	片貝	13	49	22	84
八日市場	10	38	26	74	成田	23	66	22	111	久留里	36	210	40	286
一宮	10	51	20	81	成東	21	47	28	96	鴨川	6	65	23	94
正木	21	214	28	263	大多喜	27	164	26	217	岩坂	21	160	40	221
千倉	14	118	45	177	松尾寺	25	150	50	225	市川	4	67	17	88
木更津	18	175	32	225	富山	37	345	50	432	下総	12	75	45	132
野田	28	84	47	159	牛久	10	150	30	190	松戸	11	81	35	127
佐原	12	31	17	60	佐倉	57	115	6	178	清澄	19	75	19	113
本納	9	80	20	109	笹川	11	22	35	68	東金	15	78	22	115
木下	27	106	23	156	茂原	7	68	31	106	大久保	41	91	28	160
多古	16	44	24	84	大金沢	9	123	37	169	我孫子	32	95	22	149
坂畑	11	88	21	120	黒原	15	74	32	121	香木原	9	155	36	200
東庄	8	15	35	58	奥山	19	319	46	384					



地　上　天　気　図



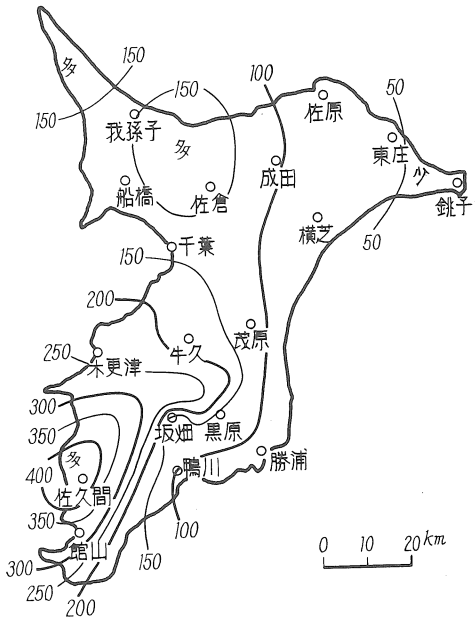
地　上　天　気　図



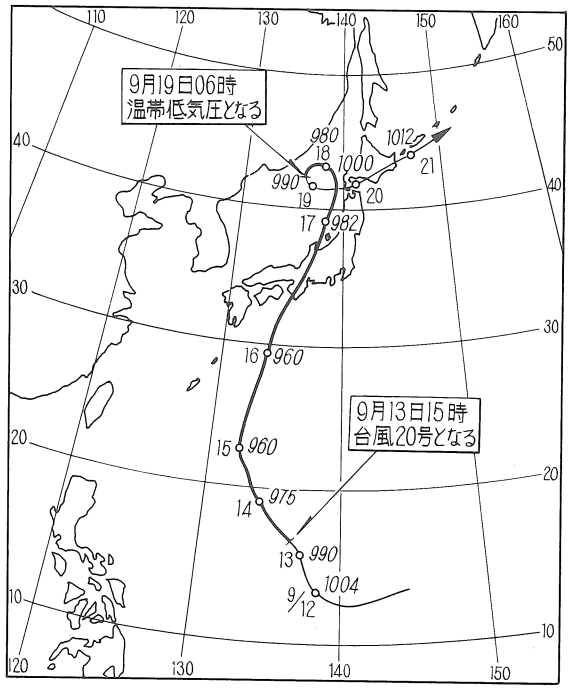
地　上　天　気　図

5. 被　害

家屋全壊２戸，家屋半壊３戸，一部破損15戸，非住家被害69戸，床上浸水214戸，床下浸水1,189戸，水田流失・埋没1469ha，冠水471ha，畑流失・埋没0.45ha，畑冠水0.33ha，道路損壊265ヶ所，橋梁損壊22ヶ所，山くずれ106ヶ所，鉄軌道被害11ヵ所，通信施設４ヶ所，罹災世帯1,421戸，罹災者概数1,500人等



県内降水量分布図(mm)
昭和47年9月14日～17日



台 風 経 路 図

6. 資　　料　千葉県気象年報，異常気象報告，異常気象原簿，台風経路図，印刷天気図
千葉県警

災害番号　56

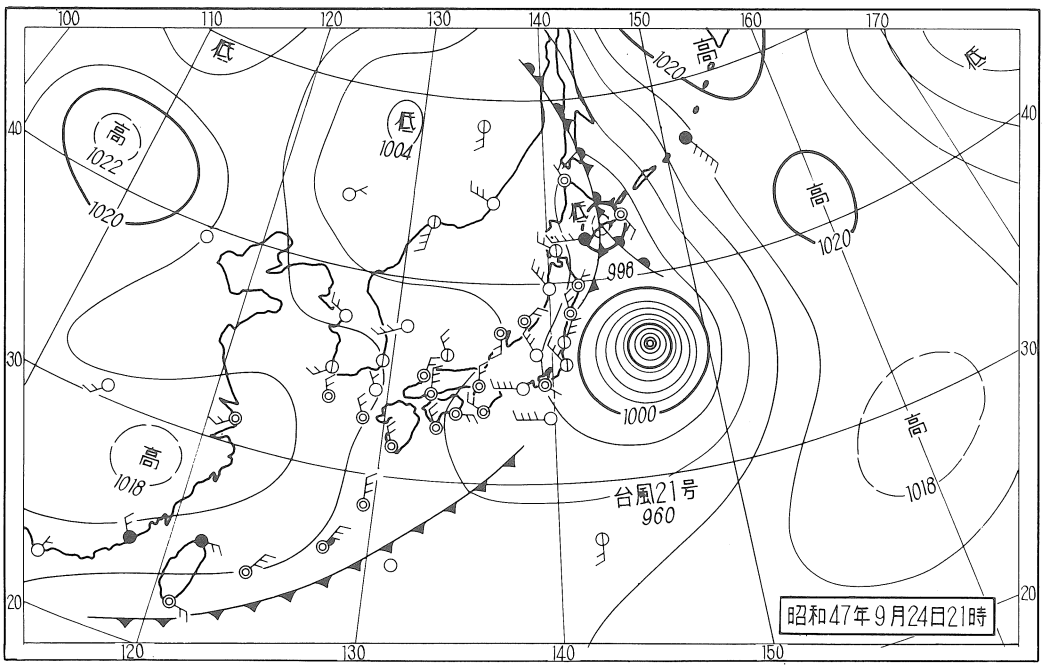
1. 災害の種類(名称)　高潮
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）9月23日～24日
3. 災害原因　台風21号
4. 気象概況

9月17日，マリアナ諸島の東海上で発生した台風21号は，父島のすぐ西を北上し，24日午後6時頃，銚子の東約360kmの海上を通り，北東に遠ざかった。台風21号による直接の影響は少なく東岸を離れて通過したため，最大風速は銚子を除いてはいずれも10m/s以下，又降水量も少なかった。台風の通過と満潮時が重なったため，匝瑳郡光町の大布川がはん濫した。

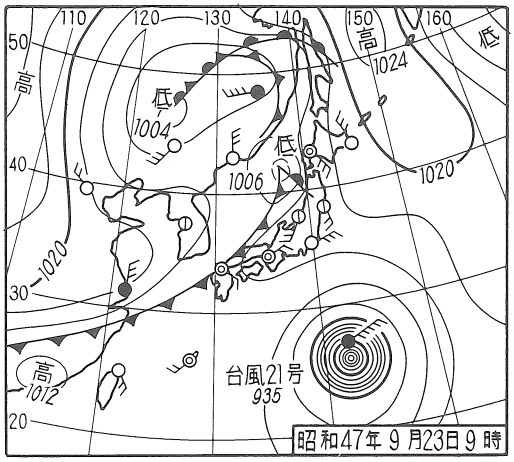
気象官署の極値表　9月23日～24日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	994.5	24.14.00	N	14.7	24.13.10	N	21.0	24.10.50
館山	994.8	24.14.20	N	9.3	24.12.30	N	17.0	24.12.20
千葉	995.4	24.14.10	NNW	9.2	24.14.50	NNW	13.6	24.14.40
勝浦	994.0	24.14.00	NNW	9.8	24.12.30	NNW	18.0	24.09.00

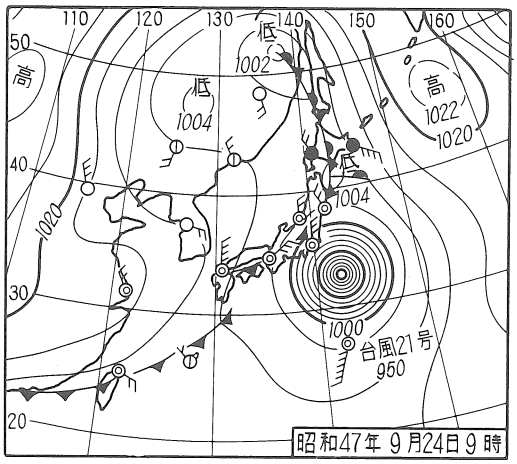
要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時～日時
銚子	4.5	24.07.00	10.0	24.07.50	21.0	24	25.0	23.17.50～24.16.30
館山	0.5	24.10.00	0.5	24.08.40	0.5	24	1.0	23.17.00～24.10.40
千葉	1.0	24.09.50	1.5	24.03.10	5.0	24	6.0	23.21.50～24.10.40
勝浦	1.5	24.09.10	2.0	24.10.00	6.5	24	8.0	24.09.00～24.12.20



地上天気図



地 上 天 気 図

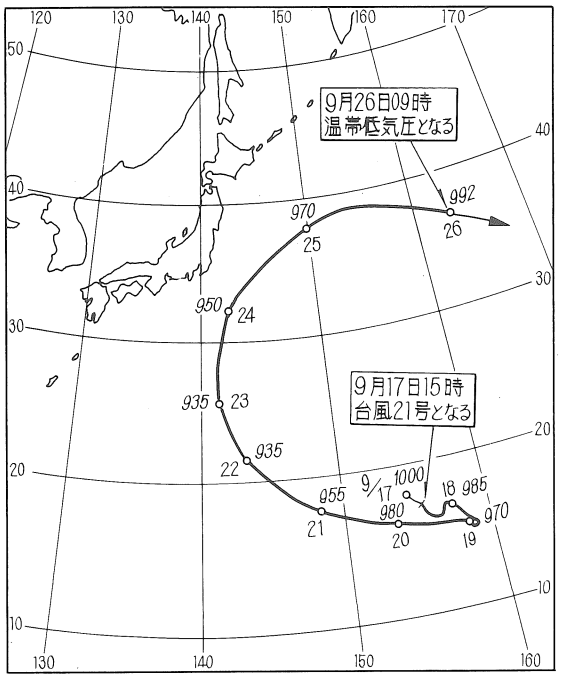


地 上 天 気 図

5. 被　　害

床上浸水 3 戸，床下浸水 6 戸

6. 資　　料　千葉県気象年報，異常気象原簿，地上気象日原簿，台風経路図，印刷天気図



台 風 経 路 図

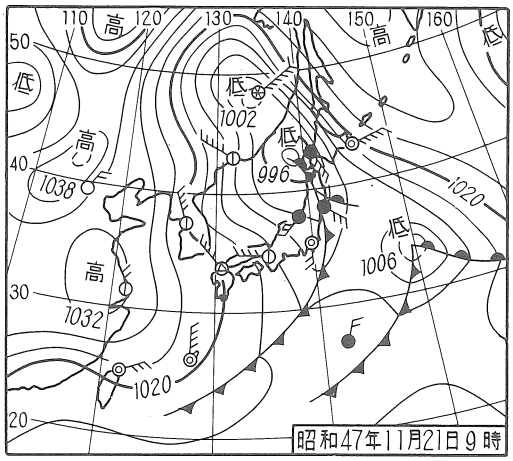
災害番号　57

1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）11月21日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

20日，日本海で発達した低気圧が，21日は日本海北部に進んだ，この低気圧に伴う顕著な寒冷前線が21日午前9時30分頃，県内を通過した。この前線の通過の際，所々，突風や雷雨となり，安房郡白浜町から千倉町と，館山市の一部に直径12㎜位の降ひょうを伴い花畑に若干の被害があった。

館山側候所気象観測極値表

種別	極値	起時分
最低気圧	1000.3mb	21. 15. 00分
最大風速	WSW 13.5m/s	21. 15. 00分
最大瞬間風速	WSW 24.5m/s	21. 14. 50分
風向変化	順転	
風速10m/s以上の持続		21. 13. 50～21. 19. 00分
降水量	2.5 ㎜	21. 09. 20～21. 10. 10分
10分間降水量の最大値	2.0 ㎜	21. 10. 00分
記事	0925𠮟－0940	



地上天気図

5. 被害

千倉町白間津周辺でビニールハウス30,000㎡，650万円。白浜町根本地区で露地栽培の花70ha，400万円。野菜150ha，230万円。その他120万円

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図

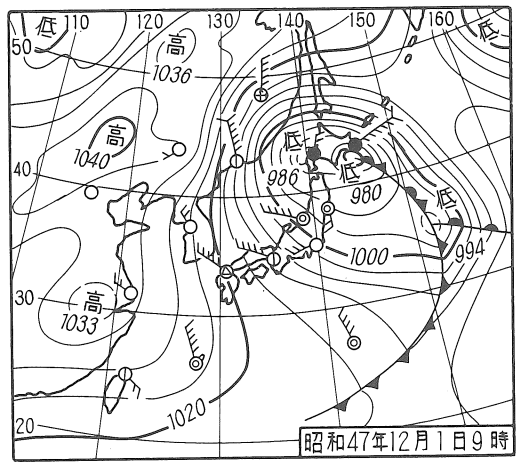
災害番号　58

1. 災害の種類(名称)　波浪・強風（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和47年（1972年）12月１日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

11月30日，日本海にあった低気圧が発達し，12月1日９時には北海道の南東で980mbに達した。日本付近は強い冬型の気圧配置となり，全国的に西よりの強風が卓越した。低気圧に近い北海道では暴風雨警報が出され，帯広で44cmの積雪，稚内では最大瞬間風速38.4m/sを記録し，千島で３漁船がＳＯＳを発した。当県でも明方を中心に強風が吹き荒れた。

館山測候所気象観測値　12月１日

要素 / 官署	最低気圧		最大風速（10分間）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
館山	997.0	1. 03. 00	WSW	14.2	1. 04. 20	WSW	25.1	1. 04. 20



地上天気図

5. 被害

１日午後３時頃，館山湾船形で修理を終え，試運転のためドックを出帆した，東京都日本橋東京第一海運所属のケミカルタンカー海洋丸（999ｔ）は，館山湾沖合1.5kmの海上で風波を避けていたが，海底が砂地のため走錯し，折からの強い西風で吹き寄せられ，館山市八幡海岸，湊川口先50m附近に座礁した。

6. 資料　異常気象報告，朝日新聞，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　59

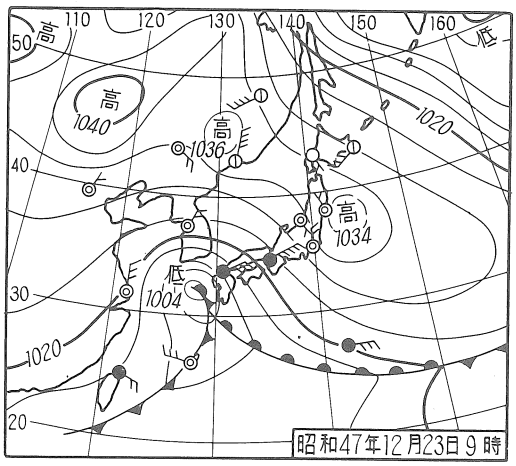
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭年47年（1972年）12月23日～24日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

12月22日，台湾付近に発生した低気圧（台湾低気圧）は北東に進み，23日には九州付近に達した。その後，四国沖に発生した別の低気圧と一つになり発達しながら本州沿いを東に進み，房総沖を通過した24日午後3時には中心気圧も990mbと台風並みとなった。関東地方では23日午後から雨が降り出し夜から強風を伴う大雨となった。殊に房総丘陵の南東面で集中豪雨となり，清澄山で306㎜，茂原市でも202㎜と12月としては記録的な大雨となった。なお，12月における最大一時間降水量は過去に30㎜を越えた例はなかった。

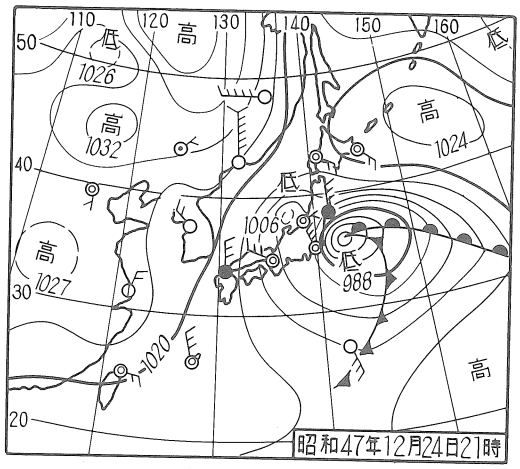
気象官署の極値表

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	989.7	24.15.15	N	22.8	24.15.50	N	34.8	23.15.00～24.15.50
館山	997.0	24.13.10	NNW	13.2	24.15.10	NNW	23.1	23.12.00～24.15.00
千葉	997.2	24.12.50	N	16.0	24.11.30	N	26.8	23.15.00～24.11.20
勝浦	994.5	24.13.00	NNW	12.8	24.11.10	NW	24.3	23.13.00～24.14.10

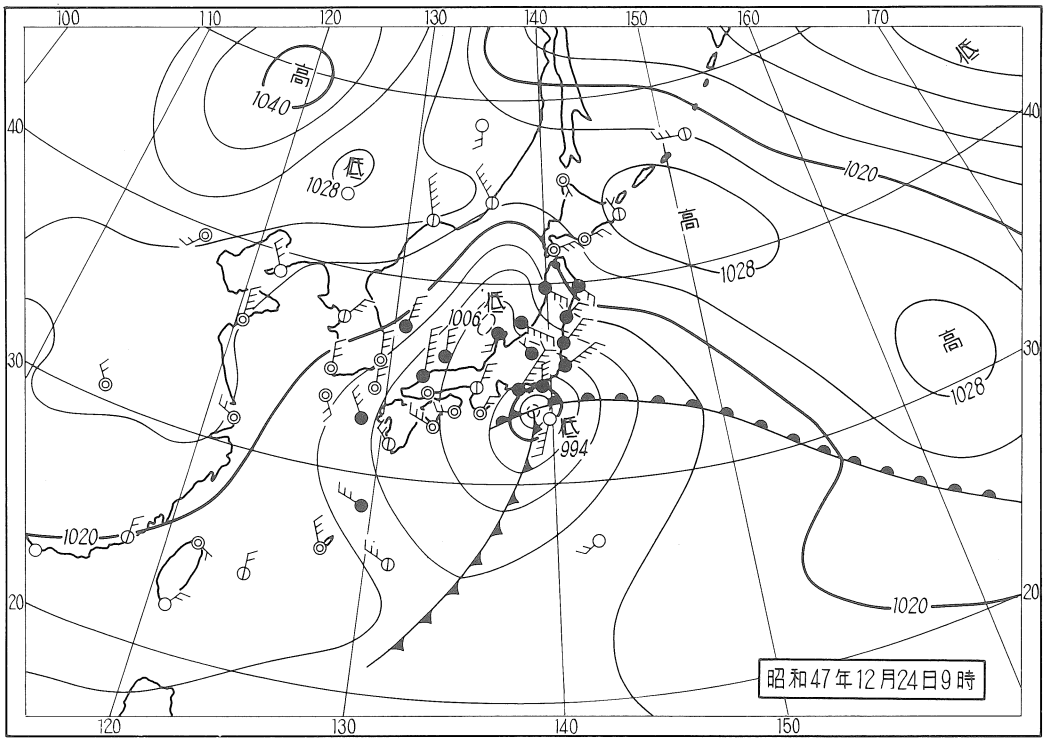
要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水 mm	起時 日時分	総降水量 降水 mm	起時 日時～日時
銚子	20.0	24.14.25	84.0	24.14.40	215.5	24.24	223.5	24.21.00
館山	9.0	24.09.20	23.0	24.09.30	104.0	24.24	145.0	24.17.00
千葉	3.5	24.11.20	11.5	24.11.20	79.5	24.24	90.5	24.19.00
勝浦	22.5	24.10.40	88.5	24.11.10	221.0	24.24	241.0	24.20.00



地上天気図



地上天気図

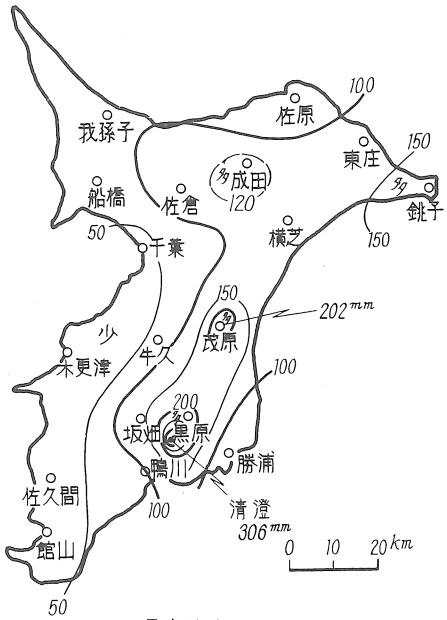


地 上 天 気 図

5. 被　　害

家屋全壊３戸，家屋半壊４戸，床上浸水665戸，床下浸水4,925戸，がけ崩れ33ヶ所，鉄道不通箇所（外房線21，内房線34，成田線６，東金線５，木原線６）停電戸数（銚子方面2,000，外房方面4,000，館山木更津方面4,000戸），農林関係被害１億2,655万円

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，県警本部，印刷天気図，雑誌「気象」



県内降水量分布図(mm)
昭年47年12月23日～24日

災害番号　60

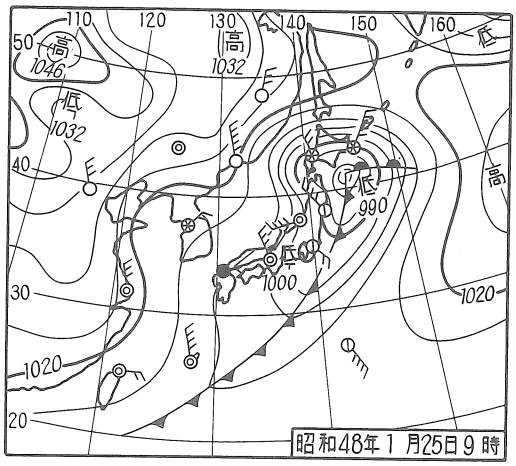
1. 災害の種類(名称)　視程不良（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）1月25日
3. 災害原因　濃霧
4. 気象概況

24日，日本海を低気圧が発達しながら北東に進み，25日は三陸沖に達し更に発達した。この低気圧から南西にのびる前線が房総沖を通り沖縄の南方に達している。日本海で低気圧が発達し，春一番もどきとなったため全国的にバカ陽気となった。関東地方でも前日からの雨も上って晴れたが，前線に近い銚子では濃霧が発生し，銚子の沖合で貨物船同士の衝突事故が発生した。

銚子の気象観測値　1月25日

要素	極値	起時
最大風速	S　16.7 m/s	25日 04.30分
最大瞬間風速	SSE　25.0 m/s	25日 02.50分
風向	順転	
風速10 m/s以上の持続した期間		25日 00.00～26日 08.50分

記事 $1040 Vis_2 = -1050 Vis_1 \equiv -1230 Vis_2 = -1450 = -$



地上天気図

5. 被害

1月25日午後2時10分頃，銚子港の東約10.8kmの海上で，東京都千代田区の興津海運所属のアスファルト専用運搬船「第8ふじあす丸」1,600重量トン（14名乗組）の左舷にパナマ国籍の貨物船「パンオリエント号」7,100重量トン（40人乗組）が衝突した。「ふじあす丸」の第4船倉から浸水，アスファルトが海上に流出して船は大きく傾き，若松船長以下乗組員全員がゴムボートで脱出した。間もなく現場付近を航行中の同会社の僚船「栄洋丸」に全員救助された。尚，現場付近の海上の波は穏かで，視界は約1,000mであった。

6. 資料　異常気象報告，印刷天気図

災害番号　61

1. 災害の種類(名称)　火災・波浪（火災・海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）２月２日
3. 災害原因　季節風・異常乾燥
4. 気象概況

２月１日，北日本を通った低気圧と，本州南岸を進んだ低気圧が，２日は千島方面でひとつになり，更に発達して中心気圧は974mbとなった。一方，大陸の高気圧が日本付近に張り出し強い冬型の気圧配置となった。全般に季節風が強まり，併せて空気が乾燥し，県下の最小湿度は25%（館山22%）となり，11件の火災が発生した。ちなみに，東京では，今冬初の火災警報が出され，都内では66件の火災が発生した。

また，市原市の海岸では，小型船が強風によって岸に吹きよせられる等の被害があった。

県内官署の気象表　２月１日～２日

要素 / 官署	最大風速 m/s	風向 16方位	起時 日時分	日平均風速 m/s	最小湿度 %	起時 日時分	最大瞬間風速 m/s	風向 16方位	起時 日時分
銚子	11.8	NW	2. 06. 00	6.7	25	2. 14. 40	19.5	NW	2. 05. 40
千葉	14.0 *	NW	2. 11. 10	8.0	25	2. 16. 10	21.7	NW	2. 11. 50
館山	9.0	N	2. 09. 50	3.7	22	2. 13. 20	16.5	N	2. 07. 00
勝浦	10.2	NNW	2. 02. 10	7.4	25	2. 13. 00	19.8	NW	2. 11. 20

注）* 印は，10m/s以上継続した期間１日23時00分～２日22時00分

5. 被害

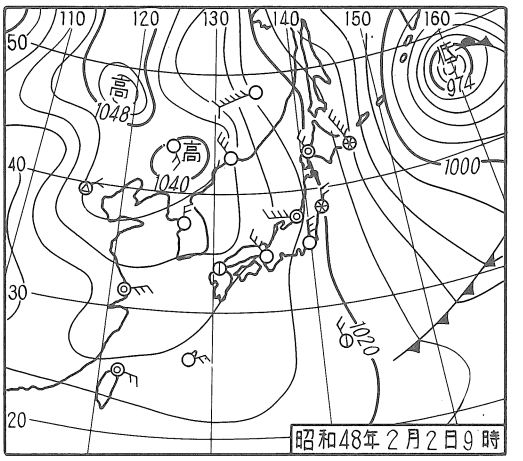
① 焼死１名（富里村）

② 家屋焼失10戸（市原市２，船橋１，千葉市３，君津市１，野田市１，茂原市１，富里村１）

③ 山林焼失5.13ha(佐原市５ha，銚子市（県有林)0.13ha，松・杉30年生のもの)

④ 木更津市西方盤洲沖で小型タンカー（240t）が海苔棚突入

⑤ 市原市千種海岸で小型船(360t)が海岸のテトラポットに乗り上げ航行不能となる。



地上天気図

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　62

1. 災害の種類(名称)　火災
2. 災害発生年月日(期間)　昭年48年（1973年）3月7日
3. 災害原因　少雨，異常乾燥
4. 気象概況

今冬は，年末から暖冬傾向が続いたが，2月22日に30～50㎜の雨が降ってから，しばしば冬型が現われ，それと共に寒気が訪れた。県下でも2月22日以来3月7日まで雨らしい雨はほとんどなく，異常乾燥が続いたが，当日の千葉の最小湿度は23%，実効湿度は38%にまで下り，山林火災が発生した。その後も少雨傾向が続き，3月の各地の降水量は例年より70～150㎜も少ない15～30%にしか達せず，降水量の一番多かった銚子でも月降水量の最少順位の第1位を記録した。

3月の少雨の順位　統計年 1950年～

順位 / 官署	第1位		第2位		第3位	
	降水量	起年	降水量	起年	降水量	起年
銚子	41.5	1973	57.0	1972	81.1	1965

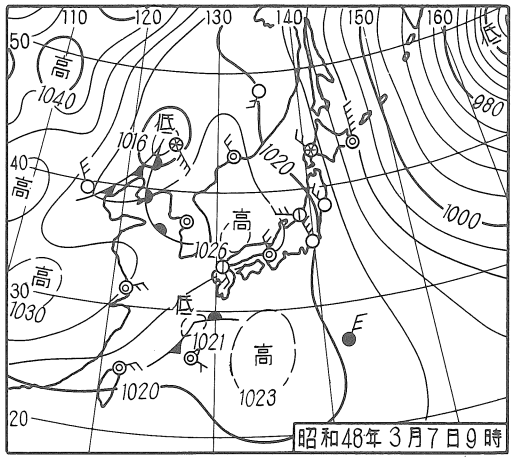
県内各地の3月の降水量(㎜)　48年3月

地名	降水量	平年値	平年差	平年比	地名	降水量	平年値	平年差	平年比
銚子	45	134	− 89	34%	下総	17	104	− 87	16
八日市場	13	117	−104	11	佐原	16	96	− 80	17
成東	15	113	− 98	13	笹川	32	127	− 95	25
片貝	22	115	− 93	19	松戸	17	98	− 81	17
一宮	22	126	−104	17	本納	23	130	−107	18
勝浦	35	163	−128	21	茂原	24	129	−105	19
大多喜	22	160	−138	14	清澄	31	185	−154	18
久留里	27	144	−117	19	木下	18	−	−	−
正木	30	165	−135	18	大金沢	19	−	−	−
松尾寺	23	171	−148	13	東金	15	−	−	−
鴨川	28	151	−123	18	多古	25	−	−	−
千倉	26	139	−113	11	黒原	31	−	−	−
館山	22	151	−129	15	大久保	20	−	−	−
富山	20	130	−110	15	坂畑	16	−	−	−
岩坂	19	141	−122	13	奥山	15	−	−	−
木更津	22	108	− 86	20	我孫子	13	−	−	−
牛久	20	138	−118	14	東庄	−	−	−	−
千葉	11	82	− 71	13	成田	10	−	−	−
市川	10	93	− 83	11	札郷	28	−	−	−
野田	10	83	− 73	12	峰上	20	−	−	−
佐倉	15	106	− 91	14	香木原	28	−	−	−

千葉測候所の観測値　　3月7日

要素	風向	風速	起時
最大風速	NW	7.2 m/s	7日10時10分
最大瞬間風速	WNW	11.3 m/s	7日09時30分

要素	気温	要素	湿度
日平均気温	5.8 ℃	最小湿度	23%
日最低気温	0.3 ℃	実効湿度	38%



地上天気図

5. 被　害

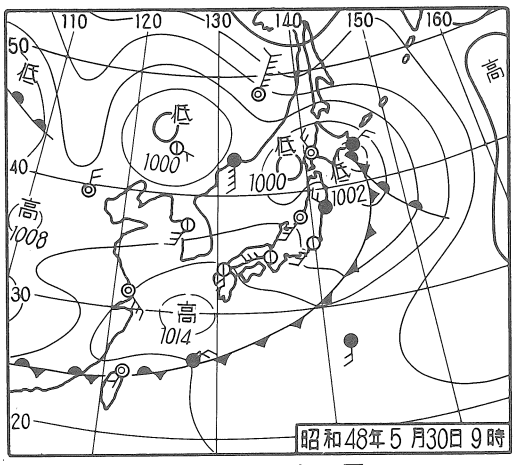
3月1日以来異常乾燥の続いていた7日朝，市原市番場付近の山林から出火した。当時風は4～5 m/sの北西の弱風であったが，草刈，瀬又，番場の部落内の山林に飛火し，その面積は100haと県下山林火災史上例をみない程の広さにおよび，出火以来10時間以上にわたって猛煙に包まれ，同夜やっと鎮火した。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

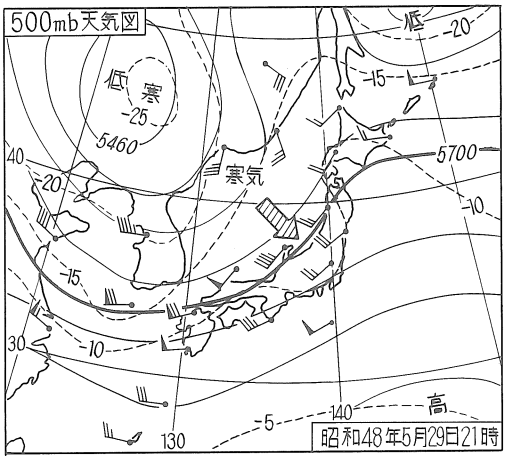
災害番号　63

1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）5月30日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

5月29日から30日にかけて北日本を低気圧が通過し，それに伴う寒冷前線が東海上に去った。しかし，秋田沖には別の低気圧があり，東日本から北日本にかけては気圧の谷となっていた。前日からの雨もあがり，30日は晴れて気温も上昇したが前夜，中国東北区にあった寒気(約5,000m上空－25℃）が日本付近に流れ込み，大気の状態が不安定となった。関東の内陸には地形性の低気圧が発生し，東に進んだため，北関東を中心に突風やひょうが降った。東京レーダによると東京都と埼玉県境付近に強いエコーが見られ，この通り径となった市川市，八千代市，佐倉市の一部では，午前11時40分頃から，約5～15分間位に直径1～2cmのひょうが降り，農作物，殊に梨に被害があった。尚，銚子の寒冷前線通過は午前11時24分，また，管内の観測所では，笹川，東庄で1mmの雨を観測したがその他の降水量は0.0mmであった。



地上天気図



上層天気図

県内降水量表(mm)

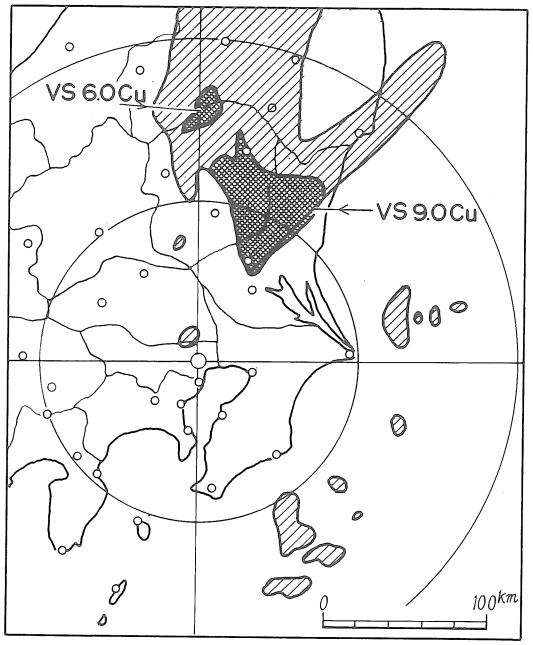
地名	笹川	松戸	佐原	佐倉	野田	下総	東庄	成田	銚子	一宮
日降水量	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

○ひょうの降った地域等

(1) 市川市（午前11時40分頃，３～５分間，直径１～２cm）曽谷，下貝塚，柏井，宮久保，大野新田地区の東西約４km，南北２km

(2) 八千代市（午前11時50分頃，約10分間，直径１～２cm，降水なし）上高野，村上地区

(3) 佐倉市（午後０時10分過ぎ頃，10～15分間，小豆大）印旛沼周辺の大佐倉，飯田高座木，萩山，土浮，臼井，井野，見崎地区



東京レーダー図
5月30日，09時55分

5. 被　害

被害表(県濃産課調べ)　　5月31日17時現在

市町村名	被害作物	被害面積	被害程度	被害額
八千代市	梨	45.39ha	90%以上　10.39ha 30～80%　35.00ha	61,485千円
市川市	梨	198.3ha	80%以上　25.9 ha 50～80%　21.6 ha 30～50%　33.5 ha 30%以下　117.3 ha	54,074千円
佐倉市	プリンスメロン	1 ha	20%	200千円
合計				115,759千円

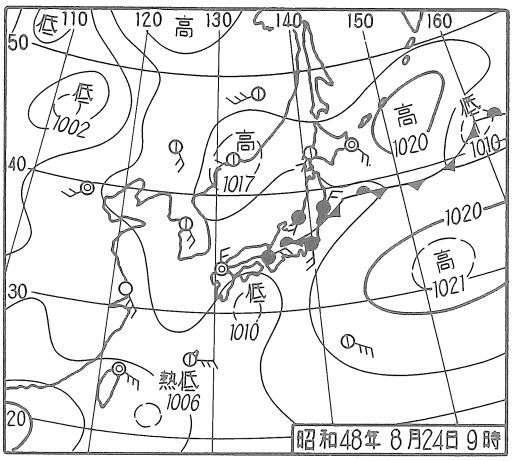
6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，県農産課調べ
印刷天気図，雑誌「気象」

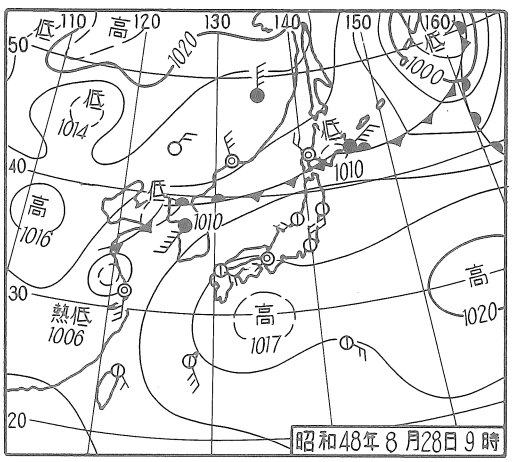
災害番号　64

1. 災害の種類(名称)　干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）7月～8月
3. 災害原因　少雨
4. 気象概況

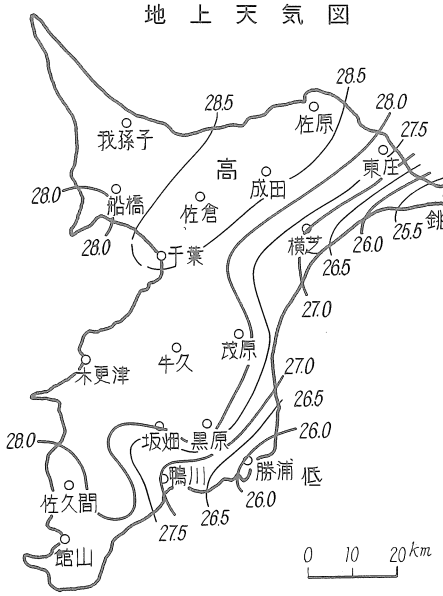
この夏は，関東以西の梅雨明けが7月3日～5日と異常に早く，その後は太平洋高気圧が非常に強く，猛暑が続いた。降水量の少ない傾向は5月頃から現れていたが，梅雨期の雨量も全般に少なく，梅雨明け後の猛暑，干天続きによる干ばつ被害は，全国で894億円に達し



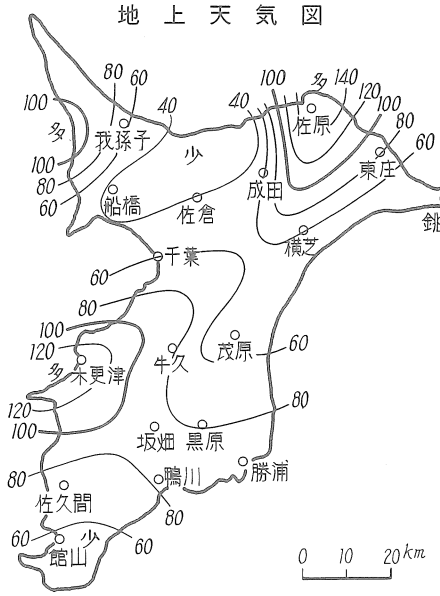
地上天気図



地上天気図



県内月平均気温分布図(℃)
昭和48年8月



県内月平均降水量分布図(mm)
昭和48年8月

た。本県では，8月23日から25日にかけて恵みの雨があったが，８月の降水量は，松戸，木更津方面で平年並であったが，その他の各地は平年の30～50％で40～100㎜も少なかった。また，平均気温は，東部沿岸で平年並であったが，内陸部では１～２℃高く，近年にない暑い夏であった。尚８月の月平均海面気圧の最高順位は，銚子と勝浦では第２位を記録したことからも，太平洋高気圧が強かったことがうかがえる。

5．被　害

県下では房総から九十九里地域にかけて干ばつ被害が集中し，農作物被害はおよそ47億円を超すと推定された。

被　害　表　(ha)　　県農林部農政課調べ

区分／支庁別	里　芋	落花生	しょうが	かんしょ	陸　稲	梨	ね　ぎ	に　ら
千　葉	500	510	100	100	－	－	－	－
東　葛	180	－	－	－	114	560	100	45
印　旛	157	424	952	641	239	180	－	－

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，県農村部農政課調べ
印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　65

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）9月30日～10月1日
3. 災害原因　震度4
4. 概況及び被害

9月30日の地震

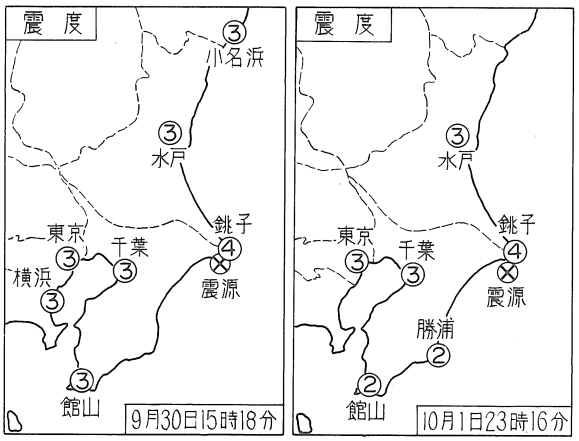
9月30日午後3時18分，関東全域と中部・東北・北海道の一部でかなり強い地震を感じた。震源地は銚子付近で，銚子で震度4，東京，館山，千葉，横浜，水戸，小名浜で震度3を記録した。

この地震のため，犬吠埼灯台の水銀がこぼれ，灯火にも支障をきたし，一時停灯した。これは灯台開設（明治9年）以来始めてのことであった。また，市原市五井海岸の化学工場で反応装置が故障した。

10月1日の地震

10月1日，午後11時16分にも同じく地震を感じた。震源地は銚子付近で，銚子で震度4，東京，千葉，水戸で震度3，館山，勝浦で震度2を記録したが幸い被害はなかった。尚，銚子付近を震源とする地震は10月29日頃まで時々発生した。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
9月30日15時18分	銚子付近	35°39′	140°40′	50 km	5.9
10月1日23時16分	銚子付近	35°37′	140°48′	60 km	5.8



地震震度図

5. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿

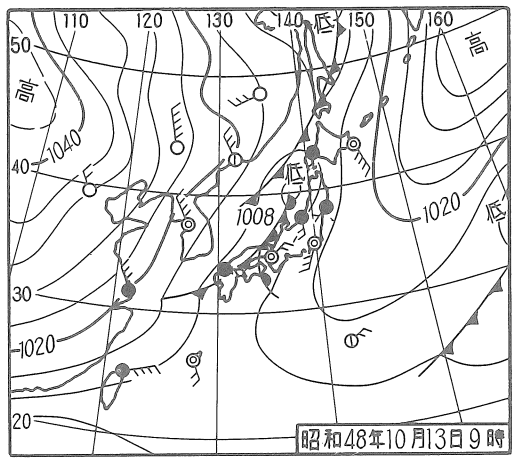
災害番号　66

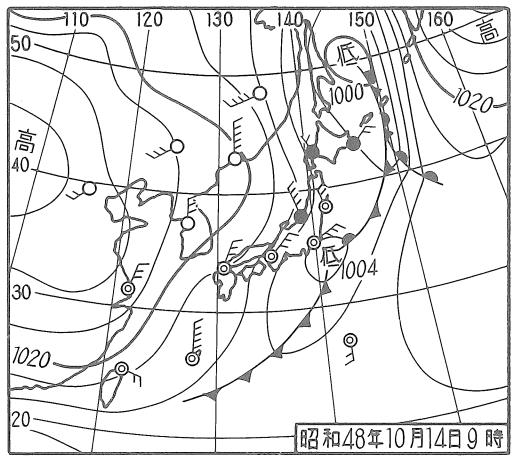
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）10月13日・14日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

10月13日から14日にかけ，前線を伴った低気圧が日本付近を通過した。関東地方では，この強い寒冷前線に伴う雨が13日宵から降り出し，千葉県西部地域の京葉，東葛地帯で大雨となった。降水量は野田85㎜，松戸77㎜，市川66㎜であった。

県内降水量表（㎜）48年10月13日

地名	日降水量	地名	日降水量
銚子	52	千葉	44
八日市場	44	市川	66
成東	43	野田	85
片貝	54	佐倉	59
一宮	57	佐原	46
勝浦	61	松戸	77
大多喜	62	茂原	44
久留里	72	清澄	65
正木	62	東金	43
松尾寺	57	黒原	74
鴨川	53	坂畑	75
千倉	30	我孫子	62
館山	32	東庄	45
富山	30	成田	41
木更津	38	札郷	66
牛久	48	香木原	64





地上天気図

5. 被害

被害表　県警本部調べ

区域／種別	船橋市	市川市	松戸市	習志野市
床上浸水	2戸		164戸	
床下浸水	33戸	23戸	176戸	6戸
道路冠水	2か所	5か所	12か所	

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象報告

災害番号　67

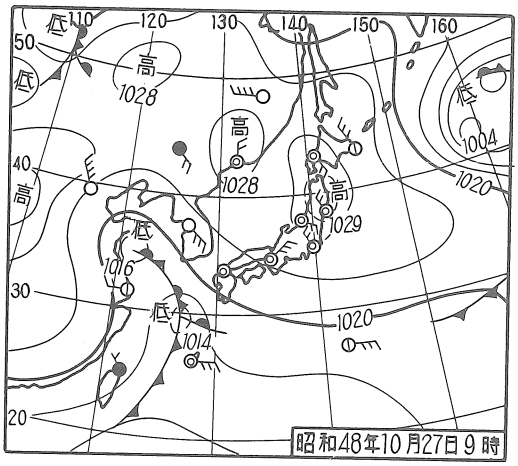
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）10月27日～28日
3. 災害原因　低気圧，前線
4. 気象概況

27日，東シナ海及び黄海に発達した低気圧が，本州を挟むような形で発達しながら東進し，28日には別の低気圧が銚子沖に発生した。これらを結ぶ前線付近では雷雨を伴った集中豪雨となった。千葉県下では28日早朝から県南部を中心に風雨が強まり夕刻まで続いた。雨量は主として県南部の房州地方で多くなり，総降水量は館山233mm，鴨川228mm，清澄234mmとなった。

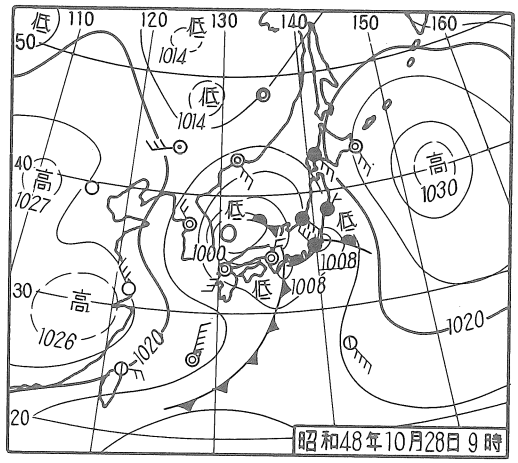
県内気象官署の極値表　昭和48年10月27日～28日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1002.4	28. 22. 10	S	15.2	28. 09. 20	SE	25.5	28. 09. 10
館山	1004.1	28. 23. 00	N	11.9	28. 06. 40	NNW	18.7	28. 06. 30
千葉	1001.7	28. 21. 10	S	14.7	28. 20. 00	S	17.7	28. 20. 10
勝浦	1005.8	28. 15. 00	SSE	10.2	28. 08. 00	SSW	20.8	28. 08. 15

要素 / 官署	最大10分間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水 mm	起時 日時分	総降水量 降水 mm	起時 日時～日時
銚子	10.0	28. 09. 20	20.5	28. 07. 55	66.5	28. 24. 00	66.5	28. 02. 00～28. 20. 00
館山	15.0	28. 07. 10	72.5	28. 07. 20	233.0	28. 24. 00	233.0	27. 20. 00～28. 20. 00
千葉	6.0	28. 08. 00	23.0	28. 08. 10	88.0	28. 24. 00	88.0	28. 02. 00～28. 19. 00
勝浦	17.0	28. 09. 10	48.0	28. 09. 40	107.0	28. 24. 00	107.0	28. 01. 00～28. 24. 00



地上天気図



地上天気図

県内降水量（mm）　　日界9時

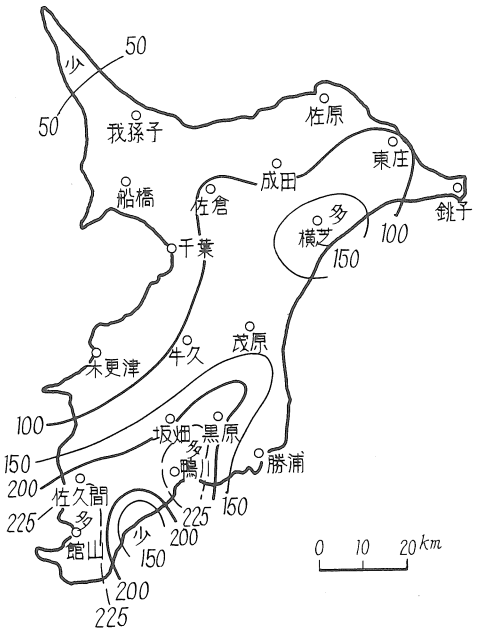
観測所	27日	28日	合計	観測所	27日	28日	合計	観測所	27日	28日	合計
銚子	35	32	67	富山	75	33	108	清澄	178	56	234
八日市場	130	13	143	岩坂	×	×	117	木下	×	×	(61)
成東	119	24	143	木更津	43	22	65	大金沢	73	23	101
片貝	98	39	137	牛久	68	35	103	東金	109	24	133
一宮	82	54	136	千葉	62	26	88	多古	82	24	106
勝浦	49	59	108	市川	45	20	65	黒原	140	54	194
大多喜	128	32	160	野田	39	10	49	坂畑	127	41	168
久留里	84	36	120	佐倉	64	52	116	奥山	99	35	135
正木	125	37	162	下総	53	12	65	我孫子	45	17	62
松尾寺	138	42	180	佐原	40	20	60	東庄	77	30	107
鴨川	179	49	228	笹川	67	22	89	成田	61	24	84
千倉	93	42	135	松戸	52	13	65				
館山	179	54	233	茂原	95	29	124				

5. 被　害

床上浸水37戸，床下浸水1,193戸，道路損壊51ヵ所，山がけ崩れ18ヶ所，田畑埋没17ha，田畑冠水（イチゴ10ha，レタス2 ha）

6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，
異常気象報告，異常気象原簿
印刷天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和48年10月27日～28日

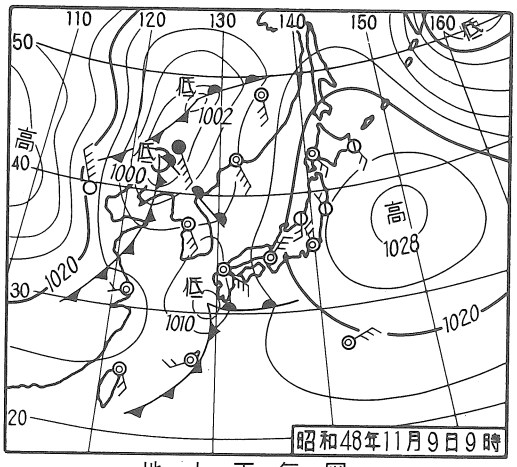
災害番号　68

1. 災害の種類(名称)　大雨・雷雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）11月9日～10日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

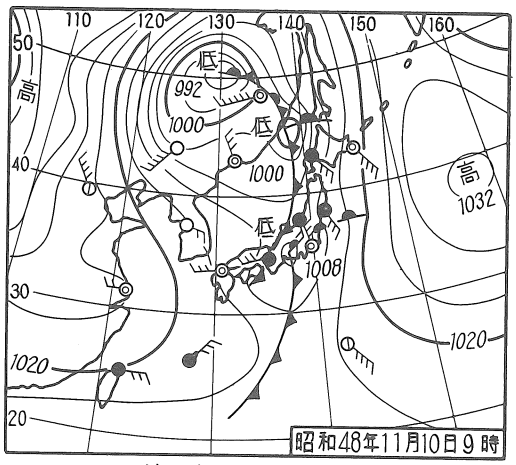
9日，中国東北区と九州の西にあった低気圧が東進し，10日はこの南北にのびる深い気圧の谷が通過した。このため，関東地方では9日夜から雨が降り出し，東京・横浜に大雨警報が出された。殊に，横浜の降水量は178.5mmに達し，11月としては新記録となった。県下でも北西部や南部で100mmを超える季節はずれの大雨となり，また，印旛・長生の各郡では落雷や突風が吹いた。

県内降水量(mm)　11月9日～10日

地名	9日	10日	合計	地名	9日	10日	合計	地名	9日	10日	合計
銚子	7	16	23	岩坂	39	24	63	大金沢	26	51	77
八日市場	17	33	50	木更津	36	48	84	東金	26	37	63
成東	18	51	69	牛久	37	51	88	多古	16	59	75
片貝	19	25	46	千葉	19	47	66	黒原	48	33	81
一宮	21	38	59	市川	22	42	64	坂畑	53	44	97
勝浦	32	21	53	野田	27	65	92	奥山	38	39	77
大多喜	45	28	73	佐倉	18	64	82	我孫子	30	44	74
久留里	37	49	86	下総	30	63	93	東庄	10	27	37
正木	46	36	82	佐原	19	48	67	成田	26	51	77
松尾寺	57	29	86	笹川	13	36	49	札郷	86	46	132
鴨川	53	27	80	松戸	51	55	106	峰上	36	38	74
千倉	29	18	47	茂原	28	35	63	香木原	62	31	93
館山	35	21	56	清澄	58	36	94				
富山	31	36	67	木下	29	51	80				



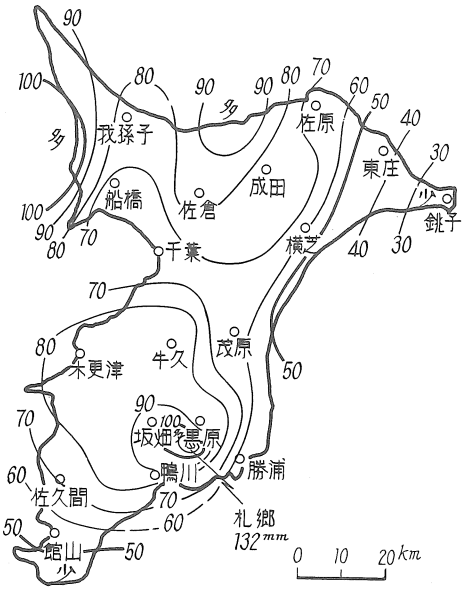
地上天気図



地上天気図

5 被　　害　　印旛郡，長生郡などで家屋の浸水や屋根が飛ばされた。

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，雑誌「気象」



県内降水量分布図(mm)
昭和48年11月 9 日～10日

災害番号　69

1. 災害の種類(名称)　火災・干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）11月11日～12月31日
3. 災害原因　異常乾燥
4. 気象概況

11月９日から10日にかけ大雨が降ったが，その後は冬型の気圧配置が，周期的に強まりながら継続し，晴天が続いた。このため，空気の乾燥が続き，別表の通り，銚子の11月の日最小湿度は1位から3位まで独占し，勝浦でも１位を更新した。また，銚子の降水量は２位を更新したが，この値のうちの大半は９日から10日に降った大雨によるものである。

12月に入っても晴天が続き，銚子では雲量2.5以下の日が18日で平年の約２倍と多く，月間の不照日数は約５分の１，月降水量に至っては，たった4.0mmで平年の約５％であった。また，勝浦の月降水量もたったの2.0mmで，共に２位との差は約20mmとなった。このような傾向は全域に及んだ。

このような少雨と異常乾燥で，本県には11月18日に異常乾燥注意報が発表され，12月12日に一時解除されたが，12月31日まで44日間出っ放しと同様の状態であった。尚，晴天と異常乾燥は翌年１月20日まで続いたが，この項は12月31日までとし，年を区切った。

11月の記録表　日最小湿度（11月）　統計1952～

順位／官署	第１位		第２位		第３位	
	湿度	起日	湿度	起日	湿度	起日
銚子	**23％**	**1973年20日**	**23％**	**1973年18日**	**24％**	**1973年28日**
勝浦	**24％**	**1973年23日**	24％	1963年27日	26％	1955年14日

月降水量の最小（11月）

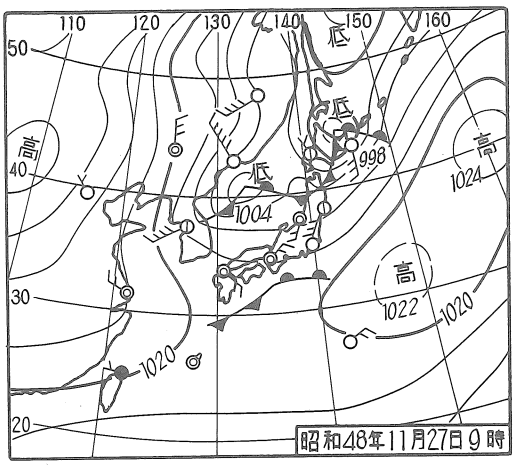
順位／官署	第１位		第２位		第３位	
	降水量	起年	降水量	起年	降水量	起年
銚子	25.5 mm	1963年	**35.5 mm**	**1973年**	58.5 mm	1971年

12月の記録表　月間日照時間最大（12月）　統計，銚子1899～　勝浦1916～

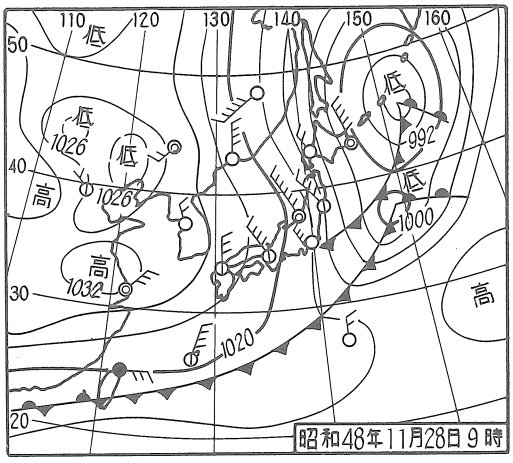
順位／官署	第１位		第２位		第３位	
	日照時間	起年	日照時間	起年	日照時間	起年
銚子	**226.4 h**	**1973年**	225.0 h	1922年	224.1 h	1956年
勝浦	**239.4 h**	**1973年**	230.1 h	1922年	209.6 h	1937年

月降水量の最小（12月）　統計，銚子1949～　勝浦1916～

順位／官署	第１位		第２位		第３位	
	降水量	起年	降水量	起年	降水量	起年
銚子	**4.0 mm**	**1973年**	22.0 mm	1969年	33.5 mm	1952年
勝浦	**2.0 mm**	**1973年**	21.7 mm	1939年	26.5 mm	1956年



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　　害

この異常乾燥の続く中，11月27日には成田市で16戸が全焼し，また翌28日には御宿町で山火事があった。

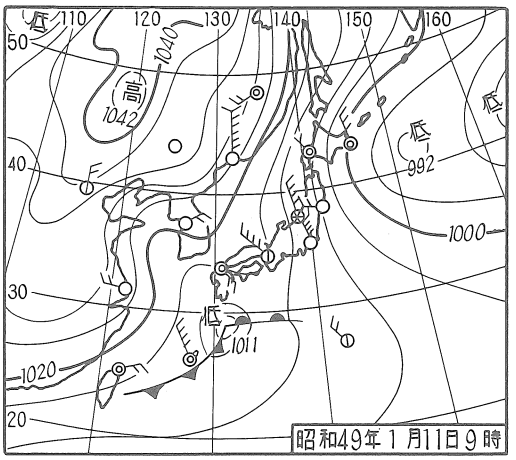
12月の県内の火災件数は506件(県消防防災課調べ)で昨年の2.2倍にのぼった。また，寒波と干天続きと強風のため，安房郡では，特産物の花や野菜に約１億２千余円の被害があった。

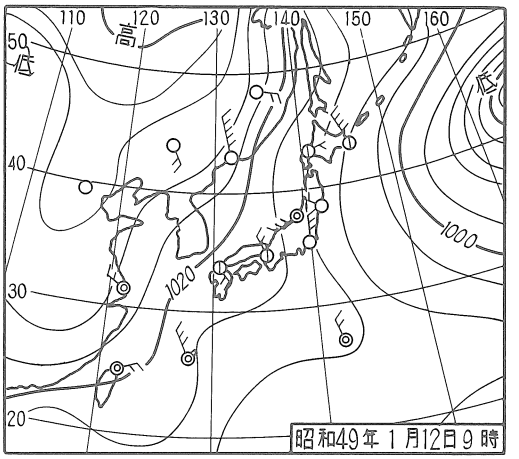
6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，県消防防災課，印刷天気図

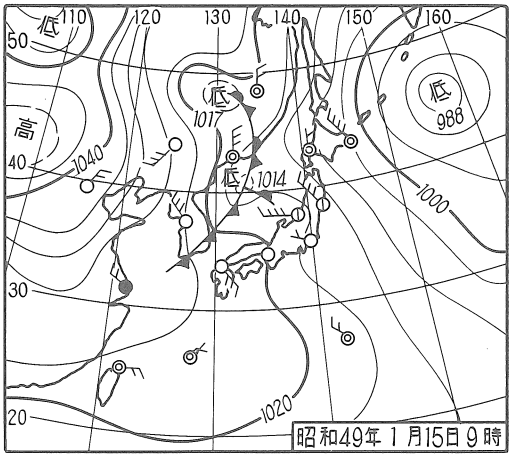
災害番号　70

1. 災害の種類(名称)　干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和48年（1973年）11月11日～昭和49年（1974年）1月20日
3. 災害原因　異常乾燥
4. 気象概況

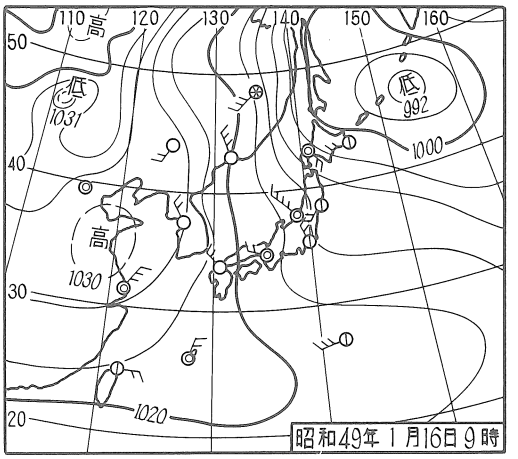
昭和48年11月中旬から昭和49年1月20日まで，周期的に強まりながら冬型の気圧配置が続いた。この期間中，日本付近を通った低気圧は18回あったが，そのうち北日本を通ったものが13回南を通ったのが5回あったが，南海上を通った低気圧は本州から大分離れていたため，まとまった雨や雪は降らず，干天が続いた。この期間中の降水量は銚子で17㎜，館山3㎜，千葉1㎜，勝浦8㎜，成田2㎜と極端に少なかった。1月21日には，冬型がくずれ，本州沿いに低気圧が通ってひと雨あったが，1月22日から2月4日までは，また雨なし日が続き，2月5日ようやく県内で30㎜前後の雨があって一息ついた。



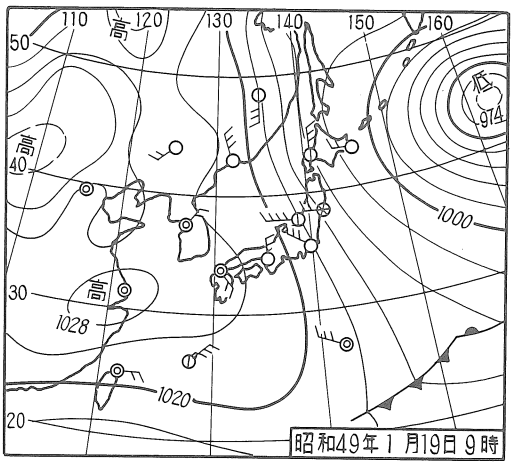




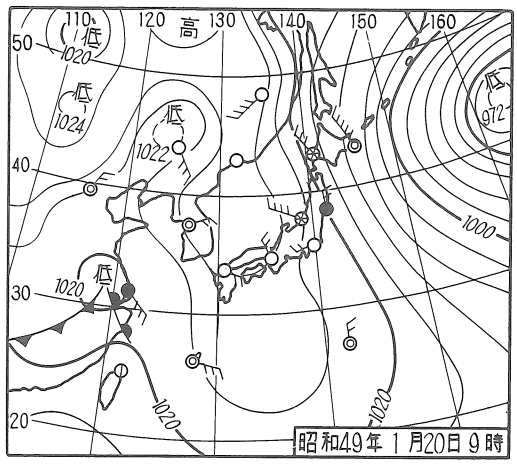
地上天気図



地上天気図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5. 被　　害　　——

6. 資　　料　　千葉県気象年報，印刷天気図

災害番号　71

1. 災害の種類(名称)　大雪
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）2月27日
3. 災害原因　低気圧（寒気）
4. 気象概況

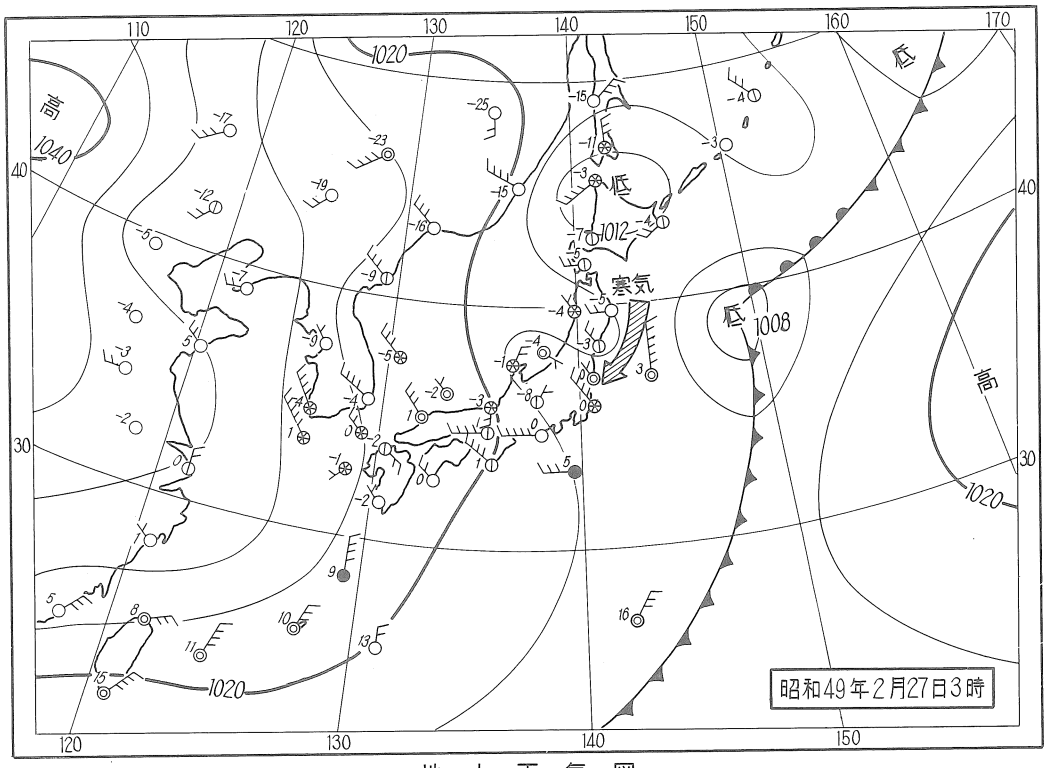
気圧配置は冬型であったが，本州付近の等圧線はZ型にゆるみ，銚子から能登半島方面にかけては低圧部となっている。一方，日本の上空約5,000mには－37℃の寒気があり，また，下層に北東の冷たい空気が流れ込んだため，本県では26日夜半頃から雪となり，27日朝まで続いた。銚子の天気変化図にも見られる通り，26日24時4.1℃であったが，気温は急降下し午前0時50分から雨が雪に変り，一時みぞれになったが，午前8時50分まで続いた。積雪量は県北東部で多くなり，国鉄飯岡駅では20cmとなった。

気象庁積雪表（cm）　2月27日9時

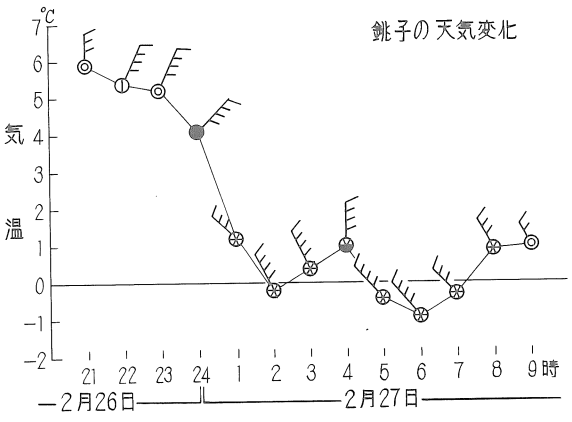
地名	積雪の深さ	地名	積雪の深さ	地名	積雪の深さ
銚子	13	館山	0	佐原	3
八日市場	7	富山	0	笹川	9
成東	6	木更津	－	松戸	0
片貝	8	牛久	1	茂原	－
一宮	2	千葉	0	清澄	1
勝浦	－	市川	0	東金	5
大多喜	0	野田	0	多古	7
久留里	2	佐倉	5	我孫子	8
松尾寺	1	下総	6	成田	5

国鉄積雪表（cm）　2月27日9時

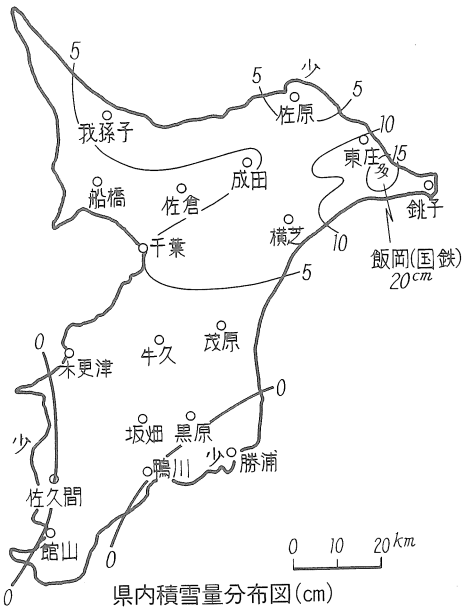
駅名	積雪の深さ	駅名	積雪の深さ
市川	2	飯岡	20
船橋	3	銚子	12
幕張	5	大網	4
千葉	5	上総一宮	1
八幡宿	5	大原	1
姉崎	4	大多喜	2
大更津	1	佐倉	5
久留里	3	成田	7
上総亀山	3	湖北	9
成東	6	佐原	4
八日市場	10		



地　上　天　気　図



銚子の天気変化図　昭和49年２月26日～27日



県内積雪量分布図(cm)
昭年49年２月27日

5. 被　害

国鉄ではモーター故障や凍結によるポイント故障により，上下９本の列車に60～80分の遅れが出た。その他船舶の衝突，農作物等に被害があった。

6. 資　料

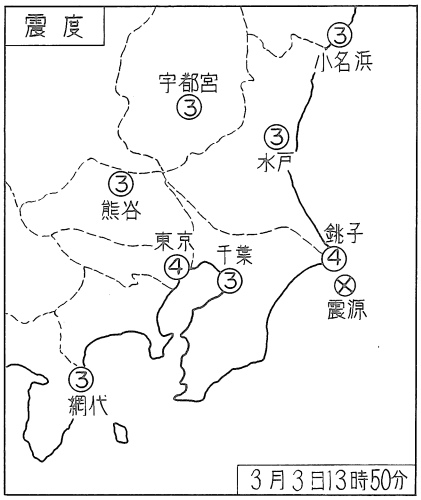
千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，速報天気図

災害番号　72

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）3月3日
3. 災害原因　震度4
4. 概況

3日，午後1時50分，関東北方から東北・中部地方にかけて地震があった。震源地は千葉県銚子沖南東約30km付近で，震源の深さは60km，銚子，東京で震度4，水戸，千葉，小名浜，白河，宇都宮，熊谷，網代で震度3を記録した。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
3月3日13時50分	千葉県東方沖	35°34′	140°53′	60 km	6.1



地震震度図

5. 被害

犬吠埼灯台のレンズ回転用の水銀槽の水銀がこぼれ，一時回転不能となった。

注：犬吠埼灯台の仕様

輝度200万 cd/m²，回転1/15sec×4面～1周60sec，到達距離36km，レンズ径1.84m×高さ2.59m

霧笛信号～目視≦1.8km（≦1マイル），5 sec 鳴，30sec 黙，音の強さ70db

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震月報，灯台資料

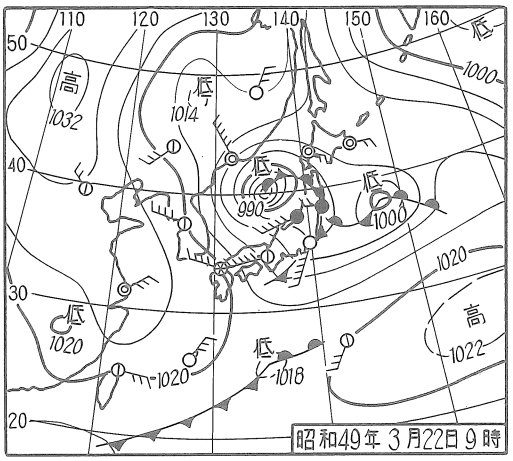
災害番号　73

1. 災害の種類(名称)　火災・強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）3月22日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

3月21日，朝鮮半島にあった1,008mbの低気圧が日本海に入り，22日は日本海中部で990mbと台風並に発達した。このため，全国的に強風の吹き荒れる遅い「春一番」となり，県下全域で日最大風速が15m/s以上となった。最大瞬間風速は千葉SSW31.7m/s，勝浦SW30.3m/s，館山WSW26.9m/s，銚子26.0m/sを観測し，勝浦では3月の日最大瞬間風速としては第2位を記録した。

日最大瞬間風速(3月)　勝浦測候所

順位	風向	風速	起日
1位	SSW	30.9 m/s	1951年3月6日
2位	SW	30.2 m/s	1974年3月22日
3位	SSW	27.4 m/s	1955年3月18日



地上天気図

5. 被害

強風のため，山火事が相次いで発生し，山武部芝山町の山林，市原市中根の山林40a，夷隅郡大原町の杉林1 ha，館山市水岡地区の区有林5 ha，木更津市矢那の民有地10ha等を焼失した。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　74

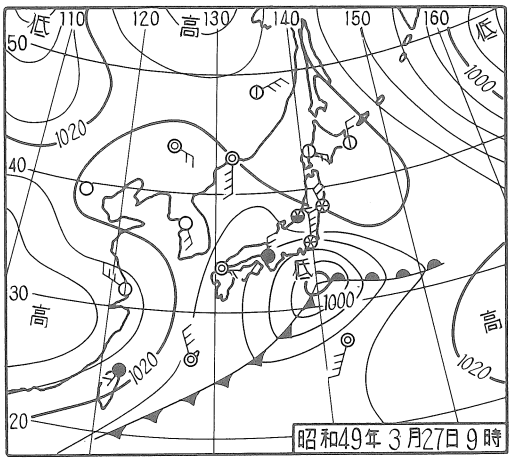
1. 災害の種類(名称)　強風（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）3月26日～27日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

3月26日から27日にかけ，本州の沖合を低気圧が通過し，この低気圧に北東の冷たい空気が流れ込み，関東地方では大雪となった。県内では夜になって一部雪に変ったが大体は雨になった。また，本州沖を発達しながら低気圧が通ったため，本県では北よりの風が強まり，最大風速は銚子でＮＮＥ16.2m/s，その他10m/s前後の北風が吹いた。また館山では最大風速Ｎ9.2m/s（18時00分）最大瞬間風速は16.1m/s（17時50分）を記録したほか銚子，勝浦で総降水量が100㎜を越した。

県内官署の気象表

3月27日

要素 / 官署	気温			湿度		風			降水量	平均雲量	日照時間	天気概況	
	平均気温	最高気温	最低気温	平均湿度	最小湿度	平均風速	最大 風速	最大 風向				午前6時～午後6時まで	午後6時～翌午前6時まで
銚子	8.3	9.7	5.4	89	72	9.1	16.2	NNE	19.5	10.0	－	雨	雨大風を伴う
館山	3.5	5.0	2.2	86	82	4.3	9.2	N	39.0	10.0	－	雨	雨一時みぞれ
千葉	2.0	4.2	0.7	99	91	7.7	10.7	N	54.5	10.0	－	雨	雪一時雨
勝浦	4.9	10.0	1.3	90	77	8.4	12.0	NNW	90.0	10.0	－	雨	雨一時雪
成田	3.1	5.8	0.8	93	89	7.4	12.7	N	66.5	10.0	－	…	…



地上天気図

5. 被害

午後1時頃，木更津沖1.3km付近で貨物船のハッチボートが破損し，浸水沈没，1名行方不明，また午後2時23分頃，房総半島沖で引き船「住吉丸」（5人乗組）がＳＯＳを発信後連絡を断った。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図

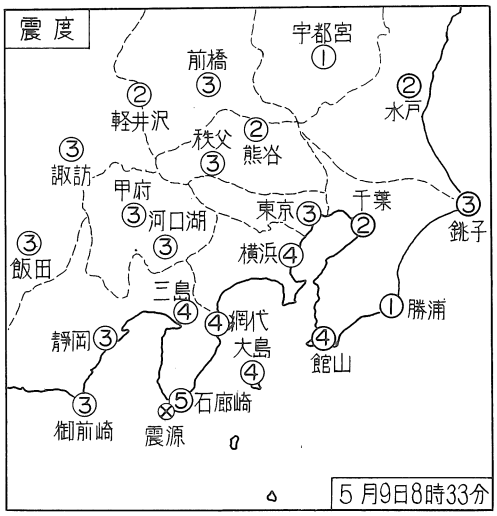
災害番号　75

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）5月9日
3. 災害原因　震度4
4. 概況

9日，午前8時33分頃，静岡県内部を中心に，関東・甲信越・中部地方の一帯にわたりかなり大きな地震があった(?)震源地は伊豆半島沖で，石廊崎で震度5を記録し，伊豆半島南端で大きな被害が出た。千葉県内では館山で震度4だったほか銚子震度3，千葉震度2，勝浦震度1で幸い被害はなかった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
5月9日8時33分	伊豆半島沖	34°34′	138°48′	10 km	6.9

5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震月報



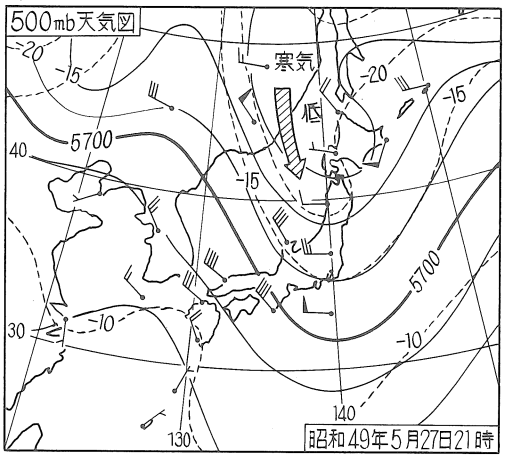
地震震度図

災害番号　76

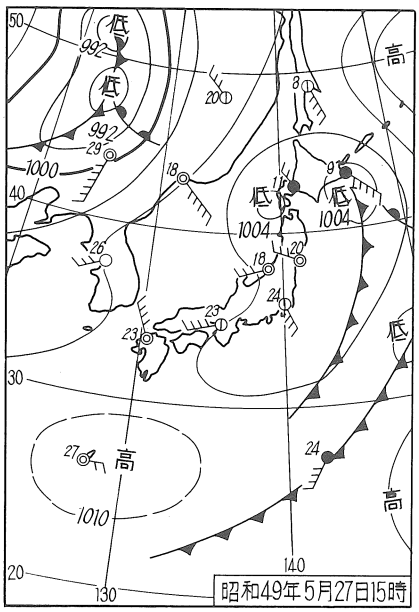
1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭年49年（1974年）5月27日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

北日本方面を低気圧が通り抜けたが，秋田沖に別の低気圧が残り，東日本，北日本では気圧の谷の中にあった。また，上空には寒気が流れ込んだだめ，大気の状態は非常に不安定となり，このため関東甲信地方の天気図を見ると山梨県西部に熱的な地形性の低気圧が発生した。

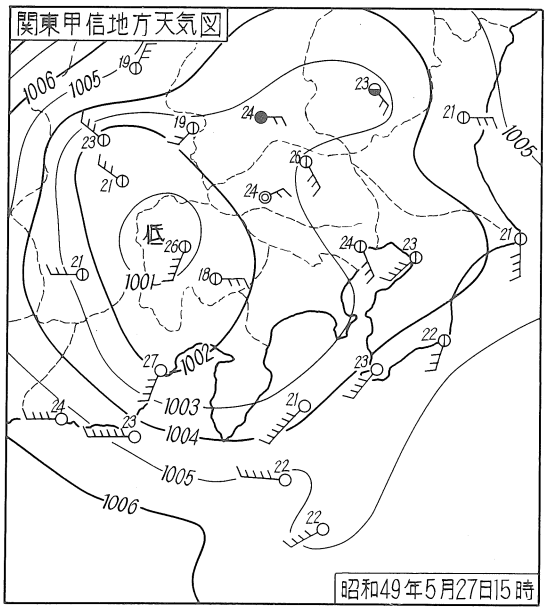
北関東を中心に雷が発生し，東京レーダエコー図に示す通り埼玉県東部の雷雲は9,500mにまで発達した。この雷雲が東に移動し，本県でも県北東部を中心に午後2時から4時頃と午後7時から9時頃にかけて，はげしい雷雨となり，ウズラの卵大から小豆大のひょうを伴った。



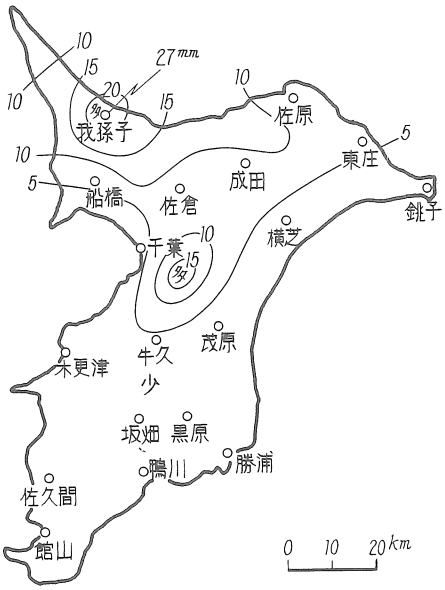
高層天気図



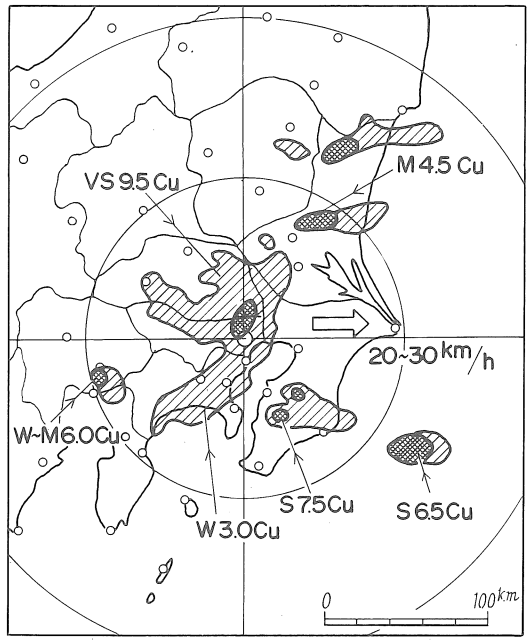
地上天気図



関東甲信地方地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和49年5月27日



東京レーダーエコー図　昭和49年5月27日14時

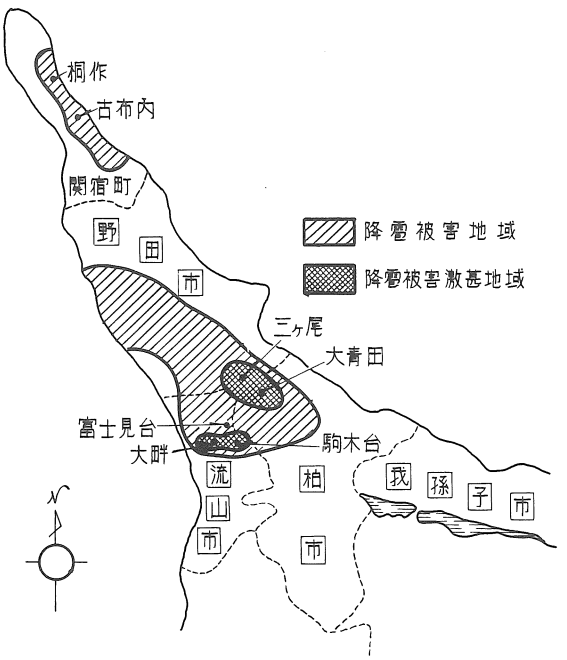
降ひょう地域及びその特徴　　(県農政課調)

市町名	降ひょう被害の多い地区	降ひょう時刻	降ひょうの大きさと特徴
関宿町	利根川沿いの幅約1km，長さ約4kmの地域，桐が作，古布内（特に被害多し），武者，高倉，上納谷	27日18時50分～19時25分頃まで	うずら卵大
野田市	埼玉県越ヶ谷市松伏町方面から座生地区に入り市中央部から国道16号線沿いから柏市に入る幅約2km，長さ約9kmの北西から南への地域，特に三ヶ尾地区の被害多し	27日19時15分～19時30分頃まで	直径約2cm大，地上白く積った所あり（野田観測所降水量31mm）
流山市	市の中央部から北部地域の小屋，富士見台，駒木台を結ぶ幅約2kmの西から東への地区	27日19時30分～20時10分頃まで	10円硬貨位（約2.3cm）
柏市	市の北西から南東への幅約1～2kmの地域。大青田被害特に多い。高田原，高田地区	27日19時30分～20時30分頃まで	大豆大，親指大，地上に白く積った所あり
松戸市	千駄堀，松戸新田，串崎新田，五香中部，六実	27日13時50分～16時00分頃まで	雷雨中親指大の降ひょう降水量14mm（松戸観測所）
千葉市	市の東部地域の星久喜，千城台，小間子，松ヶ丘，赤井，誉田等，南～北へ幅約6km，また西～東の八街町方面へ伸びる	27日14時～16時頃まで	雷雨中14時30分～15時にかけて大豆大，親指大の降ひょう
鎌ヶ谷市	初富の一部，中沢の一部	27日14時20分頃	大豆大から小豆大の降ひょう
八街町	川上，山田台，沖	27日15時頃	大豆大の降ひょう
佐倉市	内田の一部	27日14時45分頃	小豆大のひょう
市原市	五井，市原(特に惣社)，養老，三和被害なし	27日14時30分頃	直径8mm前後

5. 被　害

野菜，豆類なで，農作物に大きな被害があった。被害額は約6億3,000万円(関宿町：約2億6,600万円，野田市：約2億7,500万円，柏市：約3,300万円，流山市：約5,900万円）に達した。

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，異常気象原簿，県農政課，印刷天気図，速報天気図，雑誌「気象」



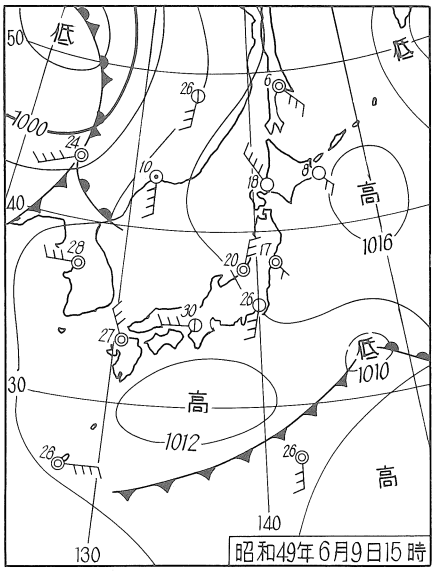
災害番号　77

1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）6月9日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

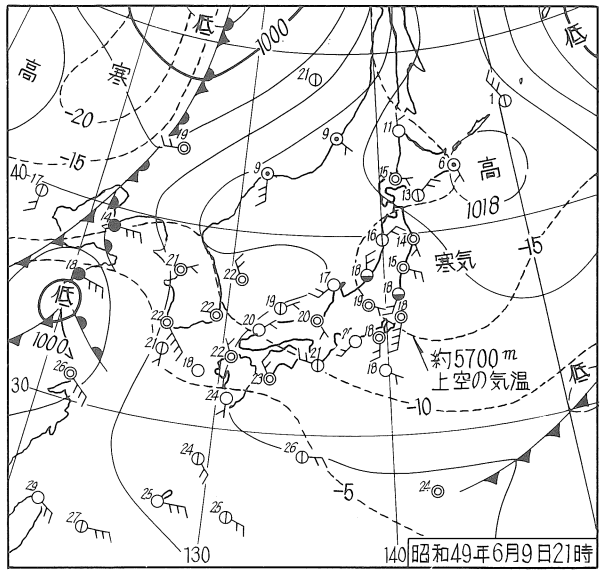
9日は全国的に晴れたが，上空約5,700mには－15℃の寒気が流れ込んだだめ，関東地方では午後雷雨が発生した。雷雨は7,000～10,000mに発達し，午後3時頃から11時頃にかけ，県下全域はひょうを伴った雷雨となり，特に野田市，柏市，市川市，船橋市白井町などでは，午後3時頃から7時頃にかけ，大きいのは親指大のひょうが10～15分間位降った。

県内降水量表（mm）　6月9日

地名	日降水量	地名	日降水量	地名	日降水量
銚子	6	富山	2	茂原	4
八日市場	9	岩坂	4	清澄	10
成東	7	木更津	6	大金沢	5
片貝	8	牛久	8	東金	7
一宮	5	千葉	7	多古	10
勝浦	3	市川	6	黒原	5
大多喜	7	野田	7	奥山	8
久留里	9	佐倉	14	我孫子	19
正木	7	下総	7	東庄	7
鴨川	4	佐原	6	成田	9
千倉	4	笹川	7	峰上	6
館山	3	松戸	5	香木原	8



地上天気図



地上天気図と500mbの気温図

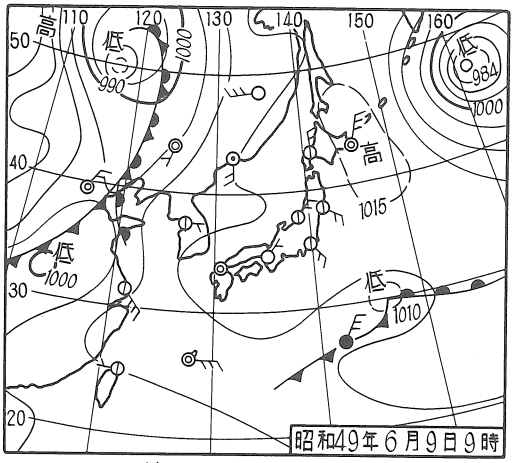
5. 被　害

野菜，豆，果樹類に約１億8,800万円の被害をもたらした。

被害面積：野菜1,093ha，梨1,053ha，雑穀いも豆類514ha，麦類5ha

6. 資　料　千葉県気象年報

千葉県気象月報　印刷天気図

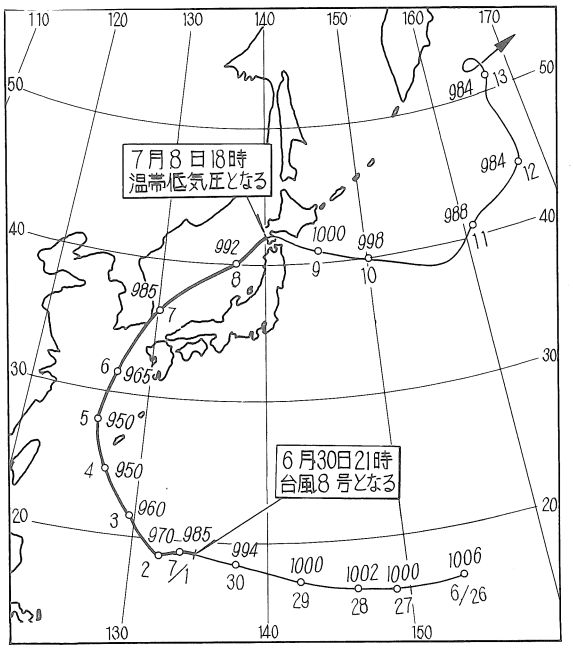


地　上　天　気　図

災害番号　78

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭年49年（1974年）7月8日
3. 災害原因　台風8号，梅雨前線
4. 気象概況

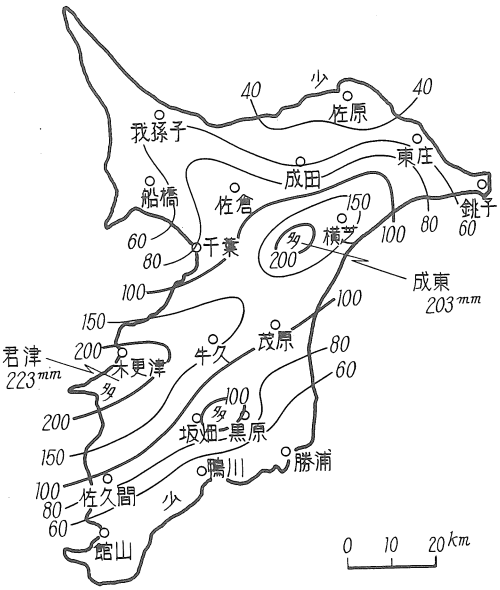
マリアナ諸島の東で発生した弱い熱帯低気圧は西に進み，6月30日，沖の鳥島の南西で台風8号となった。その後北西に進み，沖縄近海を通って北上し，7月7日には日本海を北東に進んで8日午後6時，函館の西方で温帯低気圧に変った。本県からみれば台風は大まわりし，遠くを通ったが，南岸にあった梅雨前線が台風の影響で活発となり，7月4日から8日にかけ，北日本を除いて所々豪雨となった。本県では7日夜から南よりの風が卓越し，同夜半頃から県北西部や西部で雨が降り始め，8日午前3時から9時頃にかけて，県南部の沿岸地域を除く全域に所々雷を伴う強雨が降った。総降水量は60～200㎜で，特に君津，木更津地域と成東,東金地域には5～6時間の短時間に150～200㎜を越す豪雨となり同地域を主として被害が出た。



台風経路図（台風8号）

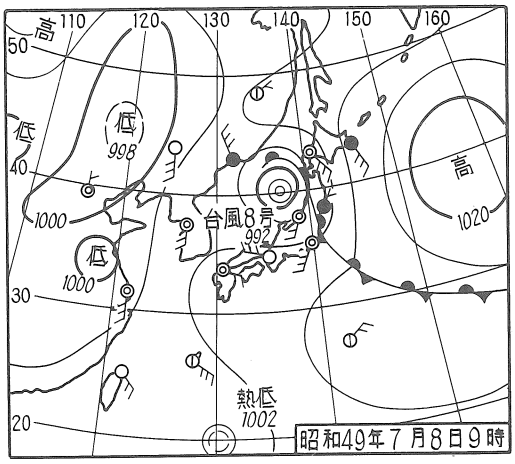
県内降水量表　昭和49年7月7日

地名	降水量㎜	地名	降水量㎜	地名	降水量㎜
銚子	49	八日市場	155	大金沢	118
成東	203	木更津	180	東金	201
片貝	119	牛久	95	多古	86
一宮	68	千葉	67	黒原	106
勝浦	15	市川	44	奥山	106
大多喜	73	野田	53	我孫子	46
久留里	100	佐倉	72	東庄	46
正木	84	下総	40	成田	63
鴨川	22	佐原	29	札郷	98
千倉	11	笹川	51	峰上	76
館山	11	松戸	57	香木原	109
富山	78	茂原	107		
岩坂	59	清澄	95		



県内降水量分布図(mm)

昭和49年７月７日９時～９日９時



地　上　天　気　図

5．被　　害

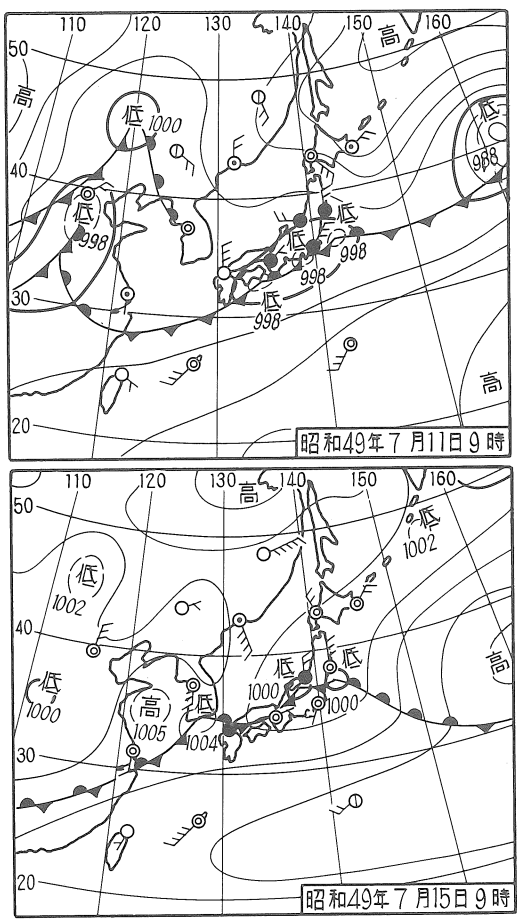
負傷者５名，床上浸水1,294戸，床下浸水1,543戸，道路損壊32ヶ所，がけ崩れ46ヶ所，鉄軌道被害６ヶ所

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，台風経路図，印刷天気図，県警察本部

災害番号　79

1. 災害の種類(名称)　冷害
2. 災害発生年月日(期間)　昭年49年（1974年）6月27日～7月16日
3. 災害原因　長雨・低温
4. 気象概況

本年は暦通り6月11日に梅雨入りとなった。オホーツク海方面の高気圧の勢力が強まったため，南岸に停滞している梅雨前線上を6月28日から7月11日までの間，3～4日おきに低気圧が通った。そのたびに前線が活発となり，20mm以上の日降水量があった。6月から7月にかけて，銚子における降水継続日数（日降水量0.0mmを含む）は20日間におよび，長雨の第1位の記録となった。この間には7月8日の台風8号に刺激された梅雨前線豪雨もあり，6月27日から7月16日までの20日間の長雨による総降水量は，243.0mmに達し，銚子気象台創立以来の降水量であった。一方，オホーツク海高気圧が優勢であったため，低温の日が続き，平



地上天気図　　地上天気図

年に比べ月平均気温は約2℃も低く農作物にかなりの影響をおよぼした。

5. 被　害

スイカ，メロン，梨，果実や，トマト等の夏野菜，それに早生稲などは，この長雨と低温により低調な生育状態のところに大雨がかさなったため，全県にわたる農作物の被害面積は5,218.4haにおよび，被害総額は595,409千円にのぼった。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

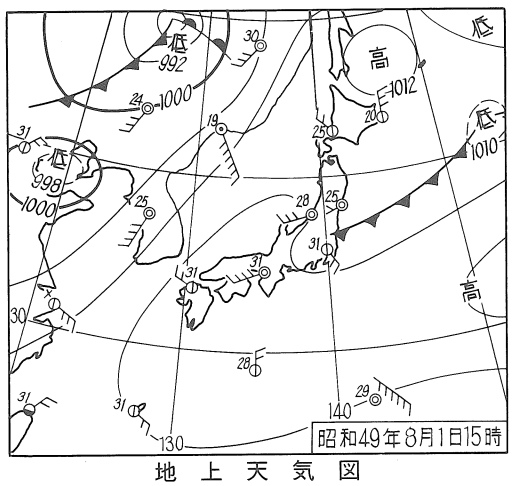
災害番号　80

1. 災害の種類(名称)　雷・ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）８月１日
3. 災害原因　前線（熱界雷）
4. 気象概況

８月１日，日本付近は太平洋の高気圧におおわれ，典型的な鯨の尾型で関東から西では30℃を超える猛暑となった。しかし，本州東方に去った低気圧からのびる寒冷前線が北日本から南下して来た。日中の気温の上昇と上空に流れ込んだ寒気の影響で前線の尾に当る関東地方では熱界雷が発生した。本県では，午後２時30分頃，直径２～４㎜のひょうを伴う激しい雷雨が我孫子市と茂原市内を急襲し，２ヶ所に落雷した。

県内降水量表（㎜）　昭和49年８月１日

地名	降水量㎜	地名	降水量㎜	地名	降水量㎜
銚子	－	岩坂	－	大金沢	1
八日市場	1	木更津	－	東金	1
成東	0	牛久	2	多古	1
片貝	0	千葉	2	黒原	15
一宮	0	市川	4	奥山	1
勝浦	1	野田	7	我孫子	32
大多喜	－	佐倉	2	東庄	－
久留里	2	下総	5	成田	0
正木	－	佐原	1	札郷	1
鴨川	1	笹川	－	峰上	1
千倉	1	松戸	10	香木原	2
館山	1	茂原	18		
富山	0	清澄	10		



地上天気図

5. 被害　――
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，速報天気図

災害番号　81

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）11月16日
3. 災害原因　震度4
4. 概況

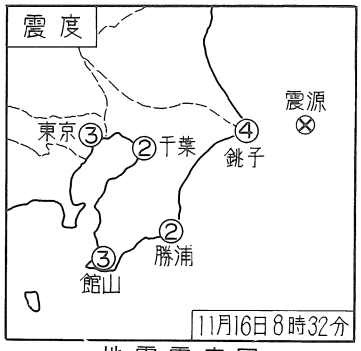
11月16日午前8時30分，関東地方全域と東北，北海道，中部地方の一部にかなり強い地震を感じた。震源地は銚子の東北東35km，震源の深さ40km，県内では銚子震度4，館山震度3，千葉・勝浦震度2であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
16日08時32分	銚子沖	35°45′	141°15′	40 km	6.1

5. 被害

銚子市内では，棚から物が落ち，食器を壊した家庭や，一部の商店では商品に損害を受けた。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震月報



地震震度図

災害番号　82

1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和49年（1974年）11月17日～18日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

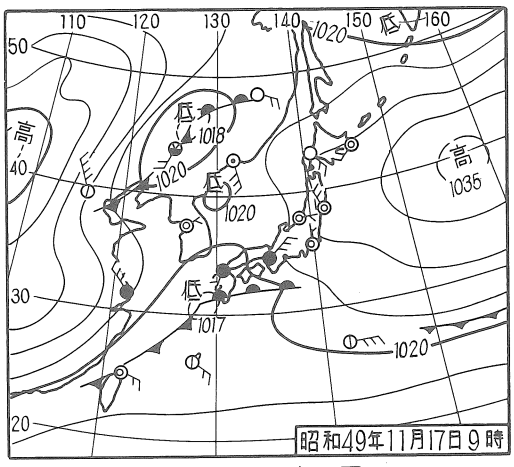
17日，日本海西部と九州付近にあった低気圧が発達しながら早い速度で本州を挟むような形で通った。南岸の低気圧は18日午前3時頃千葉県北部を通過し，その後北上して台風並に強まった。低気圧の通過前後県内では強風が吹き荒れ，銚子では最大瞬間風速S33.4m/s，10分間最大風速はS21.0m/sを記録した。その後も吹き続いた。

県内官署の気象表　11月18日

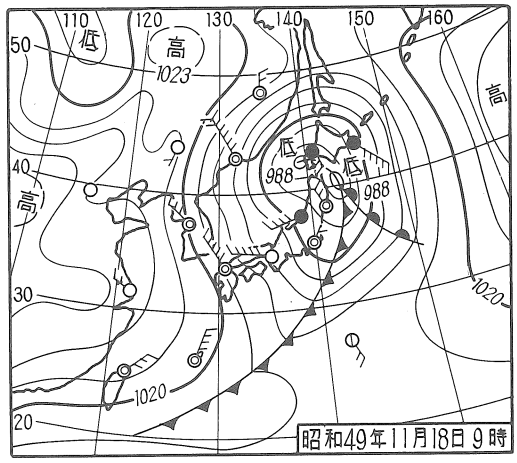
官署＼要素	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 時分
銚子	S	21.0	03.00	S	33.4	02.16
館山	WSW	13.2	05.40	SSE	21.1	00.00
千葉	SSW	19.2	14.20	SSW	23.3	14.30
勝浦	SSW	17.0	03.50	SSW	27.0	14.15

11月最大瞬間風速順位表　銚子

順位	風向	風速	起時
1	NNE	34.8m/s	1954年28日
2	S	33.4m/s	1974年18日
3	NE	32.2m/s	1944年3日



地上天気図



地上天気図

5. 被害

卓越した西風のため，18日の午後，市原市で小学校のサッカーゴールのポールが倒れ，児童1名が死亡した。また，各地でテレビアンテナが飛ぶなどの被害が発生した。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

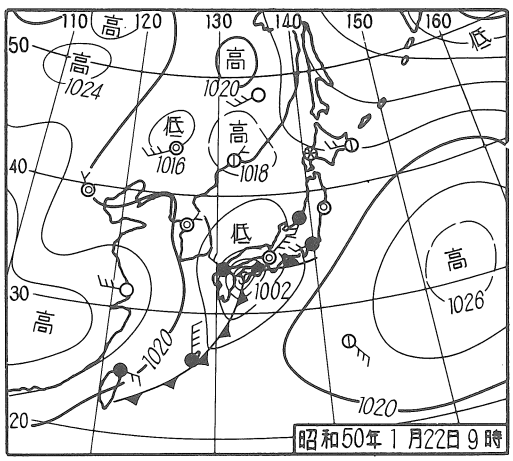
災害番号　83

1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）1月22日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

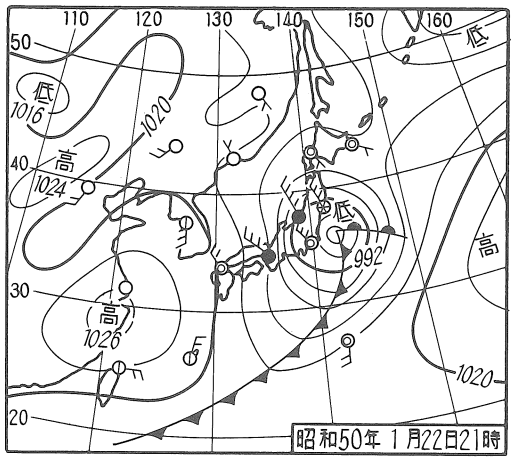
1月21日午後，台湾付近に発生した低気圧が，22日午前9時には，四国沖に達した。その後発達しながらスピードを早め，房総半島南西部から北東部を斜めに通過し，午後7時には鹿島灘へ抜けた。この低気圧の通過に伴い県内では午後4時頃から7時頃にかけて風雨が強まった。県内では雨であったが，関東内陸部は雪となり群馬県には大雪警報が出された。

気象官署の気象表　1月22日～23日

官署 / 要素	館山		銚子		千葉	
	値	起時	値	起時	値	起時
最低海面気圧	993.1 mb	22日17時40分	989.8 mb	22日18時50分	994.4 mb	22日17時50分
最大風速	NW 10.7 m/s	22日18時10分	S 18.9 m/s	22日18時50分	WNW 8.9 m/s	22日18時40分
最大瞬間風速	NW 24.7 m/s	22日18時00分	S 32.6 m/s	22日18時40分	WNW 15.5 m/s	22日18時40分
総降水量	45.0 mm	22日08時20分 22日19時40分	28.0 mm	22日10時00分 23日0時30分	20.5 mm	22日08時55分 22日19時35分
日降水量の最大	45.0 mm	22日19時40分	28.0 mm	23日0時30分	20.5 mm	22日19時35分
24時間降水量最大	45.0 mm	22日19時40分	28.0 mm	23日0時30分	20.5 mm	22日19時35分
1時間降水量最大	16.0 mm	22日18時10分	12.0 mm	22日16時55分	8.5 mm	22日17時00分
10分間降水量最大	9.5 mm	22日18時10分	4.0 mm	22日17時30分	2.0 mm	22日16時40分



地上天気図

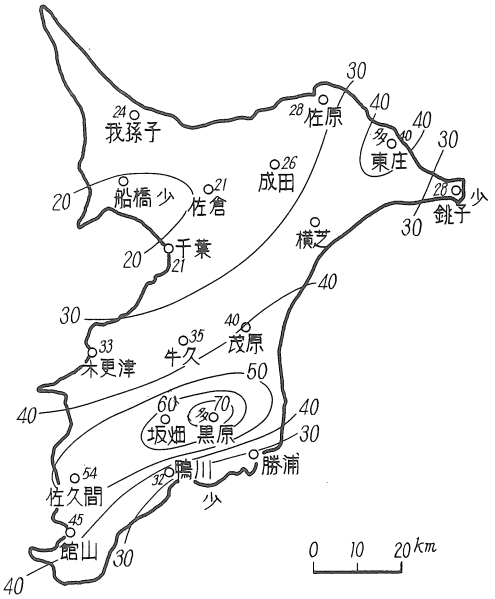


地上天気図

5. 被　害

県南部（千倉町白子）を主とした地域に強風による被害が発生し，負傷１名，建物一部破損等があった。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」



県内降水量分布図(mm)
昭和50年１月22日

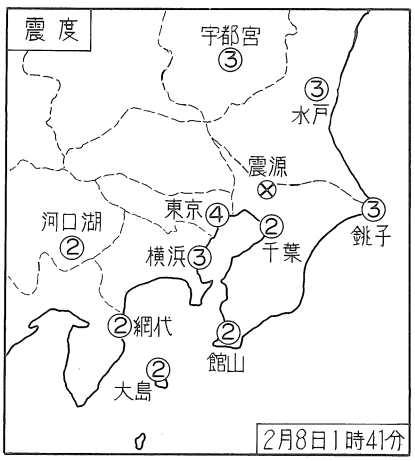
災害番号　84

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）2月8日
3. 災害原因　震度3
4. 概況

2月8日，午前1時41分頃，関東地方と東北地方，中部地方の一部でかなりの地震を感じた。震源地は本県北部の利根川中流域で震源の深さは約50km，東京震度4，銚子，水戸，宇都宮，白河で震度3，網代，河口湖，千葉，館山，大島で震度2であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュウド
8日01時41分	利根川中流域	35°48′	140°06′	50 km	5.4

5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震火山概況

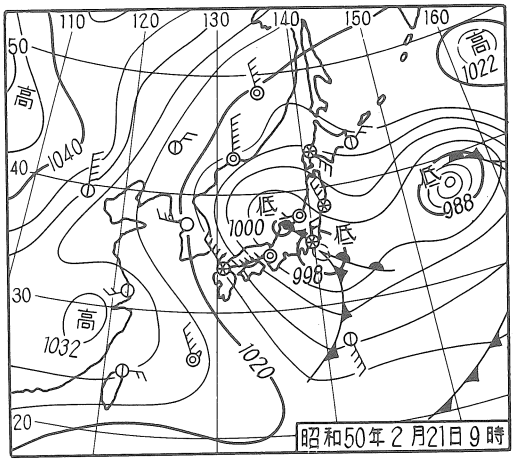


地震震度図

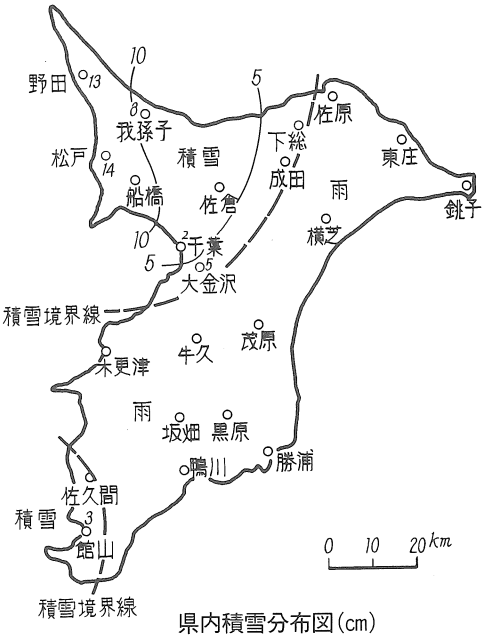
災害番号　85

1. 災害の種類(名称)　大雪
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）2月21日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

2月20日，九州の西と日本海西部にあった2ッ玉低気圧が発達しながら東北東に進んだ。また，日本上空約5,500mの気温は－30℃以下（輪島上空は－36℃）の寒波が入っていた。関東内陸部では早朝から雪となり，東京に大雪警報が出され15cmの積雪となった。本県でも北西部を中心に大雪に見舞われ，積雪は松戸市の14cmを最高に野田市13cm，市川市10cm，我孫子市8cm，佐倉市7cm，大金沢，下総で5cm，また，南部の館山でも3cmを記録した。なお，その他は雨であった。



地上天気図



県内積雪分布図(cm)
昭和50年2月21日

5. 被　害

この大雪で常磐線で架線が切れ8千人がカン詰となったほか，県内北部交通機関は混乱し，通勤，通学の足が乱れた。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，雑誌「気象」

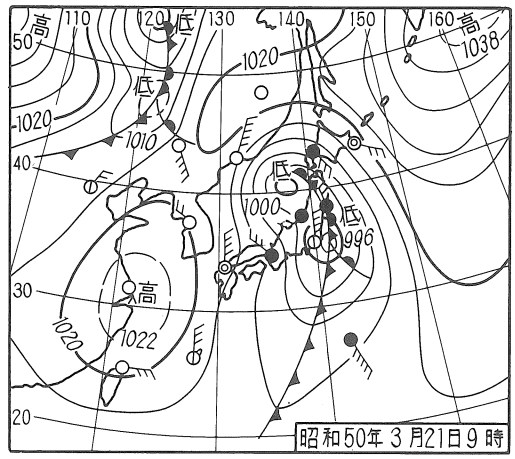
災害番号　86

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）3月21日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

3月20日から21日にかけ，2ッ玉低気圧の北上に伴い北日本を中心に大雨となり，宮古で168㎜，久慈で117㎜となり岩手県では川がはんらんした。本県でも大雨となり，殊に銚子では午前7時10分から8時10分まで降った1時間降水量の最大値は41.0㎜に達し，3月における統計開始（1912年）以来の第1位を記録した。

3月における1時間降水量の最大値　銚子

順　位	降水量	起　時
第1位	41.0 ㎜	1975年21日
第2位	29.4 ㎜	1966年16日
第3位	23.1 ㎜	1924年26日

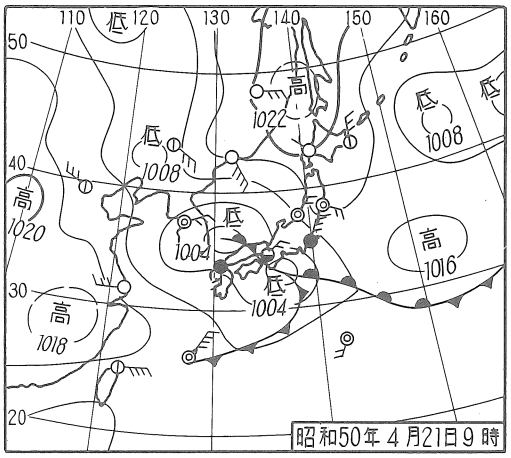


地上天気図

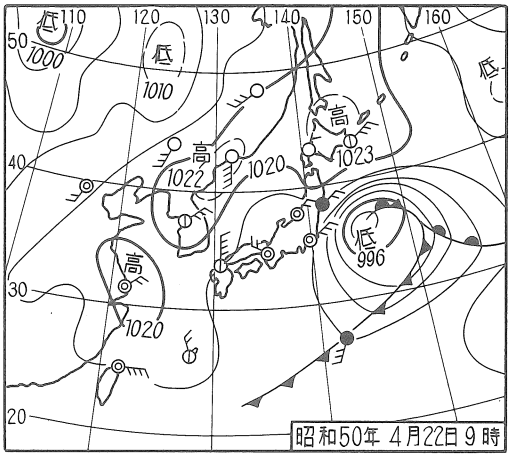
災害番号　87

1. 災害の種類(名称)　冷害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）4月21日～26日
3. 災害原因　寒気流入
4. 気象概況

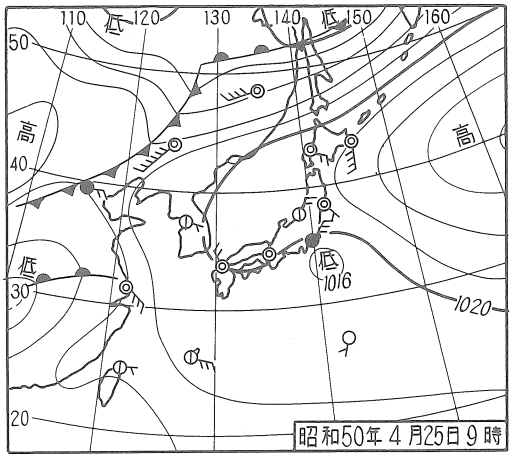
4月21日，本州の南岸を通った低気圧が22日関東東方で発達し，北からの寒気を呼び込んだため「寒の戻り」となり，天気もぐずついた。21日～26日までの平均気温は平年よりかなり低く経過し，特に22日は3月上旬並の気温となった。



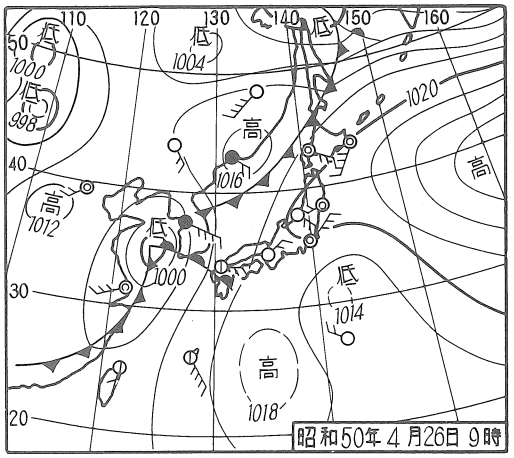
地上天気図



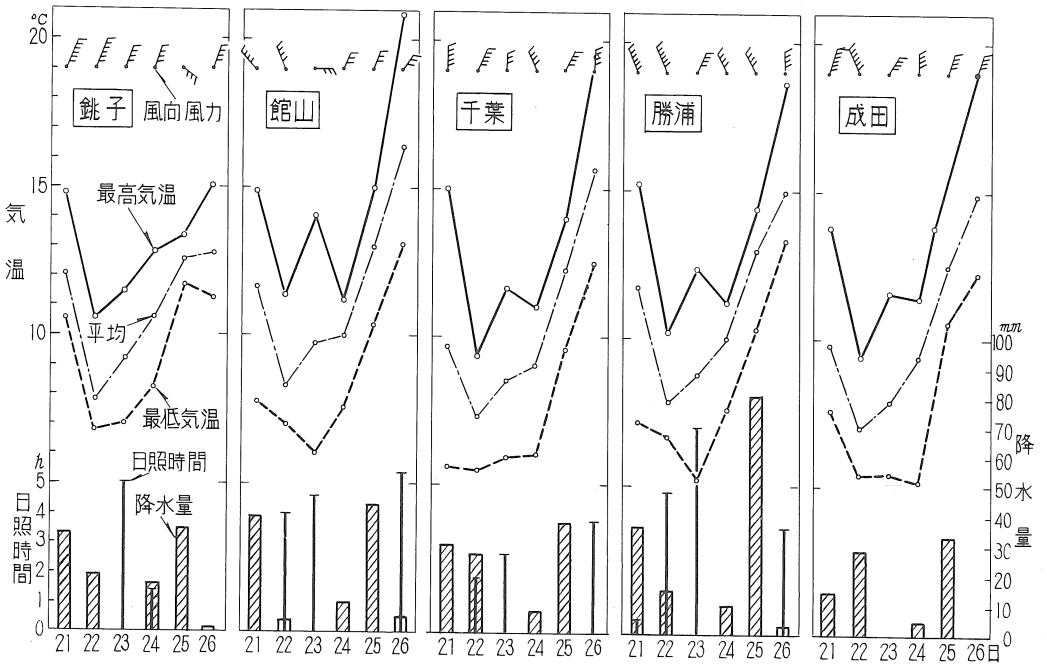
地上天気図



地上天気図



地上天気図



県内官署の気候図　　昭和50年4月21日～26日

5. 被　害

低温のため，木更津地方全域で，稲苗が冷害に侵され，枯死や衰弱の被害があった。水稲被害面積45ha

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，朝日新聞

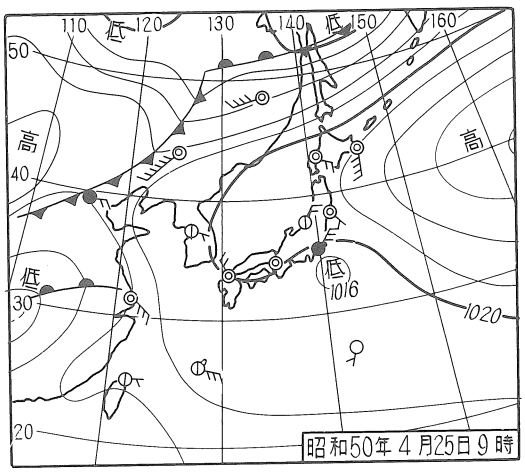
災害番号　88

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）4月24日～25日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

4月23日，北日本を通った高気圧が，東海上で強まり，ブロッキング高気圧となった。一方23日土佐沖に低気圧が発生し，南海上をノロノロと進んだ。このため，北高型の悪天が続き，24日～25日の2日間で，千葉県南部の丘陵地帯で80～120㎜の大雨が降った。

勝浦測候所極値表

種別	極値	起時分
最低気圧（海面）	1007.5 mb	25日16時00分
最大風速	NNW 7.8 m/s	25日05時40分
最大瞬間風速	NNE 14.3 m/s	25日15時50分
総降水量	92.5 ㎜	24日06時20分～26日08時30分
日降水量最大	80.5 ㎜	25日24時
24時間降水量の最大	82.5 ㎜	26日03時00分
1時間降水量の最大	10.5 ㎜	25日09時00分
10分間降水量の最大	3.0 ㎜	25日08時50分



地上天気図

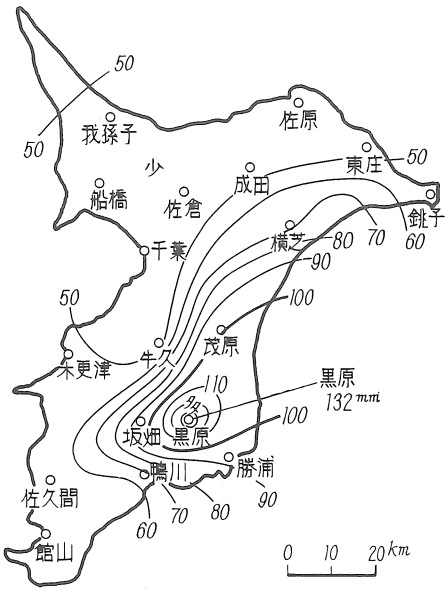
県内日降水量表(㎜)　昭和50年4月24日～25日

地名	日降水量	地名	日降水量
銚子	51	野田	34
八日市場	71	佐倉	38
成東	62	下総	42
片貝	66	佐原	37
一宮	98	笹川	40
勝浦	93	松戸	52
大多喜	112	茂原	97
久留里	57	清澄	117
正木	54	大金沢	66
鴨川	60	東金	53
千倉	52	君津	58
館山	53	黒原	132
富山	48	札郷	122
岩坂	55	峰上	64
牛久	46	香木原	87
千葉	43	成田	40
市川	34	東庄	38

5．被　害

がけ崩れ５ヶ所(勝浦市４，君津市１)道路損壊６ヶ所，床下浸水１戸（木更津市）

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部



県内降水量分布図(mm)
昭和50年4月24日9時～25日9時

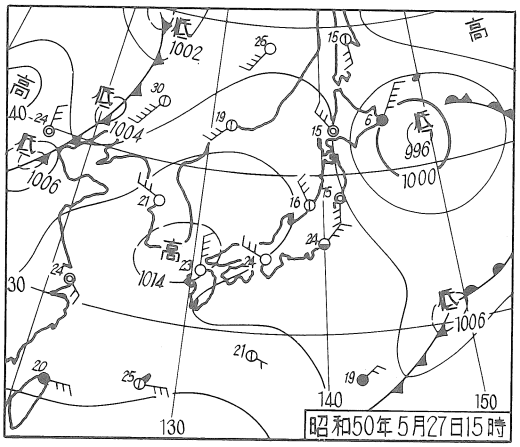
災害番号　89

1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭年50年（1975年）5月27日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

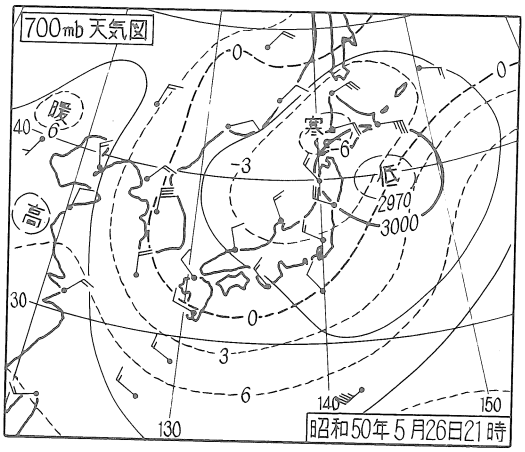
5月27日は日本付近は，九州の西に中心を持つ高気圧におおわれて，北海道方面を除いて良く晴れた。北海道東方の低気圧の動きが遅く，この低気圧の後面には上空にかなりの寒気（約5,500mで－21℃）が流れ込み，このとき700mb（上空約3,000m）の気温は，日本全体が氷点下となっていた。この寒気の影響で大気の状態は不安定となり関東地方では「雷三日」となった。レーダー図に示す通り，午後2時埼玉県東部にあった雷雲が1時間後の午後3時には，千葉県北西部に拡がり，更に東進し銚子方面を通過した。県内では午後2時35分頃，市原市の山間部から千葉，松戸，八街方面にかけて雷を伴ったひょうが降り，野菜類に被害を与えた。

雷雨による気象観測表　5月27日

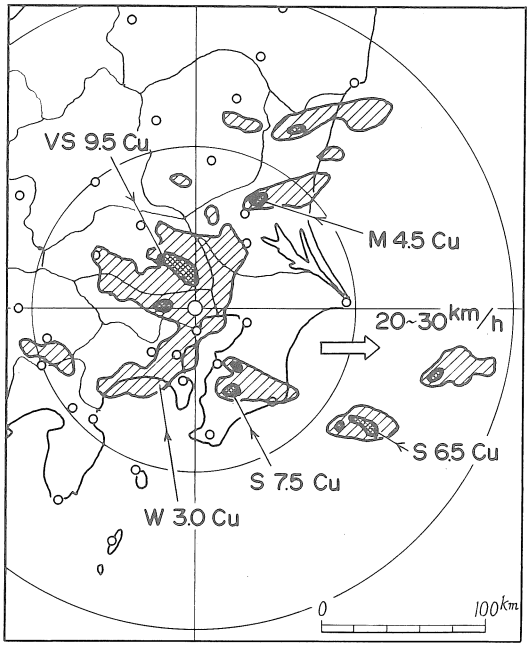
区分 / 観測地	降水量 mm	時刻記事	ひょうの大きさ	記事
銚子	2			
片貝	2			
牛久	5			
千葉	1	●14時00分－▲14時30分－●15時00－16時00分	親指大	市の東部地域(星久喜，小間野，千城台，松ケ丘，赤井，誉田)南北6㎞位
市川	4			
佐倉	7	▲14時45分頃	小豆大	内田の一部
野田	10			
佐原	6			
笹川	9			
松戸	14	●13時50分～16時00▲15分	親指大	約15分位
大金沢	16			
我孫子	27			
成田	7			
横芝	4			
八日市場	5			
市原	…	▲14時30分頃	直径8㎜	五井，市原(惣社)，養老，三和
鎌ケ谷	…	▲14時25分頃	大豆大，小豆大	中沢の一部，初富の一部



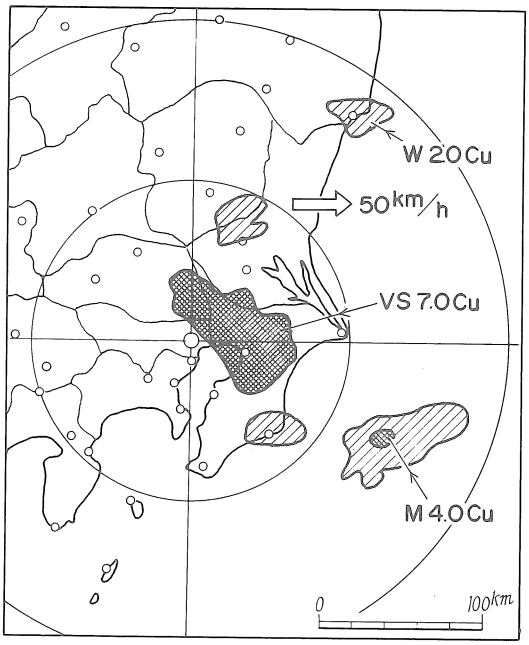
地　上　天　気　図



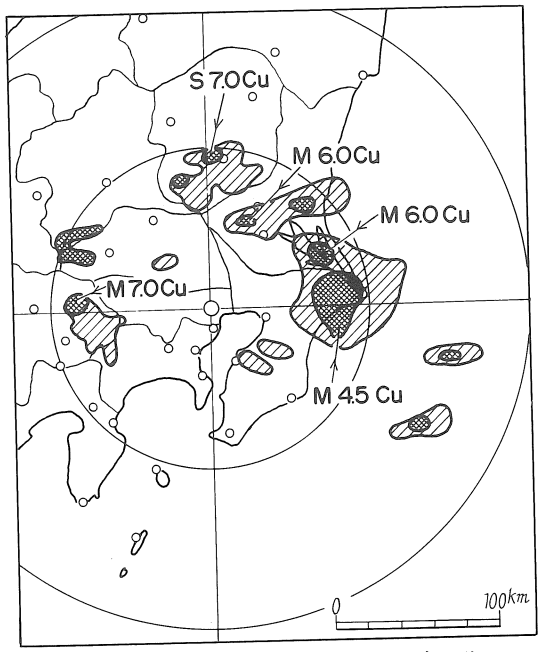
700mb高　層　天　気　図



東京レーダー　　5月27日　14時00分



東京レーダー　　5月27日　15時00分



東京レーダー　5月27日　16時00分

農作物被害表　　(千葉県農政課)

	被害面積		被害額	主な被害作物
	計 ha	≧30% ha	千円	
水陸稲	15.0		1,000	
麦類	0.9		24	
雑穀・芋・豆類	24.0		15,147	枝豆，ソラマメ
野菜	122.5		130,944	ナス，スイカ，ネギ キュウリ，トマト，ゴボウ
果樹	51.8		48,628	梨
合計	214.2		195,743	
農業用ビニールハウス破損 17,480 m² ¥1,398 千円の被害				

5. 被　害

千葉市を中心として，松戸市，鎌ヶ谷市，市川市，佐倉市，八街市で，すいか，梨，枝豆等，主に野菜類に被害を受け，被害総額は197,161千円となった。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図，県農政課

災害番号　90

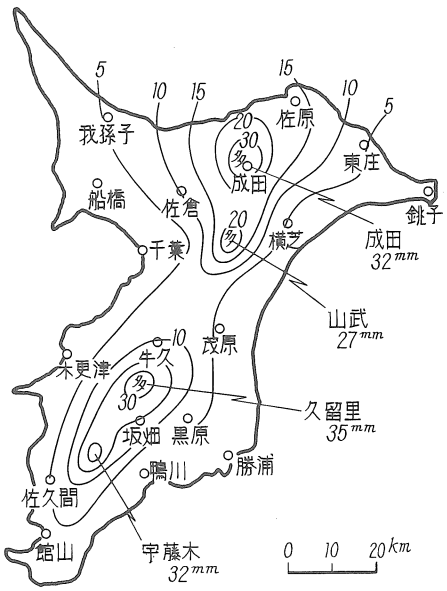
1. 災害の種類(名称)　ひょう・雷雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）6月3日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

3日日本付近は北海道のはるか東海上に中心を持つ高気圧におおわれていたが，上空に寒気が入り，不安定な気象状態にあった。広域の天気図には現われていないが，関東地方の天気図によると中部山岳地帯に地形性の低気圧が発生しており，レーダ図に示す通り関東地方には広範囲にわたって雷雲が拡がり，強い雷雲は1万m以上に達しており，千葉県北部の雷雨は1万2,000mとなっている。このため正午頃から午後3時頃にかけて，北総台地を中心にして，ひょうを伴う雷雨となり，佐原市等2市8町村で大豆大の降ひょうがあり，農作物にかなりの被害が出た。尚，千葉県では3日の早朝にも北部に雷雨があった。

県内降水量表　（3日9時～4日9時）

地名	降水量	地名	降水量
銚子	1	千葉	0
八日市場	3	野田	1
成東	6	佐倉	4
片貝	2	下総	18
一宮	4	佐原	9
勝浦	0	笹川	2
大多喜	16	松戸	1
久留里	35	東庄	5
鴨川	1	我孫子	8
千倉	2	多古*	9
館山	4	山武*	27
富山	2	宇藤木*	32
岩坂	1	市野々*	16
牛久	18	香木原*	8

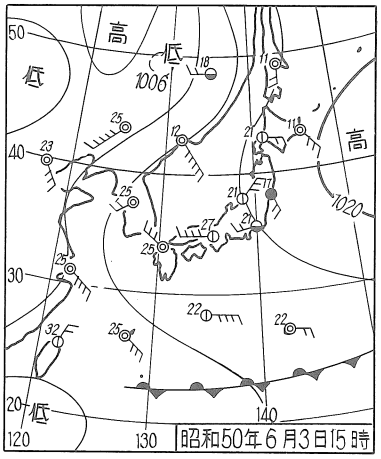
注）＊ 千葉県水防テレメーター観測所



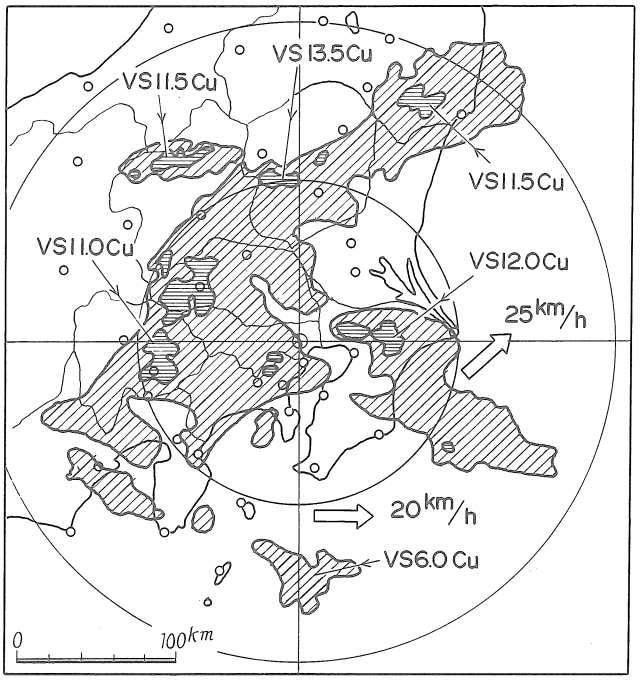
県内降水量分布図(mm)
昭和50年6月3日9時～4日9時

5. 被害

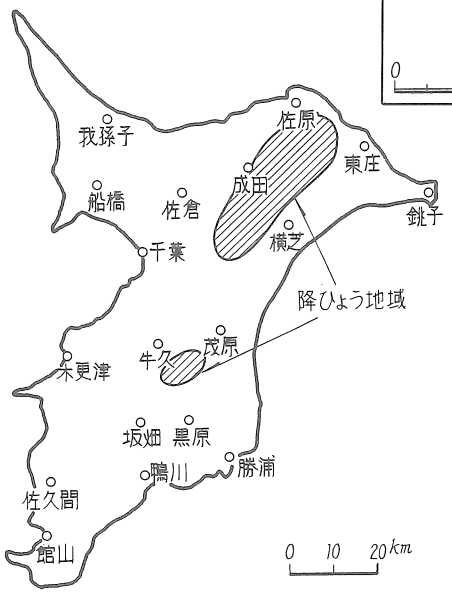
被害の出た市町村は，佐原市，成田市，多古町，小見川町，大栄町，栗源町，芝山町，山武町，長南町，富里村で，被害額は716,256千円に達し，7月8日国から激甚災害の指定を受けた。尚，降ひょうの他に，大雨によるがけ崩れ，落雷による停電事故も発生した。



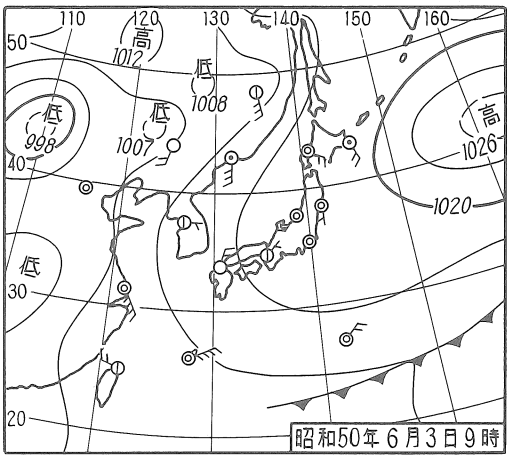
地 上 天 気 図



東京レーダーエコー図　　50年6月3日14時



県内降ひょう地域図



地 上 天 気 図

(1)　6月3日　ひょう害による市町別一覧表　　昭和50年6月30日現在

市町村名	被害金額	市町村名	被害金額
多古町	254,788千円	栗源町	61,405千円
大栄町	207,927	富里村	8,817
小見川町	168,499	成田市	5,441
佐原市	123,711	山武町	4,542
芝山町	83,473	長南町	597
合計金額	919,210		

(2) 降ひょう状況

市町村名	被害地名	ひょうの大きさ，降ひょう時刻
多古町	大穴五科地，登戸，鍬田，五辻，大門，桧木出沼，十余三一町の北部	13時15分頃から10分～20分間親指大
栗源町	高萩，助沢，荒北，沢岩部	雷雨中約10分～20分小豆大～親指大
小見川町	上里，油田，東谷，織幡，上小堀	雷雨中２～４cm大のひょう，地上に５～７cm積もる。強雨による「がけ崩」３
佐原市	下小野，九美上，多田，北台，福岡，本西，中郷，大矢作，一山，市の南部から東部にかけて	14時00分～14時20分に大豆大～そら豆大
大栄町	十余三，前林，臼作，横山松子など中央部以南	14時10分～14時20分に大豆大～うずら卵大
芝山町	大里，菱田，香山新田等町の北部	13時30分頃から約15分間位10円銅貨大のひょう
富里村	根木名，大輪，七栄，根木名新田など村の北部	15時前後約５～10分大豆大のひょう
山武町	板川，麻生新田，町の北東及び南東の小地域	13時50分頃から約10分間小豆大のひょう
成田市	空港周辺の遠山部落	13時40分～15時05分の雷雨中13時50分から約10分間大豆大のひょう
長南町	蔵持，長南深沢，笠森等町の北西部	12時15分から約15分間大豆大

農作物被害表

（６月３日ひょう害）　　千葉県

	被害面積		被害減収量	被害額	おもな被害作物名
	計 (ha)	うち30%以上(ha)	(t)	(千円)	
水陸稲	3.2			24,422	
麦類	434.5			36,111	
雑穀，芋，豆類	1,722.1			345,532	さつま芋，落花生，馬鈴薯
野菜	245.0			145,688	スイカ，ゴボウ，ラッキョウ，ウリ，ヤマイモ
果樹	52.5			92,296	梨，ミカン
工芸作物	210.2			185,478	タバコ，植木
飼料用作物					
花弁					
桑	3.5			9,987	
茶					
その他	54.5			71,896	
ビニールハウス	2.0			7,800	
合計	2,727.5			919,210	
備考					
集計期間・資料入手先	千葉県農林部農政課				

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象原簿，異常気象報告，印刷天気図，県農林部調

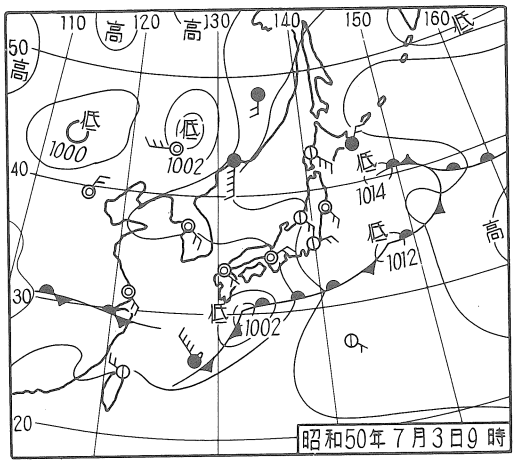
災害番号　91

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭年50年（1975年）7月4日
3. 災害原因　梅雨前線
4. 気象概況

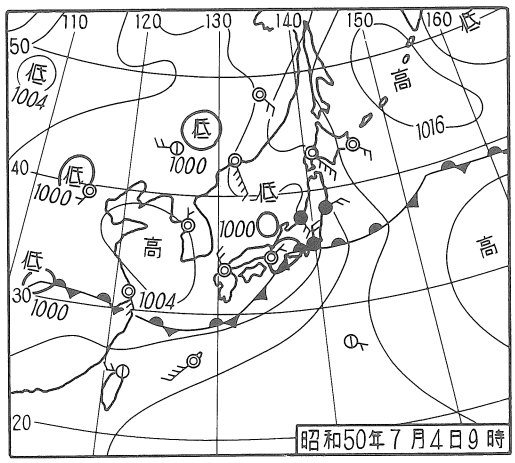
7月4日，本州南岸の梅雨前線上の紀伊半島付近に低気圧が進んできた。850mb天気図(上空約1,500m）の天気図によると東日本から西日本の上空には湿った暖かい空気（湿舌）が流れ込んでいる。このため梅雨前線が活発となり、東日本を中心に所々大雨となった。千葉県内でも、4日午前5時過ぎから8時頃にかけ，東葛地方及び木更津市付近にかけて大雨となり，午前9時までに松戸76㎜，市川73㎜，木更津67㎜の降水量を記録した。その後，各地共一旦雨は弱まったが，正午過ぎから午後2時頃にかけて再び活発となり、1時間当り20～30㎜の大雨が降った。降水量は県西部から東京湾沿いで多く被害をもたらした。

気象官署降水量極値表(㎜)　7月3日～4日

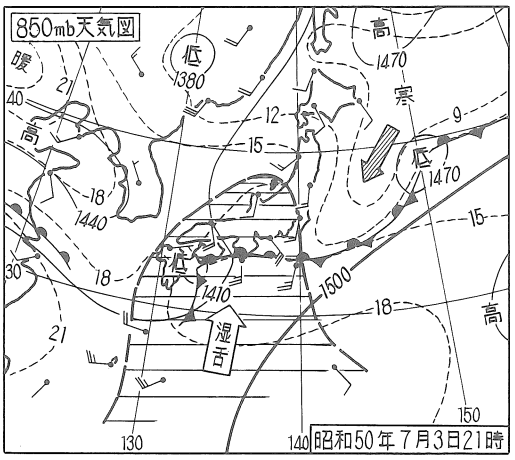
区分 / 官署	10分間最大 降水 ㎜	10分間最大 起時 日時分	1時間最大 降水 ㎜	1時間最大 起時 日時分	日降水量 降水 ㎜	日降水量 起時 日時分	総降水量 降水 ㎜	総降水量 起時 日時
銚子	7.5	4. 13. 28	27.5	4. 13. 55	50.0	4. 24. 00	50.0	3. 22～4. 24
館山	5.5	4. 13. 20	23.0	4. 13. 30	59.0	4. 24. 00	61.0	3. 20～4. 24
千葉	4.5	4. 12. 20	21.0	4. 13. 00	99.0	4. 24. 00	104.0	3. 21～4. 24
勝浦	10.5	4. 13. 55	21.5	4. 14. 00	53.5	4. 24. 00	46.0	3. 20～4. 24



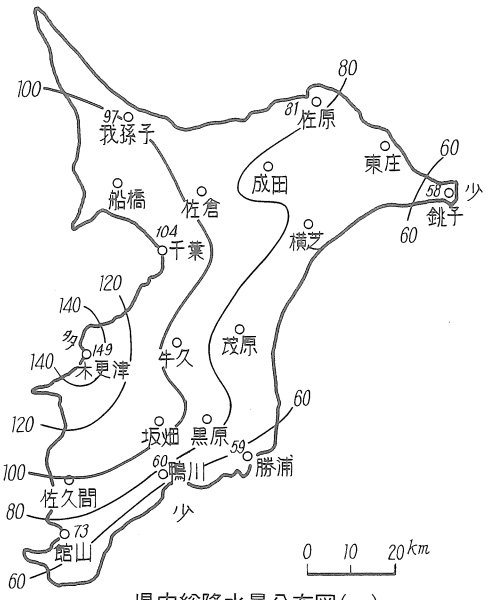
地上天気図



地上天気図

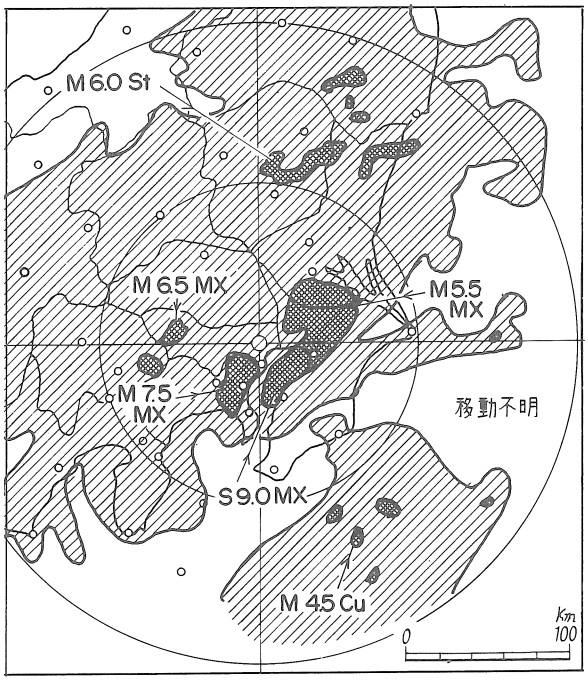


上層天気図による寒気・湿舌流入図

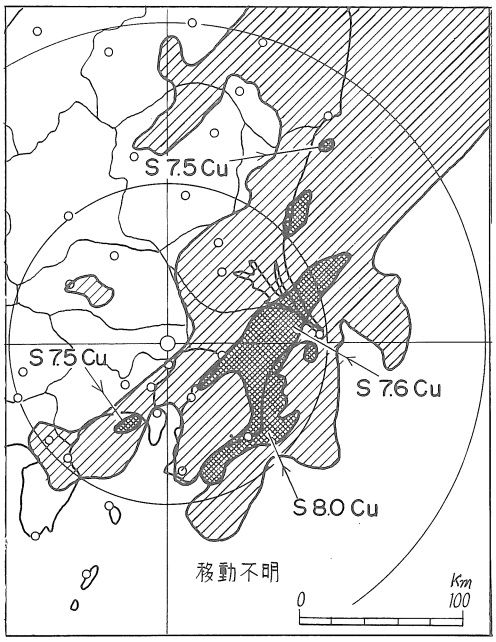


県内総降水量分布図(mm)

昭和50年7月3日9時～5日9時



東京レーダーエコー図　7月4日　06時00分



東京レーダーエコー図　7月4日　13時00分

5. 被　害

床上浸水11戸，床下浸水89戸，道路損壊20ヶ所，山（がけ）崩れ15ヶ所

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部

災害番号　92

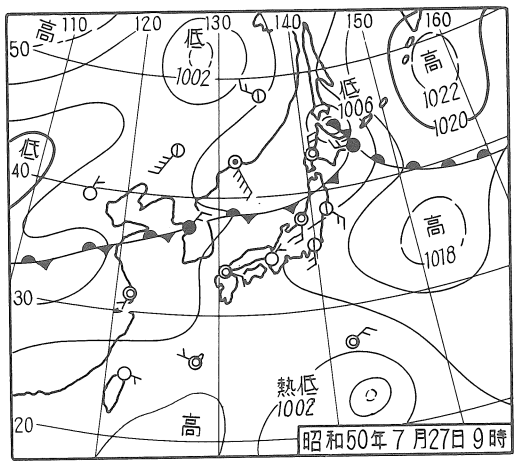
1. 災害の種類(名称)　大雨・雷雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）7月27日
3. 災害原因　不安定線
4. 気象概況

26日，日本海にあった低気圧が，北海道付近に進み，前線が東北地方北部を横切って朝鮮半島から華中に達している。この前線上の青森県の西岸を中心に前線豪雨となり五能線が不通となり，床上浸水560戸に達した。一方前線の南側に入った東北地方南部から西日本にかけては，太平洋の高気圧におおわれて晴れ上り，30℃を越える真夏日となった。しかし，暑さのため，熱雷が発生し，佐原市から千葉市付近に至る巾狭い地域で雷雨となり，局地的に大雨となった。特に佐原市では正午頃から午後2時の2時間に112㎜（総雨量128㎜）という集中豪雨に見舞われ，同地域のかなりの被害が発生した。なお，雷雨による雨量は千葉市内で13㎜のほかは少なく，極く局地的な現象で，ほかの地域ではほぼ一日中暑い晴天であった。

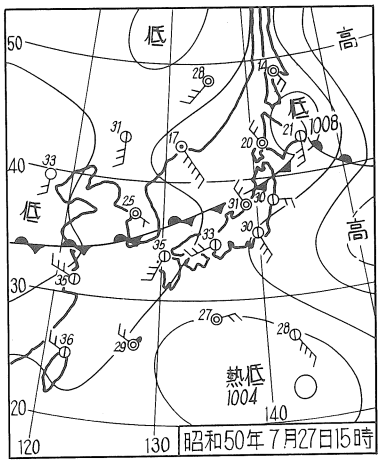
各観測所の降水量表(mm)　昭和50年7月27日

観測所名	12時	13時	14時	15時	16時	総降水量	記事
佐原	9.0	65.0	47.0	4.0	3.0	128	●11.40～16.00
佐倉	－	2.0	－	－	－	2	●11.10～14.30
千葉	0.0	9.5	0.5	2.5	－	13	

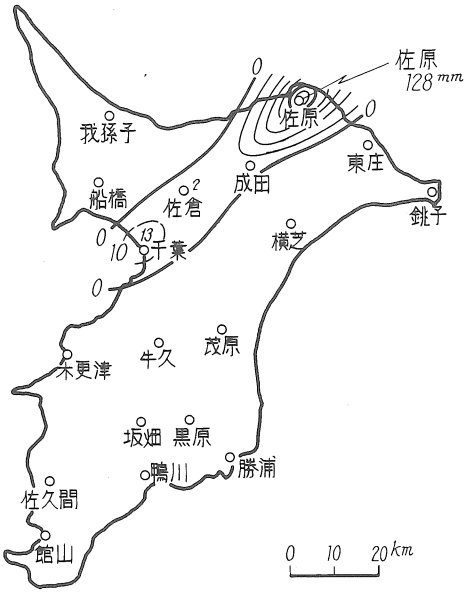
※　他の観測所では全く降水現象なし



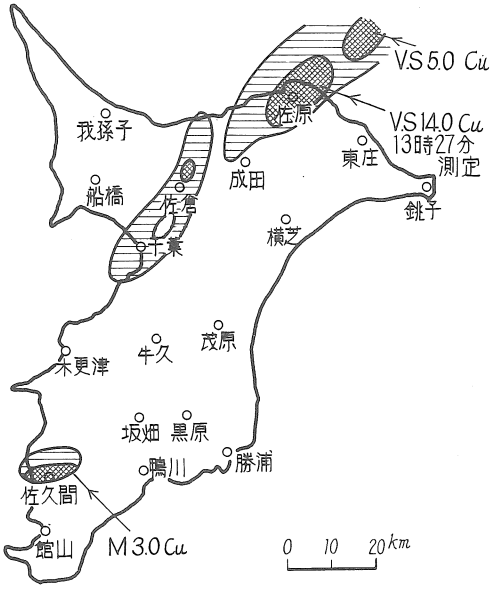
地上天気図



地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和50年 7 月27日



東京レーダースケッチ図
昭和50年 7 月27日13時00分

5. 被　害

床上浸水 2 戸，床下浸水200戸，山（がけ）崩れ 2 ヶ所，小学校木造校舎半壊 1 棟

佐原市津宮で信号用高圧線トランスに落雷した(17時10分～20時00分)。また、佐原～香取間の線路が約100m 冠水し、約 3 時間にわたり運転を中止した。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」

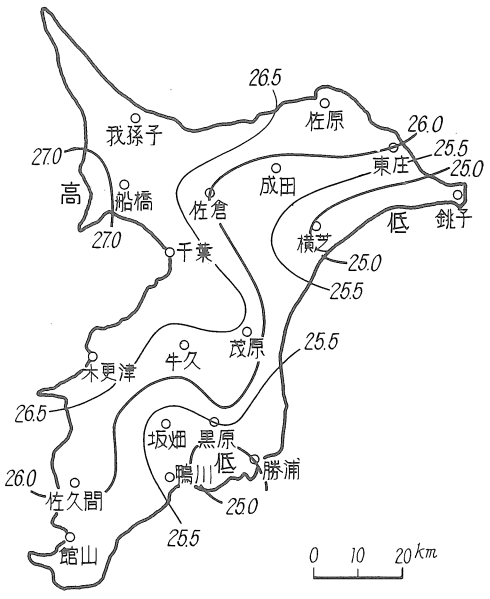
災害番号　93

1. 災害の種類(名称)　少雨・低温
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）８月
3. 災害原因　寒冷高気圧
4. 気象概況

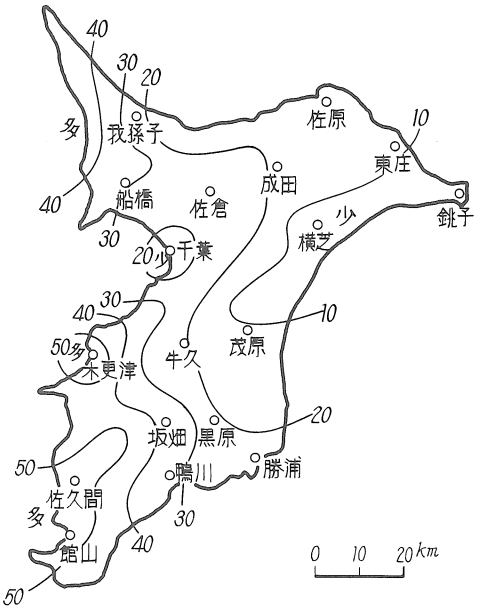
50年８月は，上旬前半と中旬後半は太平洋高気圧におおわれ，夏型の晴天が続いたが，８月６日から14日にかけては，大陸育ちの乾燥した寒冷高気圧におおわれた日が多かったため，月平均気温は１～３℃低く経過した。また，８月24日～29日にかけても夏型がくずれ，大陸の移動性高気圧におおわれたため，日平均気温は0.5～0.2℃低い晴天が続いた。

銚子における８月の不照日数は平年の３日に対し０日，また，雲量2.5未満の日数も平年の４日に対して９日を記録した。

県内の降水量は，平年と比較して全般に80～150㎜も少なく，特に南部丘陵地帯では，平年より120～150㎜と非常に少なかった。銚子における月降水量の最少順位は，昭和25年以来の第１位を，また，月間日照時間の最大順位は，明治33年以降第４位を記録した。勝浦では，日最低気温の月平均値は21.2℃（平年22.9℃）となり，殊に下旬の最低気温は19.6℃であった。この月平均値の最低順位は大正５年以来の第１位の記録となった。



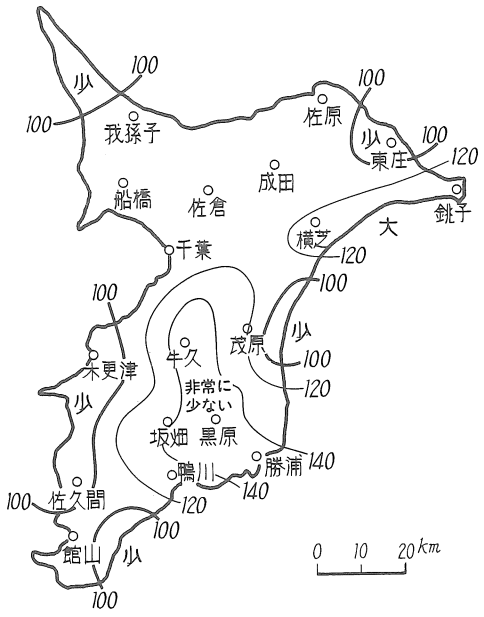
県内月平均気温分布図(℃)
昭和50年８月



県内降水量分布図(㎜)
昭和50年８月

5. 被　害　——

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告



県内降水量と平年値との比較図(－)(mm)

災害番号　94

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）8月23日
3. 災害原因　台風6号
4. 気象概況

8月19日，沖縄近海で発生した台風が北上を続け，23日午前1時30分頃，蒲生田崎に上陸した。その後5時30分頃，神戸の西に再上陸し，一旦日本海に出てから北東に進路を変え，東北地方を通って北海道の南で温帯低気圧となった。この台風の影響で県内では雨まじりの南よりの風が強まり，平均風速は10～17m/s に達したが降水量としては少なかった。

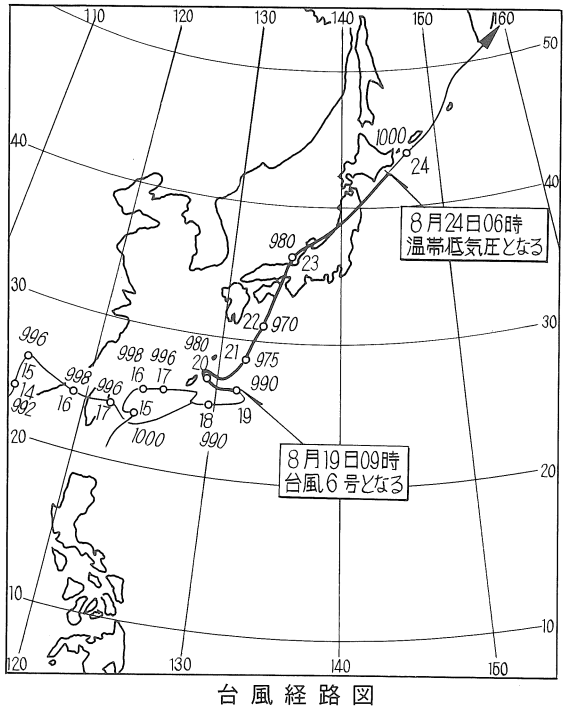
県内官署の観測表　昭和50年8月

観測所 / 要素	千葉 値	千葉 起時 日時分	銚子 値	銚子 起時 日時分	勝浦 値	勝浦 起時 日時分	館山 値	館山 起時 日時分
最低海面気圧	997.8 mb	23.16.10	999.6 mb	23.17.40	1000.5 mb	23.15.30	1000.0 mb	23.15.00
最大風速	S 18.5 m/s	23.17.10	SSW15.8 m/s	23.17.40	S 12.6 m/s	23.15.50	S 10.8 m/s	23.12.00
最大瞬間風速	S 28.0	23.16.40	SSW24.3	23.17.35	SSW20.4	23.14.30	S 20.5	23.13.50
総降水量	5.5 mm	23.00.00 23.17.40	0.0 mm	23.00.50 23.17.20	5.5 mm	22.23.10 23.18.40	6.0 mm	23.02.50 19.19.40
月降水量の最大	5.5	23.24.00	0.0	23.24.00	5.5	23.18.40	6.0	23.02.50 23.19.40
24時間降水量最大	5.5	23.17.00	0.0	23.24.00	5.5	23.18.40	6.0	23.12.00
1時間降水量最大	4.0	23.16.00	0.0	−	4.5	23.14.20	3.0	23.12.00
10分間降水量最大	2.5	23.15.30	0.0	−	3.5	23.13.30	1.5	23.15.20

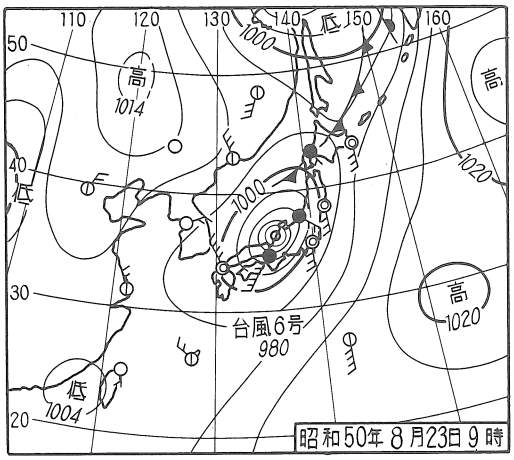
県内降水量(mm)　8月22日9時～24日9時

観測地	降水量mm	観測地	降水量mm
銚子	0	茂原	5
千葉	6	成田	1
八日市場	2	横芝	1
成東	1	黒原	7
一宮	3	佐久間	7
勝浦	6	大金沢	3
大多喜	5	我孫子	0
久留里	7	野田	−
鴨川	0	土気＊	4
館山	6	市野々＊	9
君津	12	鹿野山＊	9
木更津	10	香木原＊	15
牛久	5	市川＊	3
下総	2	月出＊	12
佐倉	2	宇藤木＊	11
佐原	1	清澄	3
松戸	−		

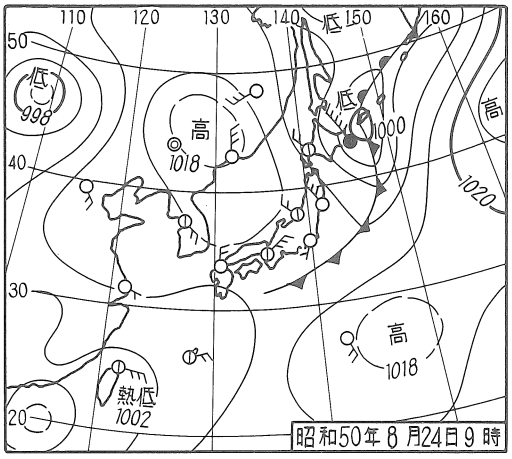
＊印は千葉県テレメーターによる



台風経路図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　　害

家屋半壊２戸，一部破損３戸，床上浸水25戸，床下浸水30戸，非住家被害4戸，道路損壊2ヶ所，道路冠水3ヶ所，鉄軌道被害２ヶ所，罹災世帯数34戸，罹災者概数116名。

また，午後６時過ぎ，強風と満潮時が重なったため，千葉市寒川と長州・神明町の都川沿岸と，防潮堤を築いていない寒川大橋から出洲港旧合同庁舎付近一帯で道路が冠水した。

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，台風経路図，印刷天気図
県警察本部

災害番号　95

1. 災害の種類(名称)　干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）7月15日～9月21日
3. 災害原因　少雨
4. 気象概況

千葉県地方は、7月16日のつゆ明け以来8月上旬末から中旬にかけてと，同下旬半ば頃を除いて夏型の安定した気象状態がつづき，雷雨の発生も少なく，かつ降水量も極めて少なかった。

また，9月に入って局地的に雷雨があったものの高温少雨で21日まで継続した。

□県下の降水状況

7月：15日から月末まで東葛地方，佐原付近の雷雨（21日・27日）を除いて殆んど降水がなかったが，月降水量は南房州の山間部を除いて平年並か多目であった。

8月：6日～7日（前線），15日～17日（台風第5号），22日～23日（台風6号）の降雨があったが他の日は晴天が続いた。8月の降水量は県内全域平年の10～30％と極めて少なかった。特に銚子地方から九十九里沿岸，茂原付近の内陸部は平年の10％前後，北総台地は10～15％と記録的に少なかった。

9月：22日まで晴天が続き，気温は平年よりかなり高目に経過して，降水量も少なく，特に勝浦・館山等県南部地域は8月末～9月中旬にかけてほとんど降水がなく，水不足の被害も出るにいたった。しかし8日夜，銚子付近を主とした北総地域に20～40㎜の雷雨があった。18日夜も銚子，多古・横芝・山武地域に20～40㎜の雷雨があり，東北部地域の水不足は次第に解消してきた。20日までの降水量は県北部20～40㎜(銚子付近60～70㎜）県南部10㎜以下。

□気温の状況（7月～9月20日）

7月：県下全域とともにほぼ平年並かやや低目。

8月：千葉市付近から東京よりの地域がやや高目，その他の地域は並か，やや低目。

9月：9月10日を除いて平年より高目に経過し，特に13日以降日平均気温で平年より1.5～3.0℃高く経過した。

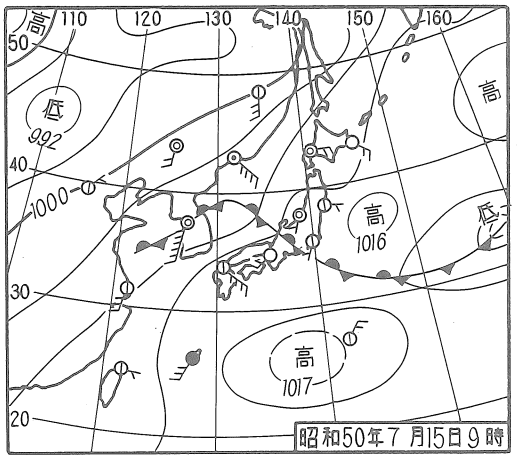
□記　録

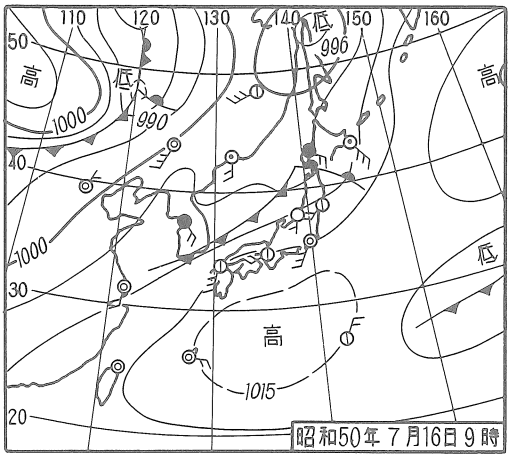
少雨：銚子における8月の月降水量は7.5㎜で少雨としては気象台創立以来第1位の記録を更新した（統計1887～1975年）。

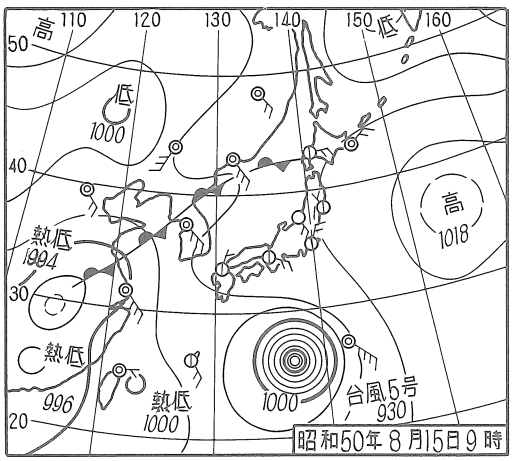
無降水継続日数

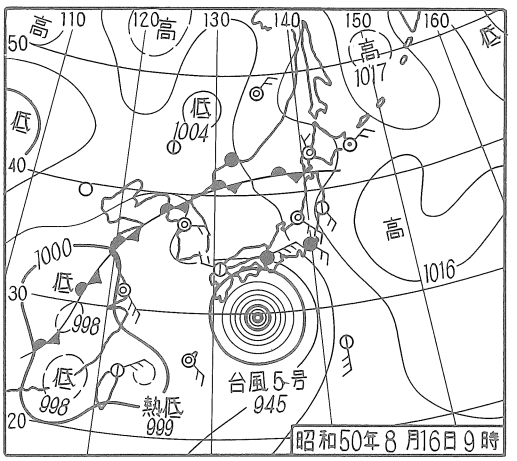
勝浦　30日（８月24日～９月22日）開設以来第１位（1899～1975年）

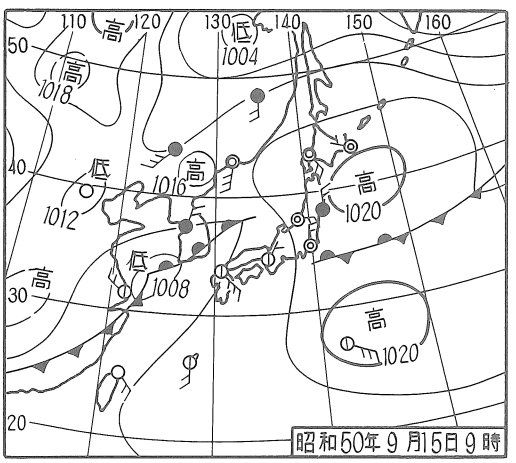
銚子　17日（８月18日～９月３日）８月としては第13位（1887～1975年）



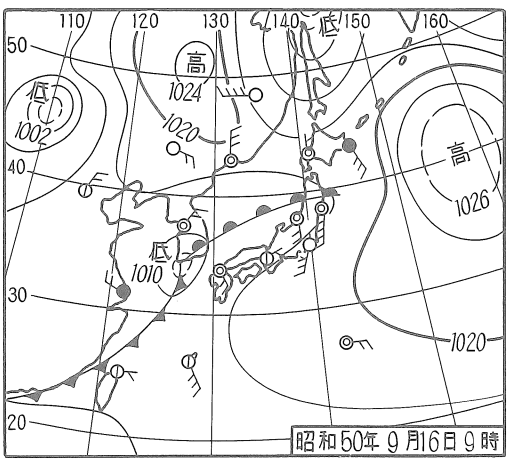








地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5. 被　害

この少雨は月内各地，特に畑作の多い北総地帯では，記録的で農作物（畑作物）に大きな被害を出した。

被害は農作物の減産額61億円とされたが，その後被害が増加して116億円と発表された。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，
千葉県農林部

災害番号　96

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）10月5日
3. 災害原因　台風13号
4. 気象概況

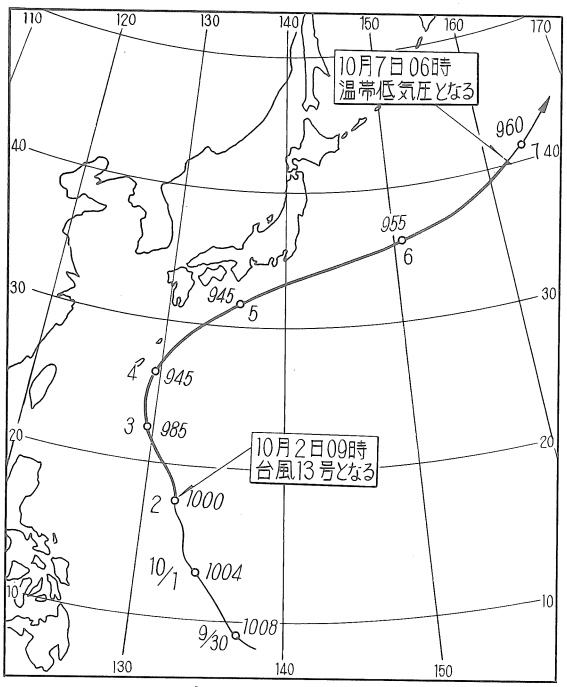
10月2日，ルソン島東方で発生した台風13号が北上し，4日沖縄近海で向きを北東から東北東にとり，5日は本州南岸沖200～300kmの海上を時速35～60kmと加速して夜半に房総沖へ去った。台風の中心の通った八丈島では午後4時30分頃最大瞬間風速67.8m/sを記録した。千葉県では，5日正午頃から雨が降り出し，午後3時～9時にかけて北～北東の風と雨が一時強まった。風は沿岸部で強く10～15m/sに達したが，内陸部では比較的弱かった。一方，北日本を通った低気圧に伴う寒冷前線が午後3時頃，県の西から東に通過したこともあって，

県内官署の極値表　10月5日

要素＼観測地	銚子		千葉		館山		勝浦		成田	
	値	起時	値	起時	値	起時	値	起時	値	起時
最低海面気圧	1000.1mb	5.20.40	1000.1mb	5. 19. 40	996.7mb	5. 19. 20	997.2mb	5. 19. 50	1000.1mb	5. 20.04
最大風速	NNE15.2m/s	5. 20. 30	N 10.6m/s	5. 16. 50	N 10.9m/s	5. 17. 00	N 9.8m/s	5. 20. 00	NNE12.3m/s	5. 20. 10
最大瞬間風速	NNE27.5m/s	5. 19. 40	NNE18.8m/s	5. 19. 40	N 19.7m/s	5. 16. 50	N 26.4m/s	5. 19. 00	NNE15.9m/s	5. 19. 00
総降水量	46.5mm	5. 01. 30 5. 20. 50	109.0mm	5. 00. 50 5. 22.	33.0mm	5. 01. 00 5. 19. 50	54.5mm	5. 01. 40 5. 19. 50	71.0mm	—
日降水量	46.5mm	5. 24	109.0mm	5. 22.	33.0mm	5. 24	54.5mm	5. 24	71.0mm	5. 24
1時間降水量の最大	17.5mm	5. 17. 10	71.0mm	5. 17. 00	16.0mm	5. 17. 40	34.0mm	5. 18. 50	37.0mm	5. 17. 00
10分間降水量の最大	9.0mm	5. 16. 25	17.5mm	5. 16. 10	3.5mm	5. 17. 10	14.0mm	5. 18. 10	9.0mm	5. 16. 20

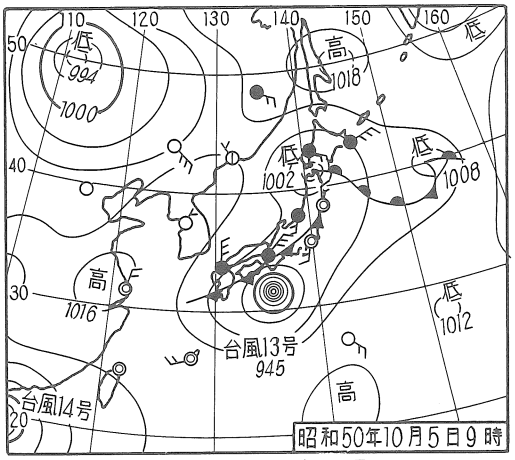
県内降水量表(mm)　10月5日

観測所	降水量mm	観測所	降水量mm
野田	74	久留里	90
佐倉	77	正木	70
下総	80	鴨川	22
佐原	86	千倉	42
香木原	57	富山	38
笹川	60	岩坂	74
松戸	74	牛久	89
茂原	50	我孫子	65
清澄	41	東庄	70
大金沢	120	成田	71
東金	74	横芝	73
君津	93	木更津	107
八日市場	61	黒原	45
成東	71	佐久間	78
片貝	66	札郷	53
一宮	60	峰上	69
大多喜	49		

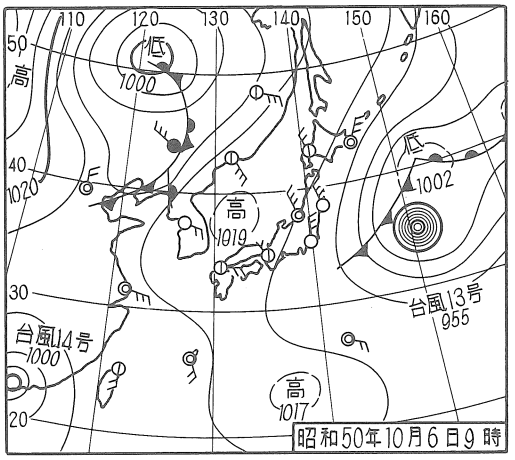


台風経路図

北総地域から千葉市を中心とした東京湾沿岸地域で降水量が多くなり80～100㎜に達したが，太平洋沿岸部では40～60㎜であった。なお，寒冷前線の通過の際，所々雷を伴い，千葉市では午後４時から５時にかけての１時間に71.0㎜の降水量を記録し，同測候所開設（1966年）以来の強い雨であった。



地　上　天　気　図



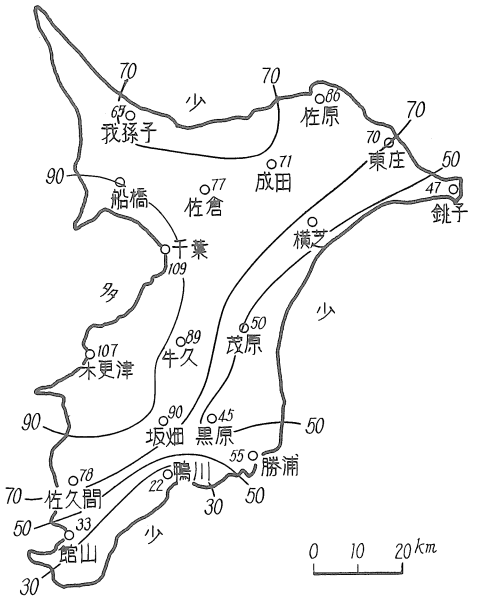
地　上　天　気　図

5．被　害

市川市では釣人に落雷し，１名が即死した。家屋半壊２戸，床上浸水181戸，床下浸水400戸，道路損壊31ヶ所，がけ崩れ４ヶ所，鉄軌道被害６ヶ所，罹災世帯数183戸，罹災者概数59名

6．資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，台風経路図，印刷天気図，雑誌「気象」



県内総降水量分布図(㎜)
昭和50年10月５日

災害番号　97

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭年50年（1975年）10月8日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

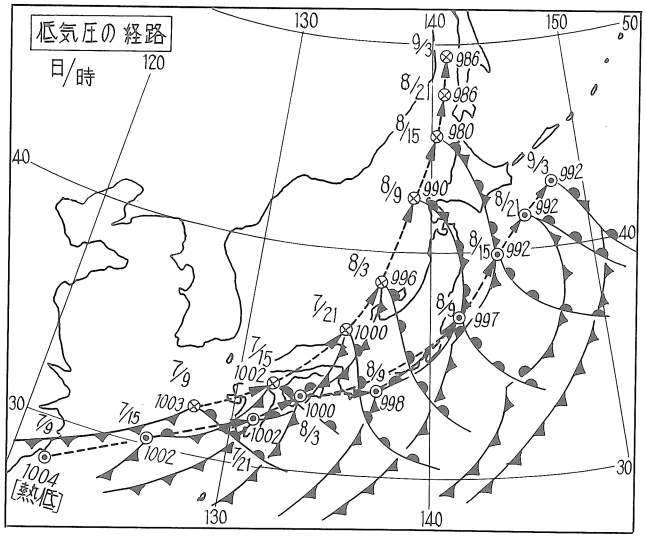
7日，九州の西にあった低気圧が西日本を通り，日本海を北上と共に発達した。一方別の低気圧が本州南岸をやはり発達しながら東北東に進み，房総沖にでてから北上した。この低気圧は南シナ海から香港付近に上陸した台風14号の弱まったものであったが全国的に大荒れとなった。静岡県，神奈川県には8日未明大雨警報が出され，浜松の降水量は336㎜に達した。静岡県西部では，1万戸が浸水し，下田では3名が生埋めとなった。

県内官署の極値表　10月7日～8日

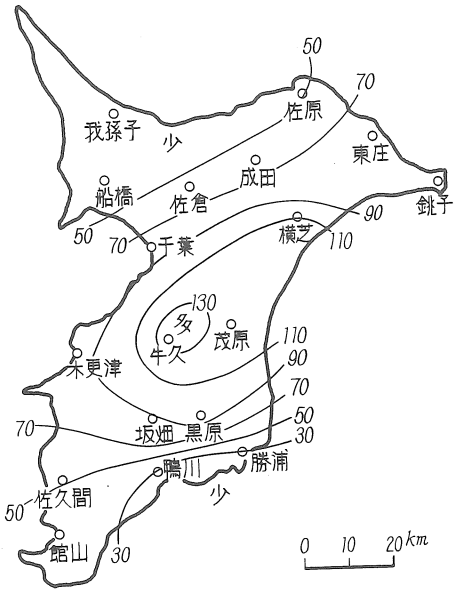
区分＼観測地	銚子		千葉		館山		勝浦	
	値	起時	値	起時	値	起時	値	起時
最低海面気圧	995.4mb	8. 13. 00	996.6mb	8. 14. 00	995.8mb	8. 12. 50	996.2mb	8. 12. 50
最大風速	S 16.5m/s	8. 07. 40	SSW14.0m/s	8. 09. 30	SSW10.0m/s	8. 06. 40	S 14.6m/s	8. 07. 10
最大瞬間風速	S 26.9m/s	8. 04. 40	S 20.2m/s	8. 08. 50	S 18.7m/s	8. 03. 40	S 25.0m/s	8. 06. 50
総降水量	77.0㎜	7. 19. 20 8. 15. 40	69.5㎜	8. 00. 00 8. 15. 40	31.0㎜	7. 23. 40 8. 12. 50	30.5㎜	7. 21. 30 8. 16. 25
日降水量の最大	77.0㎜	8. 15. 40	69.5㎜	8. 00. 00 8. 15. 40	29.0㎜	8. 13. 00	30.5㎜	8. 00. 00
1時間降水量最大	34.5㎜	8. 13. 10	25.5㎜	8. 10. 40	11.0㎜	8. 04. 10	10.0㎜	8. 05. 00
10分間降水量最大	11.0㎜	8. 13. 10	8.0㎜	8. 10. 10	3.5㎜	8. 04. 00	4.5㎜	8. 04. 25

県内降水量表(㎜)　10月8日

観測地	降水量㎜	観測地	降水量㎜
八日市場	74	香木原	77
成東	114	千倉	36
片貝	92	富山	42
一宮	79	岩坂	164
清澄	59	牛久	131
大金沢	75	成田	52
東金	109	横芝	111
峰上	65	木更津	84
大多喜	86	野田	34
久留里	98	下総	46
正木	77	笹川	57
鴨川	29	松戸	40
君津	101	黒原	82
我孫子	33	佐久間	51
東庄	77	札郷	95

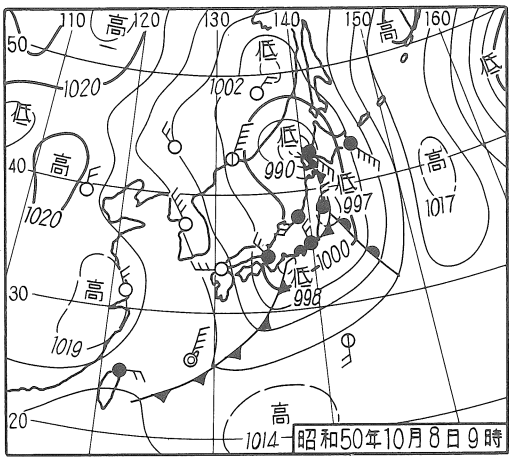


低気圧と前線の経路図



県内総降水量分布図(mm)

昭和50年10月 8 日



地 上 天 気 図

5. 被　　害

負傷者 1 名，床上浸水13戸，床下浸水56戸，道路冠水 9 ヶ所，山がけ崩れ 6 ヶ所，船舶小破 8 隻，県内鉄道運休45本，一時不通

6. 資　　料　千葉県気象年報，印刷天気図，速報天気図，県警察本部，千葉鉄道管理局，雑誌「気象」

災害番号　98

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）11月5日～7日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

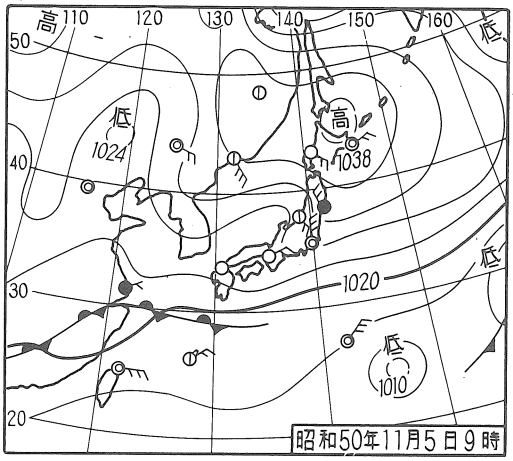
5日から6日にかけては，高気圧の北偏により，北東気流型となって雨となった。一方，東シナ海に横たわっていた前線上に，6日は低気圧が発生した。この低気圧は急速に発達し，能登半島付近を通って北海道方面に去った。千葉県では5日，6日は北東気流による大雨となり，また，7日は低気圧や前線による集中豪雨となり，低気圧に吹き込んだ南よりの風も強まった。

勝浦測候所極値表

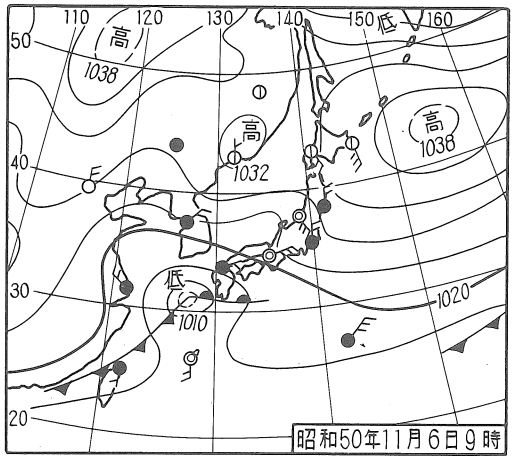
区　分	観測値	日時分
最低海面気圧 mb	1,003.3	7. 19.50
日最大風速風向 m/s	SW11.1	7. 10.50
最大瞬間風速 m/s	SSE 21.8	7. 10.00
総降水量 mm	177.0	5. 04. 00～7. 12. 10
日降水量の最大mm	72.5	6. 24 .00
24時間降水量最大mm	103.0	7. 12 .
1時間降水量の最大mm	48.0	7. 11 . 30
10分間降水量の最大mm	24.0	7. 11 . 00

銚子地方気象台極値表

区　分	観測値	日時分
最低海面気圧 mb	1,002.2	7. 19.10
日最大風向風速 m/s	SSW15.8	7. 11.00
最大瞬間風速 m/s	SSW25.7	7. 11.00
総降水量 mm	66.0	5. 03.30～7. 13.40
日降水量の最大 mm	46.5	6. 02.40～6. 23.40
24時間降水量最大mm	46.5	6. 02.40～6. 23.40
1時間降水量の最大mm	20.5	6. 02.00～6. 07.20
10分間降水量の最大mm	5.5	6. 06.40～6. 06.50



地上天気図

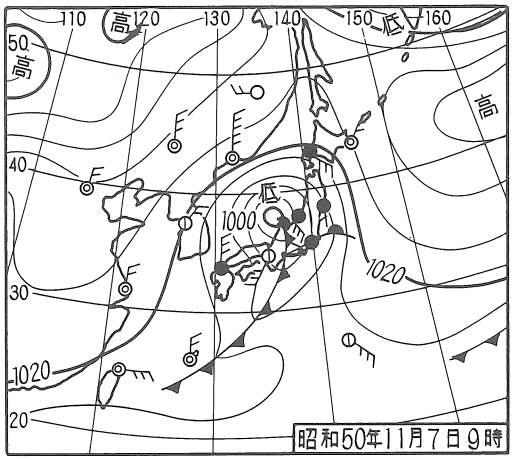


地上天気図

5．被　害

床下浸水46戸，耕地埋設0.6ha，
道路損壊２ヶ所，がけ崩れ７ヶ所

6．資　料　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図

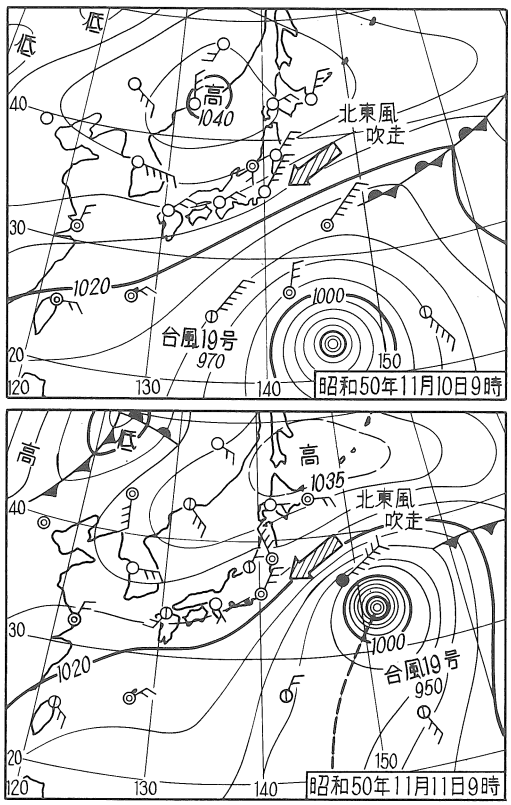


地　上　天　気　図

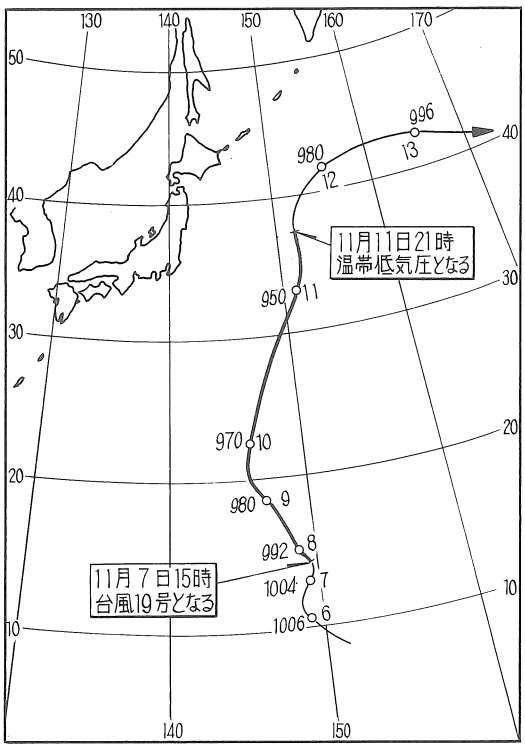
災害番号　99

1. 災害の種類(名称)　高潮
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）11月12日
3. 災害原因　台風19号
4. 気象概況

11月10日～13日にかけて，東西に広がる大きな移動性高気圧が北海道方面を通った。一方，日本の南海上に台風19号が北上した。気圧配置は北高型となり台風と相まって，日本の東海上では等圧線がほぼ東西に走り混み合った。これらの影響で銚子では10m/s以上の北北東の風が9日午後9時から11日午後11時までの51時間も続いた。日本の東海上では北東風の吹走時間が長く，大荒れが続き12日，九十九里海岸一帯に10m近い高波が押寄せ，昼頃の満潮時に各河川の水位は平常満潮時の水位を1m以上越えたところもあった。



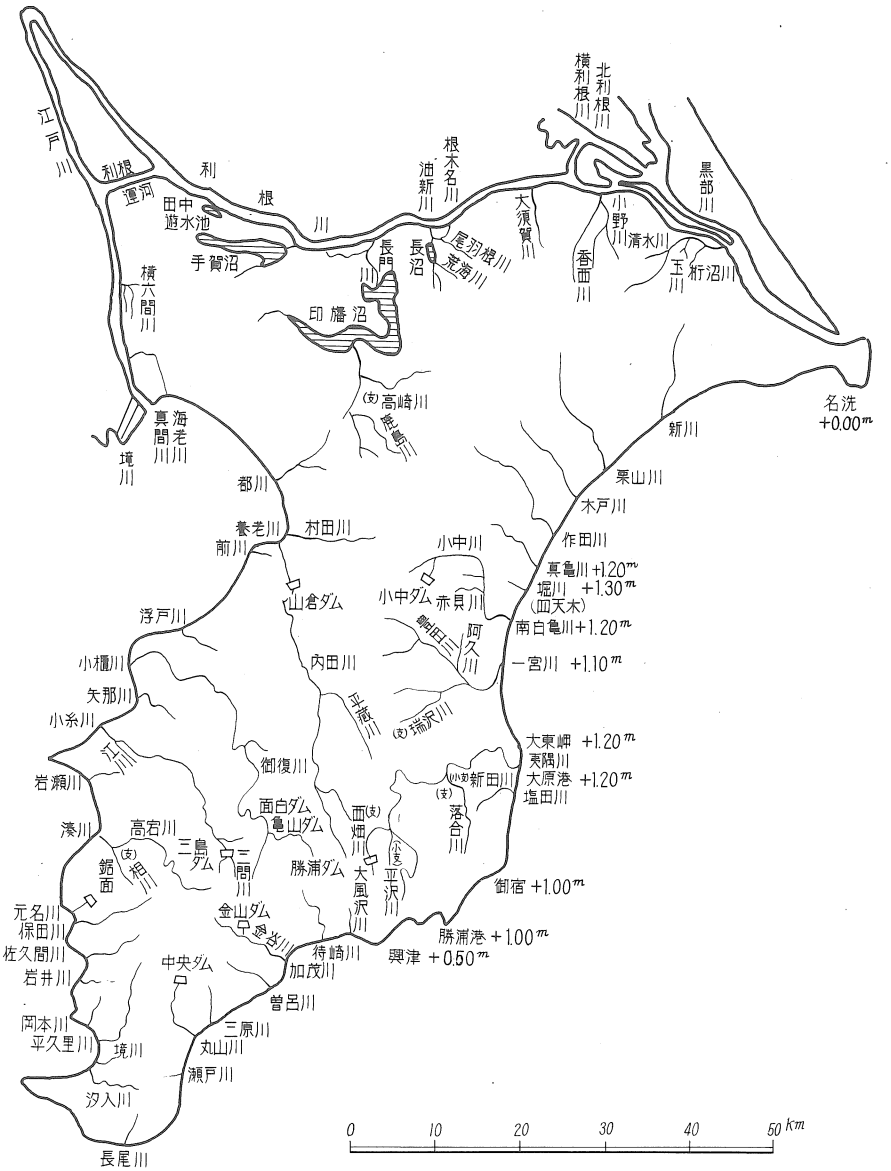
地上天気図



台風経路図

銚子・勝浦の風の極値表

区分 / 観測値	日付	日平均風速	日最大風速, 風向	時刻 時分	最大瞬間風速, 風向	時刻 時分
銚子	9	5.0 m/s	11.6 m/s NNE	23.10	18.7 m/s NNE	23.00
	10	13.4	17.3 NNE	13.30	28.3 NNE	14.30
	11	12.7	16.7 NNE	04.50	26.6 N	04.25
	12	6.9	11.2 NNE	05.30	17.0 NNE	02.50
勝浦	9	3.6	6.5 NNW	06.10	12.8 N	23.30
	10	6.5	9.2 N	24.00	21.7 N	12.10
	11	7.4	10.3 NNW	05.00	21.4 N	02.30
	12	4.8	8.1 N	00.30	14.4 N	00.30



台風19号の余波による高潮(m)　　昭和50年11月12日

5. 被　害

堀川の沿岸（右岸）で架橋工事中堤防の仮締切りの一部が破損し，そこから海水が水田に流入したが，被害はなかった。

6. 資　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，台風経路図

災害番号　100

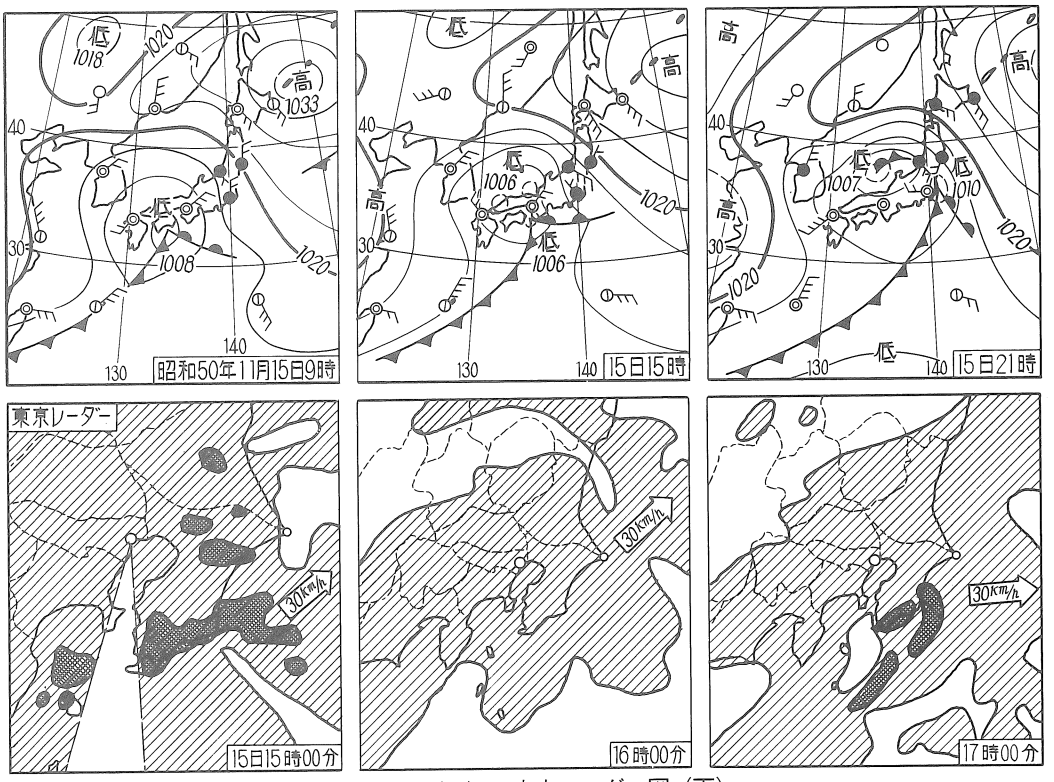
1. 災害の種類(名称)　たつ巻
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）11月15日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

15日本州沿いを低気圧が通り夜には銚子沖に去った。この低気圧の通過に伴い山武郡大網白里町，南今泉～北今泉地区にたつ巻が発生した。発生時刻は午後6時15分から6時27分の間であった。尚，これより先午後4時25分頃，八丈島測候所では温暖前線の通過に伴ってたつ巻が発生し，最大瞬間風速48.5m/sを記録した。

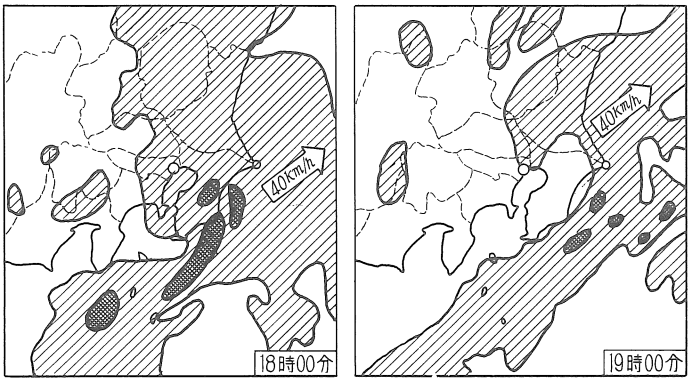
銚子における気象表

要素 / 地名	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1009.5	15.24.00	SSE	13.5	15.19.00	SSE	26.7	15.19.00

要素 / 地名	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大24時間降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分
銚子	5.0	15.00.30	14.0	15.19.00	51.5	15.21.00	51.5	15.00.55～15.20.40



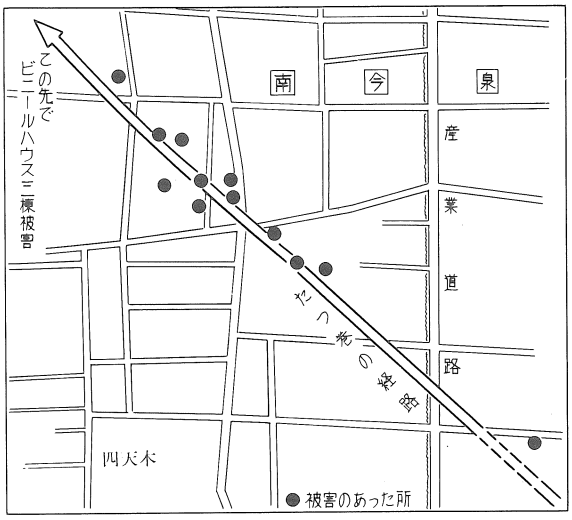
地上天気図（上）と東京レーダー図（下）



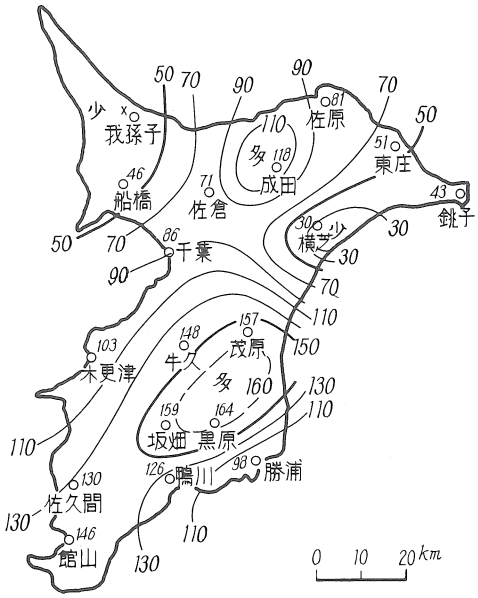
東京レーダー図

5. 被　害

たつ巻の通過筋にある住家の屋根の上に隣家の物置が乗るといった現象があったほか，ブロック塀が倒壊（10.0×40.0m）等，さらに住家のトタン・瓦の一部がはがれたもの７戸。また，農業用ビニールハウス５棟が破損（キュウリ苗，カボチャ苗）等の被害があった。



たつ巻の経路図（山武郡大網白里町）



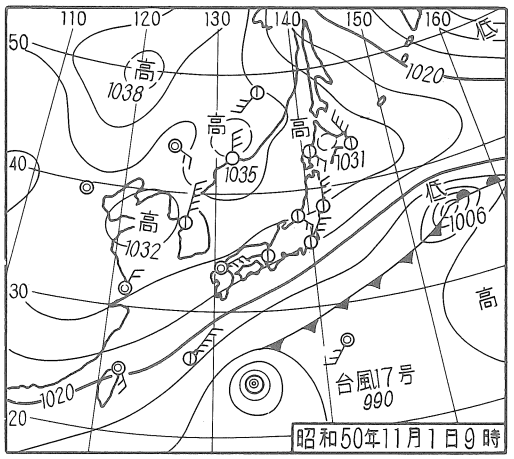
県内降水量分布図(mm)
50年11月15日

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図
速報天気図，雑誌「気象」

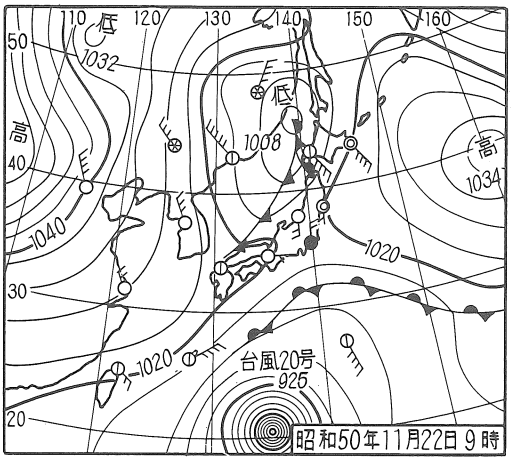
災害番号　101

1. 災害の種類(名称)　長雨・強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）11月
3. 災害原因　台風・低気圧
4. 気象概況

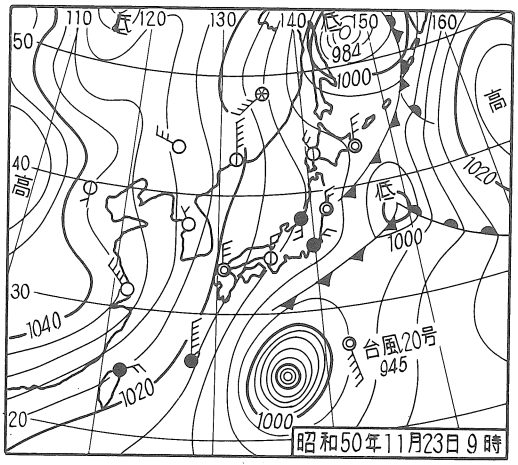
この11月は，１～２日にかけて，日本のはるか南海上を台風17号が北東進し，10～13日にかけては日本のはるか東海上を台風19号が北上して異常潮位となった。さらに22～24日にかけて日本の南海上を台風20号が北東進した。また，本州沿いを通った低気圧は５回もあり，全般に雨の多い月であった。銚子における月降水量は267.0mmとなり，11月の降水量としては創立以来第４位，降水継続日数の最大（0.0mm以上）は，11月４日～16日までの13日間となり，11月としては創立以来第２位の記録となった。また，10m/s以上の強風が９日21時～11日23時まで51時間も続き，異常気象現象が続出した。



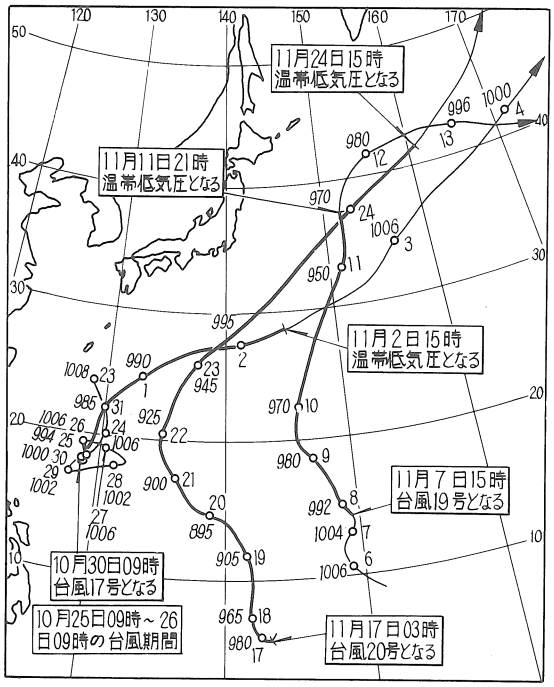
地上天気図　　地上天気図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図



台 風 経 路 図

銚子地方気象台気象表

1975　　昭和50年11月

日＼項目	気温 平均	気温 最高	気温 最低	湿度 平均	湿度 最小	平均風速	最多風向	最大風速	最大風向	降水量	平均雲量	日照時間	天気概況 6時～18時	天気概況 18時～翌6時
1	14.5	15.7	13.0	74	55	10.0	NNE	13.2	NNE	0.5	9.5	5.4	晴時々曇	曇
2	14.9	16.2	14.1	76	60	8.9	NNE	10.4	NNE	0.0	7.5	2.9	曇で俄雨後晴	晴
3	14.1	15.3	13.3	55	36	8.5	NNE	10.0	NNE	−	0.5	9.5	晴	晴
4	14.4	15.8	12.9	74	52	9.2	NNE	11.3	NNE	0.0	5.3	4.6	晴一時曇	曇で俄雨
5	16.7	17.9	15.4	67	59	8.7	NE	10.5	NE	1.0	10.0	0.7	曇時々雨一時晴	曇後雨
6	17.3	20.4	14.7	84	65	6.6	NE	9.1	NE	45.5	10.0	−	大雨一時曇	雨
7	20.0	21.2	17.4	83	65	9.8	SSW	15.8	SSE	19.0	7.5	0.5	雨後晴大風	快晴
8	16.8	19.9	14.7	61	45	3.7	NNW	7.4	NNW	0.0	5.5	8.1	晴	晴時々曇俄雨
9	14.0	15.7	12.0	65	50	5.0	NE	11.6	NNE	1.5	9.8	−	曇時々雨	曇時々雨後晴
10	12.2	13.2	11.2	72	48	13.4	SW	17.3	NNE	0.5	7.8	1.5	晴後俄雨風伴	曇後雨大風伴う
11	12.7	14.4	10.7	78	61	12.7	NNE	16.7	NNE	7.0	10.0	1.3	曇時々雨大風	曇時々晴俄雨
12	13.6	15.0	11.8	68	59	6.9	NE	11.2	NNE	0.0	5.8	4.9	晴一時曇	快晴
13	15.5	17.9	13.0	69	65	3.5	NE	6.0	NNE	0.0	4.5	7.5	晴一時雨	曇時々晴
14	14.9	16.8	11.9	87	74	2.8	NE	5.8	NE	3.5	10.0	−	曇	曇時々雨
15	18.8	19.9	15.7	86	65	6.6	SE	13.5	SSE	51.5	10.0	−	雨	曇時々雨後晴
16	19.7	**22.2**	15.9	89	68	5.2	SW	8.1	SSW	4.0	2.8	9.0	晴	晴一時曇
17	15.8	18.3	13.6	65	46	4.7	ENE	10.1	NNW	−	0.5	9.1	快晴	晴
18	16.5	18.9	11.2	66	50	2.6	SSE	7.3	SSE	0.5	7.8	3.4	曇時々晴	曇一時晴俄雨
19	15.0	18.8	11.3	87	59	6.9	N	**18.1**	N	**74.5**	9.0	−	曇後大雨	雨後曇大風
20	12.8	14.4	11.7	59	46	6.5	N	15.2	N	−	6.8	6.0	晴一時曇大風伴う	晴後曇後雨
21	13.8	16.0	12.3	73	57	3.8	ENE	6.2	ENE	4.0	10.0	0.3	雨	雨
22	12.9	14.4	10.5	92	63	6.5	NNE	10.3	NNE	22.0	10.0	−	雨	雨後曇
23	12.1	14.3	9.9	75	58	7.5	NNE	10.8	NNE	8.0	10.0	−	曇後雨	雨後曇後晴
24	9.3	12.5	5.6	54	**34**	5.6	NNW	9.7	NNW	0.5	4.8	7.3	晴	曇一時雨後晴
25	8.9	13.4	**3.6**	60	44	2.3	WNW	4.4	WSW	−	3.5	7.6	晴	晴
26	11.9	16.4	6.3	76	55	2.4	SW	6.0	S	0.0	3.8	7.1	晴後曇一時雨	晴時々曇
27	12.3	16.0	7.7	84	63	2.2	NNW	10.9	S	16.0	8.8	−	曇後雨	雨後曇
28	14.0	16.1	11.3	83	63	4.9	NE	11.7	S	7.5	8.8	4.6	曇時々晴	晴
29	13.2	15.4	9.8	74	61	2.6	NE	4.6	NNE	−	6.5	1.2	晴時々曇	晴一時曇
30	9.6	13.1	6.9	59	42	4.9	NNW	9.6	NNW	−	0.3	8.9	晴	晴
月平均	14.3	16.5	11.6	73		6.2	NE			267.0	6.9	111.4	日照率　36 %	
平　年	13.5	16.8	10.2	73		4.7				153.1	6.0	138.6	平年値　45 %	

5. 被　害

この11月は，大雨による被害のほか海は荒天続きで不漁に見舞われた。

6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，台風経路図，印刷天気図

災害番号　102

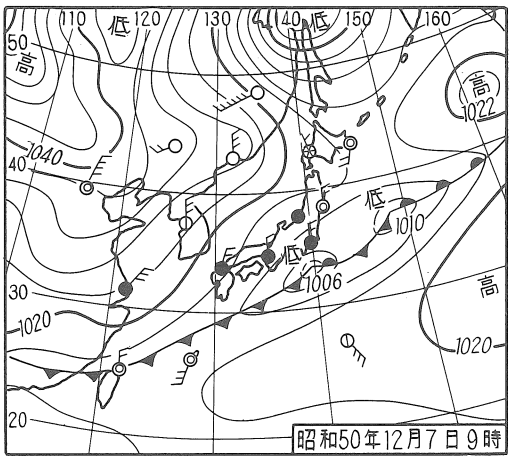
1. 災害の種類(名称)　長雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和50年（1975年）12月5日～9日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

4日～5日にかけて，日本海から北日本を低気圧が通過した。その後，南岸に前線が停滞し，前線上を次々と低気圧が進んだ。このため，当県では5日～9日まで連続5日間雨が降り続いた。

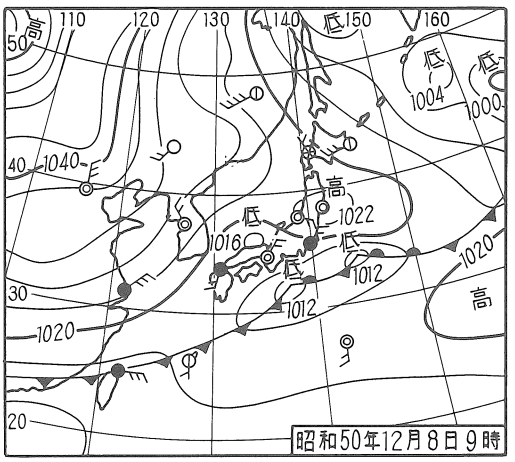
銚子における12月の降水量記録　統計：1887～1975年

順位	起　年	降水量	連続降雨日数
第1位	**1975** 年	**93.5**	**6** 日間
第2位	1930 年	66.7	6 日間
第3位	1895 年	31.9	5 日間

連続降雨日数（日量1.0㎜以上）



地上天気図



地上天気図

5. 被　害　——
6. 資　料　千葉県気象年報，印刷天気図

災害番号　103

1. 災害の種類(名称)　干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）1月
3. 災害原因　少雨・多照
4. 気象概況

この1月は，3日～4日，15日～18日，22日～29日に気圧の谷が通り，一時雨が降った。しかし，降水量は3日が7.0mm，28日0.5mm，4日，16日，17日，18日，29日はいずれも0.0mmであった。その他の日は大体西高東低の冬型の気圧配置で晴天が続いた。このため，月降水量の平年比は，最も多かった県南部の小湊から館山の沿岸地帯で12～18%，成東で13%，その他の地方では0～10%と少なかった。

銚子における月降水量の最少値の順位は7.5mmで，昭和25年以来の第1位を，また，無降水最大継続日数は明治20年以来の第1位を記録し，異常乾燥注意報は，1月6日～2月2日まで28日間継続された。このほか，月間日照時間の最大順位は224.1時間で明治33年以来の第2位を記録するなど異常気象が続出した。なお，不照日数は0日（平年5日）であった。

1月の月降水量の最少値(mm)

統計：1950～

官署	順位	降水量	起年
銚子	第1位	7.5	1976年
	第2位	11.7	1963年

統計：1966～

官署	順位	降水量	起年
千葉	第1位	0.5	1976年
	第2位	14.5	1968年

1月の月間日照時間の最大値(時間)

統計：1900～

官署	順位	日照時間	起年
銚子	第1位	246.7	1963年
	第2位	224.1	1976年

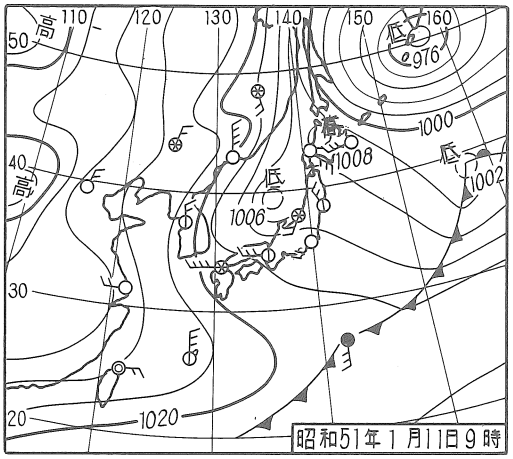
統計：1967～

官署	順位	日照時間	起年
千葉	第1位	234.9	1976年
	第2位	225.3	1974年

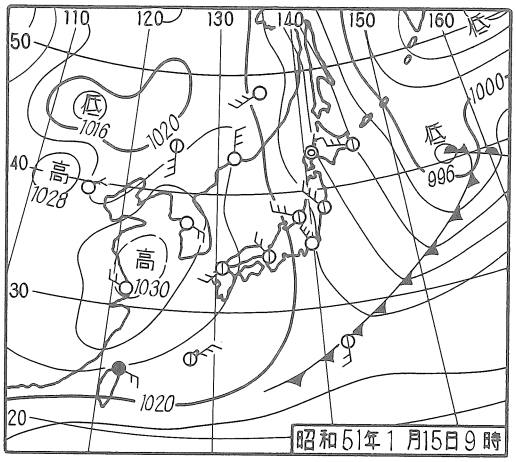
1月の無降水最大継続日数(0.0mm以下)（日）

統計1887～

官署	順位	継続日数	起年
銚子	第1位	24日間（4日～27日）	1976年
	第2位	23日間（9日～31日）	1940年



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　　害

少雨と低温（19日～31日）のため，県下各地に火災が頻発し，県下の火災発生件数は533件（前3ヵ年平均369）に達した。また，学童に風邪が流行したほか，農作物（特にキャベツ等野菜）に干害をもたらした。

6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

災害番号　104

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）3月26日～27日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

26日東シナ海に発生した低気圧が27日は発達しながら本州沿いを東進し，正午頃房総沖に去った。この低気圧の影響で26日夜から27日午前にかけて銚子方面と県南部の各地で集中豪雨に見舞われた。総降水量は，県南部で100～170mm，銚子で115mm，その他は10～60mmであった。なお，館山では1時間降水量の最大は27.5mm（27日01時50分～02時50分）の大雨となった。

銚子における日降水量の最大(mm)

統計：1887年

順位	降水量mm	起　年　日
第1位	117.8	1891. 3. 10
第2位	81.1	1908. 3. 18
第3位	**81.0**	**1976. 3. 27**

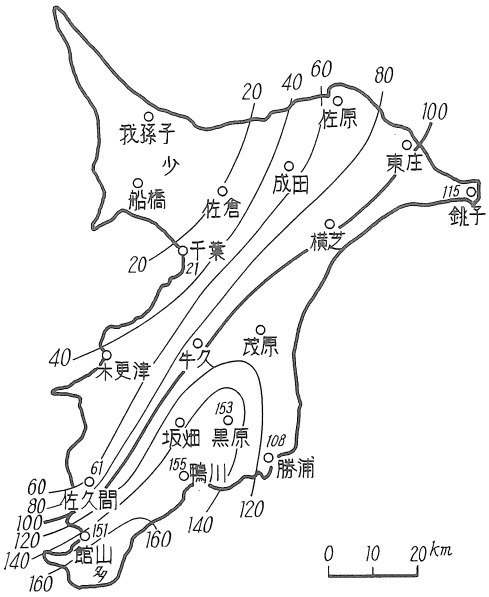
千葉における月間日照時間の最小(時間)

統計：1967年

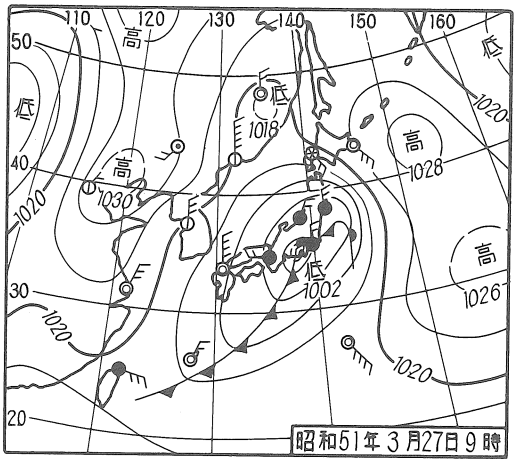
順位	日照時間	起　年　日
第1位	**154.2**	**1976. 3. 3**
第2位	154.4	1968. 3. 3

勝浦・館山の気象表

観測所 / 区分	勝浦	館山
	日　時　分	日　時　分
最低海面気圧mb	1,000.8　27.10.40	1,001.5　27.10.00
最大風速 m/s	SW 12.6　27.10.40	SW 7.8　27.06.00
最大瞬間風速 m/s	SW 19.4　27.10.40	SW 15.4　27.07.20
総降水量 mm	108.0　26.07.10～27.12.25	151.5　26.17.30～27.11 20
日降水量の最大 mm	73.5　27.24.	119.5　27.24
24時間降水量の最大mm	108.0　27.13.	151.5　27.12
1時間降水量の最大mm	14.5　27.10.10	27.5　27.02.50
10分間降水量の最大mm	6.0　27.11.00	8.0　27.02.10



県内総降水量分布図（mm）
昭和51年３月26日～27日



地　上　天　気　図

5．被　　害　　勝浦市で道路損壊１ヶ所，がけ崩れ２ヶ所

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，
県警本部，印刷天気図

災害番号　105

1. 災害の種類(名称)　たつ巻・強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）4月7日
3. 災害原因　前線・低気圧
4. 気象概況

6日九州南部にあった低気圧が発達しながら東北東から北東に進み，関東南部を通って，7日早朝には三陸沖に達した。この低気圧に伴う寒冷前線が7日午前1時07分頃銚子を通過した。このため，強風と一時的な大雨に見舞われた。一方，佐原市内の多田新田付近でたつ巻が発生し，谷間に沿って北東方向に進み，利根川を横断して附州新田地区へ通り抜けた。たつ巻の幅は100～200m，距離は約7kmに及んだ。なお，立木の倒れ方は反時計廻りであった。

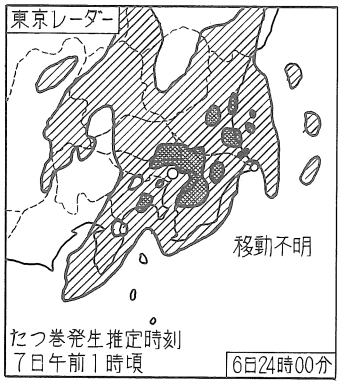
銚子の気象表　4月6日～7日

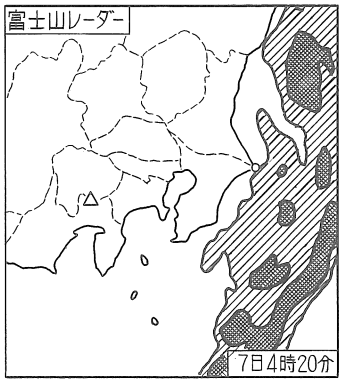
日	時分	海面気圧 mb	気温 ℃	露点温度 ℃	風向 16方位	風速 m/s	天気	降水量 mm
6	15.00	1,015.9	14.5	5.7	S	10.3	◎	−
	18.00	1,012.9	13.8	7.0	S	10.8	◎	0.0
	21.00	1,008.4	14.3	9.4	S	12.3	◎	0.0
	24.00	1,002.2	14.2	12.3	S	14.8	●	2.5
7	03.00	1,002.0	8.8	7.9	NNW	7.4	●	29.0
	06.00	1,004.0	7.8	6.7	NW	3.1	◑	1.5
	09.00	1,005.4	12.3	1.1	NW	6.2	○	−
記事　7日0130 ▲▲▲▲ 通過 S 18.9 NW，なお寒冷前線通過により気温は10分間で4℃下った。								

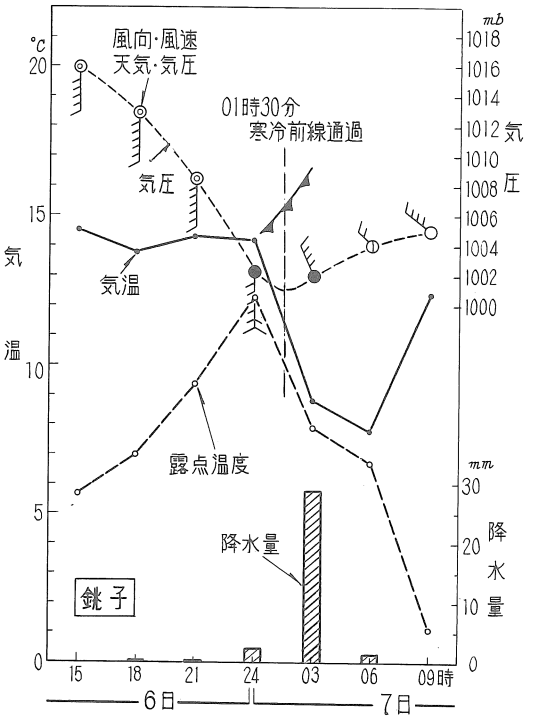
日	日最大風速	風向	起時	日最大瞬間風速	風向	起時
6	14.8 m/s	S	24. 00	23.9 m/s	S	23. 30
7	16.8 m/s	S	00. 40	27.7 m/s	S	00. 20

銚子における10分間降水量最大値(mm)　統計：1937～

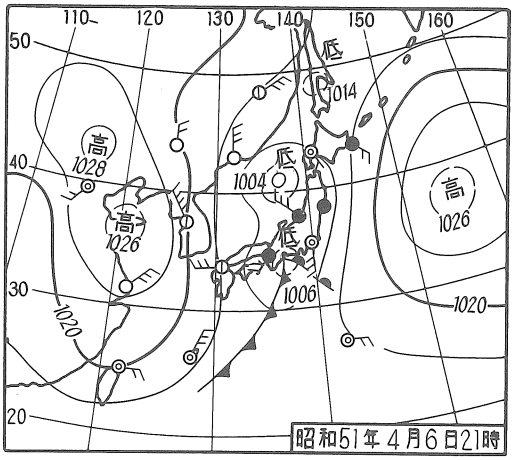
第1位		第2位		第3位	
降水量	起年月日	降水量	起年月日	降水量	起年月日
14.0 mm	1976. 4. 7	13.5 mm	1968. 4. 30	12.1 mm	1939. 4. 24



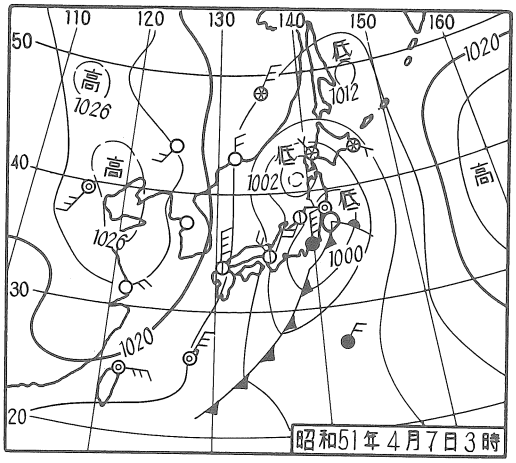




寒冷前線通過時の諸元



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害

被害の最も大きい所は，大倉（市神，九峯）地区で，松，杉林の眼通り直径約30cmもの樹木が250本折損した。その他建物半壊１戸，一部破損26戸，非住家被害18戸。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図，県警察本部

災害番号　106

1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）５月７日～９日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

７日～９日にかけて，日本付近は大きな移動性高気圧におおわれ，全国的によく晴れたが，上空約5,000mには，－20～－30℃という寒気が流入しており，大気の状態は非常に不安定となった。このため，関東地方では３日連続して熱雷が発生し，県内でもひょうを伴う雷雨に見舞われた。

県内降水量表（mm）　９～９ｈ

観測地	7日	8日	9日	計	観測地	7日	8日	9日	計
銚子	17	1	1	19	千葉	4	－	4	8
八日市場	7	0	4	11	野田	24	－	－	24
成東	6	－	2	8	佐倉	1	2	4	7
片貝	5	－	0	5	下総	1	0	10	11
一宮	18	0	0	18	佐原	－	－	9	9
勝浦	19	0	－	19	笹川	1	0	9	10
大多喜	8	－	0	8	松戸	5	13	－	18
久留里	8	－	0	8	茂原	8	－	－	8
正木	0	－	－	0	大金沢	3	－	5	8
鴨川	－	－	－	－	清澄	5	－	－	5
千倉	8	－	－	8	東金	6	－	0	6
館山	1	－	－	1	君津	1	－	－	1
富山	0	－	－	0					
岩坂	0	－	－	0					
牛久	0	－	1	1					

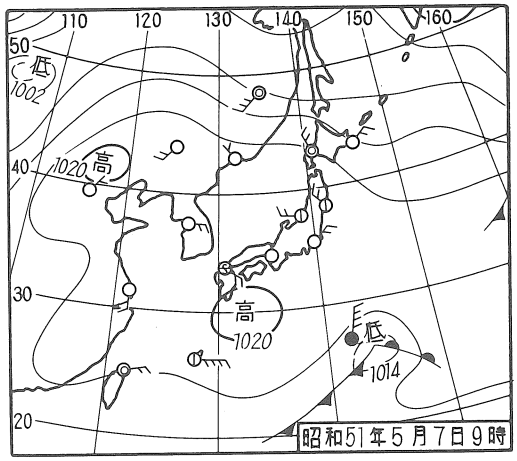
地域気象観測所降水量表(mm)

観測地	7日	8日	9日	計
佐原	－	－	10	10
我孫子	－	22	1	23
東庄	－	－	1	1
佐倉	－	2	4	6
成田	－	－	10	10
銚子	17	－	1	18
横芝	－	－	2	2
千葉	3	－	4	7
茂原	8	－	－	8
佐久間	3	－	－	3
勝浦	19	－	－	19
館山	1	－	－	1
木更津	－	－	－	－
鴨川	－	－	－	－
黒原	－	－	－	－

７日：市原市，長生部，夷隅部の一部に親指頭大のひょうが，また，佐原市を中心とする香取地方に小豆大のひょうが降った。

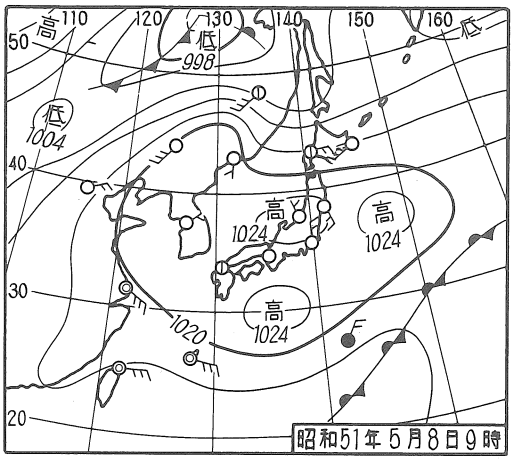
８日：市川市，船橋市，鎌ヶ谷市，市原市の各市の一部に小指頭大のひょうが降った。

９日：市原市の一部に直径１cm位のひょうが降った。

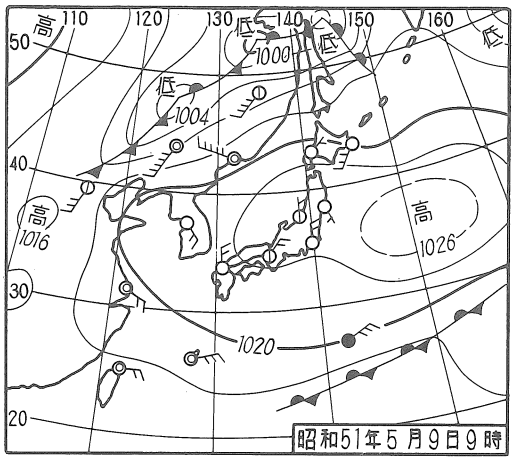


地上天気図

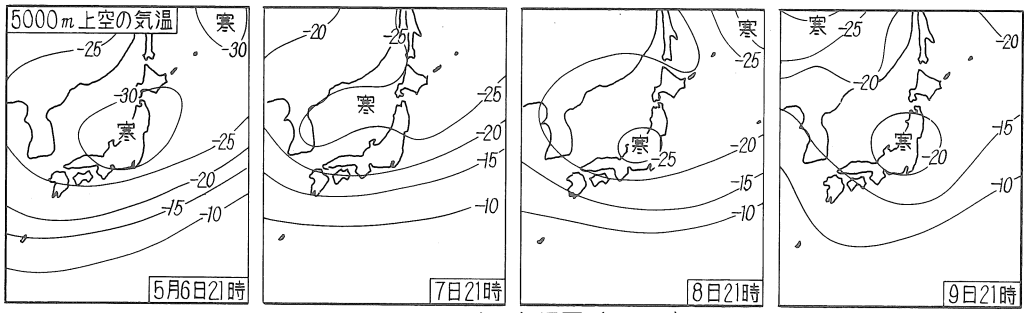
尚，17日の夕刻頃，前線の通過に伴って熱界雷が発生し，佐原市を中心に香取地方に大豆大のひょうを伴った雷雨があった。



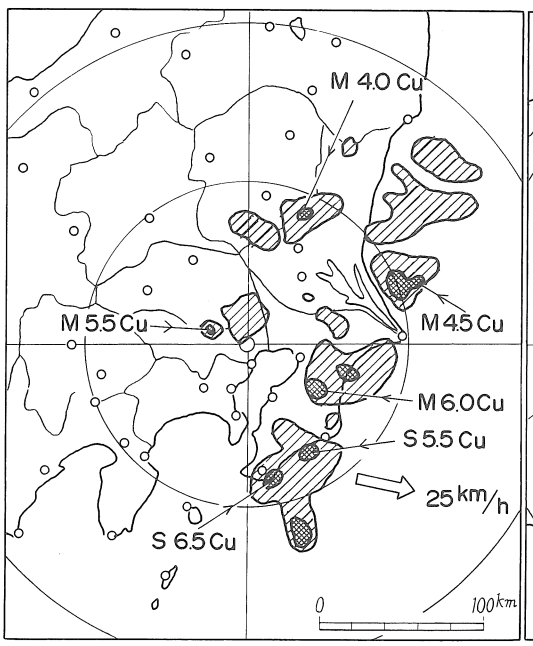
地　上　天　気　図



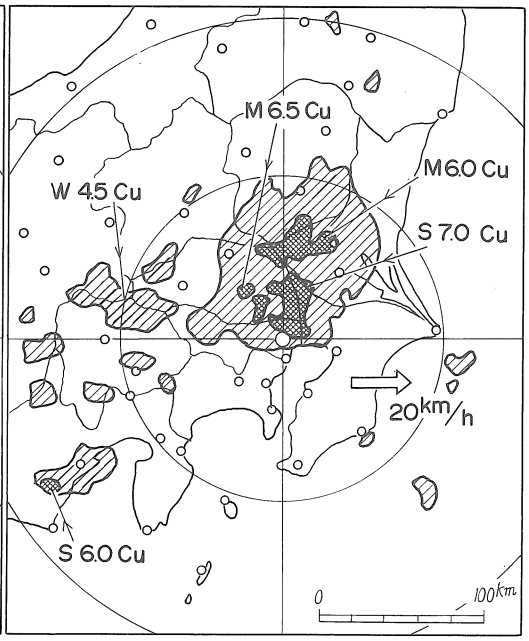
地　上　天　気　図



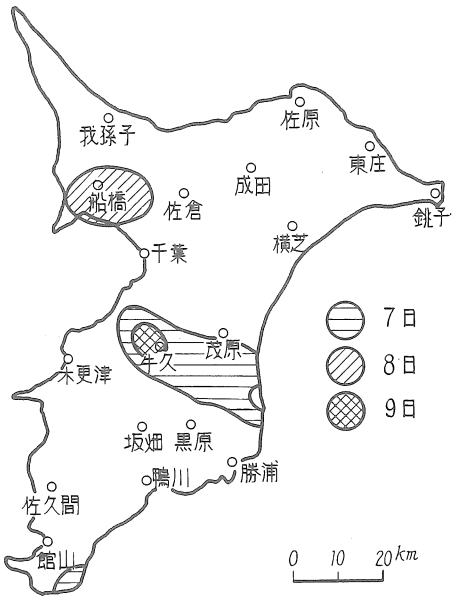
5,000m 上空の気温図（500mb）



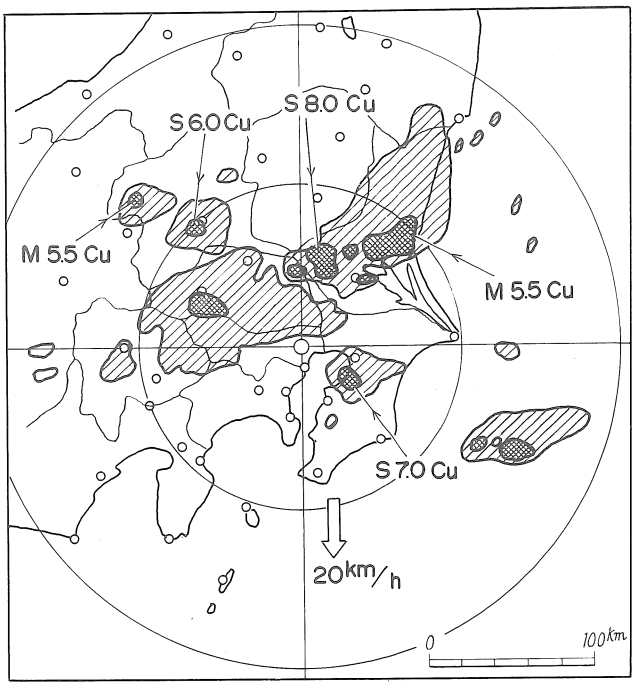
東京レーダー　　5月7日　22時00分



東京レーダー　　5月8日　20時00分



降ひょう区域合成図



東京レーダー図　　5月9日18時00分

◆ 降 ひ ょ う 状 況

5月7日

市町村名	被害地域名	ひょうの大きさ，降ひょう時刻
市原市	町田，廿五里，海士有木，勝間，滝口	親指の頭大，21時50分ごろ道路が白くなるがすぐとけた。
白浜町	名倉，小戸，汐浦	親指の頭大，22時30分ごろ。
大原町	日在	小指の頭大，22時05分ごろから5分間，道路が白くなる。
茂原市	三が谷	小指の頭大，20時50分ごろから2分間ぐらい。
長柄町	ほぼ全域	直径6～8㎜，21時30分～22時00分の間
長南町	千田，本台，柴原，豊原，坂本	親指の頭より小，21時45分～22時00分ごろ，庭白くなる。
一宮町	ほぼ全域	小指の頭大，22時00分ごろから2分間ぐらい。

5月8日

市川市	大和田，八幡，曽谷，宮久保，下貝塚，大野新田，柏井	19時50分ごろ，2～3分間ぐらいと(大豆からパチンコ玉大) 20時10分ごろ，3～4分間ぐらいの2回
船橋市	法典，西船橋	小指の頭大，19勝30分ごろ5～15分間ぐらい。
鎌ヶ谷市	ほぼ全域，特に市の中心部，中沢，鎌ヶ谷	小指の頭大，20時10分ごろ5～15分間ぐらい。
松戸市	高塚新田，串崎	詳細不明

5月9日

市原市	深城，中谷，海保	直径1㎝ぐらい，17時00分ごろ5～6分間ぐらい。
八千代市	白戸，狭山，米本，保品，上高野	18時30分～19時00分ごろの間，詳細不明

5. 被　害

3日にわたる，ひょうのため特に市原市では梨の被害が大きかった。5月に入って4回の降ひょうにより，梨，葉タバコを中心に農作物への被害が増大し，被害総額は約8億円に達した。

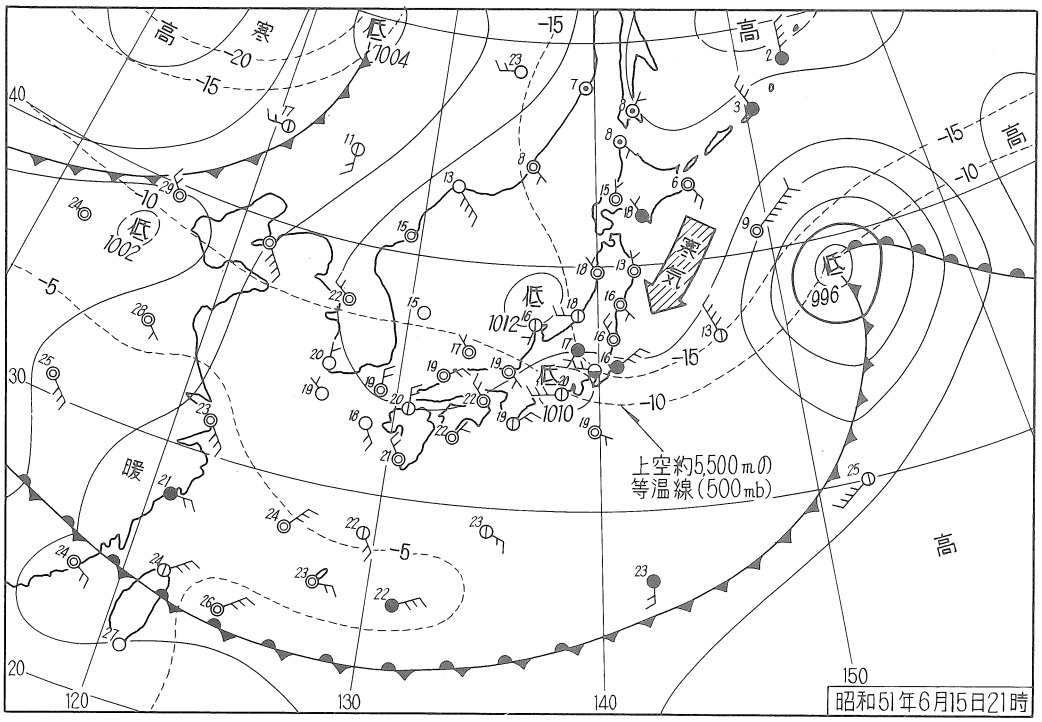
6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県農産課

災害番号　107

1. 災害の種類(名称)　大雨・ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）6月15日～16日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

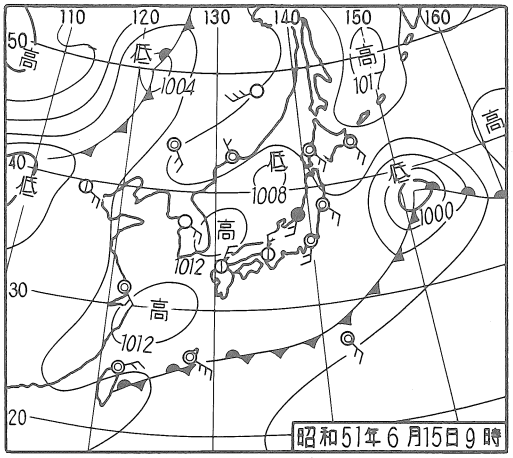
15日，日本の南海上を通った低気圧が三陸沖で発達し，日本付近はオホーツク海方面から張り出す高気圧におおわれた。しかし，北日本から東日本にかけては冷たい空気が流れ込み，大気の状態は非常に不安定となった。夕方から関東地方は大雷雨となり埼玉県を中心に100余の落雷があった。県内でも夕刻から16日未明にかけて雷雨となり，勝浦市ではひょう混りの雷雨となり，勝浦の総降水量は119.0㎜に達し，1時間降水量の最大は66.0㎜の強雨となった。

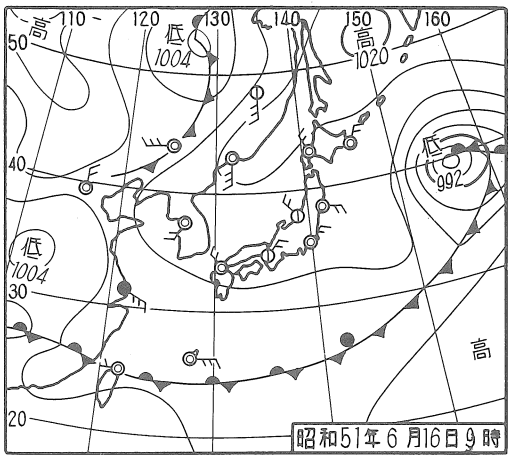


地上天気図と500mb の等温線

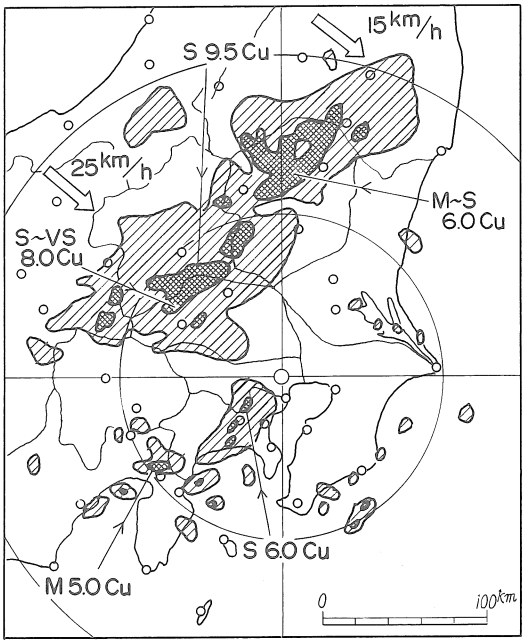
勝浦測候所の極値表　（昭和58年 6 月15日～16日）

観測種目	観測値	起時・日時分
最低海面気圧	1,009.9 mb	15. 21. 30
最大風速	N 7.5 m/s	15. 23. 40
最大瞬間風速	NNW14.7 m/s	15. 23. 30
総降水量	119.0 ㎜	15.17.50 ～ 16.02.10
日降水量の最大	94.5 ㎜	15. 24.
24時間降水量最大	119.0 ㎜	16. 03.
1時間降水量最大	66.0 ㎜	15. 23. 35
10分間降水量最大	14.0 ㎜	15. 22. 50

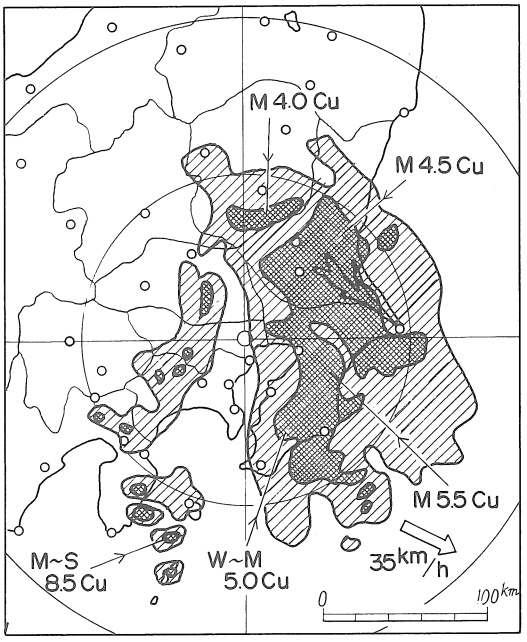




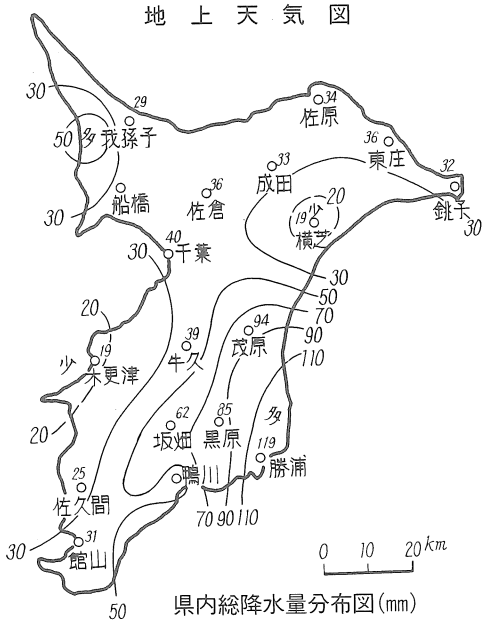
地 上 天 気 図



東京レーダー図　　6月15日18時00分



東京レーダー図　　6月15日23時00分



県内総降水量分布図(mm)
昭和58年6月15～16日

5. 被　害

被害は外房地方の勝浦市と夷隅郡大原町で多く出た。

死者１名，住家全壊２戸，床上浸水40戸，床下浸水298戸，道路損壊７ヶ所，山がけ崩れ９ヶ所，列車は徐行運転したほか一部運休した。農作物の被害は約２億円に達した。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」，県警察本部，県農政部

災害番号　108

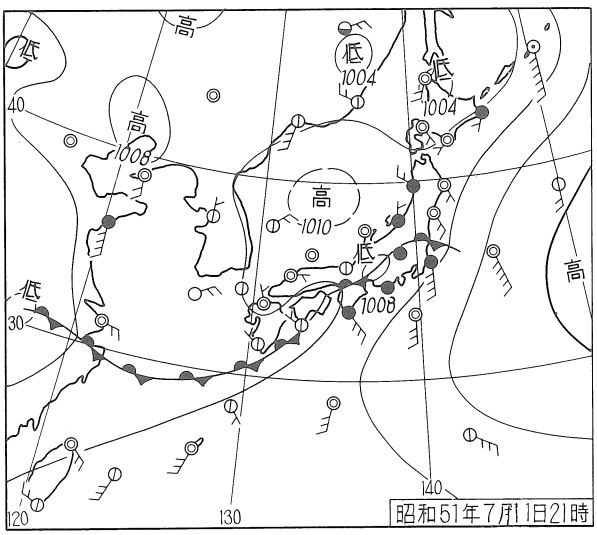
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）7月11日～12日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

11日～12日にかけて本州中部の梅雨前線上を低気圧が東進した。また，850mb（約1,500m上空）の天気図が示す通り本州全体に湿った暖かい空気が流れ込んだ。このため，梅雨前線の活動が活発となり，関東から静岡県にかけての南岸沿いで大雨となり，伊豆の天城山では454mmの集中豪雨となった。県内でも11日午前から12日朝にかけ南部の富津市を中心に大雨となり，降水量は11日9時～12日9時まで，佐久間で186mm，鴨川162mm，館山156mmを記録した。

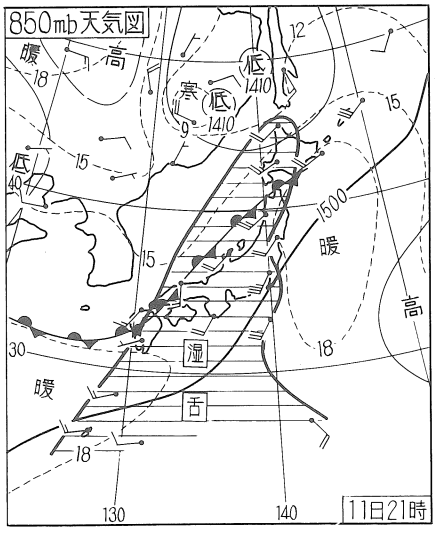
館山・千葉の極値表

昭和51年7月11日～12日

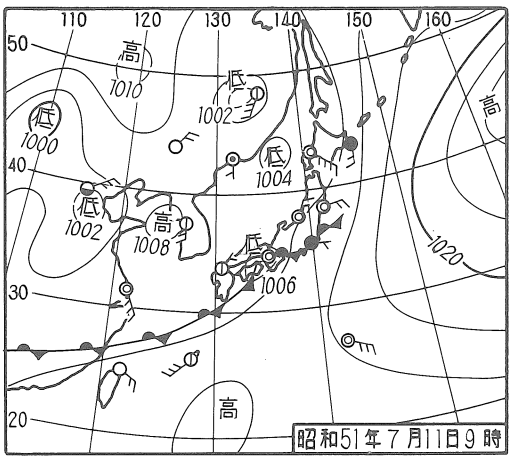
観測種目	館山		千葉	
	観測値	起時日時分	観測値	起時日時分
最大風速	S 9.2m/s	11. 19. 40	S 9.3m/s	12. 18. 40
最大瞬間風速	S 16.6m/s	11. 19. 40	S 12.5m/s	12. 12. 50
総降水量	156.5 mm	10. 10.00～12. 05. 00	68.0 mm	11. 01. 50～12. 23. 10
日降水量の最大	149.0 mm	11. 24.	52.5 mm	11. 24.
24時間降水量の最大	151.0 mm	12. 02.	66.5 mm	12. 09.
1時間降水量の最大	17.0 mm	11. 19. 00	12.0 mm	11. 13. 30
10分間降水量の最大	5.5 mm	11. 19. 00	3.5 mm	11. 12. 40



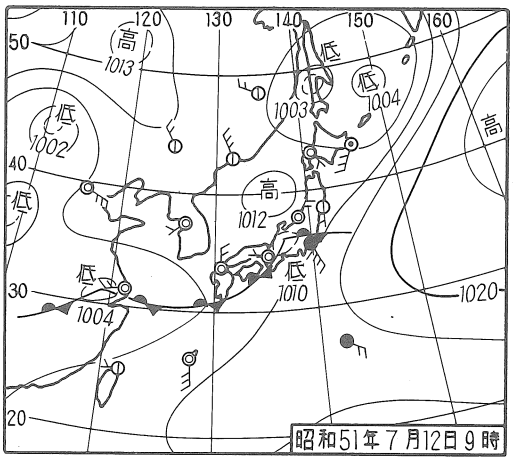
地上天気図



高層天気図（850mb）



地　上　天　気　図

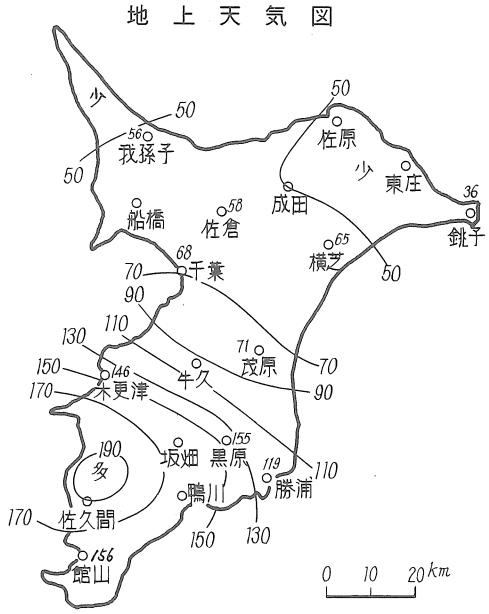


地　上　天　気　図

5．被　　害

家屋全壊１戸，床上浸水９戸（松戸市），床下浸水56戸（船橋市，松戸市，柏市），道路損壊14ヶ所，がけ崩れ13ヵ所

6．資　　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」，県警察本部



県内降水量分布図（mm）
昭和51年７日11日～12日

災害番号　109

1. 災害の種類(名称)　冷害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）夏期（6月～9月）
3. 災害原因　北高型気圧配置
4. 気象概況

本年の夏は，太平洋高気圧の中心位置が例年より約1,000kmも南に下がり，また勢力もあまり強くなかった。したがって，オホーツク海方面の寒冷な高気圧の影響を受けやすい気圧配置であった。図は銚子における平均気温を示したが，6月中旬頃から低温傾向が続き，特に6月29日から7月4日の間は，日平均気温が平年値を5℃も下まわる異常低温となった。その後も9月にかけて低温傾向がつづき7月から9月までの間，平年を上まわった日は21日しかなかった。このような傾向は本県だけではなく，東北,関東,北陸にまで及び，低温，多雨，日照不足という悪条件が重なり，農作物に大きな被害を与えた。

千葉県においても，ちょうど早場米地帯の出穂，開花の時期に当ったため，不稔現象や籾の発育不良など水稲の被害がひどかった。その他，落花生，かんしょなどにも大きな被害が現われた。

〔記　録〕

8月の月平均気温の低い値（℃）　統計：銚子1887～，千葉1966～

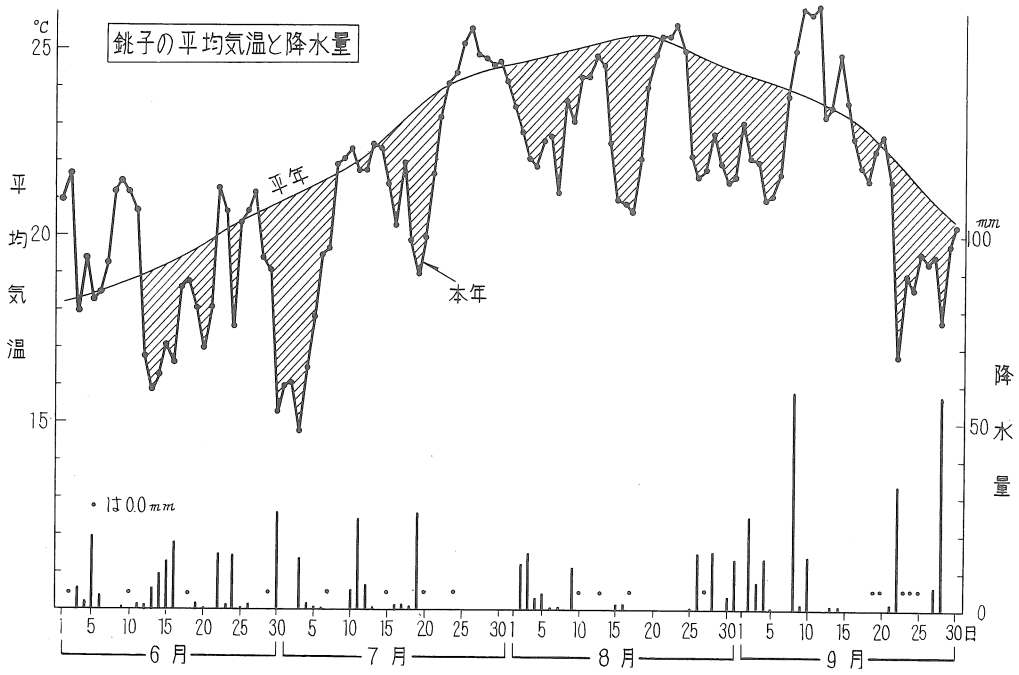
官署	第1位		第2位		第3位	
	気温	起年	気温	起年	気温	起年
銚子	21.3	1905	22.9	1902	23.0	1976
千葉	24.0	1976	25.7	1970	－	－

8月の月平均最低気温の低い値（℃）　統計：1887～

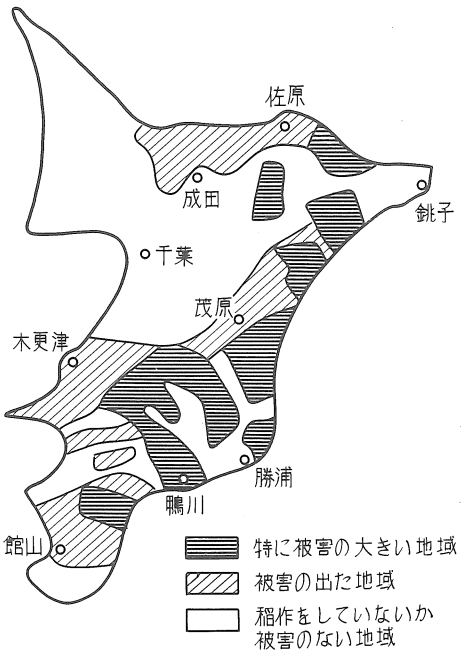
官署	第1位		第2位		第3位	
	気温	起年	気温	起年	気温	起年
銚子	19.4	1905	21.0	1976	21.3	1940

8月の月間日照時間の少ない値　統計：1899～

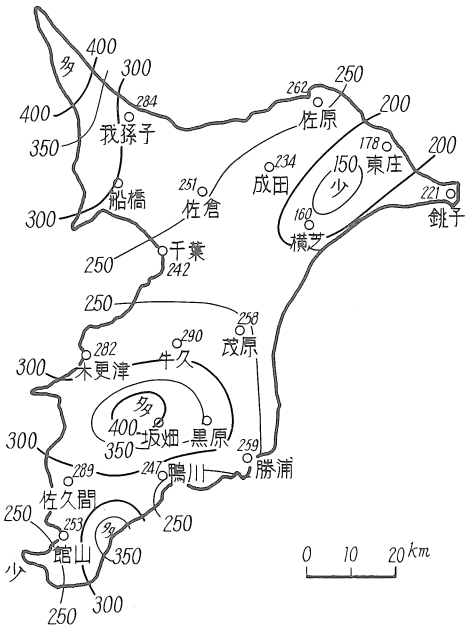
官署	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	時間	起年	時間	起年	時間	起年	時間	起年	時間	起年
銚子	85.7	1953	113.5	1902	130.8	1948	134.0	1905	159.1	1976



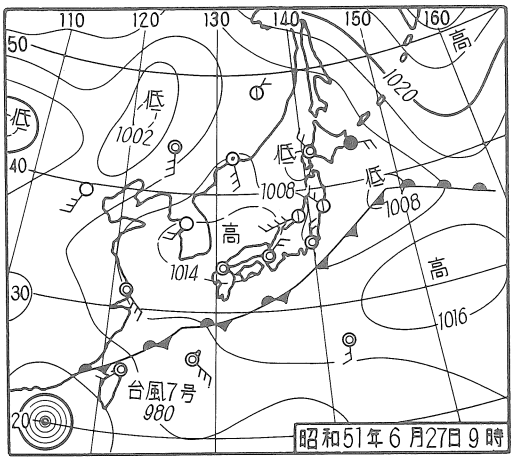
銚子における平均気温と降水量



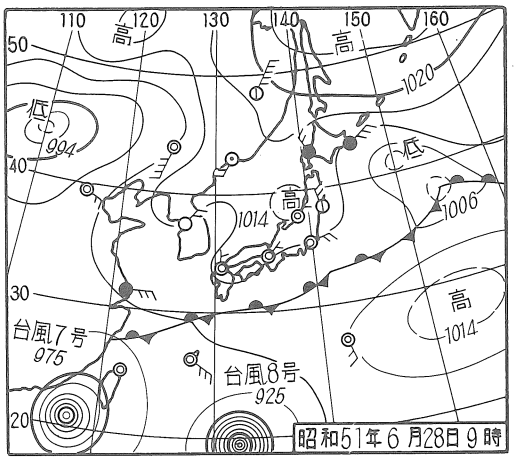
農業被害図



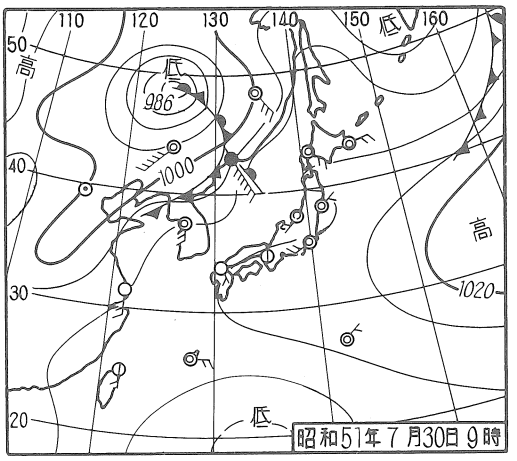
県内降水量分布図(mm)
昭和51年8月6日9時～20日9時



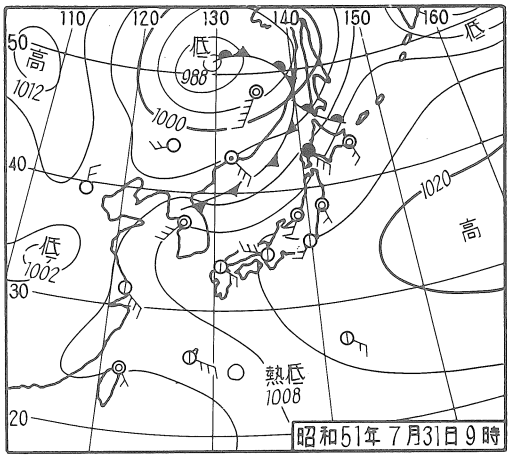
地上天気図



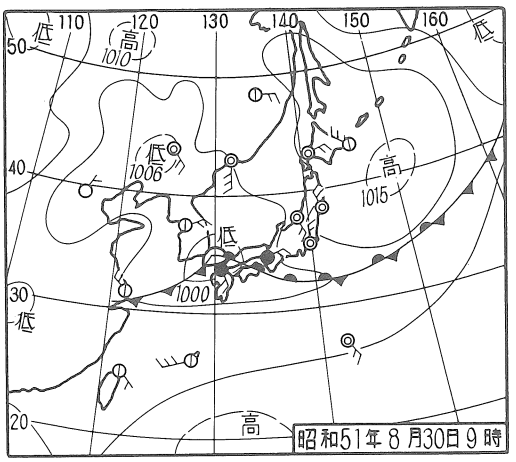
地上天気図



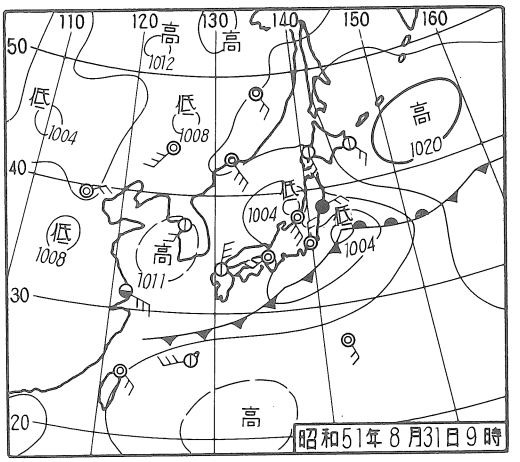
地上天気図



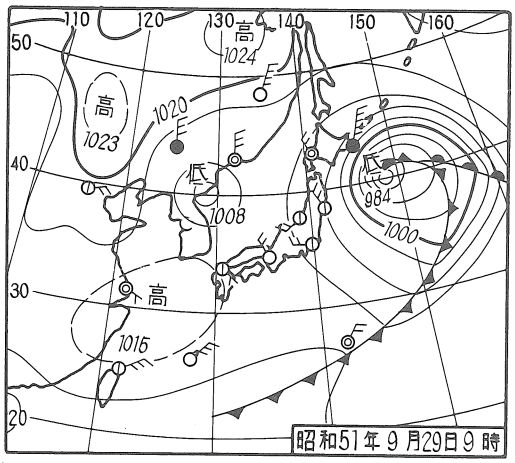
地上天気図



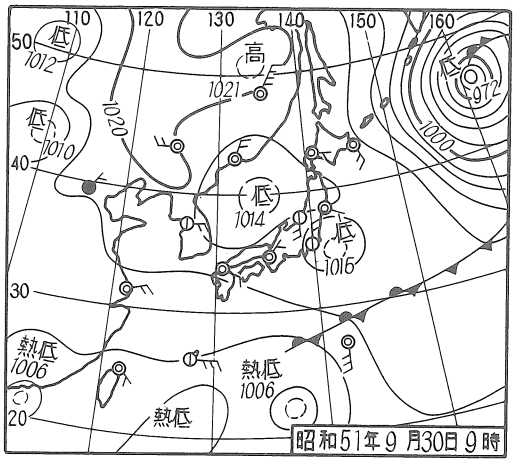
地上天気図



地上天気図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害

水 稲 低 温 被 害 状 況

（県農産業課　51年11月15日）

支庁名	水稲作付面積 ha	10a当たり平年収量 kg	平年収穫量 t	被害程度別内訳 30%未満 被害面積 ha	30%未満 被害量 t	31～50% 被害面積 ha	31～50% 被害量 t	51～70% 被害面積 ha	51～70% 被害量 t	71%以上 被害面積 ha	71%以上 被害量 t	合計被害面積 ha	被害面積率 %	合計被害量 t	被害率 %
千　葉	6,472	445	28,815	501	334	671	1,207	146	394	18	64	1,336	20.6	1,999	6.9
君　津	8,163	449	36,664	1,797	1,060	301	443	160	405	77	232	2,335	28.6	2,140	5.8
安　房	6,168	408	25,298	1,328	1,370	727	1,215	231	583	190	641	2,476	40.1	3,809	15.1
夷　隅	5,420	471	25,894	1,763	979	834	1,654	612	1,803	455	1,798	3,664	67.6	6,234	24.0
長　生	7,145	451	32,189	455	205	483	878	990	2,693	1,134	4,075	3,062	42.9	7,851	24.4
山　武	10,931	478	52,224	5,090	3,650	1,329	2,409	179	489	5	18	6,603	60.4	6,566	12.6
海　匝	8,177	478	39,091	4,072	4,662	1,576	2,770	145	310	98	281	5,891	72.0	8,023	20.5
香　取	14,670	507	74,390	4,703	3,800	1,743	3,584	1,380	4,225	596	2,390	8,422	57.4	13,999	18.8
印　旛	9,324	420	40,960	2,511	2,455	149	248	72	167	55	197	2,787	29.9	3,067	7.5
東葛飾	4,537	394	17,874	7	2	1	1	−	−	−	−	8	0.0	3	0.0
合　計	81,007	461	373,399	22,227	18,517	7,814	14,409	3,915	11,069	2,628	9,696	36,584	45.2	53,691	14.4

※・9月10日現在未確定
・市町村積上げ数値

30%未満　被害面積　22,227 ha　被害量　18,517 t

30%以上　被害面積　14,357 ha　被害量　35,174 t

総被害面積　36,584 ha
総被害量　53,691 t
@ 274,500 円／t
被害金額　147.4 千万円

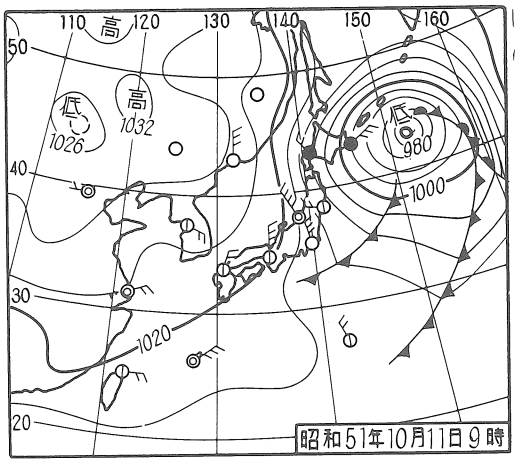
6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，異常気象報告，雑誌「気象」，県農産課

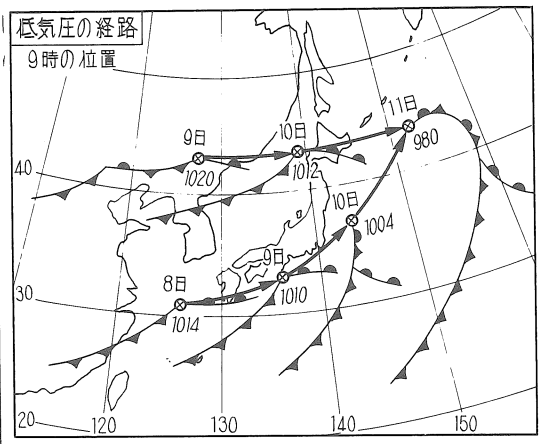
災害番号　110

1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年（1976年）10月11日
3. 災害原因　季節風
4. 気象概況

8日から10日にかけて，本州沿いを通った低気圧と，北日本を通った低気圧が11日は千島近海で一つになり急速に発達した。このため，北日本から東日本にかけては早くも木枯し1号となり，北西の季節風が強まった。千葉市では午後0時50分に最大瞬間風速NW，24.3m/sを記録し，強風による被害が発生した。



地上天気図



低気圧と前線の経路図

千葉・銚子の極値表　昭和51年10月11日

官署	最大風速			最大瞬間風速		
	風向	風速	起時	風向	風速	起時
千葉	NW	12.1 m/s	11日12時50分	NW	24.3 m/s	11日22時20分
銚子	N	10.1 m/s	11日22時20分	N	16.2 m/s	11日22時30分

5. 被害

① 市川市でイチョウの枝が折れ，銀杏拾いの主婦の頭にあたり死亡した。

② 八街町では体育祭会場でサッカーのゴール・ポストが倒れ，下敷になった児童が死亡した。

③ 千葉市でも，ゴルフ練習場のネットを支える鉄骨が倒れるなど風による事故が相次いだ。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　111

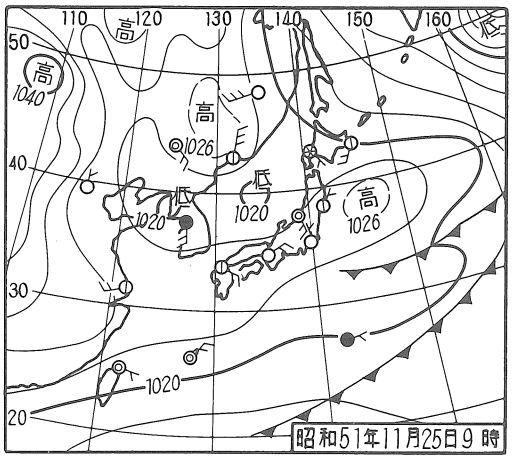
1. 災害の種類(名称)　無降水
2. 災害発生年月日(期間)　昭和51年(1976年) 11月24日～12月6日
3. 災害原因　冬型気圧配置
4. 気象概況

千葉県東部では，11月24日から移動性高気圧におおわれて晴天となった。26日～27日にかけて日本海北部を低気圧が発達しながら通過したが降水はなく，その後西高東低の冬型気圧配置が強まり晴天が続いた。

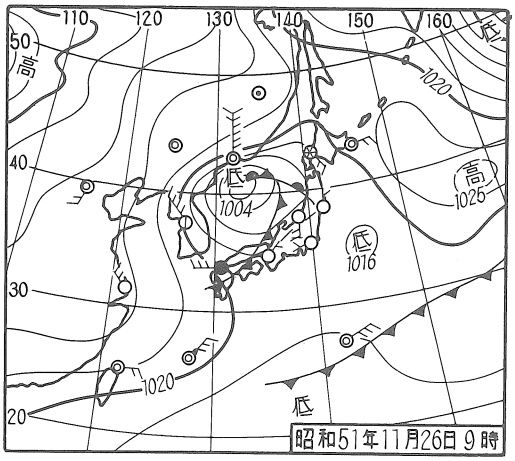
このため，銚子では11月24日～12月6日までの13日間無降水の日が続き，11月としては気象台創立以来の第1位を記録した。

無降水最大継続日数（0.0mm未満）　統計：1887～

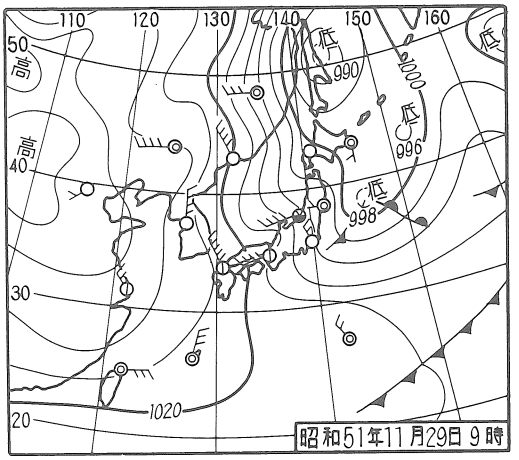
官署	第1位			第2位			第3位		
	日間	期間	起年	日間	期間	起年	日間	期間	起年
銚子	13	11.24～12.6	1976	10	19.19～11.28	1971	10	11.4～11.13	1896



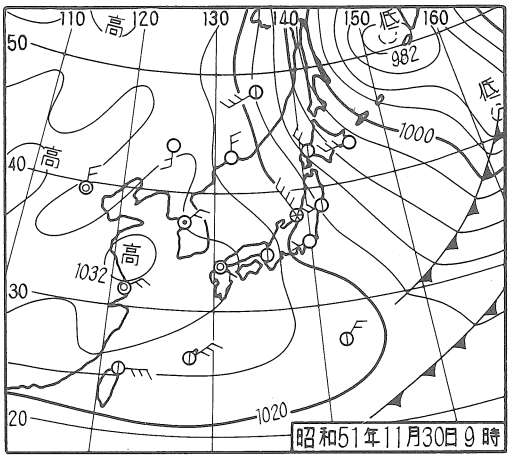
地上天気図



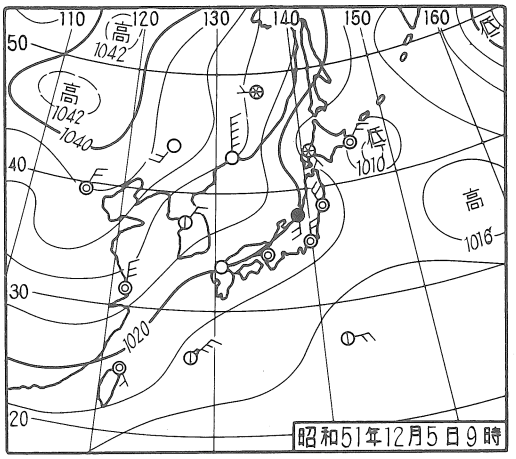
地上天気図



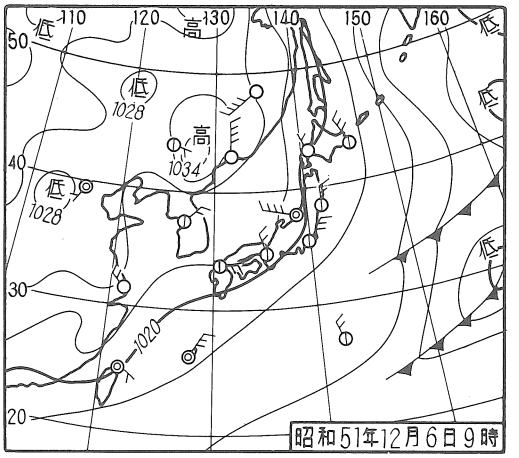
地 上 天 気 図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

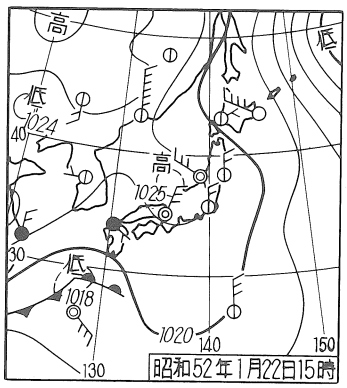
5. 被　　害　——

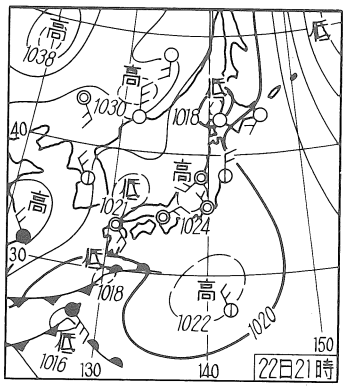
6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

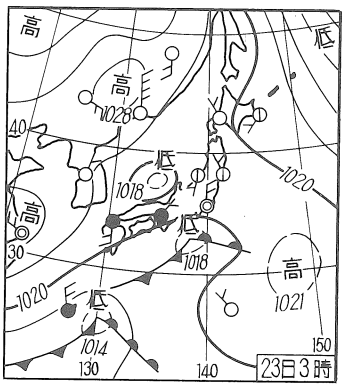
災害番号　112

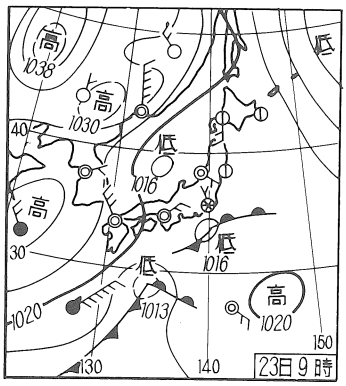
1. 災害の種類(名称)　大雪
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）1月23日～24日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

22日東シナ海に発生した低気圧が天気図に示す通り本州の南岸を東北東に進み，23日午前中に八丈島付近を通って夜には東海上に去った。この低気圧の通過に伴い，県下では23日朝方から雪となった。午前中は雨やみぞれの所もあったが，昼前には再び雪に変り，各地に積雪をもたらし多い所では10cmを越えた。尚，銚子では積雪とはならなかった。

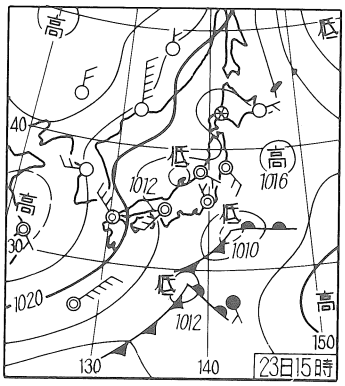




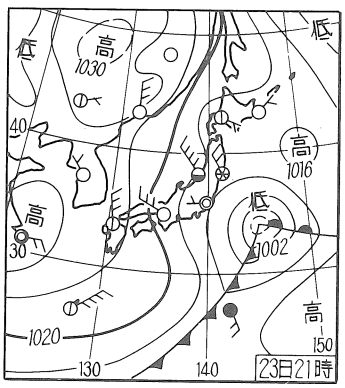




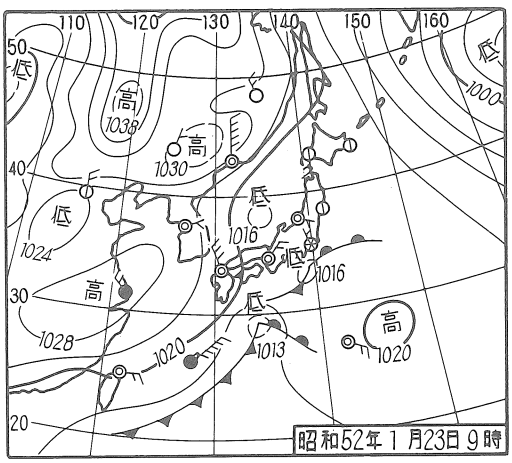
地上天気図



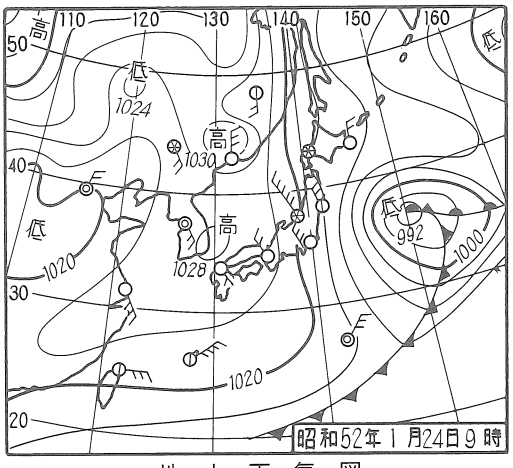
地上天気図



地上天気図



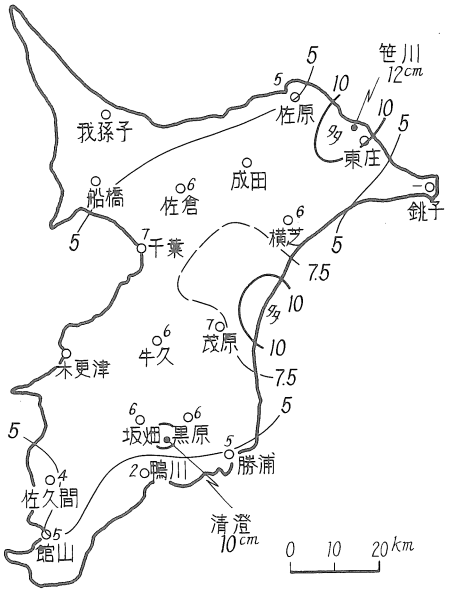
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　　害　　——

6．資　　料　　千葉県気象月報，異常気象報告，
印刷天気図，速報天気図



県内積雪分布図(cm)
昭和52年1月22日～23日

災害番号　113

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）3月30日～31日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

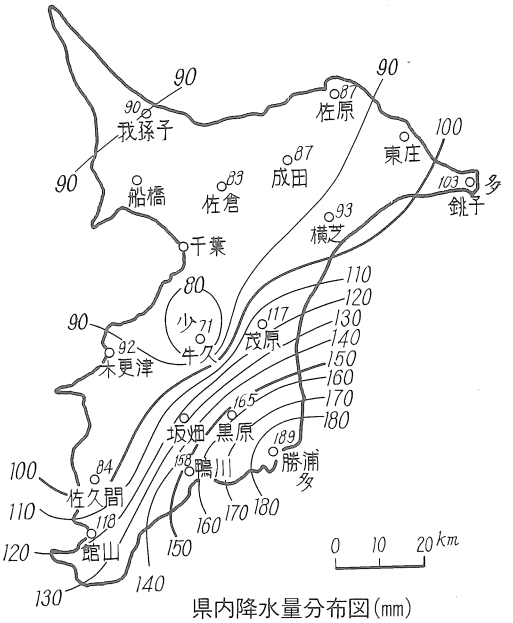
29日，華南方面に現われた低気圧が，30日には九州に進んだ。この低気圧の影響で30日は，東北地方南部から九州に至る広い範囲で雨となり所々強く降った。県内では南房地方を中心に30日午後4時頃から0時にかけて大雨となり，県南部では100～190mmの降水量を記録した。特に勝浦では10分間降水量11.0mm，1時間降水量53.0mm，日降水量189.5mmを記録し，3月としては大正3年以来の記録的な大雨に見舞われた。

1時間降水量の最大値(mm)　統計：1916～

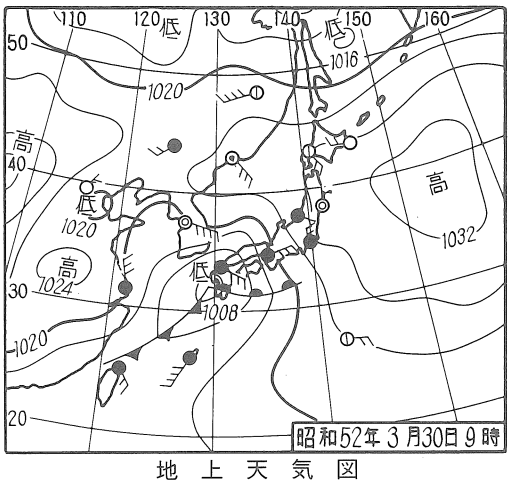
官署	第1位		第2位	
	降水量	起年月日	降水量	起年月日
勝浦	53.0	1977. 3. 30	35.0	1975. 3. 21

10分間降水量の最大値(mm)　統計：1916～

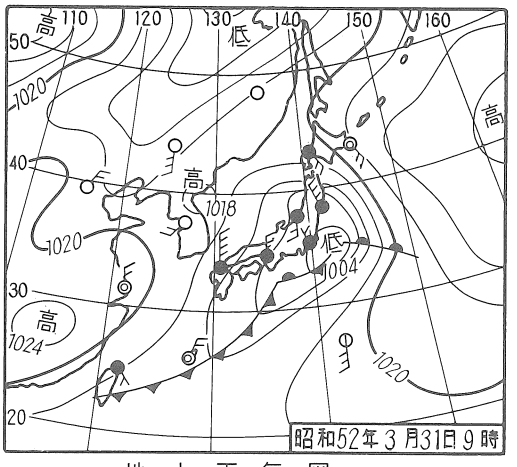
官署	第1位		第2位	
	降水量	起年月日	降水量	起年月日
勝浦	11.0	1977. 3. 30	11.0	1975. 3. 21



県内降水量分布図(mm)
昭和52年3月30日～31日



地上天気図



地上天気図

5. 被害　床下浸水33戸，道路損壊5ヶ所，がけ崩れ5ヶ所
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図。

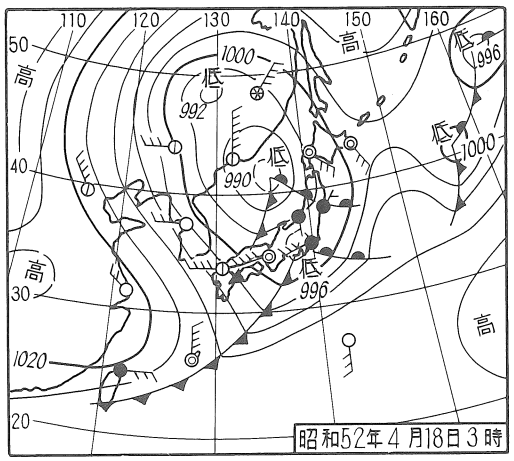
災害番号　114

1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）4月18日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

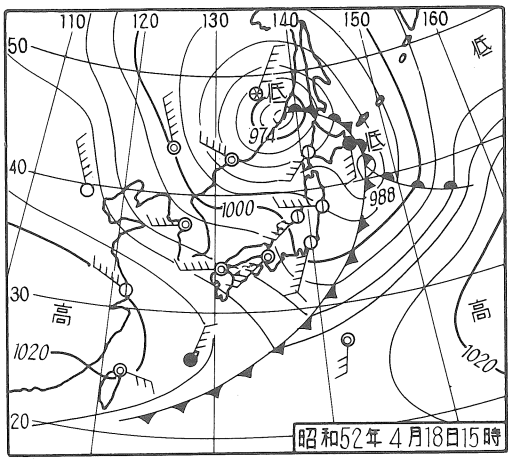
18日，日本海にあった低気圧が急激に発達しながら北上した。一方東シナ海方面から進んで来た低気圧が本州南部を東に進み，18日早朝，千葉県を横断して東海上に出てから急速に発達した。低気圧の通過とともに全国的に強風が吹き荒れ，県内でも南よりの強風が卓越した。

千葉における極値表　4月18日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
千葉	993.8	18. 10. 30	SSW	20.0	18. 15. 30	SSW	27.9	18. 15. 10



地上天気図



地上天気図

5. 被害

八千代市内の工場で，強風で飛ばされた木製すのこが荷下し中の作業員の頭に当り，1名が死亡した。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，速報天気図。

災害番号　115

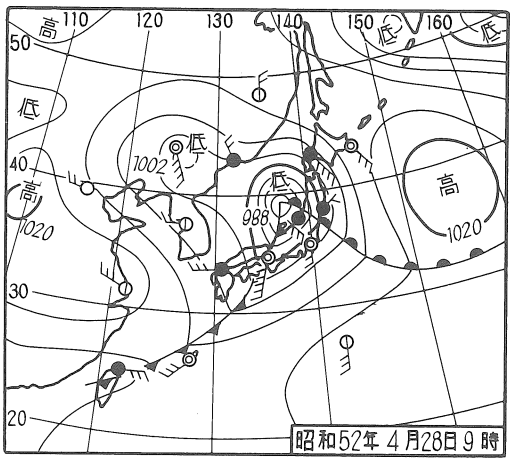
1. 災害の種類(名称)　強風（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）4月28日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

27日，東シナ海北部にあった低気圧が，28日は日本海で発達した。この低気圧に吹き込む南よりの風が強まった。

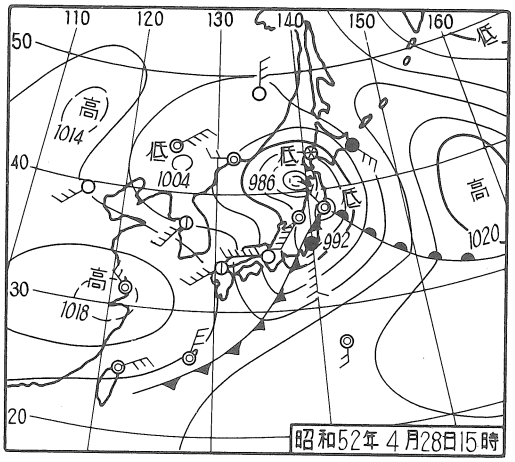
千葉における極値表

4月28日

要素 / 官署	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
千葉	992.4	28. 16. 00	SSW	20.9	28. 15. 30	SSW	31.3	28. 14. 40



地上天気図



地上天気図

5. 被害

午後1時頃，浦安沖で鋼材運搬船が強風のため転覆し，乗組員2名が行方不明となり，1名は船内に閉じ込められて救助されたが，他の1名は5月6日朝君津郡袖ヶ浦沖合で水死体で収容された。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図

災害番号　116

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）6月20日～28日
3. 災害原因　震度3
4. 概況

6月20日から始まった千葉県東方沖の地震で，28日までの有感地震は勝浦で23回に達した。今回の震源域には，昭和46年，同48年1月～2月，同49年5月にも地震の群発したことがある。この地域の地震は，一旦発生すると10日～15日位継続することが多く，活動の始め頃に大きな地震の起る特性がある。今回の地震も6月22日，午後4時11分に起きた地震(M：5.1銚子II）が最大で，その後小地震が起きており，過去の地震の群発とよく似た経過をたどった。

震度回数表(回)　6月20日～28日

震度	勝浦	館山	銚子	千葉
1	12	4	4	1
2	6	3	1	0
3	5	1	0	2

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード	震央距離
6月22日16時11分	千葉県東方沖	35°18′	140°30′	20 km	5.1	41.5 km

5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震火山概況，有感地震資料

災害番号　117

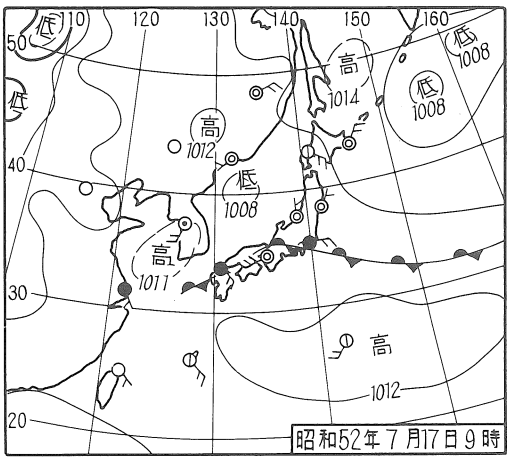
1. 災害の種類(名称)　落雷・大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）7月17日～19日
3. 災害原因　前線・上層寒気
4. 気象概況

13日，関東・甲信地方は「ツユ」が明け，梅雨前線は北上していたが，17日は上層寒気に押され，梅雨前線が南岸まで下って来た。この前線と上層寒気により，県内では午前中に激しい落雷を伴う降雨に見舞われた。

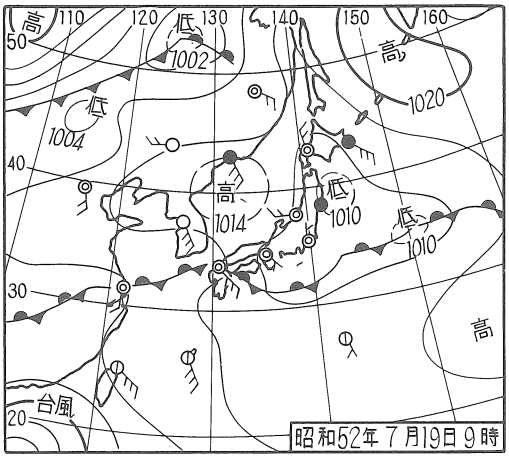
19日も上層寒気の影響で早朝から雷雨が発生し，局地的に大雨となった。

館山における極値表(mm)　7月17日

要素 / 官署	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分
館山	5.0	10. 30	22.5	11. 10	27.5	17.	27.5	10.00～12.00



地上天気図



地上天気図

5. 被害

17日，館山市内の小学校に落雷し，木造平屋建瓦葺の校舎437㎡を全焼したが，日曜日だったため生徒への被害は免がれた。

19日，落雷や大雨のため成田線が85本運休し，四街道町では民家7戸が床上浸水した。また，同日夕刻一宮町では農婦が落雷のショックにより死亡した。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部

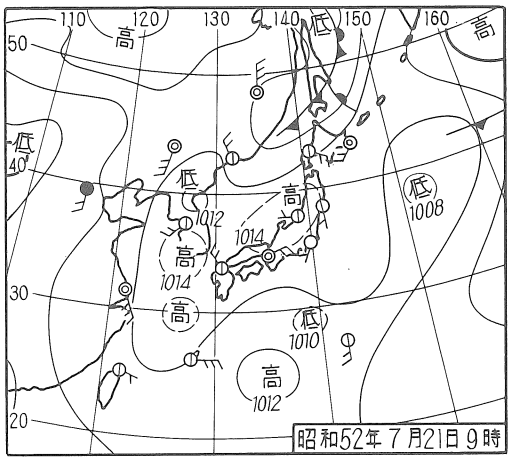
災害番号　118

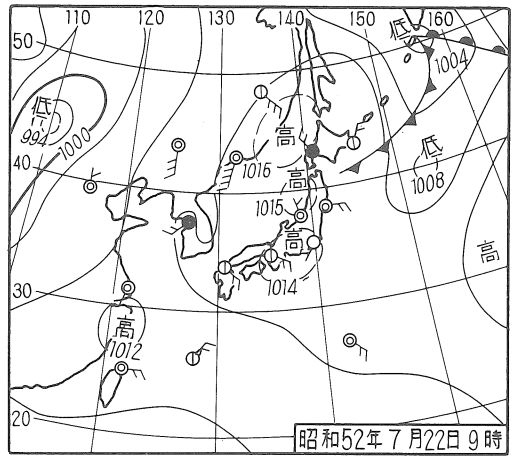
1. 災害の種類(名称)　無降水
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）7月21日～8月6日
3. 災害原因　夏型気圧配置持続
4. 気象概況

7月21日から8月6日にかけて，日本付近は夏型の気圧配置が続き，暑い晴天となった。銚子ではこの間，雨らしい雨は降らず，無降水最大継続日数は17日間も続き，7月としては明治20年以来の第2位の記録となった。尚，7月の県内の降水量は，印旛方面で平年より約20㎜多かった他は，約40～140㎜も平年より少なく，特に県南部では100～140㎜も少なかった。

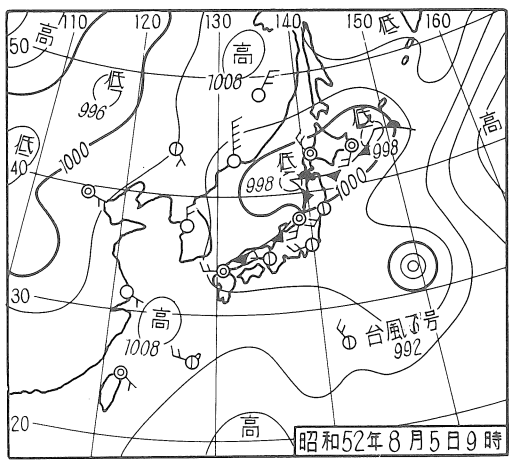
無降水最大継続期間(日)　統計：1887年～

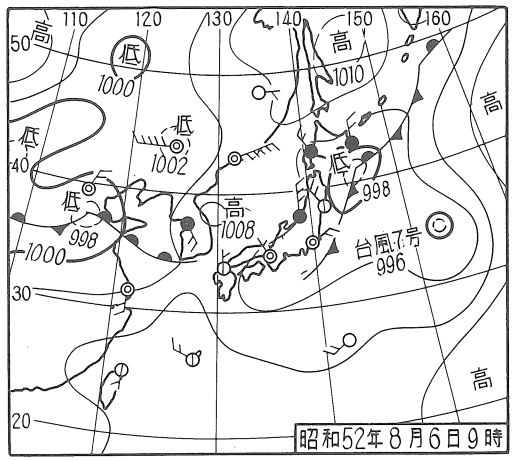
官署	第1位		第2位		第3位	
	日数	起年期間	日数	起年期間	日数	起年期間
銚子	18	1898. 7. 14 ～ 7. 31	17	1977. 7. 21 ～ 8. 6	16	1964. 7. 22 ～ 8. 6



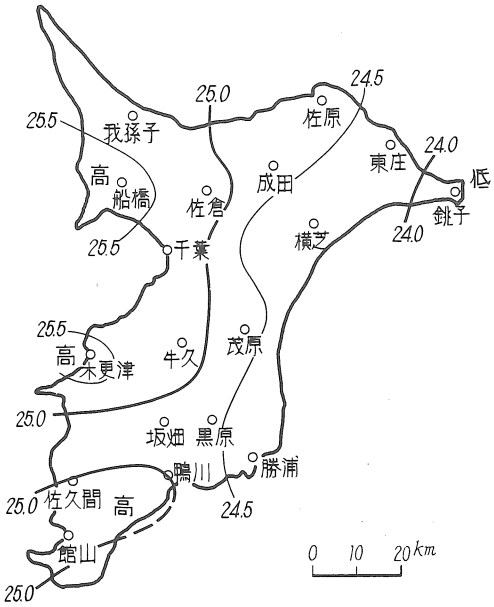


地上天気図

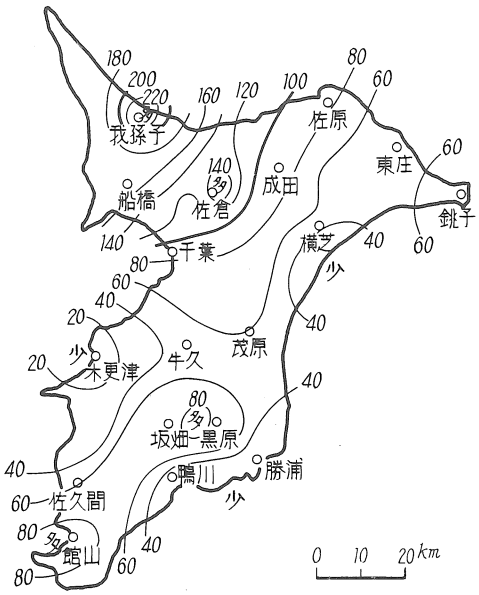




地上天気図



県内月平均気温分布図(℃)
昭和52年7月



県内降水量分布図(mm)
昭和52年7月

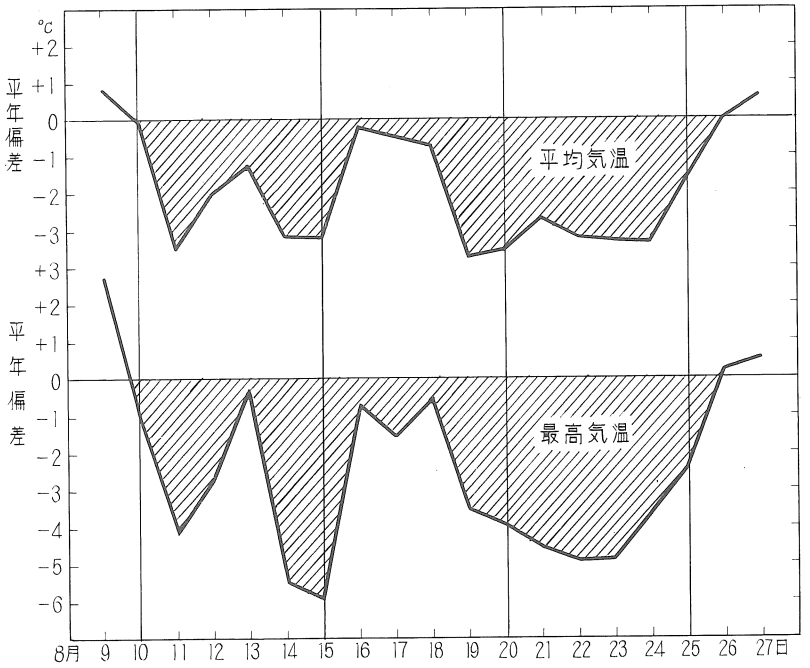
5. 被　害　——

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

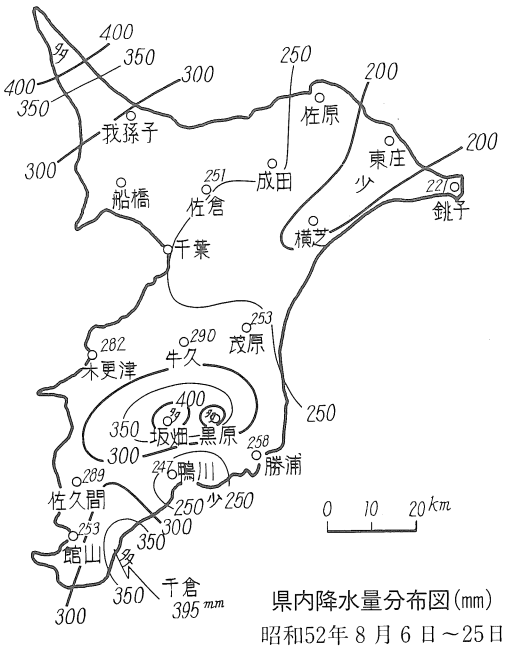
災害番号　119

1. 災害の種類(名称)　長雨・低温
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）8月7日～27日
3. 災害原因　前線・低気圧
4. 気象概況

8月7日から10日にかけて，華北方面から低気圧が東進し，日本海から北日本を通過した。中旬は夏の太平洋高気圧の勢力が例年に比べて弱く，日本の南岸には前線が停滞して前線上を低気圧が次々と通った。このため，日本付近は北方の高気圧の圏内に入り，北日本を中心に冷気が流入した。下旬は，オホーツク海高気圧に支配され，22日～23日にかけて台風が南海上を通り，24日には台風7号が九州に上陸した。このため，中旬から下旬前半にかけては低温と異常な夏の長雨となった。県内の降水量は平年より70～310mmも多くなり，最も少なかった海匝，山武地方でも例年より70～100mmも多かった。特に県南部の丘陵地帯では例年に比べ200～310mmも多くなった。銚子においては7日から20日まで14日間降雨が続き，降水最大継続日数は，明治20年以来の第3位の記録をする異常な夏であった。また，気温は偏差図に示した通り10日～25日までいずれも下まわった。

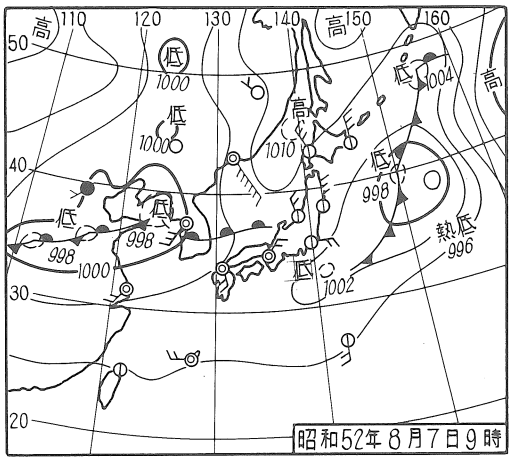


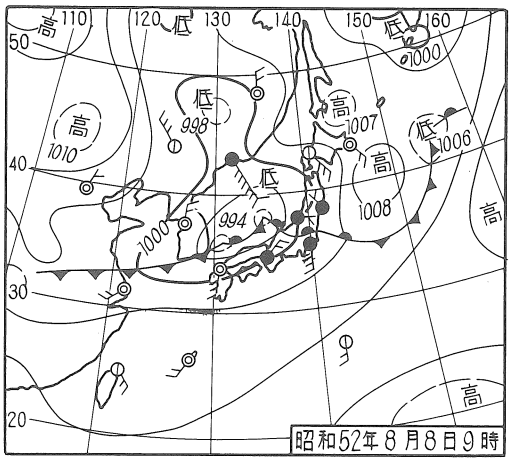
銚子における最高気温・平均気温の平年差図
昭和52年8月9日～27日

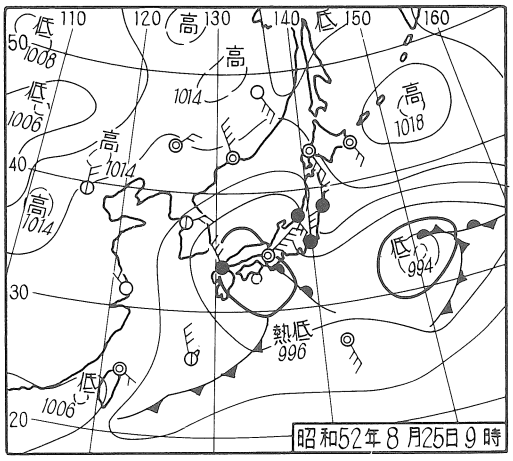


県内降水量分布図(mm)

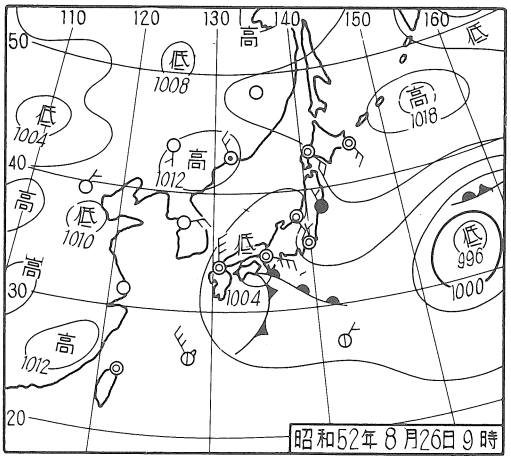
昭和52年８月６日～25日







地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

地域気象観測所降水量表 (mm)

昭和52年8月

地名 / 日	佐原	我孫子	東庄	佐倉	成田	銚子	横芝	千葉	茂原	木更津	黒原	佐久間	鴨川	勝浦	館山
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	—	4	—	2	—	2	3	5	3	3	—	—	—	—	—
8	5	12	2	3	3	1	2	2	1	2	—	3	1	1	2
9	—	1	3	1	1	10	4	2	18	10	2	4	3	2	2
10	7	—	—	2	3	—	1	4	1	3	3	3	4	1	4
上 旬	12	19	5	8	7	13	10	13	23	18	5	10	8	4	8
11	11	3	6	5	10	7	2	3	7	6	6	3	1	2	4
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
13	12	21	9	15	17	5	11	16	33	17	37	24	20	14	16
14	**55**	**70**	**50**	**66**	45	19	31	**50**	35	48	42	28	36	30	27
15	25	27	28	14	5	20	2	12	5	9	11	—	3	12	1
16	46	18	28	21	48	19	**41**	23	26	32	35	45	39	18	51
17	38	47	21	56	**60**	**60**	**32**	**50**	34	36	49	55	35	25	**59**
18	35	54	8	39	16	25	5	40	8	48	22	55	19	16	33
19	28	22	22	23	25	51	25	36	**82**	**69**	**143**	**79**	**84**	**137**	53
20	—	—	1	—	1	2	1	—	1	—	1	—	—	—	—
中 旬	250	262	173	239	227	208	150	230	231	265	346	289	238	254	245
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	6	8
22	5	—	—	2	8	3	1	7	3	10	31	10	12	66	18
23	15	4	10	6	16	10	5	8	16	7	38	13	6	36	—
24	5	1	7	1	4	7	3	—	1	2	5	3	—	4	1
25	5	—	7	4	8	—	5	3	2	2	4	5	1	4	6
26	9	5	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
下 旬	39	10	24	14	36	20	14	22	22	21	78	33	21	116	33
月合計	301	291	202	261	270	241	174	265	276	304	429	332	267	374	286

5. 被　害

異常低温と夏の長雨により，県内の農作物の被害は約21億円にも達した。(別表)

6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

県農林部農産課

長雨による水稲被害状況

農産課

支庁名	調査月日	倒伏 多(71%以上)	倒伏 中(31～70)	倒伏 少(0～30)	倒伏 計 ha	穂発芽 多(21%以上)	穂発芽 中(11～20)	穂発芽 少(0～10)	穂発芽 計	冠水	被害面積	刈取面積 ha	作付面積 ha	備考
千葉	8. 22				510				100	35				文書にて市町村，農協を通じ農家へ技術対策の徹底
	8. 25	100	410	0	510		40	100	140	−		刈始め	7,300	
	8. 30													
君津					610				20	10				有線，農協，普及所，営農指導員を通じ農家に技術対策の徹底
		230	685	570	1,485	45	110	220	375	43		700	9,100	
安房					1,300									普及所，農協を通じ農家へ技術対策の徹底
		486	975	160	1,621			43	43	44		刈始め	7,170	
夷隅					906				954	91				有線及び文書にて農家に技術対策の徹底
		174	510	407	1,091	57	127	1,158	1,342	0		322	5,970	
長生					1,253									普及所，農協を通じ農家へ技術対策の徹底
		250	500	728	1,478	30	175	330	535	258		612	7,770	
山武					650				1					有線及び文書にて，市町村，農協，農家に技術対策の徹底
		114	200	501	815			213	213			100	10,950	
海匝					88									広報車を利用し農家に徹底
		32	102	405	539		1	788	789			61	8,690	
香取					709					30				普及所，農協を通じ農家へ技術対策の徹底
		112	258	650	1,030	110	314	619	1,043	14		42	15,300	
印旛					75				20					広報車を利用し農家に徹底
		13	33	213	259	2	10	66	78			4	10,250	
東葛										35				普及所，市町村を通じ技術対策の徹底
			3		3					0		0	5,500	
計	8. 22				6,101				1,095	201				
	8. 25	1,511	3,676	3,634	8,821	244	777	3,537	4,558	359		1,841	88,000	
	8. 30													

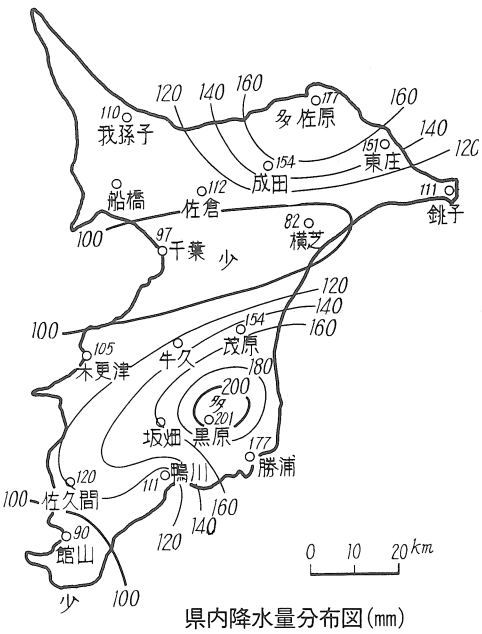
災害番号　120

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）9月19日
3. 災害原因　台風11号
4. 気象概況

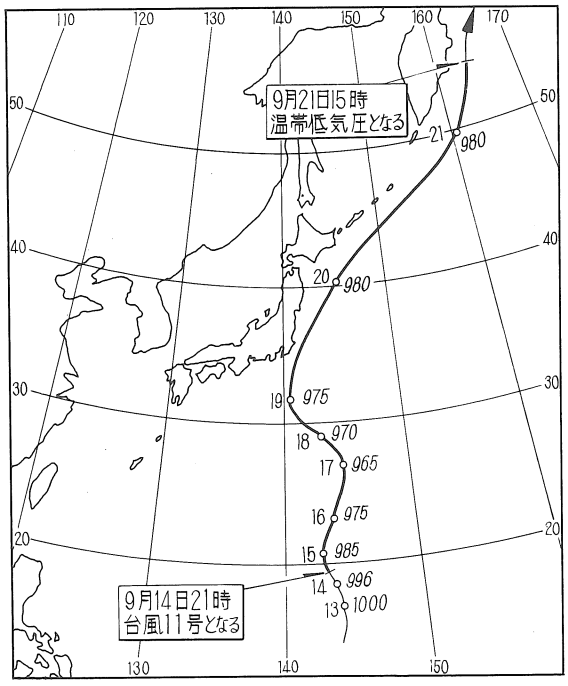
9月14日夜，マリアナ諸島の北西海上に発生した台風11号はゆっくり北上を続け，17日父島の東方に達した時は中心気圧も965mbを示した。その後幾分弱まりながら北西に進み，鳥島の北に達してからは北々東に進路を変え，速度を増して銚子沖約40kmの海上を通り三陸沿岸沿いに北上した。この台風が接近した19日午前3時頃から午後9時すぎにかけて，県内では時々強く降り，県南部の丘陵地帯や県北部で降水量が多くなった。尚，台風が東海上を通ったため，風はそれ程強まらなかった。

県内官署の極値表　昭和52年9月18日～20日

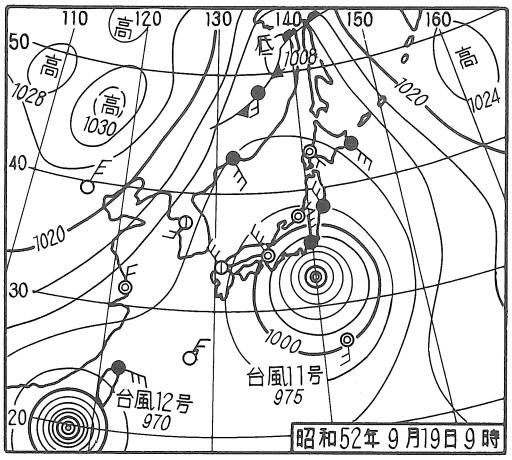
要素＼官署	銚子		館山		千葉		勝浦	
	値	起日時	値	起日時	値	起日時	値	起日時
最低気圧(海面)mb	982.7	19. 20. 25	986.2	19. 15. 50	988.4	19. 18. 20	984.1	19. 17. 40
最大風速(10分平均)m/s	NW15.4	19. 23. 30	NNW11.4	19. 17. 10	NW 12.5	19. 19. 00	N 10.7	19. 18. 00
最大瞬間風速m/s	NW27.5	19. 23. 25	NNW23.4	19. 17. 50	NW 22.8	19. 18. 40	NNW 24.5	19. 20. 10
1時間最大降水量 mm	21.5	19. 21. 10	15.5	19. 15. 10	10.5	19. 04. 20	25.5	19. 07. 30
10分間最大降水量 mm	8.0	19. 20. 55	5.5	19. 14. 30	4.0	19. 12. 50	10.0	19. 07. 25
総降水量 mm	110.5	19. 00. 00 20. 01. 15	90.5	19. 00. 50 19. 21. 20	97.0	18. 10. 40 19. 23. 40	177.0	18. 09. 20 19. 22. 50



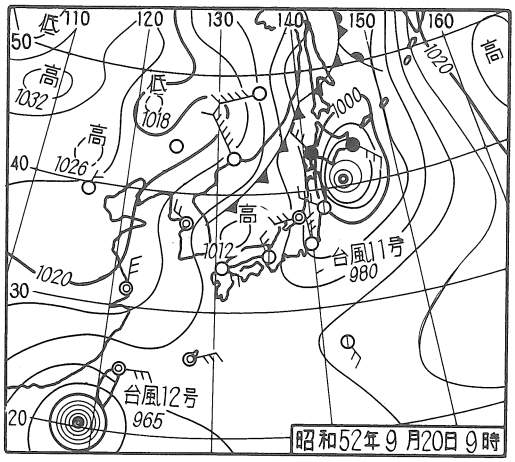
県内降水量分布図(mm)
昭和52年9月18日～20日



台風経路図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害

負傷者 3 名，家屋半壊 1 戸，床上浸水 2 戸，床下浸水151戸，道路損壊14ヶ所，がけ崩れ11ヶ所

なお，農林関係被害総額は約 3 億 7 千万円にのぼった。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，台風経路図，印刷天気図，県警察本部，県農 林部

災害番号　121

1. 災害の種類(名称)　強風・大雨（旋風）
3. 災害発生年月日(期間)　昭和52年（1977年）11月17日
3. 災害原因　前線・低気圧
4. 気象概況

16日，東シナ海に停滞していた前線上に低気圧が発生し2ツ玉低気圧となって，17日午前3時には日本海と紀伊半島付近に進んで来た。この低気圧から東にのびる前線が，関東の南海上に達していたが，低気圧の東進に伴い北上した。勝浦市では午前6時頃から南よりの風と雨が強まり，これに伴う局地的な旋風が発生した。

最大値　統計：1906

官署	最大風速		最大瞬間風速		1時間降水量	
	風向，風速	起日時分	風向，風速	起日時分	降水量	起日時分
勝浦	SSW13.7m/s	17. 06. 10	S 23.3m/s	17. 04. 40	18.0 mm	17. 12. 30

1時間降水量の最大(mm)　統計：1912

官署	第1位		第2位		第3位	
	降水量	起年月日	降水量	起年月日	降水量	起年月日
銚子	51.3 mm	1977. 11. 17	41.3 mm	1954, 11. 28	38.1 mm	1959. 11. 6

日降水量の最大(mm)　統計：1966

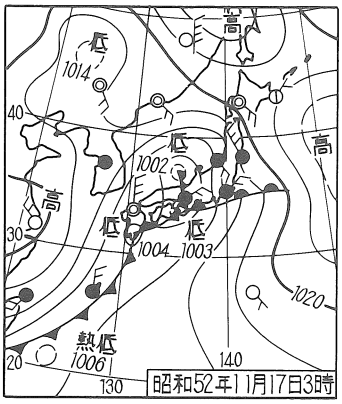
官署	第1位		第2位		第3位	
	降水量	起年月日	降水量	起年月日	降水量	起年月日
千葉	73.5 mm	1977. 11. 17	69.5 mm	1970. 11. 20	61.0 mm	1973. 11. 10

最大瞬間風速(m/s)　統計：1966

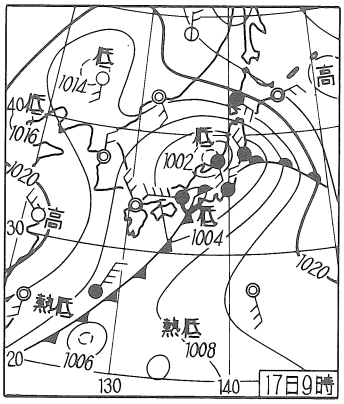
官署	第1位		第2位		第3位	
	風向，風速	起年月日	風向，風速	起年月日	風向，風速	起年月日
千葉	W 33.8m/s	1977. 11. 17	SSW27.4m/s	1973. 11. 17	SSW26.5m/s	1968. 11. 10

銚子の降水量表(mm)　11月16日～18日

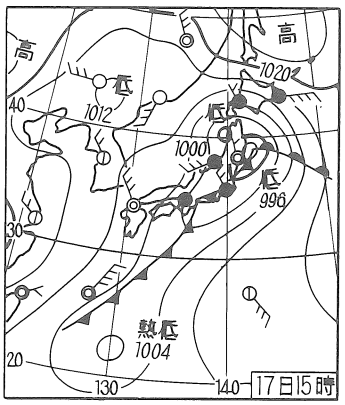
観測所	種目	観測値mm	起時
銚子	総降水量	122.0 mm	16. 13. 20 ～ 18. 08. 30
	日降水量最大	89.5 mm	17. 24
	24時間降水量最大	112.0 mm	17. 17
	1時間降水量最大	51.5 mm	17. 07. 10
	10分間降水量最大	12.5 mm	17. 06. 50
茂原	総降水量	151.0 mm	16. 15. 00 ～ 18. 02. 00



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

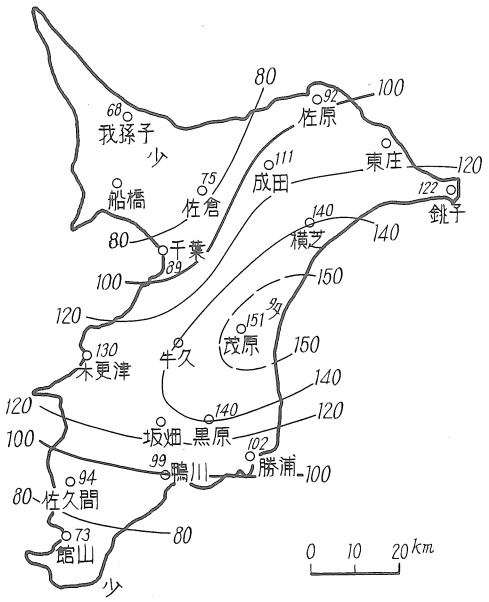


地　上　天　気　図

5．被　　害

局地的な旋風のため，勝浦市鵜原保育所の木造平家建の屋根400m²が飛ばされたほか，窓ガラスの破損等の被害を出した。また，近くの鵜原港でも綱で固定してあった小舟が数mも飛ばされるなど12隻に被害があった。

6．資　　料　　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図

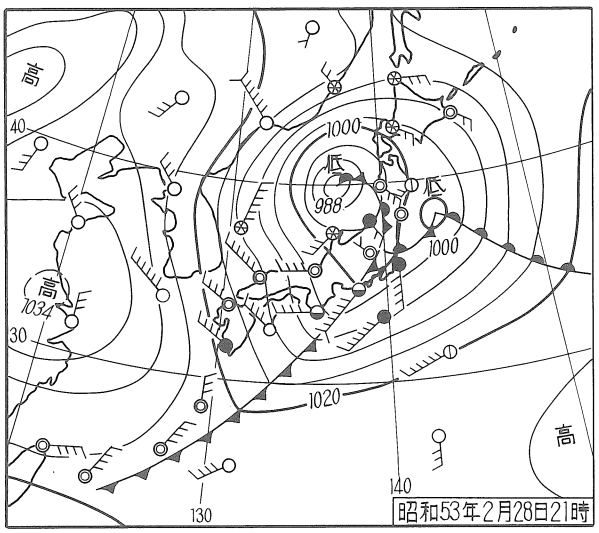


県内総降水量分布図
昭和52年11月17日～19日

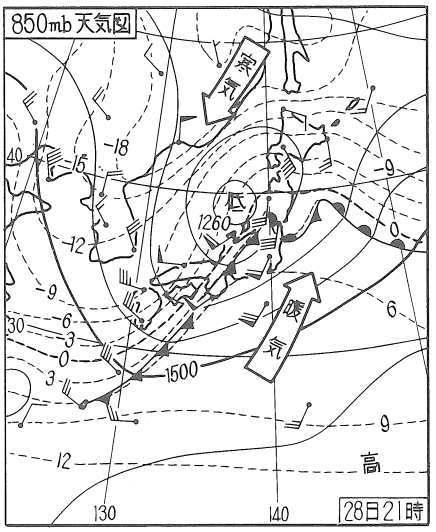
災害番号　122

1. 災害の種類(名称)　ひょう・たつ巻
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）2月28日
3. 災害原因　前線・低気圧（春一番）
4. 気象概況

28日は，日本海で低気圧が発達し「春一番」となった。西日本では朝から強い南風が吹き，全国的に荒れ模様となった。850mb（上空約1,500m）天気図が示す通り，南から暖気が入り沿海州方面には寒気が入っているため，日本海の低気圧は更に発達し，同夜には秋田沖に達して988mbを示した。この低気圧からのびる前線が関東地方を通過した。この前線の通過の際，所々で突風が吹き，午前9時34分頃，荒川鉄橋で東西線の後部2輌が横転した。千葉県内でも前線通過の際突風や降ひょうを伴い，さらにたつ巻が発生した。また，午後9時頃から10時にかけ約5分位房総中部の市原市，長生郡，安房郡の市町村の一部でピンポン玉大の降ひょうがあった。更に銚子でも午後10時頃，4～5分の間に親指大のひょうが降った。



地上天気図



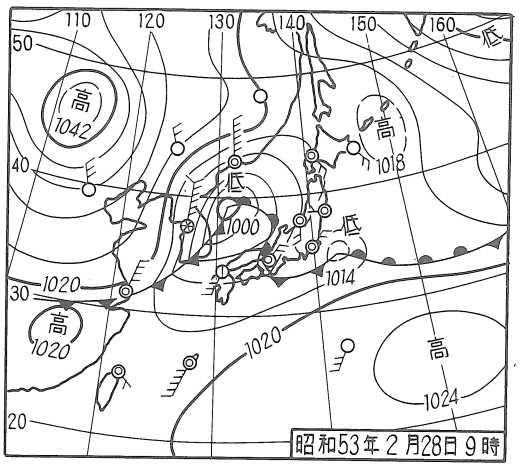
高層天気図

県内気象官署及び郊外観測所の極値表　53年2月28日～3月1日

観測所＼要素	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	992.8	1.03 00	SSW	15.4	28.23.00	SW	29.3	28.23.50
館山	995.7	28.24 00	SW	10.9	28.22.50	SW	27.4	28.23.00
千葉	993.4	1.02 20	S	20.7	28.23.20	S	31.0	28.23.20
勝浦	－	－	SSW	19.2	28.23.50	SSW	32.9	28.23.40
船橋消防署						×	24.0	28.23.26
鎌ヶ谷消防署						(SE)	24.0	28.21.30
鎌ヶ谷航空基地						×	28.0	28.22.00

5. 被　害

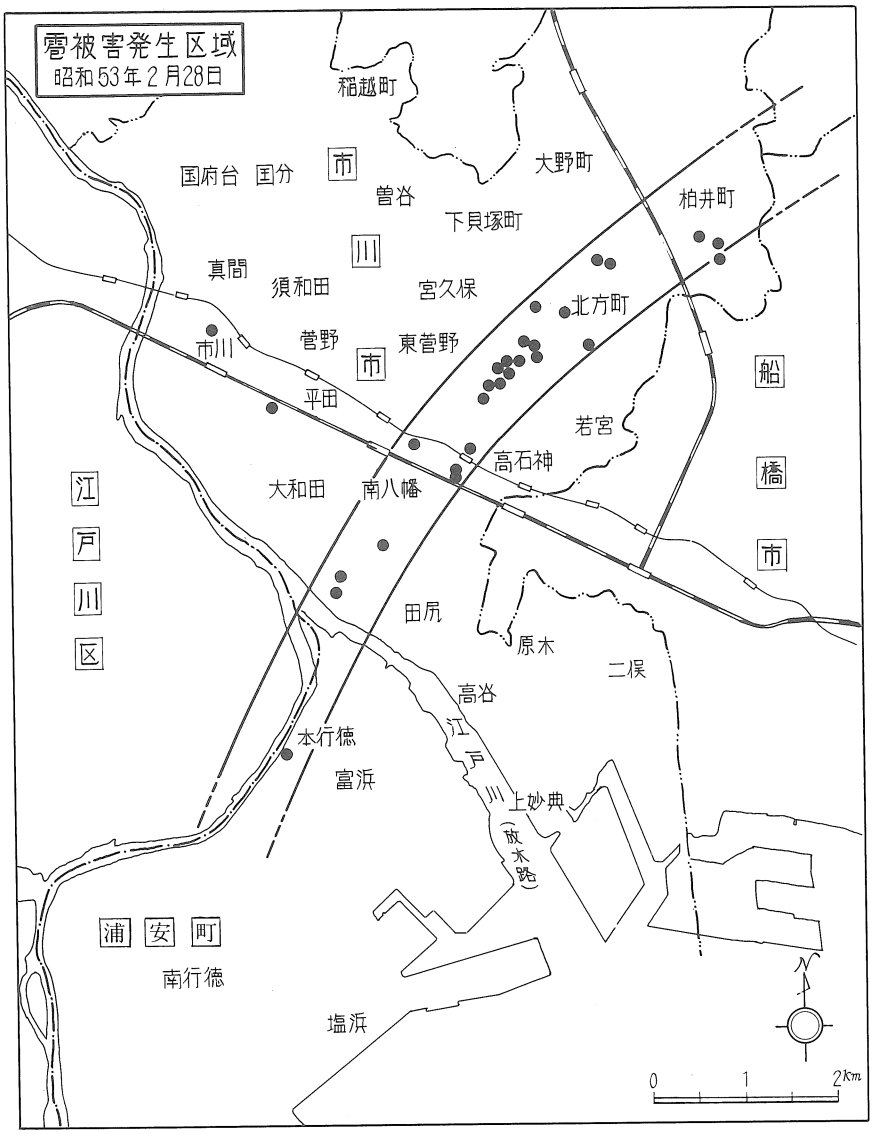
たつ巻が発生した市川市を中心に，県西部で家屋の倒壊，電信電力線等に被害が出た。また，銚子方面でも降ひょうのため，ビニールハウス等に被害が発生した。



地　上　天　気　図

被　害　一　覧　表

種別＼地域	市川市	鎌ヶ谷	備考
負傷者	1（1）		無印 … 県警
校舎全壊	1（1）		（ ） … 市川市依頼
校舎半壊	1（1）		〔 〕 …県消防防災課
非住家全壊	（9）		
住家屋根破損	48（86）	〔17〕	
住家窓硝子破損	（3）		
住家雨もり	14		
立木倒れ	2（5）		
工事現場（タンク）	（1）		
工事現場（シート）	（1）		
電線切れ	2（6）		
自動車	2（1）		
鉄道	2		
その他	（5）		
罹災世帯	74		



降雹経路図

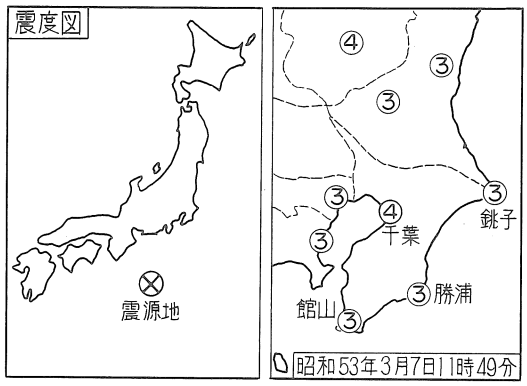
6. 資　料　千葉県気象年報,千葉県気象月報,異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　123

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）3月7日
3. 災害原因　震度4
4. 概況

7日午前11時49分頃，関東甲信越から東北地方に地震を感じた。震源地は東海道のはるか沖で千葉で震度4，銚子，館山，勝浦で震度3であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
3月7日11時49分	東海道はるか沖	32°08′	137°44′	400 km	M6.7～7.0



震源地及び震度図

5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震火山概況，被害地震の表と震度分布図

災害番号　124

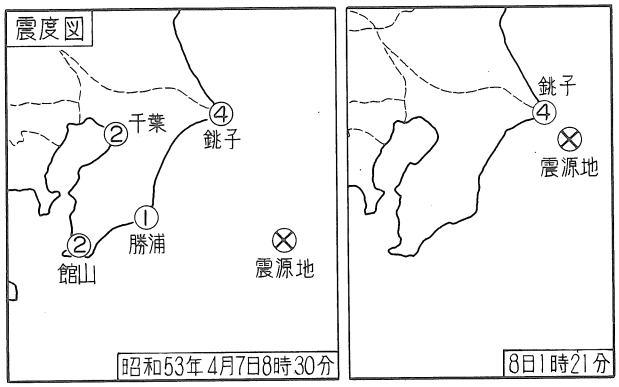
1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）4月7日～8日
3. 災害原因　震度4
4. 概況

〔1〕7日午前8時30分頃の地震，震源地は千葉県東方沖で銚子で震度4，千葉・館山で震度2，勝浦で震度1であった。この地震で総武本線（銚子―成東間）で地震の直後から時速25km/hの徐行運転をした。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
4月7日08時30分	千葉県東方沖	35°00′	141°18′	40 km	M 6.1

〔2〕8日午前1時21分頃，小区域の地震，震源地は千葉県東方沖で銚子で震度4であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
4月8日01時21分	千葉県東方沖	35°36′	141°00′	40 km	M 4.8



震源地及び震度図

5. 被害　――
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震津波概況

災害番号　125

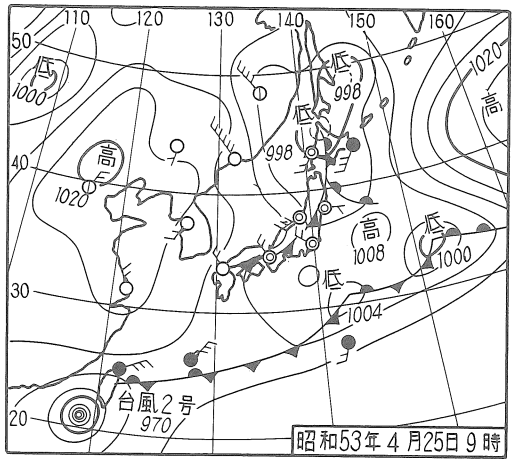
1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）4月25日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

25日，北海道方面を低気圧が通り，これに伴う顕著な寒冷前線が本州を通過した。この前線の後面にはかなり冷たい空気が流れ込んでいたため，前線に沿って所々雷雲が発達し所々雷雨となった。午後2時頃から3時過にかけ，県内を西から東へ通過し，その際雷雨や降ひょうの状況は，柏，我孫子，流山等の東葛地方では午後2時頃から5分間位，小指大～親指大の降ひょうがあった。また，銚子でも午後3時10分から15分過ぎまで雷雨とともに，小豆大のひょうを観測した。なお，上層に寒気が入っていたため前線の通過とともに，気温は一気に7～8℃も下った。

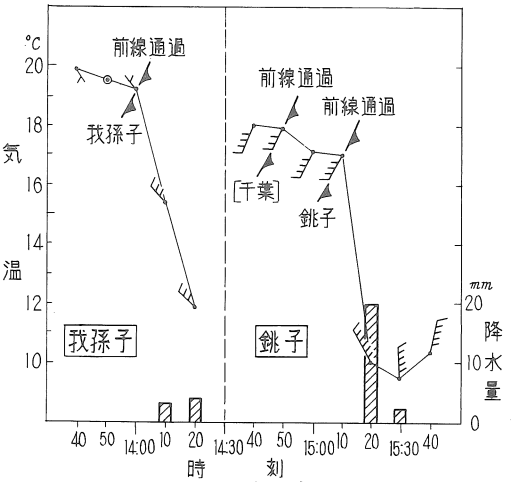
銚子・我孫子の気象表

種目／観測所	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	気温 ℃	降水量 mm	備考
我孫子	25.13.40	SSE	1	19.9	−	
	13.50	−	0	19.5	−	
	14.00	NW	1	19.2	−	1400 ▲▲▲ 前線通過
	14.10	NW	4	15.4	3	
	14.20	NW	4	11.9	4	

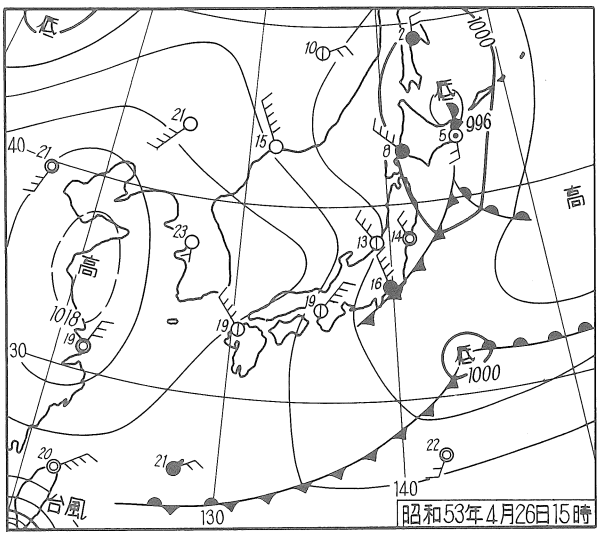
種目／観測所	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	気温 ℃	降水量 mm	備考
銚子	25.14.40	SSW	5	18.0	−	1440▲▲▲SW 10.0 N(千葉)
	14.50	SSW	4	17.9	−	
	15.00	SSW	4	17.1	−	
	15.10	SSW	6	17.0	−	1510 ▲▲▲SSW 23.2 N
	15.20	NNW	12	10.0	10	
	15.30	N	10	9.5	2	
	15.40	NNE	8	10.4	−	



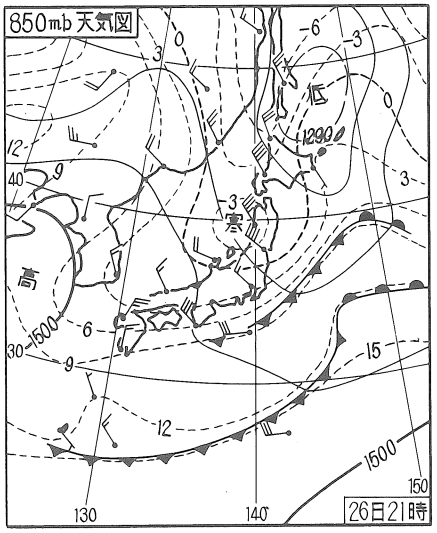
地　上　天　気　図



前線通過時の諸元



地　上　天　気　図



高層天気図（850 mb）

5. 被　害

降ひょうによる被害は，東葛地方特産のねぎを主に，その他被害を含め被害総額は30,532万円に達した。

被　害　表

市場所	被害面積ha	被害額・千円
柏　市	87.62	243,600
我孫子市	16.0	38,720
流山市	32.0	23,000

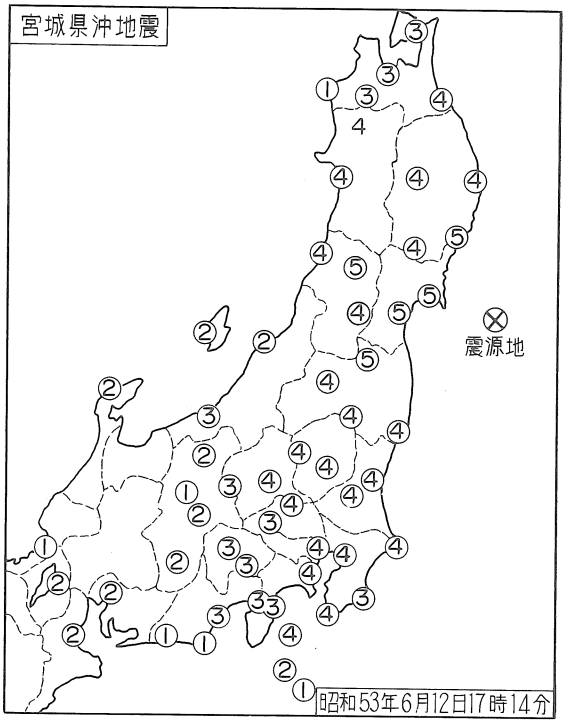
6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図，県農政課，京葉地帯の気候と気象災害（昭和57年10月，p. 52）

災害番号　126

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）6月12日
3. 災害原因　1978年宮城県沖地震
4. 概況

12日午後5時14分頃，近畿地方の一部から北海道にかけて強い地震を感じた。震源地は宮城県沖で，仙台，大船渡・新庄・福島・石巻で震度5を記録，死者28名，負傷者1,325名，家屋全壊1,183戸など東北地方を中心に大きな被害が発生し，1978年宮城県沖地震と命名された。なお，千葉県では銚子，千葉，館山で震度4，勝浦で震度3であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
6月12日17時14分	宮城県沖	38°09′	142°10′	40 km	M 7.4



震源地及び震度図

5. 被害　——
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，地震原簿，地震火山概況，被害地震の表と震度分布図

災害番号　127

1. 災害の種類(名称)　大雨・雷
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）7月8日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

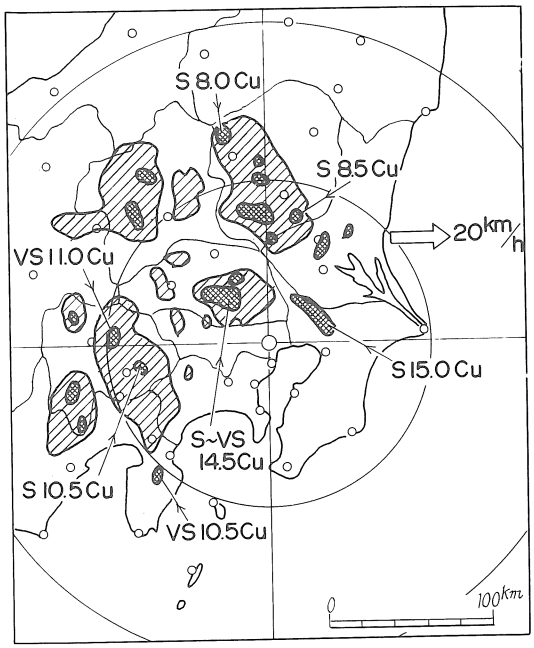
8日は，北海道方面を通った低気圧に伴う前線が本州を南下した。この前線に沿って関東甲信地方に雷雲が発生し、雷を伴った局地的な大雨となった。県内でも午後3時頃から雷を伴った強い雨が降り，特に船橋では1時間降水量が70㎜にも達した。

船橋の極値表　7月8日

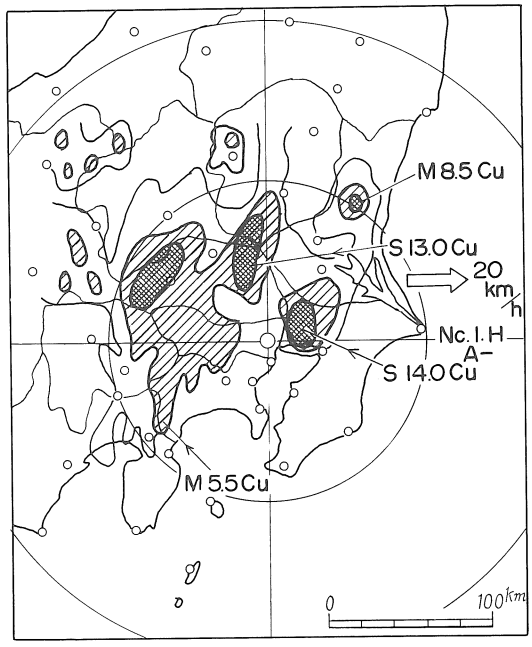
観測種目	観測値	起時
最大風速	SSW7.0m/s	18. 00
総降水量	87.0 ㎜	17.20～21.00
日降水量の最大	87.0 ㎜	24.
24時間降水量最大	87.0 ㎜	21.
1時間降水量最大	70.0 ㎜	18. 00

アメダス毎時降水量表(㎜)　7月8日

時 / 観測所	15	16	17	18	19	20	21	合計
我孫子		26	1	1	3	2		33
船橋				70	12	4	1	87
佐倉				1	3	1		5
千葉				8	7	4	1	20
牛久						2		2



東京レーダー図　7月8日　15時00分

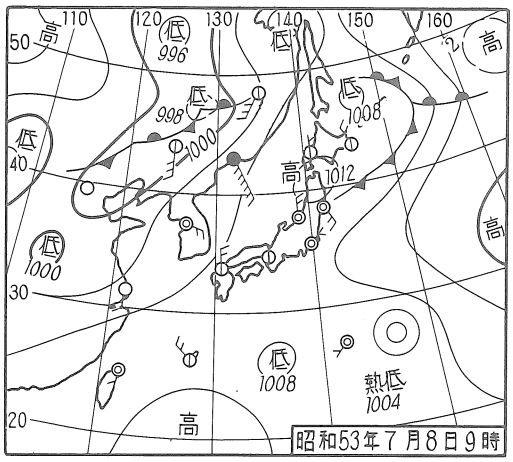


東京レーダー図　7月8日　18時00分

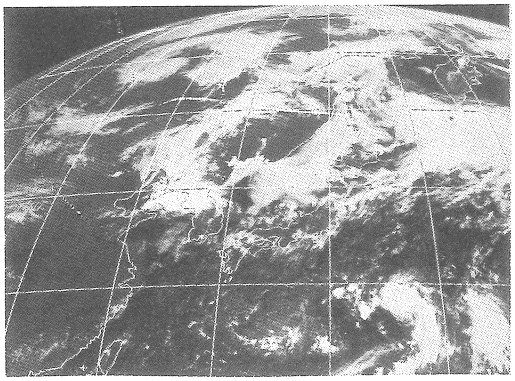
5. 被　害

船橋方面で死亡１名，床上浸水454戸，床下浸水580戸，道路損壊３ヵ所，山がけ崩れ５ヶ所，総武線冠水で８日18時～９日８時まで424本運休，遅れ100本（最高40分）その他，四街道で農作業中の人が落雷のショックで死亡したほか，都市部は電柱のトランスへ落雷するなど9,000戸が１～２時間停電した。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図



地　上　天　気　図



「ひまわり」可視画像　　53年７月８日12時

災害番号　128

1. 災害の種類(名称)　干害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）7月上旬～9月下旬
3. 災害原因　高温・少雨・多照
4. 気象概況

この年は，短い梅雨と暑くて長い夏であった。7月～9月にかけて太平洋の夏の高気圧の勢力が異常に強く，高温，少雨，日照りが続き，県内北部を中心に干バツによる農作物の被害が増大した。県内のツユ入りは平年より2日遅い6月11日で7月4日にはツユ明けとなった。この期間の総雨量は，銚子99.5mm，千葉79.0mm，館山167.5mm，勝浦で176.0mmで県の南部を除いた地方は平年(210～281mm)の半分にも満たない状態であった。また，気温もやや高目に経過した。この傾向は8月に入っても続き，高温，少雨，多照などの多くの記録を更新した。9月上旬から中旬の気温，日照は平年並に戻ったが、降水量は下旬まで少なかった。また，利根川水系を利用する給水事情も悪化して、8月上旬から取水制限が実施され，8月下旬の20%をピークに、9月末でも10%制限を継続した。

尚，銚子地方気象台では8月25日と9月1日に「高温と少雨に関する情報」を発表し千葉県では8月28日「県農作物干ばつ対策本部」を設置した。

銚子の7月の順位表

順位	高温（月平均気温）	少雨	多照	無降水継続日数（含0.0）	日最高気温の月平均
1	25.5℃ 1942	12.0 mm 1950	306.4h 1924	30日 7.13～8.11 1970	28.7℃ 1942
2	**25.3 1978**	**19.0 1978**	**301.2 1978**	21 7.11～7.31 1969	**28.3 1978**
3	25.0 1930	19.6 1955	279.7 1949	**19 7. 2～7.20 1978**	28.1 1955
統計開始	1914	1950	1899	1887	1915

銚子の8月の順位表

順位	日最高気温	少雨	無降水最大継続日数
1	35.3℃ 1962	7.5 mm 1975	**32日 1978. 8. 2～9. 2**
2	**35.0 1978**	**8.5 1978**	32 1937. 7. 30～8. 30
3	34.5 1942	23.8 1957	29 1964. 7. 22～8. 19
統計	1914～	1950～	1887～

館山の8月の順位表

順位	日最高気温の月平均	多照
1	**31.6℃ 1978**	298.9時間 1975
2	30.7 1973	**297.4 1978**
3	30.6 1974	277.8 1972
統計	1968～	1968～

千葉の8月の順位表

順位	少雨	多照	無降水最大継続日数
1	**10.0mm 1978**	**274.0時間 1978**	**29日間 1978. 8. 2～8.30**
2	17.5 1975	263.6 1975	23 1966. 7. 24～8. 15
3	33.0 1966	229.6 1973	19 1975. 7. 28～8. 15
統計	1966～	1966～	1966～

銚子の7，8月の順位表

順位	7，8月の合計の少雨
1	**27.5 mm 1978**
2	55.6 1933
3	64.1 1942
統計	1887～

5. 被害

この干バツによる農作物等の被害は表に示した通り131億円の巨額に達した。

被害表（千葉県農林部）

※単位：ha, t, 万円

区分 / 支庁	里芋			生姜			甘しょ			落花生		
	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額
千葉	165	1,312	17,581	55	263	13,676				285	126	4,158
東葛	203	1,743	23,356	2	4	208	35	94	1,297	17	13	429
印旛	1,086	6,717	90,007	384	1,714	89,128	391	2,800	35,877	214	107	3,541
香取	498	4,927	66,022	198	1,357	70,564	2,014	15,015	207,435	136	64	2,112
海匝	1	2	27				15	73	1,007	703	475	15,675
山武	535	4,681	62,725	385	2,587	134,524	134	668	9,218	875	434	14,322
長生	44	265	3,551				67	307	4,242	398	250	8,250
夷隅	3	18	241	2	7	364	12	139	2,356	8	4	132
安房	3	29	389	55	333	17,316	3	223	232	43	26	858
君津	113	419	5,615				22	59	759	65	31	1,023
合計	2,651	20,113	269,514	1,081	6,265	325,780	2,693	19,178	262,423	2,744	1,530	50,500

区分 / 支庁	キャベツ			陸稲			ミツ葉			梨		
	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額
千葉	87	877	5,525							120	1,390	22,240
東葛	12	67	422	17	25	703	6	6	155	469	6,357	101,719
印旛				18	27	769	4	6	155	84	378	6,040
香取				4	11	295	12	43	1,109	84	1,045	16,536
海匝	7	181	1,141	1	2	56				14	72	1,152
山武				12	13	367	6	25	645			
長生										43	469	9,249
夷隅										31	581	6,416
安房										9	52	783
君津										7	57	912
合計	106	1,125	7,088	52	78	2,190	28	80	2,064	861	10,401	165,047

区分 / 支庁	ネギ			ゴボウ			大和芋			小計		
	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	被収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額
千葉	85	1,038	17,542							797	5,006	80,722
東葛	255	1,045	17,661							1,016	9,354	145,950
印旛	18	146	2,467	225	1,410	24,393	53	323	1,638	2,477	13,628	254,015
香取				308	2,020	34,946	69	467	23,616	3,323	24,949	422,635
海匝	29	153	2,586	27	124	2,145				797	1,082	23,789
山武	156	1,768	29,879	144	503	8,702	11	23	1,166	2,258	10,702	261,548
長生	100	503	8,501							652	1,794	33,793
夷隅										56	749	9,509
安房										113	463	19,578
君津				7	24	415				214	590	8,724
合計	643	4,653	78,636	711	4,081	70,601	133	813	26,420	11,703	68,317	1,260,263

区分 / 支庁	その他			合計		
	被害面積	減収量	被害金額	被害面積	減収量	被害金額
千葉			3,104			83,826
東葛						145,950
印旛			36,704			290,719
香取						422,635
海匝			1,000			24,789
山武						261,181
長生			3,005			37,165
夷隅			974			10,483
安房			5,817			25,395
君津						8,724
合計			50,604			1310,867

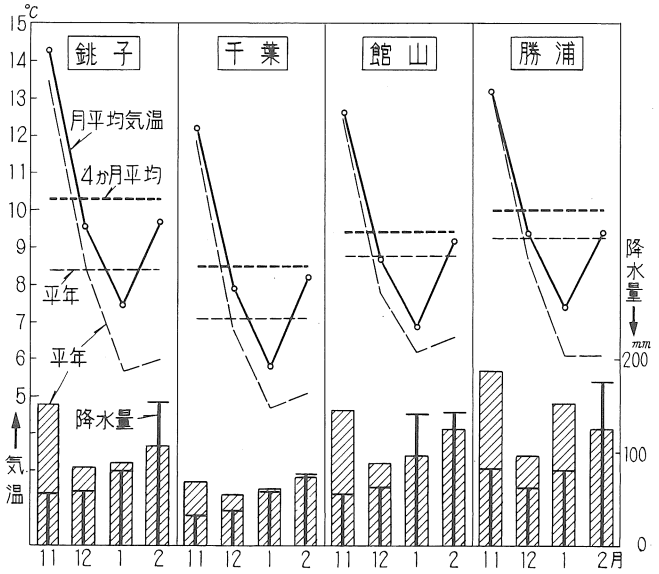
6. 資　料　異常気象報告，千葉県農林部

災害番号　129

1. 災害の種類(名称)　暖冬
2. 災害発生年月日(期間)　昭和53年（1978年）11月～昭和54年（1979年）2月
3. 災害原因　——
4. 気象概況

この冬は，冬型の気圧配置が長続きせず，北海道と沖縄を除く各地で観測史上第1位の高温を記録する温暖な冬となった。このため日本海側で少雪・少雨，太平洋側で多雨であった。

12月は北日本を中心に5回冬型の気圧配置が強まった。特に，19～21日と29～31日の寒気の吹き出しは強く，西日本まで影響して本格的な寒さであった。日本海側もかなりの降雪があり，ほとんどのスキー場は滑走可能になった。



県内各地の気象図

1月になり全国的に高温，8日に金沢では，この季節としては，気象台開設以来初めて異常乾燥注意報を発表。全国的に寒くなったのは14～16日で九州まで雪になり，また，南岸低気圧が2回とおり，東海～関東で大雪が降った。

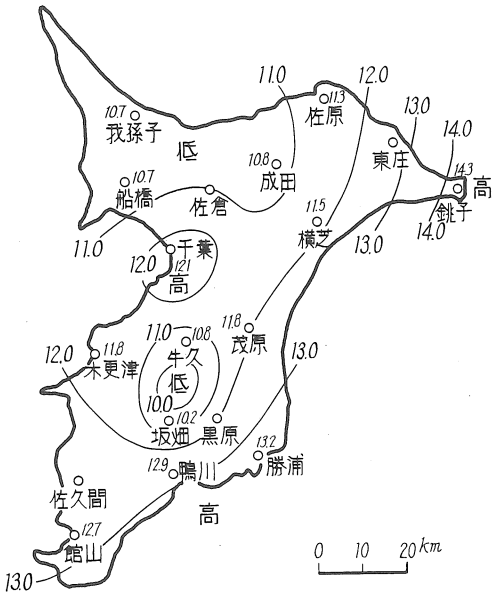
2月は発達した低気圧がとおり，荒れ模様の日が多かったが，高温が目立った。

千葉県では，11月から2月までの平均気温は1～2℃高く，特に2月の月平均気温は3

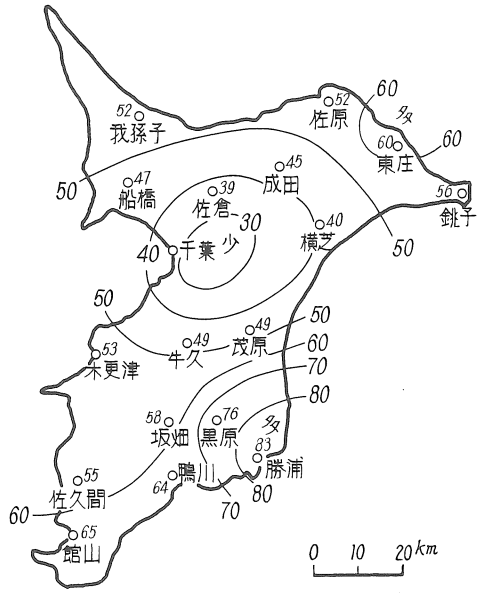
県内官署の気象表

月 / 項目 / 地名	11		12		1		2		11～2	
	平均気温 ℃	降水量 mm	平均気温 ℃	降水量 mm	平均気温 ℃	降水量 mm	平均気温 ℃	降水量 mm	平均気温 ℃	降水量 mm
銚子	14.3	56	9.6	59	7.5	80	9.7	154	10.3	348
平年差	＋0.8	−96	+11	−25	+1.8	−9	+3.7	+49	+1.9	81%
千葉	12.2	32	7.9	37	5.8	59	8.2	76	8.5	203
平年差	＋0.3	−37	+1.1	−19	+1.1	−1	+3.1	＋2	+1.4	79%
館山	12.7	65	8.7	63	6.9	142	9.2	144	9.4	413
平年差	＋0.2	−81	+0.9	−25	+0.7	+45	+2.6	+19	+0.6	91%
勝浦	13.2	83	9.4	63	7.4	153	9.4	176	10.0	475
平年差	±0.0	−104	+0.7	−34	+1.3	+72	+3.3	+68	+0.7	100%

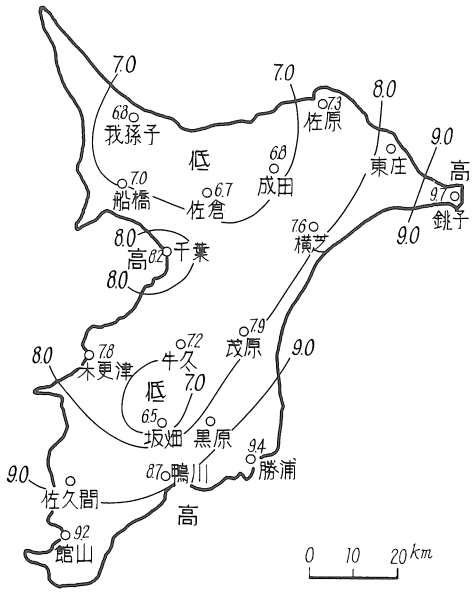
～4℃も高くなり，銚子を始め，館山，千葉，勝浦では創立以来の高温の記録となった。また，降水量は各地共2月に多くなったが，この冬としては勝浦を除いてやや少なかった。



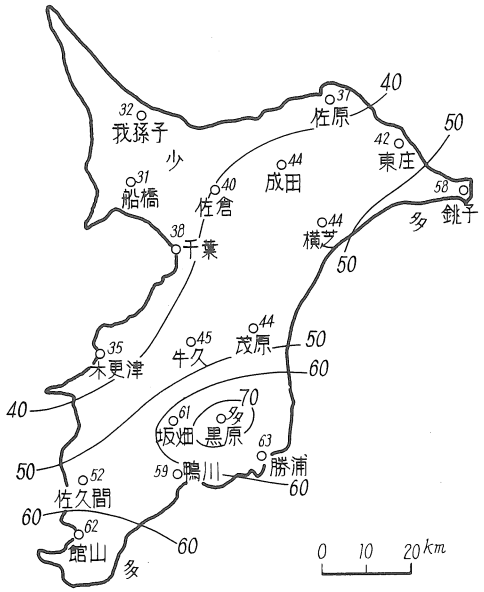
県内月平均気温(℃)　11月



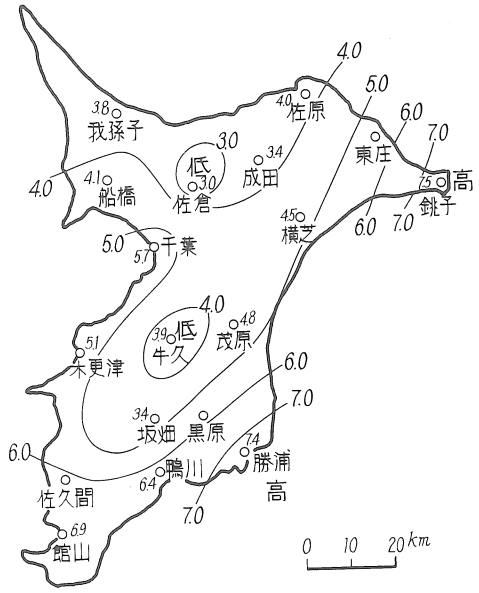
県内月降水量(mm)　11月



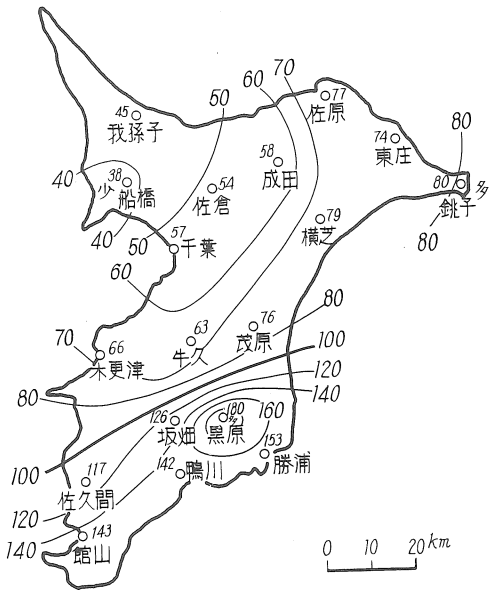
県内月平均気温(℃)　12月



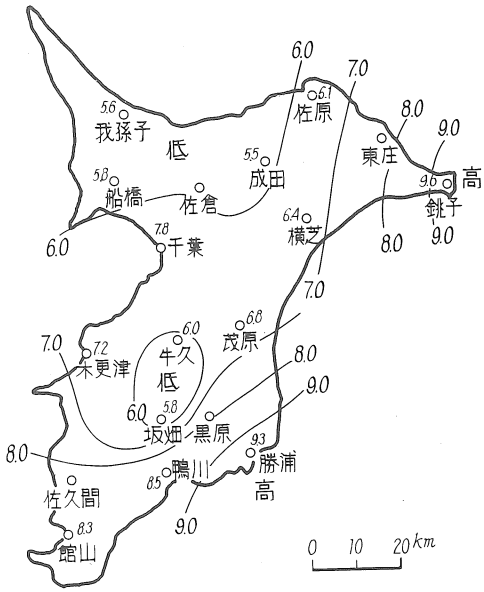
県内月降水量(mm)　12月



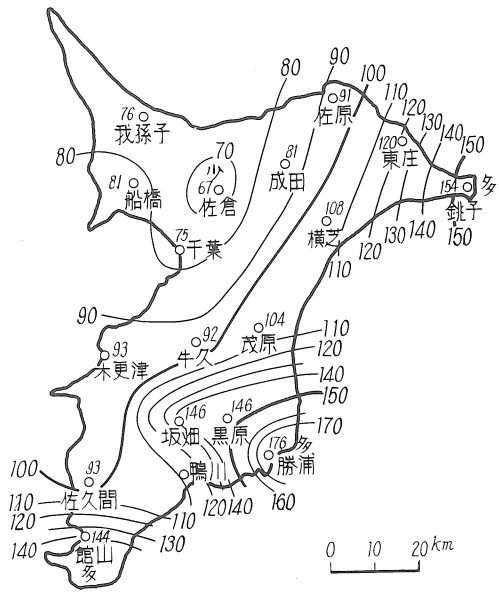
県内月平均気温(℃)　1月



県内月降水量(mm)　1月



県内月平均気温(℃)　2月



県内月降水量(mm)　2月

5. 被　害

今回の暖冬はさいわい農作物に被害を与えるには至らなかった。

6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，雑誌「気象」

災害番号　130

1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）3月30日～31日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

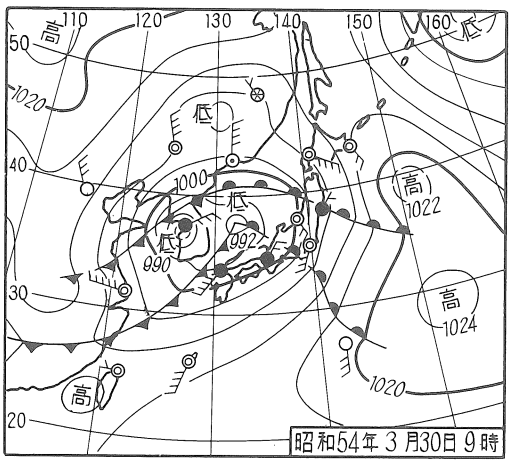
30日は日本海で低気圧が発達し，31日には北海道東方に去った。この低気圧に吹き込む南よりの風が強まり，千葉，勝浦などでは最大瞬間風速は30m/sを越え各地で被害が続出した。なお，この強風により，成田空港では開港後初めて，横風による着陸断念があった。

日最大瞬間風速　左：30日，右：31日

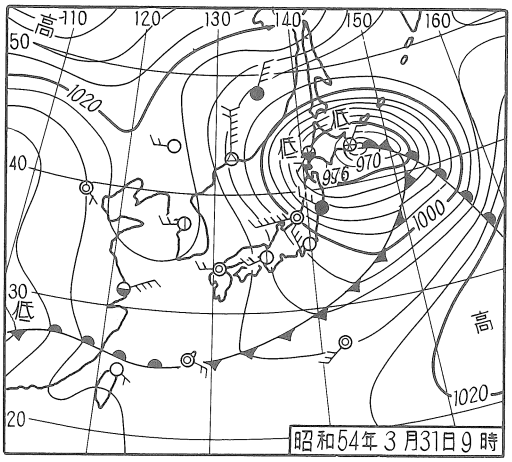
観測所	最大瞬間風速		風向		起時	
千葉	33.2	28.4	SSW	SW	23.00	02.10
館山	24.6	27.3	WSW	WSW	23.40	04.10
勝浦	25.0	32.0	SW	SW	23.40	00.40
銚子	25.9	21.3	SSW	WNW	22.30	09.30

日最大風速　左：30日，右：31日

観測所	最大風速m/s		風向		観測所	最大風速m/s		風向	
銚子	14.7	13.6	SSW	WNW	船橋	9	9	SSW	NW
館山	11.1	12.2	SW	WSW	横芝	14	10	SW	WSW
千葉	21.4	18.3	SSW	SSW	茂原	12	11	SW	SW
勝浦	16.1	16.8	SW	SW	木更津	15	13	SW	SW
成田	16.5	15.2	SW	SW	牛久	10	8	SW	WSW
佐原	12	14	SW	WNW	坂畑	13	11	SW	SW
佐倉	17	16	SW	SW	鴨川	6	5	W	WNW
我孫子	5	8	SSW	NW					



地上天気図



地上天気図

5. 被害

重傷2名，家屋の一部破損8戸，停電200戸ほか，農林被害4億4千万円

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」，県警察本部，県農林部

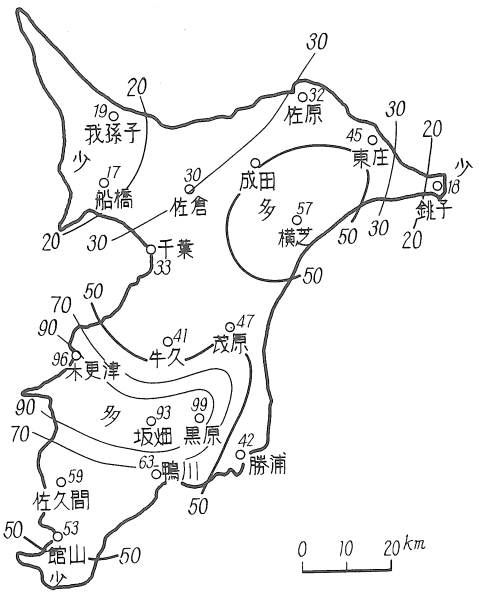
災害番号　131

1. 災害の種類(名称)　暴風雨（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）４月８日
3. 災害原因　低気圧・前線
4. 気象概況

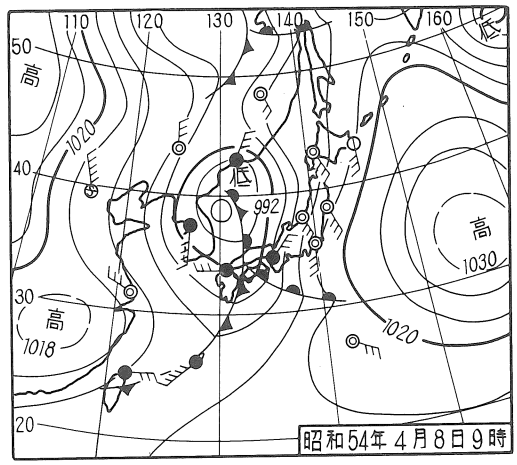
８日は，日本海で低気圧が小型台風並に発達し，北東に進んだ。これに伴う前線が夕方から夜にかけて県内を通過した。このため，８日昼頃から夜半にかけて風雨が強まり，木更津では，１時間最大降水量80㎜の大雨を記録した。また，銚子，勝浦では最大瞬間風速が25m/s を超え，海は大シケとなった。

県内官署の極値表　４月８日

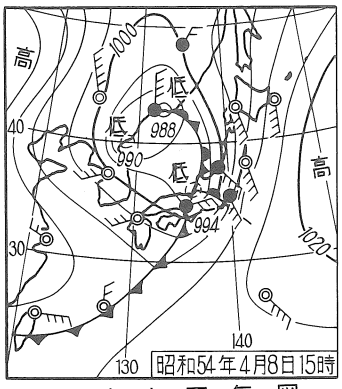
要素 / 官署	最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速			最大10分間降水量		最大１時間降水量		最大日降水量	
	風向 16方位	風速 m/s	起時 時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 時分	降水量 ㎜	起時 時分	降水量 ㎜	起時 時分	降水量 ㎜	起時 時分
銚子	S	17.7	22.40	SSE	27.3	22.30	2.0	23.15	6.5	22.30	18.0	24.00
館山	S	10.4	22.10	S	22.2	22.00	4.0	22.10	11.5	21.40	53.0	24.00
千葉	SSW	14.6	23.50	SSW	20.8	23.40	7.0	21.40	24.0	22.20	32.5	24.00
勝浦	S	15.1	22.00	S	26.7	22.15	6.0	22.30	16.0	23.10	42.5	24.00



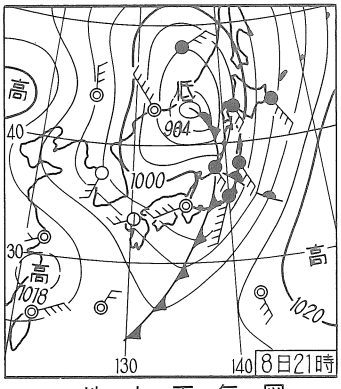
県内総降水量分布図(㎜)
昭和54年４月８日



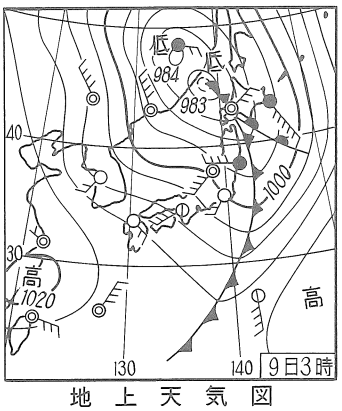
地上天気図



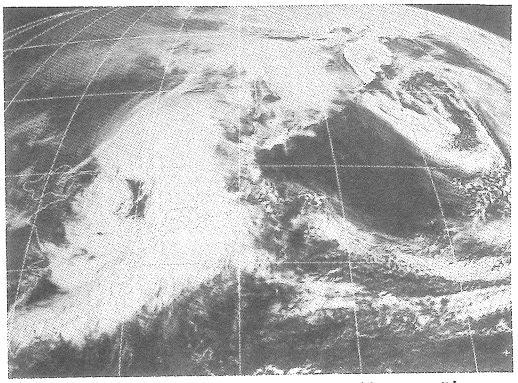
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図


「ひまわり」可視画像　　54年4月8日12時

5．被　　害

1)　8日19時30分頃，県南部野島崎灯台西方の海上で砂利運搬船（2,160ｔ）が高波を受けて浸水，沈没した。乗組員8名のうち6名は近くの船に救助されたが，他の2名は行方不明となった。

2)　同日，安房郡富浦町で軽量鉄骨トタン葺き物置きが，強風で全壊した。

3)　同日，君津郡長浦町地先の内房線線路が冠水のため一時不通となった。

4)　同日，安房郡天津小湊町，他で軽微なが け崩れが2ヶ所あった。

5)　同日，木更津で一時間80㎜(21～22h)の豪雨があり，同市内で床上浸水99戸，床下浸水275戸，その他道路決壊1ヶ所

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，速報天気図

災害番号　132

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）5月14日～15日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

13日東シナ海北部に現われた低気圧が急速に発達して，14日は本州南岸沿いを東北東に進み，15日朝房総沖を通って東海上に去った。この低気圧の影響で関東地方では大雨と強風が吹いた。降水量は，県北西部と南部で多くなった。

アメダスによる極値表

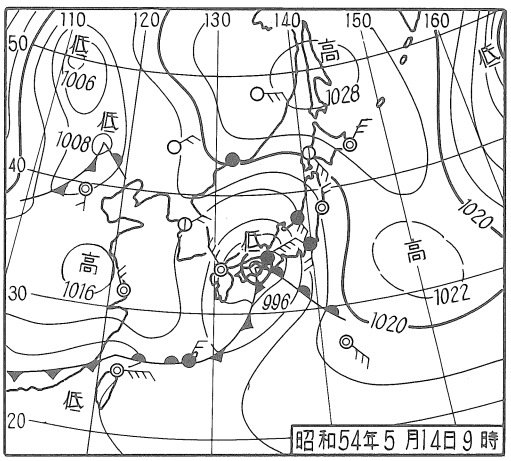
5月14日～15日

要素 / 地名	最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時～日時
黒原	15.0	14.20.00～14.21.00	85.0	14. 24. 00	94.0	14.06.00～15.03.00
鴨川	26.0	14. 20. 00	77.0	14. 20. 00	80.0	14.04.00～15.06.00

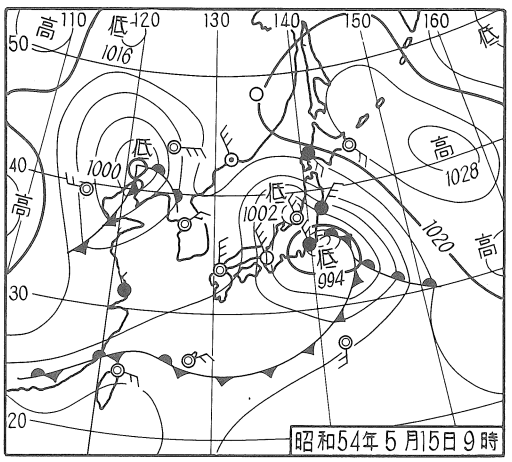
銚子における極値表

5月14日

要素 / 地名	最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	SE	17.7	14.23.00	SE	29.8	14. 22. 50



地上天気図

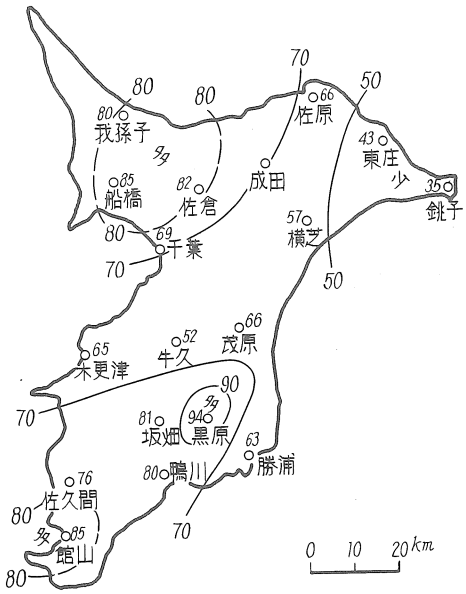


地上天気図

5．被　害

床下浸水７戸，がけ崩れ１ヶ所，道路決壊１ヶ所

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部



県内総降水量分布図(mm)

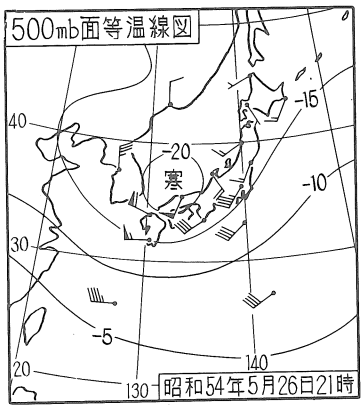
昭和54年５月14～15日

災害番号　133

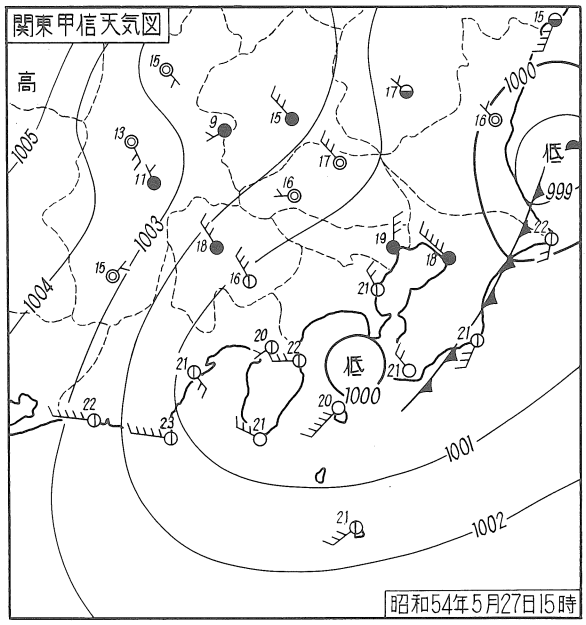
1. 災害の種類(名称)　ひょう
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）5月27日
3. 災害原因　上層寒気
4. 気象概況

26日，日本海西部にあった小さな低気圧が27日は本州の真上を東進し午後には銚子沖に去った。この低気圧は見かけによらず,この後面にはかなりの寒気を伴っていた。

500mb天気図に示す通り前夜,日本海西部上空約5,500 mには−20℃という寒気があったため大気の状態は不安定となり東日本では雷が大暴れした。千葉県でも午後2時頃から夕刻にかけて雷雨となり，県北東部では所々降ひょうがあった。



高層天気図（5500m）



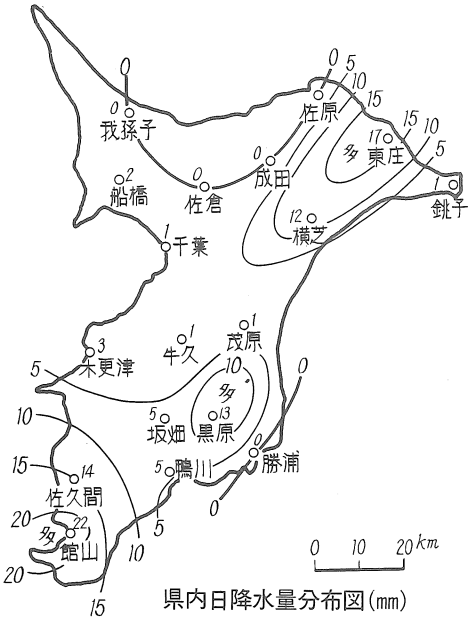
関東甲信地方地上天気図

時間別降水量(mm)　5月27日

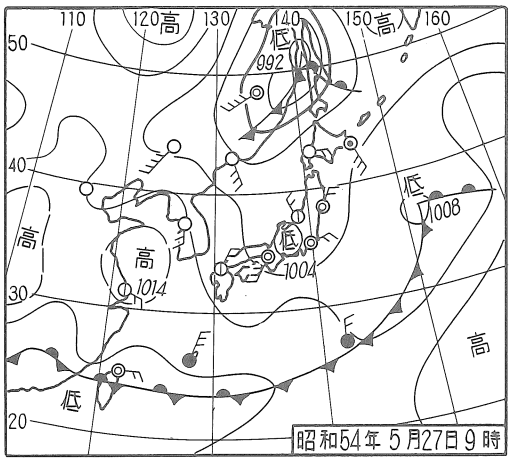
地点＼時	12	13	14	15	16	17
東庄					13	4
横芝		1			11	
佐原						
茂原	1					

極値の出た観測所

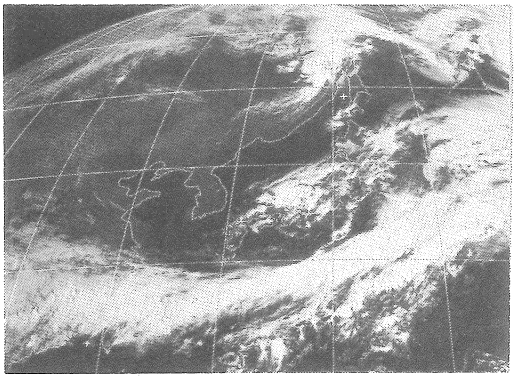
観測所	1時間降水量の最大	起時
東庄	13.0 mm	5月27日 16時



県内日降水量分布図(mm)
昭和54年5月27日



地 上 天 気 図



「ひまわり」可視画像　54年5月27日12時

5. 被　害

降ひょうによる農業被害は千葉，山武，海匝，香取の各支庁管内15市町村で3億2千余万円となった。

種　類	被害面積	被害金額
たばこ	104.06ha	165,784千円
とうもろこし	149.0 〃	59,200 〃
にら	109.9 〃	22,640 〃
露地野菜，ぶどう，なし，桑，その他	97,62〃	73,632 〃
合　計	460.58ha	321,256千円

6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図
千葉日報，県農政課

災害番号　134

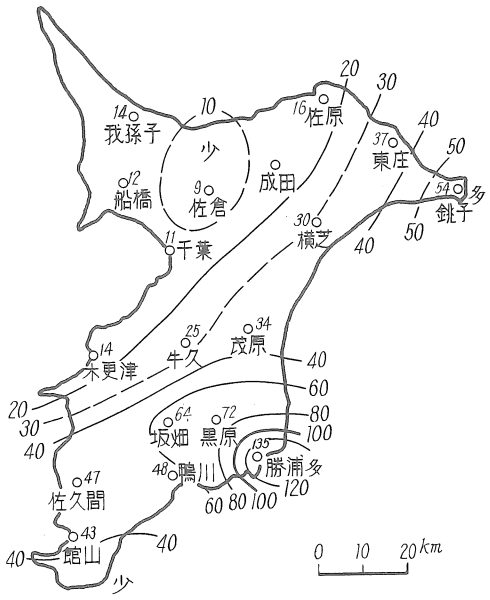
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）7月20日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

20日は,本州の南岸沖を低気圧が進んだ。低気圧は発達もせず，かえって弱まりながら，21日早朝には房総沖に去った。しかし上空には大変湿った暖かい空気が流れ込んでいたため，勝浦付近では午後7時から9時にかけて集中豪雨となった。

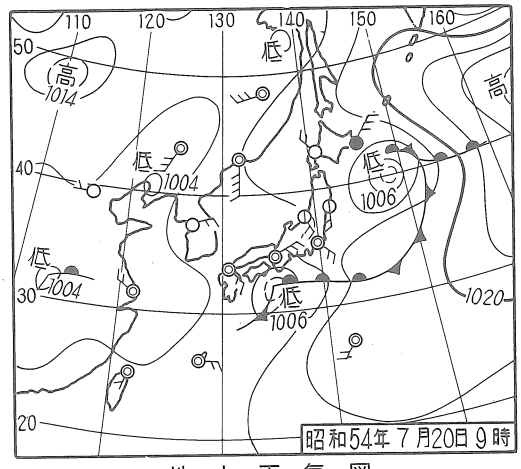
勝浦では1時間最大降水量74.0mm，日降水量121.0mm（アメダス120.0mm）となり，総降水量は136.5mm（20日12時～21日5時）を記録した。

勝浦アメダス毎時降水量表(mm)　5月20～21日

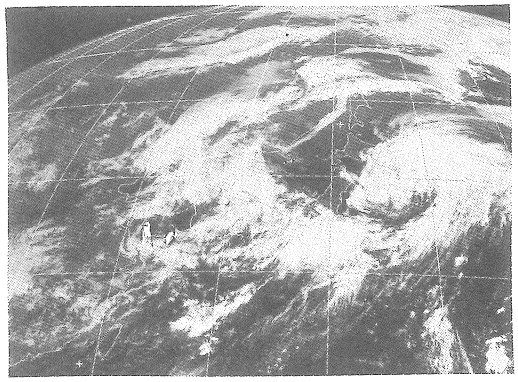
時刻	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
降水量	1	2	2	1	2	7	12	48	45	−	−	−	−	−	−	10	5



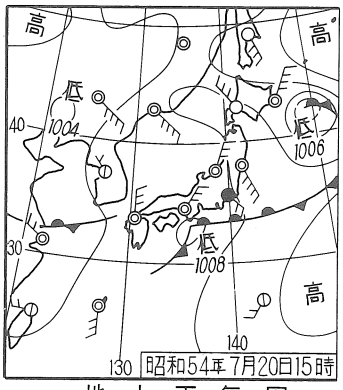
県内総降水量分布図(mm)
昭和54年5月20日～21日



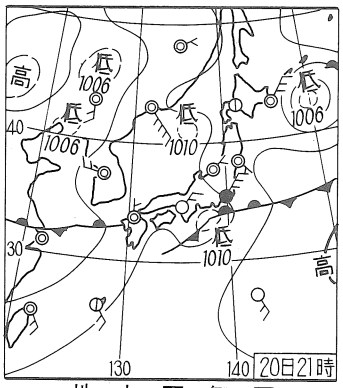
地上天気図



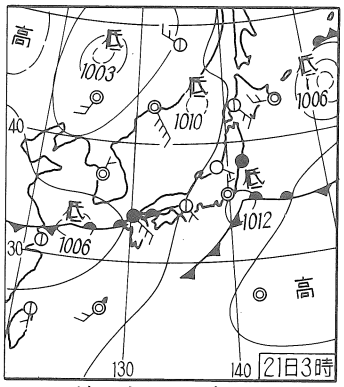
「ひまわり」可視画像　54年7月20日12時



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

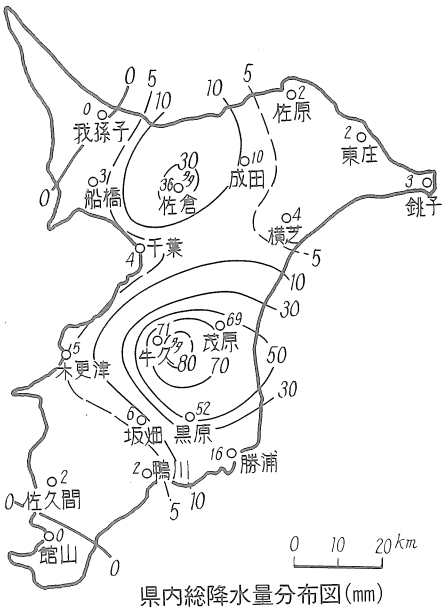
5．被　　害　　がけ崩れや浸水等の被害が若干あった。

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図
速報天気図

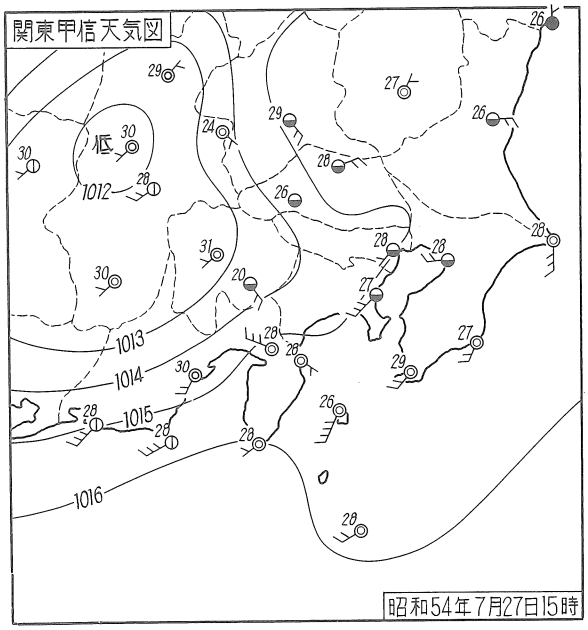
災害番号　135

1. 災害の種類(名称)　大雨・雷
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）7月27日
3. 災害原因　上層寒気（熱界雷）
4. 気象概況

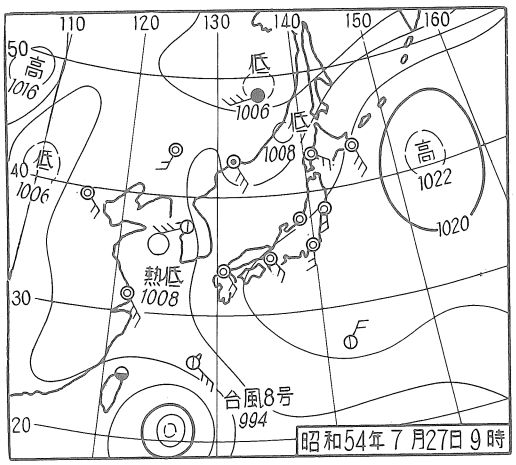
27日は，太平洋高気圧におおわれて日中の気温も上った。一方上空には寒気が入っていたため，大気の状態が不安定となり，午後は中部山岳地帯に地形性の低気圧が発生し関東地方ではかなり広い範囲にわたって熱界雷となった。県内では午後2時30分頃から雷雲が発生し，午後7時頃に牛久地方を中心に大雨となった。



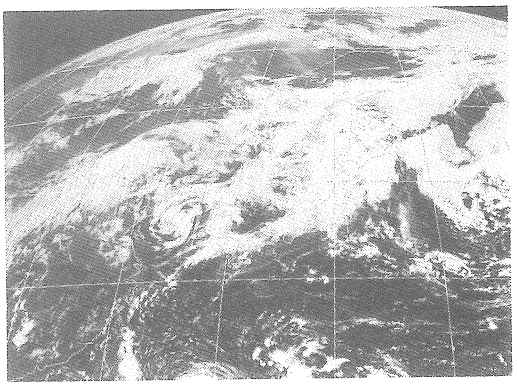
県内総降水量分布図(mm)
昭和54年7月27日～28日



関東甲信地方地上天気図



地上天気図



「ひまわり」可視画像　54年7月27日12時

5. 被　害

市原市内のゴルフ場ではクラブに落雷し，ゴルファー１名が即死した。

その他浸水13戸（大多喜町），停電14,000戸に及び県北の野田市，柏市，松戸市の6,000戸のほか東金市，茂原市，大原町の約8,000戸で１～２時間の停電となった。

また，大原町の民家に落雷があり木造瓦葺２戸が全焼した。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

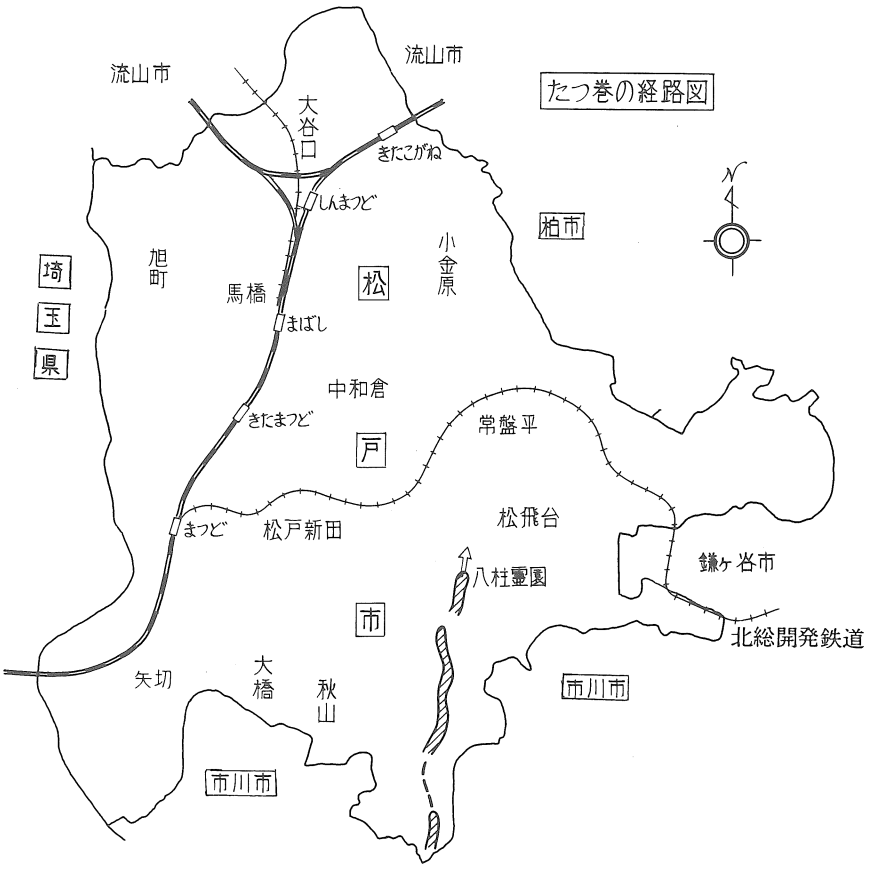
災害番号　136

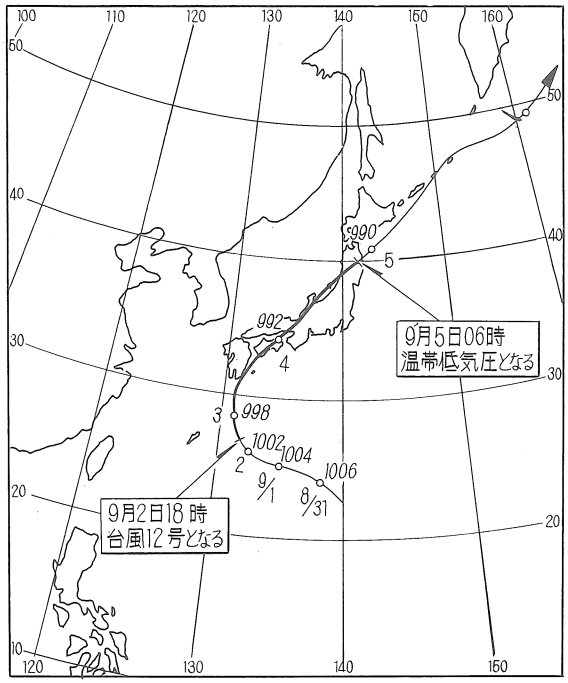
1. 災害の種類(名称)　たつ巻
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）9月4日
3. 災害原因　台風12号
4. 気象概況

9月2日，南大東島付近に発生した台風12号が3日午後11時30分，志布志湾をかすめ北東進し，四国を経て，北陸能登半島を通り5日午前6時東北北部で温帯低気圧となった。この台風の通過により，台風の東側に当る所でたつ巻や雷が大暴れした。午前9時40分には四日市でたつ巻が発生し5名がけがをした。また，午後1時30分名古屋でも大たつ巻が発生し1名即死，東京清瀬市にもたつ巻が発生した。県内では午後6時55分頃松戸市でたつ巻が発生し，市南部から北にかけて(紙敷→八柱霊園)幅10m，長さ約2kmにわたって吹き抜けた。

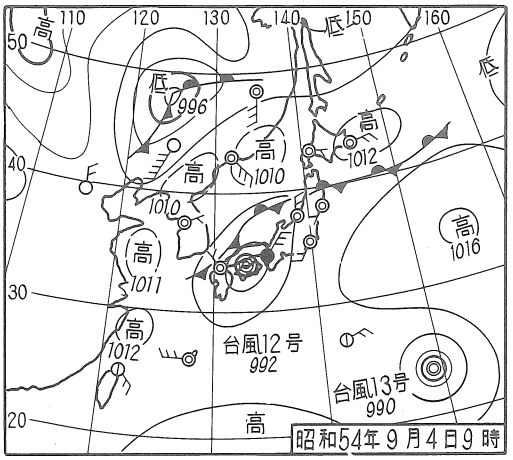
たつ巻被害地付近の風

地点	アメダス　19時	最大風向風速	起時
船橋	SSE　3.0 m/s	S　6.0	23.00
千葉	SE　6.0 m/s	SSW　17.2	23.40





台 風 経 路 図



地 上 天 気 図

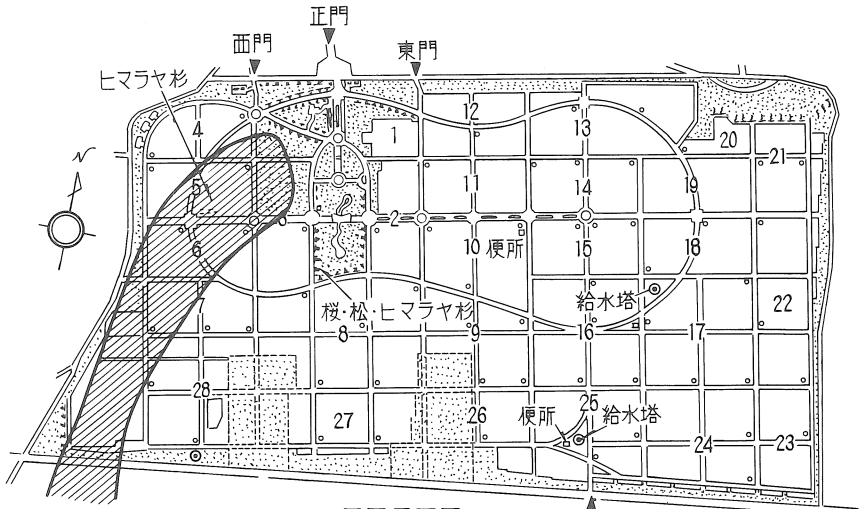
台風12号による極値表　9月4日～5日

地名＼要素	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	S	12.9	5. 01. 20	S	19.8	5. 01. 15
館山	SSW	8.3	5. 00. 20	SSW	16.9	5. 00. 10
千葉	SW	10.8	5. 05. 50	SW	17.2	5. 05. 40

地名＼要素	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日時分	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	0.5	－	3.0	5. 00. 10	2.5	4.	3.0	4. 08. 40～5. 00. 10
館山	3.0	4. 05. 30	3.0	4. 05. 45	8.0	4.	9.5	4. 01. 50～5. 00. 40
千葉	0.5	－	1.0	4. 11. 10	2.0	4.	2.0	4. 07. 50～5. 00. 40

5. 被　害

家屋全壊1戸，半壊3戸，一部破損5戸，非住家被害9戸，罹災世帯数4戸，罹災者数23人，その他樹木の倒木や農作物にも若干の被害があった。なお，これらは風による被害で，雨による被害はなかった。



八柱霊園平面図

八柱霊園内竜巻による被害状況

樹　種	形状寸法	数量	摘　要
桜	1.20m	1	公園管理
〃	0.40	1	〃
〃	0.35	1	〃
ヒマラヤ杉	0.60	1	〃
〃	0.55	1	〃
〃	0.50	1	〃
松	0.80	1	〃

個人所有の苗木

場所区番	樹　種	形状	所有者氏名
5区232側23番	ヒマラヤ杉	1.15m	上野直治
6区244側45番	〃	1.10	山口栄三郎

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，台風経路図，県警察本部，松戸市消防本部，雑志「気象」

災害番号　137

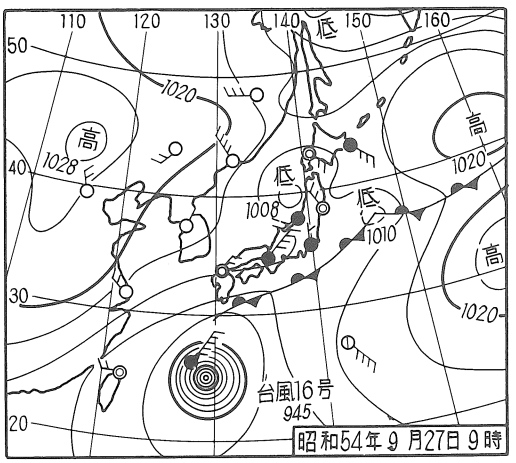
1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）9月28日～10月1日
3. 災害原因　台風16号，前線
4. 気象概況

23日，ルソン島のはるか東方に発生した台風16号は北西進し，その後沖縄近海をゆっくり北上した。29日から北東に向きを変え，スピードを増して，30日午前6時30分室戸岬に上陸し、午後11時30分大阪に再上陸し，本州を縦断して千島方面に去った。この台風の接近前から本州南岸には前線が停滞しており，台風の接近と共に前線が活発となり，殊に30日～10月1日にかけて各地で風雨が強まった。

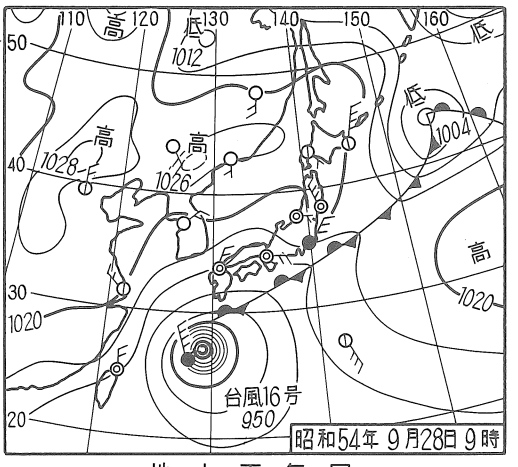
県内官署の極値表　9月28日～10月1日

要素 / 地名	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	994.2	01. 05. 10	S	16.8	01. 05. 20	S	24.8	01. 05. 10
館山	995.1	01. 03. 50	SSW	12.0	01. 03. 30	SW	21.7	01. 04. 00
千葉	992.3	01, 03. 40	SSW	16.7	01. 05. 30	S	27.4	01. 03. 40
勝浦	994.8	01. 04. 00	S	10.3	30. 22. 30	SW	24.3	01. 05. 05

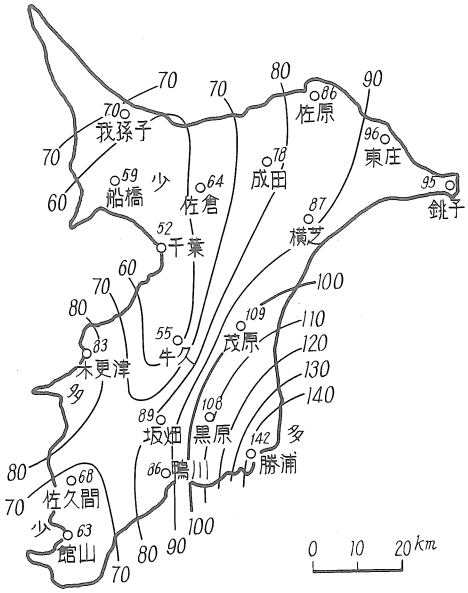
要素 / 地名	最大10分間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水 mm	起時 日時分	総降水量 降水 mm	起時 日時～日時
銚子	4.5	30. 07. 45	11.0	30. 21. 10	32.0	30	95.0	28日00～1日06
館山	3.5	30. 20. 10	11.5	30. 21. 00	24.5	30	63.0	28日00～1日06
千葉	6.0	01. 03. 50	7.5	01. 03. 30	12.5	30	52.0	28日00～1日04
勝浦	9.5	30. 22. 00	26.5	30. 21. 50	79.0	30	141.5	28日00～1日07



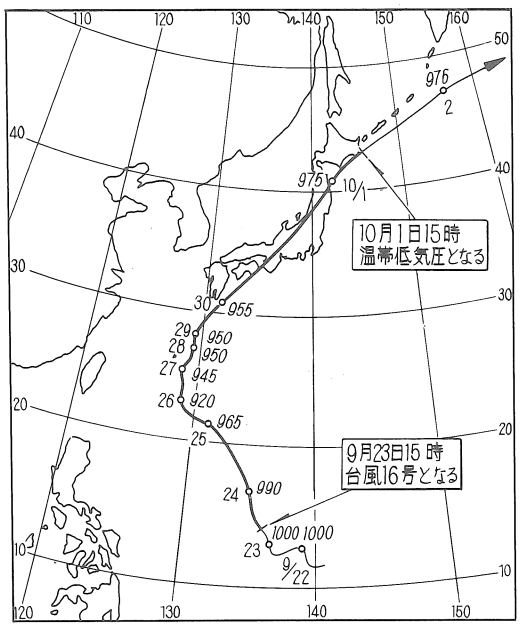
地上天気図



地上天気図



県内総降水量分布図(mm)
昭和54年９月28日～10月１日



台　風　経　路　図

5．被　　害

負傷者１名，家屋全壊１戸，床下浸水７戸，鉄軌道被害２ヶ所，がけ崩れ１ヶ所，道路損壊８ヶ所，列車の遅れ８本，運休80本

6．資　　料　　千葉県気象年報，異常気象報告，風雨特別報告，印刷天気図，
台風経路図，国鉄，私鉄，県警察本部

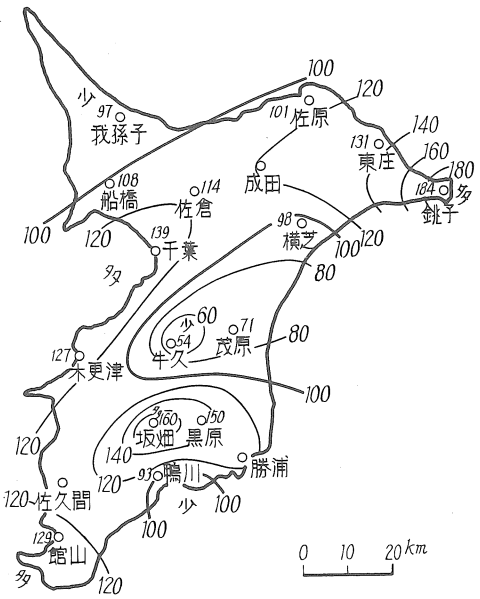
災害番号　138

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）10月5日～7日
3. 災害原因　台風18号，前線
4. 気象概況

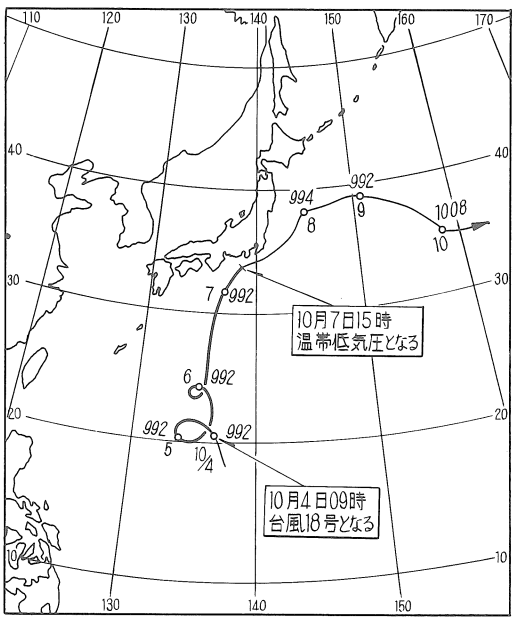
日本のはるか南方に発生した小型の台風18号が北上し，7日午後3時東海道沖で温帯低気圧に衰え，房総沖を北東進した。一方4日から7日にかけて，三陸沖から南西にのびる前線が居すわってこの前線上を低気圧や台風18号から変った低気圧が房総沖を通過した。このため，7日の日降水量が各地で100㎜を超えた。

県内官署の気象表　10月7日

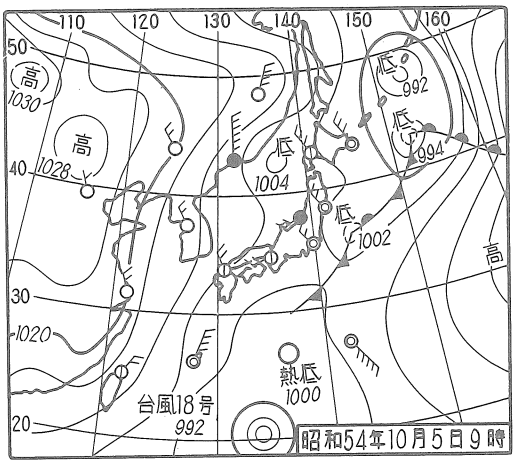
官署＼要素	最低気圧(海面) 気圧 mb	起時 時分	最大風速(10分間平均) 風向風速 m/s	起時 時分	最大瞬間風速 風向風速 m/s	起時 時分	1時間最大降水量 降水量 ㎜	起時 時分	10分間最大降水量 降水量 ㎜	起時 時分
銚子	995.5	22. 30	NNE 17.7	14. 50	NNE 27.8	14. 40	35.0	12. 40	11.0	12. 10
館山	996.9	15. 50	NW 8.6	21. 40	NW 13.0	21. 40	15.5	12. 50	4.5	12. 00
千葉	998.1	21. 00	NW 6.8	22. 20	N 12.9	14. 50	13.0	13. 00	3.5	12. 50
勝浦	996.5	15 30	NNW12.0	12. 20	NNW 20.5	12. 40	16.5	11. 00	5.0	10. 20



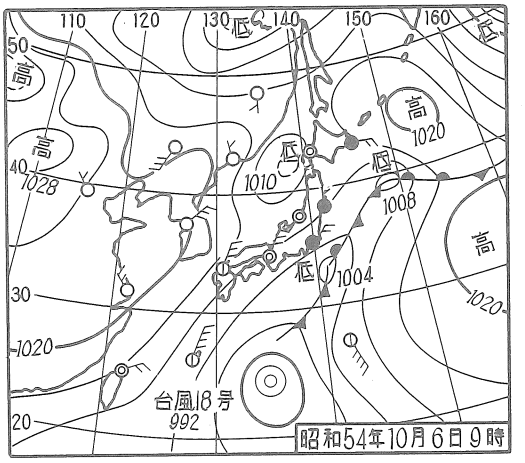
県内総降水量分布図(㎜)
昭和54年10月5日～7日



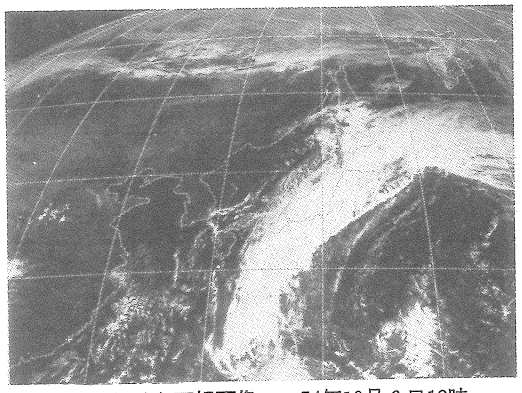
台風経路図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



「ひまわり」可視画像　　54年10月6日12時

5. 被　　害

家屋半壊2戸，床上浸水10戸，床下浸水269戸，鉄軌道被害1ヶ所，道路破損24ヶ所，ガケ崩れ2ヶ所，罹災世帯10戸，農作物被害886ha

6. 資　　料　　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図，台風経路図，県警察本部，県農政課

災害番号　139

1. 災害の種類(名称)　強風
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）10月18日～19日
3. 災害原因　台風20号
4. 気象概況

6日，カロリン群島に発生した台風20号が北西進し，稀にみる大型で強い台風となった。中心から1,000kmにも及ぶ強風域をもち，中心気圧も一時は870mbまで下り，史上最低の気圧を記録した。この台風は強い勢力を持ったまま沖縄の東海上を北上し，19日午前9時40分和歌山県白浜に上陸した。その後も勢力は衰えず，70km/hで台風16号と同経路をたどり，本州を縦断して20日午前3時北海道付近で温帯低気圧となった。

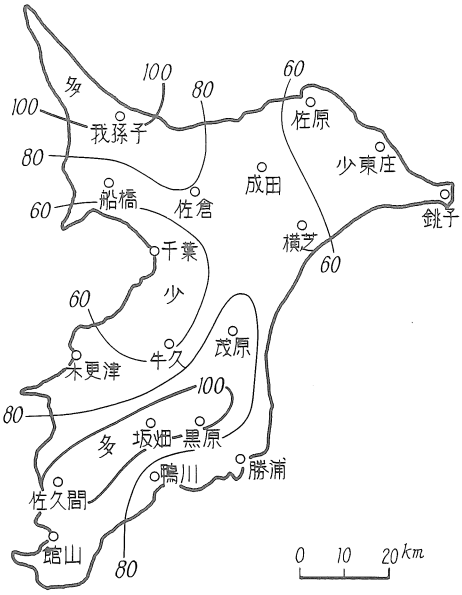
この台風の接近に伴って本州の南海上には発生した前線が活発となり，県内では18日早朝から雨が降り出し，19日午後は風雨が強まった。雨は夕方には止んで量的にはそれ程多くはなかったが，強風は夜間まで続き，房総地方では稀にみる瞬間風速となり館山では，風速50m/sを記録した。尚，台風が当県に近づいた19日午後3時前後は最も南風が強く，かつ突風による被害と，強風が満潮時と重なったため，低い土地や沿岸地方で高潮による被害も発生した。

県内官署の極値表

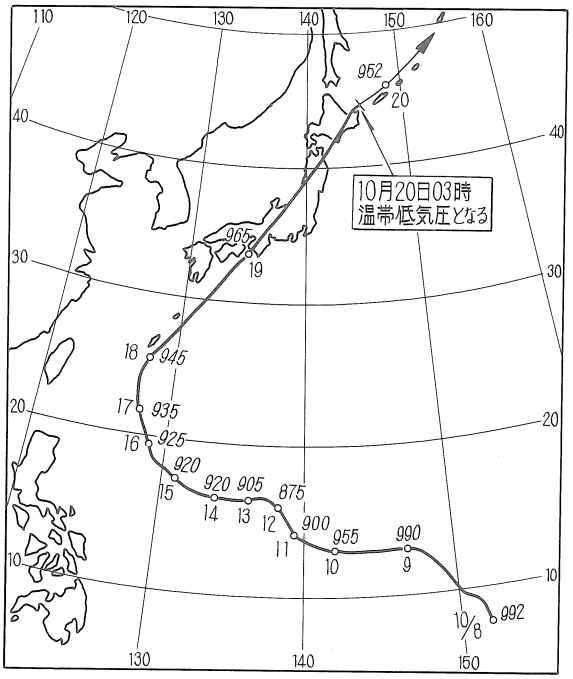
10月18日～19日

要素 / 観測所	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 mb	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	980.2	19. 15. 30	S	23.4	19. 15. 40	S	39.0	19. 15. 30
館山	981.6	19. 14. 20	SSW	18.1	19. 14. 50	SSW	50.0	19. 14. 00
千葉	978.8	19. 14. 20	SSW	22.8	19. 16. 40	SSW	38.8	19. 15. 00
勝浦	982.6	19. 14. 30	SSW	23.6	19. 14. 50	SSW	35.8	19. 15. 10

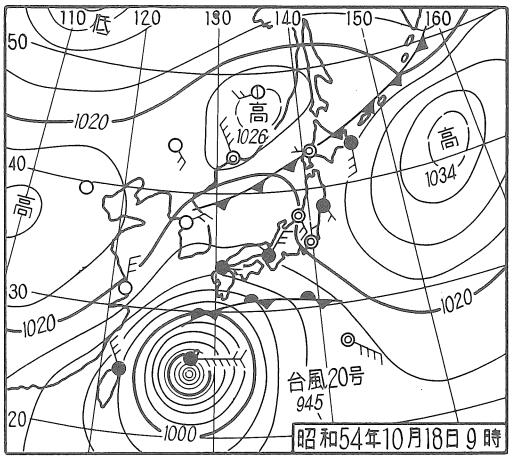
要素 / 観測所	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時分	降水 mm	起時 日時～日時
銚子	4.0	18. 22. 00	9.5	19. 14. 50	27.5	19	44.0	18. 14～19. 22
館山	4.5	19. 13. 00	15.0	19. 13. 00	52.5	18	88.0	18. 10～19. 17
千葉	6.0	19. 03. 20	11.0	19. 03. 00	36.5	19	49.5	18. 12～19. 20
勝浦	3.5	19. 12. 10	12.0	19. 13. 00	35.5	19	69.5	18. 11～19. 17



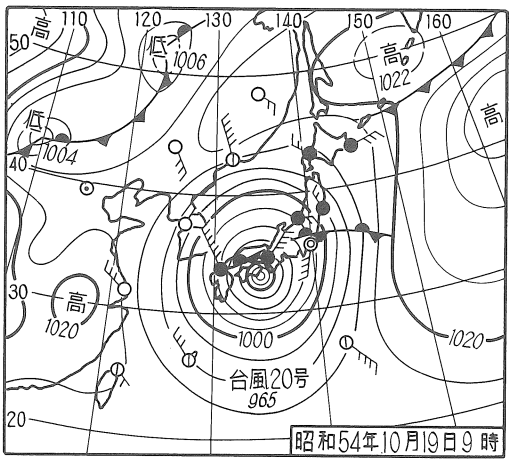
県内総降水量分布図(mm)
昭和54年10月18日10時～19日22時



台風20号の経路図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害

1. 一般被害

（県警本部調べ　昭和54年10月20日現在）

被害種別＼警察署別		単位	千葉		習志野	船橋	市川	野田	柏	佐原	小見川	八日市場	東金	茂原	勝浦	市原	木更津	富津	館山	鴨川	松戸	合計
			中央	南																		
人的被害	死者	人																				
	負傷者	人			1				7					2		1	7	6	2	4		30
	行方不明	人																		1		1
建物被害	全壊	棟		1			1									1	3					6
	半壊	棟					1							5	1	3	5				16	31
	床上浸水	棟	18						1							31	10					60
	床下浸水	棟	96	40	50	15	23	9	168					5		275	197		1		60	939
	一部破損	棟	12			13		1	50	1	2		2	1	1		49				23	155
	非住家被害	棟				5			18	3	1			3			16		2	1	7	56
道路損壊		個所			1	1			4			3	2		1		21	1		2	18	54
橋梁流失		個所																				
山（崖）くずれ		個所											1	4	5		25					35
鉄軌道被害		個所																				
通信施設被害		回線						58									608				160	826
罹災世帯数		戸	18	1			6		4					5	1	31	18				21	105
罹災者概数		人	53	1			19		4					25	3	71	72				57	305
備考																						

2. 農業被害　61億5,600万円

県農林部調　10月19日現在

種別	数量ha	金額千円	備考
ハウス			
全壊	20	860,000	
半壊	30	600,000	
ビニール	443	886,000	
作物	6,526	1,957,800	
林業		200,000	
農地		100,000	
その他		100,000	
合計		4,703,800	

3. 漁業関係

県水産部調　10月22日現在

種別	数量	金額千円	備考
漁船	104隻	60,000	小破から沈没まで含む
陸上施設	36件	102,000	
漁港	23〃	101,500	
漁港工事中	4〃	9,000	
ノリ			
資材		1,671,450	
減産		400,000	（推定）
合計		2,343,450	

4. 交通関係（国鉄）

千葉鉄道管理局調　10月22日現在

線名	被害	数量	備考
総武線	運休	81本	快速
〃	〃	190	緩行
〃	〃	19	千葉～銚子
内房線	〃	57	
外房線	〃	67	
成田線	〃	51	
東金・木原・久留里	〃	30	3線合計
合計	〃	495	

5. 交通関係（私鉄）

各社調　10月22日現在

線名	被害	数量	備考
京成電鉄	運休	469本	
流山電鉄	〃	18	
小湊鉄道	〃	9	
東武鉄道	〃	65	
地下鉄	〃	180	東西線
合計	〃	741	

6. 電力関係

東京電力千葉支社調　10月22日現在

県全域	停電	72,000戸	最高3時間

7. 通信関係

千葉電気通信局調　10月22日現在

県全域	不通	828回線	

8. 主要河川水位表(昭. 54. 10. 19～20)　　県土木部調

河川名	観測所名	通報水位	警戒水位	最高水位	起日時分
都川	都橋	AP 2.00	2.30	3.30	19日 16. 30
真間川	鬼越	YP 0.90	1.20	1.30	〃 17. 00
〃	根本	YP 2.70	3.00	(外)3.33	〃 16. 00
村田川	村田	TP 1.50	2.40	2.00	〃 16. 00
養老川	五井	TP 1.60	2.60	2.15	〃 21. 00
坂川		YP 1.00	1.36	1.40	〃 17. 00
〃	根本	YP 1.00	1.36	1.30	〃 17. 00
根木名川	新妻	YP 3.10	3.50	3.60	〃 20. 00
小野川	佐原	YP 1.80	2.10	2.00	〃 17. 00
黒部川	小見川	YP 0.93	1.13	0.30	〃 16. 00
新川	干潟	TP 1.80	2.30	2.10	〃 16. 00
栗山川	芝崎	TP 3.42	3.92	2.25	〃 16. 00
一宮川	茂原	TP 2.50	3.50	4.94	〃 19. 30
〃	一の沢	TP 2.50	3.30	2.90	〃 18. 00
〃	瑞沢	TP 2.50	3.30	2.70	〃 16. 00
夷隅川	椎木	TP 1.50	2.00	1.40	〃 15. 00
〃	大多喜	4.50	6.50	4.09	〃 18. 00
矢那川	富士見橋	TP 0.80	1.60	0.65	〃 17. 00
海老川	湊	2.00	2.20	3.50	〃 16. 00
加茂川	貝渚橋	TP 3.10	3.60	2.77	〃 14. 00
利根川	安食(外)			3.70	20日 11. 00
〃	〃(内)			2.64	〃 6. 00
長門川	酒直(外)			2.73	〃 6. 00
〃	〃(内)			2.55	〃 10. 00
北印旛	吉高			2.56	19日 24. 00
〃	瀬戸			2.58	〃 24. 00
〃	船戸			2.54	〃 24. 00
〃	白井			2.55	〃 24. 00
〃	羽島			3.03	〃 24. 00
〃	大和田(内)			2.33	〃 4. 00

注) T.P:東京湾中等潮位, Y.P:江戸川工事基準面, A.P:T.Pより1.1344m低い。

9. 千葉港の潮位

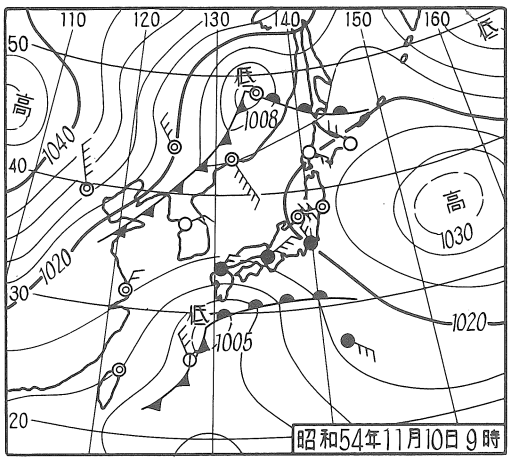
千葉港	最大値(千葉港波浪観測塔)		
	潮位 時分	波高 時分	瞬間風速 風向 時分
昭54.10.19	3.40 15.45	3.28 15. 00	45.0 SSW 15. 00

6. 資料　千葉県気象年報, 千葉県気象月報, 異常気象報告, 異常気象速報, 印刷天気図, 台風経路図, 県警察本部, 県農林部, 県水産部, 千葉鉄道管理局, 私鉄各社, 東京電力千葉支社, 千葉電気通信局, 県土木部

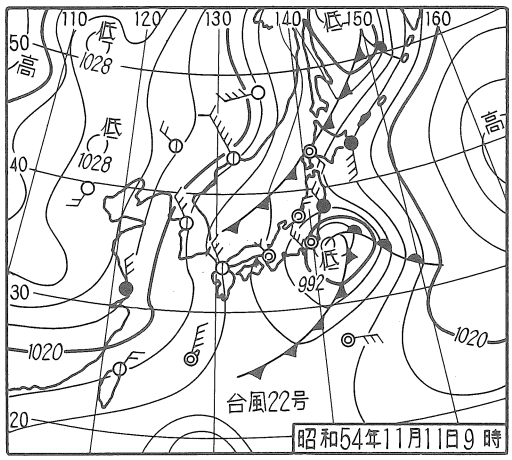
災害番号　140

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和54年（1979年）11月10日～11日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

9日，本州南方海上から東シナ海にかけて停滞していた前線上に10日低気圧が発生し，11日にかけて発達しながら南岸を通り房総沖を通過した。この低気圧の通過に伴い，10日午後から11日午前にかけて大雨に見舞われた。降水量は外房方面で多くなり，24時間降水量は勝浦で194㎜，銚子で105㎜を記録した。

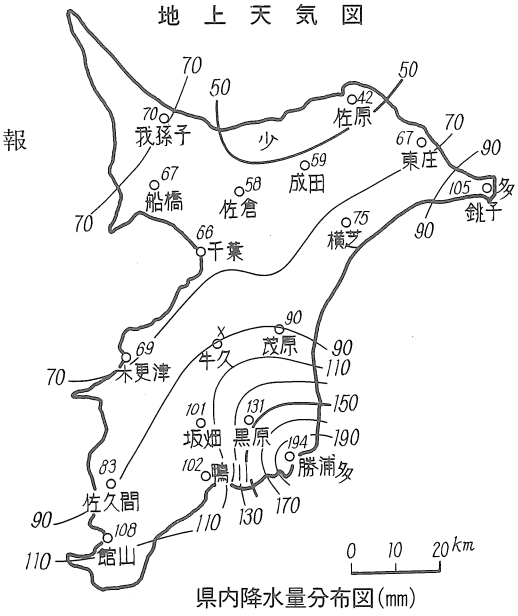


地上天気図



地上天気図

5. 被害　がけ崩れ2ヶ所
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報
異常気象報告，印刷天気図

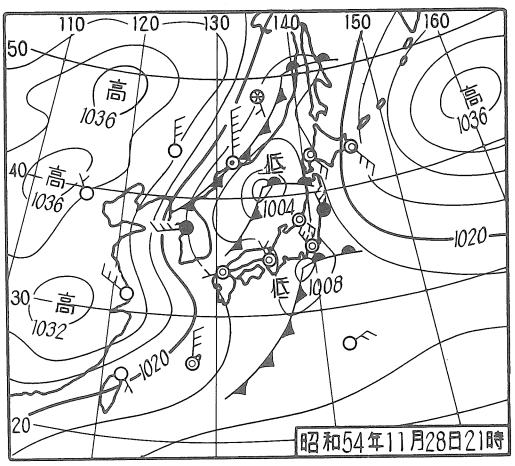


県内降水量分布図(㎜)

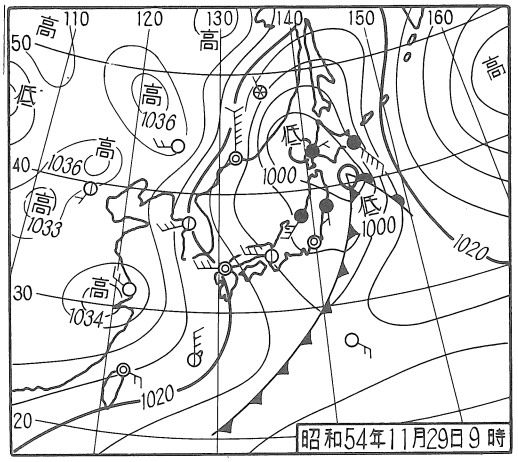
災害番号　141

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭年54年（1979年）11月28日～29日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

28日は，日本海と本州南岸を挟むような形で２ッ玉低気圧が通過した。殊に南海上の低気圧は，九州沖から太平洋沿岸を発達しながら北東進し，房総南部をかすめたため，28日午後10時から11時頃にかけて県南部では局地的な大雨となり100㎜を超えた。特に館山，坂畑では１時間降水量が40㎜を超えた。

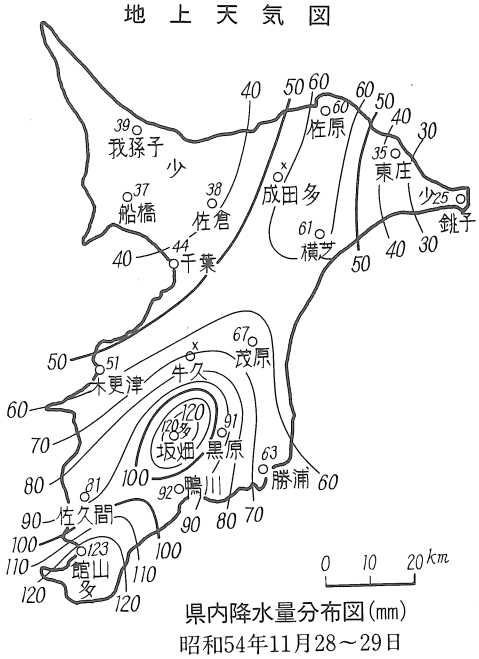


地上天気図



地上天気図

5. 被害　がけ崩れ９ヶ所
　　床下浸水15戸等
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，
　　異常気象報告，印刷天気図



県内降水量分布図(㎜)
昭和54年11月28～29日

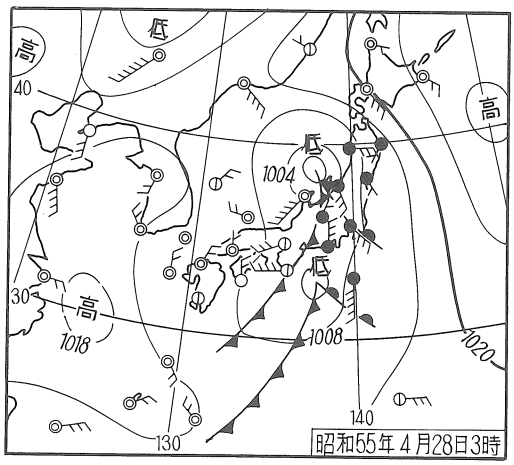
災害番号　142

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）4月28日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

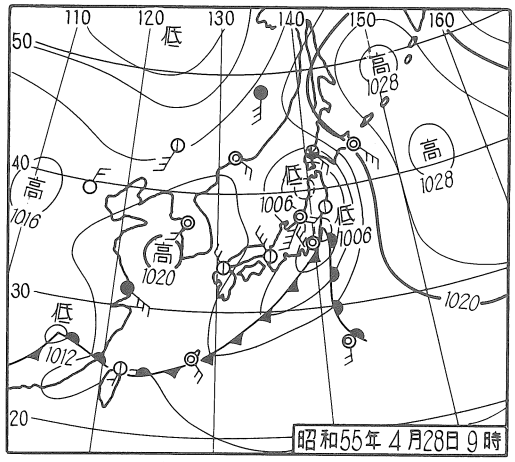
27日から28日にかけて，日本海と本州の南を2ッ玉低気圧が通過した。低気圧はそれ程発達しなかったが速度が速く，28日午前3時，東海道沖にあった低気圧は，時速60～70kmで北東進し，9時には銚子沖に達した。館山のアメダスデータによると南よりの風が5～9 m/s（平均）となっていた。

館山，時刻別アメダスデータ表　4月28日

要素＼時刻	1	2	3	4	5	6	7
風向	SSE	SSE	SSE	S	S	SSW	SSW
風速	5 m/s	5	6	7	8	8	9



地上天気図



地上天気図

5. 被害

この低気圧の通過に伴い，28日午前4時30分頃，白浜町野島崎沖西南西14kmの海上で，漁船第3魚生丸（110ｔ）が転覆し，2名は救助されたが死者，行方不明21名を出した。

6. 資料　千葉県気象年報,千葉県気象月報,異常気象報告,印刷天気図,速報天気図

災害番号　143

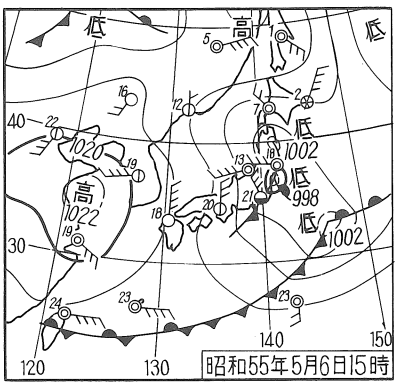
1. 災害の種類(名称)　強風（旋風）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）5月6日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

6日午前9時の天気図では，秋田沖に進んだ低気圧からのびる寒冷前線が，東北地方を通って関東地方に達していた。この低気圧の後面には，寒気が流入していたため，日中は関東地方に地形性の低気圧が発生し，秋田沖の低気圧と1つになって発達した。大気の状態も不安定となり，午後0時40分頃，八日市場市の北西，大堀付近に旋風が発生し，八日市場市北部の小高地区で消滅した。横芝のアメダスデータに見る通り，午前9時～正午までは南よりの風であったが，午後1時からは西よりの風に変っている。

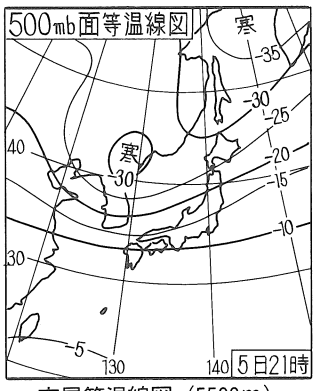
横芝アメダスデータ表

5月6日

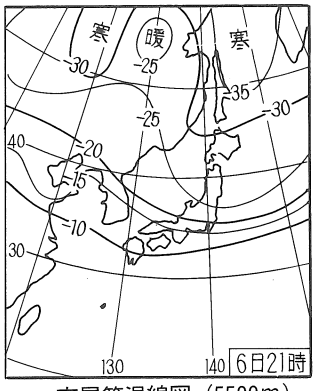
時刻 / 要素	9	10	11	12	13	14	15
風向	SSE	S	SSE	S	WSW	WSW	W
風速	2	3	4	5	4	5	3



地上天気図



高層等温線図（5500m）



高層等温線図（5500m）

5. 被害

この旋風により，飯高小学校の瓦約100枚が破損した。その他数件の民家に小被害があった。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図

災害番号　144

1. 災害の種類(名称)　視程不良（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）6月25日
3. 災害原因　濃霧
4. 気象概況

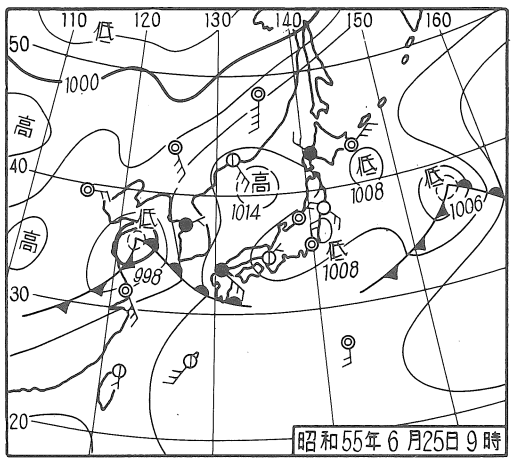
24日，本州の南沖を低気圧が通過し，東海上は気圧の谷となっていた。24日夜銚子方面ではモヤがかゝっていたが，東の沖合では所々霧が発生し視程が悪くなった。

犬吠埼観測表　6月25日

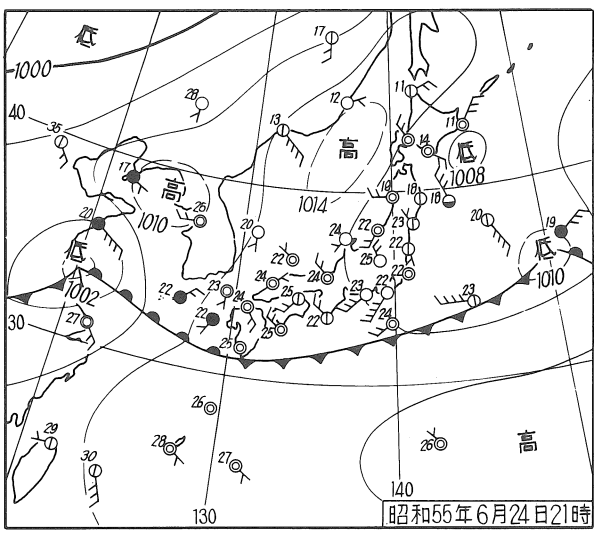
区分＼時	0	1	2	3	4
風向風速m/s	N 3	NNW 2	SW 1	SSW 3	W 3
天気	①	◎	◎	◎	①
視程 km	10km	15km	15km	15km	10km

野島崎観測表　6月25日

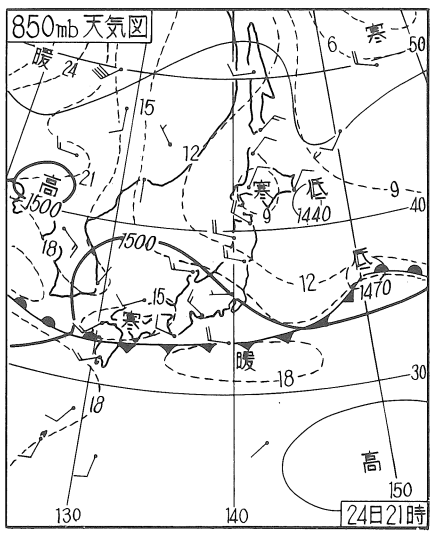
区分＼時	0	1	2	3	4
風向風速 m/s	WSW 4	W 2	NW 2	−0	−0
視程 km	15	15	20	20	20
波高 m	2	2	2	2	2
うねり高 m	1	1	1	1	1



地上天気図



地上天気図



高層天気図（1500m）

5. 被害

25日午前1時16分頃，勝浦市八幡崎東北東12マイル（19.3km）沖で濃霧のため船舶が衝突し，第2振行丸（133t）が沈没した。乗組員17名が救助されたが，2名が行方不明となった。

6. 資料　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図

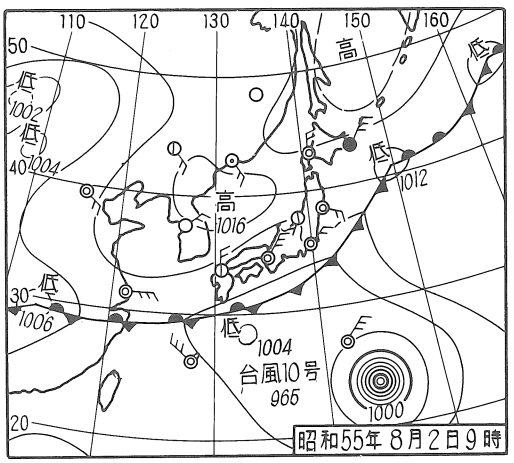
災害番号　145

1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）8月2日～3日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

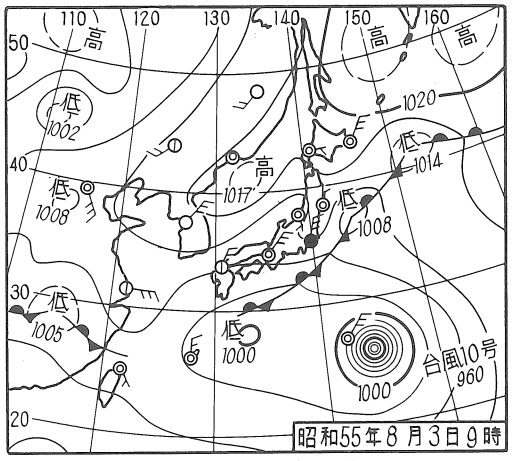
北海道の東方に去った低気圧から南西にのびる前線が日本の南の沖合に停滞し，日本付近はオホーツク海方面の冷たい高気圧が張り出して下層にはかなり冷たい空気が流れ込んだ。千葉では3日の日平均気温が18.1℃，銚子では19.0℃，坂畑では17.4℃となり8月上旬としては近年稀な低温となった。一方，鳥島の南東海上には台風10号があって北上を続けた。この台風からの湿った空気が上空に流れ込み南沖の前線を活発化させ，2日～3日にかけて県内の丘陵地帯では大雨に見舞われ茂原，坂畑，黒原等では150㎜を超える降水量となった。

茂原観測表　8月2～3日

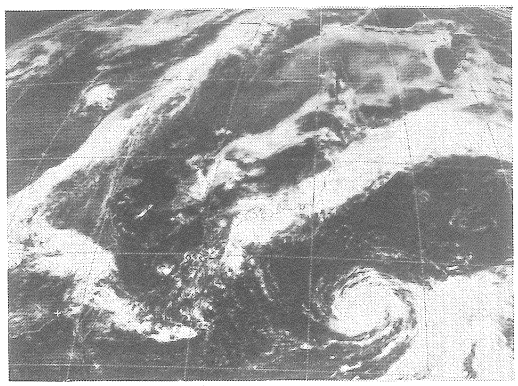
観測所	区分	㎜	月日時分	備考
茂原	総降水量	157	8.2.11.00~8.3.24.00	牛久148，坂畑159，黒原164
	日降水量最大	109	8. 3.	成田118
	24時間最大	139	8. 3. 13.00	
	1時間最大	23	8. 3. 09.00	



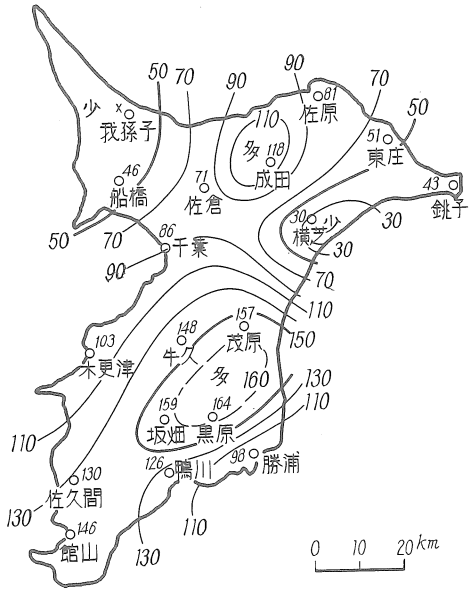
地上天気図



地上天気図



「ひまわり」可視画像　　55年８月３日12時



県内降水量分布図(mm)
昭和55年８月２日～３日

5．被　　害

床下浸水15戸，山，がけ崩れ３ヶ所，国鉄運休18本，遅延20本，片側通行２ヶ所，その他河川の護岸流出，道路損壊などを含め100件を超えた。

6．資　　料　　千葉県気象年報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」
県警察本部，国鉄

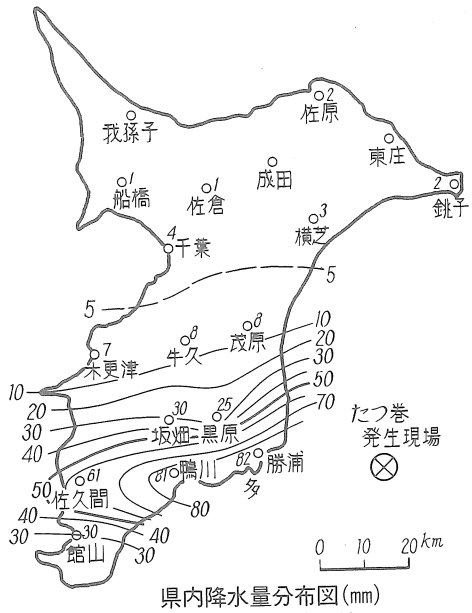
災害番号　146

1. 災害の種類(名称)　たつ巻
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）8月19日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

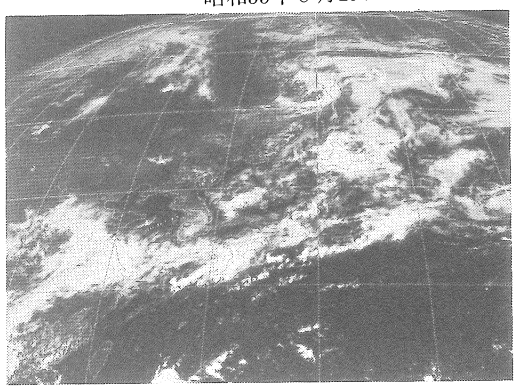
8月の半ばすぎから日本の南岸には前線が停滞し，小さな低気圧が次ぎ次�ぎと通過した。18日午後3時に西日本にあった低気圧がかなりの速度で東進し，19日午前3時過に房総南部を通過した。この低気圧の通過に伴って，午前4時頃，夷隅郡岬町の大東岬南東28kmの沖合でたつ巻が発生し，操業中の漁船に被害を与えた。また，前線や低気圧に近い南房総ほど降水量も多くなった。

降　水　量　表(mm)　8月19日

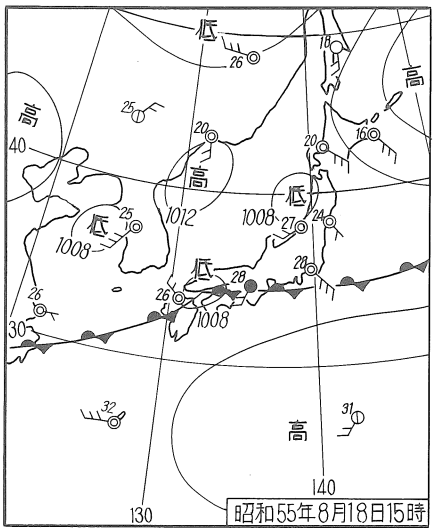
地区＼時刻	2	3	4	5	6	7	計
勝浦	−	9	51	22	−	−	82
鴨川	−	16	64	1	−	−	81
佐久間	2	22	37	−	−	−	61
館山	−	22	8	−	−	−	30
坂畑	1	12	16	1	−	−	30
黒原	−	5	6	4	−	5	20
牛久	−	3	4	1	−	−	8
木更津	−	4	3	−	−	−	7
茂原	−	2	5	1	−	−	8
千葉	−	2	2	−	−	−	4
横芝	−	−	3	−	−	−	3
銚子	−	−	1	1	−	−	2
佐倉	−	1	−	1	−	−	2
船橋	−	1	−	−	−	−	1
佐原	−	−	1	−	−	−	1



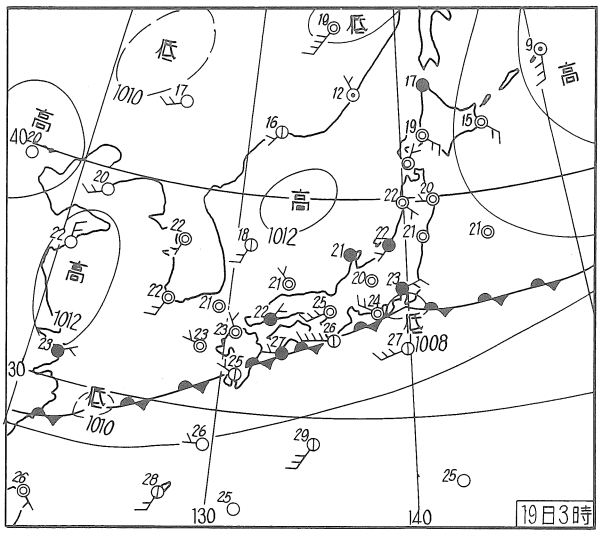
県内降水量分布図(mm)
昭和55年8月19日



「ひまわり」可視画像　55年8月19日12時



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　　害　　漁船転覆2隻，死者1名

6．資　　料　　千葉県気象年報，異常気象報告，地域気象観測資料，速報天気図

災害番号　147

1. 災害の種類(名称)　冷害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）8月
3. 災害原因　冷夏
4. 気象概況

関東地方では，7月21日梅雨が明けて一時的に夏型となったが長続きせず，7月の末から8月にかけては，夏の太平洋高気圧が強まらなかった。一方，この夏はオホーツク海の寒冷な高気圧の勢力が強く，寒冷な空気が流れ込み，南岸には前線が停滞したため，くもりや雨の日が多く，低温，寡照となった。図に示した通り各官署の気温はほとんど平年を下まわり，月平均気温は，平年と比較して銚子方面を除く北部では3.5～4.0℃も低く，県南部と銚子方面で2.5～3.0℃低目に経過した。また，月間の日照時間も平年の49～68%と甚だ少なく，各官署では記録を更新した。

8月の月平均気温の低い値(℃)

官署＼順位	第1位 気温	第1位 起年	第2位 気温	第2位 起年	統計
銚子	21.3	1905	**22.5**	**1980**	1887
千葉	**22.6**	**1980**	24.3	1977	1966
館山	**23.5**	**1980**	24.0	1971	1968
勝浦	**22.7**	**1980**	23.6	1953	1906

8月の月間日照時間の最少(時間)

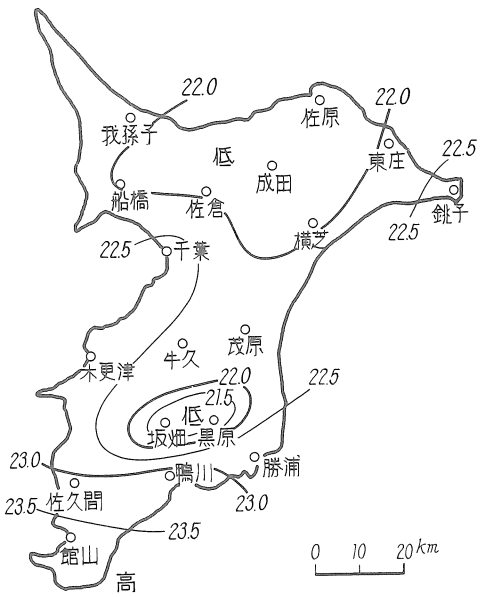
官署＼順位	第1位 時間	第1位 起年	第2位 時間	第2位 起年	統計
銚子	113.5	1902	**122.9**	**1980**	1899
千葉	105.9	1977	**107.6**	**1980**	1966
館山	**120.9**	**1980**	134.6	1977	1968
勝浦	97.7	1953	**155.5**	**1980**	1906

8月の月降水量の最大値(mm)

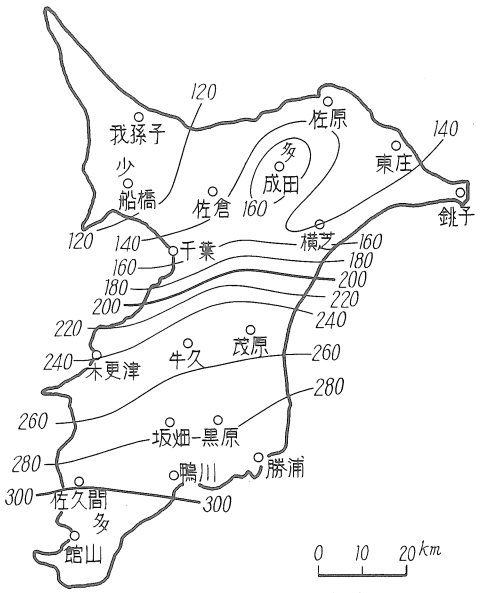
官署＼順位	第1位 降水量	第1位 起年	第2位 降水量	第2位 起年	統計
館山	**314.0**	**1980**	284.5	1977	1968

8月の日最低気温の低い値(℃)

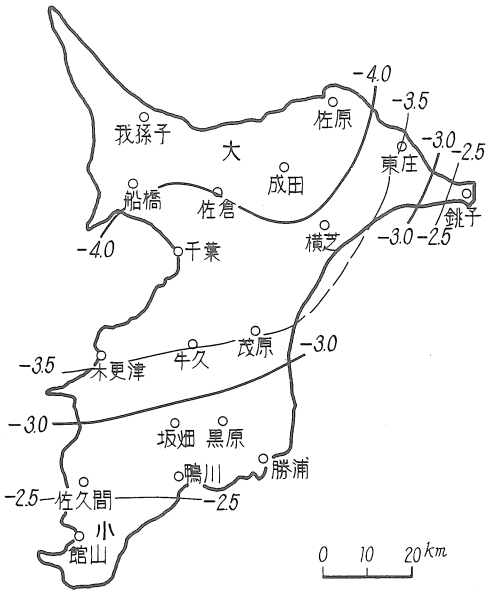
官署＼順位	第1位 気温	第1位 起年	第2位 気温	第2位 起年	統計
千葉	**16.5**	**1980.9**	**17.4**	**1980.10**	1966



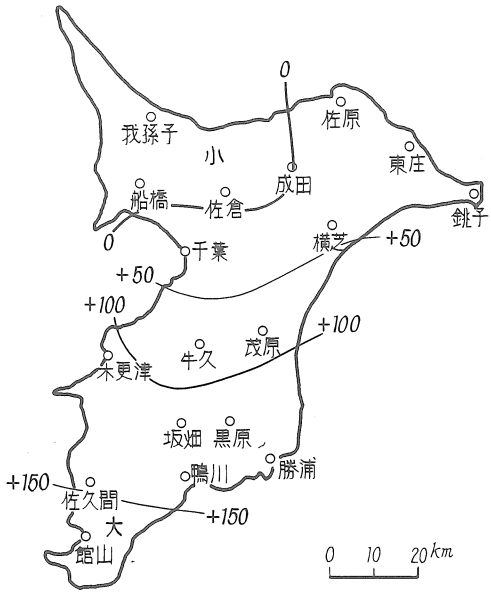
8月の県内月平均気温(℃)



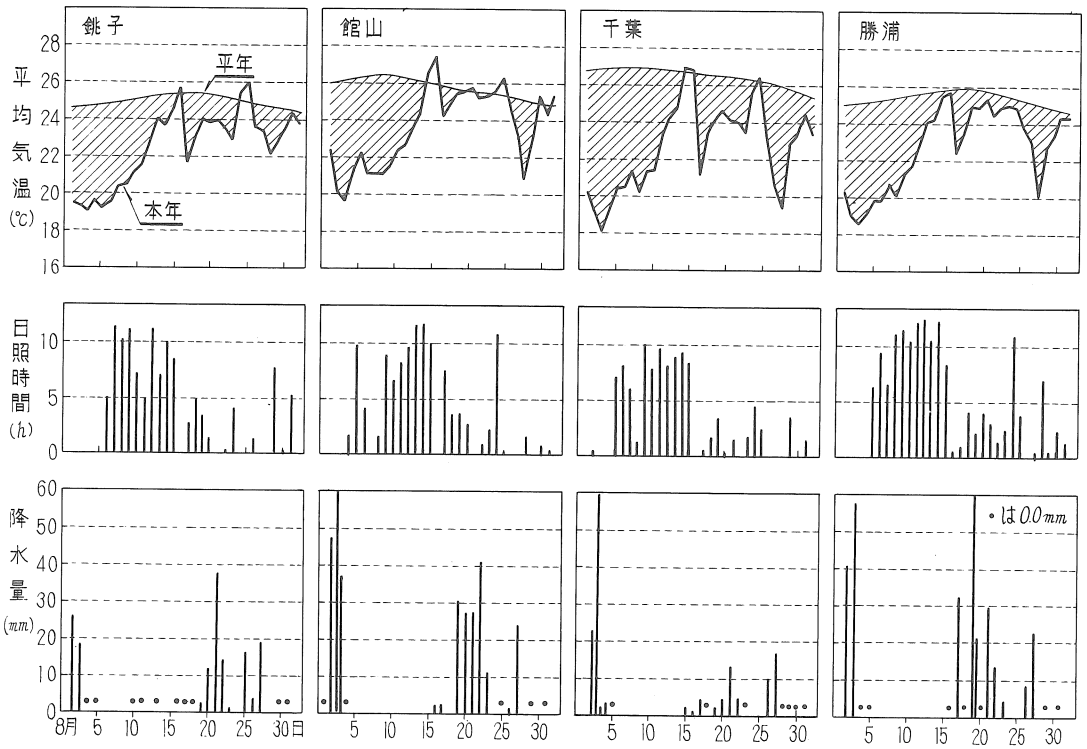
8月の県内月降水量(mm)



8月の県内月平均気温の平年差(℃)



8月の県内月降水量平年差(mm)



各地の気象図　(昭和55年8月)

5. 被　害　県内の農作物の被害は，160億3,700万円（9月10日県農作物等冷害対策本部）

6. 資　料　千葉県気象年報，異常気象報告

災害番号　148

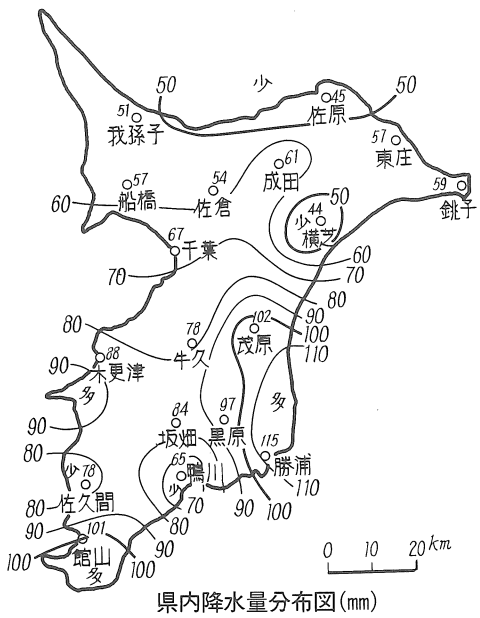
1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）10月14日
3. 災害原因　台風19号
4. 気象概況

10月4日，マリアナ諸島に発生した台風19号は北西に進み，沖の鳥島の南で一時中心気圧が890mbに深まった。その後東シナ海で向きを北東から東北東に変え，14日は速度を増して日本の南の沖合を通り，午後9時には八丈島の北を通って東海上に去った。この台風の通過に伴って，県内では14日午後2時頃から雨が降り出し，最も接近した夕方から夜半にかけて風雨が強まった。

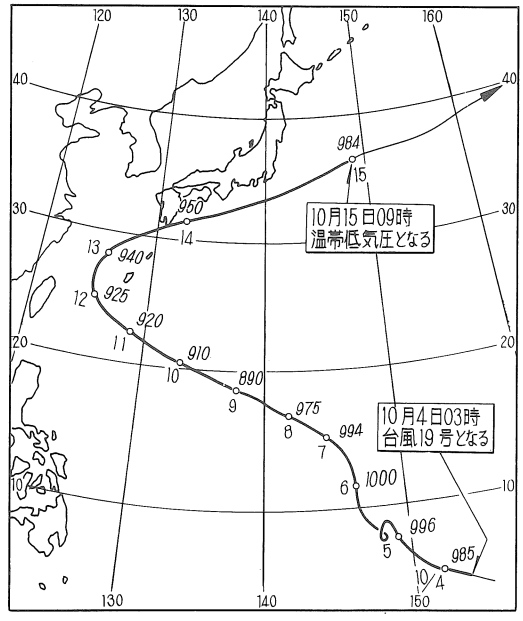
気象官署の極値表　10月14日～15日

官署＼要素	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	999.7	14.19.35	N	18.3	14.23.50	NE	28.0	14.19.30
館山	995.0	14.18.05	NNE	11.0	14.21.40	NNE	21.6	14.21.30
千葉	999.2	14.17.40	NNE	10.9	14.22.10	NNE	21.4	14.20.20
勝浦	996.9	14.22.30	NNE	14.6	14.20.50	N	25.8	14.21.50

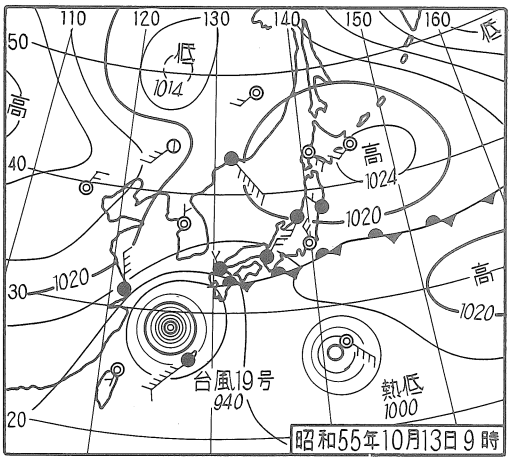
官署＼要素	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日時分	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	5.0	14.20.20	18.5	14.21.00	64.5	15.04.10	64.5	14.04.30～15.04.10
館山	9.0	14.19.00	40.0	14.19.40	101.5	14.	103.5	14.14:00～15.01.50
千葉	5.5	14.18.40	26.5	14.19.00	67.5	14.	70.0	14.15.05～15.02.20
勝浦	9.0	14.18.05	33.5	14.18.50	114.5	14.	116.5	14.02.30～15.01.50



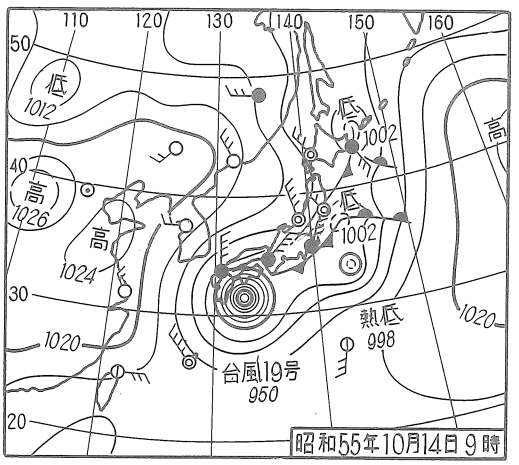
県内降水量分布図(mm)
昭和55年10月14日



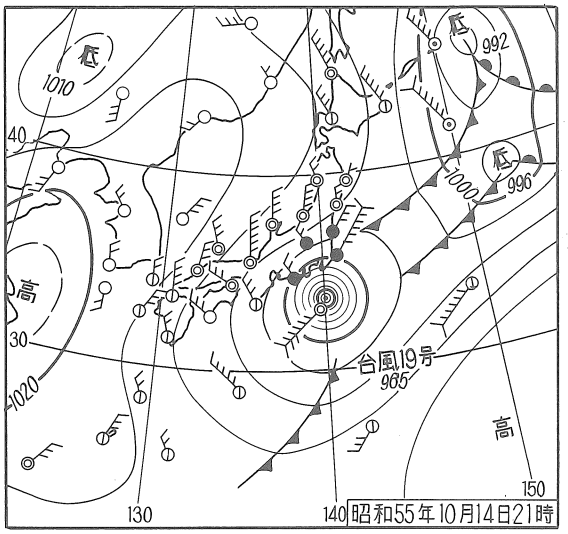
台風経路図　19号



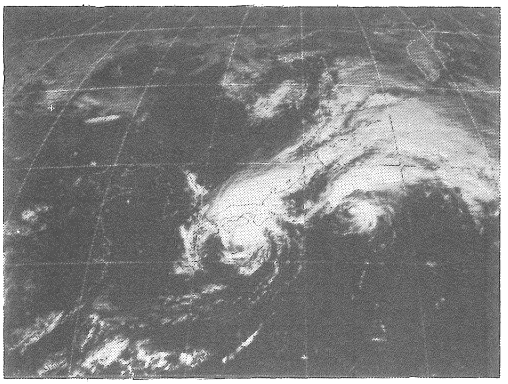
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



「ひまわり」可視画像　　55年10月14日12時

5．被　　害

床上浸水２戸，床下浸水44戸，道路損壊６ヶ所，がけ崩れ１ヶ所

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　149

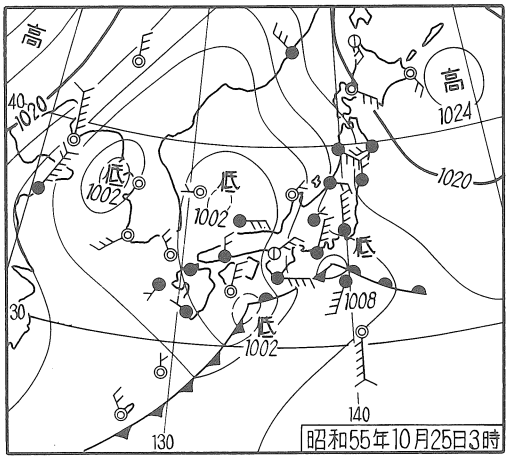
1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）10月25日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

25日早朝，日本海に進んだ低気圧が，その後急速に発達した。この低気圧とは別に本州南の沖合を低気圧が進み，25日早朝房総沖を通過した。これらの低気圧の影響で北海道を除いて雨となり，海上も大シケとなった。

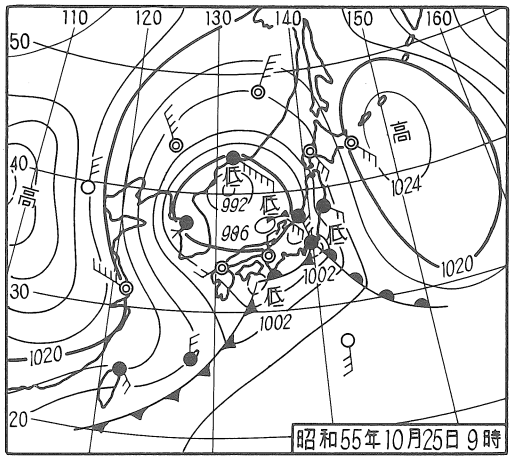
25日午前4時頃，小型漁船嶺丸（9.7ｔ）が銚子市長崎鼻沖で消息を断ち午前7時25分頃，犬若海岸の岩場でバラバラの船体で発見された。

遭難前後の銚子における風の記録表

区分 / 観測所	時	最大風速（10分間） m/s	風向 16方位	備考
銚子	1	2	NE	01ｈ20ｍ頃　NE～SEに変る
	2	10	SE	
	3	9	ESE	
	4	10	SE	
	5	12	SE	
	6	14	SSE	日最大風速　21.7 m/s　SE　05ｈ50ｍ
	7	9	SSE	



地上天気図



地上天気図

5. 被害　乗組員3名行方不明
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

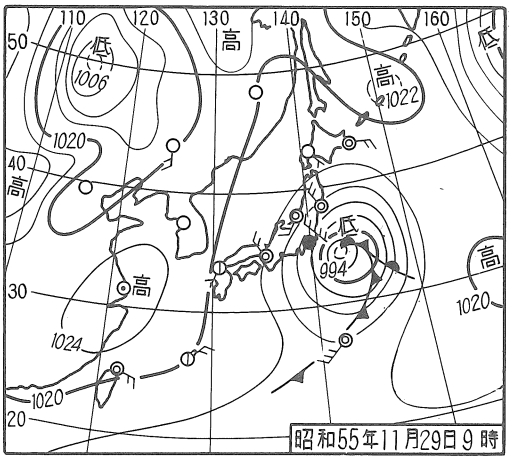
災害番号　150

1. 災害の種類(名称)　強風（釣舟転覆）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）11月29日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

28日，九州付近にあった低気圧が発達しながら本州の南沖を東進し，29日早朝八丈島付近を通って，房総沖に去った。低気圧が小型台風並に発達したため県内では北風が強まり，銚子では午前9時5分最大瞬間風速NNW，26.3m/sを記録した。この強風のため，午前10時20分頃，小見川町の利根川阿玉川水門でカモ猟の舟が転覆して死者を出す惨事となった。

事故前後の銚子における風の記録表　11月29日

区分 / 観測所	起時 時分	10分間最大風速 m/s	風向 16方位	起時 時分	最大瞬間風速 m/s	風向 16方位
銚子	08.30	14.6	N	09.05	26.3	NNW
	10.00	11.6	N			
	11.00	12.9	N			
	12.00	11.6	N			



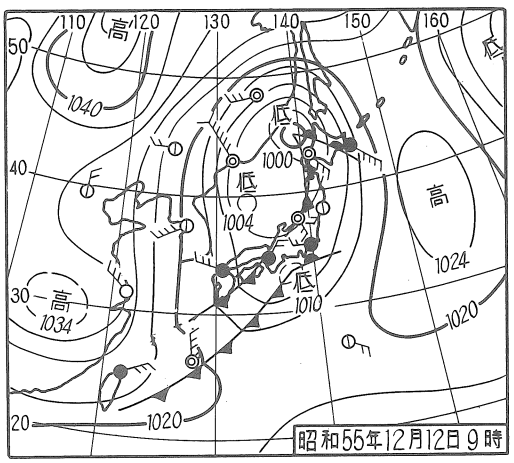
地上天気図

5. 被害　水死4名
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

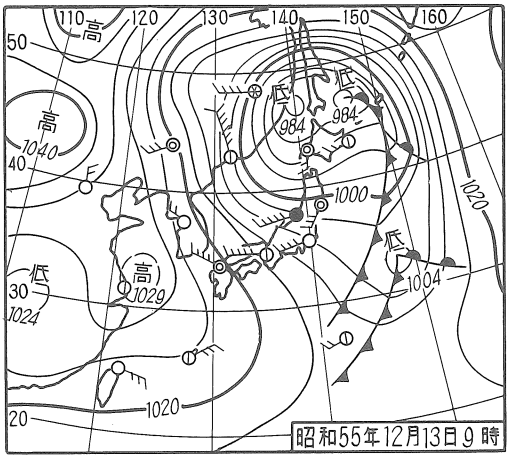
災害番号　151

1. 災害の種類(名称)　強風（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和55年（1980年）12月12日～13日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

12日は，低気圧が発達しながら日本海を北上した。この低気圧に伴う寒冷前線が日本列島を南下し全国的に雷を交えた雨となった。13日は低気圧はオホーツク海南部で更に発達し，冬型の気圧配置となった。しかし，低気圧が北上したため12日の午後から，この低気圧に吹き込む南～南西の風が強まり13日正午頃まで吹き続き，銚子では13日最大瞬間風速08時50分WSW19.9m/s，千葉では午前7時40分，最大瞬間風速はSW25.7m/sに達した。この強風によって海難事故が相ついだ。



地上天気図



地上天気図

5. 被　害

東京湾で船舶の荒天漂流，乗り揚げ，浸水の海難事故が3件発生した。

6. 資　料　印刷天気図，雑誌「気象」，京葉地帯の気候と気象災害（昭57．10），京葉地区防災気象連絡会，㈳京葉地帯経済協議会（p. 56）

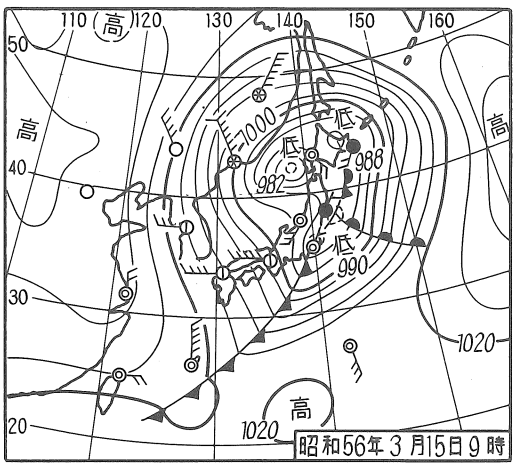
災害番号　152

1. 災害の種類(名称)　たつ巻
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）3月15日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

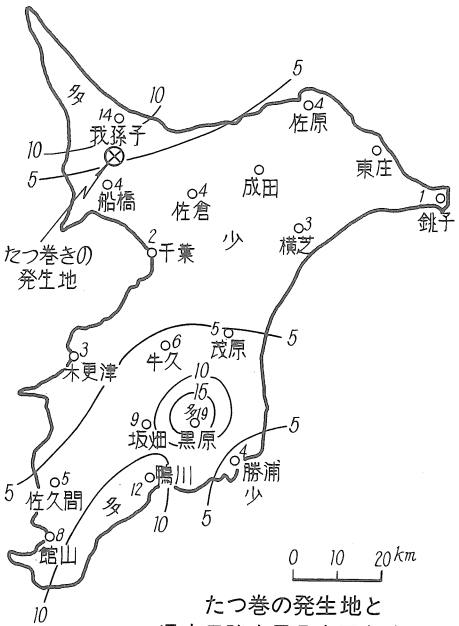
15日は，日本海で低気圧が台風並みに発達し北東に進んだ。関東各地では南よりの風が強まり，平年より21日遅い春一番となった。この低気圧から南西にのびる寒冷前線が午後千葉県を通過した。松戸市五番六実地区（東武線むつみ駅付近）では午後1時27分頃，前線通過の際たつ巻が発生した。

アメダス観測所記録表　3月15日

観測所＼日時＼要素	15日13時 風向	15日13時 風速	15日14時 風向	15日14時 風速	備考
我孫子	SSW	5 m/s	NNE	6 m/s	最大瞬間風速 SSW27.5 m/s 11時40分, WSW23.8 m/s 14時10分
船橋	SSW	7	NNW	5	
千葉	SSW	16	NW	10	
佐倉	SW	16	NW	4	
銚子	SW	11	WSW	12	



地上天気図



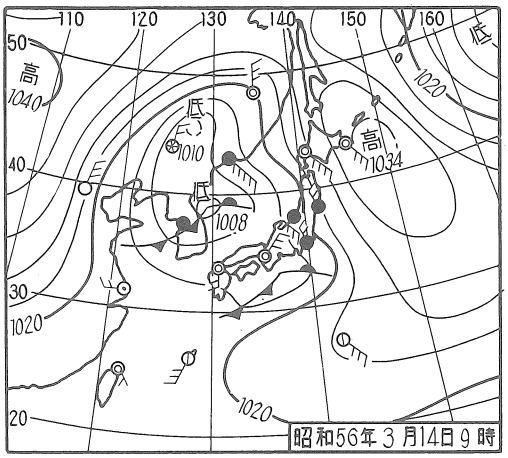
たつ巻の発生地と県内日降水量分布図(mm)
昭和56年3月15日

5. 被害　負傷2名，屋根等が飛ばされた住宅36戸
6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

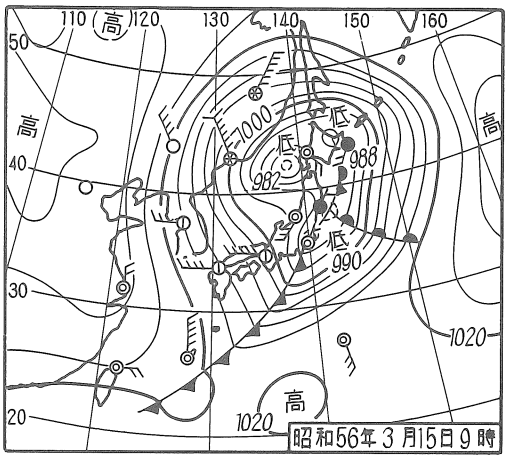
災害番号　153

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）3月15日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

15日は，台風並に発達した低気圧が日本海を北東進し，春一番のあらしとなった。低気圧に吹き込む南よりの風が全般に強まり，千葉では午後1時20分最大風速SSW19.1m/s，また，午前11時40分には最大瞬間風速SSW27.5m/sを記録し，東京湾の海上は相当荒れた。銚子でも最大瞬間風速SW24.5m/s（13時20分）を観測した。



地上天気図

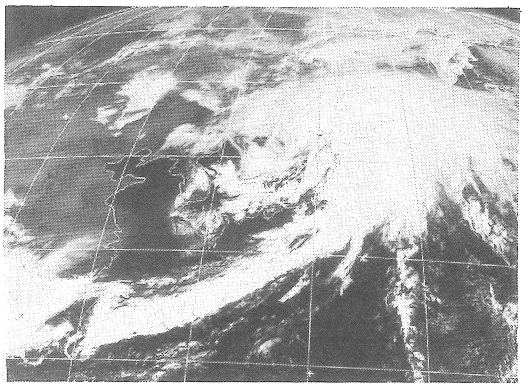


地上天気図

5. 被害

この強風による風波のため，東京湾で貨物船大東快速丸(238t)1隻が沈没した。なお,12月27日サルベージ船により引揚げられ船内に船長，機関長，他1名が発見された。

6. 資料　印刷天気図，京葉地帯の気候と気象災害(昭57．10)，京葉地区防災気象連絡会　㈱京葉地帯経済協議会（p. 56）


「ひまわり」可視画像　56年3月15日12時

災害番号　154

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）7月11日
3. 災害原因　前線
4. 気象概況

明け方関東南部にあった梅雨前線が，日中は徐々に北上し，東北南部から北陸方面に達し，太平洋高気圧も強まって関東甲信地方では梅雨明けとなった。しかし，北上した前線に向って関東地方では南西の風が強まった。

事故前後の千葉における風の記録表　7月11日

区分 / 観測所	時	最大風速（10分間） m/s	風向 16方位	最大風速 m/s	起時 時分	最大瞬間風速 m/s	起時 時分
千葉	12	12	SW				
	13	11	SW				
	14	11	SSW				
	15	11	SSW				
	16	12	SSW	SSW11.6	15. 50	SSW15.7	15. 50
	17	13	SSW	SSW14.6	17. 20	SSW18.7	17. 20
	18	9	SSW				

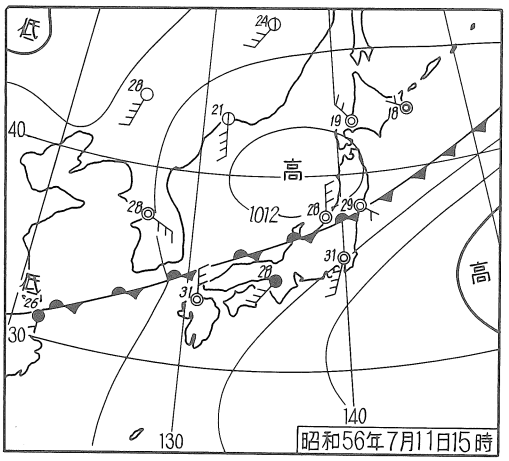
註）　昭和56年4月1日移転（千葉市中央港1－12－2）

5. 被害

午後3時50分頃千葉市中央港日本サイロ100m沖で接岸作業中のダクボート若潮丸（31.93ｔ）が沈没した。

若潮丸の転覆の際3名が海上に投げ出され2名は救助されたが，船長が行方不明となった。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，速報天気図

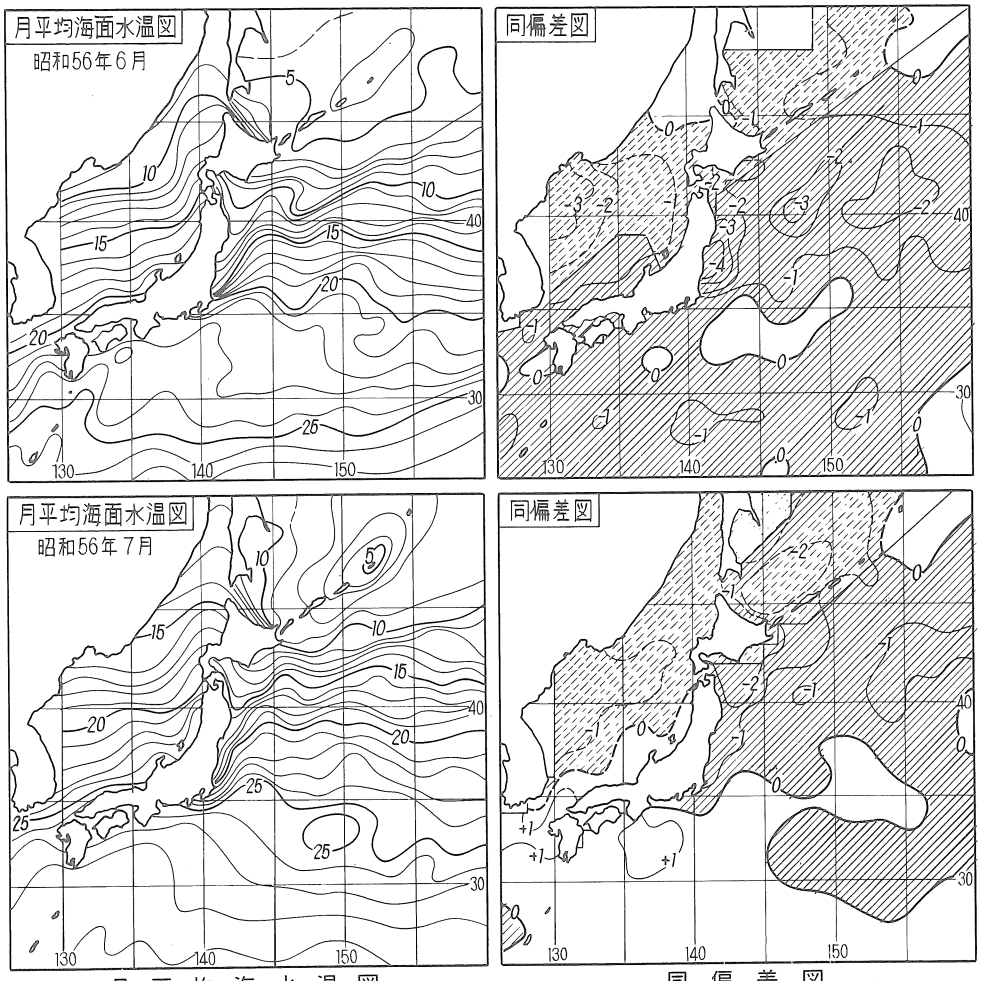


地上天気図

災害番号　155

1. 災害の種類(名称)　濃霧
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）6月～7月
3. 災害原因　親潮異常南下
4. 気象概況

今年は2月から8月にかけての長期間にわたり親潮が著るしく南下した。これに伴って，三陸，常磐沖を中心とした低水温が続き，近海漁業に大きな影響を与えた。また，6月を中心として山背風により，北日本の低温，日照不足を一段と助長した。千葉県では東部沿岸を中心に濃霧の発生が著しく，銚子では，6月中に16日，7月中に25日の霧日数を観測した。霧発生月間25日は明治20年以来第1位の記録，第2位は昭和39年（1964年）の22日間となっている。

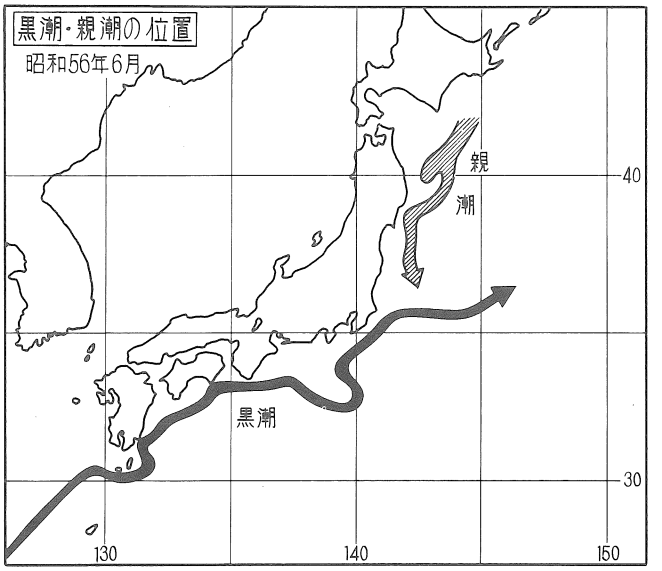


月平均海水温図　同偏差図

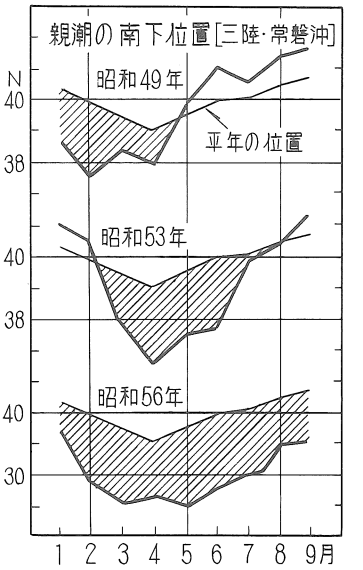
銚子地方気象台気象表

昭和56年7月

項目／日	気温 平均	気温 最高	気温 最低	湿度 平均	湿度 最小	平均風速	最大 風速	最大 風向	降水量	平均雲量	日照時間	天気概況 6時～18時	天気概況 18時～翌6時	霧出現日
1	19.2	23.8	14.1	82	61	2.6	4.6	NE	0.0	8.5	3.2	曇一時晴	曇一時雨	
2	21.2	22.7	20.1	84	74	3.2	4.9	SSE	1.0	10.0	－	雨	曇時々雨	
3	15.5	20.1	14.5	98	93	3.7	6.9	NNE	8.5	10.0	－	雨後曇	霧後一時雨	●
4	17.9	21.6	14.8	93	75	2.4	4.4	N	1.0	10.0	1.9	曇一時霧雨	曇一時晴霧伴う	●
5	20.8	25.3	16.2	87	67	2.8	6.0	S	－	8.5	8.5	曇後晴	晴後曇	
6	22.3	24.0	20.6	92	85	5.9	8.3	S	－	10.0	－	曇	霧後晴	●
7	22.7	26.2	20.7	89	74	6.2	9.1	SSW	－	7.3	11.1	晴	晴	●
8	22.6	26.4	19.4	86	66	2.8	6.6	SSW	－	2.8	10.2	晴	晴後霧	●
9	22.2	24.5	20.4	95	85	6.9	11.5	SSW	－	9.8	8.2	曇一時霧	霧	●
10	22.7	25.4	21.0	92	83	8.4	11.0	SSW	－	8.5	8.5	晴時々曇一時霧	霧一時曇	●
上旬	20.7	24.0	18.2	90		4.5			10.5	8.5	51.6			
11	23.0	25.9	21.0	95	84	7.4	9.2	SSW	0.0	9.8	7.8	晴一時霧	曇後霧一時霧雨	●
12	23.3	26.3	21.1	95	85	6.3	8.6	SSW	0.0	9.5	9.3	曇一時晴	曇後霧	●
13	22.7	26.2	20.1	92	81	4.3	6.8	SW	0.0	9.0	9.4	晴時々曇	霧	●
14	23.5	27.9	19.1	89	76	2.1	5.0	S	－	5.3	9.4	晴	晴後霧	●
15	23.4	28.7	18.8	89	72	2.1	5.0	S	0.0	8.5	8.5	晴一時曇	曇後霧	●
16	23.7	27.3	20.2	90	78	2.1	4.2	SE	－	7.5	9.0	晴一時霧	霧	●
17	24.8	29.0	21.3	90	72	2.0	3.9	SE	0.0	8.5	7.3	晴	霧	●
18	25.4	28.9	22.3	88	71	2.6	5.1	S	0.0	6.5	8.8	晴一時曇	霧一時曇	●
19	25.5	28.3	23.2	95	85	3.5	6.1	S	0.0	9.5	2.2	曇一時霧後晴	霧	●
20	24.3	26.1	22.6	92	80	4.9	7.4	S	－	9.8	5.3	曇	曇時々晴	●
中旬	24.0	27.5	21.0	92		3.7			0.0	8.4	77.0			
21	25.9	29.0	23.2	86	67	3.8	6.5	S	－	5.5	11.1	晴一時曇	晴後霧	●
22	22.2	26.9	19.0	91	79	3.3	8.0	NNE	0.0	10.0	7.3	霧後曇一時晴	曇時々雨	●
23	20.6	24.0	18.6	88	67	2.8	5.4	NNE	0.0	8.3	7.6	晴一時雨	曇一時雨	●
24	21.3	24.8	18.6	88	77	2.2	3.9	E	3.0	9.3	1.8	曇一時雨	曇時々晴	
25	22.0	26.2	19.7	87	74	3.3	5.5	NNE	－	9.5	8.9	曇一時晴	霧	●
26	21.3	24.1	19.3	89	77	2.6	4.4	NNE	0.0	8.5	7.2	曇後晴	曇時々雨	●
27	20.7	24.3	19.1	91	75	2.8	4.6	N	0.0	9.8	3.7	曇一時霧雨	曇霧を伴う	●
28	22.1	24.5	19.5	87	80	2.4	4.4	N	0.0	10.0	1.4	曇	曇一時雨後霧	●
29	25.3	29.1	22.6	83	67	3.2	5.3	SSE	－	7.3	12.1	晴	晴俄雨	●
30	25.7	28.8	22.8	84	74	4.0	6.2	SE	0.5	4.0	9.7	晴俄雨を伴う	晴	
31	26.2	28.7	24.4	83	73	4.5	7.0	S	－	0.3	12.6	快晴	晴	
下旬	23.0	26.4	20.6	87		3.2			3.5	7.5	83.4			
月平均	22.6	26.0	19.9	89		3.8			14.0	8.1	212.0	日照率 48 %		
平年	22.8	25.6	20.7	89		3.9			114.8	7.5	175.7	平年値 40 %		



黒潮・親潮の位置



三陸・常磐沖における親潮の南下位置(斜線は平年より南下していることを示す。)

5. 被　害　　海難事故はなかった。

6. 資　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，気象年鑑，海況旬報

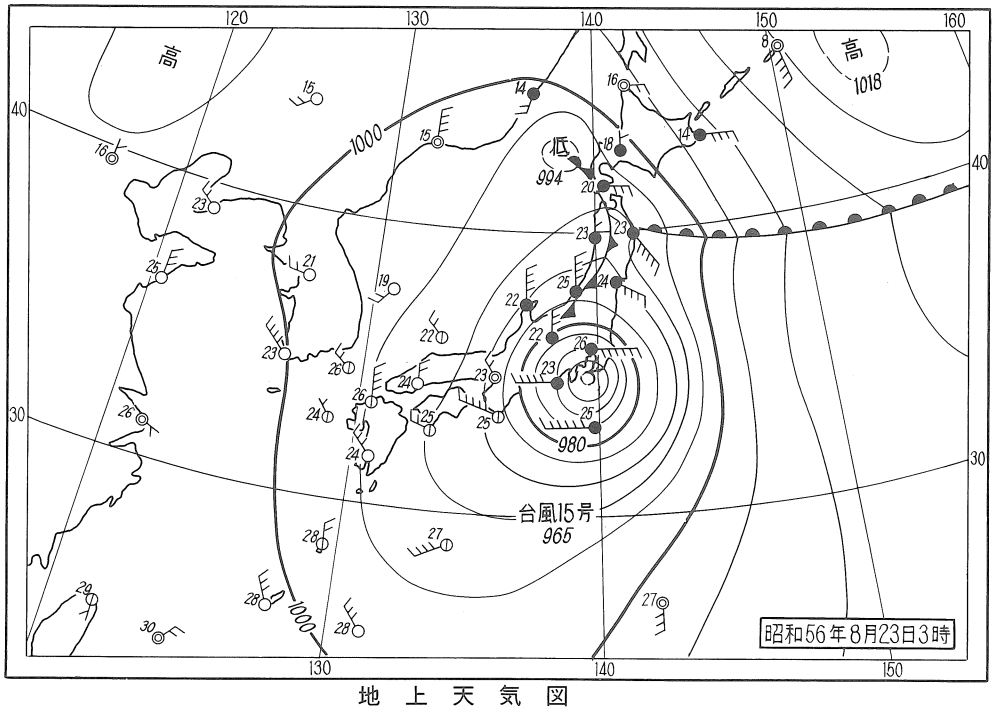
災害番号　156

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）8月23日
3. 災害原因　台風15号
4. 気象概況

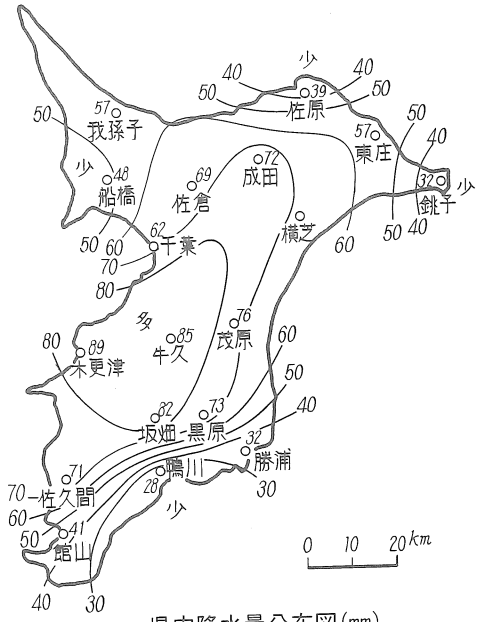
8月16日，ルソン島の東方海上に発生した台風15号は，次第に発達しながら北北東に進み，22日午前9時には鳥島の西200kmの海上を通り，23日午前0時には八丈島の西70kmの海上に達した。この台風はこの頃から加速し，23日午前4時過ぎには千葉県館山市付近に上陸した。その後，東京湾を通り，県西部から，午前6時には茨城県を通過し，更に加速しながら北上して，東北地方を縦断し，北海道の北西で温帯低気圧となった。この台風が300kmに接近した22日夜から県内全域で風雨が強まり，23日午前にかけて暴風雨となったが，午後からは回復し晴天となった。なお，降水量は県中部で多くなった。

気象官署の極値表　8月22日～23日

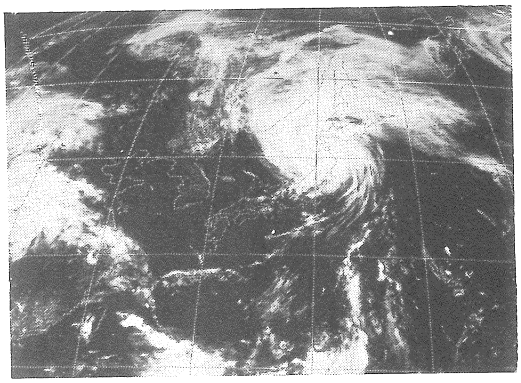
官署＼要素	最低気圧（海面）		最大風速（10分平均）		最大瞬間風速		総降水量	
	気圧 mb	起時 日時分	風向，風速 方位，m/s	起時 日時分	風向，風速 方位，m/s	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	968.2	23.05.20	SSW 23.0	23.08.00	SSW 36.4	23.08.00	32.0	22.08.30～23.12.20
館山	966.3	23.04.10	SW 15.2	23.07.20	SW 27.8	23.07.00	41.0	22.04.10～23.10.00
千葉	966.2	23.05.00	SW 21.3	23.07.50	E 30.5	23.03.00	62.0	22.06.10～23.10.00
勝浦	967.0	23.04.40	SSW 21.0	23.07.10	SSW 34.6	23.07.10	30.0	22.15.00～23.09.10
成田	966.5	23.05.30	ESE 18.5	23.03.20	ESE 30.9	23.03.30	72.0	22.05.00～23.12.00



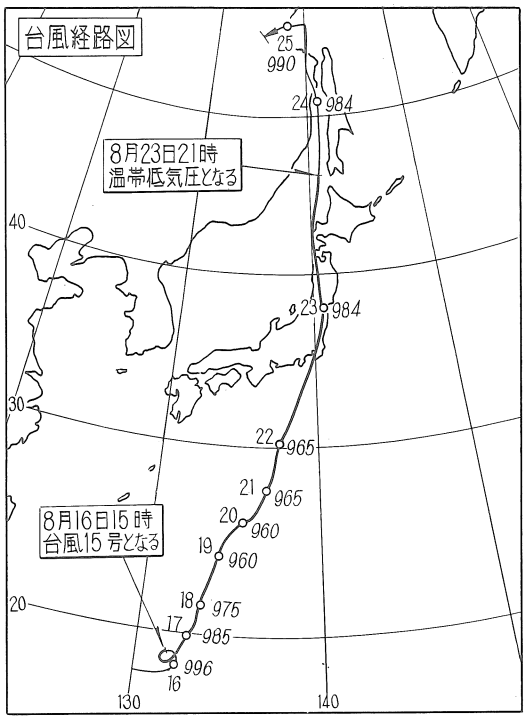
地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和56年８月22日～23日



「ひまわり」可視画像　　56年８月23日12時



台風経路図　　台風第15号

5．被　　害

死者１名，床下浸水48戸，非住家被害12戸，鉄軌道被害３ヶ所，冠水18,431ha，農林業被害36億１千万円

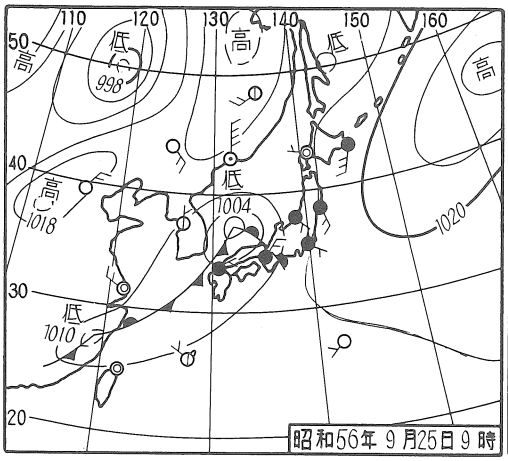
6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，台風経路図，速報天気図，県警察本部，県農林部

災害番号　157

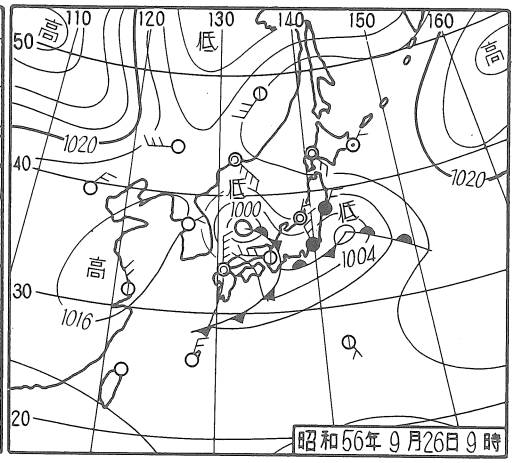
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）9月25日～26日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

24日の朝，黄海の南西部に発生した低気圧は25日には朝鮮海峡を通って日本海に入り，山陰沖から本州を縦断して26日の朝，関東の東海上に抜けた。この低気圧に伴う温暖前線の影響で千葉市では25日午前5時頃から雨が降り始めたが，15分位で一たん止んだ。

同日，午後1時過ぎから雨は本降りとなり，夜半過ぎて26日午前0時40分から1時40分までの1時間には46㎜もの強い雨が降り，総降水量は71㎜に達した。習志野市でも大雨が降り，かなりの被害が発生した。



地上天気図

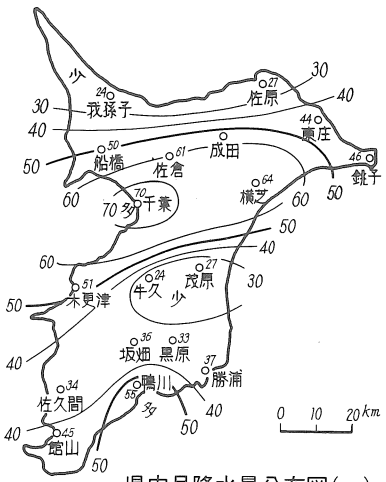


地上天気図

5. 被害

種別 / 市別	床上浸水	床下浸水	道路冠水
千葉	2	69	10
習志野	－	2	－

6. 資料　印刷天気図，京葉地帯の気候と気象災害，京葉地区防災気象連絡会　㈱京葉地帯経済協議会 p. 56～57



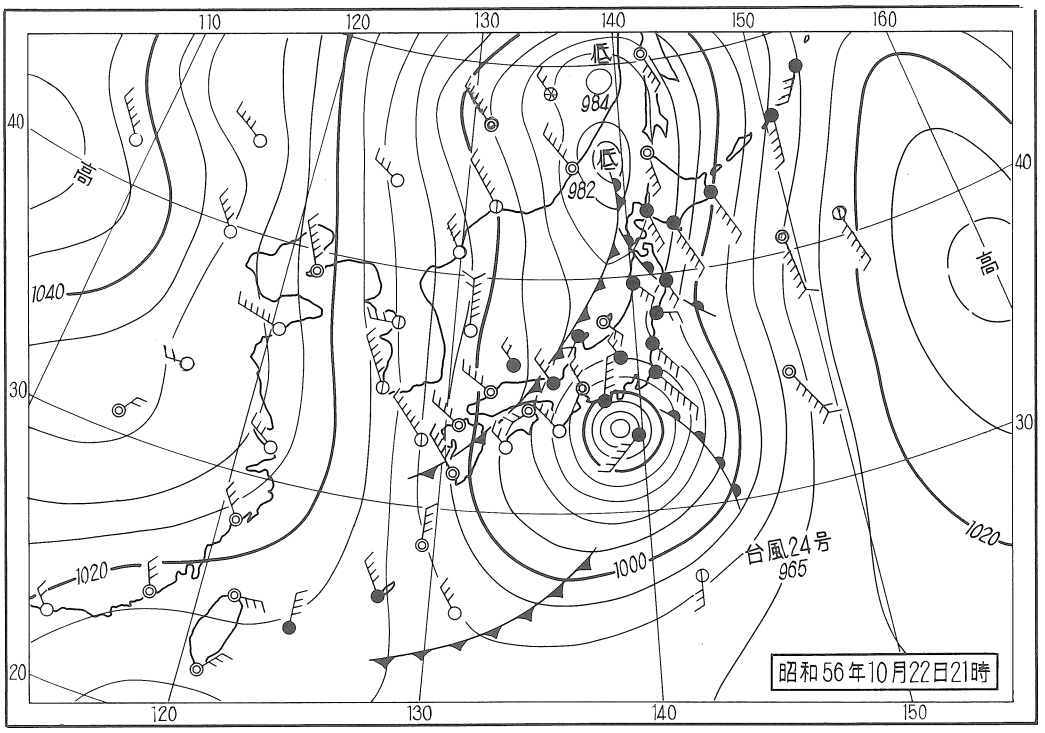
県内月降水量分布図(㎜)
昭和56年9月26日9時

災害番号　158

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和56年（1981年）10月22日～23日
3. 災害原因　台風24号
4. 気象概況

マリアナ諸島の東に発生した弱い熱帯低気圧が，16日早朝台風24号となり西北西に進んだ。沖縄の南方で進路を北から北東にとり22日の夜から23日早朝にかけて関東の南海上を進み，同日午後3時に北海道の東海上で温帯低気圧となった。この台風が接近した22日午後7時から0時頃にかけて，県下全域で降雨，風とも最も強まった。

この台風による総降水量の少ない所は太平洋沿岸の銚子付近や勝浦付近で80～120㎜，総降水量の多かったのは，南部丘陵地帯で160～180㎜，殊に多かったのは県西部の我孫子付近で，180～200㎜に達した。特に我孫子では午後9時から3時間で137㎜，総降水量221㎜に達し，県の西部としては稀な記録であった。

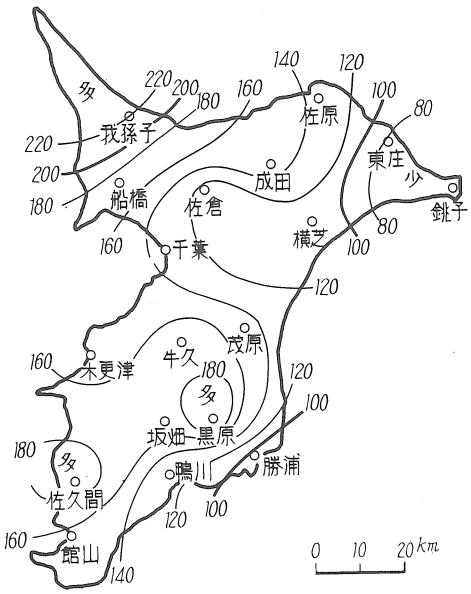


地上天気図

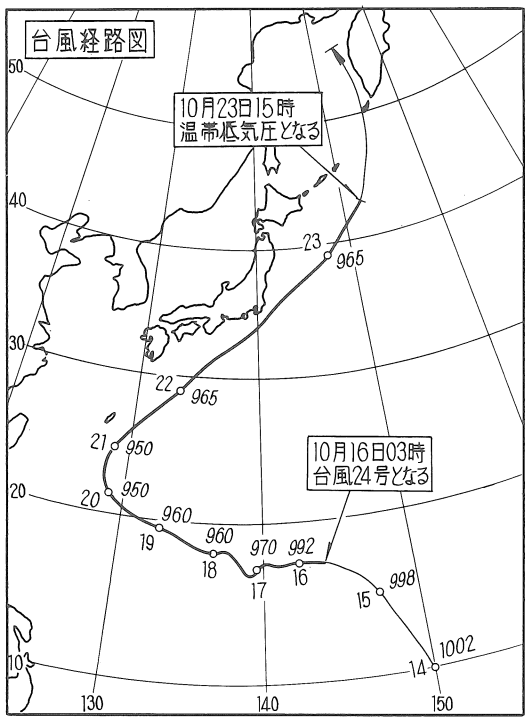
県内気象官署の極値表

要素 / 観測所	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	967.7	23. 01. 20	SE	15.3	23. 22. 30	SE	25.6	22. 22. 20
館山	968.2	23. 00. 20	NNW	13.5	23. 00. 00	NNW	26.4	22. 23. 40
千葉	967.8	23. 00. 30	NNW	17.6	23. 00. 20	NNE	28.8	23. 00. 30
勝浦	967.5	23. 00. 40	NW	10.9	23. 01. 40	NW	21.8	23. 02. 10
成田	969.2	23. 01. 00	N	18.5	23. 01. 00	WNW	25.7	23. 04. 40

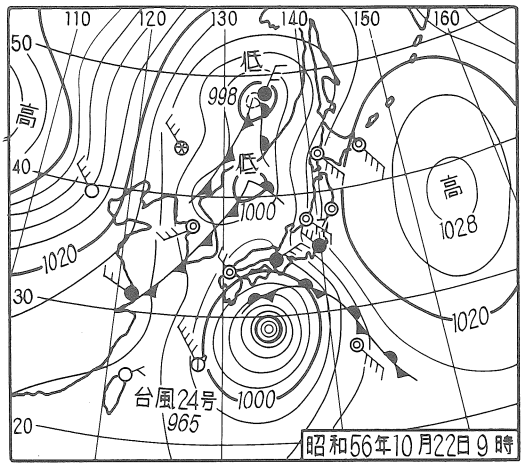
要素 / 観測所	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	3.5	23. 01. 35	8.0	22. 21. 00	56.5	22	63.0	22.04～23.03
館山	6.5	22. 23. 20	26.5	22. 20. 00	151.5	22	152.0	22.02～23.01
千葉	9.5	22. 23. 55	21.0	23. 00. 30	120.5	22	127.5	22.05～23.02
勝浦	5.0	23. 00. 20	12.0	22. 19. 40	92.0	22	98.0	22.03～23.02
成田	9.5	23. 00. 30	25.0	22. 21. 40	132.0	22	148.0	22.07～23.03



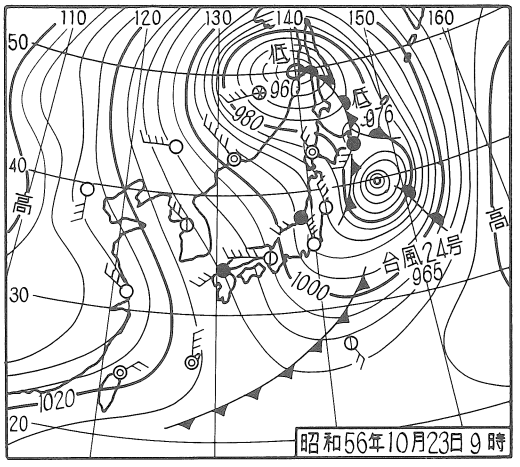
県内降水量分布図(mm)
昭和56年10月22日06時～23日04時



台風経路図 第24号



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害

台風24号による被害状況　　昭和56年10月25日現在(千葉県災害対策本部)

被害種別＼支庁名			千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	計	摘要
人的被害	死者	人		1									1	鎌谷市
	行方不明	人												
	重傷	人		1									1	鎌谷市1
	軽傷	人		2								1	3	鎌谷市2, 木更津市1
住家被害	全壊	棟		4									4	鎌谷市4
	半壊	棟		2									2	鎌谷市2
	一部破損	棟		24				1			2		27	浦安市22, 松戸市2, 山武町, 鴨川市, 鋸南町各1
	床上浸水	棟	55	9,250	7				2				9,314	船橋市661, 松戸市390, 市川市6,100, 浦安市318他
	床下浸水	棟	369	14,029	67	1		13	66		25	7	14,577	市川市6,500, 松戸市2,589, 浦安市1,503, 船橋市721他
非住家被害		棟									1		1	鴨川市
その他	田流出埋没	ha							0.01		冠水10 0.5		冠水10 0.51	鋸南町, 鴨川市0.5, 長南町0.01
	畑冠水	ha									20	1	21	鋸南町
	文教施設	個所	4	15	3	1	1		1	1		2	28	県立高校20, 小・中学校7, 養護学校1
	道路損壊	個所	70	92	9	12		8	41	14	15	22	283	富浦市23, 市原市15, 君津市15, 大多喜町11他
	橋梁損壊	個所		1					1			1	3	沼南町1, 長柄町1, 木更津市1
	河川	個所	3	5	12	6	3	9	11	34	58	9	150	鋸南町11, 和田町9, 富浦町8, 富山町4他
	港湾	個所									5		5	千倉町3, 館山市1, 鋸南町1
	水道	個所										1	1	木更津市1
	崖くずれ	個所	2	36	1	1		8	6	2	1	5	62	柏市7, 我孫子市6, 市川市22, 長柄町5他
	鉄道不通	個所											1	国鉄成田線(布佐～新木間)地盤の崩れ
	停電被害	戸	1,800	8,800	600			3,600			2,800		17.600	東金市3,600, 松戸市3,300, 柏市2,400他
	通信被害	戸						2					2	松尾町有線放送回線

農林関係の被害

（県農政課　10月23日16時現在）

区分	規模	被害額
		千円
農作物関係		
野菜	305.85 ha	394,070
落花生	2.4 ha	844
柿	10.0 ha	1,427
花	0.05 ha	3,240
小計	318.3 ha	399,581
農業生産施設関係		
ハウス	12棟　2,723 ㎡	10,130
その他	2棟　319 ㎡	1,021
小計	14棟　3,042 ㎡	11,151
農地関係	農地24ヶ所　水路37ヶ所　道路41ヶ所　ため池5ヶ所	216,500
林業関係	地すべり 0.3 ha　治山 0.2 ha　林道22ヶ所 326 m	85,980
家畜		1,500
小計		303,980
合計		714,712

交通関係

（千葉鉄道管理局　10月28日現在）

線名	被害	数量
国鉄		
総武線	運休	14本
内房線	〃	6本
成田線	〃	44本
木原線	〃	3本
久留里線	〃	5本
武蔵野線	〃	66本

私鉄

（私鉄各社調　10月28日現在）

京成線	22日23時以後終電まで全線運休 23日始発より終電まで全線運休	
流山線	運休	51本
東武線	〃	37本

電力関係

（東京電力千葉支社調　56. 10. 28）

県全域	17,000 件	平均1～2時間

水産関係の被害

（県水産部　10月26日現在）

施設名	漁協等	被害額（千円）
事務所	西岬（館山市）	20
荷捌所	忽戸（千倉町）	13
天草干場	〃	150
水産加工事務所	天津（浜荻）	15
養殖施設	鵜原	－
養殖施設	鋸南町勝山	100
漁具施設	手賀沼（沼南町）	1,200
養殖漁	〃	2,700
漁港	下原漁港（館山市営）	2,500
合計		6,698

主　要　河　川　水　位　表　　(昭56. 10. 22～23)

河川名	観測所名	通報水位	警戒水位	最高水位	同　起　時
夷隅川	大多喜	TP 14.510	16.510	16.500	22日 24時00分
加茂川	貝渚	TP 3.100	3.600	3.360	22 23 00
海老川	湊	TP 2.00	2.20	3.70	22 24 00
小櫃川	富川橋	TP 3.000	4.000	4.740	23 3 00
小糸川	釜神橋	TP 2.500	3.700	2.990	23 2 00
湊川	長崎	TP 3.50	4.40	3.640	22 23 00
一の宮川	一の宮	TP 2.50	3.30	4.500	23 3 00
一の宮川	茂原	TP 2.500	3.500	5.750	23 3 00
神崎川	谷田	TP 2.050	2.050	YP＋4.22	23 3 00
養老川	五井	AP 4.480	5.480	5.900	23 3 10
養老川	三和	AP 8.80	10.00	10.000	23 4 15
養老川	牛久	AP 2.040	21.90	23.40	23 3 00
村田川	草苅	TP 4.280	5.780	3.20	22 20 40
作田川	成東		TP 4.700	4.400	23 2 00
木戸川	田越		TP 5.800	4.940	23 3 00
真亀川	小田沼		TP 3.400	2.520	23 3 00
丸山川	古川	TP 1.200	1.800	1.000	22 22 00
平久里川	三芳	TP 1.000	2.000	2.090	23 2 00
佐久間川	下佐久間	TP 1.000	1.500		
栗山川	芝崎	TP 3.420	3.920	2.48	23 1 00
新川	千潟	TP 1.800	2.300	2.09	23 5 00
鹿島川	小篠塚			YP 6.900	23 4 00
坂川	納屋	YP 3.00	3.36	3.00	22 23 44
新坂川	北部小学校前	YP 3.00	3.36	3.35	22 23 37
よし川	あけぼの橋			天端 0.50 下り	22 23 00
よし川	木橋			天橋 0.90 下り	22 23 00
都川	都橋			AP＋2.00	22 23 00
都川	水源橋			AP＋3.50	22 24 00

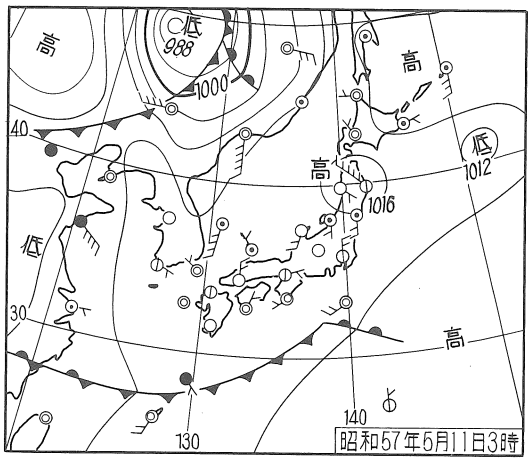
T.P：東京湾中等潮位　Y.P：江戸川工事基準面　A.P：T.Pより 1.1344ｍ低い

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，災害気象速報（1981－1号），印刷天気図，台風経路図

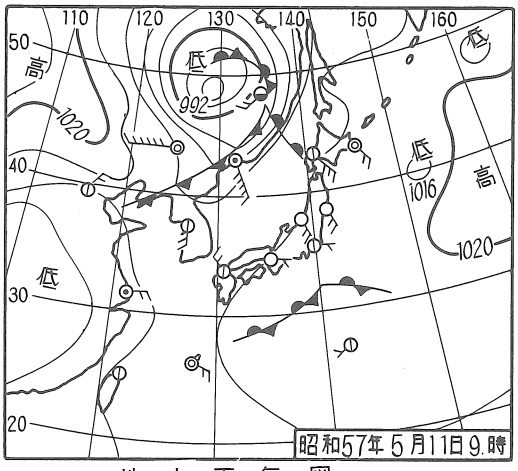
災害番号　159

1. 災害の種類(名称)　視程不良（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）5月11日
3. 災害原因　濃霧
4. 気象概況

11日早朝，全国的に晴れて冷えたため，沿岸地方では所々霧が発生した。この日は，銚子から勝浦沖までの太平洋沿岸で濃霧となった。なお，この5月は，太平洋沿岸で霧の発生が多く，銚子では5月中の霧日数は8日となった。



地上天気図



地上天気図

5. 被害

11日午前6時52分，勝浦灯台の南南西14.4kmの海上で，貨物船まらっか丸（15,893ｔ，23名乗組）と周南丸（489ｔ，6名乗組）が衝突し，周南丸が沈没，まらっか丸は右舷側破損し，2名行方不明，4名は救助された。

6. 資料　千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図

災害番号　160

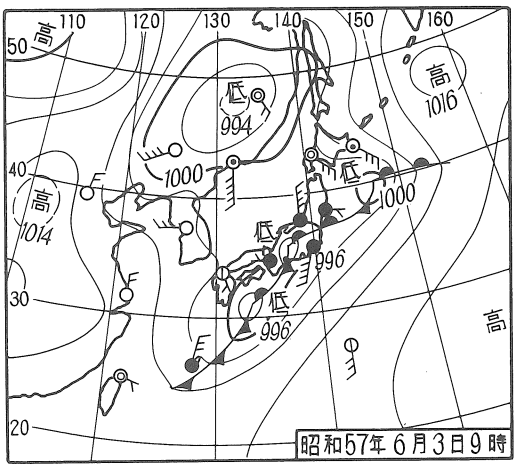
1. 災害の種類(名称)　波浪・強風（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）6月3日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

3日は，三陸沖から本州中部を南西にのびる前線上を低気圧が発達しながら北東進した。千葉県ではこの前線や低気圧の南側に入って暖湿な南風が吹き込み,午前9時頃から10m/sを超える強風と雨を伴って午後5時頃まで続いた。なお，この日国道127号線明鐘トンネル付近でトラック2台が突風で横転した。明鐘岬霧観測所のデータによると，午前7時から午後3時まで平均風速20m/sを超す南風が吹いており，平均最大風速は28～30m/sに達していた。

明鐘岬霧観測所の記録表(ER方式)

日時	10分間平均		10分間平均最大		
	風向16方位	風速 m/s	風向16方位	風速 m/s	起時 時分
3. 6	S	3.0			
7	S	20.0			
8	S	26.0	S	28.0	08h22m
9	S	26.0			
10	S	27.5	S	28.0	09h48m
11	S	24.0			
12	S	25.0			
13	S	22.0			
14	S	27.0	S	30.0	14h23m
15	S	22.0			
16	S	15.0			
17	S	11.5			
18	S	13.5			
19	S	10.0			
20	S	10.0			
21	S	2.5			

ER：トリガパルス打点機構,
ER(4030)打点記録計(横河)



地上天気図

5. 被害

- 3日午前8時20分頃，袖が浦町京葉シーバースの沖で，小型漁船（4.37ｔ）が漂流し，1名が救助された。
- 午前9時11分頃，小型漁船(4.17ｔ)が漂流し，4名救助されたが，うち1名が打撲傷を負った。
- 午前10時30分頃，富津市金谷の国道127号線，明鐘トンネル手前北方道路上で，トラック2台が突風にあおられ横転した。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図
明鐘岬霧観測所記録紙

災害番号　161

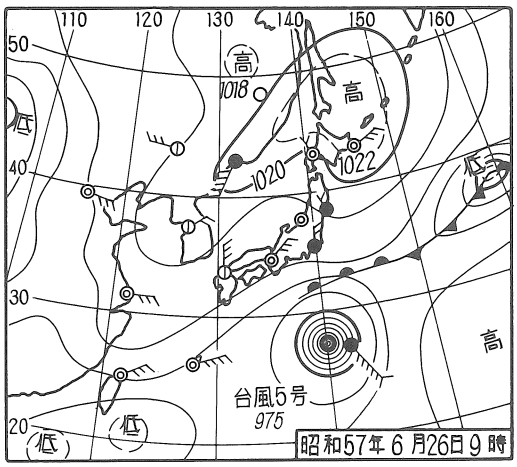
1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）6月26日～27日
3. 災害原因　台風5号
4. 気象概況

6月21日，カロリン群島に発生した台風5号は，次第に北上を続け，硫黄島の南で北北東に進路をとり，26日午後鳥島のすぐ東から八丈島の東方，27日未明には房総沖240kmの海上を通って27日正午，本州の東海上で温帯低気圧になった。この台風の接近に伴い県内では26日午前中から雨が降り出し，一番接近した26日夜から27日未明にかけては風雨が強まった。

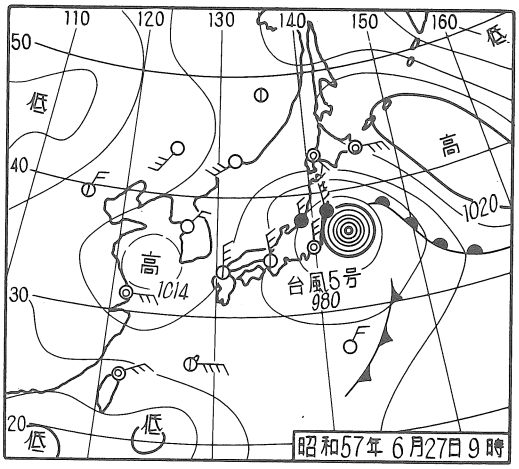
気象官署の極値表　6月26日～27日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	998.3	27. 07. 10	NNW	14.5	27. 05. 40	NW	27.7	27. 07. 40
館山	1,001.1	27. 03. 15	N	8.9	27. 02. 00	N	19.5	27. 03. 20
千葉	1,001.8	27. 16. 30	NNW	11.7	27. 05. 40	NNW	18.1	27. 05. 25
勝浦	999.3	27. 04. 20	N	9.0	27. 03. 00	N	19.9	27. 02. 00

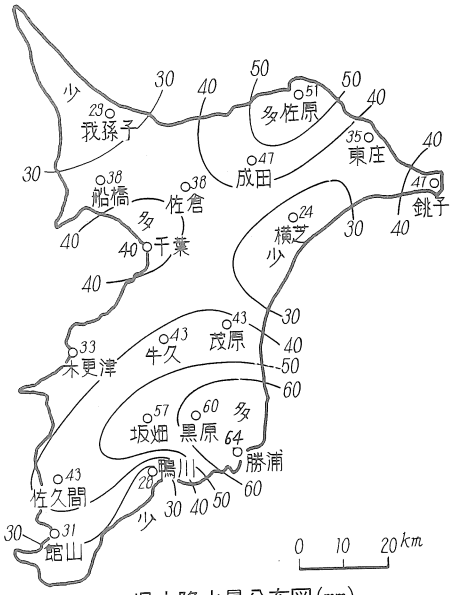
要素 / 官署	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	2.0	27. 01. 40	7.5	27. 02. 30	33.5	27	47.5	26.11.20～27.10.20
館山	1.0	27. 02. 00	4.0	27. 00. 40	19.5	26	31.5	26.10.15～27.08.25
千葉	1.5	27. 01. 40	6.5	27. 02. 20	26.5	27	40.0	26.09.10～27.09.20
勝浦	2.5	26. 23. 10	9.0	26. 23. 30	34.5	26	64.5	26.10.30～27.08.00



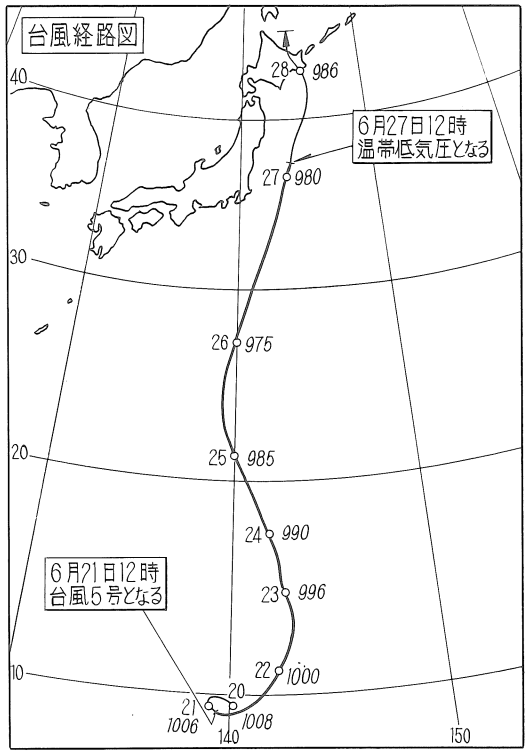
地上天気図



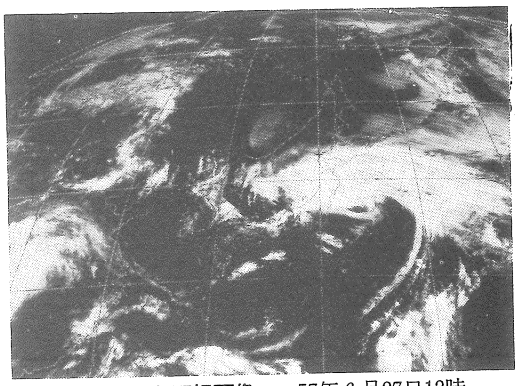
地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和57年 6 月26日～27日



台 風 経 路 図



「ひまわり」可視画像　　57年 6 月27日12時

5. 被　　害

長生郡一宮町東浪見駅南方400m 付近で土砂崩れが起り，外房線が埋って列車が脱線，3 名が負傷した。また長生部長生町一松一宮河口で貝採りの少女が高波にさらわれ行方不明となった。そのほか山崩れ 1 ヶ所，鉄軌道被害 1 ヶ所，国鉄運休，不通75本

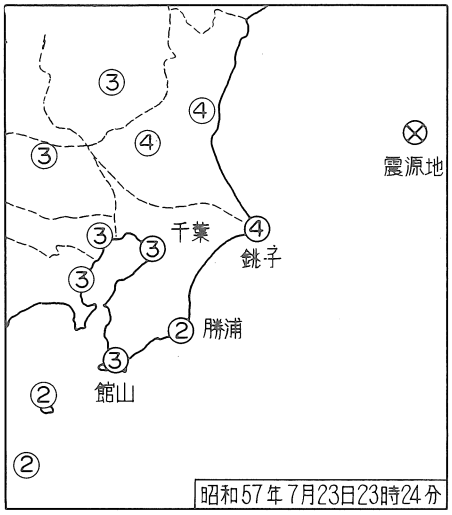
6. 資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，気象日原簿，印刷天気図，台風経路図

災害番号　162

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）7月23日
3. 災害原因　震度 4
4. 概況

23日，午後11時24分頃，関東地方，東北地方南部を中心とする強い地震を感じた。震源地は茨城県沖で震源の深さは30km，マグニチュード7.0で，銚子で震度4，館山，千葉で震度3，勝浦で震度2であった。この地震により千葉県，茨城県に津波注意報が発表され，銚子では23日午後11時50分に15cm，また館山では24日午前0時00分，12cmの津波を観測した。なお，津波注意報は，24日午前1時11分解除された。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
23日23時24分	茨城県沖	141°57′	36°11′	30 km	M＝7.0



震度分布図

5. 被害　——
6. 資料　地震原簿，地震火山概況，被害地震の表と震度分布図(58年3月気象庁)

災害番号　163

1. 災害の種類(名称)　冷害
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）6月21日～7月31日
3. 災害原因　夏季異常低温
4. 気象概況

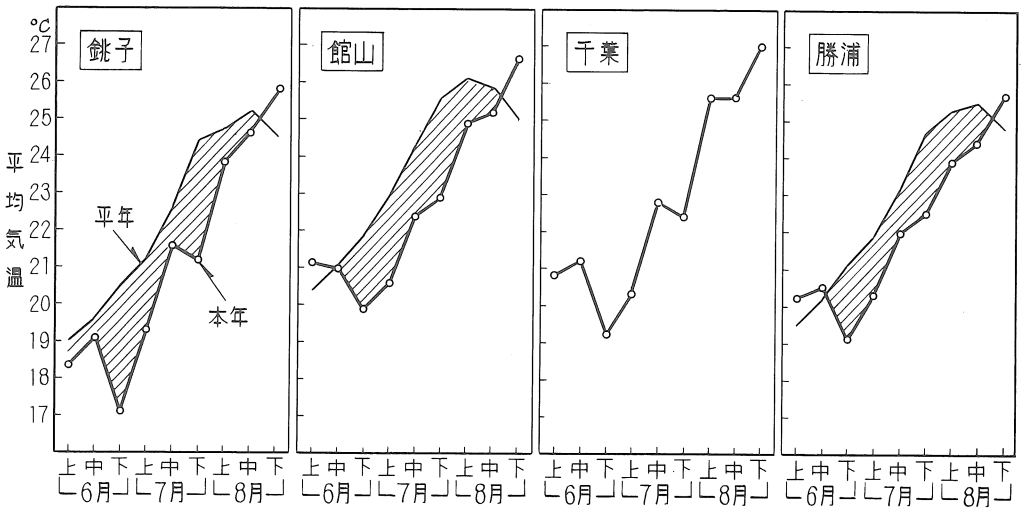
関東地方では6月14日に梅雨入りして以来，オホーツク海高気圧の勢力下にあり，7月に入っても太平洋高気圧は一向に強まらず，南岸には梅雨前線が停滞した。このため，6月下旬から8月中旬にかけて異常低温に見舞われた。殊に6月22日～7月10日にかけての19日間，県内では日最低気温17℃以下の日が続き，水稲の早生種に稲穂の不稔現象が続発した。

なお，関東地方では8月2日ようやく梅雨明けとなった。

気象官署における旬別平均気温(℃)

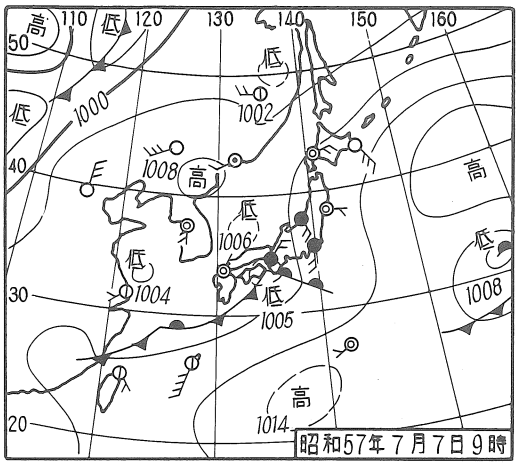
6月～8月

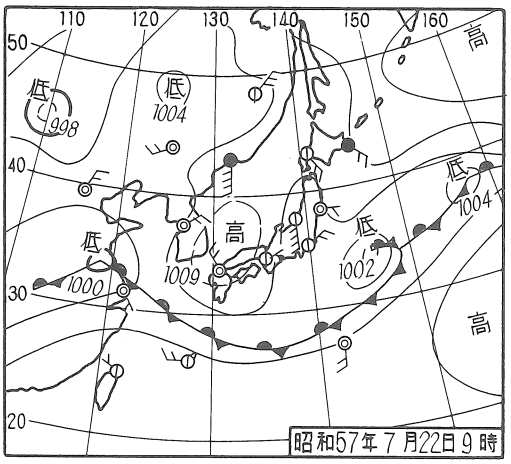
官署名		6月上旬	6月中旬	6月下旬	7月上旬	7月中旬	7月下旬	8月上旬	8月中旬	8月下旬
銚子	平年	19.0	19.6	20.5	21.2	22.6	24.4	24.7	25.2	24.5
	本年	18.3	19.1	17.1	19.3	21.6	21.2	23.8	24.6	25.8
	差	−0.7	−0.5	−3.4	−1.9	−1.0	−3.2	−0.9	−0.6	1.3
館山	平年	20.4	21.1	21.9	23.0	24.3	25.6	26.1	25.9	25.0
	本年	21.1	21.0	19.9	20.6	22.4	22.9	24.9	25.2	26.7
	差	0.7	−0.1	−2.0	−2.4	−1.9	−2.7	−1.2	−0.7	1.7
千葉	平年	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	本年	20.8	21.2	19.2	20.3	22.8	22.4	25.6	25.6	27.0
	差									
勝浦	平年	19.5	20.2	21.1	21.9	23.2	24.7	25.3	25.5	24.8
	本年	20.2	20.5	19.1	20.3	22.0	22.5	23.9	24.4	25.7
	差	0.7	0.3	−2.0	−1.6	−1.2	−2.2	−1.4	−1.1	0.9



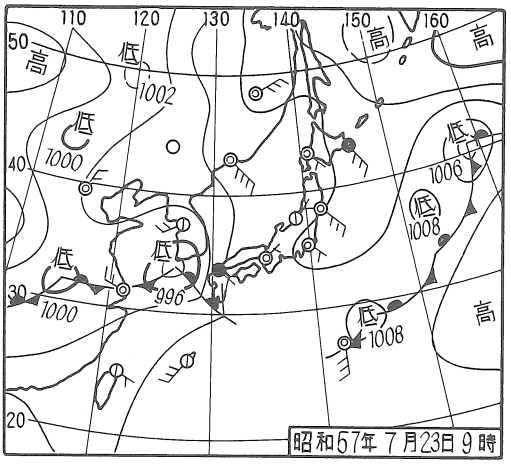
旬別平均気温図(℃)

(注) 昭和56年4月1日，千葉が移転し，平年値は得られない(出洲港→中央港)





地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　　害

香取，海匝地区を中心に不稔被害面積17,590ha，被害額68億1,700万円

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告

災害番号　164

1. 災害の種類(名称)　暴風雨

2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）８月１日～２日

3. 災害原因　台風10号

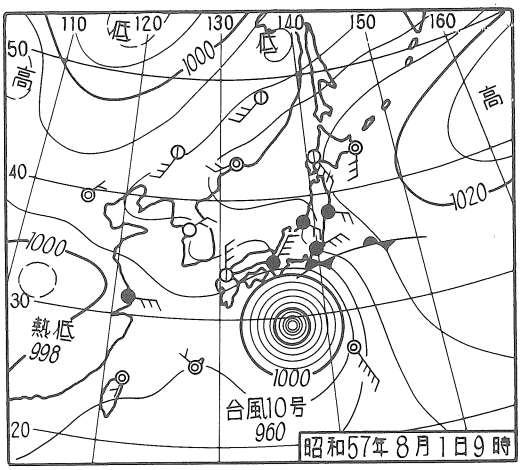
4. 気象概況

マリアナ諸島はるか東方海上に発生した弱い熱帯低気圧は，西北西に進み，７月24日午前３時に台風10号となった。その後北西に進み，マリアナ諸島の北に達した7月29日午前9時には中心の気圧も900mbと大型に発達した。そして更に北西に進み，父島の西方海上に達してからは北に向きを変え北上し，８月２日午前０時すぎに愛知県渥美半島西部に上陸した。その後勢力を弱めながら北上して，２日早朝日本海に抜け，午後には温帯低気圧となった。この影響で１日夜から２日朝にかけて，県南部を中心に強風と大雨による被害が続出した。

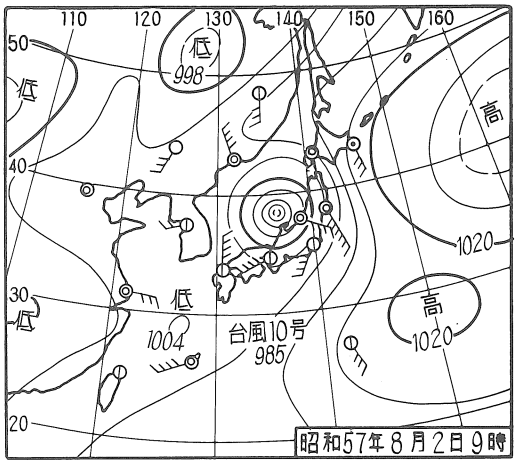
気象官署の極値表　７月31日～８月２日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1,000.2	2. 02. 46	SE	17.0	2. 00. 20	SE	30.4	2. 00. 56
館山	994.0	2. 00. 10	ESE	16.3	1. 24. 00	SE	30.6	2. 00. 50
千葉	995.1	2. 00. 55	SSE	22.6	2. 11. 00	SE	34.4	2. 01. 40
勝浦	998.3	2. 01. 00	S	16.1	2. 04. 20	SSE	26.8	2. 00. 10

要素 / 官署	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日時分	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	0.5	－	2.0	1. 07. 00	8.0	1. 24. 00	12.0	31.13.05～2.04.30
館山	5.0	1. 08. 50	20.0	1. 09. 20	86.0	1. 24. 00	92.0	31.16.25～2.03.30
千葉	3.0	1. 10. 50	10.0	1. 10. 50	49.5	1. 24. 00	58.0	31.17.45～2.08.05
勝浦	3.0	1. 08. 50	7.5	1. 09. 00	34.0	1. 24. 00	45.0	31.14.10～2.03.45



地上天気図



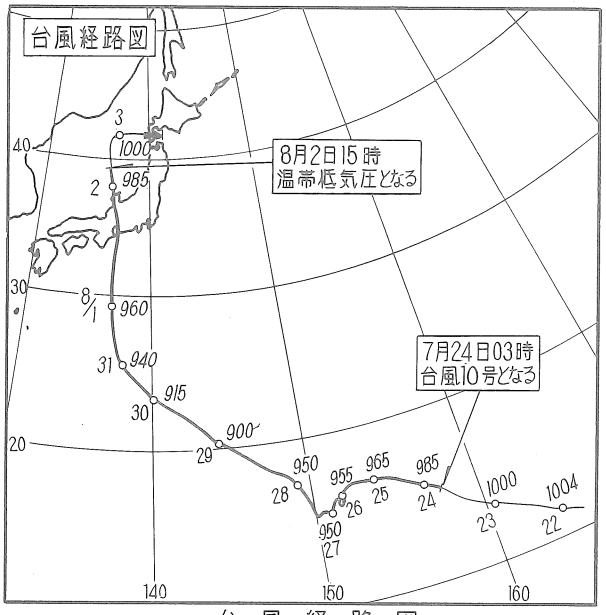
地上天気図

アメダス降水量・風の値（最大風速）

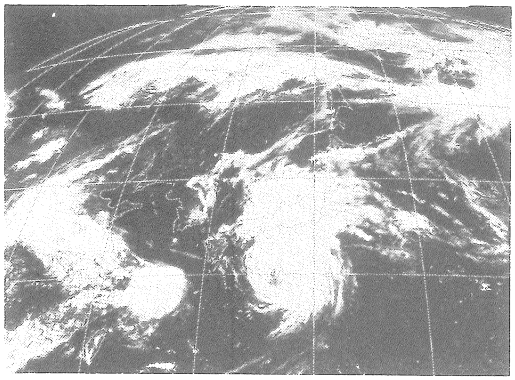
地名	降水量合計	風向	風速	起時
	mm		m/s	日 時
佐原	25	SSE	10	2．05
我孫子	57	SE	10	2．01
東庄	14			
船橋	55	SE	11	2．01
佐倉	40	S	13	2．05
銚子	12	SE	17	2．01
横芝	17	SSE	12	2．02
千葉	58	SE	22	2．01
茂原	46	SSE	9	2．02
木更津	74	S	16	2．05
牛久	73	ESE	10	1．24
坂畑	73	SW	8	2．10
黒原	55			
佐久間	90			
鴨川	58	SE	10	1．23
勝浦	45	S	16	2．04
館山	92	ESE	16	1．24

最大瞬間風速

		m/s	日 時 分
銚子	SE	30.4	2．00．56
千葉	SE	34.4	2．01．40
勝浦	SSE	26.8	2．00．10



台風経路図


「ひまわり」可視画像　57年8月1日12時

5．被　害

軽傷2名，家屋一部破損3戸，非住家損壊78戸，道路損壊3ヶ所，がけ崩れ4ヶ所，鉄軌道被害1ヶ所，通信施設被害1ヶ所，国鉄運休10本，東武野田線運休16本，農林被害22億1,000万円（梨，栗等果樹14億円，とうもろこし，ごぼう，トマト等野菜類7億2,000万円，飼料作物4,600万円，他）水稲冠水800ha，その他ビニールハウス倒壊破損683ヶ所

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，台風経路図，県警察本部

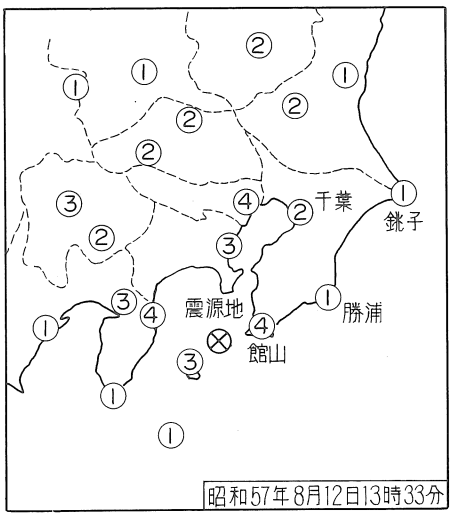
千葉日報（8月3日）

災害番号　165

1. 災害の種類(名称)　地震
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）8月12日
3. 災害原因　震度 4
4. 概況

8月12日，午後1時33分頃，関東地方に地震を感じた。震源地は伊豆大島近海で，震源の深さは30km，マグニチュード5.7，館山で震度4，千葉で震度2，銚子・勝浦で震度1であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
8月12日13時33分	伊豆大島付近	34°53′	139°34′	30 km	M ＝5.7



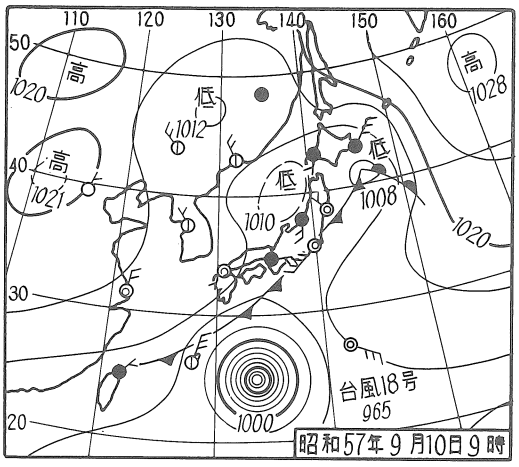
震度分布図

5. 被害　家屋破損 1戸
6. 資料　地震原簿，地震火山概況
被害地震の表と震度分布図

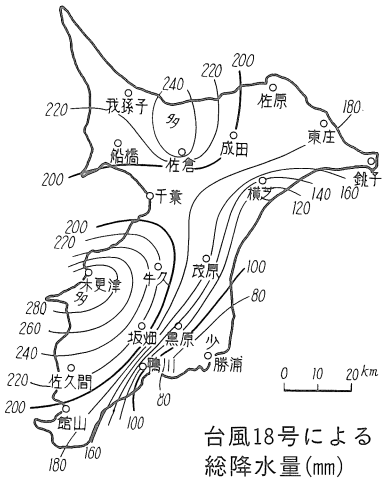
災害番号　166

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）9月10日～13日
3. 災害原因　前線・台風18号
4. 気象概況

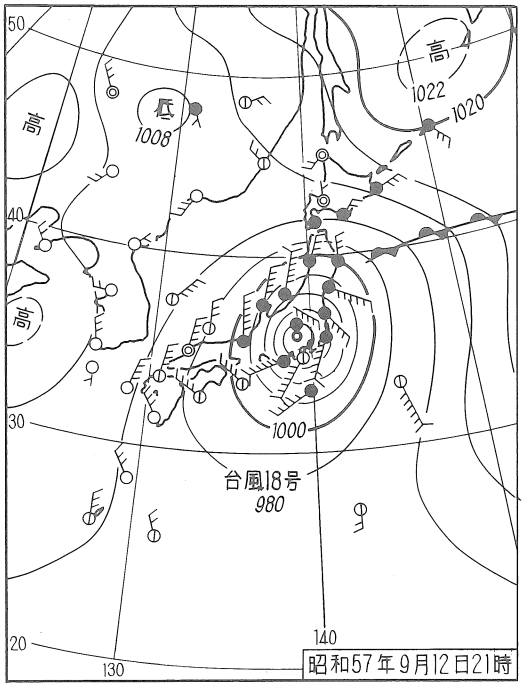
9月6日，マリアナ諸島に発生した台風18号は，北西に進み，沖ノ大東島の東海上で北から北々東に進路を変えて12日午後6時頃，静岡県御前崎付近に上陸し，東日本を縦断して，13日午前8時下北半島付近で温帯低気圧となった。この台風の接近に伴い南海上に停滞していた秋雨前線が活発化し，千葉県では9日夜半頃から12日夜半にかけ大雨となった。秋雨前線による県内の降水量は，10日正午から11日午前5時までに40～120mmに達した。また，台風による降水量は11日午前6時から12日午後8時までに最も多かった印旛，葛飾支庁管内で200～240mm，君津支庁管内で220～260mmに達し，被害もこの地域に集中した。



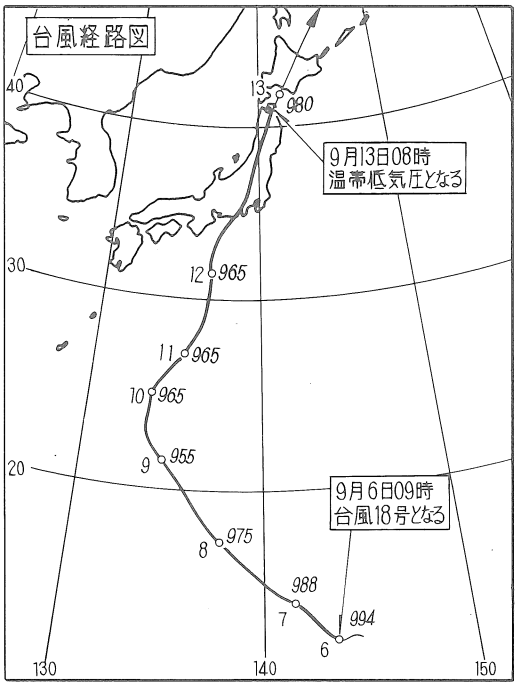
地上天気図



台風18号による総降水量(mm)



地　上　天　気　図



台　風　経　路　図

県内官署における極値表　　9月10日～12日

要素 / 官署	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	990.2	12. 19. 25*	S	18.9	12. 19. 30	S	32.4	12. 19. 20
館山	986.0	12. 17. 50	SSW	16.1	12. 21. 00	SSW	32.1	12. 20. 50
千葉	985.3	12. 19. 50	SSE	23.1	12. 20. 20	SSE	31.4	12. 20. 10
勝浦	988.8	12. 18. 00	S	18.7	12. 20. 30	S	28.7	12. 20. 40
成田	982.5	12. 19. 30	S	17.0	12. 20. 30	S	28.8	12. 20. 25

要素 / 官署	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日時分	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	14.5	11. 19. 20	35.0	11. 19. 50	66.5	11. 24. 00	97.0	11.06.00～12.21.00
館山	10.5	11. 17. 05	38.0	11. 17. 50	95.0	12. 24. 00	166.0	11.06.00～12.21.00
千葉	8.5	12. 10. 15	22.5	12. 10. 10	111.0	12. 24. 00	132.0	11.06.00～12.21.00
勝浦	3.5	10. 23. 10	6.0	11. 23. 30	41.5	12. 24. 00	55.5	11.06.00～12.21.00
成田	－	－	29.0	12. 10. 40	－	－	161.0	11.06.00～12.21.00

（注）＊他にも同じ数値の記録がある。

5. 被　害

負傷者1名，家屋全壊1戸，一部破損9戸，床上浸水124戸，床下浸水2,865戸，非住家被害8戸，道路損壊89ヶ所，山・がけ崩れ85ヶ所，鉄軌道被害7ヶ所，船舶流出1隻，農作物被害約189億円。船橋市の海老川が溢れ，利根川下流の銚子市で増水し72戸が浸水した。また，国鉄線の一部で路線が冠水し約80本が運休，京成，成田線の一部が不通，スカイライナー全面運休した。田畑は稲の倒伏・水田冠水・野菜の被害は印旛地域で最も多い。

6. 資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，台風経路図，県警察本部，県農政課

災害番号　167

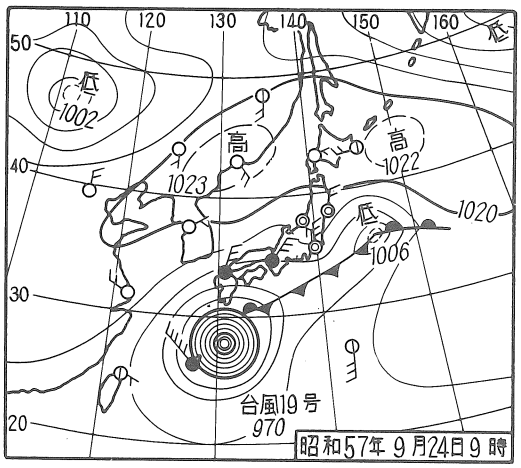
1. 災害の種類(名称)　大雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）9月24日～25日
3. 災害原因　前線・台風19号
4. 気象概況

9月16日，ルソン島のはるか東方海上に発生した台風19号が西北西に進み，石垣島の南方で，一時足踏み状態を続けたが，22日から北東に向きを変え次第に加速し，25日午前3時頃，愛媛県宇和島市付近に上陸した。その後更に北上し中国地方を縦断して日本海で温帯低気圧となった。一方，本州の南岸に停滞していた秋雨前線が活発となり，県内では25日午前6時頃から8時頃にかけ一時雨が強まった。25日の日降水量は房総南部の佐久間で104㎜に達したが，勝浦では12㎜しか降らなかった。

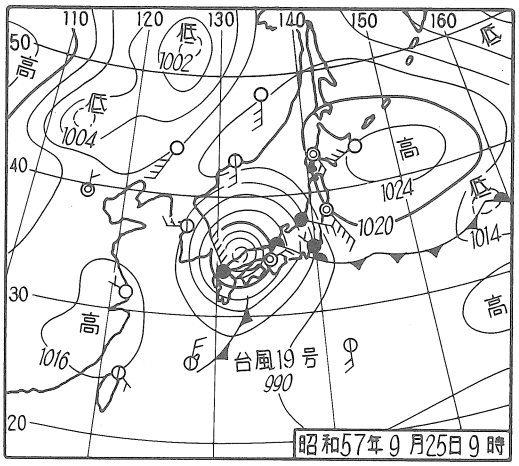
気象官署の観測表　9月25日

官署＼要素	最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	SE	8.6	25. 15. 40	SE	14.3	25. 14. 10
館山	E	7.0	25. 07. 50	NNE	14.9	25. 09. 40
千葉	ENE	8.8	25. 08. 50	ENE	13.8	25. 08. 50
勝浦	S	8.0	25. 15. 10	S	12.8	25. 15. 00

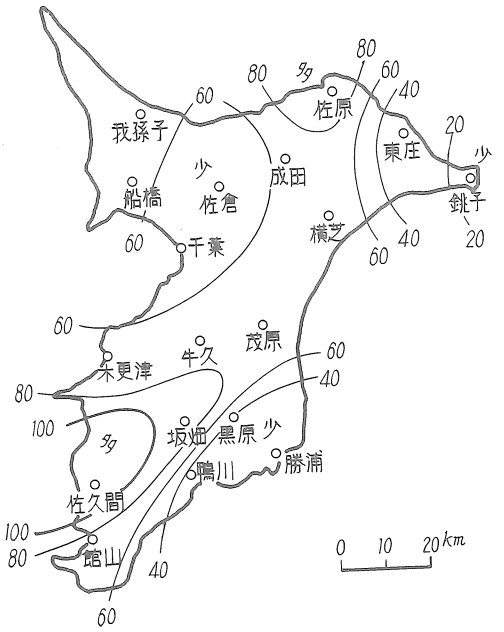
官署＼要素	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 ㎜	起時 日時分	降水量 ㎜	起時 日時分	降水量 ㎜	起時 日時分	降水量 ㎜	起時 日時分
銚子	1.5	25. 10. 00	4.0	25. 10. 30	5.5	25. 24. 00	5.5	25. 08～15
館山	14.0	25. 10. 10	30.5	25. 10. 00	72.5	25. 24. 00	72.5	25. 06～24
千葉	6.0	25. 11. 40	21.5	25. 12. 20	47.0	25. 24. 00	47.0	25. 05～15
勝浦	3.0	25. 08. 30	8.0	25. 08. 30	12.0	25. 13. 30	12.0	25. 08～15



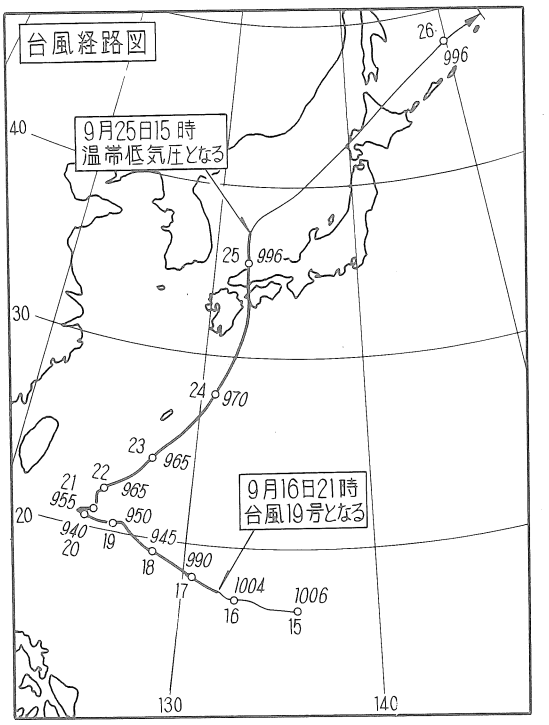
地上天気図



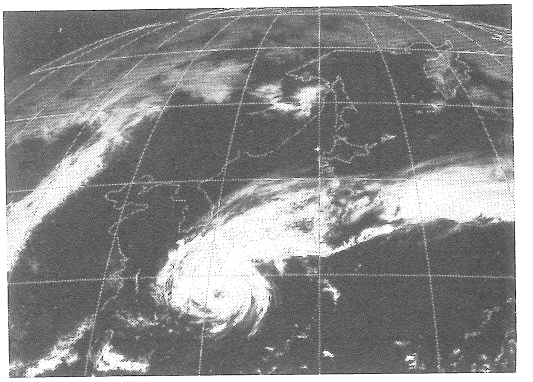
地上天気図



県内降水量分布図（mm）
昭和57年９月24～25日



台　風　経　路　図



「ひまわり」可視画像　　57年９月２日12時

5．被　　害

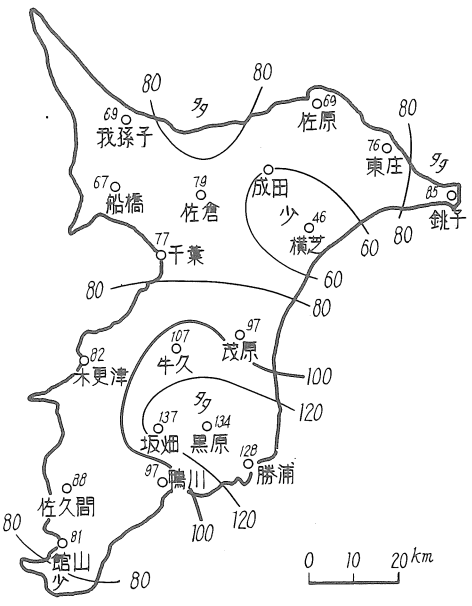
家屋全壊１戸，床上浸水16戸（習志野11戸），床下浸水600戸（小見川400戸，東金50戸，佐原37戸，千葉22戸），一部破損１戸，がけ崩れ11ヶ所（東金８ヶ所），道路冠水79ヶ所，鉄道遅延18本，成田線運休２本

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，台風経路図

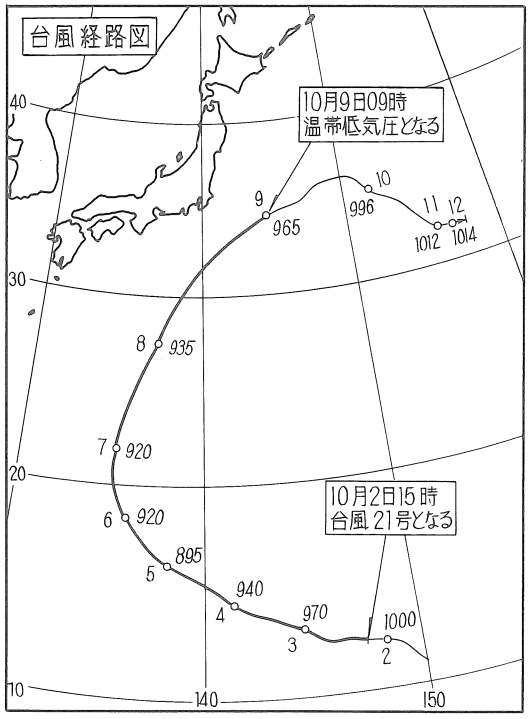
災害番号　168

1. 災害の種類(名称)　暴風雨
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）10月８日～９日
3. 災害原因　台風21号
4. 気象概況

10月２日，グァム島の東海上に発生した台風21号は西北西に進んだ。沖の鳥島の西に達してからは進路を北から北北東にとり，８日夜，八丈島の南を通って北東に進み９日午前９時に温帯低気圧となった。８日関東のはるか南に停滞していた秋雨前線が台風の北上とともに次第に北に押し上げられ，関東地方を中心に大風・大雨となった。なお，この台風21号による県内の降水量は県南部の丘陵地帯に多く，坂畑で137㎜，黒原で134㎜，勝浦で128㎜を記録した。台風の通過に伴って強風を伴い銚子では最大瞬間風速NE36.3m/sを記録した。この台風の上陸を免れたため，被害は小さくて済んだが，オジギ形となったため海上のウネリや波浪は長びいた。



県内降水量分布図（㎜）
昭和57年10月８～９日



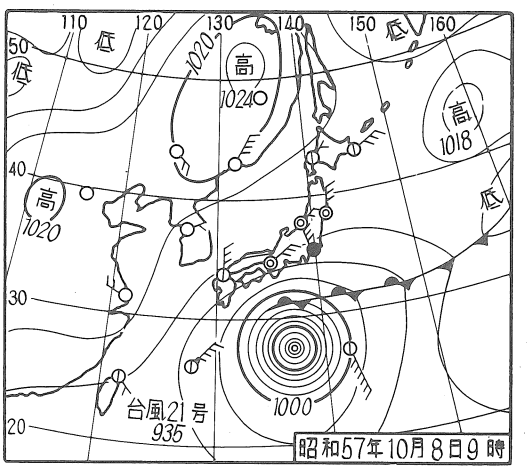
台風経路図

気 象 官 署 の 極 値 表

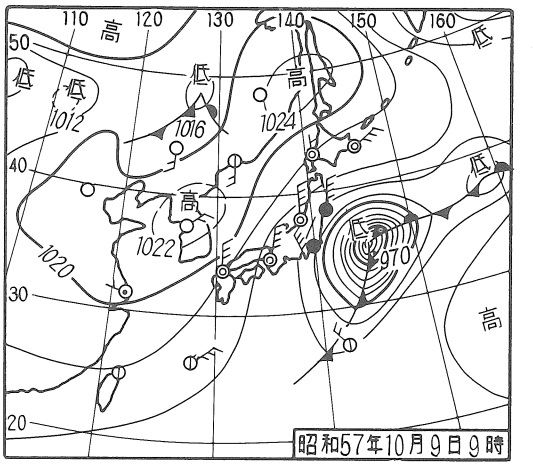
10月7日～9日

官署＼要素	最低気圧（海面） 気圧 mb	起時 日時分	最大風速（10分間平均） 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	997.8	9. 02. 30	NNE	20.5	9. 04. 50	NE	36.3	9. 05. 08
館山	996.2	9. 00. 20	NNE	11.7	9. 00. 20	N	24.7	9. 05. 20
千葉	999.9	9. 02. 10	NNE	13.4	9. 03. 50	N	25.7	9. 04. 05
勝浦	995.4	9. 01. 20	N	10.2	9. 04. 30	N	23.3	9. 01. 25
成田	999.4	9. 02. 20	NNE	17.0	9. 04. 10	NNE	28.3	9. 05. 45

官署＼要素	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日時分	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	3.5	9. 01. 10	11.5	9. 01. 20	43.0	9.	79.5	8.00 00～9.09.00
館山	2.0	8. 23. 40	9.0	8. 24. 00	50.5	8.	79.5	7.14.40～9.10.35
千葉	2.0	9. 01. 15	6.5	9. 01. 50	37.5	8.	76.5	7.22.05～9.16.30
勝浦	4.5	8. 23. 30	18.0	8. 23. 50	101.5	9.	128.0	7.16.10～9.14.30
成田	2.0	9. 01. 10	7.5	9. 01. 50	43.0	9.	57.5	8.09.00～9.09.00



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

5. 被　害

千葉市若松町内で，住家床下浸水があったが，台風の上陸を免れたので被害は小さくて済んだ

6. 資　料　　異常気象報告，印刷天気図，台風経路図

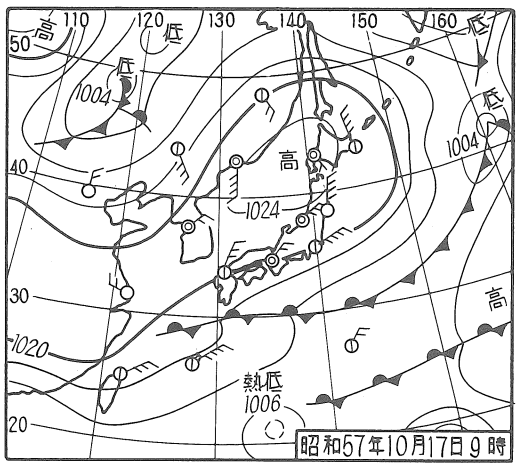
災害番号　169

1. 災害の種類(名称)　波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）10月17日
3. 災害原因　北高型
4. 気象概況

17日は北日本を大きな移動性高気圧が通り北高型の気圧配置となった。そのため，関東地方では北東風が吹き易くなり，この風の吹走により海上では波が高まった。なお，銚子港では午前9時最大波高4.44mを観測した。

転覆前後の館山における観測表　10月17日

種目 / 日時	風向 16方位	風速 m/s	備考
17. 10h	NE	5.7	最大風速 NE 6.4 m/s
11	ENE	5.7	
12	NE	4.6	
13	ENE	4.9	
14	NE	5.0	
15	NE	3.7	
16	NNE	3.9	
17	NE	2.9	
18	NE	2.2	



地上天気図

5. 被害

17日，午後2時30分頃，館山市相浜港を出航した釣客3名が行方不明となった。なお，18日午後，相浜沖13kmの海上で転覆したボートが発見された。

6. 資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

災害番号　170

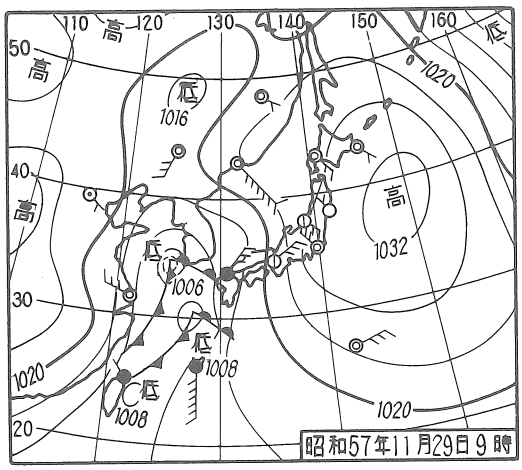
1. 災害の種類(名称)　大雨・波浪（海難）
2. 災害発生年月日(期間)　昭和57年（1982年）11月30日
3. 災害原因　低気圧
4. 気象概況

29日，黄海と東シナ海北部に発生した２ツ玉低気圧が急速に発達しながら本州沿いと日本海を北東または東北東に進んだ。このため，29日から30日にかけて全国的に大荒れとなった。この低気圧の通過に伴い，午前８時から10時頃にかけ，柏市，松戸市，我孫子市，東葛地区で豪雨に見舞われ，殊に我孫子市では１時間最大降水量37㎜を記録した。このため各地で浸水が続出した。

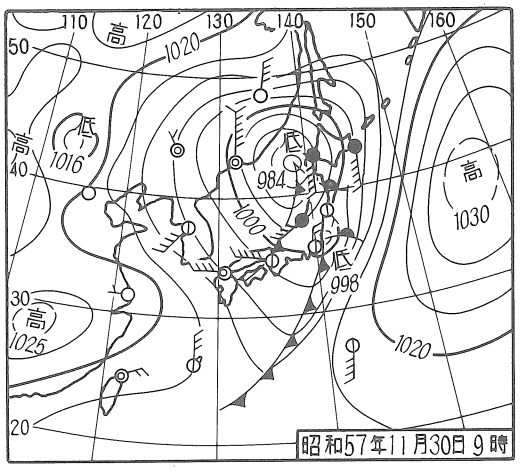
県内官署の極値表　11月29日～30日

官署＼要素	最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	S	18.3	30.10.10	S	31.6	30.09.42
館山	S	13.9	30.09.20	SSE	25.9	30.08.00
千葉	S	22.4	30.08.50	SSE	33.6	30.08.05
勝浦	SW	15.4	30.10.50	SW	25.2	30.10.50

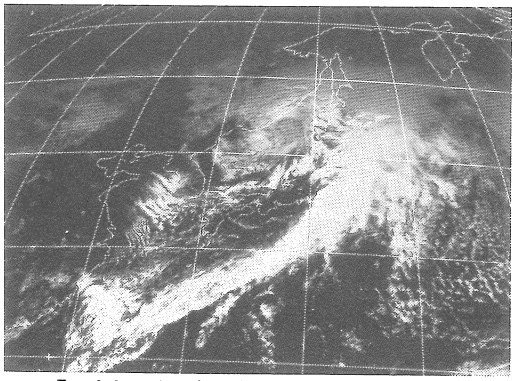
官署＼要素	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 ㎜	起時 日時分	降水量 ㎜	起時 日時分	降水量 ㎜	起時 日時分	降水量 ㎜	起時 日時～日時
銚子	3.5	30.10.20	9.0	30.10.30	13.0	30.24.00	13.0	29.2205～30.1115
館山	6.0	30.09.20	17.5	30.09.20	38.5	30.24.00	39.0	29.1235～30.10.55
千葉	1.0	30.05.45	2.5	30.07.10	7.5	30.10.00	7.5	29.1935～30.09.30
勝浦	17.5	30.09.50	28.0	30.10.10	47.5	30.11.00	47.5	29.1705～30.11.00
我孫子	－	－	37.0	30.10.00	75.0	30.11.00	75.0	30.0400～31.11.00



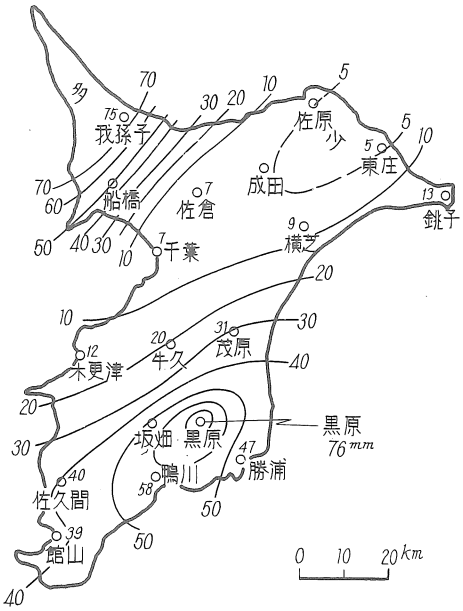
地上天気図



地上天気図



「ひまわり」可視画像　57年11月30日12時



県内降水量分布図(mm)
昭和57年11月30日

5. 被　害

負傷１名，床上浸水323戸（松戸市208戸，柏市79戸，我孫子18戸等）床下浸水1,420戸(松戸860戸，柏360戸，我孫子105戸，流山72戸等)

また30日午前５時45分，安房郡布良沖3.6kmの海上で，塩酸運搬タンカー鹿島丸（413ｔ）が暴風雨で転覆した。ボートで漂流中の３名は救助されたが２名が行方不明となった。

6. 資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図

災害の番号　171

1．災害の種類(名称)　　地　震

2．災害発生年月日(期間)　　昭和58年(1983年) 2 月27日

3．災害原因　　震度 4

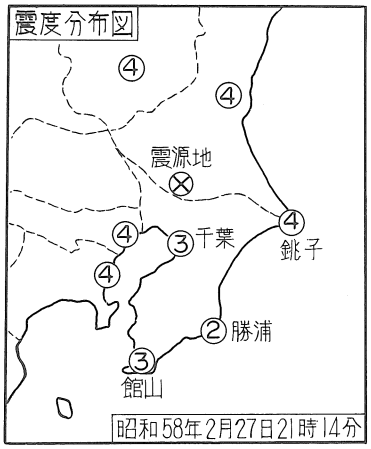
4．概　　況

2 月27日，午後 9 時14分頃，関東地方に強い地震を感じた。震源地は茨城県南部で，銚子で震度 4，館山，千葉で震度 3，勝浦で震度 2 であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	規模
2 月27日21時14分	茨城県南部	35°56′	140.09′	70 km	M：6.0

5．被　　害　　——

6．資　　料　　地震原簿，地震火山概況，気象年鑑



震　度　分　布　図

災害番号　172

1．災害の種類(名称)　地震（津波）

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 5 月26日

3．災害原因　日本海中部地震

4．概　況

5 月26日正午頃，秋田，青森県境の100km程沖合でＭ 7.7の地震が発生し死者104名，建物全壊934棟などの大きな被害があり，被害総額は1,500億円に達し，気象庁はこの地震を「昭和58年(1983年)日本海中部地震」と命名した。

この地震による津波は，北海道から山陰までの日本海沿岸の全域，大韓民国やソビエトにも及んだ。千葉県では，館山で震度１，銚子は０であった。

なお，５月下旬頃から千葉県東方沖で地震が群発し始め，５月21日～25日にかけて千葉県東方沖を震源とする最大震度３（２回）を含む14回の有感地震を銚子地方気象台および，県

本震および最大余震

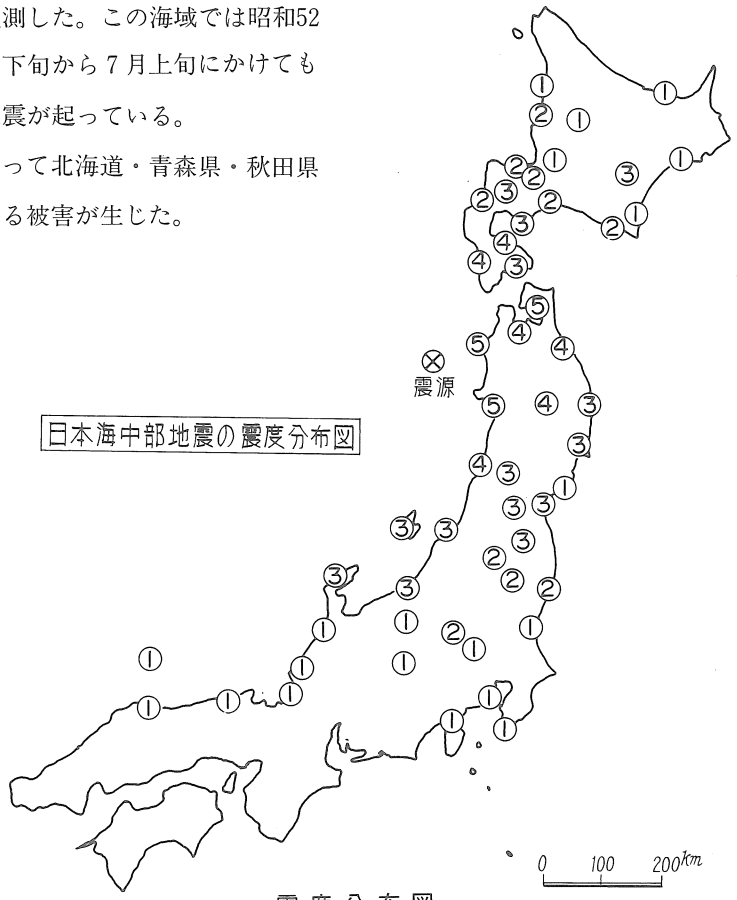
	本震	最大余震
日時	5月26日　11時59分　57.5秒	6月21日　15時25分　25.0秒
震央	40°21′N　139°05′E	41°16′N　139°00′
深さ	14km　M 7.7	6 km　M 7.1
震度	5 秋田，深浦，むつ 4 盛岡，青森，八戸，酒田，森，江差	4 深浦，青森，江差，森 3 函館，秋田，室蘭，八戸，むつ，盛岡
津波	能代 194 cm，両津 127 cm	吉岡42cm，岩内33cm，能代21cm

検潮記録

検潮所	第1波（初動）			高さの最大		
	時	分		時	分	cm
稚内	13	40	押	16	33	24
岩内	12	35	〃	13	35	124
江差	12	17	引	13	44	74
吉岡	12	22	〃	12	32	96
深浦	12	07	〃	13	36	65
能代	12	24	〃	12	31	194
男鹿	12	08	〃	12	16	53
新潟	13	10	押	16	07	75
両津	12	48	〃	13	17	127
福井	13	27	〃	16	38	69
西郷	13	33	〃	17	22	48
厳原	15	24	〃	18	34	29

内気象官署で観測した。この海域では昭和52年(1977年) 6 月下旬から 7 月上旬にかけても同規模の群発地震が起っている。

この地震によって北海道・青森県・秋田県では人命にかかる被害が生じた。



震 度 分 布 図

5．被　害

被害状況（11月30日現在：警察庁調べ）

区　分	計		北海道	青 森	秋 田	山 形	新 潟	石 川	京 都	島 根
	地 震	津 波								
死者　人	4	100	4	17	83					
負傷　人	59	104	24	22	107		2	3		5
全壊　棟	924	10	9	167	757			1		
半壊　棟	1616	499	12	587	1514			2		
流失　棟		52			52					
道路　所	616		2	77	535	1	1			
船舶沈没		255	42	21	60	9		12	7	104
船舶流失		451	180	65	136		8	6		56
船舶破損		1187	289	228	483		24		18	145

6．資　料　　地震原簿，地震火山概況，気象年鑑

災害番号　173

1．災害の種類(名称)　ひょう・落雷

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 6月9日

3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

6月は，梅雨前線が日本のはるか沖合に遠のいて日本付近は太平洋の高気圧におおわれて全国的に晴れて気温が上った。しかし，日本の上空には7日頃から寒気が流れ込み，9日の500mb（上空約5,500m）の千葉県上空の気温は－15℃にも下った。このため，大気の状態は非常に不安定となり，北日本から関東地方にかけては，雷が頻発した。

関東地方では午後になって中部山岳方面に地形性の低気圧が発生し，この低気圧の東側に高さ10,000mにおよぶ雷雲が発達し，毎時30km位で南東に進んだ。午後9時頃，この雷雲が千葉県北西部に達し，午後10時頃，最盛期となった。この影響で我孫子市では1時間に22mmの降水量があり，また,柏市,成田市の一部では降ひょうがあった。成田市中台では午後9時50分頃から5分間，直径14mmの降ひょうを観測，柏市根戸付近では，午後10時頃直径7mmの降ひょうがまた我孫子市布施，柴崎でも同時刻頃小豆大の降ひょうがあった。これら短時間に集中した雨のため浸水や，落雷のため家屋が焼失した。

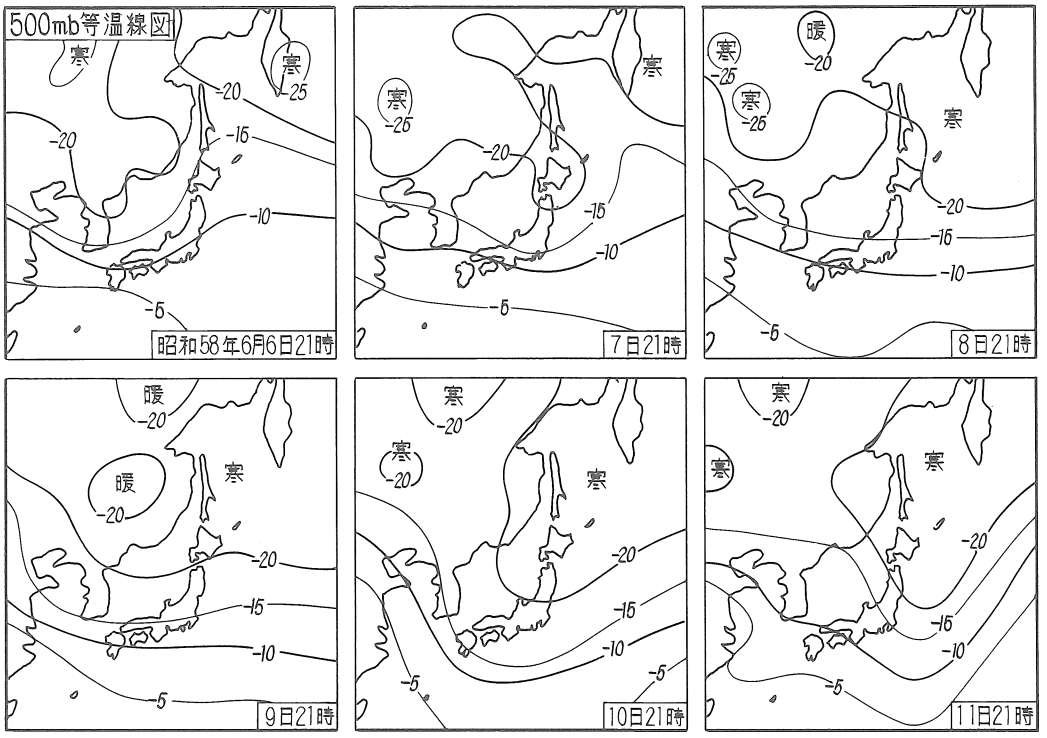
アメダス観測極値表

6月9日

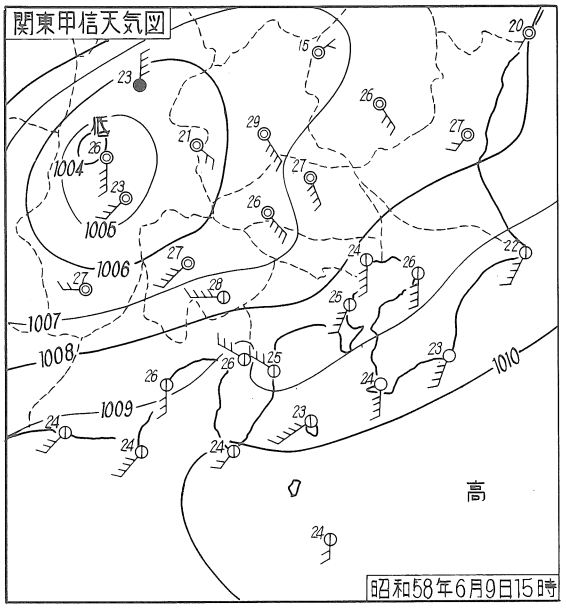
最大風速（10分間）			最大日降水量		最大1時間降水量	
風向16方位	風速m/s	起時月日	mm	起時月日	mm	起時月日時
SSE	3	9. 21	31	6. 9	22	6. 9. 21

観測所毎時表

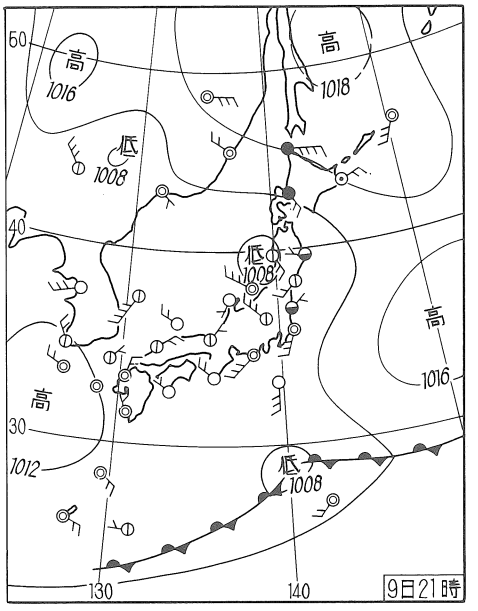
観測所	時刻	風速 m/s	降水量 mm	気温 ℃
佐原（アメダス）	21	S 3	－	21.4
	22	SSE 4	－	21.0
	23	SSE 4	1	20.3
	計		1	
我孫子（アメダス）	21	SSE 3	22	20.0
	22	E 2	9	20.6
	23	ESE 2	－	18.7
	計		31	
成田	21	ENE 8	14	21.
	22	W 6		19.
	23	ESE 3		17.
	総計		14	



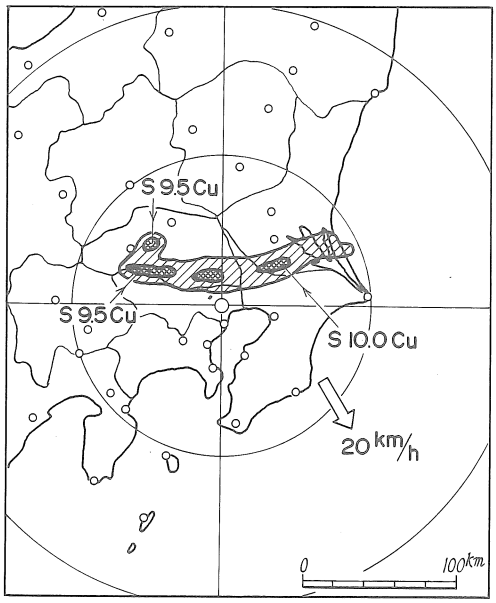
500mb 高 層 等 温 線 図



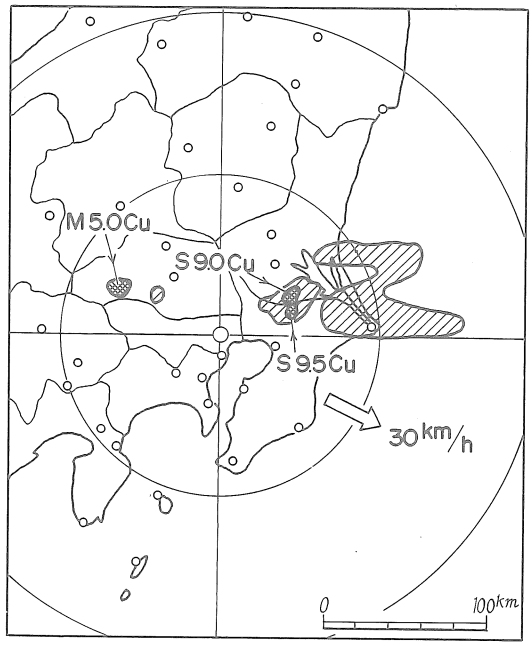
関東甲信地上天気図



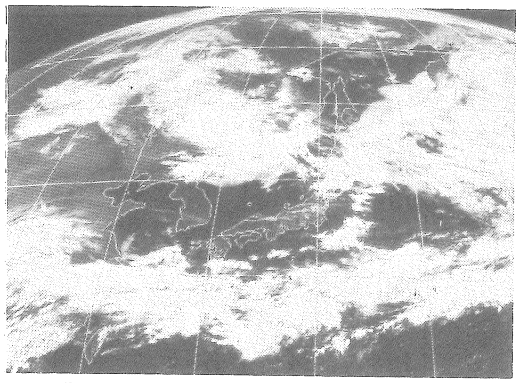
地 上 天 気 図



東京レーダー図　9日21時00分



東京レーダー図　9日22時00分



「ひまわり」可視画像　58年6月9日12時

5．被　害

家屋全焼1戸，床上浸水4戸，床下浸水32戸

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部，県農林部

災害番号　174

1．災害の種類(名称)　たつ巻

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 6 月10日

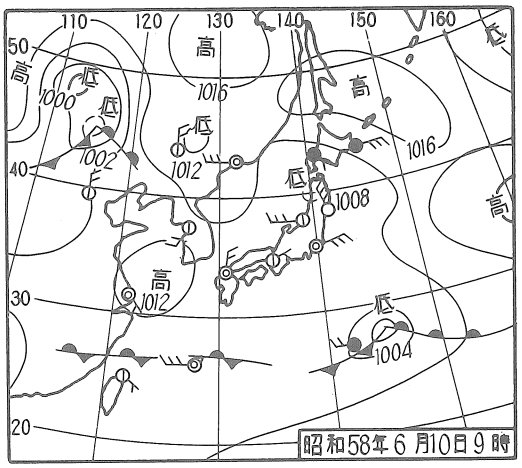
3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

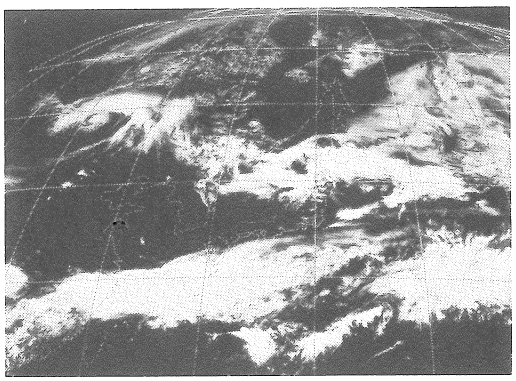
10日 9 時の天気図で秋田沖にあった低気圧は，午後には三陸沖に抜けた。それに伴って，上空の寒気が更に南下し関東全般に大雷雨となった。千葉県では午後 3 時頃，市原市付近にあった高度1万mにもおよぶ雷雲が毎時20kmで南東に移動し，君津市末吉（小櫃駅付近）で午後 3 時10分頃雷鳴があり，突然ゴッーという音とともにたつ巻が起った。幅10m長さ200m，高さ500mの規模で南から北へ瞬時のうちに走り抜けた。なお，一般的な風はそれ程強まらなかったが牛久では16時に 1 時間24mmの降水を観測した。

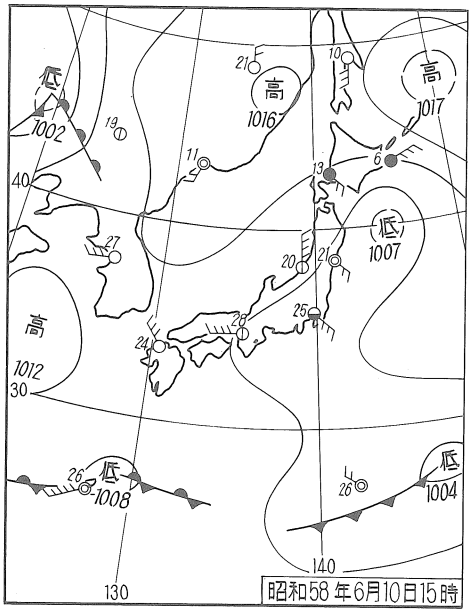
アメダス観測表　6月10日

観測所	時	降水量mm	風向	風速m/s
木更津	14	−	WNW	4
	15	−	WNW	4
	16	−	E	2
坂畑	14	−	SSW	2
	15	−	S	1
	16	−	×	1
牛久	14	−	ESE	2
	15	1	E	2
	16	24	ESE	1

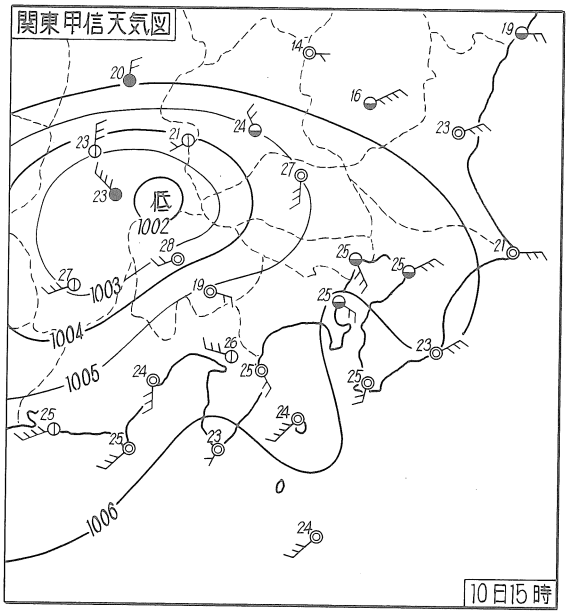


地上天気図

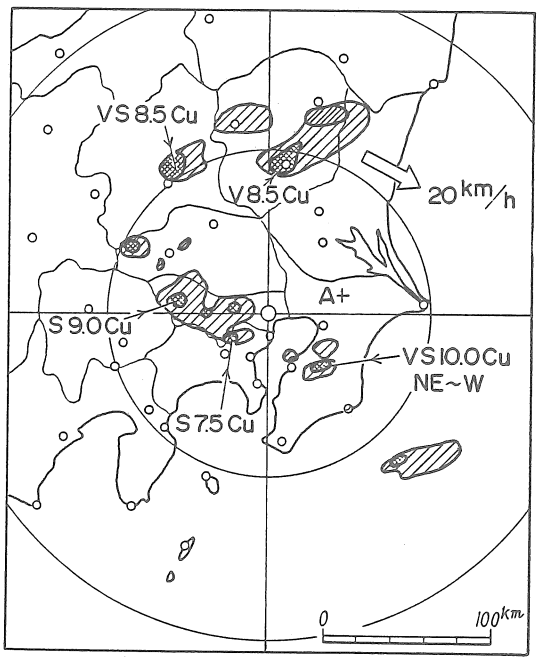

「ひまわり」可視画像　58年 6 月10日12時



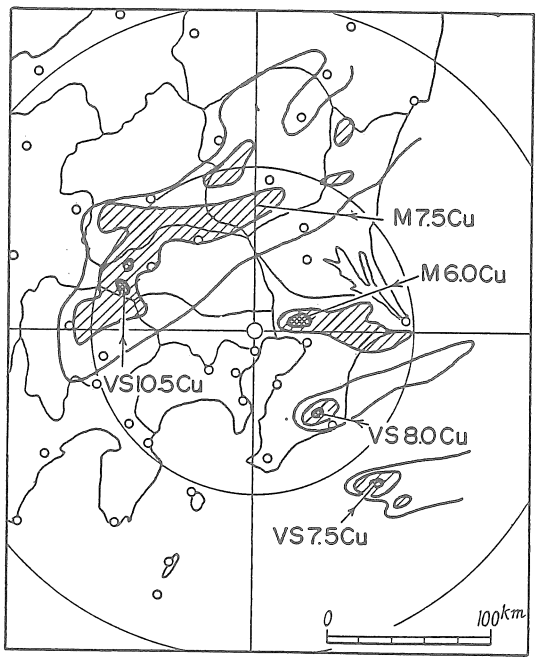
地　上　天　気　図



関東甲信地上天気図



東京レーダーエコー図　6月10日15時00分



東京レーダーエコー図　6月10日17時00分

5．被　害

家屋半壊1戸，一部破壊3戸，非住家破損3戸，自動車横転2台

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部

災害番号　175

1．災害の種類(名称)　ひょう・落雷

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 6 月10日

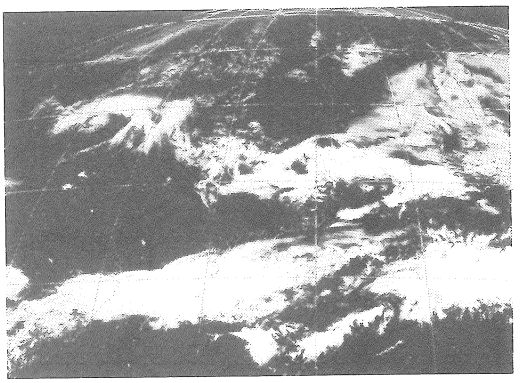
3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

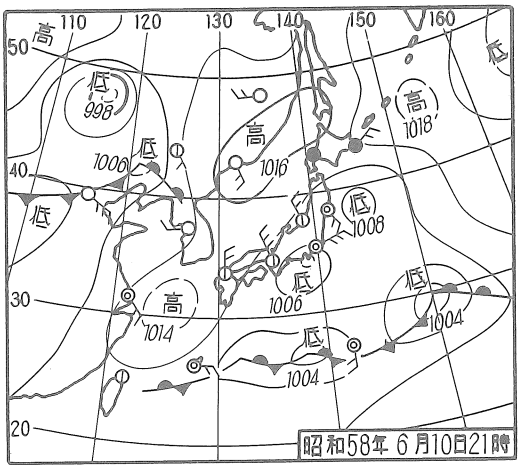
移動性高気圧が東方海上に去って，9日から10日にかけて日本付近は気圧の谷に入り，南岸沖と日本海中部を低気圧が東進した。上層に，6日午前9時頃から寒気が流入し，9日，10日は関東地方から東北地方にかけて安定度が悪くなり，10日午後9時の高層観測によると，500mb等圧面の気温は輪島－19，館野－18，潮岬－17，八丈島－15℃を示した。

10日午後1時，房総半島及び関東地方西部に高さ6,000m前後の雷雲が発生し，その後さらに関東地方北東部から南西部にかけて大きく広がり，高さ，8,000～10,000mの雷雲が南東進して千葉県にかかり，午後10時過ぎに東方海上に抜けた。

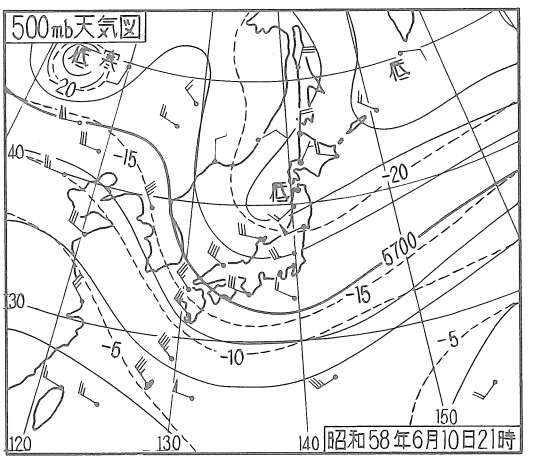
このため県内では，10日午後から夜にかけて雷雨となり，ひょうを伴ったため農作物に大きな被害があった外，落雷，浸水，がけ崩れ，停電，列車運休等の被害があった。



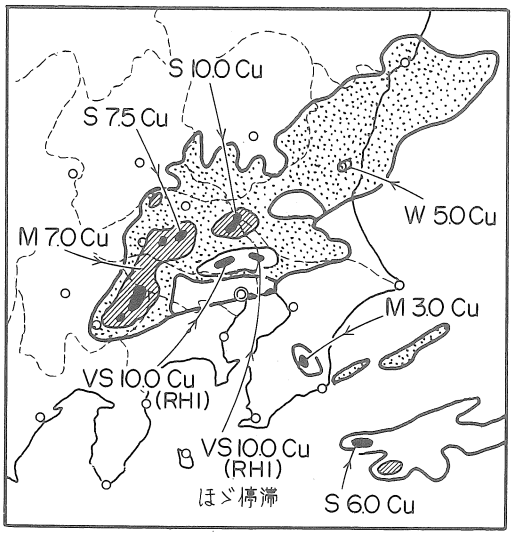
「ひまわり」可視画像　58年 6 月10日12時



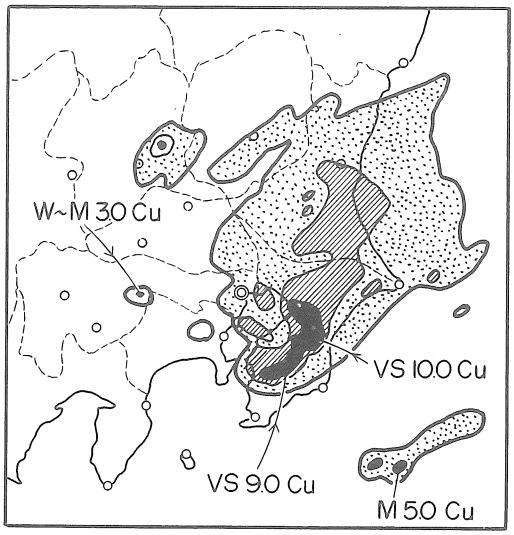
地上天気図



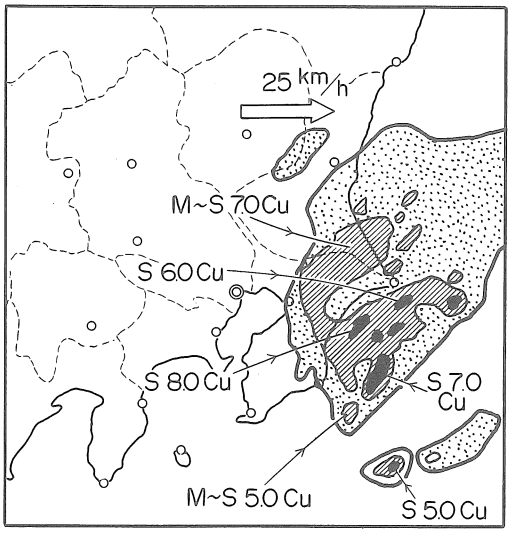
500mb高層天気図



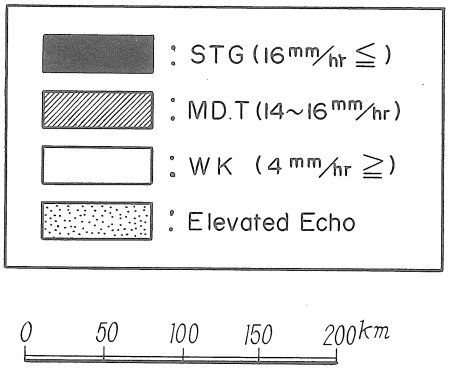
東京レーダー図　　6月10日18時00分



東京レーダー図　　6月10日22時00分



東京レーダー図　　6月10日21時00分



凡　例

気　象　官　署　の　極　値　表　　6月16日

要素 / 地名	日最大風速			日最大瞬間風速			日最大10分間降水量		日最大1時間降水量	
	風向	風速 m/s	日時分	風向	風速 m/s	日時分	mm	日時分まで	mm	日時分まで
銚子	N	9.4	10.20.40	N	16.2	10.20.30	9.5	10.20.20	21.5	10.21.00
館山	NNW	5.8	10.20.10	NW	13.4	10.20.00	—		—	
千葉	NNW	16.7	10.19.50	NNW	24.6	10.19.45	13.0	10.19.20	29.0	10.20.05
勝浦	NNW	6.5	10.20.30	NW	16.6	10.20.10	3.0	10.20.30	5.5	10.20.40

アメダスによる県内の気象観測及び気象官署の極値表

風　向　風　速　(m/s)　　(地域気象観測所)　6月10日

時 / 地点	14	15	16	17	18	19	20	21	22
佐　原	ENE4	E 3	E 4	ENE3	ENE3	NE3	NNE4	NE2	E 4
我孫子	E 3	ESE3	E 4	ENE5	E 5	NW1	ENE3	E 2	NW2
船　橋	ENE2	ENE1	E 3	ESE3	ESE2	× 3	× 3	× 1	NNW2
佐　倉	NE3	ENE3	E 2	ENE3	ESE2	NE5	N 2	NE4	NE4
銚　子	NE3	E 4	E 5	E 5	E 5	NE3	NNE5	N 9	NNE3
横　芝	ENE3	ESE3	E 2	E 3	E 2	ENE3	NNE2	N 2	NE3
千　葉	ENE4	ENE5	ESE7	E 7	ENE6	NE4	NNE12	N 5	NNE4
茂　原	ENE3	ESE2	E 1	N 1	NE1	NE2	WNW4	NNE4	N 3
木更津	WNW4	WNW4	E 2	SE3	SSW1	E 3	NE7	ENE4	E 1
牛　久	ESE2	E 2	ESE1	SSE1	SSW1	E 2	× 3	NE5	NW1
坂　畑	SSW2	S 1	× 1	E 2	− 0	NNE2	E 2	− 0	ESE1
鴨　川	ESE2	ESE1	ESE2	ESE1	ESE1	− 0	NW1	WNW2	WNW1
勝　浦	ENE3	ENE3	NE3	ENE1	SSW3	S 4	N 2	NNW4	NNE4
館　山	SSW3	SSW3	SW3	SW3	S 4	SSW2	W 3	NE3	ENE1

気　　温　(℃)　　(地域気象観測所)　6月10日

時 / 地点	14	15	16	17	18	19	20	21	22
佐　原	23.7	22.1	21.2	19.8	18.9	18.0	16.5	16.2	16.3
我孫子	23.9	24.4	23.0	21.5	19.7	17.2	15.7	15.7	15.5
船　橋	24.8	23.1	23.3	21.5	20.9	×	×	×	15.1
佐　倉	24.5	23.7	23.4	21.7	20.6	19.8	16.7	16.1	16.2
銚　子	20.7	20.6	19.5	19.7	19.7	19.0	17.3	16.6	16.7
横　芝	24.5	23.8	21.1	19.5	20.3	20.4	18.3	16.7	16.4
千　葉	25.6	25.1	22.5	20.8	20.3	20.3	15.6	16.2	16.0
茂　原	23.9	21.8	19.8	20.3	20.4	19.4	16.2	16.3	16.6
木更津	24.6	24.4	23.7	24.0	22.7	21.1	17.0	16.9	16.5
牛　久	25.1	22.5	19.5	20.4	19.8	19.5	×	15.8	16.0
坂　畑	25.5	25.0	×	18.2	19.0	17.8	14.6	15.6	14.8
鴨　川	24.4	23.9	23.7	23.1	22.7	21.9	21.8	17.9	18.1
勝　浦	23.8	22.9	22.3	22.4	22.0	21.7	20.2	16.9	16.4
館　山	25.6	25.3	25.3	24.0	23.5	22.5	22.2	18.8	19.2

降　　水　　量　(mm)　　（地域気象観測所）6月10日

時 / 地点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	計
佐　原	−	−	−	−	−	−	−	4	2	6
我孫子	−	−	−	−	−	5	3	−	−	8
船　橋	−	−	−	−	−	5	21	1	−	27
佐　倉	−	−	−	−	−	−	3	5	−	8
銚　子	−	−	−	−	−	−	1	20	6	27
横　芝	−	−	−	−	−	−	−	3	2	5
千　葉	−	−	−	1	−	−	29	4	−	34
茂　原	−	−	−	−	−	−	14	14	−	28
木更津	−	−	−	−	−	−	18	−	−	18
牛　久	−	1	24	−	−	−	12	3	−	40
坂　畑	−	−	−	−	−	−	11	3	−	14
鴨　川	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
勝　浦	−	−	−	−	−	−	−	5	−	5
東　庄	−	−	−	−	−	−	−	3	6	9
黒　原	−	−	−	21	9	−	4	10	−	44
佐久間	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
館　山	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

5．被　害

◉降ひょうの経過と主な被害

1)　6月10日午後2時30分から約30分，市原市加茂地区一帯に直径5～20㎜のひょうが降り，梨，とうもろこし，なす等に被害があった。

2)　6月10日午後4時30分から約1時間にわたり夷隅郡大多喜町一円に直径10～15㎜のひょうが断続して降り，キウイフルーツ1 haをはじめ，いんげん，葉たばこ，枝豆等に被害があった。

3)　6月10日午後7時30分から約40分間にわたり，山武郡大網白里町に強い雷雨とともに直径20～30㎜のひょうが数分間降り，水稲・小麦をはじめ葉煙草に大きな被害を与えた。

4)　6月10日午後7時30分頃，船橋市にひょうを伴った雷雨があり，梨，枝豆，こまつな，山東菜，ほうれんそう，その他にも被害を及ぼした。

5)　6月10日午後7時30分頃，市川市でひょうが降り，梨，枝豆，ほうれん草等に被害があった。

6)　6月10日午後8時前後に約10分間，茂原市にひょうが降り，葉たばこ，なす，とうもろこし，桑，トマト等に被害があった。

昭和58年6月9日及び10日の降ひょうによる農作物等被害状況

Ⅰ　農作物関係　　（千葉県農林部）

区分		被害面積 計	被害面積 うち30%以上	被害量	被害額	備考
		ha	ha	t	千円	
水稲		300.0	70.0	324.0	97.418	大網白里町200ha，茂原市70ha，白子町30ha
小麦		5.0	5.0	10.5	1,927	大網白里町5ha
豆類	落花生	333.0	123.0	159.3	67,544	白子町150ha，大網白里町100ha，茂原市50ha 市原市20ha，千葉市13ha
豆類	その他2品目	53.4	27.0	305.9	93,684	えだ豆40ha，いんげん13.4ha。船橋市25ha，市川市15ha，大網白里町5ha，茂原市4ha 他
野菜	メロン（プリンス）	31.0	31.0	615.0	118,676	白子町31ha
野菜	なす	17.0	17.0	580.0	88,740	茂原市9ha，白子町5ha，大網白里町3ha
野菜	とうもろこし（食用）	43.0	43.0	422.6	72,980	大網白里町30ha，茂原市8ha，白子町5ha
野菜	その他14品目	181.5	166.5	3,375.5	425,420	ピーマン13ha，きゃべつ23ha，とまと11ha 他 茂原市74.5ha，船橋市30ha，市川市28ha，白子町26ha 他
果樹	梨	113.1	13.6	575.3	137,969	白井町50ha，船橋市26.5ha，八千代市22ha 市川市9.6ha，木更津市26ha，茂原市24ha
工作芸物	葉たばこ	75.3	69.9	50.8	243,819	茂原市26ha，白子町21ha，大網白里町18ha 長柄町5ha，市原市4.5ha 他
飼作料物	とうもろこし	4.6	4.6	295.0	3,542	市原市2.6ha，千葉市2ha
花木		15.0	15.0	－	40,000	大網白里町15ha
桑		72.0	72.0	674.3	55,438	大網白里町60ha，茂原市10ha，市原市2ha
計		1,243.9	657.6	7,388.2	1,447,157	

Ⅱ　農業施設関係

区分	被害面積	被害額	備考
ビニールハウス	7.8ha	14,547千円	白子町3.1ha，茂原市3ha，大網白里町1.56ha 他
その他	2.1	8,420	ガラスハウス1.9ha 他，白子町1.2ha，茂原市0.6ha 他
計	9.9	22,967	

Ⅲ　被害総額　　1,470,124千円

6．資　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，県警察本部，県農林部，千葉県農業気象災害速報第1号，千葉日報

災害番号　176

1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 6月20日～21日

3．災害原因　前線・低気圧

4．気象概況

20日に東シナ海にあった低気圧が日本海沿岸沿いを東北東に進んだ。この低気圧から南東にのびる前線が活発となり関東の南海上から北上し，関東から西では所々大雨となった。この低気圧は，21日午前9時には銚子沖に遠ざかった。

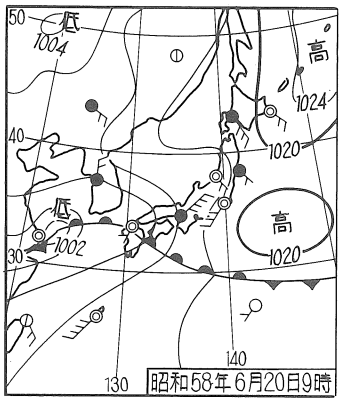
千葉県でも20日夜から雨が強まり，市原市付近では，20日午後11時から21日午前2時にかけて大雨が降り，浸水等の被害があった。

アメダス観測の極値　6月20日～21日

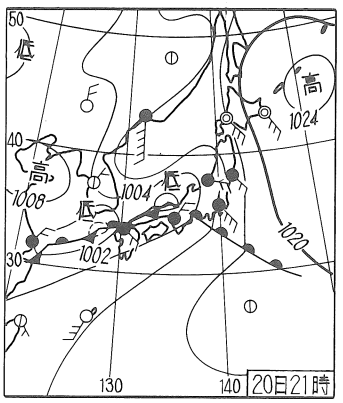
観測所名	24時間雨量最大	起時日時	1時間雨量最大	起時日時分	10分間雨量最大	起時日時分
木更津	109 mm	～21. 14	27.0	21.02. 00	－	－
千葉	72	～21. 12	17.5	21.01. 40	5.5	21.01. 25

アメダス観測表　6月20日～21日

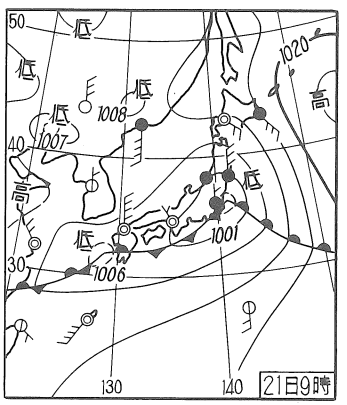
観測所名	日		時						20日15時～21日14時迄合計
	20日 23	24	21日 1	2	3	4	5	6	
千葉	4	5	10	15	－	－	5	7	71
茂原	1	3	13	3	2	2	4	7	89
木更津	1	4	5	27	7	3	6	9	109



地上天気図



地上天気図



地上天気図

5．被害

市原市，床上浸水3戸，床下浸水13戸，道路損壊2ヶ所，　千葉市，床下浸水2戸

6．資料　千葉県気象月報，千葉県気象年報，異常気象報告，千葉県警本部，印刷天気図

災害番号　177

1．災害の種類(名称)　　大雨

2．災害発生年月日(期間)　　昭和58年(1983年) 6月26日

3．災害原因　　上層寒気

4．気象概況

梅雨前線は日本のはるか南方に遠のいて，日本付近はオホーツク海の高気圧におおわれた。それと共に日本の上空に寒気が流れ込んで大気の状態が不安定となった。26日午前4時20分のレーダーによると，船橋方面に高度4,500mの積乱雲が観測され，この方面で午前3時から6時の間に一時的な大雨に見舞われた。

観測表

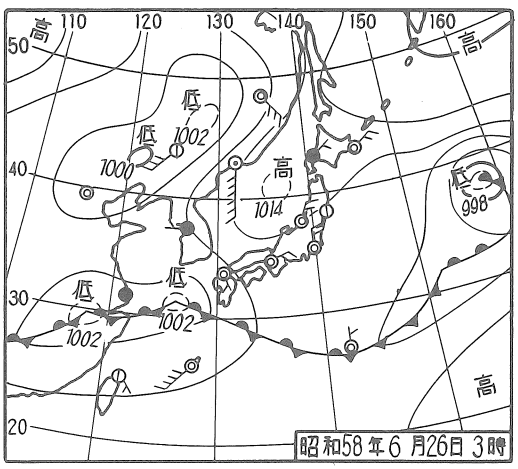
6月26日

要素 / 地名	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量	
	降水量	起時日時分	降水量	起時日時分	降水量	起時 日
千葉	9.0 mm	26. 06. 00	29.0mm	26. 06. 05	32.5mm	26

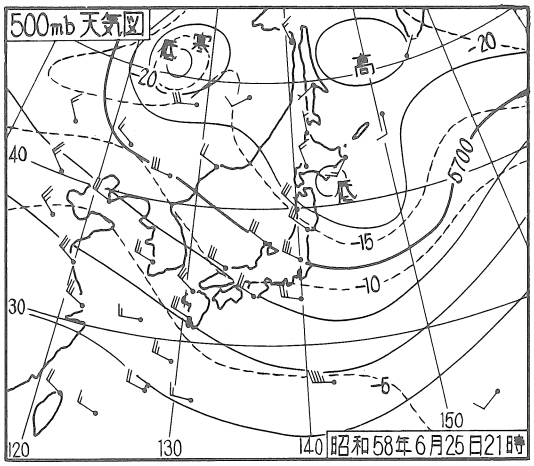
毎時降水量　アメダス観測表

6月26日

時刻	3h	4h	5h	6h	7h	8h	計
千葉	−	−	2	30	1	−	33 mm
船橋	1	17	10	2	−	1	31



地上天気図



500mb高層天気図

5．被害

床上浸水10戸（船橋4，習志野6）床下浸水114戸（船橋96，習志野18）道路損壊3ヵ所

6．資料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，速報天気図，県警察本部，千葉日報

災害番号　178

1．災害の種類(名称)　冷害

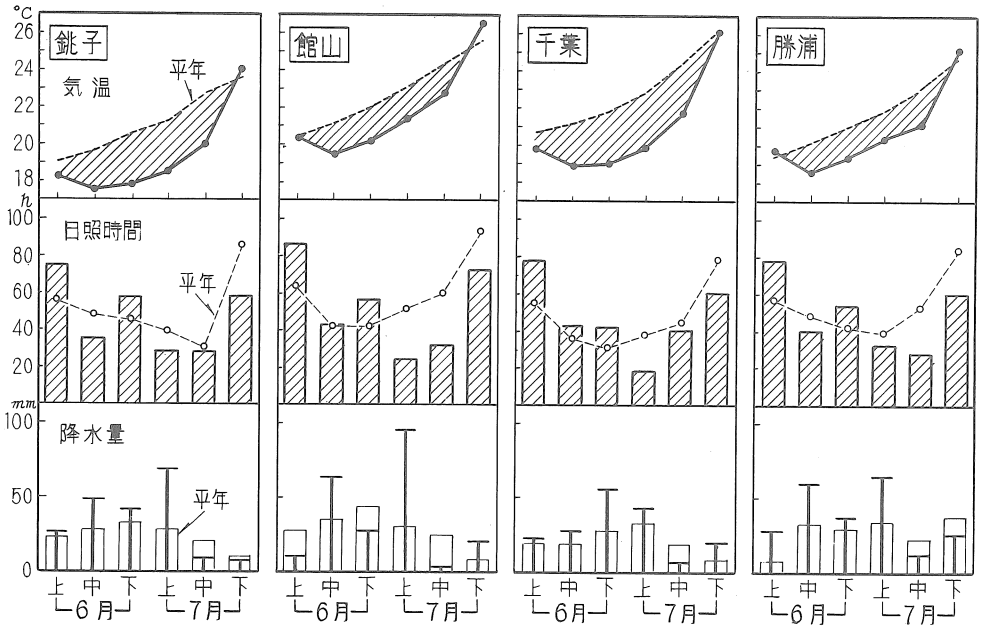
2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 6月下旬～7月中旬

3．災害原因　異常低温

4．気象概況

昭和57年から58年は，世界中の各地に異常天候が続出した。このころ話題となったエルニーニョ現象（太平洋東部赤道海域の海面水温が平年に比べ異常に高くなる現象）が関連していると一般的に考えられているが，今回の現象の規模は今世紀最大でありいつもエルニーニョ現象なら解消に向う昭和58年の春になって再び活発になるという異例なものであった。また，この年は3月～4月にかけて起きた，メキシコのエルチチョンの大噴火の世界の天候に及ぼす影響も話題となった。ともかく，この6月頃から北極の寒気が例年になく強まり，6月～7月にかけてオホーツク海高気圧が発達したため，北海道を中心に北日本，東日本でも異常な低温となった。当県でも北東の冷たい空気が流れ込んで，気温は全般に低く経過し，また7月は日照時間もかなり少なかった。農作物に影響を与える日最低気温17℃以下の日が，県内では6月10日～19日，22日～30日と19日間続いた。7月に入り，1日～5日にかけては一時17℃を上回った日もあったが，7月6日～13日までの8日間は再び17℃以下の日が続いた。

これら北東気流の影響で，県内の水稲作柄（8月15日現在）は，北海道の作況指数77につ



気象官署の気象変化図

ぐ，97で，青森県とならんで全国でも２番目の不作となった。(平年作は10アール当り463kg)

なお，７月25日，梅雨前線の北上に伴って夏型の天気となり，26日の梅雨明けとともに平年並に回復した。

気象官署の観測値

６月～７月

月	旬	平均気温 銚子 本年	銚子 平年差	館山 本年	館山 平年差	千葉 本年	千葉 平年差	勝浦 本年	勝浦 平年差	降水量 銚子 本年	銚子 平年差	館山 本年	館山 平年差	千葉 本年	千葉 平年差	勝浦 本年	勝浦 平年差
6月	上	18.2	−0.8	20.3	−0.1	19.8	−0.9	19.7	+0.2	51.0	+2.5	21.0	−33.5	41.5	+10.7	26.0	−38.1
	中	17.4	−2.2	19.4	−1.7	18.8	−2.4	18.6	−1.6	96.0	+40.2	127.5	+67.8	50.5	+13.5	120.5	+56.3
	下	17.8	−2.7	20.1	−1.8	19.0	−2.8	19.3	−1.8	84.0	+15.8	53.0	−34.4	111.0	+58.0	75.0	−15.8
	月	17.8	−1.9	19.9	−1.2	19.2	−2.0	19.2	−1.1	231.0	+58.5	201.5	± 0	203.0	+82.2	221.5	+2.4
7月	上	18.5	−2.7	21.3	−1.7	19.7	−3.1	20.3	−1.6	138.5	+83.9	191.0	+131.5	84.5	+19.3	130.0	+60.6
	中	19.9	−2.7	22.7	−1.6	21.7	−2.6	21.1	−2.1	18.0	−24.3	7.0	−43.0	12.5	−23.9	26.5	−21.0
	下	24.0	+0.4	26.5	+0.9	26.0	−0.1	25.2	+0.5	16.0	−1.9	42.0	+25.7	39.5	+24.4	51.0	+25.0
	月	20.9	−1.9	23.6	−0.7	22.6	−1.9	22.3	−1.0	172.5	+57.7	240.0	+114.2	136.5	+19.7	207.5	+64.6

月	旬	日照時間 銚子 本年	銚子 平年差	館山 本年	館山 平年差	千葉 本年	千葉 平年差	勝浦 本年	勝浦 平年差
6月	上	75.6	+19.2	87.7	+23.8	77.5	+22.4	78.2	+22.6
	中	36.0	−11.9	43.4	+0.5	43.2	+7.3	39.8	−9.1
	下	47.9	+5.2	56.5	+14.8	41.5	+10.5	54.1	+12.4
	月	159.5	+12.6	187.6	+39.1	162.2	+40.2	172.1	+26.0
7月	上	29.1	−9.9	25.1	−25.3	18.1	−19.3	32.5	−6.7
	中	28.2	−22.0	32.4	−26.6	40.3	−2.4	26.6	−25.3
	下	58.4	−28.0	72.9	−20.4	60.1	−17.5	59.3	−25.2
	月	115.7	−60.0	130.4	−72.2	118.5	−39.2	118.4	−57.2

水稲の被害面積 (ha)

支庁	被害面積
香取	2,744 ha
山武	2,293
海匝	1,922
夷隅	1,801
安房	1,582
君津	1,408
長生	1,582
千葉	613
印旛	244
東葛	1
計	13,647

７月の平均気温の低い値

官署	第１位 気温	第１位 起年	第２位 気温	第２位 起年	第３位 気温	第３位 起年	統計
銚子	20.4℃	1931年	20.7℃	1982年	**20.9**℃	**1983**年	1914～
千葉	21.9℃	1982年	**22.6**℃	**1983**年	23.0℃	1974年	1966～
館山	22.0℃	1982年	23.3℃	1976年	**23.6**℃	**1983**年	1968～

5．被　害

被害は早生種（ハヤヒカリ，アキヒカリ，ホウネンワセ等）に影響が大きく，梅雨明け後の好天で幾分回復したとはいえ，作付面積の18.3%に当る13,647ｈａに及び，被害総額は3,092,336千円に達した。

6．資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，気象年鑑，千葉日報

災害番号　179

1．災害の種類(名称)　ひょう・落雷・たつ巻・大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 7月27日

3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

26日は，関東甲信地方は梅雨明けとなったが，三陸沖から南西にのびる前線が関東地方を通り，東海地方までのびていた。一方，太平洋高気圧は西日本方面をおおっていた。また，関東甲信地方の天気図で細かく見ると，関東北部に地形性の低気圧が発生しており，地上では気温も高まっている。更に上空には寒気が流れ込んで，大気の状態は非常に不安定となった。このため，中部地方から北日本方面にかけての広い範囲で熱雷が発生した。

当県でも，関東北部に発生した雷雲が南東進し，県内全域が雷雨となり，所によっては落雷や降ひょう，さらにたつ巻等による被害をもたらした。

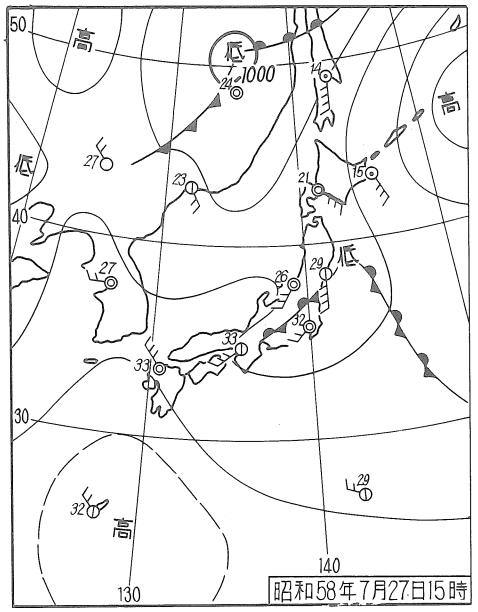
東京レーダーによると,午後4時に我孫子市付近に点在した高度15,000mの積乱雲が,毎時40kmで南東進し，午後6時頃には千葉市茂原方面で激しい雷雨と共に，降ひょうや突風を伴うにいたった。我孫子では，午後3時～4時の1時間降水量が45mm，5時までの2時間に82mmの局地的豪雨となり，我孫子・松戸市では床上浸水が続出した。

降ひょうは，東葛の我孫子市・沼南町で午後4時10分から約10分間に直径2cm，八千代市では午後4時25分から約10分間に直径1～2cm，印旛地方と四街道市で午後4時10分から約20分間，直径2cmの降ひょうがあった。また，千葉市野呂で午後4時50分から10分間に直径1cm，山武郡大網白里町および茂原市では午後5時10分頃小さなひょうがあった。これら降ひょうとたつ巻により，八千代市・印旛郡白井町で梨に甚大な被害をおよぼした。雨や雷雨は翌28日未明まで続いたため，被害は更に増大した。

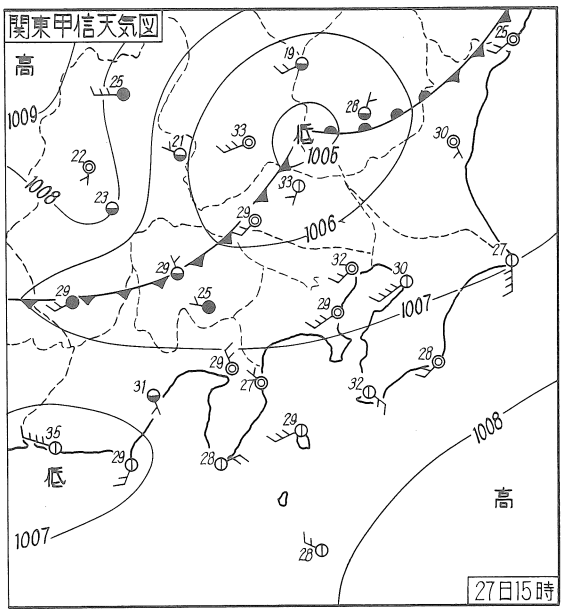
銚子地方気象台では早速八千代市,白井町方面を現地踏査し,千葉県農業気象災害速報第2号を発行した。

気象官署の極値表　7月27日

要素 / 地名	日最大風速（m/s）			日最大瞬間風速（m/s）			最高気温（℃）	
	風向	風速	時分	風向	風速	時分	気温	時分
銚子	S	6.4	15.00	SSW	9.3	13.31	29.0	13.27
館山	ESE	4.5	19.30	E	8.4	19.00	32.4	14.50
千葉	NNW	12.9	16.40	NNW	24.6	16.40	30.4	15.00
勝浦	NW	5.6	18.40	NW	14.3	18.30	29.1	12.40



地 上 天 気 図

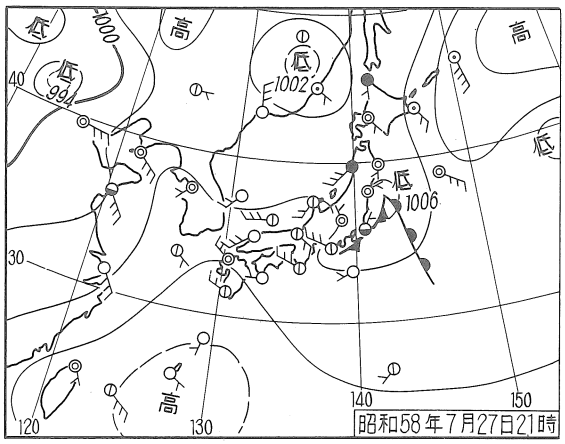


関東甲信地上天気図

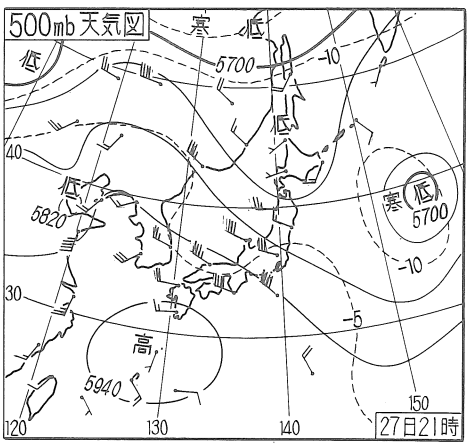
アメダス毎時降水量表

7月27日～28日

観測所＼日時	7月27日									7月28日						合計
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	
佐原	−	−	5	−	−	1	1	3	7	9	3	6	−	−	−	35
我孫子	45	37	5	1	1	−	−	−	3	12	1	6	1	−	−	112
東庄	−	−	6	−	1	−	1	1	1	5	1	7	−	−	−	23
船橋	−	2	17	−	−	−	1	−	−	20	4	4	−	−	−	48
佐倉	−	19	1	2	5	−	12	1	−	16	−	3	1	−	−	60
銚子	−	−	2	−	−	−	2	1	1	−	1	3	2	−	−	12
横芝	−	−	1	−	−	2	2	13	1	3	3	1	−	−	−	26
千葉	−	−	14	−	−	−	−	−	−	2	2	5	−	−	−	23
茂原	−	−	13	2	−	1	−	−	−	−	12	1	−	−	−	29
木更津	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6	1	2	−	−	1	10
牛久	−	−	−	12	−	−	−	−	−	7	9	5	1	−	−	34
坂畑	−	−	−	5	−	−	−	−	−	−	19	−	10	−	−	34
黒原	−	−	−	12	−	−	−	−	−	−	−	15	−	−	−	27
佐久間	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	1
鴨川	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	27	6	4	−	−	37
勝浦	−	−	−	20	−	−	−	−	−	−	31	1	−	−	−	52
館山	−	−	−	−	−	−	−	−	−	28	14	−	−	−	−	42



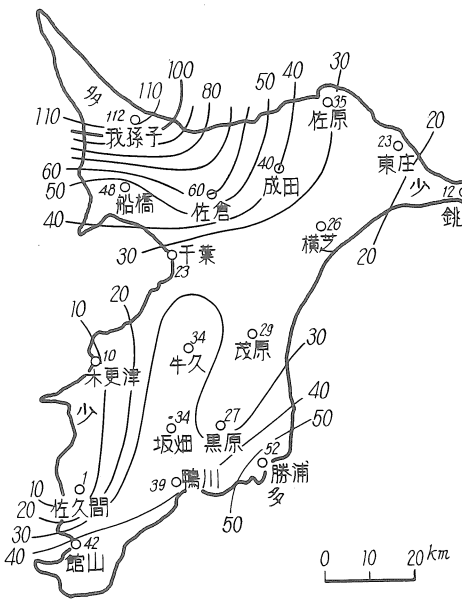
地 上 天 気 図



500mb高層天気図

7・27降ひょう・強風の被害市町村農作物被害表

市町村	被害額	面積(ha)	被害農産物
白井町	25億5,100万円	848.0	なし，ねぎ，なす
八千代市	11億8,500 〃	914.8	なし，落花生，水稲
柏市	6億8,900 〃	350.0	ねぎ，にら，きゅうり
船橋市	6億2,100 〃	289.2	なし，こまつな，さといも
沼南町	6億1,000 〃	556.0	なし，大根，ねぎ
松戸市	5億8,800 〃	85.5	ねぎ，こまつな，なし
市川市	4億5,300 〃	219.5	なし，ねぎ，枝豆
袖ケ浦町	4億2,600 〃	315.2	さといも，水稲
印西町	3億2,300 〃	459.0	なし，きゅうり，なす
我孫子市	2億9,900 〃	81.8	ねぎ，キャベツ，ビニールハウス
市原市	2億7,100 〃	306.8	水稲，すいか，さといも
四街道市	2億5,400 〃	373.9	落花生，なし，ごぼう
流山市	2億4,300 〃	34.0	枝豆，ねぎ，なす
千葉市	2億2,900 〃	150.4	ごぼう，さといも，なし
佐倉市	2億2,400 〃	709.0	水稲，落花生他
大多喜町	1億2,800 〃	206.1	水稲，さといも
東金市	9,500 〃	199.5	水稲，桑，ビニールハウス
印旛村	7,400 〃	20.0	ねぎ，さといも，とうもろこし
鎌ケ谷市	5,700 〃	157.7	なし，さといも，ねぎ
八街町	1,900 〃	32.0	にんじん，ごぼう，さといも
白子町	700 〃	8.8	はたばこ，トマト
木更津市	700 〃	0.9	なし
君津市	600 〃	31.2	水稲，さといも
長生村	600 〃	7.3	はたばこ
大網白里町	200 〃	11.6	くわ
長柄町	200 〃	15.0	くわ
茂原市	100 〃	12.0	くわ
計	93億6,100万円	6,395.2	



県内降水量分布図（mm）
（昭和58年７月27日15時～28日６時）

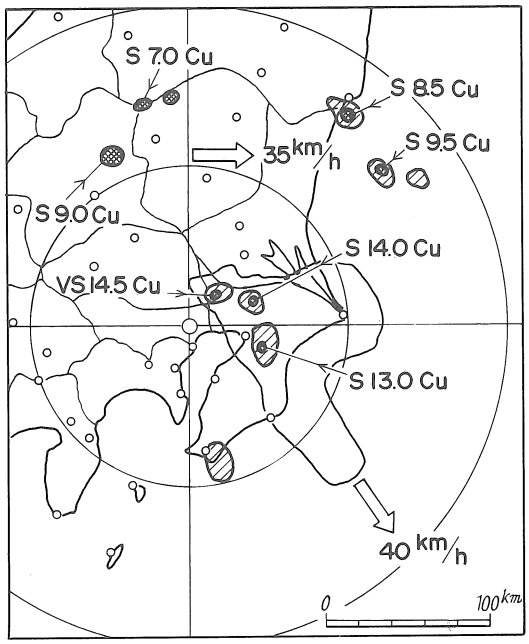


降ひょうの経路図
（７月27日）

5．被　害

負傷者６名，家屋全壊１戸，半壊44戸（佐倉市志津32戸，千葉市２戸他）床上浸水36戸（我孫子市19戸，千葉市９戸，其の他北総地区），　床下浸水462戸（松戸市144戸，我孫子市126戸，流山市51戸，其の他北総地区），　一部破損84戸（佐倉市志津37戸，其の他北総地区）

落電：布佐送信所（16時04分），停電：34,200戸（16時30分～17時01分），運転休止：外房線鎌取～誉田間（16時05分～19時00分）農業被害は表に示す。



東京レーダー図　　27日17時00分

6．資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，千葉県農業気象災害速報第２号，気象年鑑，千葉県警察本部，千葉県農林部，千葉日報，朝日，読売，

災害番号　180

1．災害の種類(名称)　暴風雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 8 月15日，16日～18日

3．災害原因　台風 6 号・ 5 号・ 7 号

4．気象概況

本年は，台風の発生ペースが遅く， 6 月25日になってやっと 1 号が発生した。これは，気象観測網が整備され，同じ基準で統計がとれるようになった1951年以降では，1973年の 7 月 2 日の発生に次ぐ遅い記録である。

台風 6 号　硫黄島の南方に発生した弱い熱帯低気圧は12日午後 9 時硫黄島の東海上で台風 6 号となり，台風 5 号より先行して，14日頃から進路を北西から西北西にとり，房総の南を西に進んで15日午後 3 時，御前崎の南で温帯低気圧となり，四国で消滅した。この台風による降水量は，房総南部の丘陵地帯で多くなり，君津市坂畑では，15日の 1 日で135㎜大多喜町黒原では139㎜を記録した。

台風 5 号　カロリン諸島に発生した弱い熱帯低気圧は西進し， 5 日午後 3 時に台風 5 号となった。その後北西に進み，9 日には最も優勢を極め，中心気圧は895mbと発達した。その後はゆっくり北上を続け，12日からは北々東に進路を取り，台風 7 号を吸収する形で17日午前 7 時半頃渥美半島付近に上陸した。上陸時中心気圧は965mbであったが，上陸してからは勢力を弱め，南アルプスを越えることが出来ず，東海道から関東北部を通り，18日午前 5 時頃鹿島灘に抜け，19日午前 9 時に弱い熱帯低気圧となった。この台風は上陸してから鹿島灘に抜けるまで丸 1 日かかったため各地に長時間の降雨をもたらした。特に山梨県富士五湖方面の降水量は1,000㎜を越えたため，富士五湖では昨年 9 月を上まわる増水となった。

本県でも，先行した台風 6 号から引続き，総雨量は大多喜町黒原で300㎜を越えた。しかし，長時間降雨で、台風特有な波状的降雨であったとはいえ，降水を地下に浸透させることが出来て、集中豪雨のような被害とは異った様相を示した。特に，幾つかの台風が干渉し合った「藤原の効果」(巻末台風 d 参照) の典型的なものであった。

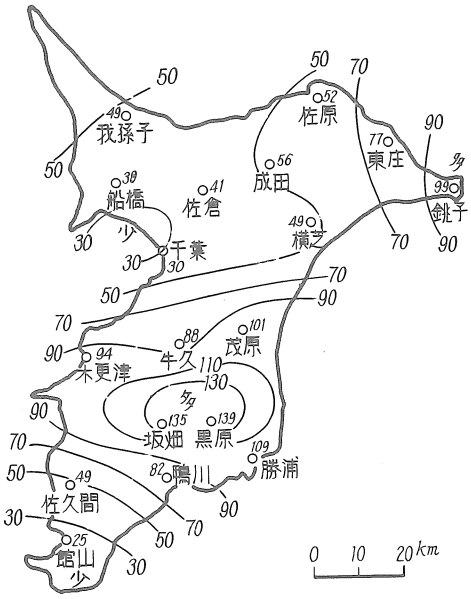
尚，台風 5 号は19日午前 9 時，弱い熱帯低気圧になったが，オホーツク海方面の高気圧の勢力が強かったため、北東進出来ず，逆にゆっくり南東進し，20日午前 3 時に温帯低気圧となった。

気象官署の極値表

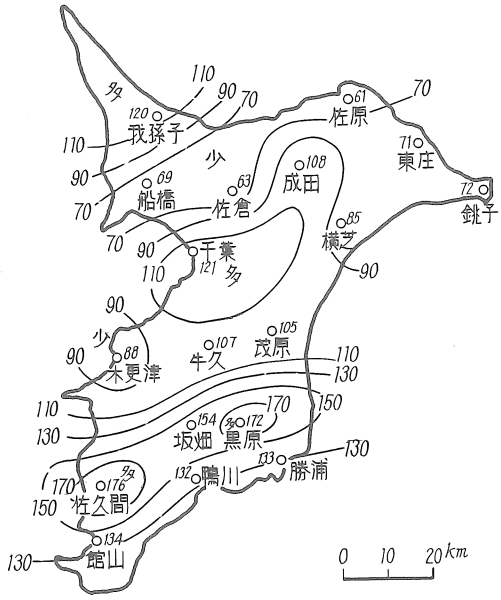
8月16日～18日

要素 / 地名	最低気圧(海面) 気圧(mb)	起時 日時分	最大風速(10分間平均) 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	992.5	18.02.10	S	13.0	17.14.50	S	22.9	17.14.50
館山	991.0	17.14.00	S	11.2	17.19.50	SSW	20.6	17.19.00
千葉	990.8	17.14.30	SSW	17.2	18.01.10	SSW	21.9	18.01.00
勝浦	992.0	17.14.35	SSW	15.7	18.01.50	SSW	22.1	18.01.50
成田	986.3	17.14.30	SE	24ノット	17.08.20	SSE	40ノット	17.14.20

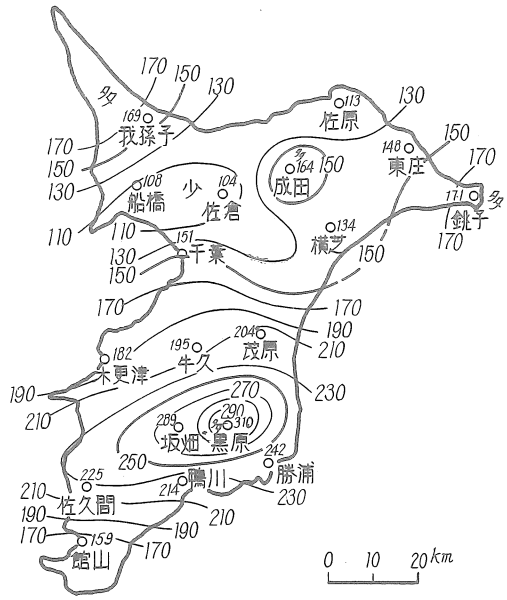
要素 / 地名	最大10分間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大1時間降水量 降水量 mm	起時 日時分	最大日降水量 降水量 mm	起時 日	総降水量 降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	9.0	17.14.50	15.0	17.15.40	35.0	17	72.0	16.02～18.17
館山	7.0	17.04.40	22.5	17.05.00	93.0	17	134.0	16.01～18.22
千葉	11.5	16.16.00	39.0	16.15.40	74.0	16	121.0	16.00～18.24
勝浦	9.0	16.14.50	25.0	16.15.00	65.5	17	132.5	16.10～18.16
成田			21.0	17.09.00	58.5	17	108.0	16.00～18.24



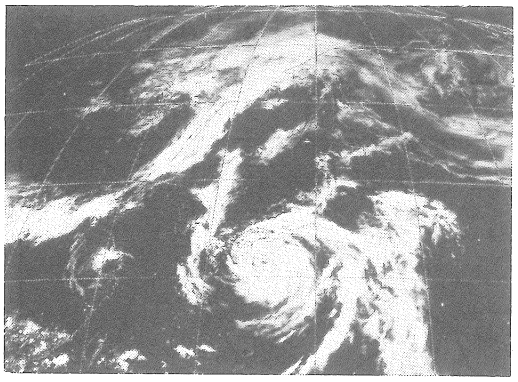
台風6号による県内降水量分布図（mm）
昭和58年8月15日



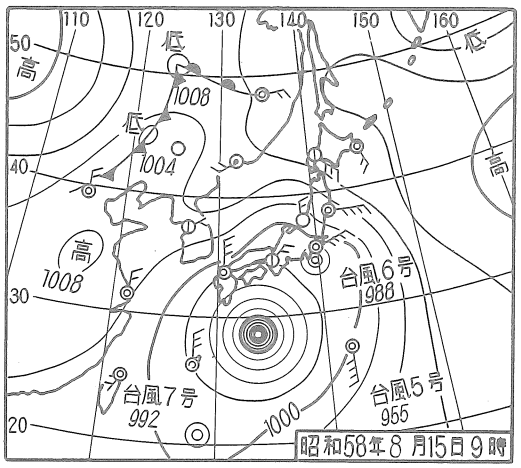
台風5号による県内降水量分布図（mm）
昭和58年8月16日～18日



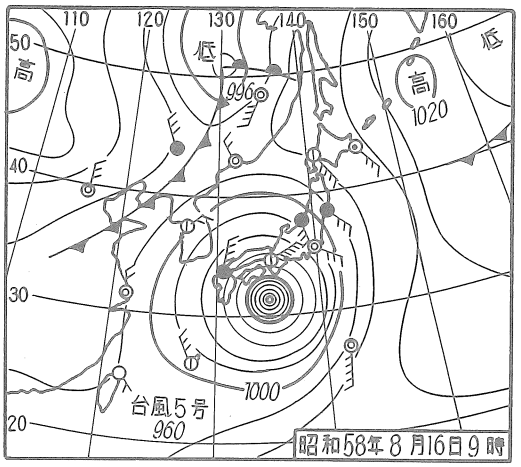
台風５・６・７号による県内総降水量分布図（mm）
昭和58年８月15日～18日



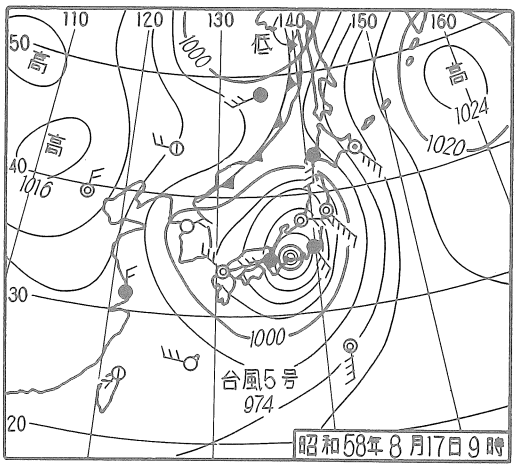
「ひまわり」可視画像　　58年８月16日12時



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

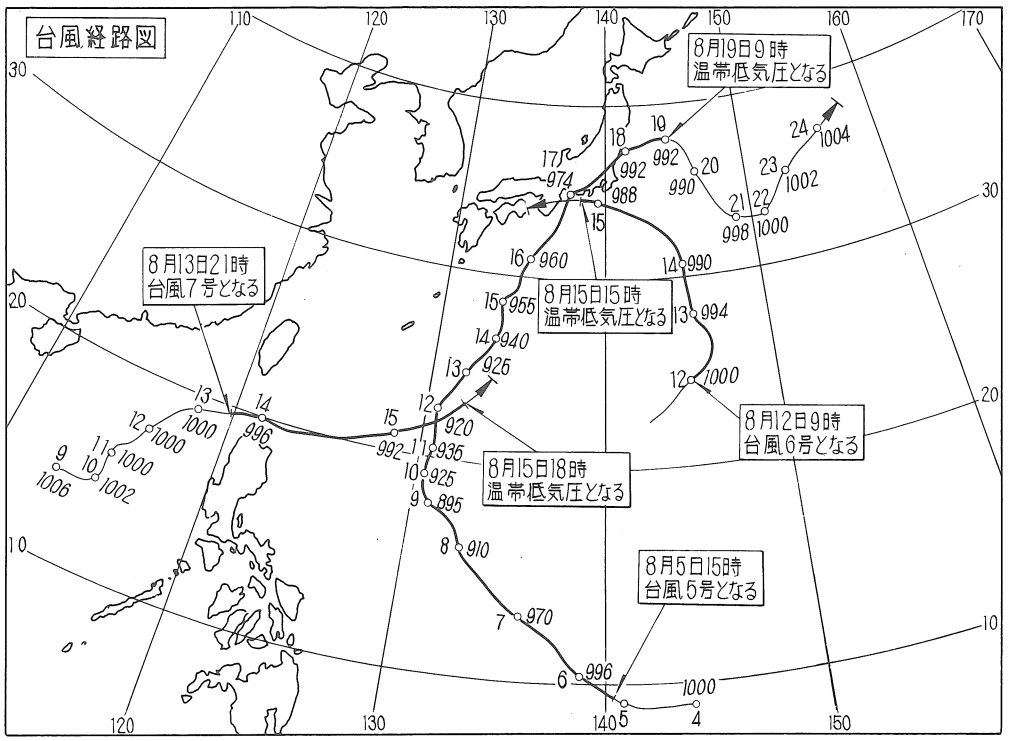


地　上　天　気　図

アメダス降水量表（8月16日～18日）

地名＼日	日降水量 16	17	18※	合計	1時間降水量の最大 16日		17日	
	mm	mm	mm	mm	mm	時	mm	時
佐原	14	47	1	62	5	17	16	09
我孫子	79	40	2	121	35	18	12	08
東庄	30	34	7	71	10	17	7	15
船橋	47	18	4	69	15	05	5	08
佐倉	29	26	8	63	14	16	8	08
銚子	19	35	18	72	8	17	15	15
横芝	36	35	14	85	21	16	11	08
千葉	74	35	12	121	27	16	8	08
茂原	38	50	16	104	27	16	20	08
木更津	23	44	22	89	10	15	8	06
牛久	46	44	18	108	15	12	10	07
坂畑	21	109	24	154	8	15	16	08
黒原	48	95	29	172	21	16	17	06
佐久間	27	123	26	176	15	14	22	05
鴨川	23	77	32	132	15	14	11	07
勝浦	31	66	36	133	24	15	11	08
館山	17	93	24	134	7	10	22	05
成田	42.5	58.5	7.0	108.0				

（註）※18日12時まで



台風経路図

5．被　害

被　害　表

8305号（昭和58年８月16日～18日）　（県警・朝日，18日千葉日報19日調）

床上浸水	51戸	千葉市，八千代市，東葛飾・印旛両郡
床下浸水	291戸	千葉市149，八千代市38，鎌ヶ谷市32，その他
水田冠水	16 ha	印旛郡印西町
道路損壊	182所	八千代市44，千葉市37，長生郡16，その他
堤防損壊	46所	君津市12，長生郡長南町9，安房郡9，その他
がけくずれ	7所	千葉市3，その他
鉄道不通	1所	京成線勝田台～八千代台駅間
内房線，外房線，木原線，久留里線，総武本線の５線は17日減速運転		

6．資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，台風経路図
気象年鑑，千葉県警察本部，朝日，千葉日報

災害番号　181

1．災害の種類(名称)　雷・強雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 9月1日

3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

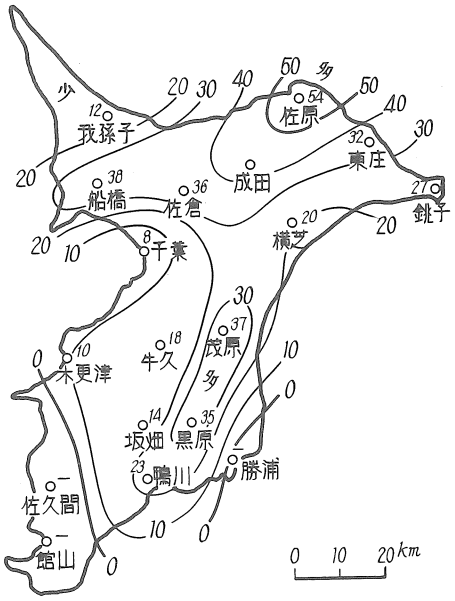
9月1日，高気圧は日本の南海上をおおっており，日本付近は気圧の谷となった。前夜の850mb天気図によると，東日本には暖気が流入していたが，西日本方面から寒気が入り込み，大気の状態が不安定となった。1日午前11時頃，県の北西部に雷雲が発生し，正午には佐原市，佐倉市，千葉市，市原市を結ぶ線上には，高度12,000～16,000mにおよぶ雷雲に発達した。この雷雲は毎時40kmで南東進し，午後1時には東の海上に遠ざかった。これらの影響で午前11時から午後にかけて県北部を中心に大雨となり，佐原では1時間降水量の最大40㎜(12時)を記録するなど，各地で大雨による被害が続出した。また，成田市，松戸市で落雷による被害も発生した。

アメダスによる極値表

区分 / 観測所	1時間降水量の最大 ㎜	起時	総降水量 ㎜	起時
佐原	40	1. 12.00	54	1.1100～1.1300

9月1日

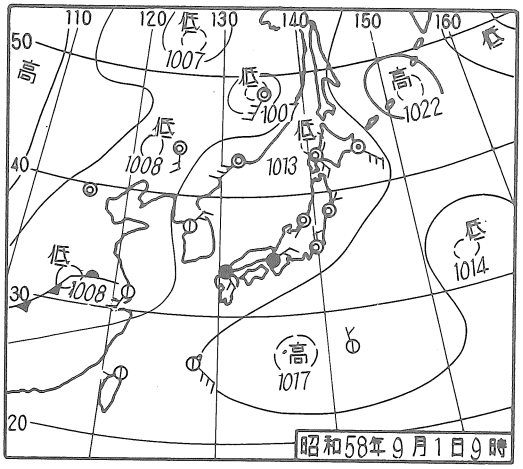
区分 / 観測所	最大風速 m/s	風向	起時
船橋	7	NNW	1.1100



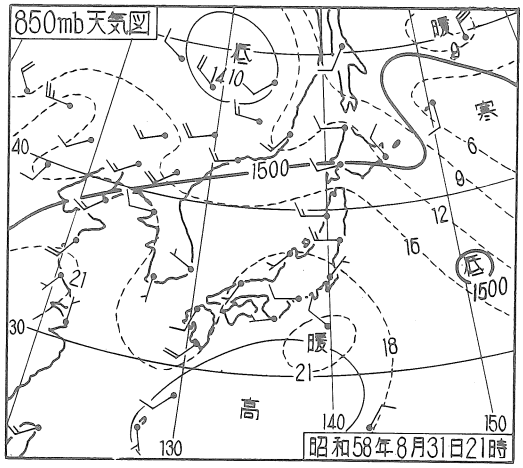
県内降水量分布図(㎜)
昭和58年9月1日11時～14時

県内アメダス降水量観測表　9月1日

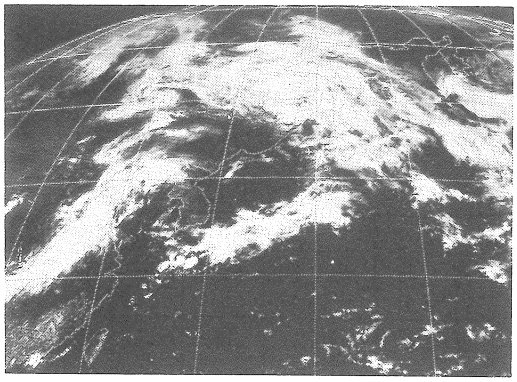
地点	11時	12時	13時	14時	計
佐原	－	40	14	－	54
我孫子	6	6	－	－	12
東庄	－	－	31	1	32
船橋	18	19	－	1	38
佐倉	－	35	1	－	36
銚子	－	－	11	16	27
横芝	－	1	18	1	20
千葉	－	7	1	－	8
茂原	－	－	37	－	37
木更津	－	－	9	1	10
牛久	－	16	2	－	18
坂畑	－	－	13	1	14
黒原	－	－	34	1	35
佐久間	－	－	－	－	－
鴨川	－	－	1	22	23
勝浦	－	－	－	－	－
館山	－	－	－	－	－



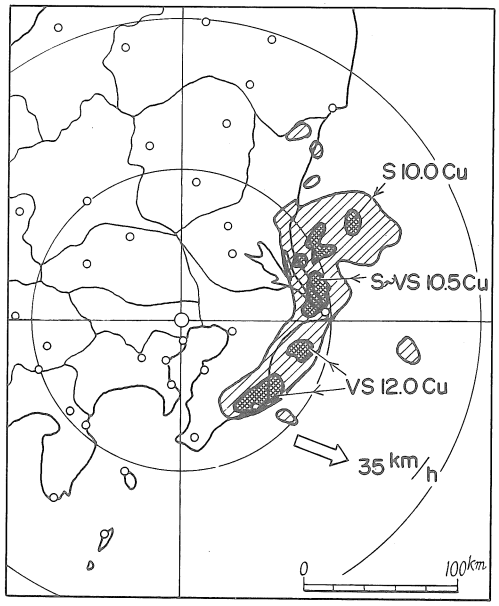
地　上　天　気　図



850mb高層天気図



「ひまわり」可視画像　　58年9月1日12時



東京レーダー図　　1日13時00分

5．被　　害

床上浸水21戸（松戸，鎌ヶ谷8，船橋3，千葉，佐倉1）床下浸水141（松戸80，白井町13等）落雷により県内4万戸が停電，落雷による火災2件（成田1，松戸1）国鉄外房線上総一宮～浪花間と木原線全線が約1時間徐行運転，外房総上下4本が40分遅延した。

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，異常気象報告，朝日新聞，千葉日報

災害番号　182

1．災害の種類(名称)　暴風雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年) 9月28日～29日

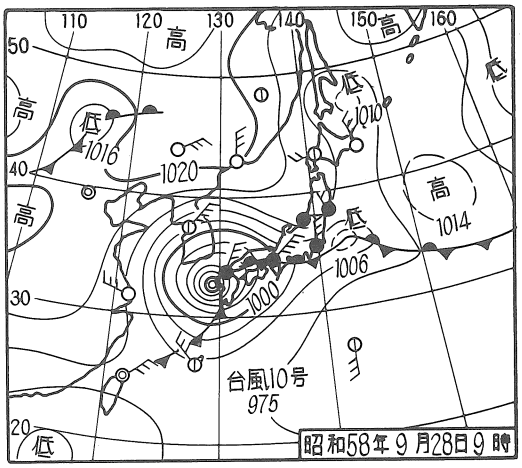
3．災害原因　台風10号・前線

4．気象概況

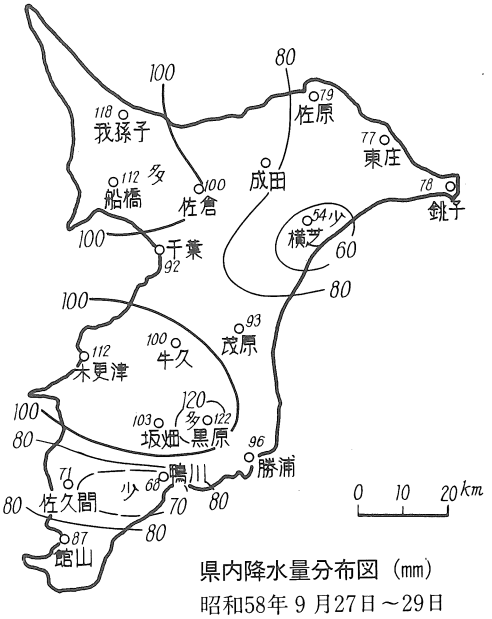
9月19日，トラック島付近で発生した弱い熱帯低気圧は西北西に進み発達して20日午後9時に台風10号となった。その後更に発達しながら北西に進み，23日には中心の気圧が885mbとなった。台風は27日，東シナ海で北東に転向し，28日午前10時20分長崎県長崎市付近に上陸した。上陸時の中心気圧は975mb最大風速30m/sであったが，上陸と共に勢力は弱まり，四国西部の宿毛市付近に再上陸し，28日午後3時に温帯低気圧となった。その後日本の南岸を通り29日早朝銚子沖180kmの海上を遠ざかった。一方，本州南岸に停滞していた秋雨前線を刺激して雨が降り続き，房総南部の丘陵地や，県北西部では，100mmを越える降水量となった。殊に，台風が紀伊半島沖に達した28日午後8時頃に県内の1時間最大降水量は12～25mmを記録した。

県内官署の極値表　(9月27日～29日)

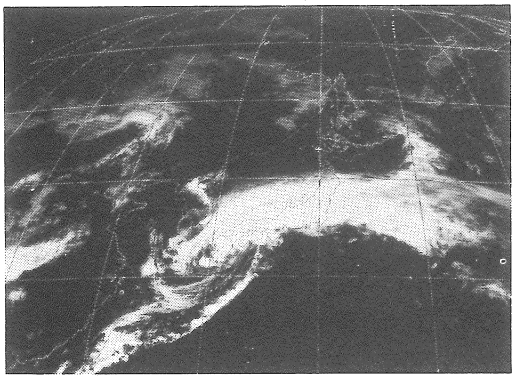
要素 / 地名	最低気圧(海面) 気圧(mb)	起時 日時分	最大風速(10分間平均) 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	最大瞬間風速 風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	996.3	29.01.30	NNE	16.6	29.02.30	NNE	30.5	28.23.40
館山	996.8	29.00.20	NNE	7.5	29.05.40	NNE	15.5	29.05.00
千葉	998.8	28.23.50	NNE	12.3	28.21.50	NNE	21.0	28.21.50
勝浦	996.4	29.00.30	NNW	9.4	28.20.10	N	18.7	29.02.50



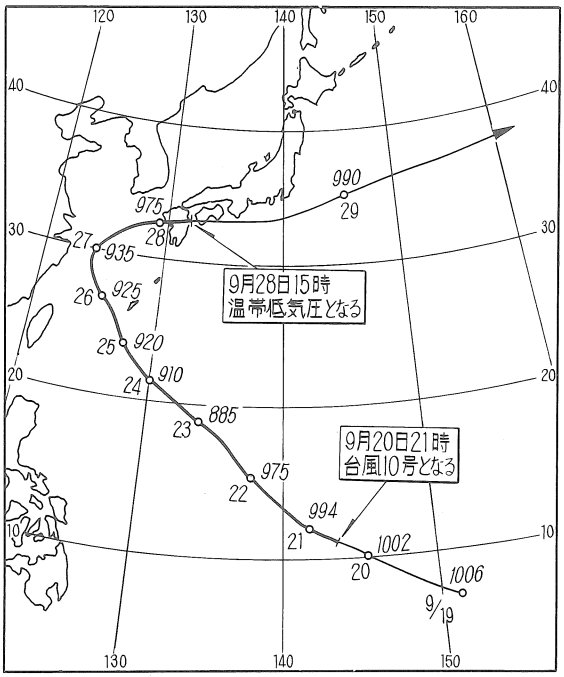
地上天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和58年9月27日～29日



「ひまわり」可視画像　　58年9月28日12時



台　風　経　路　図　　台風10号

5．被　　害

負傷者2名，家屋全壊1戸，がけ崩れ，1ヵ所（成田市），道路冠水2ヵ所（習志野市），停電200戸（千葉市の一部，20時44分～20時45分）

6．資　　料　　千葉県気象月報，千葉県気象年報，異常気象報告，台風経路図，印刷天気図，雑誌「気象」

災害番号　183

1．災害の種類(名称)　暴風雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和58年(1983年)10月11日

3．災害原因　台風13号

4．気象概況

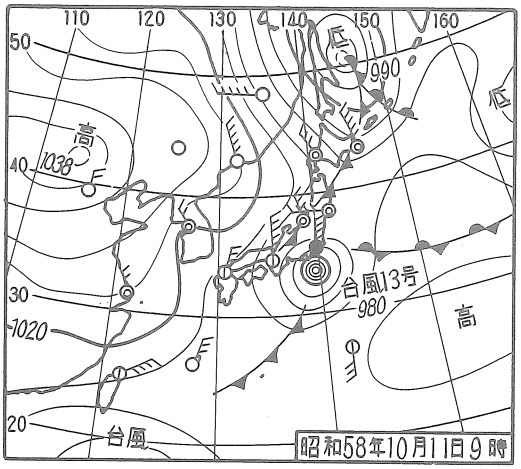
10月7日，マリアナ諸島の西に発生した弱い熱帯低気圧は，西北西に進み，8日午前9時に台風13号となった。その後やや発達したが，小型で並の強さのまま北上し，四国沖で進路を東北東に変え，11日午前9時頃，三宅島の南西約60kmの海上に達し，午後6時に中心気圧976mbとなり，銚子の東海上約350kmで温帯低気圧となった。

この台風では，風はさほど強まらなかったが，午前9時から11時にかけて，県南部を中心に，1時間降水量12～42mmの大雨が降り，被害が続出した。

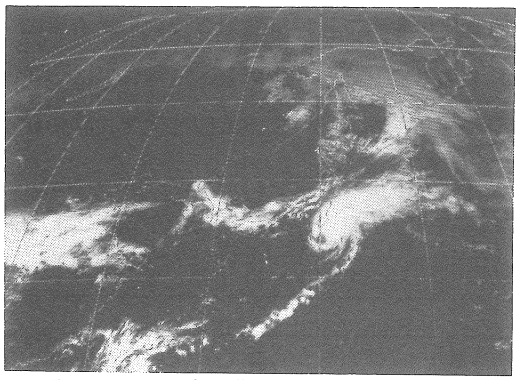
台風13号による気象官署の極値　10月11日

要素 / 地名	最低気圧(海面)		最大風速(10分間平均)			最大瞬間風速		
	気圧(mb)	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1,001.3	11.13.50	NNE	15.3	11.13.30	NNE	28.1	11.13.25
館山	998.7	11.12.30	NNE	9.9	11.10.30	NNW	21.1	11.12.50
千葉	1,002.2	11.13.10	N	9.0	11.13.00	N	17.6	11.12.30
勝浦	998.6	11.13.05	N	9.4	11.13.40	N	20.3	11.13.40
成田	1,002.4	11.13.20	N	22ノット	11.12.40	NNE	38ノット	11.11.40

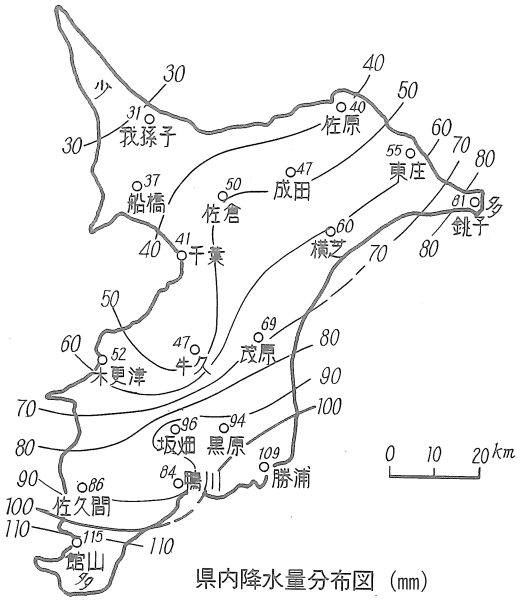
要素 / 地名	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日
銚子	5.0	11.10.30	22.5	11.10.40	80.5	11日	80.5	11日
館山	10.0	11.09.30	41.5	11.09.50	115.0	11日	115.0	11日
千葉	3.0	11.09.30	10.5	11.09.40	40.5	11日	40.5	11日
勝浦	7.5	11.11.30	26.5	11.12.00	109.0	11日	109.0	11日
成田	3.5	11.09.20	11.5	11.10.00	47.0	11日	47.0	11日



地　上　天　気　図



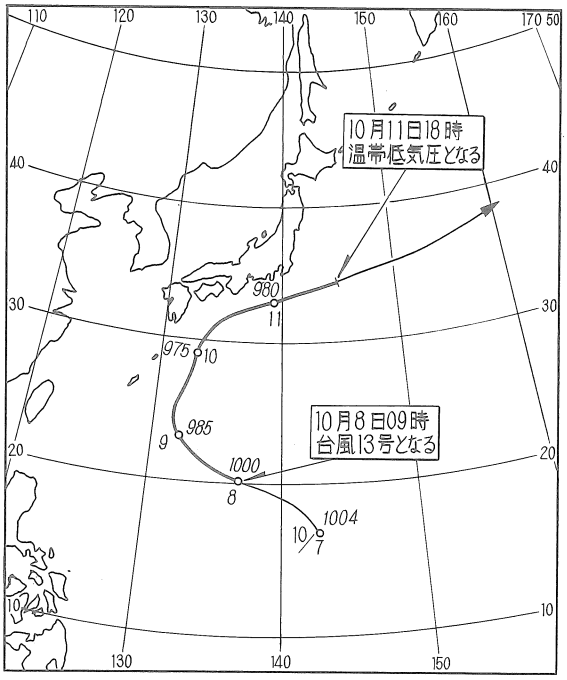
「ひまわり」可視画像　　58年10月11日12時



県内降水量分布図（mm）
昭和58年10月11日

アメダス降水量表　　10月11日

地　点	1時間最大 mm 時	日　計 mm	地　点	1時間最大 mm 時	日　計 mm
佐　原	7. 12	40	木更津	15. 10	52
我孫子	8. 11	31	牛　久	14. 10	47
東　庄	15. 10	55	坂　畑	31. 10	96
船　橋	7. 11	37	黒　原	25. 10	94
佐　倉	13. 09	50	佐久間	34. 10	86
銚　子	20. 11	81	鴨　川	19. 10	84
横　芝	15. 11	60	勝　浦	27. 12	109
千　葉	9. 10	41	館　山	39. 10	115
茂　原	20. 10	69			



台　風　経　路　図　　台風13号

5．被　害

床下浸水33戸，家屋一部破損１戸，道路損壊８か所，がけ崩れ10か所，内房線佐貫町～安房鴨川間一時運転を中止するなど，内房線18本が運休し，４本が遅延した。外房線も14本の遅延など一時混乱した。

6．資　料

千葉県気象月報，千葉県気象年報，異常気象報告，台風経路図，印刷天気図，千葉県警察，千葉日報

災害番号　184

1．災害の種類(名称)　地震

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年)1月1日

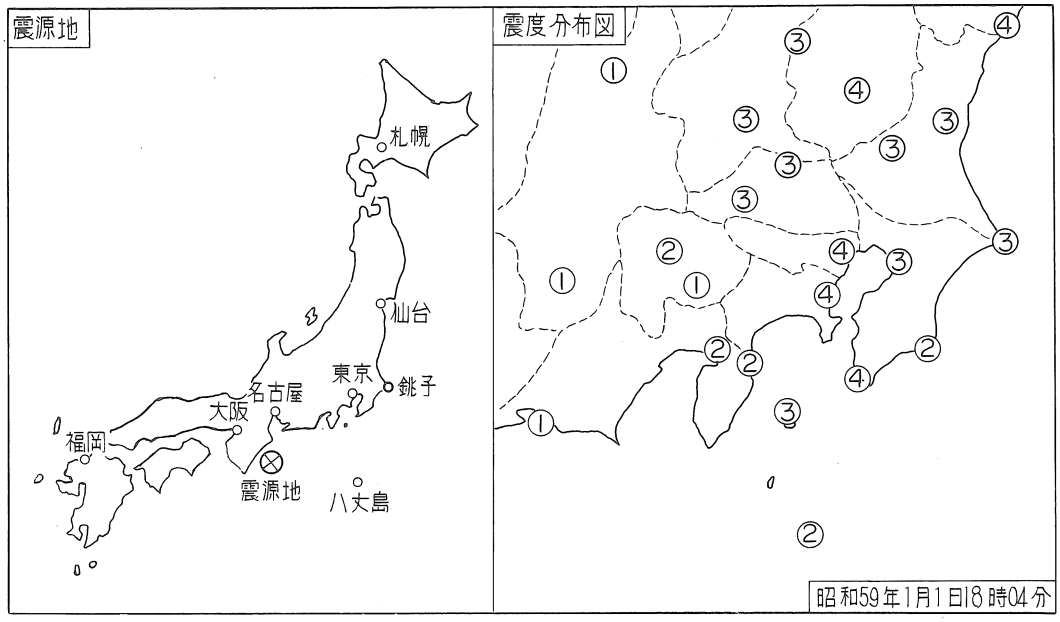
3．災害原因　震度 4

4．概況

1月1日，午後6時04分ごろ，関東地方を中心に北海道から近畿地方にかけて，地震を感じた。震源地は東海道はるか沖で，マグニュチュード7.3，千葉県では，館山震度4，千葉，銚子で震度3，勝浦で震度2を記録した。

この地震により，気象庁観測部では，茨城県から三重県までの沿岸に対して，「ツナミナシ」の津波注意報を18時17分に発表した。また，仙台管区気象台では，東北地方の太平洋沿岸に対して「ツナミナシ」の津波注意報を18時15分に発表した。また，大阪管区気象台では，和歌山県と大阪湾の沿岸と四国の太平洋沿岸に対して，「ツナミナシ」の津波注意報を18時19分に発表した。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	規模
1月1日18時04分	東海道はるか沖	33°37.2′	136°50.5′	388K	M7.3



震源地及び震度分布図

5．被害　—

6．資料　雑誌「気象」，気象年鑑，地震火山概況

災害番号　185

1．災害の種類(名称)　地震

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年)1月17日，18日

3．災害原因　震度 4

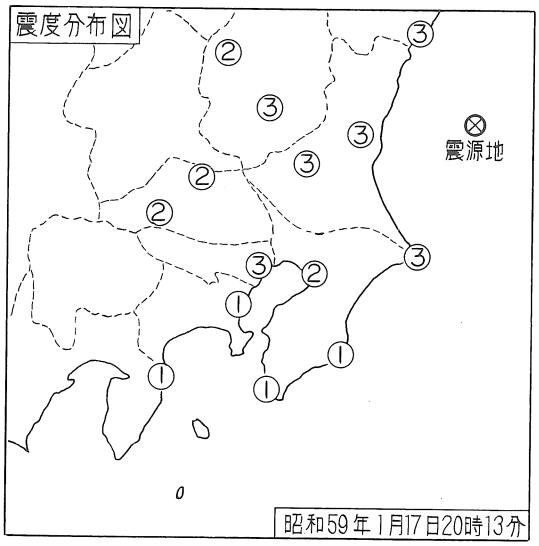
4．概況

1月17日，午後8時13分ごろ，関東地方で地震を感じた。震源地は茨城県沖で，銚子で震度3，千葉で震度2，館山，勝浦で震度1を記録した。

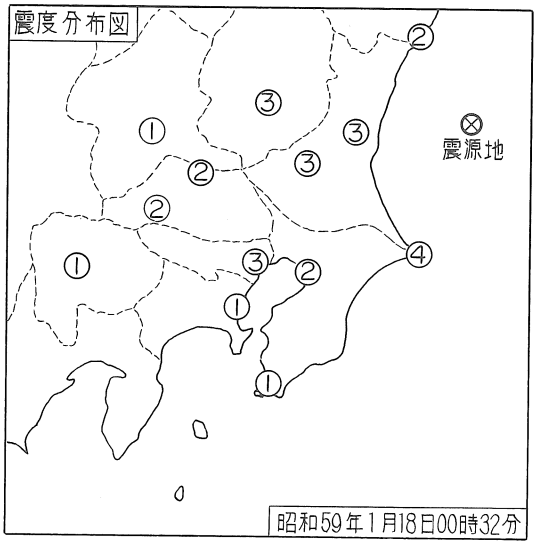
発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	規模
1月17日20時13分	茨城県沖	36°26.7′	141°16.0′	43 km	M：5.6

1月18日午後0時32分ごろ，再び，関東地方で地震を感じた。震源地は同じ茨城県沖で，銚子震度4，千葉で震度2，館山で震度1を記録した。この地震により，気象庁観測部では茨城県と千葉県の東海岸に「ツナミナシ」の津波注意報を0時40分に発表した。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	規模
1月18日00時32分	茨城県沖	36°26.7′	141°16.0′	43 km	M：5.9



震度分布図



震度分布図

5．被害　—

6．資料　雑誌「気象」，気象年鑑，地震火山概況

災害番号　186

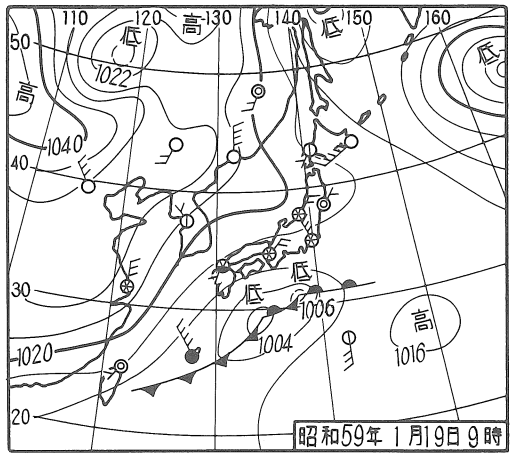
1．災害の種類(名称)　大雪

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年)1月19日

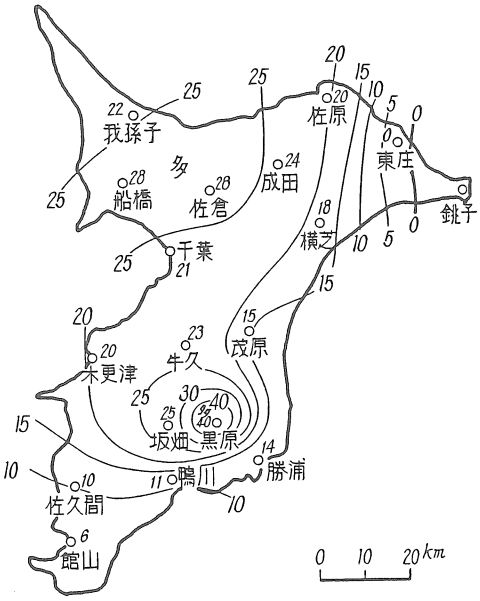
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

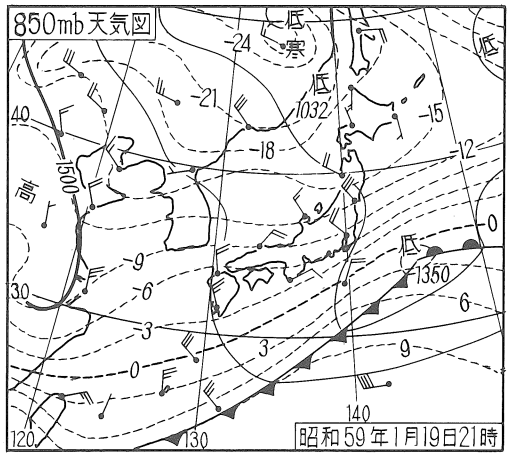
大陸の高気圧が北日本に張り出して，日本の上空にはかなりの寒気が南下した。850mb天気図（上空約1500m）の天気図に示す通り，0℃の等温線は，八丈島から奄美大島付近まで南下している。一方，本州の南海上を2つの低気圧が発達しながら東北東に進み，八丈島の南海上を通過し,夜には東海上に遠ざかった。この低気圧や寒気のため，北海道と北日本の太平洋側を除き，全般に雪となった。千葉県では銚子を除き，19日午後6時頃から雪が降り始め，午後10時頃まで降り続いた。県内の最深積雪は，南部の丘陵地帯で25～40cm，北部京葉方面の千葉・印旛・葛飾地区で22～28cm，その他では5～20cmの積雪が観測された。この大雪は，昭和43年2月16日以来16年ぶりで県内にも珍らしく大雪警報が発表されたが，これも昭和43年以来のことであった。



地上天気図



県内最深積雪分布図（cm）
昭和59年1月19日



850mb高層天気図

5．被　害

国鉄線の遅れや運休があり，空港（成田）では67便が欠航，フェリー欠航等があった。農作物は，安房地区を中心として，露地花等の被害が多く，被害総額は4億2622万円に上った。詳細は別表の通りである。

昭和59年1月19日の降雪による農作物等被害状況

千葉県農林部

1　災害地域・24市町村・大栄町，多古町，佐原市，東金市，成東町，蓮沼村，芝山町，白子町，長生町，大多喜町，大原町，館山市，鴨川市，富浦町，富山町，鋸南町，三芳村，白浜町，千倉町，丸山町，和田町，天津小湊町，君津市，富津市

2　農作物，営農施設，家畜算の被害内訳

単位：面積ha，金額千円

農作物等名		被害面積等		被害金額		備考（被害地域（面積））
		計	うち30%以上	計	うち30%以上	
野菜	食用なばな	91.	30	79,889	55,000	安房
	レタス	72.3	0	32,740	0	〃
	トマト	0.17	0.17	4,060	4,060	香取(0.07)，長生(0.1)
	だいこん	3	2	3,777	3,285	香取
	葉たまねぎ	2	0	3,520	0	長生
	パセリ	50.5	0	2,508	0	安房
	紅なばな	9.9	0	1,078	0	〃
	エシャレット	0.2	0	1,000	0	君津
	ほうれんそう	1	0	526	0	香取
	はなやさい	0.6	0.2	461	279	安房(0.2)，君津(0.4)
	はくさい	0.03	0.03	250	250	夷隅
	計	230.7	32.4	129,809	62,874	
果樹	なつみかん	20	20	13,000	13,000	安房
花き	きんせんか	83	0	85,500	0	安房
	ストック	53	22	60,920	21,120	〃
	なばな	64.5	12	58,530	13,200	〃　(56.5)，君津(8)
	なでしこ	13.5	6	14.750	6,000	〃
	すいせん	13.5	9	10,050	5,200	〃
	そてつ	9	6	9,170	6,150	〃
	スターチス	8.5	2.5	8,250	6,250	〃
	ポピー	4	3	5,100	4,500	〃
	アカシア	1.2	1.2	2,050	2,050	〃
	やぐるまそう	2	1	1,000	500	〃
	その他	9.6	2.4	12,000	5,760	
	計	261.8	65.1	267.320	70,730	
農作物計		512.5	117.5	410.129	146,604	
施設等	営農施設	10.46	－	13,096	－	香取(5.07)，山武(3.2) 他
	家畜等	－	－	3,000	－	香取
	計	10.46	－	16,000	－	
合計		522.96	117.5	426,225	146,604	

6．資　料

千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，朝日新聞，千葉日報，県警，県農林部

災害番号　187

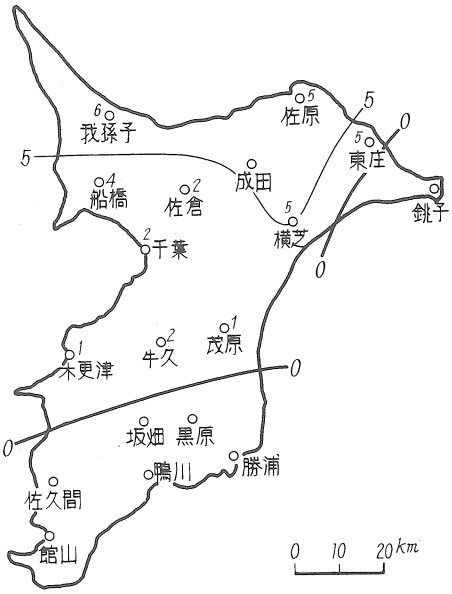
1．災害の種類(名称)　　大雪

2，災害発生年月日(期間)　　昭和59年(1984年) 1月21日

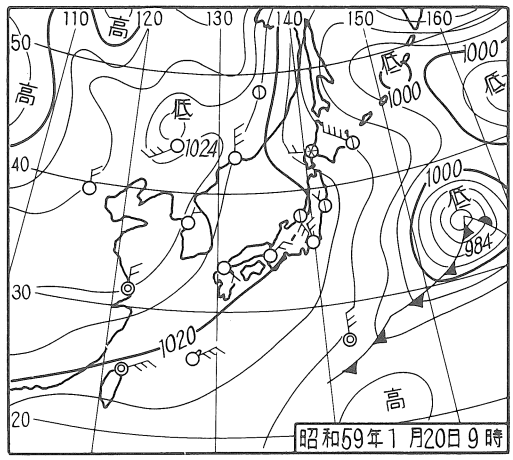
3．災害原因　　低気圧

4．気象概況

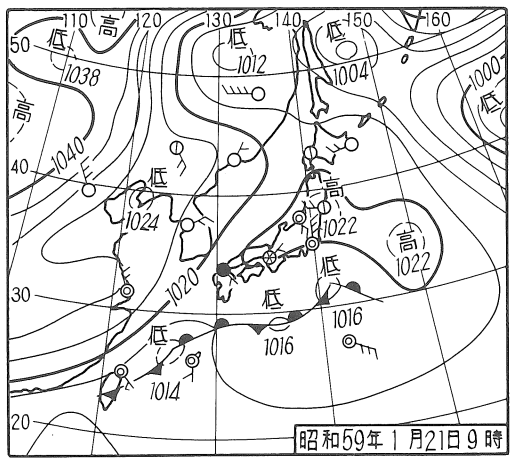
1月19日，16年ぶりの大雪を降らせた低気圧が去ったあと，20日は一時的な冬型となったが，21日は冬型もくずれ，日本の南海上を低気圧がじゅづつなぎとなり，八丈島の南を通過した。このため，21日の朝方から再び雪が降り始め，午後3時頃，最深積雪となったが，夜はみぞれや雨に変った。19日の残雪に上積みされ，5cm以上の積雪のあった所は，東葛飾・印旛地方であった。なお，大多喜付近の丘陵地帯以南と銚子付近は雨であった。



県内最深積雪図（cm）
昭和59年1月21日



地上天気図



地上天気国

5．被　害

1月19日の大雪と重なり被害を分けて算出することができず一連の被害として処理された。

6．資　料　　千葉県気象月報，千葉県気象年報

災害番号　188

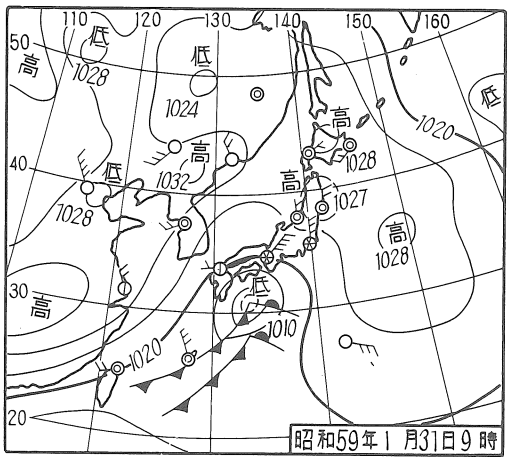
1．災害の種類(名称)　大雪

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年)1月31日～2月1日

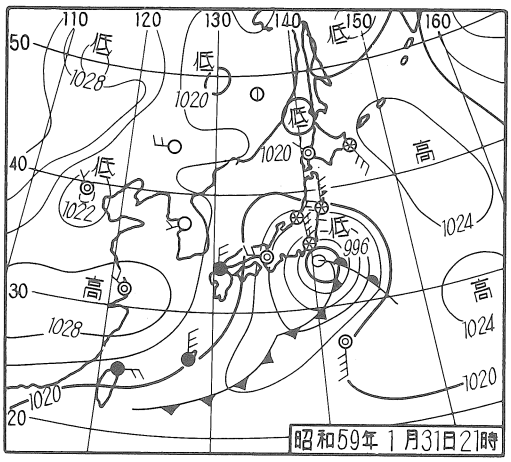
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

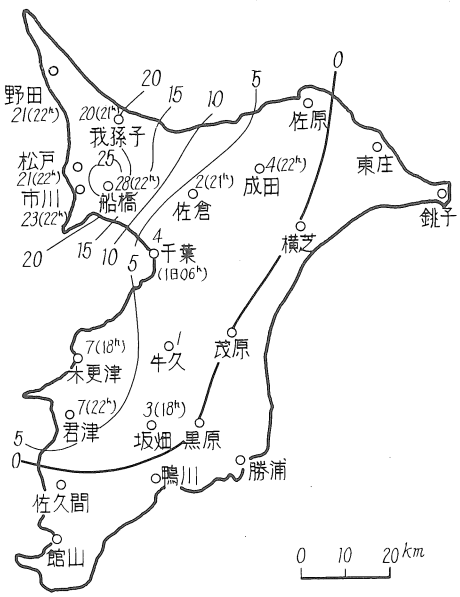
1月30日，東シナ海に発生した低気圧が31日は本州の南海上を発達しながら東北東に進み，2月1日には東海上に去った。このため関東から西日本にかけて大雪となり大阪では17cmの



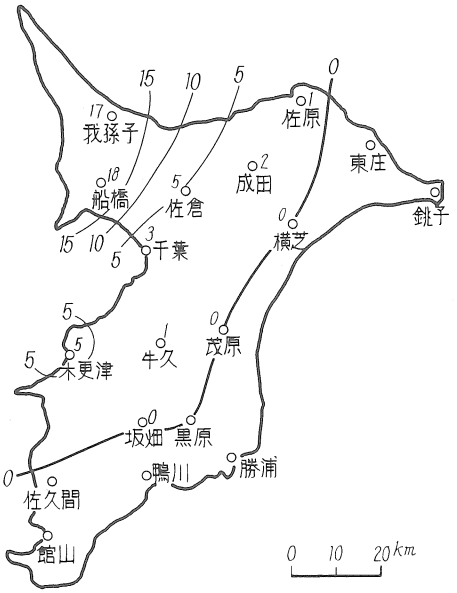
地上天気図



地上天気図

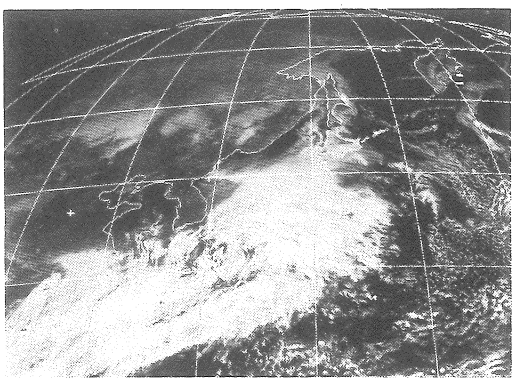


県内最深積雪分布図（cm）
昭和59年1月31日



県内積雪分布図
昭和59年2月1日9時

積雪となって１月の新記録となった。県内でも西部では31日午前６時頃から雪が降り始め，京葉・東葛飾・印旛地区を中心に24時すぎまで降雪があった。積雪は31日午後10時頃が最も深く，船橋で28cm，東葛飾で20cm，印旛・千葉・君津地区で４～７cmの積雪を観測したが，太平洋沿岸地区ではほとんど積雪はなく，雨で終止した。県内には，今冬２回目の大雪警報が出され，この雪で交通機関は大打撃を受けた。



「ひまわり」可視画像　59年１月31日12時

5．被　害

電車の遅れ，有料道路通行止４ヵ所（市川，松戸，新行徳・湾岸・首都高速・国道413号）カーフェリー欠航，成田空港９便欠航。

昭和59年１月31日の降雪による農作物等被害状況

千葉県農林部

1　災害地域・８市町・市川市，船橋市，松戸市，柏市，流山市，君津市，富津市，袖ヶ浦町

2　農作物，営農施設，家畜等の被害内訳

単位：面積ha，金額千円

農作物等名		被害面積等		被害金額		備考
		計	うち30%以上	計	うち30%以上	（被害地域（面積）
野菜	きょうな	20	0	7,725	0	東葛飾
	ほうれんそう	14	0	5,070	0	〃
	いちご	0.03	0.03	1,638	1,638	君津
	にんじん	3	0	1,628	0	東葛飾
	計	37.03	0.03	16,061	1,638	
花き		3.16	0.16	4,776	1,776	君津
	計	40.19	0.19	20,837	3,414	
施設等	営農施設	0.35	－	4,730	－	東葛飾(0.15)，君津(0.2)
合計		40.54	0.19	25,567	3,414	

6．資　料

千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，雑誌「気象」，県警，県農林部

災害番号　189

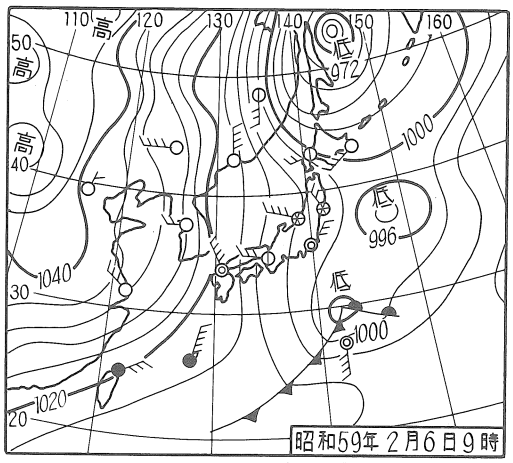
1．災害の種類(名称)　大雪

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 2月6日～7日

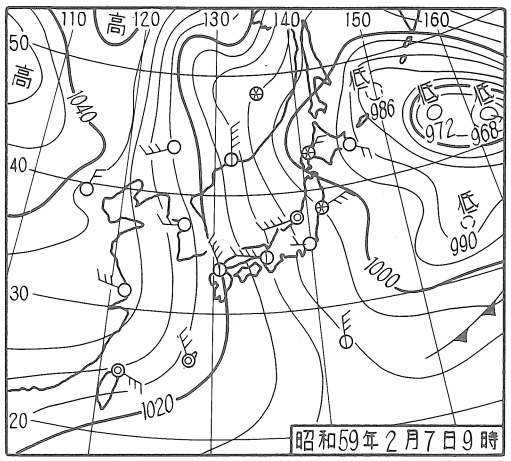
3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

2月6日，7日は冬型となったが，上空にかなりの寒気が流入し館野5500mで－30℃に下降した。関東の南部には収束雲が発生した。東京レーダによると高さ2,000～3,000m位の積雲に



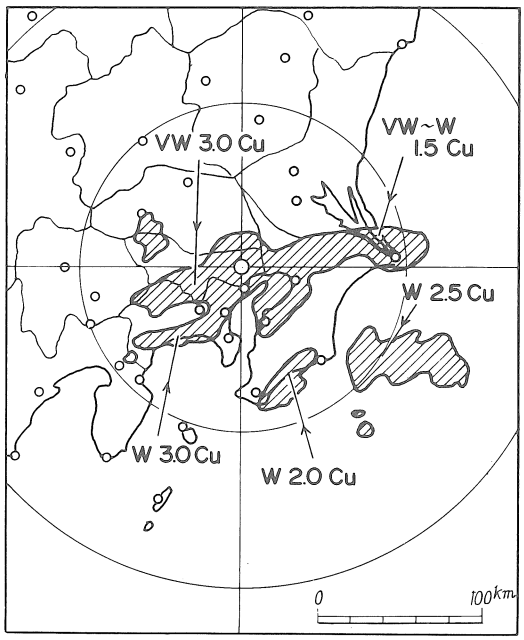
地上天気図



地上天気図



県内積雪分布図（cm）
昭和59年2月7日9時



東京レーダーエコー図
昭和59年2月6日18時00分

よってもたらされた降雪で，6日夕方から7日朝にかけて今年3度目の雪になった。7日午前9時までの積雪は，銚子で2cm，館山で4cm，特に安房地方で最も深く，その他の地方は0cm，あるいは雨で経過した。近年稀に見る積雪分布となった。

5．被　害

昭和59年2月6日の降雪による農作物等被害状況

千葉県農林部

1　災害地域・2市町・館山市，白浜町

2　農作物，営農施設，家畜等の被害内訳

単位：面積ha，金額千円

農作物等名		被害面積等		被害金額		備考（被害地域）
		計	うち30%以上	計	うち30%以上	
野菜	そらまめ	22	0	2,200	0	安房
	さやえんどう	9	0	1,240	0	〃
	食用なばな	20	0	960	0	〃
	計	51	0	4,400	0	
花木	ストック	30	0	16,350	0	安房
	きんせんか	35	0	8,750	0	〃
	ポピー	9.5	4.5	5,250	3,000	〃
	なでしこ	6	0	3,000	0	〃
	マーガレット	1	1	2,100	2,100	〃
	そてつ	3	0	1,000	0	〃
	計	84.5	5.5	36,450	5,100	
合計		135.5	5.5	40,850	5,100	

6．資　料

千葉県気象月報，千葉県気象年報，印刷天気図，千葉県農林部

災害番号　190

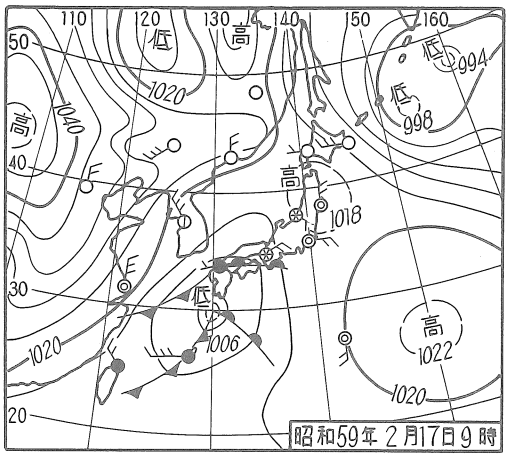
1．災害の種類(名称)　大雪

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 2月17日～18日

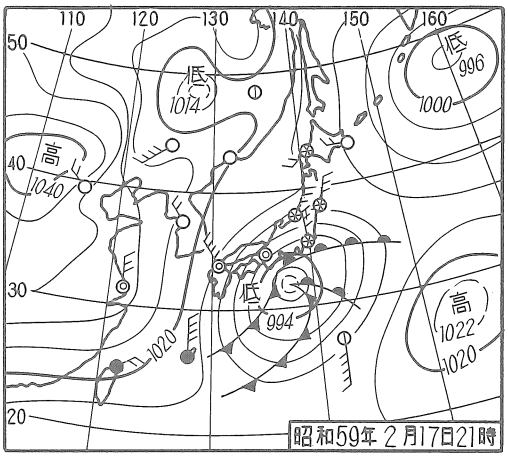
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

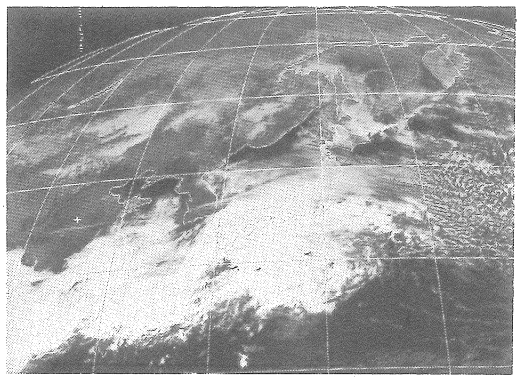
17日，東シナ海に発生した低気圧が，発達しながら日本の南海上を東北東に進んだ。一方，700mb天気図に示す通り約3,000m上空の気温は，千葉県上空で－6℃を示しており，日本海西部の寒気団は－21℃となっている。この影響で，17日は関東から近畿地方まで雪となった。



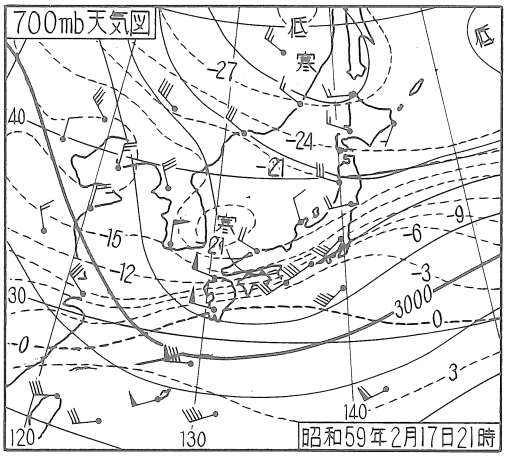
地上天気図



地上天気図

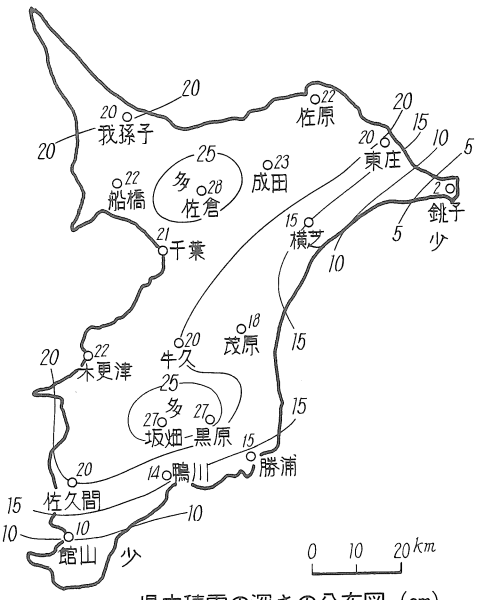


「ひまわり」可視画像　59年2月17日12時



700mb高層天気図

千葉県でも17日午後からミゾレが降り始め，次第に雪に変り，18日午前5時半ごろまで続いた。18日午前9時までの県内における積雪は，太平洋沿岸沿いの地方で2～15cmとなり，最も積雪の深かったのは，大多喜付近の丘陵地帯と，佐倉付近で27～28cmに達した。尚，県内に出された大雪警報は今冬3回目となった。



県内積雪の深さの分布図（cm）
昭和59年2月18日9時

5．被　害

送電線に7cm位の着雪が起り，たるんで接触したため，銚子市，旭市，八日市場市，小見川町，飯岡町では，18日年前0時9分頃から停電し，同日午後6時頃復旧した。

国鉄ダイヤが混乱し，総武線など8路線，計113本が運休し，総武線，成田線の佐倉～銚子間が不通となった。

県内の臨時休校267（小・中学校210，高校57）のほかフェリー，空港では欠航があった。

農作物等の被害は別表に示す。

昭和59年2月17日及び18日の降雪による農作物等被害状況

千葉県農林部

1　災害地域・51市町村・市原市，流山市，成田市，佐倉市，四街道市，八街町，白井町，印西町，本埜村，佐原市，下総町，小見川町，山田町，栗源町，多古町，干潟町，東庄町，銚子市，飯岡町，旭市，八日市場市，野栄町，海上町，東金市，大網白里町，九十九里町，松尾町，山武町，横芝町，茂原市，一宮町，長生村，白子町，睦沢町，夷隅町，大多喜町，館山市，鴨川市，富浦町，鋸南町，三芳村，白浜町，千倉町，丸山町，和田町，天津小湊町，木更津市，君津市，富津市，袖ヶ浦町，富山町

2　農作物，営農施設，家畜等の被害内訳・別表

3　樹木被害

樹種名	被害程度別面積				備　考
	甚	中	軽	計	
な　し	3.1ha	0.75ha	1.79ha	5.64ha	市原市5.29ha，一宮町0.35ha

別　紙

農作物，営農施設，家畜等の被害内訳

単位：面積ha，金額千円

	農作物等名	被害面積等 計	被害面積等 うち30%以上	被害金額 計	被害金額 うち30%以上	備考（被害地域（面積））
麦		24.9	20.6	5,931	5,459	香取
野菜	キャベツ	46.9	23.3	82,250	62,250	海匝(40.9)，香取(6)
野菜	トマト	3	2.8	36,683	36,207	君津(2)，香取(0.4)他
野菜	はなやさい	23.7	21.7	35,620	35,260	海匝(18.4)，君津(3.3)他
野菜	きゅうり	2.49	0.99	33,388	25,221	香取(15)，海匝(0.91)他
野菜	だいこん	24.4	4.1	17,099	6,613	香取(20.3)，海匝(4)他
野菜	いちご	0.39	0.39	15,143	15,143	海匝(0.19)，夷隅(0.1)他
野菜	かぶ	38.2	0.1	14,501	149	香取
野菜	レタス	18.51	0	14,265	0	安房(10)，君津(8.5)他
野菜	ブロッコリー	9.5	4.9	10,794	8,220	海匝(4.9)，山武(3.1)他
野菜	ねぎ	16.8	0	9,979	0	印旛
野菜	みつば	3.3	1.0	7,875	5,000	香取
野菜	食用なばな	89.5	0	7,832	0	安房
野菜	にら	6.5	0.5	7,112	1,270	香取
野菜	なす	1.71	0.06	6,614	1,514	香取(1.65)，海匝(0.06)
野菜	しゅんぎく	6.21	0.1	6,544	316	香取(6)，海匝(0.21)
野菜	ほうれんそう	11.81	0.01	6,226	14	印旛(108)，香取(1)他
野菜	パセリ	27	0	5,400	0	安房
野菜	そらまめ	22.55	0.55	5,390	990	安房(22)，香取(0.55)
野菜	にんじん	6.6	0	2,814	0	香取(3.8)，印旛(2.8)
野菜	さやえんどう	9	0	2,470	0	安房
野菜	葉たまねぎ	2.5	0	1,100	0	長生
野菜	セルリ	0.15	0.15	999	999	香取
野菜	紅なばな	7.8	0	601	0	安房
野菜	さやいんげん	0.06	0	76	0	海匝
野菜	ふき	0.02	0.02	72	72	長生
野菜	メロン	0.01	0.01	43	43	〃
果樹	こまつな	0.1	0	42	0	長生
果樹	パクチョイ	0.04	0	31	0	〃
果樹	計	378.75	60.68	330,963	199,281	
果樹	びわ	15	0	7,960	0	安房
果樹	ぶどう（苗木）	0.47	0.47	1,034	1,034	香取
果樹	なつみかん	10	0	1,000	0	君津
果樹	計	25.47	0.47	9,994	1,034	
花き・花木	きんせんか	83	0	67,360	0	安房
花き・花木	ストック	59	0	64,280	0	〃
花き・花木	なばな	68	0	40,750	0	安房(50)，君津(18)
花き・花木	なでしこ	13.5	7.5	24,120	18,120	安房
花き・花木	そてつ	16	3	17,050	7,500	〃
花き・花木	スターチス	9	0	4,750	0	〃
花き・花木	すいせん	1.5	0	4,500	0	〃
花き・花木	アカシア	1.2	0	2,400	0	〃
花き・花木	ポピー	5	0	2,250	0	〃
花き・花木	マーガレット	1	1	900	900	〃
花き・花木	きんぎょそう	0.04	0.04	840	840	〃
花き・花木	カラー	0.07	0.07	481	481	君津
花き・花木	アネモネ	0.03	0.03	183	183	〃
花き・花木	鉢物	0.05	0.05	870	870	長生
花き・花木	計	257.39	11.69	230,734	28,894	
農作物計		686.21	93.44	577,622	234,668	
施設等	営農施設	64.33	−	251,084	−	香取(33.45)，海匝(8.07)他
施設等	家畜等	−	−	967	−	海匝
施設等	計	6433	−	252,051	−	
		750.54	93.44	829,673	234,668	

参　考

昭和59年1月中旬から2月中旬の降雪による農作物等被害状況

千葉県農林部

作物別＼災害別 面積・金額別	1月19日 面積	1月19日 金額	1月31日 面積	1月31日 金額	2月6日 面積	2月6日 金額	2月17日～18日 面積	2月17日～18日 金額	計 面積	計 金額	主な農作物等
	ha	千円	ha	千円	ha	千円	ha	千円	ha	千円	
野菜	230.7	129,809	37.03	16,061	51.0	4,400	378.75	330,963	697.48	481,233	食用なばな，レタス，トマト，キャベツ，きゅうり
果樹	20.0	13,000					25.47	9,994	45.47	22,994	びわ，夏みかん
花き	261.8	267,320	3.16	4,776	84.5	36,450	257.39	230,734	606.85	539,280	きんせんか，ストック，なばな，なでしこ
麦							24.6	5,931	24.6	5,931	
農作物計	512.5	410,129	40.19	20,837	135.5	40,850	686.21	577,622	1,374.4	1,049,438	
施設	10.46	13,096	0.35	4,730			64.33	251,084	75.14	268,910	ビニールハウス，トンネル
家畜	−	3,000					−	967		3,967	にわとり，豚
合計	522.96	426,225	40.54	25,567	135.5	40,850	750.54	829,673	1,449.54	1,322,315	

6．資　料　千葉県気象月報，異常気象報告，印刷天気図，千葉県農林部，千葉県警

災害番号　191

1．災害の種類(名称)　地震

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 3月6日

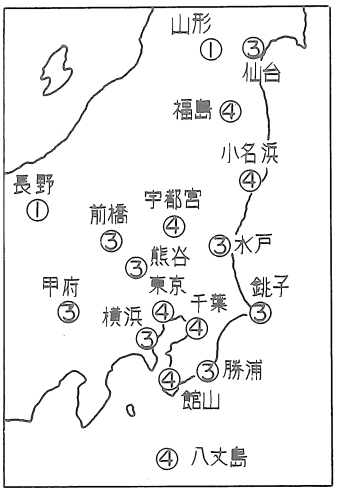
3．災害原因　震度4

4．概況

6日午前11時18分頃，西日本から北海道にかけての広い地域で地震を感じた。震源地は鳥島近海で，震源の深さは452km，千葉，館山，東京，宇都宮，八丈島で震度4，銚子，勝浦で震度3であった。

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	マグニチュード
6日11時18分	鳥島近海	29°20.4′	139°12.3′	452km	7.9

この地震は1月1日の地震と同様に規模の大きな深発地震（深さ452km）であったため，西日本から北海道にかけての広い地域となった。マグニチュード7.9というのは，深発地震の規模としては最大級のものである。



震度分布図

過去のマグニチュード7.9以上の地震

発生日	名称	マグニチュード	被害
大正12年9月1日	関東大地震	7.9	死者99,331名，行方不明43,476名
昭和8年3月3日	三陸地震・津波	8.3	死者3,008名（津波）
昭和19年12月7日	東南海地震	8.0	死者871名
昭和21年12月21日	南海地震	8.1	死者1,362名，行方不明102名
昭和27年3月4日	十勝沖地震	8.1	死者28名，行方不明5名
昭和35年5月23日	チリ地震津波	8.25～8.5	死者119名（津波），行方不明20名
昭和43年5月16日	十勝沖地震	7.9	死者49名，行方不明3名

5．被害

びっくりして屋外に飛び出した人が多かった。また不安定の家具・什器類の倒壊があった。

6．資料　千葉県気象月報，地震原簿，地震火山概況，気象年鑑，千葉日報

災害番号　192

1．災害の種類(名称)　寒候期冷害

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 1月～6月

3．災害原因　異常寒気（低温）

4．気象概況

昭和58年から昭和59年にかけての冬は，戦後としては，昭和20年に次ぐ実に39年ぶりの大寒冬であった。これは昭和を通じても第6位の寒冬で，全国的に雪がよく降ったのも大きな特徴であった。戦後の日本は暖冬が続き，人間活動もこれに慣れてきた感があり，そこへ39年ぶりの寒冬で，社会，経済に与えた影響は大きかった。

1月　昭和58年12月中旬から平均気温が際立って平年を下回り，大陸高気圧は短周期で張り出し，これに伴う寒気団が非常に強かったので平均気温が平年を上回った日は2～3日しかなかった。また19日は県内各地（銚子を除く）で終日大雪となり，昭和43年2月15日以来の大雪警報の発表となった。さらに21日は県の北部と京葉地区で再び雪となり交通等が混乱し，31日も県内の所々で雪となり大雪警報の発表となったが，今月中で大雪注意報3回，大雪警報2回の発表となった。

2月　寒波が続き2月の平均気温は平年より3.0～3.4℃低く記録的なものとなった。また大雪警報は1月19日，1月31日に次ぎ2月17日の3回目の発表となった。2月中の日平均気温を上回った日は2日のみで2月の平均気温の低い順位は統計開始以来，館山・千葉は1位，銚子，勝浦は2位を記録した。平年差は銚子－3.4℃，館山－3.1℃，千葉－3.0℃，勝浦－3.4℃

3月　引続いて寒波が強く，3月中の平均気温の低い値をみると銚子・館山・勝浦で開始以来の第1位の最低値を記録し，千葉では第2位を記録した。平年と比較して，銚子－3.6℃，館山－2.6℃，千葉－3.0℃，勝浦－3.2℃も低かった。

4月　遅れた春もようやく来て雪も終り，待ちこがれた桜も銚子では月の半ばをすぎてやっと満開となったとはいえ，肌冷えの状態が続いた。銚子の4月平均気温8.9℃は第2位を記録した。県内官署の平年との月平均気温の比較をみると，銚子－4.5℃，館山－2.3℃，千葉－3.2℃，勝浦－2.7℃といずれも低い記録となった。

5月　異常低温が続いている関東以北は23日になっても冷え込み，銚子で最高気温10.1℃と平年より10.5℃も低く，5月としては昭和26年以来の最低となった。一方北海道の北部や日本海側では逆に真夏並みになり，北見市で30.1℃に上昇し南北逆転した気候異変となった。

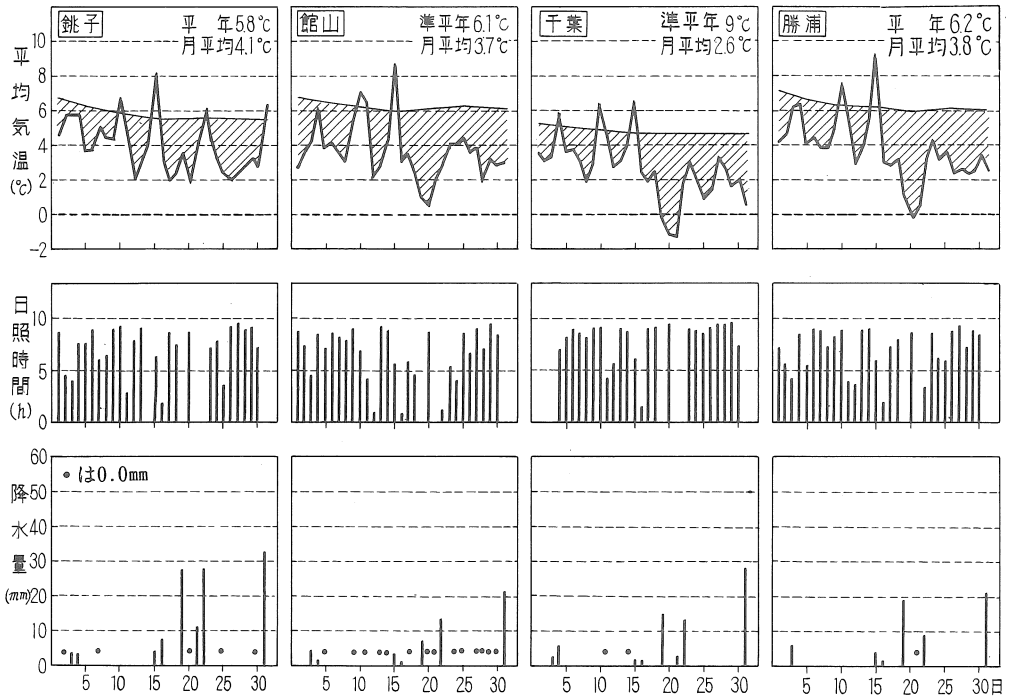
オホーツク海の高気圧が依然強く，北高型が15日～25日までつづき，冬を思わせる寒冷な日が続いた。この寒さにカーディガンやレインコートを着て通勤する人が多かった。またもこの冷涼さは5年続きの凶作かもと印象づけ，一般の問合せも多岐に亘り，「最高気温の最低は何℃か？」とか。

当台は5月19日「農業気象通報，低温に関する情報」を発表して注意を促した。一般の農家の田植えも1週間程度も遅延するなど技術でカバーしてくれることを祈らずにはいられない。

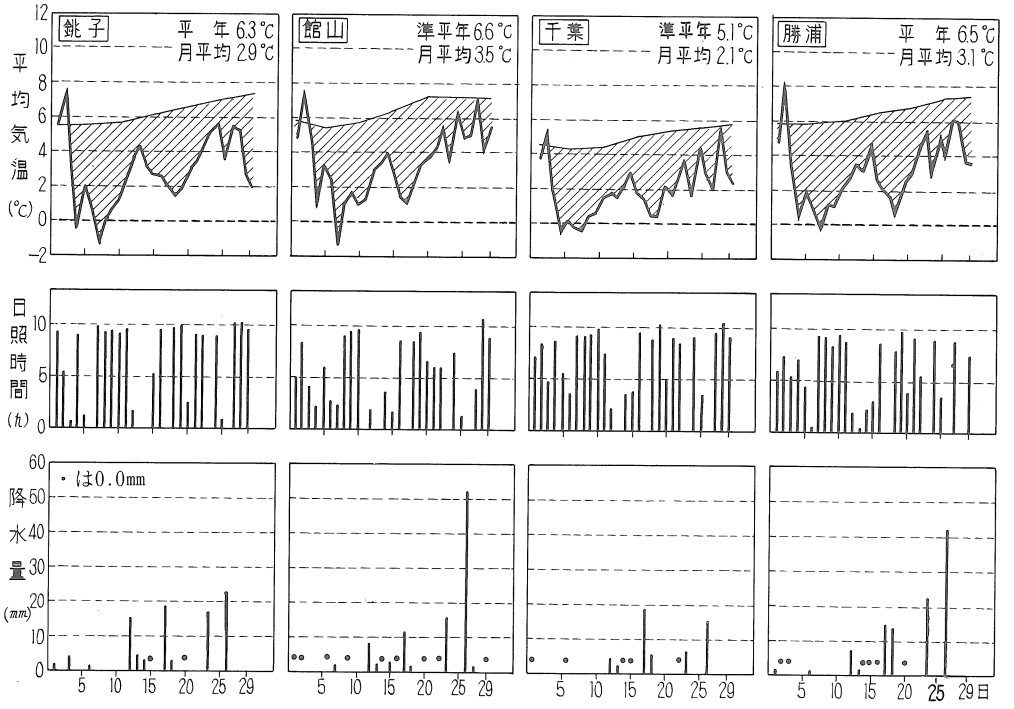
6月　1～5月迄異常気象の連続で，しかも毎月記録は更新されたが6月に入って変動が大きくなり平年を上回る日が出てきて，千葉県の南部から異常低温が逐次解消され館山・勝浦で中旬頃から平年並となった。しかし県の北部，銚子・千葉方面では6月下旬になっても寒さが続き平年値を上回ることができなかった。

オホーツク高気圧や親潮寒流の後退とともに梅雨明けに向けて回復された。

昭和59年 1 月

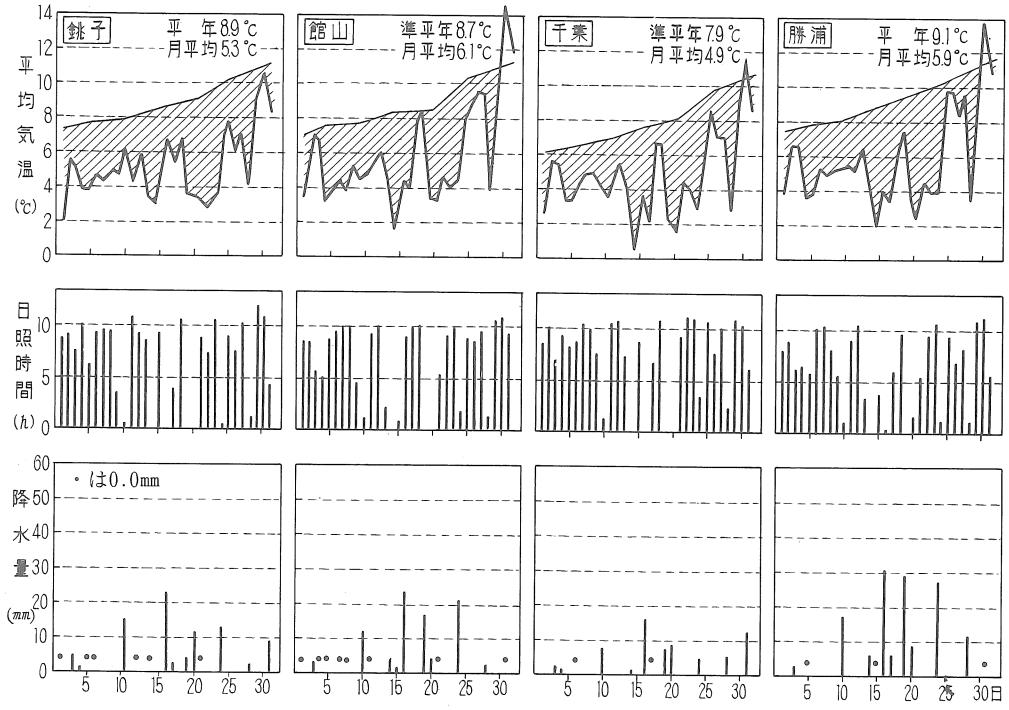


昭和59年 2 月

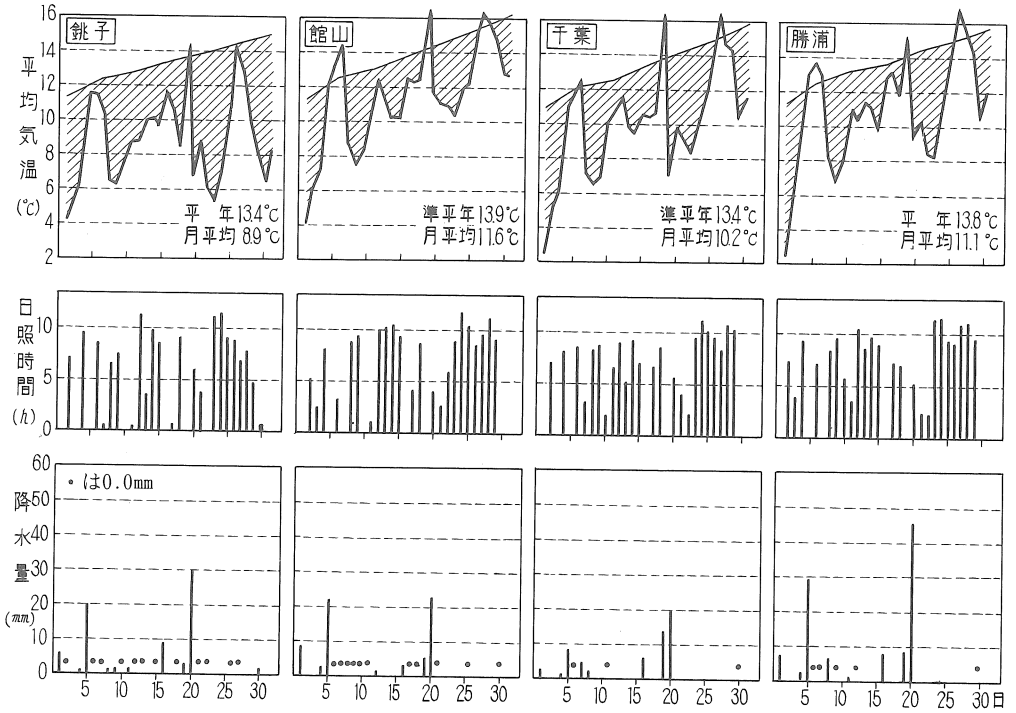


気 象 変 化 図

昭和59年 3 月

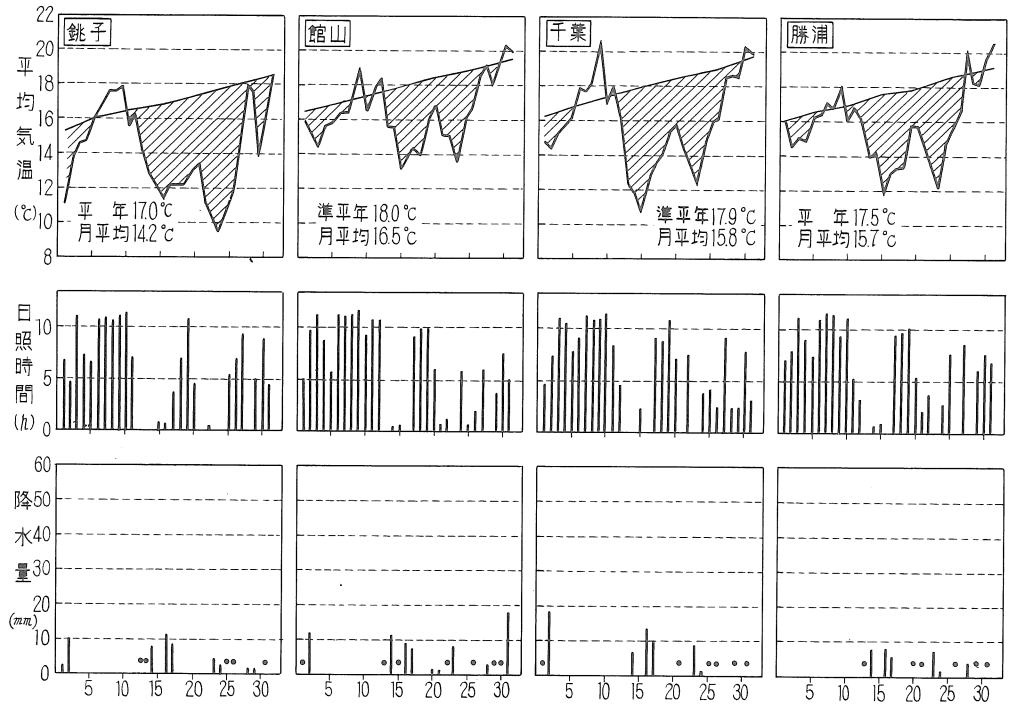


昭和59年 4 月

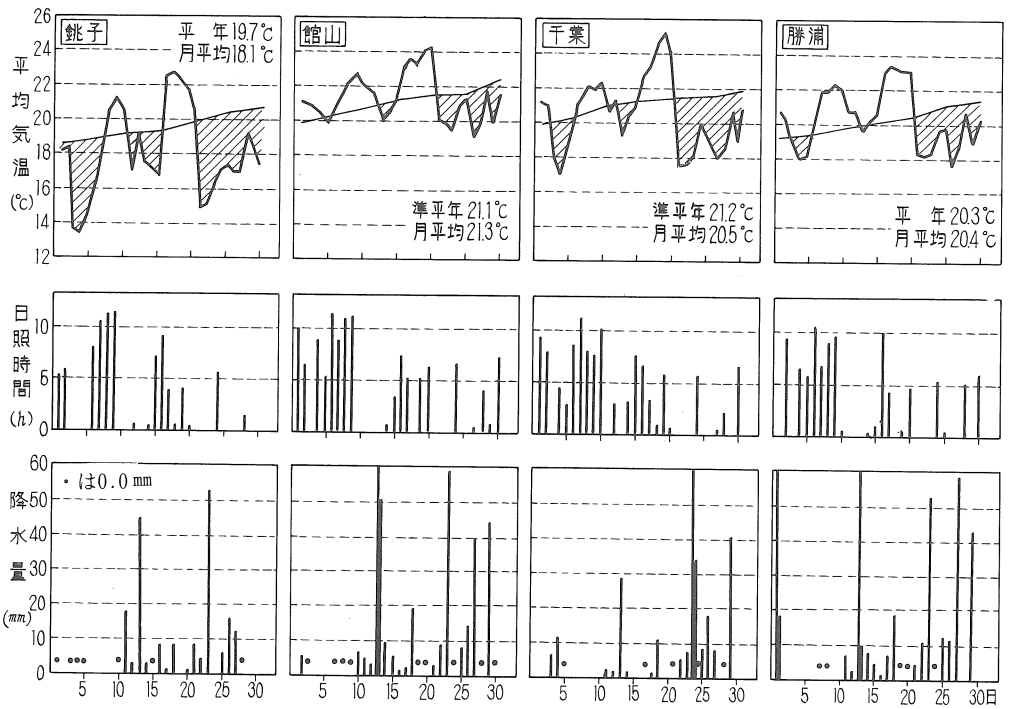


気　象　変　化　図

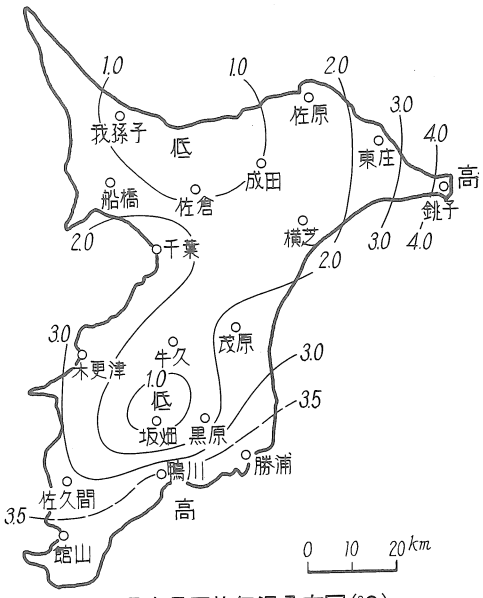
昭和59年 5 月



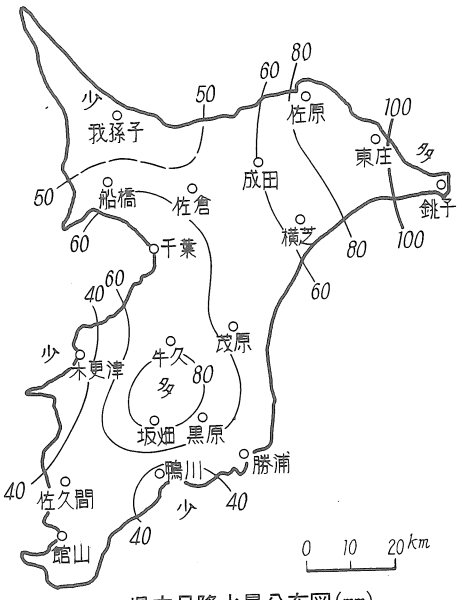
昭和59年 6 月



気　象　変　化　図



県内月平均気温分布図(℃)
昭和59年１月



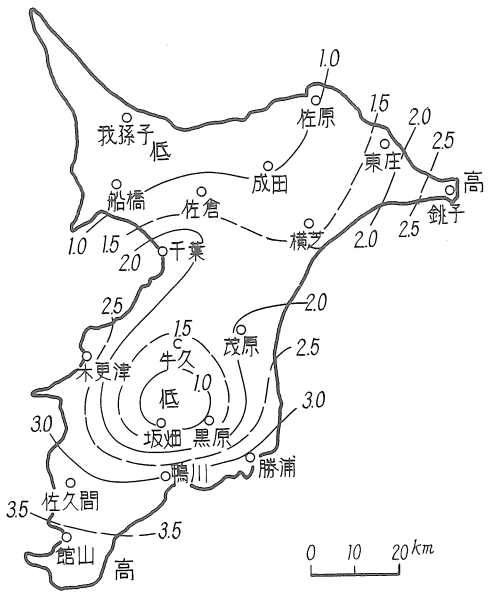
県内月降水量分布図(mm)
昭和59年１月

１月の月平均気温の低い値

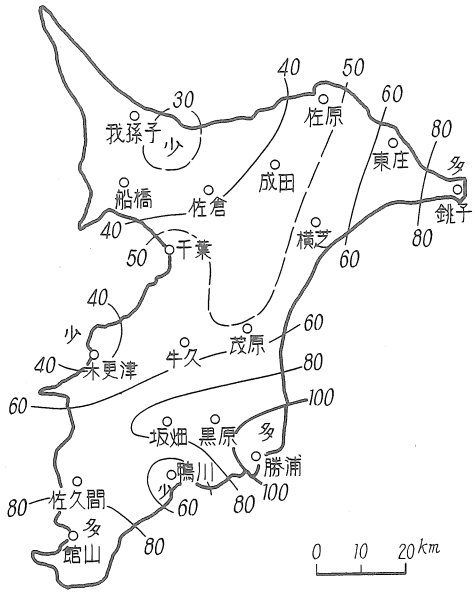
順位 / 官署	第１位		第２位		統計年
	気温	起年月	気温	起年月	
館山	3.7 ℃	1984年1月	3.9 ℃	1977年1月	1969年～
千葉	2.6 ℃	1984年1月	2.9 ℃	1977年1月	1966年～

１月の積雪の深さの月最大値

順位 / 官署	第１位		第２位		統計年
	積雪の深さ	起年月日	積雪の深さ	起年月日	
館山	7 cm	1984年1月19日	5 cm	1977年1月23日	1969年～
千葉	26 cm	1984年1月19日	7 cm	1977年1月23日	1966年～
勝浦	15 cm	1984年1月19日	11 cm	1922年1月15日	1916年～



県内月平均気温分布図(℃)
昭和59年２月



県内月降水量分布図(mm)
昭和59年２月

２月の月平均気温の低い値

順位 / 官署	第１位		第２位		統計年
	気温	起年月	気温	起年月	
銚子	2.8 ℃	1945年２月	2.9 ℃	1984年２月	1887年～
千葉	2.1 ℃	1984年２月	3.3 ℃	1968年２月	1966年～
館山	3.5 ℃	1984年２月	5.4 ℃	1982年２月	1969年～
勝浦	2.9 ℃	1945年２月	3.1 ℃	1984年２月	1906年～

２月の積雪の深さの月最大値

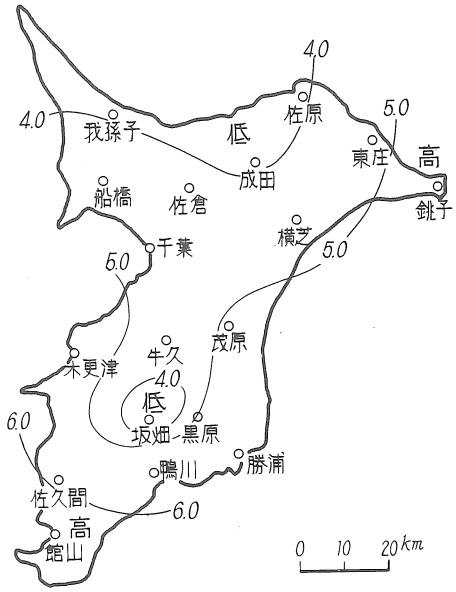
順位 / 官署	第１位		第２位		統計年
	積雪の深さ	起年月日	積雪の深さ	起年月日	
千葉	21 cm	1984年２月18日	20 cm	1967年２月12日	1966 年
勝浦	10 cm	1984年２月18日	3 cm	1975年２月16日	1906年～

２月の日最低気温

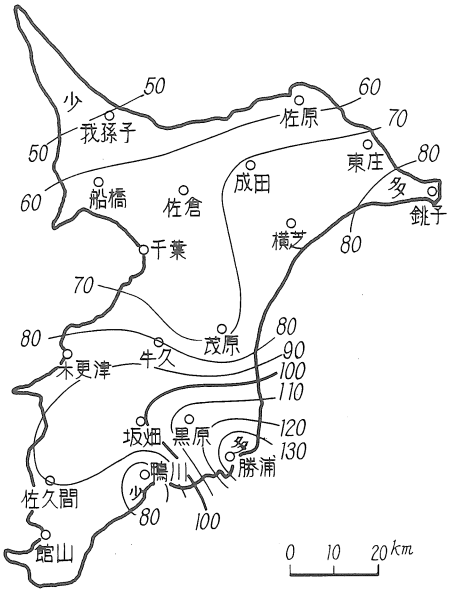
順位 / 官署	第１位		第２位		統計年
	気温	起年月日	気温	起年月日	
館山	－6.4 ℃	1984年２月８日	－6.2 ℃	1978年２月４日	1969年～

２月の雪日数

順位 / 官署	第１位		第２位		統計年
	日数	起年月	日数	起年月	
銚子	８日	1893年２月	７日	1984年２月	1887年～



県内月平均気温分布図(℃)
昭和59年３月



県内月降水量分布図(mm)
昭和59年３月

３月の月平均気温の低い値

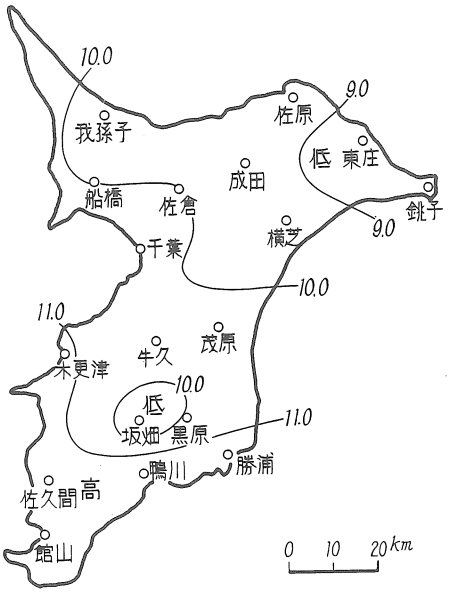
順位 / 官署	第１位 気温	第１位 起年月	第２位 気温	第２位 起年月	統計年
銚子	5.3 ℃	1984年3月	5.9 ℃	1936年3月	1887年～
館山	6.1 ℃	1984年3月	6.3 ℃	1970年3月	1969年～
勝浦	5.9 ℃	1984年3月	6.2 ℃	1970年3月	1916年～
千葉	4.8 ℃	1970年3月	4.9 ℃	1984年3月	1966年～

３月の月日照時間の最大

順位 / 官署	第１位 時間	第１位 起年月	第２位 時間	第２位 起年月	統計年
千葉	224.8時間	1984年3月	204.2時間	1971年3月	1967年～

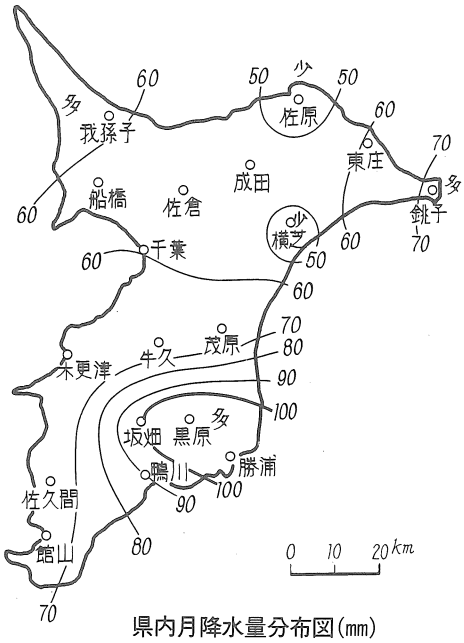
３月の積雪の深さの月最大

順位 / 官署	第１位 積雪の深さ	第１位 起年月日	第２位 積雪の深さ	第２位 起年月日	統計年
館山	5 cm	1984年3月14日	3 cm	1981年3月2日	1969年～



県内月平均気温分布図(℃)

昭和59年４月



県内月降水量分布図(mm)

昭和59年４月

桜の開花日(そめいよしの)　　昭和59年(1984年)

区分 / 官署	開花日（平年）	開花日（本年）	平年比	前年までの遅い記録	統計年
銚子	３月31日	４月16日	17日遅い	1965年４月13日	1963年～
館山	４月１日	４月９日	８日遅い	1983年４月６日	1969年～
千葉	３月31日	４月12日	13日遅い	1970年４月８日	1966年～
勝浦	３月30日	４月９日	10日遅い	1983年４月７日	1971年～

銚子における２ケ月以上にわたる過去の低温の記録

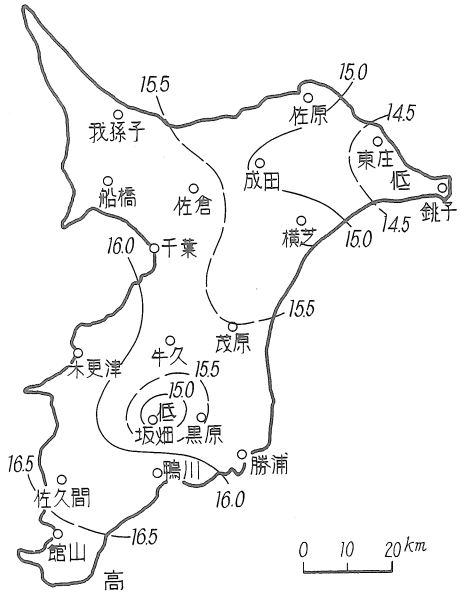
1926年(大正15年)…… ４月，５月

1936年(昭和11年)…… １月，２月，３月

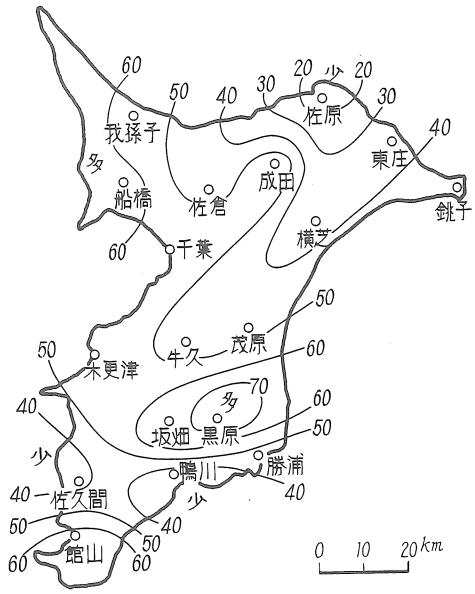
1944年(昭和19年)…… ３月，４月，５月

1945年(昭和20年)…… １月，２月，３月

1984年(昭和59年)…… １月，２月，３月，４月，５月



県内月平均気温分布図(℃)
昭和59年５月



県内月降水量分布図(mm)
昭和59年５月

銚子における日最高気温の低い記録

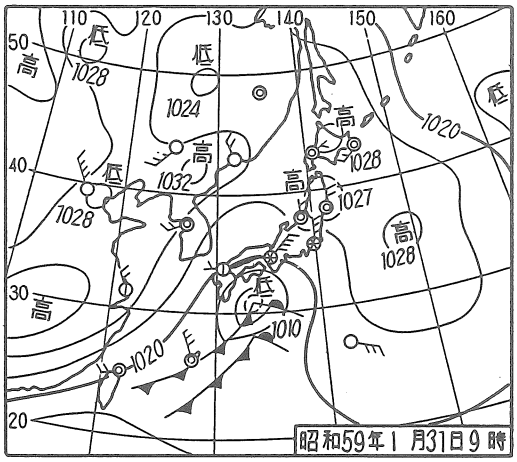
統計（昭和19年～昭和59年）

月 / 種別	１月		２月		３月		４月		５月	
	気温	起年	気温	起年	気温	起年	気温	起年	気温	起年
昭和19年以降の記録	3.2℃	1945年	2.0℃	1945年	3.2℃	1945年	3.0℃	1944年	9.7℃	1944年
本年の記録	4.4℃	1984年	4.0℃	1984年	4.3℃	1984年	5.0℃	1984年	10.1℃	1984年
平年(1951～1980年)	5.8℃	－	6.3℃	－	8.9℃	－	13.4℃	－	17.0℃	－

注）本年の記録は何れも第２位であった。

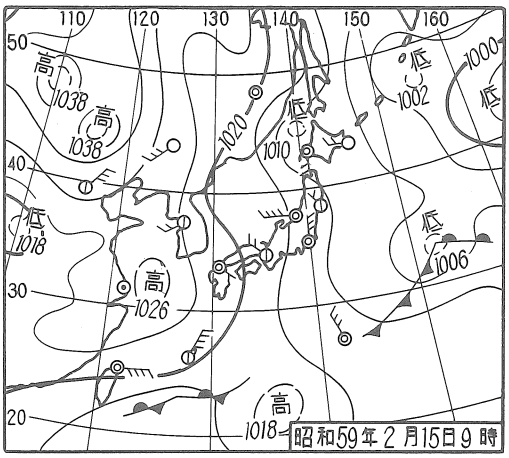
銚子における少雨(月合計)の記録

順位 / 月	第１位		第２位		第３位		第４位	
	降水量	起年	降水量	起年	降水量	起年	降水量	起年
３月	41.5 mm	1973年	57.0 mm	1972年	81.1 mm	1965年	**83.0** mm	1984年
４月	64.4 mm	1963年	68.8 mm	1958年	**70.0** mm	1984年	87.6 mm	1962年
５月	27.5 mm	1974年	39.9 mm	1967年	**43.5** mm	1984年	61.0 mm	1983年



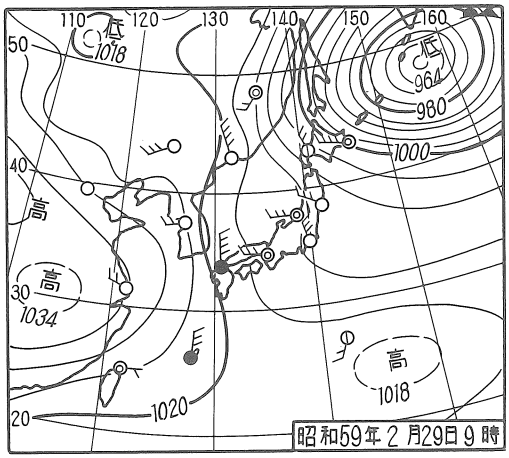
地　上　天　気　図

太平洋側の各地に大雪が降る



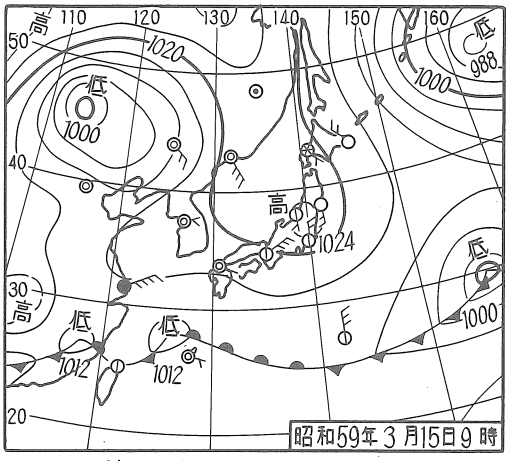
地　上　天　気　図

上空に寒気流入



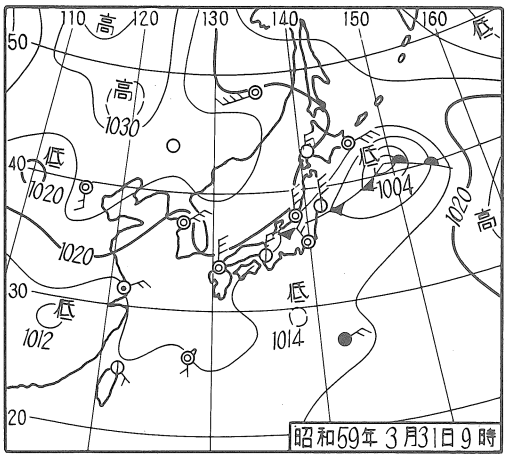
地　上　天　気　図

輪島上空（5500m）で－43.7℃の寒気



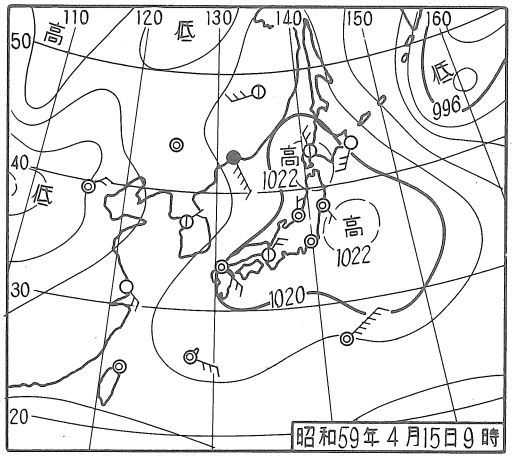
地　上　天　気　図

北高型で冷たい北東風吹き気温上らず



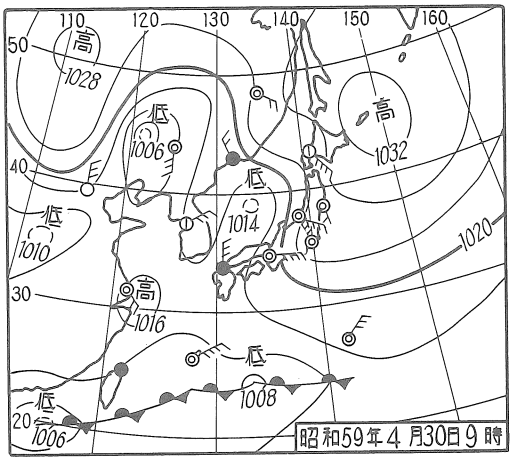
地　上　天　気　図

北東気流で冷たい雨降る



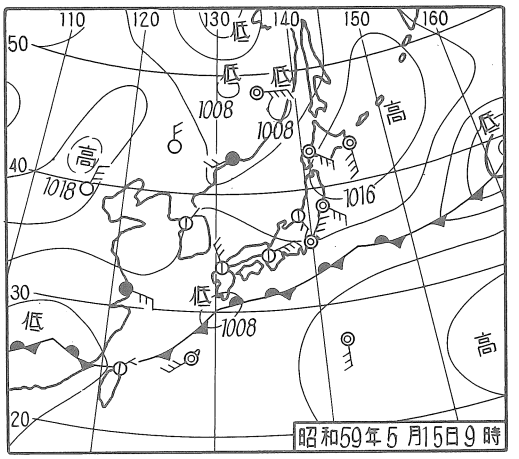
地　上　天　気　図

寒気の流入により所々雨が降る



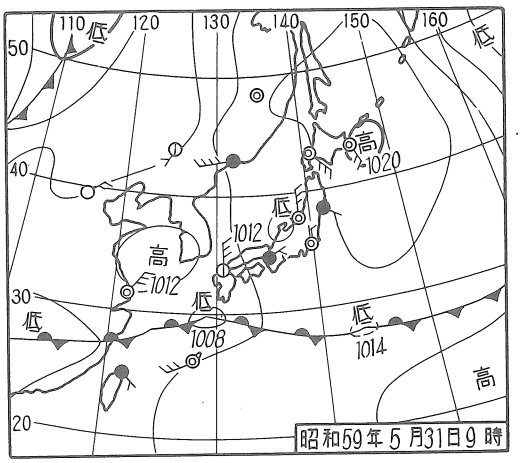
地　上　天　気　図

三陸沖からの冷たい北東気流により冷たい雨



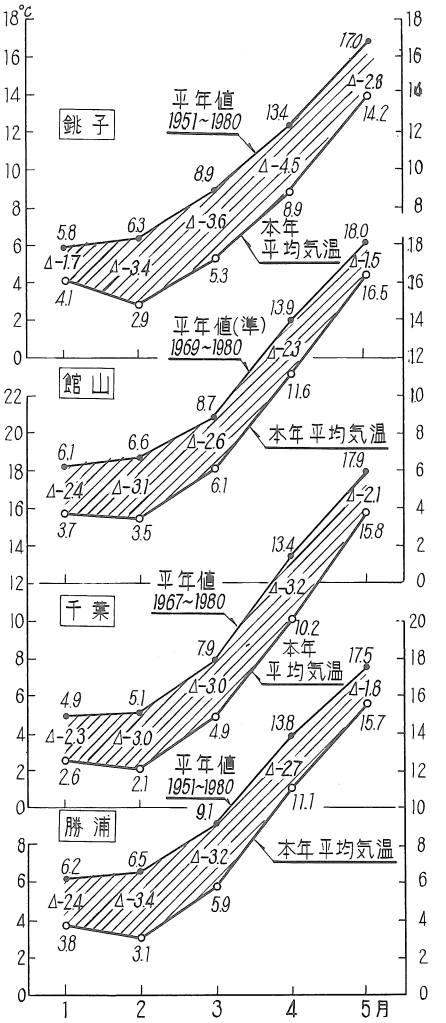
地　上　天　気　図

関東地方は冷たい北東気流，異常低温となる



地　上　天　気　図

九州南部梅雨入り



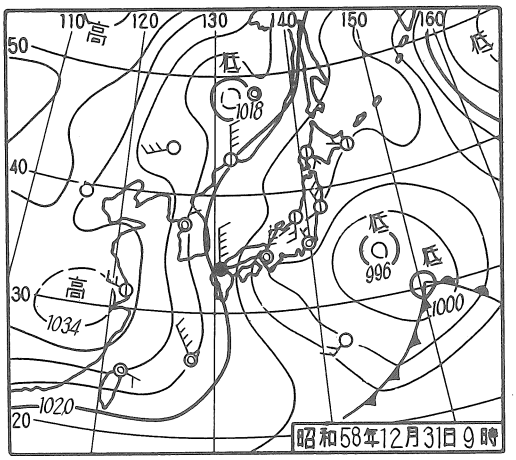
昭和59年1月～5月までの
月別平均気温と平年との差

今冬の降雪日数と平年との比較

地　名	12月	1月	2月	3月	4月	降雪日数	平年降雪日数	統計期間
銚　子	1	4	7	7	0	19	5.4日	1887年～
館　山	1	7	9	8	0	25	5.9日	1969年～
千　葉	3	7	10	9	1	30	6.7日	1967年～
勝　浦	1	1	8	2	0	12	5.6日	1951年～

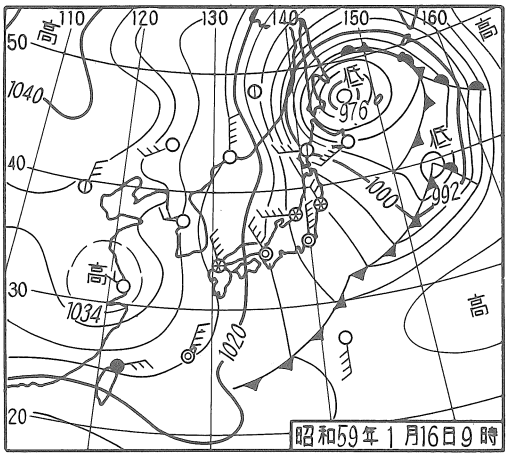
雪の初終日と累年の初終日

地　名	本冬初雪月日	本冬終雪月日	早雪年月日	終雪年月日	統計年
銚　子	12月20日	3月28日	1897年12月11日	1925年4月6日	1887年～
館　山	12月28日	3月28日	1970年11月30日	1974年3月27日	1968年～
千　葉	12月24日	4月1日	1970年12月26日	1974年3月28日	1966年～
勝　浦	12月28日	3月28日	1908年12月8日	1923年4月14日	1916年～



地　上　天　気　図

関東西部未明から雪景色



地　上　天　気　図

冬型強まり一転して寒風吹く

5．被　害

57・58年の稲作の教訓を生かして，植付時期を遅らせたり，品種の選定を厳選するなどの指導は，国・県・市町でされた。実際の植付も平年の田植日が5月5日であるが，5月9日で4日遅れとなった。

その後梅雨入期も低温状態が続いていたが，梅雨明け後は長期予報通りとなった。梅雨明けの平年は7月18日で，4日遅れの7月22日となったが，順調な暑い夏に救われて収穫指数111となり，収量512kg（平年465kg）となり農業に影響は出ず空前の収穫となった。

6．資　料　千葉県気象月報，千葉県気象年報，気象月原簿，気象累年原簿，千葉県農林部，印刷天気図，気象年鑑

災害番号　193

1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 6月23日

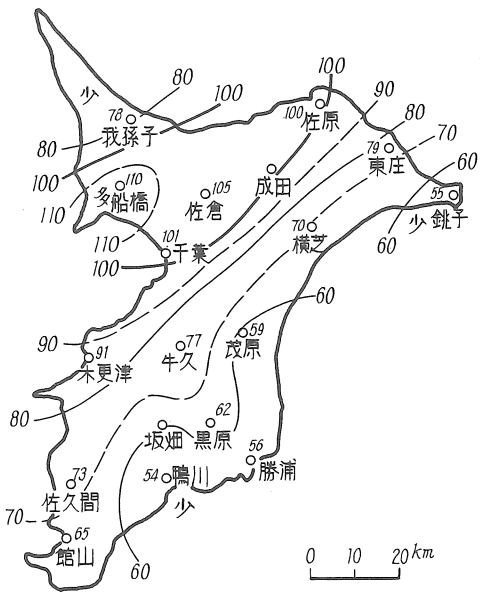
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

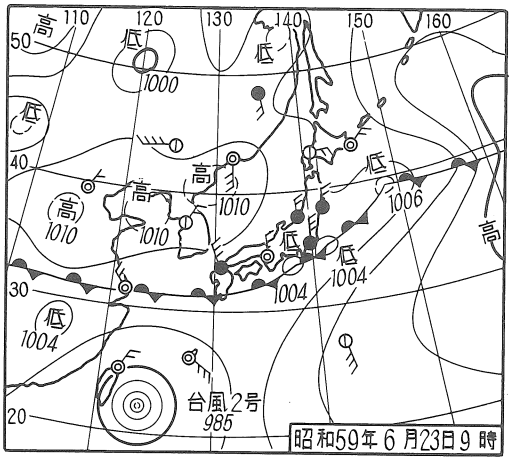
本州南岸に停滞している梅雨前線上の四国沖に小低気圧が発生して発達しながら東進した。又，上空に暖湿な空気が流れ込み，梅雨前線が活発となった。東海地方から関東地方にかけ100㎜前後の大雨となり，県内でも北部の千葉市・船橋市・佐倉市・佐原市での総降水量は100㎜を超えた。なお南部丘陵地帯では60㎜前後の降水量に止まった。

アメダスの総降水量表(㎜)　6月22日19時～23日13時

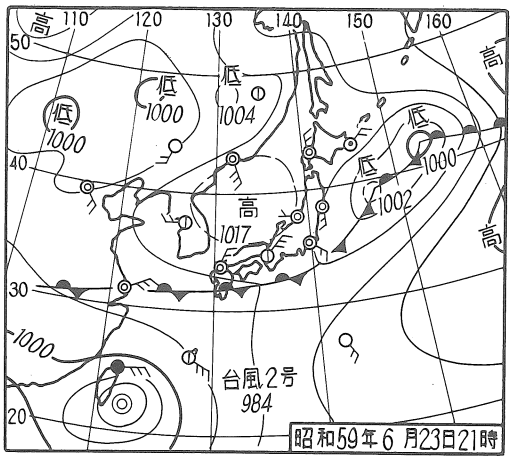
地点	22日	23日	合計	地点	22日	23日	合計	地点	22日	23日	合計
佐原	5	95	100	横芝	4	66	70	佐久間	3	70	73
我孫子	4	74	78	千葉	7	94	101	鴨川	3	51	54
東庄	6	73	79	茂原	4	56	60	勝浦	4	52	56
船橋	9	101	110	木更津	4	87	91	館山	7	58	65
佐倉	7	98	105	牛久	4	73	77				
銚子	3	52	55	黒原	3	59	62				



県内アメダスの等降水量図 (㎜)
昭和59年 6月22日19時～23日13時



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図

5．被　　害

床上浸水９戸，床下浸水82戸，道路冠水294戸，山くずれ４ケ所，水田冠水17ha

6．資　　料　　千葉県気象月報，千葉県気象年報，印刷天気図，千葉県消防防災課，千葉日報

災害番号　194

1．災害の種類(名称)　がけ崩れ

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 6月26日～27日

3．災害原因　梅雨前線・低気圧

4．気象概況

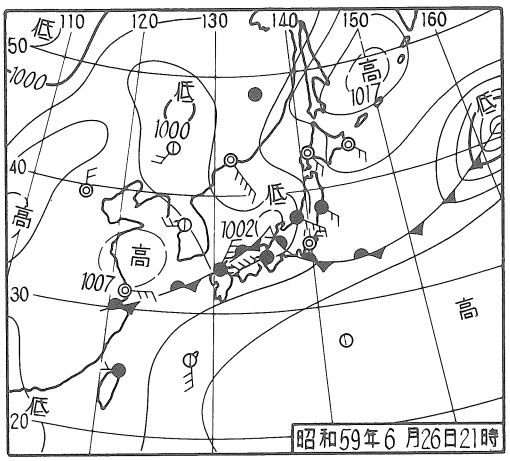
日本の南部に停滞している梅雨前線上を低気圧が東進し，前線が活発化した。梅雨末期型の大雨となり25日は九州，北陸で50～100㎜，26日は九州，中国から中部地方にかけて100～150㎜，27日は九州の中・南部で100～200㎜となった。千葉県でも，26日の夕刻より，南部を中心に局地的な大雨となった。南部では夕刻より本降りとなり，夜半過ぎには1時間降水量20㎜を越す所があった。

鴨川のアメダス資料の極値　6月26日～27日

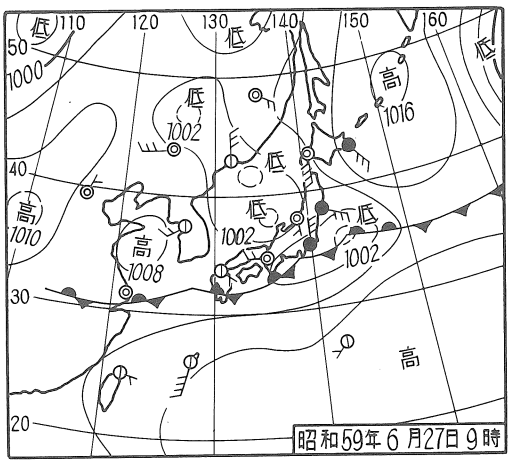
種目	降水量	起時
総降水量	68.0 ㎜	6月26日17時～27日10時
日降水量の最大	56.0 ㎜	6月27日
1時間降水量の最大	25.0 ㎜	6月27日02時30分まで
10分間降水量の最大	6.5 ㎜	6月27日01時40分まで

6月26日～27日県南の降雨状況（アメダス資料）

地点＼時	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
坂畑			1	1	2	1	3	3		8	13	18	7	1	2	2			1	1	
黒原		1	1	1	3	1	3	6	1	6	10	22	8	1	2	1	1		1	3	
鴨川				2	1	1	3	2		3	4	22	15	2	4	2			3	4	
勝浦				1	2	1	2	2	1	2	12	18	17	1	3	2			1	4	
館山		2	1	4	1	2	1	1	2	1	2	9	10	3	5	4			4	3	



地上天気図



地上天気図

5．被　害

26日19時過ぎ，天津小湊町坂本地先の市原←→天津小湊線でがけの高さ20m，幅４ｍにわたって土砂が崩れ通行止めとなった。

6．資　料　　千葉県気象月報，千葉県気象年報，印刷天気図

災害番号　195

1．災害の種類(名称)　干害

2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 7月下旬～9月上旬

3．災害原因　少雨・異常乾燥

4．気象概況

今世紀最大規模といわれた、エル・ニーニョ現象は，前年11月におさまって，昭和59年は平穏な天候に経過するものと思われたが，相変らず世界各地で異常天候が発生し，偏りの大きな天候経過となった。

日本では，大寒冬，多雪，冷春，猛暑，秋の少雨と続き，台風の上陸は1個もなかった。

関東地方では，6月10日に「梅雨入り」となったが，梅雨前線の活動は弱く，また，梅雨末期の大雨もなく，7月17日に「梅雨明け」となった。梅雨明け後は，太平洋の高気圧が強まり，猛暑・少雨・多照の日が長期間にわたって続いた。

6月　梅雨前線上を時々低気圧が東進し，ほぼ平均的な降水があり，県下各地の降水量は中旬から平年を上回った。

7月　梅雨末期の大雨もなく，17日（平年19日）梅雨明けとなった。梅雨明け後は不安定な気象状態が続き，所々で雷雨やにわか雨があり，太平洋沿岸では濃霧の発生が多かった。初めのうちはアリューシヤン方面の高気圧が日本付近に張り出しての晴天であったが，逐次太平洋高気圧が強まって暑くなり，平年と比較して1.4～0.3℃高く経過した。

8月　日本付近は，太平洋の高気圧におおわれて，全国的に暑い晴天が続き，16日には千葉県に「高温と少雨」の情報を発表するに至った。24日頃から朝晩の暑さは幾分和らいだ。7月29日の降雨以来の無降水が続いた。20日～22日にかけて，久々の降雨があったが，総雨量は，銚子，千葉で0.5㎜，勝浦8.0㎜，館山63.5㎜で，その後も無降水が続き，27日に千葉で1.0㎜の降雨があったが，農作物に有効な雨とはならなかった。

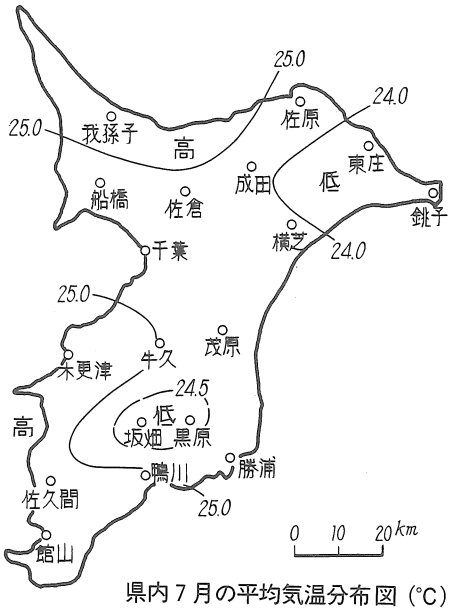
気温は平年と比較して0.9～1.2℃高く経過した。降水量は極めて少なく平年の0.4～5%であった。日照時間は多く，平年の124～152%に達した。

9月　上旬まで少雨，多照の異常乾燥が続き，県内の畑作物を中心とする農作物に干害が広がり，殊に，秋・冬野菜の播種期を迎えてその影響が増大した。(別表)

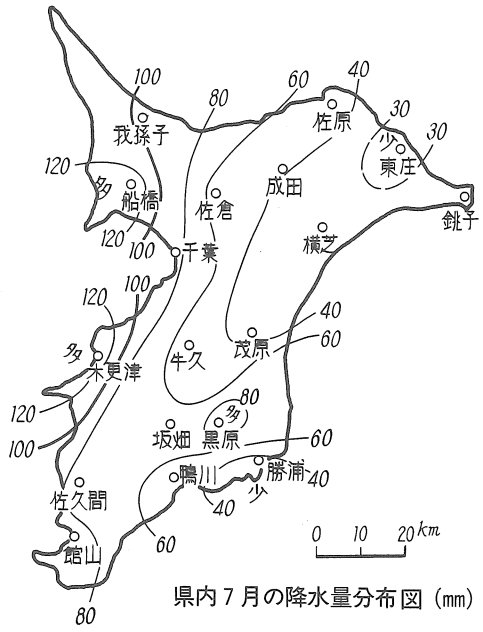
少雨継続日数（1㎜以下）銚子――1984年7月30日～9月9日迄42日間

県内官署の真夏日（最高気温30℃以上の日）の出現日数

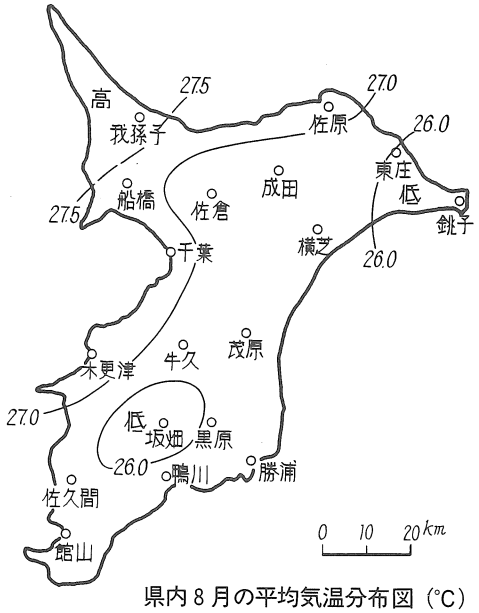
官署	真夏日出現日数			平年	統計年
	7月	8月	合計		
銚子	−	13日	13日	4.5日	1951～1980年
千葉	9日	23日	32日	30日	1971～1984年
勝浦	6日	15日	21日	9日	1951～1980年
館山	15日	23日	38日	15日	1969～1980年



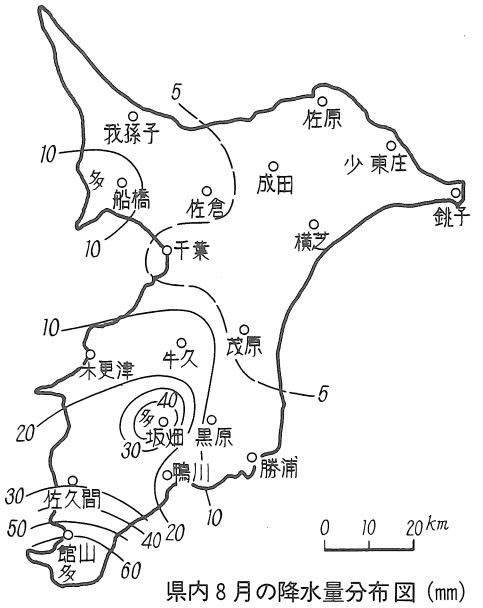
県内7月の平均気温分布図（℃）



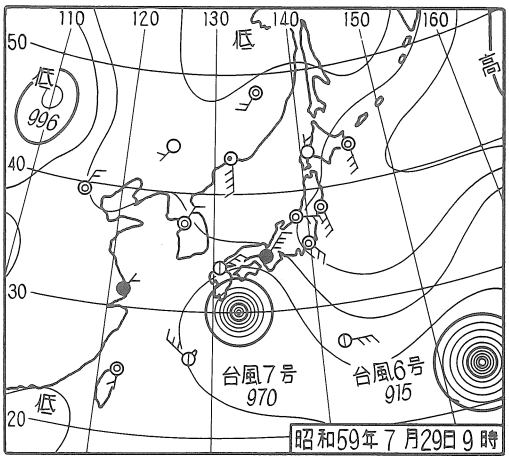
県内7月の降水量分布図（mm）



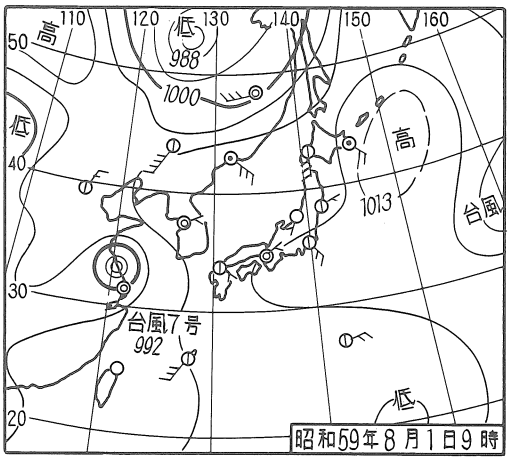
県内8月の平均気温分布図（℃）



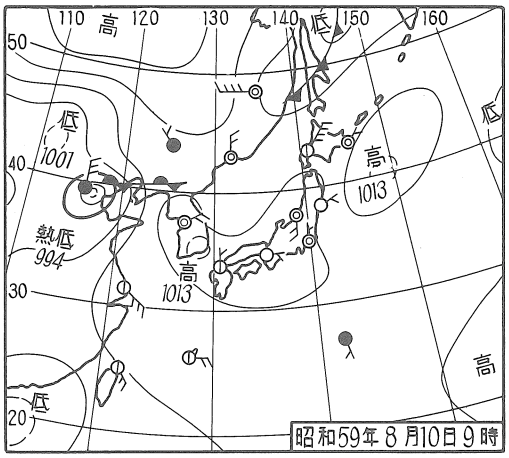
県内8月の降水量分布図（mm）



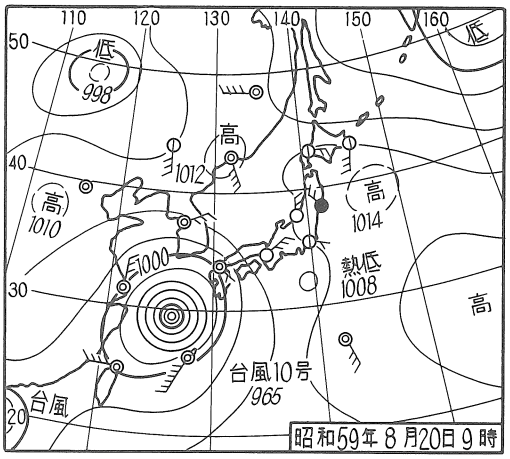
地 上 天 気 図



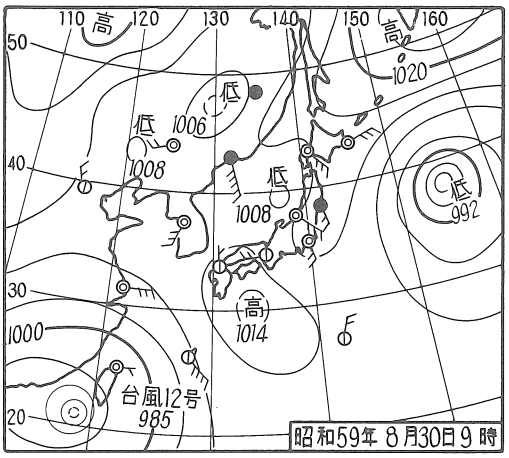
地 上 天 気 図



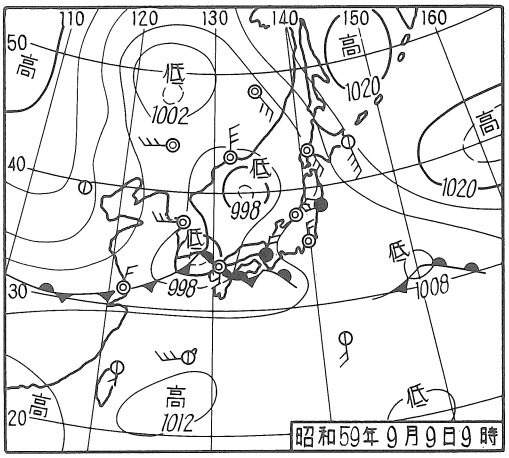
地 上 天 気 図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図



地 上 天 気 図

降水量と降水状況

	7月		8月		少雨期間と継続日数及期間中の降水量とその日				
	本年	平年差	本年	平年差	月／日～月／日（5ミリ以下の期間）	総日数	期間中の降水日とその量	総雨量	備考
	mm	mm	mm	mm		日		mm	
佐原	46	− 61	1	−120	7／21～9／8	50	2 mm 3 mm, 1 mm 1 mm 1 mm 7／23, 7／28, 29, 8／21, 9／5	8	アメダス資料
我孫子	97		6		7／21～9／4	46	4 mm 2 mm 3 mm 1 mm 1 mm 1 mm 7／28, 8／8, 9, 8／20, 21, 8／27	12	〃
東ノ庄	30	− 91	1	−112	7／21～9／8	50	1 mm 1 mm 8／20, 9／5	2	〃
船橋	125		13		7／30～8／8, 8／10～9／4	36	9 mm 3 mm 1 mm 8／9, 8／21, 22	13	〃
佐倉	52	− 87	7	−130	7／29～8／2, 8／4～9／8	41	5 mm 2 mm 3 mm 1 mm 8／3, 8／27, 9／5, 6	11	〃
銚子	32.0	− 82.8	0.5	−111.6	7／30～9／8	41	0.5 mm 0.5 mm 8／20, 9／8	1.0	普通気候観測資料
横芝	33		2		7／21～9／8	50	4 mm 1 mm 1 mm 7／28, 8／20, 8／27	6	アメダス資料
千葉	84.0	− 32.8	2.0	− 96.7	7／30～9／8	41	0.5 mm 0.5 mm 1.0 mm 8／3, 8／21, 8／27	2.0	普通気候観測資料
茂原	36	−118	2	−139	7／29～9／8	42	1 mm 1 mm 3 mm 8／21, 22, 9／6	5	アメダス資料
木更津	135		11		7／29～8／20, 8／22～9／5, 9／7～9／8	40	1 mm 7 mm 2 mm 1 mm 3 mm 8／20, 21, 22, 8／27, 9／6	14	〃
牛久	44	− 99	14	−155	7／30～8／9, 8／11～9／5, 9／7～9／8	39	4 mm 6 mm 3 mm 1 mm 2 mm 8／3, 8／10, 8／21, 22, 9／6	16	〃
坂畑	63		44		7／30～8／20, 8／23～9／4	35	4 mm 32 mm 8 mm 8／20, 21, 22	44	〃
黒原	95		7		7／29～9／4	38	1 mm 4 mm 2 mm 8／20, 21, 22	7	〃
佐久間	73		29		7／30～8／19, 8／23～9／8	38	9 mm 13mm 6 mm 1 mm 8／20, 21, 22, 8／26	29	〃
鴨川	48	−123	13	−144	7／29～8／20, 8／22～9／8	41	2 mm 10mm 1 mm 8／20, 21, 22	13	〃
勝浦	25.0	−117.9	8.0	−141.1	7／29～8／19, 8／27～9／8	40	4.5 mm 3.5 mm 8／20, 21	8.0	普通気候観測資料
館山	83.0	− 42.8	63.5	− 70.0	7／30～8／19, 8／23～9／8	38	6.5 mm 50.0 mm 7.0 mm 8／20, 21, 22	63.5	〃
成田	33.5		2.5		7／29～9／8	42	1.5 mm, 0.5 mm, 0.5 mm 8／20 21, 8／27	2.5	〃

気温，日照表

	7月					8月					備考
	月平均気温	月平均平年差	最高気温平均	最高気温平年差	日照時間（平年差）	月平均気温	月平均平年差	最高気温平均	最高気温平年差	日照時間（平年差）	
	℃		℃		h	℃		℃		h	
佐原	24.6		28.2		188.3	27.3		31.8		293.2	
我孫子	25.2		29.7		214.5	27.7		32.8		296.7	
船橋	24.7		29.0		194.3	27.4		32.1		276.4	
佐倉	25.0		29.0		199.9	26.8		31.8		297.1	
銚子	23.5	＋0.7	26.3	＋0.7	(＋45.1) 220.8	25.9	＋1.1	29.2	＋1.4	(＋104.0) 320.7	日照はジョルダン
横芝	24.5		28.5		253.5	26.4		30.9		324.2	
千葉	24.8		28.8		187.9	27.2		31.0		281.2	日照はジョルダン
茂原	(24.6)		(28.0)		(179.2)	26.9		(32.0)		312.2	
木更津	25.4		29.8		216.7	27.5		32.4		313.6	
牛久	25.0		29.4		204.8	26.7		32.5		289.6	
坂畑	24.2		28.3		206.0	25.5		30.4		290.7	
鴨川	25.2		28.6		260.1	26.4		30.6		289.4	
勝浦	24.7	＋1.4	28.0	＋2.1	(＋70.1) 245.7	26.1	＋0.9	29.4	＋1.1	(＋88.5) 311.9	日照はジョルダン
館山	25.3	＋1.0	29.2	＋1.2	(＋34.1) 236.7	26.5	＋0.9	31.1	＋1.3	(＋54.9) 284.3	日照はジョルダン
成田	24.1		28.2			26.2		31.6			

5．被　害

旱ばつによる農作物被害状況

支庁別被害状況（千葉県農林部）

支　庁	被害面積	被害金額	主な被害作物
千　葉	895 ha	528百万円	落花生，しょうが，さといも，ねぎ
東葛飾	425	51	さといも，ねぎ，しょうが
印　旛	1,292	1,051	さといも，落花生，しょうが，かんしょ
香　取	808	994	さといも，しょうが，落花生，かんしょ
海　匝	80	171	落花生，かんしょ，パセリ
山　武	835	779	しょうが，さといも，落花生
長　生	323	159	落花生，かんしょ，さといも
夷　隅	121	143	さといも，ねぎ
安　房	5	2	パセリ
君　津	0	0	
計	4,784	3,878	

主な作物別被害状況　（千葉県農林部）

作物名		被害面積	被害金額	主な被害地域（支庁別）
		ha	千円	
畑作物	落花生	2,768	1,021,052	千葉，印旛，香取，海匝，山武
	かんしょ	156	198,548	千葉，印旛，海匝，山武
	大　豆	41	5,229	長生，夷隅
野菜	さといも	1,107	1,323,205	千葉，東葛飾，印旛，香取，山武
	しょうが	284	807,350	千葉，印旛，香取，山武
	大和いも	73	177,646	印旛，香取
	ね　ぎ	256	159,220	千葉，東葛飾，印旛
	パセリ	15	115,303	海匝，安房
	ごぼう	12	21,056	山武
	みょうが	10	12,480	夷隅
飼料作物		20	2,631	夷隅
桑		19	3,485	山武
その他		23	30,690	
計		4,784	3,877,895	

秋冬作物野菜への影響（千葉県農林部）

作物名	発芽不良	は種・定植のおくれ	主な地域
にんじん	704ha	173 ha	千葉，印旛，香取，海匝，山武
はくさい		368	印旛，山武
キャベツ		383	東葛飾
ほうれんそう	23	549	千葉，東葛飾
だいこん	134	870	千葉，東葛飾，印旛，香取，山武
ねぎ		25	東葛飾
かぶ	18	377	東葛飾，香取
はなやさい		12	海匝
エシャレット	35		山武
なばな		19	安房，君津
その他		13	
計	914ha	2,789ha	

6．資　料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，気象累年原簿，千葉県農林部，異常気象報告，印刷天気図，気象年鑑

災害番号　196

1．災害の種類(名称)　地震・津波

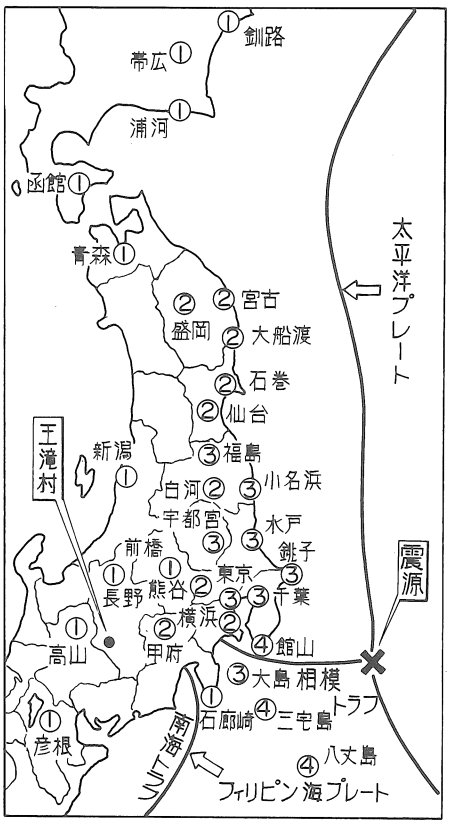
2．災害発生年月日(期間)　昭和59年(1984年) 9 月19日

3．災害原因　震度 4

4．概　況

9月19日，午前2時03分頃，関東地方を中心に強い地震を感じた。震源地は，房総半島南東沖で，館山，三宅島，八丈島で震度4，銚子，勝浦，千葉，東京で震度3を記録した。この地震により，北海道と東北地方の太平洋沿岸と茨城県から和歌山県までと大阪湾の沿岸と四国の太平洋沿岸，九州の東海岸と薩南諸島および，山口県の瀬戸内海沿岸に対し，それぞれ津波注意報が発表された。

津波の1波は，館山3cm（19日02時30分）最高5cm（03時12分）であった。



地震，震度分布図
昭和59年 9 月19日02時03分頃の

発生時刻	震源地	北緯	東経	震源の深さ	規模
9月19日 02時 03分	房総半島南東沖	34°13.1′	141°33.1′	13 km	M＝6.6

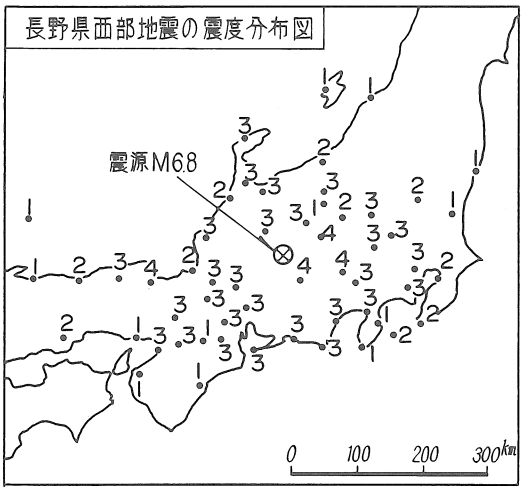
〔参考〕　長野県西部地震

9月14日午前8時48分頃，長野県王竜村を中心として，いわゆる直下型の地震が発生し関東地方から中国地方にかけて地震を感じ，甲府，飯田，舞鶴，諏訪で震度4を観測した。気

象庁はこの地震を「長野県西部地震」と命名した。被害は長野県王竜村に集中し，死者29人，住家全壊・流出23棟，罹災世帯87，罹災者302名は王竜村全体の約２割に相当した。施設関係等被害額は約468億円に達した。

本震の各地の震度（昭和59年９月14日）

震度　Ⅳ	甲府，飯田，諏訪，舞鶴
震度　Ⅲ	前橋，静岡，福井，富山，長野，津，輪島，浜松，伊良湖，熊谷，豊岡，名古屋，東京，大阪，岐阜，松本，伊吹山，高山，奈良，横浜，御前崎，三島，四日市，秩父，河口湖，彦根，伏木
震度　Ⅱ	大島，鳥取，金沢，千葉，岡山，館山，宇都宮，高田，敦賀，軽井沢，柿岡
震度　Ⅰ	水戸，新潟，小名浜，上野，西郷，尾鷲，相川，和歌山，網代，松代，米子，神戸，石廊崎



長野県西部地震の震度分布図　（９月14日）

本震および主な余震（Ｍ５以上，７回）の震源要素

	年　月　日	時　分	東　経	北　緯	深さ	M	
	1984　9　14	8　48	137°33.6′	35°49.3′	2	6.8	本震
1	〃　9　14	8　57	137°35.6′	35°50.2′	8	5.1	
2	〃　9　14	12　49	137°29.9′	35°48.3′	8	5.0	
3	〃　9　15	7　14	137°28.2′	35°47.1′	6	6.2	最大余震
4	〃　9　15	7　39	137°29.3′	35°47.0′	9	5.6	
5	〃　9　15	9　5	137°30.4′	35°47.7′	10	5.1	
6	〃　10　3	9　12	137°37.1′	35°49.5′	5	5.3	
7	1985　2　26	19　53	137°34.8′	35°50.3′	8	5.0	

5．被　害　—

6．資　料　気象年鑑，地震速報，朝日

災害番号　197

1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 2月9日

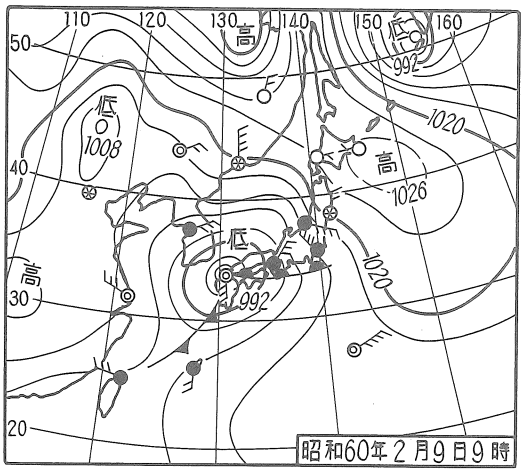
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

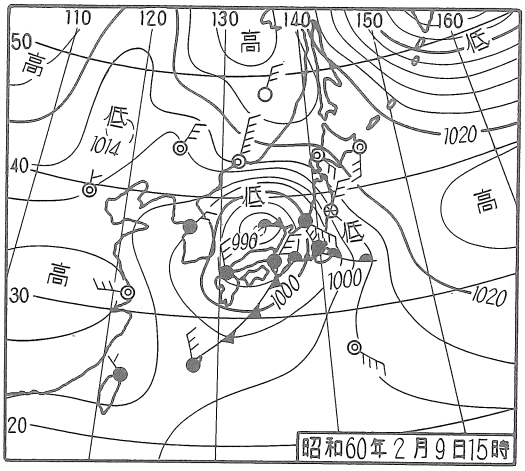
東シナ海に発生した低気圧が，発達しながら東北東に進み，9日午後3時には山陰沖で990mbと強まった。一方中心から東にのびる前線上の房総付近に1,000mbの副低気圧が発生した。この低気圧の影響で，県内では，8日夕刻から雨が降り出し，9日の夕刻には時間雨量10～30㎜の強雨となった。この大雨は県南部の丘陵地帯に集中し，総降水量100㎜を越えた所が多く，殊に黒原では179㎜となった。

県内各地の降水量表（アメダス）　2月8日～9日

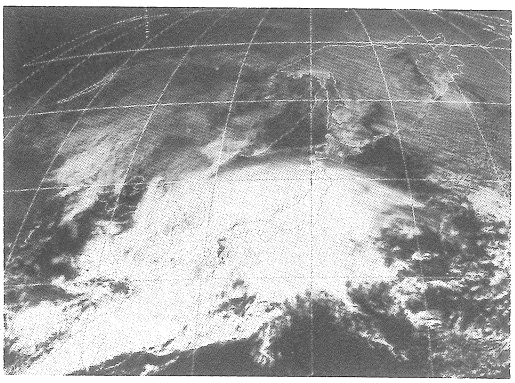
観測所	総降水量	1時間最大		降水時間
		降水量	時刻	
佐原	62 ㎜	7 ㎜	9日18時	8日～9日, 18～22
我孫子	75	6	9日18時	8日～9日, 18～22
東庄	78	16	9日19時	8日～9日, 23～22
船橋	59	7	9日10時	8日～9日, 21～21
佐倉	73	7	9日18時	8日～9日, 19～22
銚子	74	8	9日18時	8日～9日, 21～22
横芝	91	16	9日18時	8日～9日, 22～22
千葉	70	7	9日17時	9日 01～21
茂原	145	17	9日18時	8日～9日, 21～22
木更津	88	10	9日16時	9日 01～22
牛久	99	8	9日18時	8日～9日, 21～22
坂畑	141	22	9日18時	9日 01～22
黒原	179	26	9日18時	9日 01～23
佐久間	124	20	9日17時	9日 00～21
鴨川	108	23	9日17時	9日 01～22
勝浦	131	28	9日18時	9日 01～22
館山	121	22	9日17時	9日 01～22



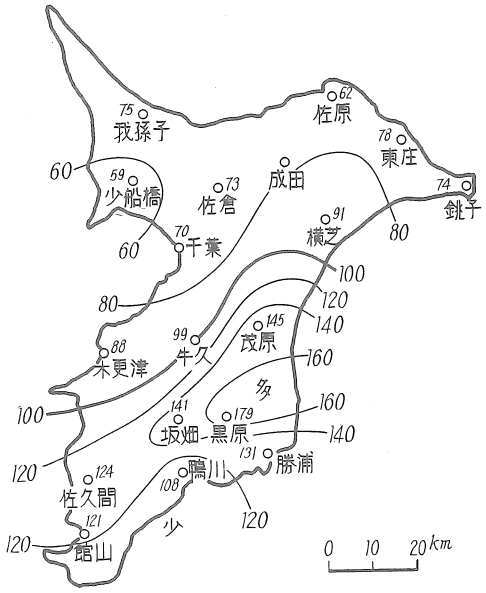
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



「ひまわり」可視画像　　60年2月9日12時



県内降水量分布図（mm）
昭和60年2月8日～9日

5．被　害

2月9日6時15分頃，勝浦市滑川隧道入口で小規模な崖崩れの他は被害はなかった。

6．資　料　千葉県気象月報，千葉県気象年報，県警本部，異常気象原簿

災害番号　198

1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 2月19日～20日

3．災害原因　低気圧

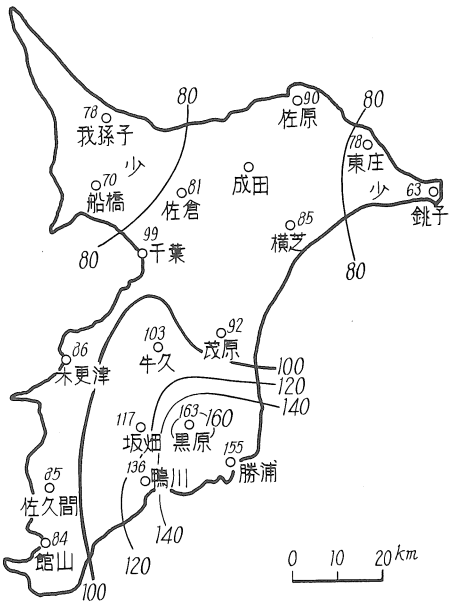
4．気象概況

17日，台湾付近に発生した低気圧が，19日は日本の南沖合を東北東に進み，20日早朝房総沖に遠ざかった。この低気圧に伴って19日早朝から雨が降り出し，低気圧が近づいた夜半前後から雨が強まり，殊に県南部の丘陵地帯で多くなった。勝浦では1時間最大降水量34mm，鴨川38mm，を記録し20日昼頃まで続いた。この雨で県南部で被害が発生した。

県内各地の降水量表（アメダス）

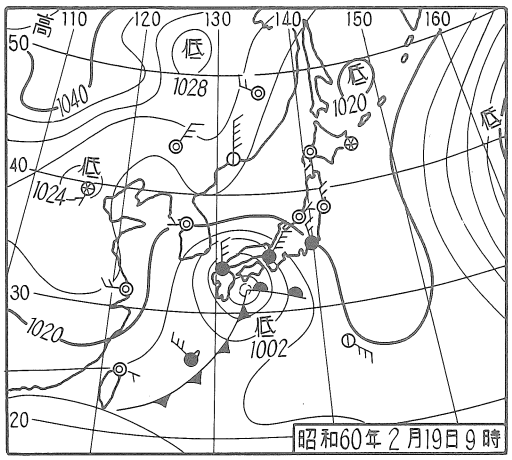
2月19日～20日

観測所	総降水量	1時間最大mm		降水時間
	mm	降水量	時刻	19日～20日
佐原	90	9	19日22時	05～14
我孫子	78	8	19日21時	04～12
東庄	78	9	19日22時	09～14
船橋	70	6	19日22時	03～12
佐倉	81	9	19日23時	03～15
銚子	63	9	19日21時	10～13
横芝	85	10	19日23時	03～13
千葉	99	8	19日23時	06～14
茂原	92	10	19日22時	04～09
木更津	86	10	19日20時	04～12
牛久	103	10	19日20時	03～12
坂畑	117	11	20日02時	03～12
黒原	163	20	20日02時	04～12
佐久間	85	15	19日20時	03～10
鴨川	136	38	19日23時	03～09
勝浦	155	34	19日24時	04～03
館山	84	14	19日22時	02～06

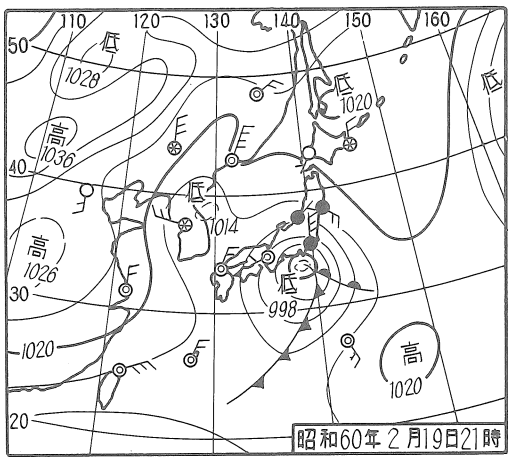


県内降水量分布図（mm）

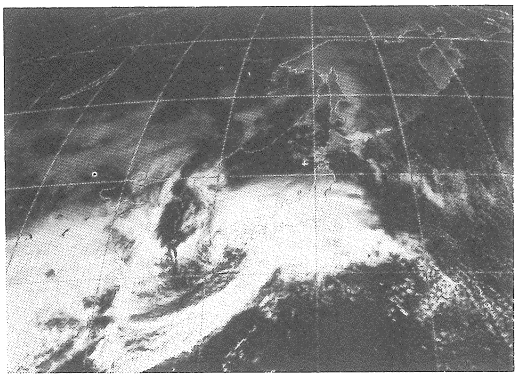
昭和60年2月19日～20日



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



「ひまわり」可視画像　　60年2月19日12時

5．被　　害

がけ崩れ6ヶ所（勝浦市串浜新田・芳賀・大多喜町竹之沢，天津小湊町内浦，千倉町南朝夷，丸山町安馬谷）鉄道床流出～国鉄久留里線上総亀山―上総松丘（20日07時～20日15時20分），一部破損（富山町民体育館25㎡）

6．資　　料　　千葉県気象月報，千葉県気象年報，千葉県警

災害番号　199

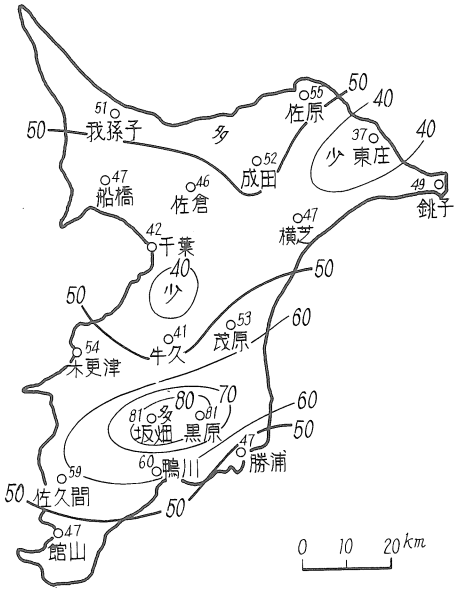
1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年)4月22日～23日

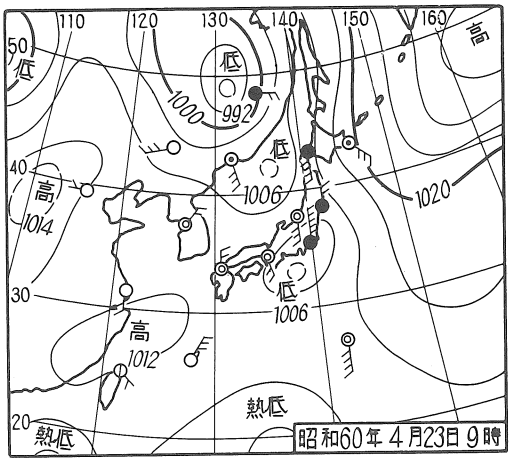
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

22日～23日にかけて南北に連なる気圧の谷が通過した。この気圧の谷に伴う低気圧が本州の南海上を東に通った。低気圧自体はさほど発達はしなかったが，上層には大変湿った空気が流れ込んでいたため，22日夜降り始めた雨が夜ふけて本降りとなり，23日昼頃にかけて，激しく降り続いた。この雨により県北西部で床下浸水の被害が発生した。



県内降水量分布図（mm）
昭和60年4月22日～23日



地上天気図

5．被　害

床下浸水　市川市11戸，松戸市5戸，流山市4戸，柏市4戸，船橋市1戸

6．資　料　千葉県気象月報，千葉県気象年報，印刷天気図

災害番号　200

1．災害の種類(名称)　大雨，がけ崩れ

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 5 月20日～21日

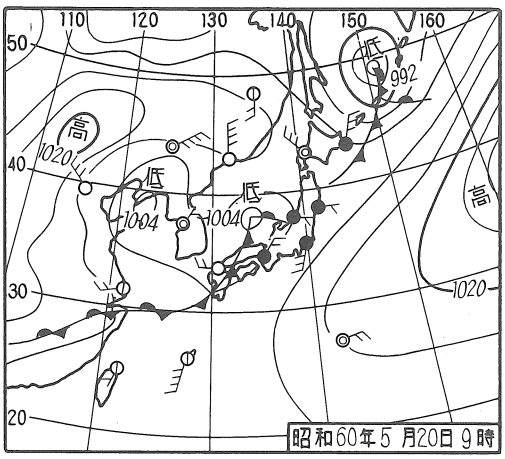
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

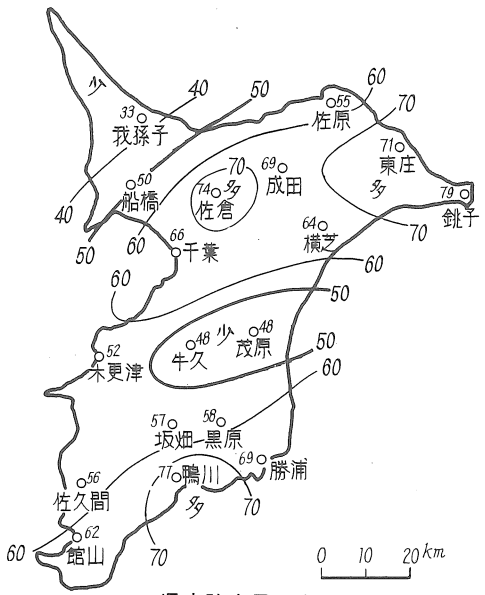
20日には日本海に低気圧が進んで来た。この低気圧に向って南から暖湿流が入り北海道と沖縄を除いて全般に雨となった。19日，西日本方面で降っていた100㎜前後の大雨の区域が20日は，中部地方に移り，この方面では100～150㎜の大雨となった。県内では20日早朝から雨が降り始め，21日午前中にかけて，県内全域に50～80㎜の降水量となり，県南西部でがけ崩れの被害が発生した。

アメダス降水量　5月20日～21日

観測所	総降水量	1時間最大量		降水時間
		降水量	時間	
坂畑	57 ㎜	8 ㎜	06時	20日13時～21日11時
鴨川	77	12	08時	20日10時～21日12時



地上天気図



県内降水量分布図 (㎜)
昭和60年 5 月20日06時～21日15時

5．被害

君津市黄和田畑の県道市原より天津小湊の追原隧道間(高さ3.5m，幅員 3 m，長さ21.2m)上端の高さ20mの崖から20㎡にわたって土砂が崩れ落ち隧道全体が崩壊し通行止めとなった。

6．資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図

災害番号　201

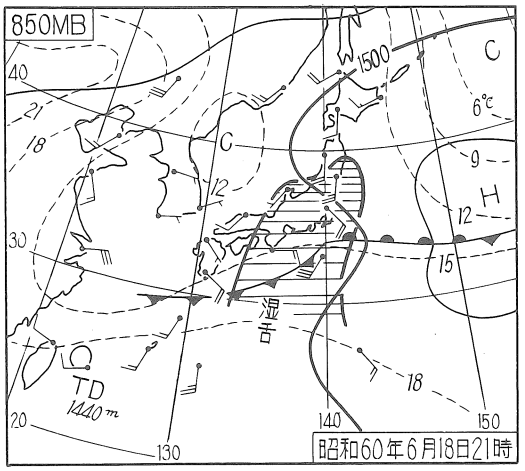
1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 6月18日～20日

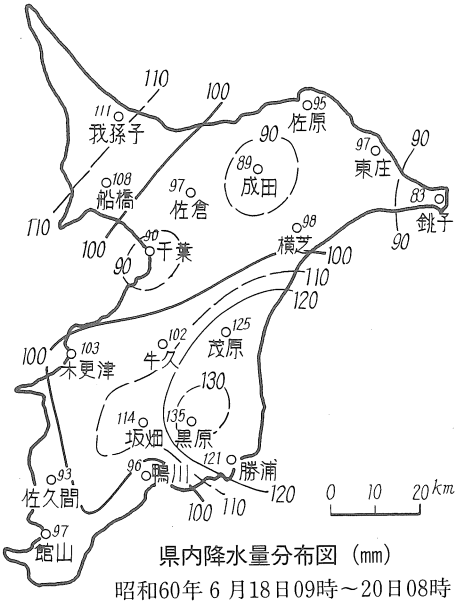
3．災害原因　低気圧・前線

4．気象概況

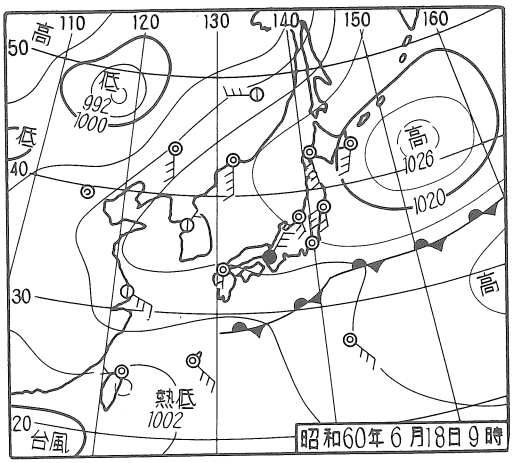
18日は，梅雨前線も日本の南沖合に離れていたが，台湾付近にあった台風4号崩れの弱い熱帯低気圧の東進に伴って，梅雨前線には南から暖湿流が入り，前線は活発化して来た。19日から20にかけては，前線も北上し，その前線上を低気圧が通過したため、県南部を中心に大雨となった。総降水量100㎜を越えた，県北西部に被害が集中した。



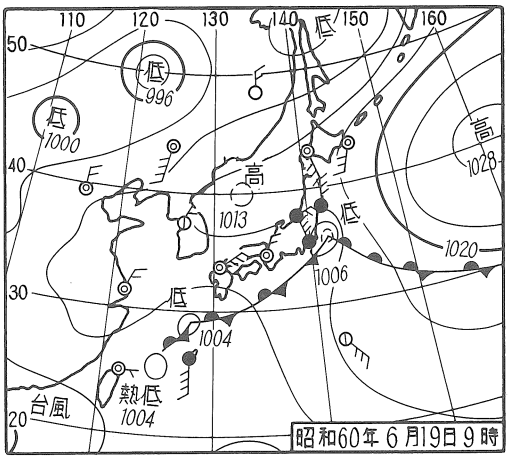
850mb高層天気図



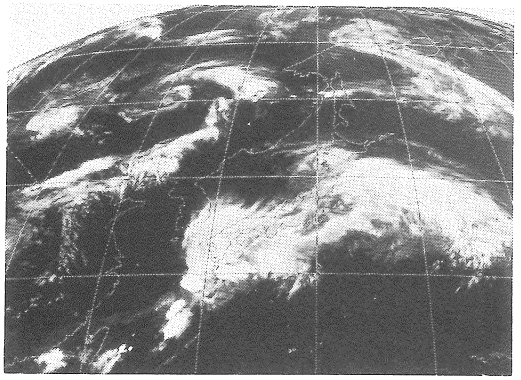
県内降水量分布図（mm）
昭和60年 6 月18日09時～20日08時



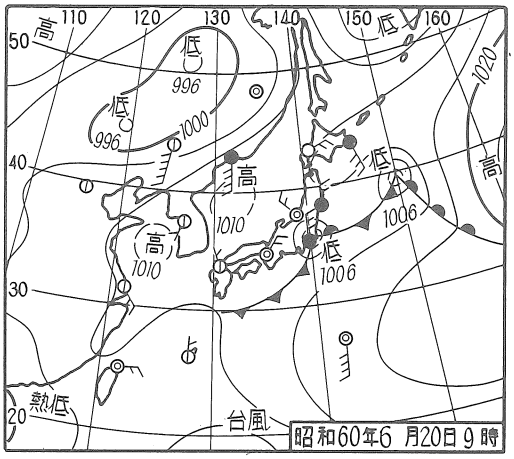
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



「ひまわり」赤外画像　　60年6月19日12時



地　上　天　気　図

5．被　　害

床上浸水43戸（習志野市2戸，船橋市14戸，松戸市27戸），床下浸水105戸（船橋市30戸，市川市40戸，松戸市11戸，習志野市10戸，その他14戸）崖崩れ2ヶ所（大網白里町，海上町）

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，千葉県警本部

災害番号　202

1．災害の種類(名称)　大雨・大風

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 6月30日～7月1日

3．災害原因　台風6号

4．気象概況

6月25日パラウ諸島に発生した熱帯低気圧は，27日ルソン島の東800km付近で6号となり，大型の勢力を保って北上し，沖大東島付近で最盛期となった。30日午前9時鹿児島の南で北東に転向し，7月1日午前3時過ぎ，静岡県田子の浦に上陸して，更に東京→千葉県北部→水戸市付近を通り鹿島沖に抜けた。この間4時間で同じ勢力を保ちながら関東を横断した。

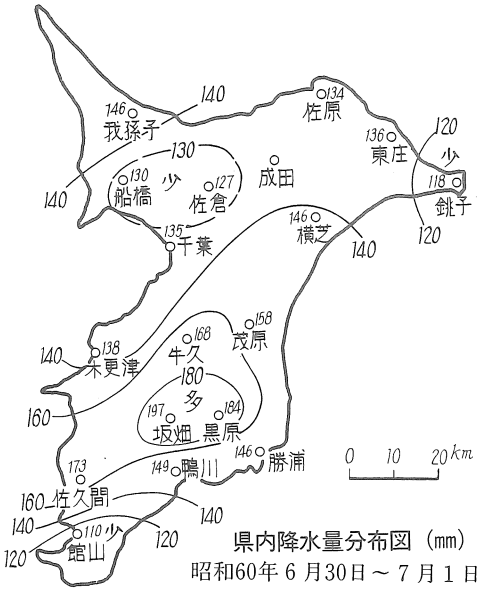
一方梅雨前線は，一時関東以北に押し上げられたが，28日夜半から梅雨前線による降水も加わった。このため千葉県内で大風・大雨を伴ない，各地に被害をもたらしたが，ことに農業被害は塩害を加えて増大した。

なお，この季節で全く同じコースを通り，同様の記録を残したものに昭和27年6月23日～24日（ダイナ）台風があった。そのとき県内官署の多くは極値が更新された。

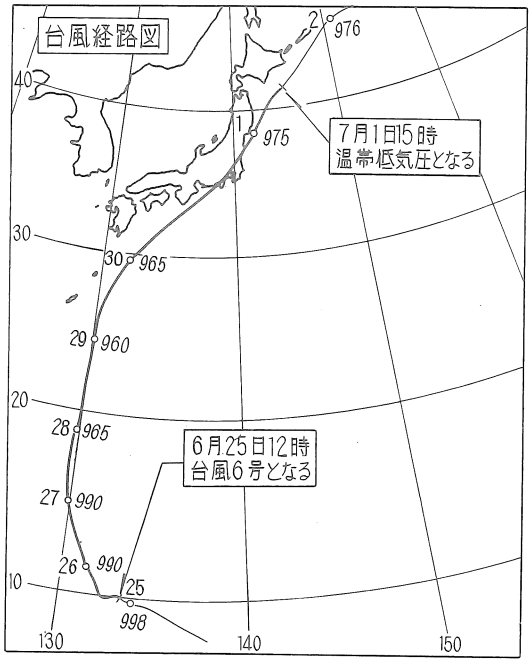
気象官署における極値表（昭和60年6月30日～7月1日）

要素 / 地名	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 (mb)	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	976.8	1.05.40	S	26.1	1.05.30	S	45.8	1.05.30
館山	979.1	1.04.30	SSW	18.4	1.04.30	SSW	41.3	1.04.20
千葉	970.3	1.04.55	SSW	32.9	1.05.10	S	48.6	1.05.00
勝浦	979.3	1.04.40	SSW	28.0	1.04.40	SSW	43.0	1.04.35
成田	971.9	1.05.20	SSE	37ノット	1.04.50	SSE	70ノット	1.04.40

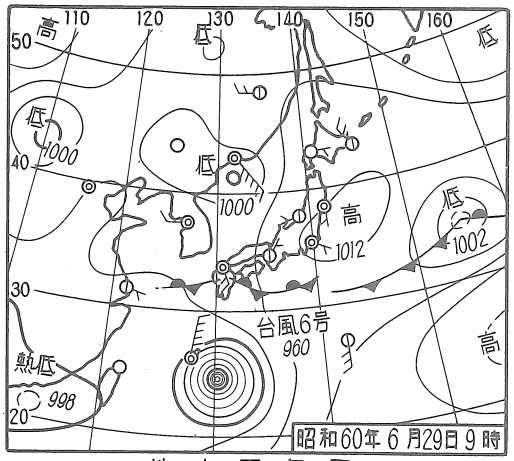
要素 / 地名	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	4.0	30.13.40	15.5	30.12.50	89.0	30日	118.0	29.23.00～1.07.00
館山	6.0	29.23.20	17.5	30.00.10	52.5	29	110.5	29.23.00～1.07.00
千葉	5.5	30.09.40	20.5	30.10.20	83.0	30	135.0	29.20.10～1.07.00
勝浦	11.0	29.23.45	32.5	30.09.10	80.5	30	144.5	29.23.50～1.07.00
成田	4.5	30.10.15	15.5	30.11.00 1.05.00	88.0	30	138.0	29.22.00～1.07.10



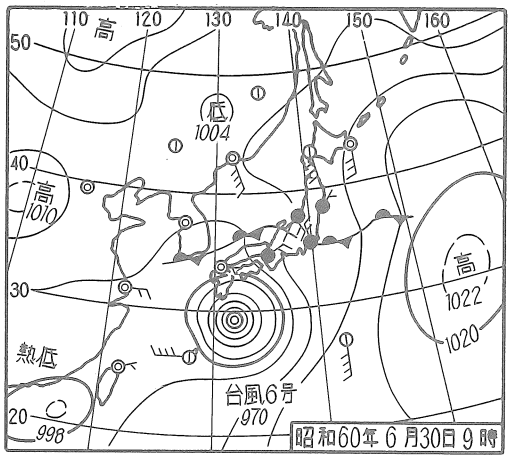
県内降水量分布図（mm）
昭和60年６月30日～７月１日



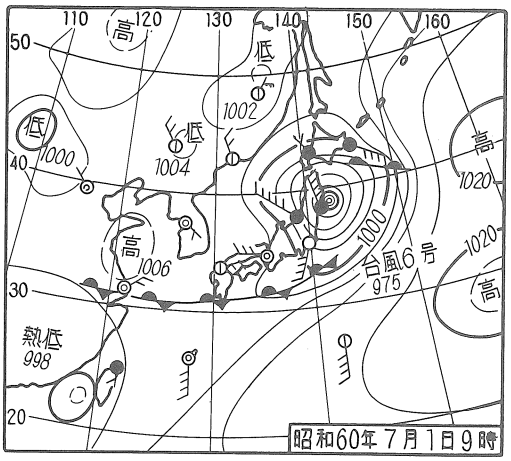
台　風　経　路　図



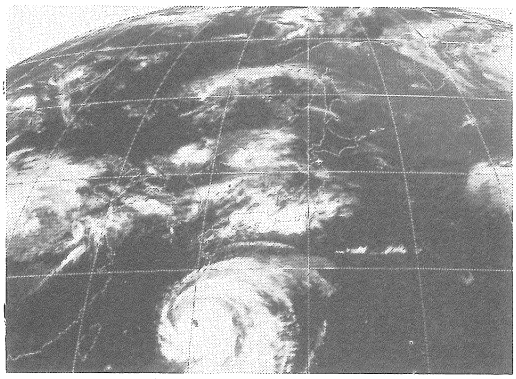
地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



地　上　天　気　図



「ひまわり」赤外画像　　60年６月29日12時

5．被　害

昭和60年７月１日の台風第６号による農林業被害状況

千葉県農林部

１．被害面積　約22,897ha

２．被害金額　約13,941万円

農林業被害表

（昭和60年７月１日午後６時現在）

種別		被害面積	被害金額	主な被害作物及び状況
農作物等	水稲	9,968.1 ha	501.4 百万円	冠水，塩害等
	野菜	7,643.5	8,942	とうもろこし，メロン，すいか等露地野菜
	果樹	955.5	1,241	梨等
	花き	107.4	583.2	きく
	工芸作物	2,470.8	614	葉たばこ，落花生，桑
	飼料作物	1,043.2	213	飼料用とうもろこし，牧草等
	農業生産施設	708.2	1,440.7	ビニールハウス，ガラス温室の破損，倒壊等
	小計	22,896.7	13,535.3	
農地及び農業用施設		94 か所	207	農地，道路，水路の法面崩壊
林地及び林業用施設		58 か所	197	地すべり崩壊，林産施設，林道
農協等共同利用施設		31 か所	1.7	倉庫屋根及びシャッター破損
合計		22,896.7ha 183か所	13,941	

6．資　料

千葉県気象年報，千葉県気象月報　印刷天気図，台風経路図，千葉県農林部

災害番号　203

1．災害の種類(名称)　大雨・大風

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 8 月30日～31日

3．災害原因　台風14号

4．気象概況

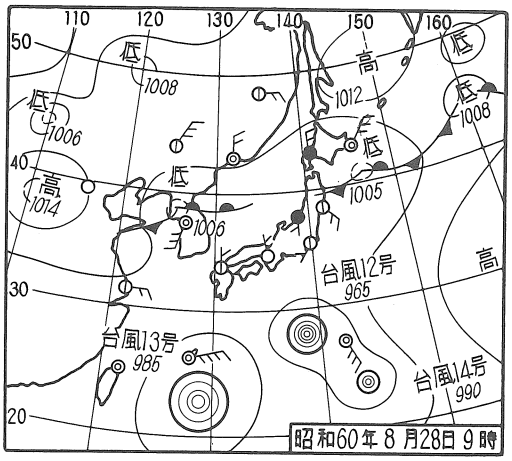
8 月26日，沖ノ鳥島付近に発生した弱い熱帯低気圧は28日，硫黄島の東で小型の台風14号となり北上した。この台風は小型のまま30日午後11時頃，横須賀付近に上陸し，東京都から千葉県北部を通り，筑波山付近を北上した。この間31日午前 4 時に一旦，弱い熱帯低気圧に変ったが，同日午前 9 時再び台風14号となった。県内では南部を中心に大雨となったが，乾燥状態が続いていたため滋雨となった。台風の通過に際し，風が強まり，稲の倒伏，梨の落果等若干の被害が出たほかは大きな被害には至らなかった。一方，31日は九州の西を台風13号が北上し，日本海に進んだため、関東地方では強い風雨が続いた。

尚，28日，日本の南海上に12・13・14号の 3 個の台風が並び迷走したが，典型的な「藤原の効果」が見られた。(資料編，台風(d))

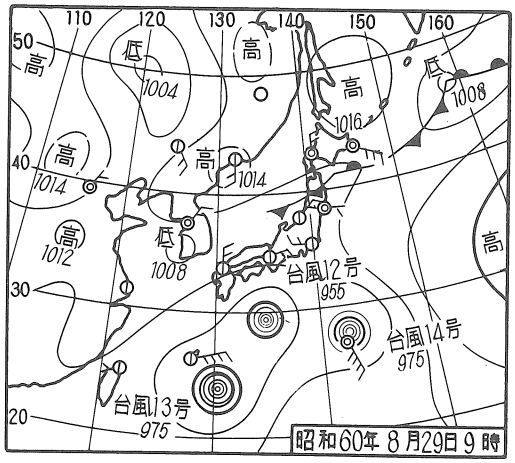
県内官署の極値表

(1980年 8 月30～31日，台風14号)

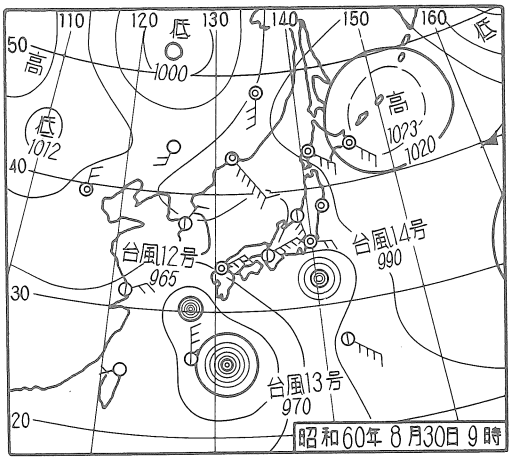
要素 / 地名	最低気圧（海面）		最大風速（10分間平均）			最大瞬間風速		
	気圧 (mb)	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分	風向 16方位	風速 m/s	起時 日時分
銚子	1008.2	30.01.20	S	15.0	31.01.40	S	28.9	31.01.49
館山	998.0	30.22.20	ESE	15.5	30.21.50	SE	31.9	30.22.10
千葉	998.9	31.00.40	SSW	26.2	31.01.30	SSW	36.5	31.01.25
勝浦	1006.0	30.23.20	S	16.1	30.23.30	S	25.6	30.23.15



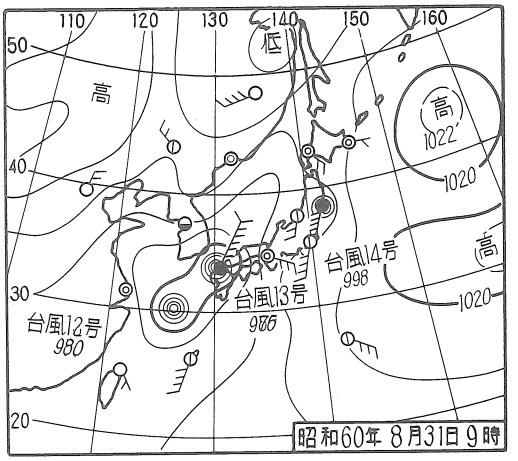
地上天気図



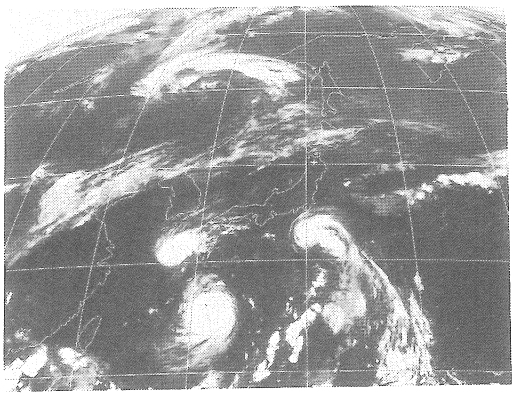
地上天気図



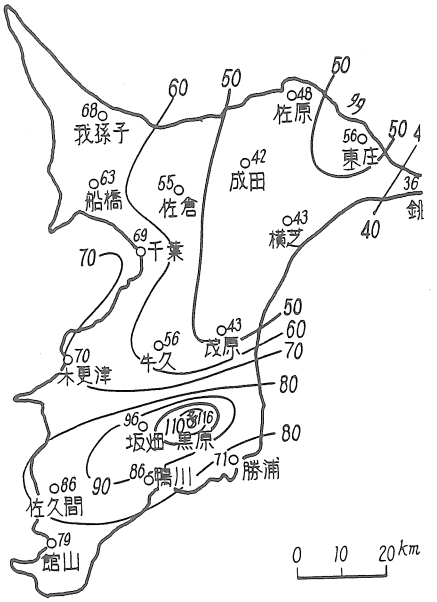
地 上 天 気 図



地 上 天 気 図



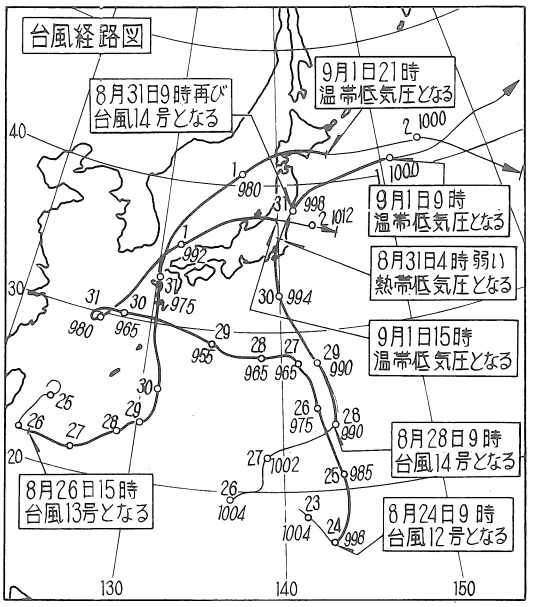
「ひまわり」赤外画像　　60年8月30日12時



県内降水量分布図(mm)
(昭和60年 8 月30日～31日)

県内官署の極値表　　8月30日～31日

要素 / 地名	最大10分間降水量		最大1時間降水量		最大日降水量		総降水量	
	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時分	降水量 mm	起時 日時～日時
銚子	5.0	31.03.00	20.0	31.03.00	32.5	30	36.0	30.09.10～31.05.50
館山	5.5	30.18.20	20.0	30.18.50	67.5 11.5	30 31	79.0	30.06.00～31.03.05
千葉	5.0	31.00.20	20.5	31.02.10	26.5 42.0	30 31	68.5	30.07.45～31.06.20
勝浦	8.5	30.11.05	20.0	30.19.10	54.5 16.0	30 31	70.5	30.10.50～31.03.50



台　風　経　路　図

県内各地の降水量表（アメダス）　　8月30日～31日

観測所	総降水量 mm	1時間最大mm 降水量	1時間最大mm 時刻	降水時間 日時～日時	記事
佐原	48	21	21日22時	30日19時～31日4時	台風14号による経路
我孫子	68	19	31日01時	31 00 ～31 01	大島→横須賀→東京→千葉県北部→
東庄	56	22	30 22	30 14 ～31 05	筑波山→三陸沖→
船橋	63	16	31 03	30 19 ～31 05	
佐倉	55	14	31 02	30 19 ～31 05	
銚子	36	12	30 21	30 17 ～31 04	
横芝	43	20	30 21	30 18 ～31 04	
千葉	69	19	31 02	30 18 ～31 04	
茂原	43	14	30 21	30 18 ～31 04	
木更津	70	14	30 20	30 16 ～31 03	
牛久	56	5	31 01	30 12 ～31 06	
坂畑	96	20	30 19	30 10 ～31 03	
黒原	116	23	30 20	30 11 ～31 03	
佐久間	86	19	30 19	30 15 ～31 03	
鴨川	86	32	30 19	30 15 ～31 03	
勝浦	71	18	30 19	30 10 ～31 04	
館山	79	19	30 19	30 14 ～31 03	

5．被　　害　　死者(1)（屋根滑落），家屋半壊１戸，床下浸水２戸

●農作物，営農施設，家畜等の被害内訳

１）災害期日：昭和60年８月30～31日

２）災害地域：船橋市，流山市，我孫子市，鎌ヶ谷市，浦安市，関宿町，白浜町

（県農林部９月２日）　単位：面積ha，金額 千円

農作物等名		被害面積等		被害金額		備考
		計	内30%以上	計	内30%以上	（主な被害地域）
水陸稲，水稲		22,442.15	－	1,782,927	－	香取，印旛，千葉
野菜	ね　ぎ	55.49	－	41,895	－	千葉
	れんこん	60	－	23,628	－	長生
	その他野菜	101.30	1.44	35,639	7,993	印旛，千葉
	計	216.79	1.44	101,162	7,993	
果樹	な　し	257.6	－	89,605	－	印旛，千葉
	その他果樹	264.61	2	25,164	768	印旛，千葉
	計	522.21	2	114,769	768	
飼料作物	ソルゴー他	147.1	29	25,698	7,656	君津
農作物計		23,328.25	32.44	2,024,556	16,417	
施設等，営農施設		0.4	－	364	－	千葉
合　計		23,328.65	－	2,024,920	－	

6．資　　料　　千葉県気象年報，千葉県気象月報，印刷天気図，台風経路図，千葉県警，千葉県農林部

災害番号　204

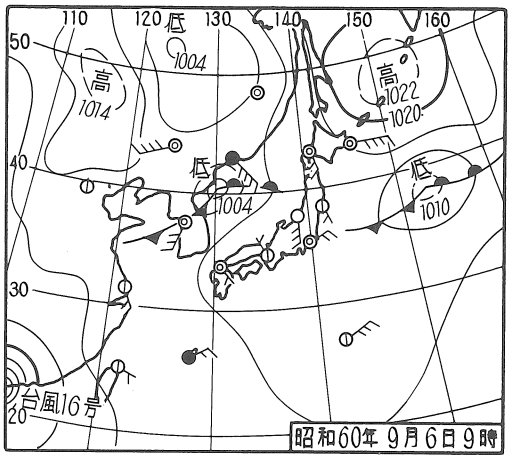
1．災害の種類(名称)　落雷

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年) 9月6日

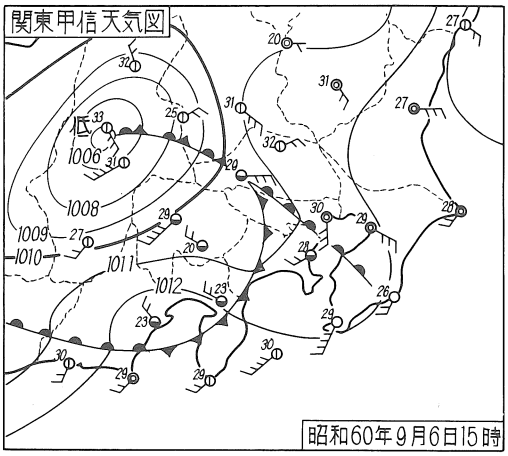
3．災害原因　上層寒気

4．気象概況

日本付近は，高気圧におおわれて晴れたが，南から湿った空気が流れ込んで高温となった。関東甲信地方の天気図に示す通り，午後になって中部山岳地帯に日射による地形性の低気圧が発生し，また，オホーツク海方面の高気圧の影響もあって，上空に寒気が流れ込んだため，大気の状態は非常に不安定となり広い範囲で雷が発生した。千葉県では午後から西部と南部一帯に激しい雷雨となり，千葉市や木更津市では落雷のため，午後4時から6時にわたり，13,600戸が停電した。尚この上空の寒気により，富士山では平年より4日早い初雪となった。



地上天気図

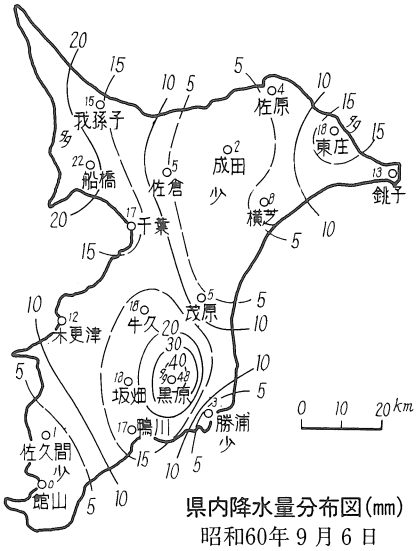


関東甲信地方地上天気図

5．被害

停電：千葉市，作草郡，東寺，登戸，問屋町
約9,000戸
木更津市横田，君津郡袖ヶ浦町長浦約
4,600戸

6．資料　千葉県気象年報，千葉県気象月報，
千葉県異常気象報告，雑誌「気象」，
印刷天気図



県内降水量分布図(mm)
昭和60年 9月6日

災害番号　205

1．災害の種類(名称)　地震

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年)10月4日

3．災害原因　震度 4

4．概況

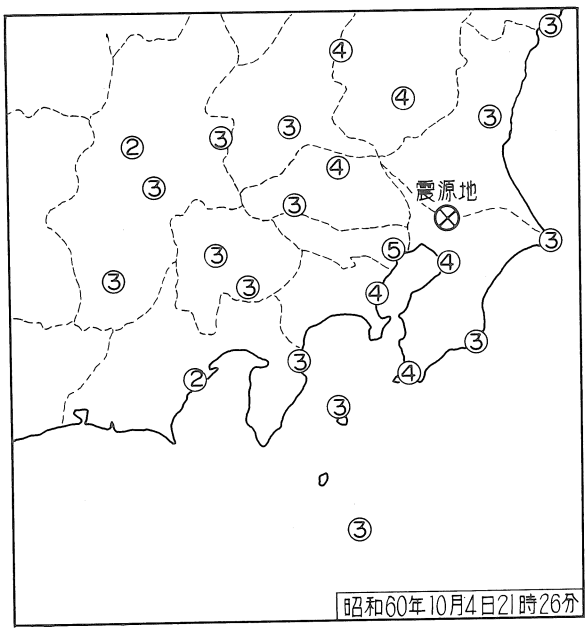
10月4日，午後9時26分頃，関東地方を中心に強い地震を感じた。震源地は千葉，茨城県境でマグニチュード6.1であった。千葉県では千葉，館山で震度4，銚子，勝浦で震度3であった。

尚，同日午前6時28分頃，館山で震度3の地震があった。

発生月日	震源地	北緯	東径	震源の深さ	規模
10月4日21時26分	千葉茨城県境	35° 52.1′	140° 09.5′	78 km	M, 6.1

5．被害　—

6．資料　気象年鑑



震度分布図

災害番号　206

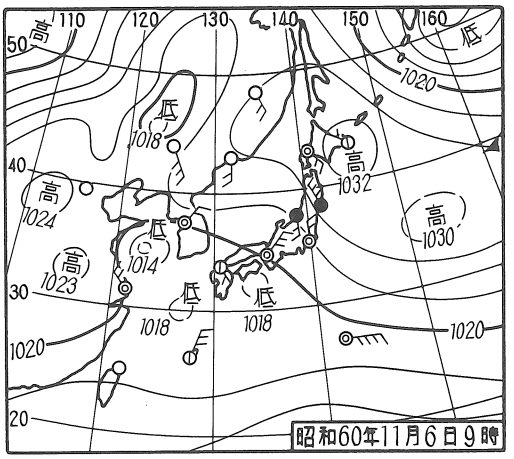
1．災害の種類(名称)　大雨

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年)11月6日～7日

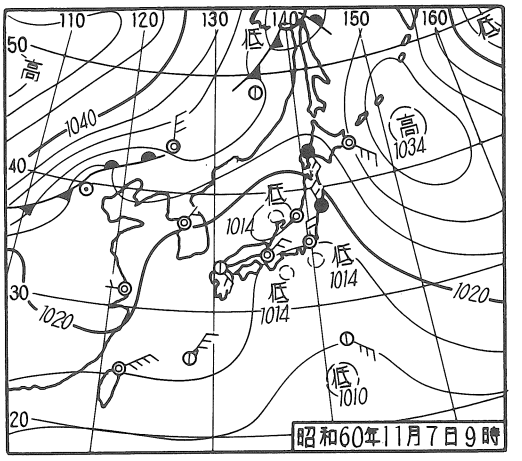
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

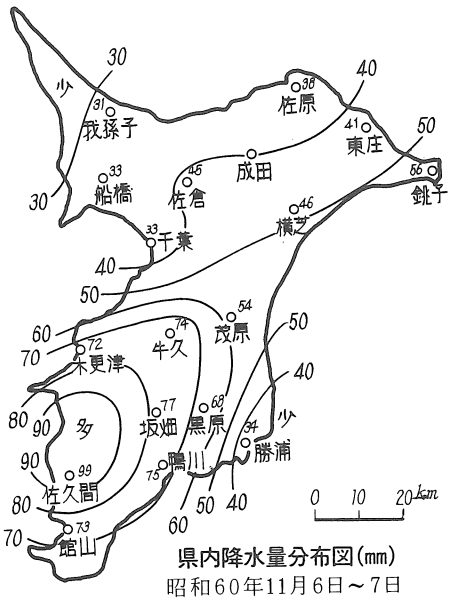
11月6日，東シナ海，黄海，土佐沖にあった幾つかの低気圧がゆっくり東進し，7日は深い気圧の谷となって東日本を通った。この気圧の谷の東進が遅く，また，暖湿流も入ったため，6日は，四国から東海にかけて一部で100～200㎜の大雨が降った。千葉県でも6日朝から雨が降り出し，7日の午後にかけ県南部を中心に100㎜近い大雨となった。



地上天気図



地上天気図



県内降水量分布図(㎜)
昭和60年11月6日～7日

県内各地の降水量表（アメダス）

11月6日～7日

観測所	総降水量 mm	1時間最大 mm		降水時間	記事
		降水量	時刻		
佐原	38	6	7日08*時	6日07時～7日16時	
我孫子	31	7	6 23	6 09 ～7 19	
東庄	41	12	7 07	6 06 ～7 16	
船橋	33	6	6 23	6 10 ～7 15	
佐倉	45	6	7 06	6 08 ～7 16	
銚子	56	17	7 07	6 04 ～7 16	
横芝	46	9	7 06*	6 06 ～7 21	
千葉	33	7	7 03	6 10 ～7 15	
茂原	54	13	7 04	6 09 ～7 15	
木更津	72	17	6 22	6 12 ～7 14	
牛久	74	19	7 06	6 08 ～7 15	
坂畑	77	23	7 06	6 12 ～7 15	
黒原	68	20	7 07	6 05 ～7 15	
佐久間	99	24	7 05	6 11 ～7 14	
鴨川	75	19	7 07	7 00 ～7 14	
勝浦	34	8	7 06	6 08 ～7 15	
館山	73	18	7 05	6 10 ～7 14	

注）* は同じ極値が他の時刻にもある

5．被　害

7日始発から国鉄内房線のダイヤが混乱し，上下15本に影響が出たほか最高56分の遅延となった。

6．資　料　　異常気象報告，印刷天気図，気象年鑑，アメダス気象表

災害番号　207

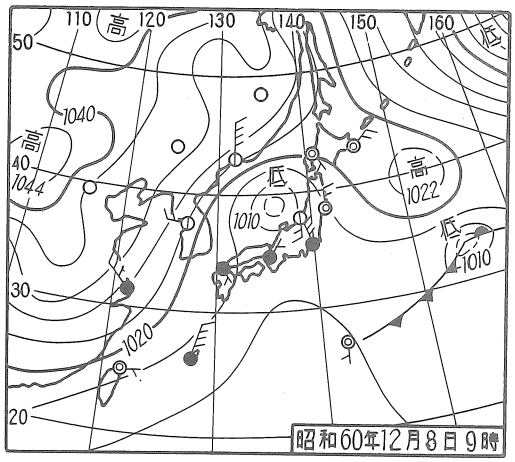
1．災害の種類(名称)　波浪

2．災害発生年月日(期間)　昭和60年(1985年)12月8日

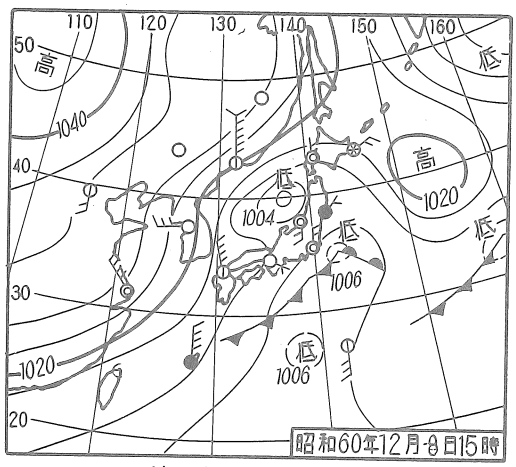
3．災害原因　低気圧

4．気象概況

8日，発達中の低気圧が日本海と本州の南の沖合を東進し，同日午後には房総沖に去った。千葉県では小雨が降ったり止んだりの天気で，風はさほど強くはなかったが，波は高かった。



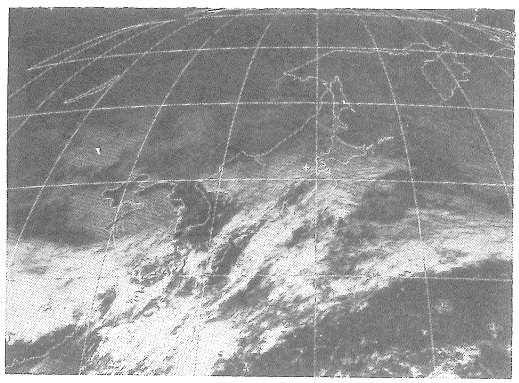
地上天気図



地上天気図

事故当時の風の記録（銚子）　12月8日

要素	風速	風向	起時
最大風速	7.4m/s	NNE	08.00
最大瞬間風速	12.7	NNW	10.50
10時	5.4	N	
11時	6.0	NNW	
12時	5.6	N	



「ひまわり」可視画像　60年12月8日12時

5．被害

午後1時45分頃，銚子市川口町2丁目，銚子市外港（東防波堤）で釣人6名が高波にさらわれ，うち2名は救助されたが，4名は死亡した。当時は波浪注意報が出されていたが，満潮時とかさなり，潮が高くなってくることを知らなかったためと見られる。

6．資料　異常気象報告，印刷天気図，速報天気図，地上気象観測日表

災害番号　208

1．災害の種類(名称)　　強風・波浪

2．災害発生年月日(期間)　　昭和60年(1985年)12月27日

3．災害原因　　季節風

4．気象概況

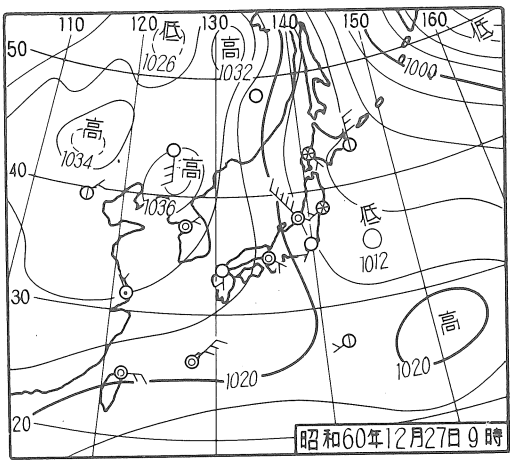
カムチャッカ方面に去った低気圧が非常に発達したため，東日本，北日本では「季節風」が強まった。低気圧は更に発達を続けたため季節風は長時間吹き続き銚子地方気象台では午後3時45分強風波浪注意報を出した。

千葉測候所の記録　　12月27日

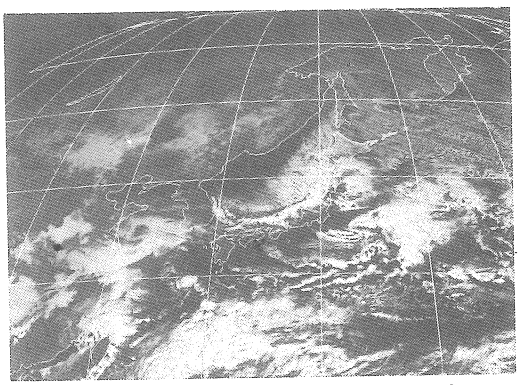
要素	風速	風向	起時
最大風速	13.5 m/s	NNW	16時50分
最大瞬間風速	20.2	NNW	16時50分

木更津アメダスの記録

20時	N	9 m/s
21時	N	8



地上天気図



「ひまわり」可視画像　　60年12月27日12時

5．被害

27日午後8時45分頃，千葉県君津郡袖ヶ浦町北袖14番地先，日本燐酸千葉工場の東京湾岸壁の500m沖合で貨物船第18国栄丸（495t，6人乗組）が転覆し，4名は救助されたが，2名が死亡した。

6．資料　　異常気象報告，印刷天気図

解　　説

1．本災害史の集計は昭和44年(1969年)から昭和60年(1985年)までの17年間のものである。

2．「項目名」及び「地点名」が長い場合は，一部を略記した。(千葉県警察本部→千葉警または県警等)

3．記事中，最大10分間降水量，最大１時間降水量の起時で，１日03時50分とある場合，最大10分間では，１日03時40分～03時50分を意味し，最大１時間では１日02時50分～03時50分を意味する。

4．風向は，16方位をローマ字(NNE－北北東等)，風速はm／s，降水量はmm，積雪はcm，気温は℃，気圧はmbで示した。

5．本文中に参考，または引用した資料の出典は，「６資料」に記載した。

6．記事中に用いた９時，21時の天気図は印刷天気図から転写し，その他のものは速報天気図，日本気象協会作成の局地予報解析用の天気図を使用した。

7．昭和56年(1981年)８月22日以降，気象衛星「ひまわり」２号の画像を掲載したが，昭和59年(1984年)１月21日以降は，「ひまわり」２号の故障により，現役復帰した「ひまわり」１号を，また，昭和59年(1984年)９月27日以降は「ひまわり」３号を掲載した。

8．災害原因の分類で，セル高気圧による突風，雷雨等があったが前線として記述した。

9．気象官署の所在地及び統計の開始年は次の通りである。

銚子地方気象台……	銚子市南町31	明治20年(1887年)～
	銚子市川口町２丁目6431	昭和61年８月24日(1987年)～
館山測候所……	館山市長須賀76－1	昭和44年(1969年)～
千葉測候所……	千葉市神明町361	昭和42年(1967年)～
	千葉市中央港1－12－2(千葉港湾合同庁舎内)	昭和56年４月１日(1981)～
勝浦測候所……	勝浦市墨名708	大正５年１月１日(1916年)～

10．アメダス資料の統計は，昭和53年(1978年)２月以降で，所在地は付図１，付表１に記載した。

11．累年平均値は昭和26年～昭和55年(1951年～1980年)の30年間の平均値をいう。

12．本文中，被害程度や年月日のほか当日の気象表や等雨量線図を添付して，簡単な調査の利便を図った。

13．雷雨やたつ巻について，必要と目されるものは，気象表のほかにレーダースケッチ図を添付した。

14．地震については，各地の震度図を添付した。県内官署の震度４以上をとったが，参考として掲載した方がよいと判断したものは震度４以下のものでも載せた。

15. 台風については，その被害等をにらみ合わせ，経路図等も添付した。

16. 巻末に記載した気象情報，台風等の基準の変遷については，昭和20年(1945年)以降を記述した。

台　　風*

・台風の定義

熱帯や亜熱帯洋上で発生し，はっきりと組織化された渦を形成しており，しかも，上空では周囲よりも暖かく（Warm Core），下層では，前線を伴わない低気圧性擾乱を総称して熱帯低気圧（Tropical－Cyclone）という。

このような熱帯低気圧（昭和27年までは「熱帯性低気圧」と呼んでいた）はさらに，低気圧域内の最大風速に応じて下記のように分類される。

表1　熱帯低気圧の分類

和文		英文	
分類	域内の最大風速	分類	域内の最大風速
弱い熱帯低気圧	風力7以下（34kt未満 17.2m/s未満）	Tropical Depression	風力7以下（34kt 未満 17.2m/s未満）
台風	風力8以上（34kt以上 17.2m/s以上）	Tropical Storm	風力8と9（34kt～48kt 17.2m/s～24.5m/s）
		Severe Tropical Storm	風力10～11（48kt～64kt 24.5m/s～32.7m/s）
		Typhoon	風力12（64kt以上 32.7m/s以上）

・台風の構造

台風の下層（雲底高度以下）では，渦巻状に空気が中心へ向って吹き込んでおり，その途中でも部分的には上昇運動をし，積雲をつくり，あるいは，もっと組織化されたらせん状降雨帯（Spiral rainband）をつくるが，半分近くの空気は中心付近まで達したのち，内部降雨帯（Inner rainband）と呼ばれている，台風眼を取り囲んだ幅の厚い雲の壁の中を激しく上昇する。この壁の中には，雲頂が10数kmにも達する積乱雲が数多く存在して，集まってくる湿った空気から潜熱を抜き取り，それを台風という渦巻きの勢力維持や，発達に必要なエネルギーに振り向けることになる。また，この潜熱を抜き取るときに得られる副産物として，内部降雨帯の下では，毎時10mmから20mmという強い降水をみることが少なくない。

地上風については，台風の渦の外側から中心に向って，下層に吹き込んでくる空気は，その一部がらせん状降雨帯の付近を通るたびに，上昇気流となって抜けるが，かなりの部分が

＊　台風経路図30年集(1973)財団法人　日本気象協会

絶対運動量をかなり保存させながら，中心近くにまでやってくる。中心からの距離に逆比例して風速は強まっていく。しかし，ここに摩擦があるので，風速（V）と中心距離（R）の積より減じて$VR^{1/2}$～$VR^{1/3}$＝Constと表される。

台風眼は，次第に風速を増しながら台風の中心近くまで吹き込んできた空気は，やがて遠心力との釣り合いで中心に近づくことが困難になって，そこに風の穏やかな雲の少ない空間ができ，それを台風眼という。

台風の発達の初期には30～50kmの大きさの眼をもつことが多いが，発達が進むにつれて，風の求心成分が増大して眼は小さくなり，10～20kmが最盛期となる。この眼の周辺では強い上昇気流と風のシヤーによって飛行機も危険となる。渡り鳥もときには死骸を残すこともある。

・北半球循環と台風の発生

田辺(1969)は，北半球の循環と台風の発生数の関係を調べて，台風の発生数の多い年は500mb高度面上で太平洋高気圧が強く北偏しており，同時に低緯度地方が負偏差域となることを明らかにした。台風の多い年は亜熱帯高気圧の軸が40°N付近まで北上し，東西に連なる正偏差域があり，50°N以北では負域となっている。また，台風発生の少ない年には，30°N近くまで亜熱帯高気圧が南下して，一方では別の高気圧正偏差が，60°N付近にあることを明らかにしている。和田(1969)はこのような台風発生の少ない場合を大循環の立場からみると，太平洋地域における南北循環が盛んで，このため亜熱帯高気圧が弱まり，高緯度地方の高気圧が発達する結果であると述べている（図1，図2）。

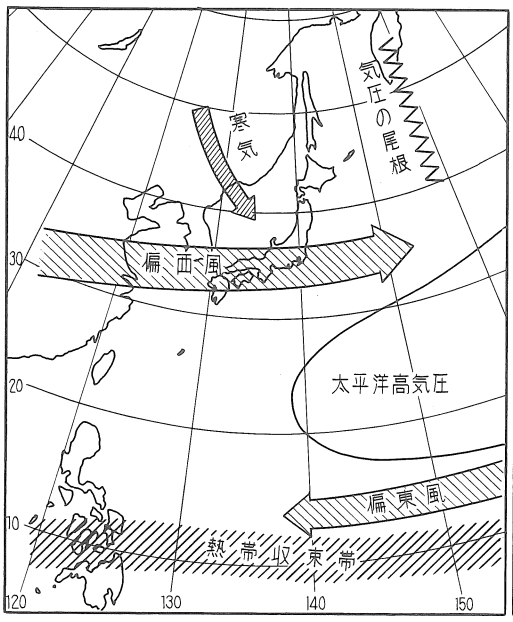


図1　台風の発生は少ない

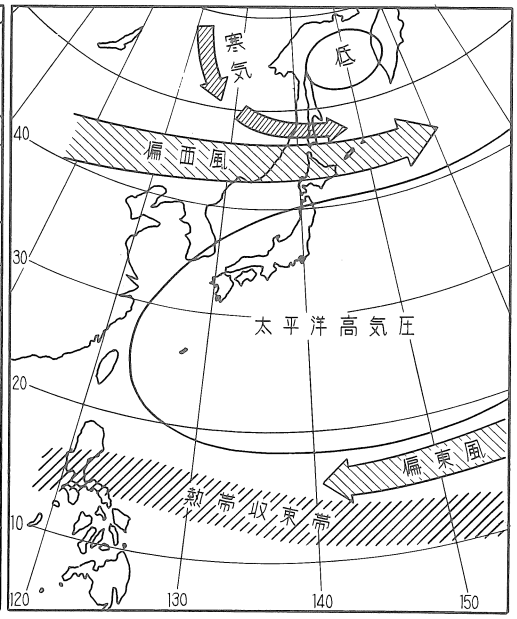


図2　台風の発生が多い

表2　台風発生数・上陸数

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
1940（昭和15）		1		2		3	7(2)	13(1)	12(1)	6	1	4	49(4)
1941（〃 16）		1				4(1)	7(2)	9(1)	4(1)	3		2	30(5)
1942（〃 17）	1	1		1	1		6	8(2)	7(2)	3	1	1	30(4)
1943（〃 18）	1			3	1	3	8(3)	6(1)	5(2)	4	2	2	35(6)
1944（〃 19）	2	2			1	1	4	5(2)	3(1)	4(1)	3		25(4)
1945（〃 20）				1		3	4(1)	6(3)	4(2)	2(1)	1		21(7)
1946（〃 21）			1		1	3	5(1)	5	4	4	2		25(1)
1947（〃 22）					2	1	3(1)	2(1)	4	6	3	1	22(2)
1948（〃 23）	1				2	3	4	8(2)	6(1)	6	4(1)	2	36(4)
1949（〃 24）	1					1(1)	6(1)	3(2)	5	3	3	2	24(4)
1950（〃 25）				2	1	2(1)	5(1)	18(6)	6(3)	3	3	4	44(11)
1951（〃 26）		1	1	1	2	1	3(1)	3	2	4(1)	1	2	21(2)
1952（〃 27）						3(1)	3(1)	5(1)	3	6	3	4	27(3)
1953（〃 28）		1			1	2(1)	1	6	3(1)	5	3	1	23(2)
1954（〃 29）			1		1		1	5(1)	5(4)	4	3	1	21(5)
1955（〃 30）	1	1	1	1		2	7(1)	6	4(1)	3(2)	1	1	28(4)
1956（〃 31）			1	2(1)		1	2	5(1)	6(1)	1	4	1	23(3)
1957（〃 32）	2			1	1	1	1	4	5(1)	4	3		22(1)
1958（〃 33）	1			1	1	4	7(1)	5(1)	5(2)	3	2	2	31(4)
1959（〃 34）		1	1	1			2	5(2)	5(1)	4(1)	2	2	23(4)
1960（〃 35）				1	1	3	3	10(3)	3(1)	4	1	1	27(4)
1961（〃 36）	1		1		2	3	4(1)	6	6(1)	4(1)	1	1	29(3)
1962（〃 37）		1		1	2		5(1)	8(4)	4	5	3	1	30(5)
1963（〃 38）				1		4(1)	4	3(1)	5	4		3	24(2)
1964（〃 39）					2	2	7	5(1)	6(1)	5	6	1	34(2)
1965（〃 40）	2	1	1	1	2(1)	3	5	5(2)	8(2)	2	2		32(5)
1966（〃 41）				1	2	1	4	10(2)	9(3)	4	3	1	35(5)
1967（〃 42）		1	2	1	1	1	7	9(2)	9	4(1)	3	1	39(3)
1968（〃 43）				1	1	1	3(1)	8(1)	3(1)	5	5		27(3)
1969（〃 44）	1		1	1			3	4(2)	3	3	2	1	19(2)
1970（〃 45）		1				2	3(1)	6(2)	5	5	4		26(3)
30年平均（1941～1970）（昭和16～45年）	0.5	0.4	0.4	0.7	0.9	1.8 (0.2)	4.2 (0.6)	6.3 (1.5)	4.9 (1.1)	3.9 (0.3)	2.5	1.3	27.8 (3.8)
1971（昭和46）	1	0	1	3	4	2	8(1)	5(2)	6(1)	4	2	0	36(4)
1972（〃 47）	1	0	0	0	1	3	6(2)	5	5(1)	5	3	2	31(3)
1973（〃 48）	0	0	0	0	0	0	7(1)	5	2	4	3	0	21(1)
1974（〃 49）	1	0	1	1	1	4	4	5(1)	5(2)	4	4	2	32(3)
1975（〃 50）	1	0	0	0	0	0	2	4(2)	5	5	3	1	21(2)
1976（〃 51）	1	1	0	2	2	2	4(1)	4	5(1)	1	1	2	25(2)
1977（〃 52）	0	0	1	0	0	1	3	3(1)	5	5	1	2	21(1)
1978（〃 53）	1	0	0	1	0	3(1)	4	8(2)	5(1)	4	4	0	31(4)
1979（〃 54）	1	0	1	1	2	0	4	2	6(2)	3(1)	2	2	24(3)
1980（〃 55）	0	0	0	1	4	1	4	2	6(1)	4	1	1	24(1)
30年平均（1951～1980）（昭和26～55年）	0.5	0.3	0.5	0.8 (0.0)	1.1 (0.0)	1.7 (0.1)	4.0 (0.4)	5.4 (1.1)	5.0 (1.0)	3.9 (0.2)	2.5	1.2	26.9 (3.0)
1981（昭和56）	0	0	1	2	0	3(1)	4(1)	8(1)	4	2	3	2	29(3)
1982（〃 57）	0	0	3	0	1	3	3	5(2)	5(2)	3	1	1	25(4)
1983（〃 58）	0	0	0	0	0	1	3	5(1)	2(1)	5	5	2	23(2)
1984（〃 59）	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27(0)
1985（〃 60）	2	0	0	0	1	3	1(1)	8(2)	5	4	1	2	27(3)
1986（〃 61）	0	0	0	1	2	2	3	6	3	5	4	3	29(0)

（注）1. 台風の発生：（風速17.2m／s以上）となった日時をもって，その月の発生とする。
2. 台風の上陸：台風の中心が確実に上陸したもの，弱い熱帯低気圧となって上陸したものを除く。ただし，昭和24年以前（飛行観測開始以前）は資料不備のため，区分は明確でない。その月に発生したが，上陸が翌月の場合は翌月上陸とする。
3. 表中，括弧内の数字が上陸数である。
4. 平年値はWMOの統計年次に合わせて，1941年～1970年間の30年及び1951年～1980年間の30年平均とした。

北太平洋南西部の熱帯地方で発生する熱帯低気圧は，１年間におよそ70コくらいである。このうち台風に発達したものは平均26.9コ(1951～1980)で，北上して日本へ上陸した台風は平均3.0コである。(表２)　1951～1980年までの30年間に発生した台風の数は806コでうち89コが日本へ上陸している。台風発生の経年変化は，1940年の49コが最も多く，1950年の44コがこれに次いでいる。反対に発生の最も少なかったのは1969年の19コで，ついで1977年，1975年，1973年，1954年，1951年，1945年の21コである。わが国へ上陸した台風の多かったのは表２の（カッコの中の数字）1950年の11コである（表２参照）。

なお千葉県に被害をもたらした台風は，平均1.8コ(1945～1985年)，平年1.7コ(1951～1980年)が平均的な襲来数である。千葉県に被害をもたらした台風の襲来が最も多かったのは５コ(1982年の8205・8210・8218・8219・8221号)。　次いで多い年は４コ(1979年・1972年・1954年)であった。

・台風の経路

台風の移動は，低緯度では貿易風帯によって西～北西へ移動し，そのまま大陸で消滅するものと，途中で貿易風帯から偏西風帯に移り，太平洋高気圧の縁辺をまわって東へ移動するものとがある。貿易風帯から偏西風帯に移ることを転向といい，この進路の放物線上の頂点を転向点という。

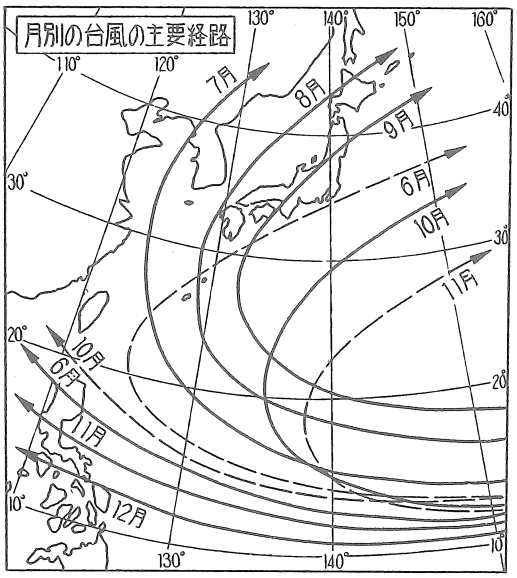


図３　月別の台風の主要経路

個々の台風の移動や気象現象のほとんどが非線型であって，１つのモデル台風で他の台風を定義づけることはできないが，図３は，台風がその縁辺をまわって移動するといわれる太平洋高気圧の季節による消長と合わせて，理想的な月別の主要経路を合成したものである。図中の破線部分は台風の二次的経路をあらわしている。

・台風発生数と熱帯収束帯

台風の被害高と襲来数とは必ずしも一致しない。大きな台風であれば１個でも大きな被害をもたらすからである。同様に，台風発生数と襲来数の関係もまた一様でない。

一般に，台風発生は熱帯収束帯の位置と関係が深く，熱帯収束帯が北上すると台風の発生が多い傾向がある。

Chanは台風の発生数について，帯状流の強い循環型とは正(＋)相関関係，子午線循環型とは負(－)相関であると述べている。

・日本に上陸した顕著な台風

日本へ上陸した台風のうち，最も人的被害の大きかった1950年のジェーン台風から1959年の伊勢湾台風までの11コの顕著な台風の順に，台風経路図（図４）をみると，11コの台風のうちで1942年の第16号台風と，1951年のルース台風を除いた９コの台風は９月に日本に上陸している。

台風はモデル台風のように決ったコースを通るだけでなくいろいろなコースをとる台風がかなりある。

（ａ）蛇行運動

台風の中心の動きを細かく追うと，たいてい大なり小なりの蛇行運動をしている場合が多い。これは台風の渦が地球の自転による慣性振動をしているためにおこるものでこの周期を正野(重)博士は

$$T \fallingdotseq \frac{12}{\sin\varphi}$$ であらわしている。

Ｔは蛇行運動の周期（時間），φは緯度である。

（ｂ）トロコイド状経路

台風の振動をより複雑にするものにトロコイド状のものがある。これは急に進路が変ったような錯覚をおこさせるから注意が肝要である。

台風5024Freda，5025Gildaがその例である。

（ｃ）迷走経路

台風によっては，ループを描いたり，逆戻りしたりする複雑な経路をとるものがかなりある。これらを一般には迷走台風と呼んでいる。この迷走台風は比較的高緯度で発生した夏台風に多い。

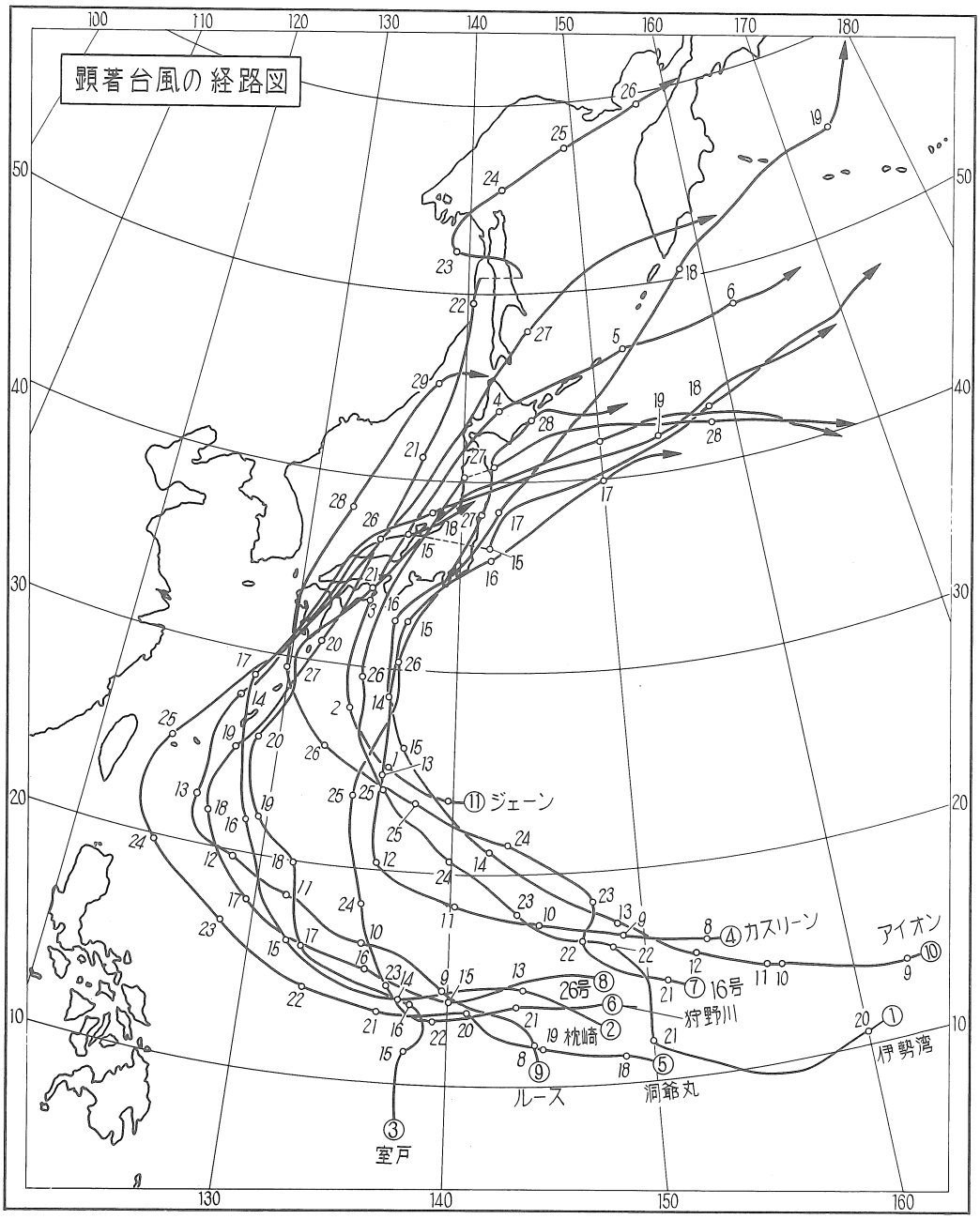


図4　顕著台風の経路

備考

数字は日付（時刻は6時(1939以前)，3時(1940～1949)，9時(1950以後)で，○印はその日時の位置

（d）藤原の効果

2コ以上の台風が近い海域にあるとき，台風はお互いに干渉しあって，複雑な動きをする。なかでもアベック台風と呼ばれる中心の接近した台風は，「藤原の効果」という変った経路をとることがある。藤原の効果とは，第5代中央気象台長の藤原咲平がとなえた理論で一つの台風の渦の勢力圏に，他の台風の渦の勢力が接近すると，互いに引きあいながら重心位置（両台風の力の均衡点）のまわりを，反時計廻りに回転しながら接近するというものである。1964年第14号，16号台風及び1983年5・6・7号1985年12・13号台風はこの効果を実証している。

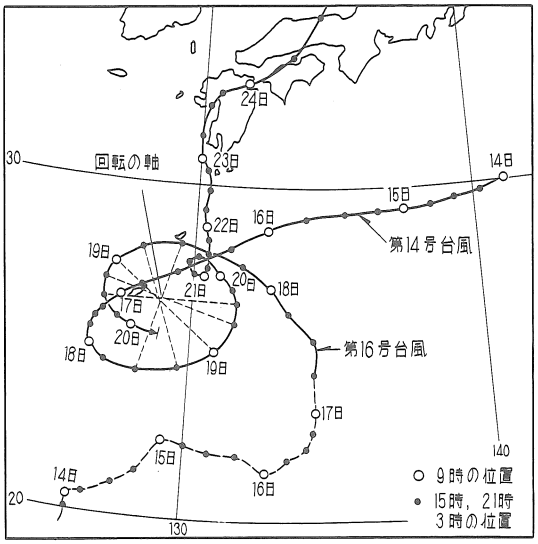


図5

図5　二つの台風の回転運動
（昭和39年8月の台風第14号と第16号）

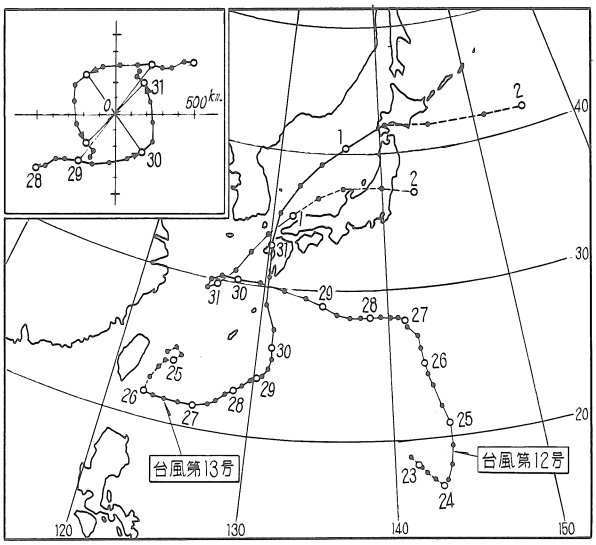


図6　二連台風の経路（昭和60年台風第12号及び第13号，8月23日～9月2日）丸印は6時間毎の中心位置を示す。○は09時の位置でそばの数字は日付を示す。

気象情報，台風等基準の変遷

第二次大戦終了後，我が国の台風作業は米国と密接な連携をもつようになり台風観測に米軍の飛行機が使われるようになった。このため，当時米軍と中央気象台との間で，台風に対する統一基準が定められた。この熱帯性の低気圧の分類により，我が国では，熱帯低気圧と台風にランクされるものを合わせて台風として取扱うようになった。そして，その後下記のような変遷を辿った。

熱帯性の低気圧（Tropical cyclone）の分類

- 弱い熱帯性低気圧　：最大風速33kt（約16m／s）以下
  (Tropical depression)
- 熱帯性低気圧　：最大風速　34～64kt（約17～約32m／s）
  (Tropical storm)
- 台　風　：最大風速　65kt（約33m／s）以上
  (Typhoon)

なお，ここでいう熱帯性低気圧は昭和28年（1953年）4月から熱帯低気圧に改定された。

1）昭和20年（1945年）12月15日

天気図や発表文に使用される気圧の単位が㎜Hg（ミリメートル）からmb（ミリバール）に切り換えられた。

2）昭和22年（1947年）

台風に「アリオン」「カスリーン」等の外国女性名をつけて一般に発表するようになった。

3）昭和25年（1950年）1月1日気圧の統計が㎜Hgからmbを用いるようになった。

なお，その後の疑念について，等圧線の著しく変形している場合の取扱いについての大きさは，1000mb等圧線の平均半径を採用し，暴風半径が大きいときは，風速25m／s以上の半径を参考とする。強さは，中心気

表2　熱帯低気圧の分類

和文		英文	
分　類	域内の最大風速	分　類	域内の最大風速
弱い熱帯低気圧	風力7以下 34kt 未満 17.2m／s 未満	Tropical Depression	風力7以下 34kt 未満 17.2m／s 未満
台　風	風力8以上 34kt 以上 17.2m／s 以上	Tropical Storm	風力8～9 34 ～48kt 17.2 ～32.7 m／s
		Severe Tropical Storm	風力10～11 48 ～64kt 24.5 ～32.7 m／s
		Typhoon	風力12 64kt 以上 32.7m／s 以上

圧を原則とし，最大風速を参考とする旨付言された。

表3　台風の大きさの分類

程　　度	1,000mb等圧線の半径	風速25m／s以上の半径(参考)
ご　く　小　さ　い	100㎞未満	
小　型：(小　さ　い)	100以上 ～200未満	100㎞前後
中　型：(なみの大きさ)	200以上 ～300未満	200　〃
大　型：(大　き　い)	300以上 ～600未満	300　〃
超大型：(非常に大きい)	600以上	400またはそれ以上

表4　台風の強さの分類

階　　級	中　心　気　圧	最　大　風　速（参　考）
弱　　い	990 mb 以上	25 m／s 未満
な　み　の　強　さ	960 ～989	25 ～34
強　　い	930 ～959	35 ～44
非　常　に　強　い	900 ～929	45 ～54
猛　　烈　　な	900未満	55 以上

4）昭和27年(1952年)12月1日

気象業務法が施行された。(法律165号，昭和27年6月2日)

5）昭和28年(1953年)6月4日

熱帯低気圧の分類が日本式に改正された(表2参照)。　また，これまで一般へ発表されていた台風の外国女性名が廃止され，これに変るものとして，台風発生年と発生順番号を付けて発表するようになった。例えば1960年の10番目に発生した台風は西暦の下2桁の60と発生番号の10を連ね，「6010台風」か，昭和年号で「昭和60年第10号台風」と示す。

6）昭和31年(1956年)7月1日

中央気象台が気象庁となる。(勅令第220号昭和31年7月1日)

7）昭和32年(1957年)9月1日

官制の変更により，銚子測候所が銚子地方気象台となる。(運輸省令第32号，昭和32年8月27日)

8）昭和33年(1958年)9月

気象庁では，同年9月に関東地方を襲い，これらの地方に記録的な大雨を降らせた5822号台風を「狩野川台風」と特別名を付け，5715号台風にも「洞爺丸台風」と特別名を付けた。それ以後，特に災害の大きかったときには，規程の台風番号のほかに特別名を付けるようになった。また，昭和36年梅雨前線豪雨のように「36.6豪雨」と，昭和年号を冠したものもある。

なお，この年は，日本初の大型電子計算機が気象庁に導入され，テレタイプ通信，超短波

無線，FAX放送など気象通信の近代化が行われた。

9）昭和37年(1962年)10月

台風情報等和文における台風には，必要に応じ「強い台風」「猛裂な台風」等の形容詞を用いていたが，これを表わす1つの目安として表3，表4のように分類して使用するようになった。

10）昭和55年(1980年) 6月1日

気象庁は，東京地方の降水確率を発表「当日15～21時」

11）昭和56年(1981年) 1月1日

日射量について，世界放射基準(WRR)を採用し，スケール変更した。従来はカロリーを用いていたが，ジュール（積算量）又は，ワット（瞬間値）に移行した。

昭和31年国際日射スケール（IPS－1956)(cal・cm^{-2}）との関係は（WRRによる観測値MJ・m^{-2})＝（IPS－1956年による観測値)×1.022に相当する。

今後，熱量の積算値については，メガジュール毎平方メートル（最小位数0.1MJ／m^2）瞬間値についてはキロワット毎平方メートル（最小位数0.01kw／m^2）で表わすことになった。

1時間積算量については，1 cal・cm^{-2}＝0.0419MJ・m^{-2}

$\therefore Q_{WRR}=Q_{IPS}\times1.022\times0.0419=Q_{IPS}\times0.0428$

瞬間値の換算については，1 cal・cm^{-2}・min^{-1}＝0.698KW・m^{-2}

$I_{WRR}=I_{IPS}\times1.022\times0.698 \quad I_{IPS}\times0.713$

12）昭和57年(1982年) 6月1日

台風予想位置を表示するとき，かつて扇形で示していたが，台風は広範囲な強雨域等をも

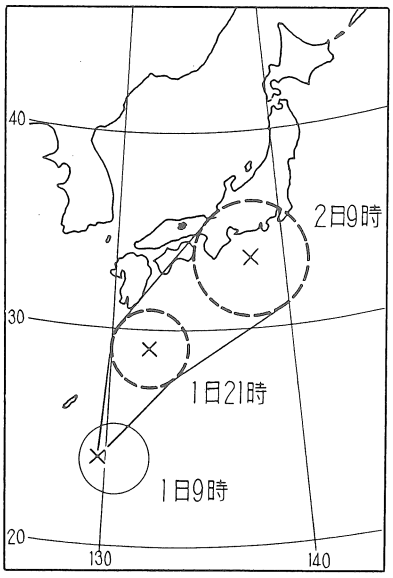


図7

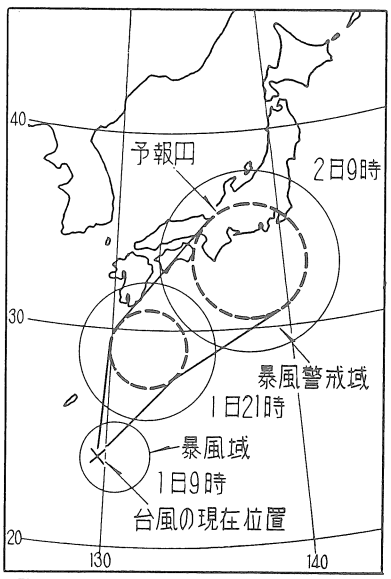


図8

っていることから，中心の点ではなく，円形で表示されるようになった。これは，中心位置の予報誤差を示すもので，台風の暴風域や強風域は示してない(図７参照)。 図８のように予報とともに暴風域，暴風警戒域を示して発表されるようになった。

13) 昭和58年(1983年) 3 月 1 日

全国の地方気象台で降水確率予報を発表「当日 9 時～15時」「当日15時～21時」「明日 9 時～21時」となる。

14) 昭和58年(1983年) 4 月 4 日

アメダスによる降水量毎時の値をＮＨＫ－ＴＶによって報道するようになった。20㎜／h以下を青で，20㎜／h以上を赤で表示し，全国20kmメッシュで図示した。また，降水確率「当日 9 時～15時」及び「15時～21時」「翌 9 時～21時」を全国いっせいに発表した。

なお，記録的な１時間雨量を観測した場合の大雨情報等を発表することになった。

15) 昭和58年(1983年)10月 1 日

防災気象情報のあり方を検討して，府県予報区を対象とする気象警報の冒頭に防災上特に必要とする事故を発表すること，また，特に緊急を要する場合は短文で速報形式とすること（この場合，詳しい内容は府県気象情報で補う)，府県気象情報の内容を改善すること等を定め，警報等の適切な発表と迅速な伝達を図ることとした。即ち警報に48字以内の見出し的警告文を付けることになった。

例文

大雨・洪水警報・強風・波浪注意報

昭和○○年○○月○○日○○時○○分

「これから夕方にかけ，沿岸地方を中心に１時間50ミリ以上の強い雨が降り，総雨量200ミリの見込み」
紀伊半島付近に低気圧があり，発達しながら東北東に進んでいます。千葉県北部地方では，これから今日の夕方にかけ，雨と風が強まるでしょう。……(云々)

16) 昭和59年(1984年) 9 月27日

静止気象衛星，ひまわり 3 号を正式運用開始

17) 昭和61年(1986年) 1 月 1 日

ジョルダン日照計に変り，回転式は日照計に更新した。1982年WMOは日照計の定義を「直達日射量の瞬間値が120W／m²以上の場合を日照ありとする」と定められた。そのしきい値の許容範囲を±20%以内と世界的に統一されたことで，統計もこれによって行われる。ジョルダン日照計による平年値に×0.85をもって参考値とする。(旧しきい値は210W／m²)

18) 昭和61年(1986) 6 月 1 日

台風予報円の表示方法の変更があった。

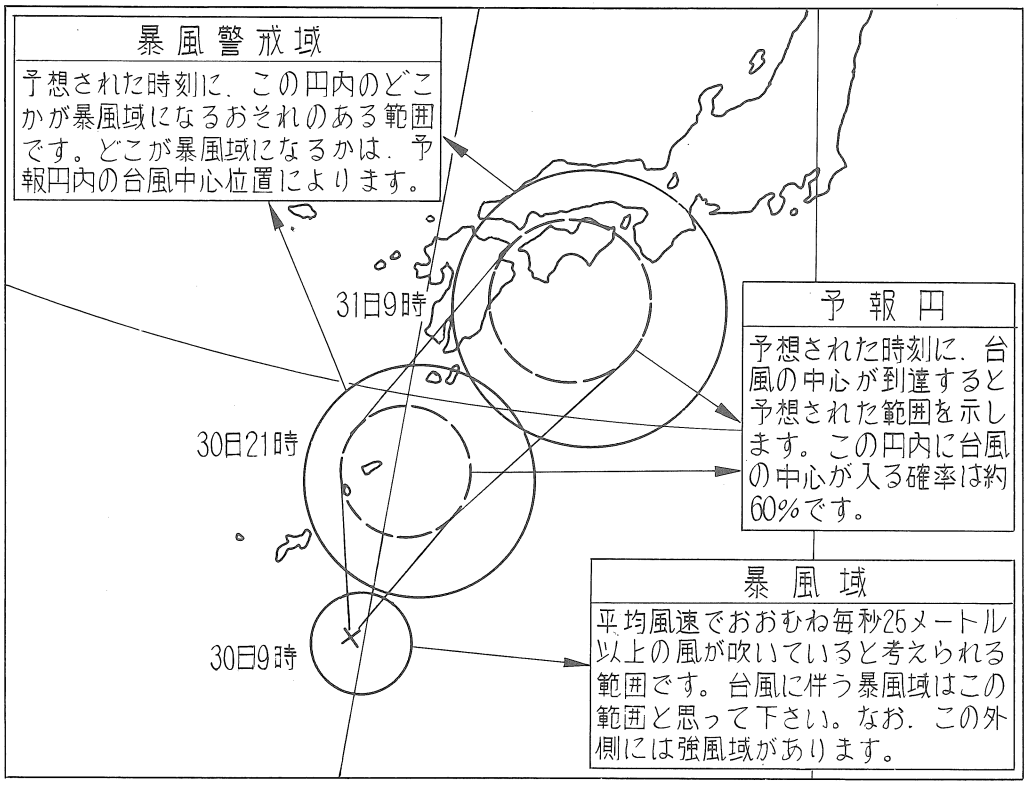


図 9　台風予報円の表示方法

なお，台風の動きが遅い場合は，12時間先の予報を省略することがあります。

付表1　地域気象観測所一覧表

1987　　昭和62年3月

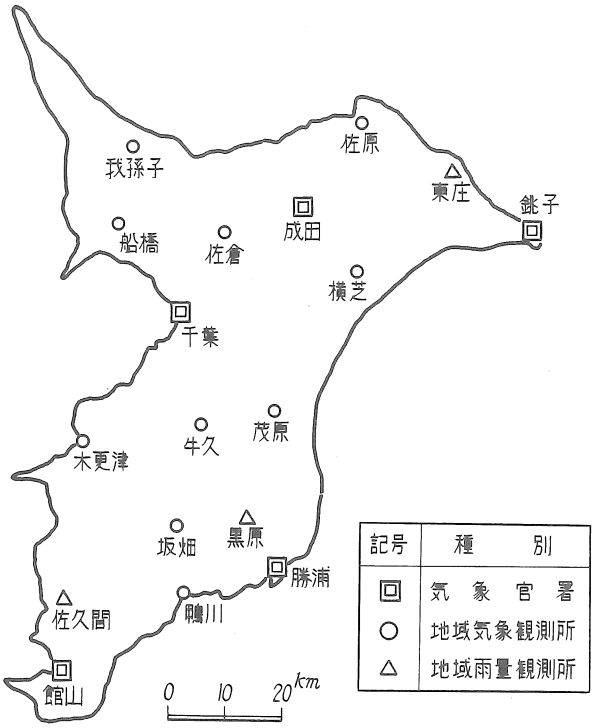
番号	種類	観測所名	所在地	北緯	東径	海抜	風向・風速計地上の高さm
45036	四	佐原	佐原市佐原建設省利根川下流工事事務所佐原出張所閘門	35.54.5	140.29.7	7	6.5
45056	四	我孫子	我孫子市我孫子1646財団法人電力中央研究所	35.52.5	140.02.0	20	6.5
45086	雨	東庄	香取郡東庄町羽計東庄水道配水場	35.49.1	140.41.6	52	2.9
45101	四	船橋	船橋市夏見町2－1船橋市運動公園	35.43.7	139.59.8	24	7.9
45116	四	佐倉	佐倉市角来1730佐倉市外二町消防組合消防本部	35.43.4	140.12.8	5	7.9
45147	四	銚子	銚子市川口町2－6341合同庁舎内銚子地方気象台	35.44.2	140.51.7	19.3	28.3
45181	四	横芝	山武郡横芝町横芝636横芝町役場	35.39.2	140.29.1	6	7.9
45212	四	千葉	千葉市中央港1－12－2合同庁舎	35.36.0	140.06.4	3.5	47.8
45261	四	茂原	茂原市早野字川中島3750茂原市川中島下水処理場	35.24.9	140.18.8	9	6.5
45281	四	木更津	木更津市潮見1－1木更津市役所	35.22.5	139.55.3	5	7.9
45291	四	牛久	市原市米沢727－1市原市中央消防署南総分署	35.23.7	140.09.1	30	6.5
45326	四	坂畑	君津市坂畑223－1亀山中学校	35.13.9	140.06.1	120	6.5
45331	雨	黒原	夷隅郡大多喜町黒原368　唐鎌道子	35.14.5	140.14.6	60	0.6
45346	雨	佐久間	安房郡鋸南町上佐久間111鋸南町農協佐久間支所	35.06.8	139.52.7	26	1.4
45361	四	鴨川	鴨川市横渚1428鴨川市役所球場隅	35.06.6	140.06.2	5	7.9
45371	四	勝浦	勝浦市墨名708勝浦測候所	35.08.9	140.18.9	12	12.3
45401	四	館山	館山市長須賀76－1館山測候所	34.59.0	139.52.1	6	14.8
		成田	成田市大字古込字込前133新東京航空地方気象台	35.46.0	140.23.4	41	10.0

番号	種類	観測所名	無線ロボット運用開始年月日	地域気象観測運用開始年月日	更新理由	更新年月日
45036	四	佐原	49. 11. 1	53. 1. 10		
45056	四	我孫子	49. 11. 1	53. 1. 9	センサー移設（構内）	62. 3. 19
45086	雨	東庄	47. 6. 1	49. 11. 1	ロボット無線→有線化	57. 6. 22
45101	四	船橋		53. 1. 9		
45116	四	佐倉	50. 4. 16	53. 12. 18		
45147	四	銚子		53. 1. 9	南町→川口町移転	61. 8. 24
45181	四	横芝	50. 5. 16	53. 1. 10		
45212	四	千葉		53. 1. 9	出洲港→中央港移転	56. 4. 1
45261	四	茂原	49. 11. 1	53. 1. 11		
45281	四	木更津	49. 11. 1	53. 1 12		
45291	四	牛久		53. 1. 11		
45326	四	坂畑		53. 1. 12		
45331	雨	黒原		50. 5. 16		
45346	雨	佐久間		49 11. 1	設置高さ10m→26m	54. 8. 28
45361	四	鴨川	49. 11. 1	53. 1. 13	県土木事務所→市役所	62. 3. 26
45371	四	勝浦		53. 1. 9		
45401	四	館山		53. 1. 9	富崎廃止→館山発足	43. 4. 1
		成田			新設	47. 7. 1

注）種類「雨」地上の高さは雨量計の地面からの高さ

四：風向風速・気温・降水量・日照の観測所

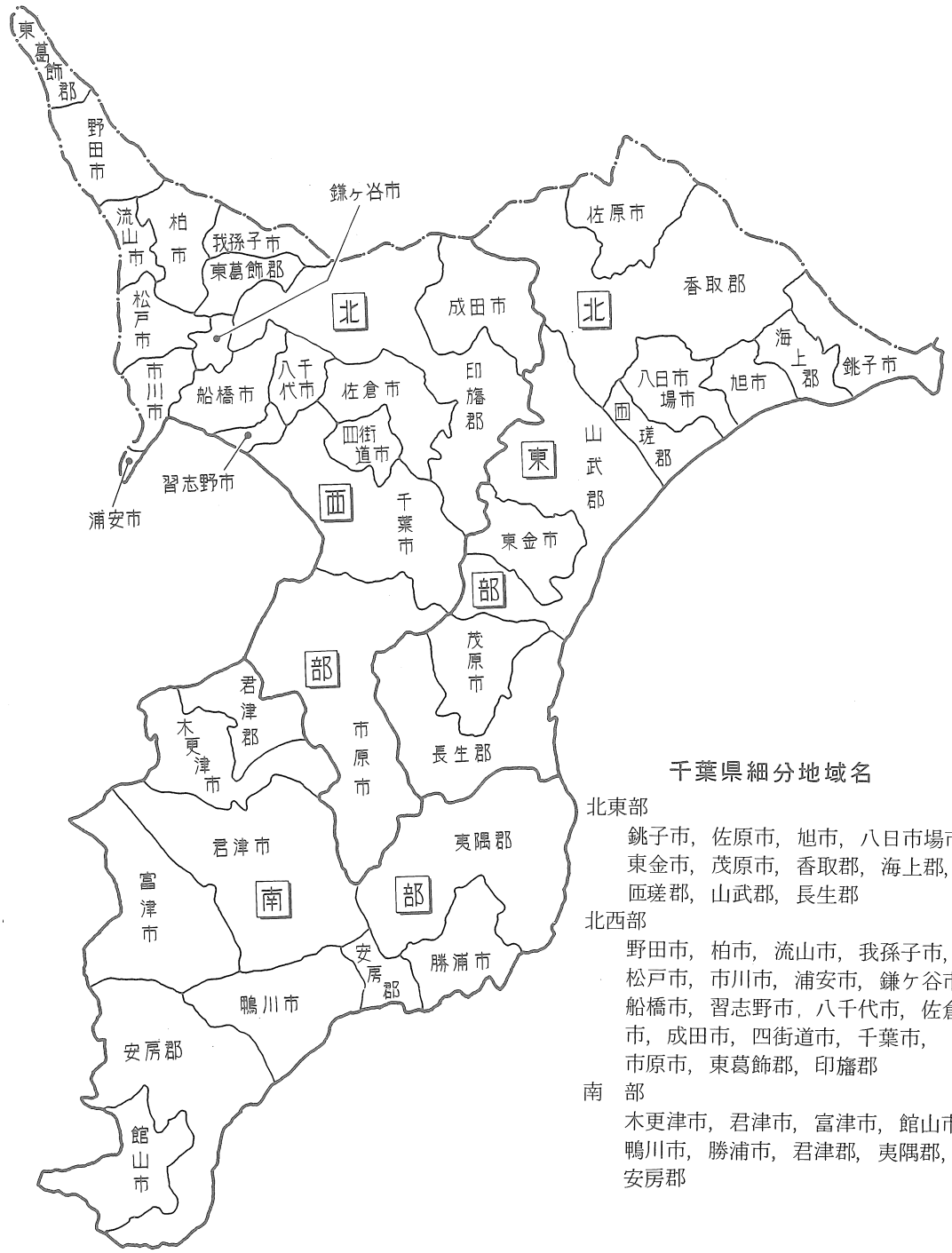
雨：雨量観測所



付図1　地域気象観測所分布図



付図2　昭和初年頃にみる千葉県内の村落名



千葉県細分地域名

北東部

銚子市，佐原市，旭市，八日市場市，東金市，茂原市，香取郡，海上郡，匝瑳郡，山武郡，長生郡

北西部

野田市，柏市，流山市，我孫子市，松戸市，市川市，浦安市，鎌ヶ谷市，船橋市，習志野市，八千代市，佐倉市，成田市，四街道市，千葉市，市原市，東葛飾郡，印旛郡

南　部

木更津市，君津市，富津市，館山市，鴨川市，勝浦市，君津郡，夷隅郡，安房郡

付図３　千葉県において予・警報に用いる細分地域名　（昭和62年１月現在）

編 集 後 記

100年の気象に関った災害を顧みると，千葉県の海岸線は494kmに及び，北部は江戸川と利根川に接し，全県下が水に囲まれているため，水に関係した事故が多い。総件数292件から拾ってみると，

① 漁船等の遭難(32件，11%)，3年に1度の人命災害であるが，昭和48～57年の10年間に12件の事故死がある。銚子港築堤後の事故は無謀な釣人の遭難が目立っている。

② 濃霧による船の遭難(3件，1%)，利根川河口に流入する雨水と，黒潮の北上に伴い河口付近で濃霧が発生する。6・7・8月に最も多く，昭和56年7月中には25日間に及ぶ霧日数となり明治19年以来の記録となった。

③ 江戸川・利根川の洪水（8件，3%)，明治時代は大雨のある毎にはんらんを惹き起した。明治40年の大洪水は30尺とあり約10メートルにも及ぶものであった。大正時代に入り築堤の完成とともに大災害は減ってきたが，昭和10年・22年の大洪水がその築堤の上限を越したため，その都度改修工事が行われ漸く首都圏のベットタウンとしての街並が生れた。

その他の災害としては，台風(76件，26%)，低気圧と前線(46件，16%)に及んだ。さらに干冷害(21件，7%)，凍霜害（9件，3%)，雷・ひょう害(37件，13%)，大雪害(14件，5%)，長雨害（7件，2%)，たつ巻害(17件，6%)，火災(16件，6%)，地震津波（4件，1%)，関東震災と戦災をも受けている。

道路の舗装や舗床によるほか，気候変動による災害の変化も考えられる。

この災害史によって，災害を未然に防止できることができれば幸いである。

昭和62年8月

中 沢 初 三

昭和62年８月10日印刷
昭和62年８月15日発行

千葉県気象災害史

（第２集）　昭和44年～昭和60年

□ 編集・発行　銚子地方気象台
〒288　千葉県銚子市川口町２丁目6431番地
銚子港湾合同庁舎内

□ 印刷所　タカオカ印刷株式会社
〒176　東京都練馬区早宮２丁目２番17号